NEC

iStorage Vシリーズ
HA Command Suite メッセージ

iStorage

IV-UG-204-13

対象製品

HA Device Manager 8.8.9以降

HA Replication Manager 10.0.1

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Active Directoryは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobeは，米国およびその他の国におけるAdobe社の登録商標または商標です。

Adobe AIRとAIRは，米国およびその他の国におけるAdobe社の登録商標または商標です。

JScriptは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは，Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoftは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは，Oracle Corporation及びその子会社，関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

PowerShellは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat, and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks of Red Hat, Inc. in the United States and other countries. Linux is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries.

RSAおよびBSAFEは，米国EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべてのSPARC商標は，米国SPARC International，Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は，米国Sun Microsystems，Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。

S/390は，世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

SQL Serverは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Symantec，Symantec ロゴ，チェックマークロゴ，およびSymantecは，Symantec Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIXは，The Open Groupの商標です。

Veritas，VeritasロゴおよびBackup Execは，米国およびその他の国におけるVeritas Technologies LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Veritas，VeritasロゴおよびNetBackupは，米国およびその他の国におけるVeritas Technologies LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Veritas，VeritasロゴおよびVeritasは，米国およびその他の国におけるVeritas Technologies LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Veritas，VeritasロゴおよびVERITASは，米国およびその他の国におけるVeritas Technologies LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Windowsは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Serverは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vistaは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

z/OSは，世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

その他記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

HA Device Manager，およびHA Replication Managerには，Oracle Corporation またはその子会社，関連会社が著作権を有している部分が含まれています。

HA Device Manager，およびHA Replication Managerには，UNIX System Laboratories，Inc.が著作権を有している部分が含まれています。

HA Device Manager，およびHA Replication Managerは，米国EMC コーポレーションのRSA BSAFEソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (http://www.modssl.org/).

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi (http://relaxngcc.sf.net/).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (http://java.apache.org/).

This product includes software developed by Andy Clark.

Java is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

発行

2026年 7月

著作権

© NEC Corporation 2025-2026

目次

はじめに vi
1. 対象読者 vi
2. マニュアルの構成 vi
3. マイクロソフト製品の表記について vii
4. このマニュアルで使用している記号 vii
5. ストレージシステムのサポートについて viii
6. OS，仮想化ソフトウェア，ブラウザーなどのサポートについて viii
7. エンドユーザライセンスについて viii
8. マニュアルに掲載されている機能、ソフトウェアについて viii
1. メッセージの概要 1
1.1. メッセージの構成 1
1.2. メッセージIDの形式と種類 1
1.3. このマニュアルで使用している用語について 2
2. DRMで始まるメッセージ 4
2.1. DRM-10000～DRM-19999 4
3. KAIBで始まるメッセージ 61
3.1. KAIB00000～KAIB09999 61
3.2. KAIB10000～KAIB19999 64
3.3. KAIB20000～KAIB29999 70
3.4. KAIB40000～KAIB49999 87
3.5. KAIB50000～KAIB59999 87
4. KAICで始まるメッセージ 89
4.1. KAIC00000～KAIC09999 89
4.2. KAIC10000～KAIC19999 219
4.3. KAIC30000～KAIC39999 440
4.4. KAIC60000～KAIC69999 442
5. KAPMで始まるメッセージ 446
5.1. KAPM00000～KAPM09999 446
5.2. KAPM10000～KAPM19999 484
6. KAVXで始まるメッセージ 533
6.1. KAVX0000～KAVX9999 533
6.2. 特定のメッセージの対処 649
6.2.1. KAVX5105-Wの対処 649
6.2.2. KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041の対処 651
6.2.2.1. 発生要因 651
6.2.2.2. 回復手順（バックアップサーバでの操作） 651
6.2.2.3. 回復手順（ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作） ... 654
6.2.2.4. 回避方法 655
7. KFPxで始まるメッセージ 656
7.1. KFPxメッセージの詳細 656
8. Device Managerが出力するアラート 665
8.1. KAID03101～KAID03572 665
8.2. KAID10001～KAID10008 678
8.3. KAID99999 678
9. ストレージシステムのメッセージ 679
9.1. iStorage Vシリーズのメッセージ 679
A. このマニュアルの参考情報 680
A.1. 関連マニュアル 680
A.2. このマニュアルでの表記 680
A.3. このマニュアルで使用している略語 681

A.4. KB（キロバイト）などの単位表記について 685

はじめに

このマニュアルでは，HA Device Manager，およびHA Replication Managerが出力するメッセージについて説明します。また，エラー状態を解消するために推奨する対処を説明します。

以降，このマニュアルでは，HA Device ManagerをDevice Manager，HA Replication ManagerをReplication Managerと略します。

1. 対象読者

このマニュアルは，HA Command Suiteを使ってストレージシステムを使用したシステムを運用管理される方を対象としています。また，対象読者には次のような知識があることを前提としています。

- SAN（Storage Area Network）に関する基本的な知識
- 前提オペレーティングシステム，およびWebブラウザーの基本的な操作方法
- HA Command Suiteを使った，システムの運用管理に必要な知識

2. マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す章と付録から構成されています。

第1章 メッセージの概要
　メッセージの形式と種類について説明しています。

第2章 DRMで始まるメッセージ
　Replication Manager Application Agentに関するメッセージについて説明しています。

第3章 KAIBで始まるメッセージ
　HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージについて説明しています。

第4章 KAICで始まるメッセージ
　Device Managerに関するメッセージについて説明しています。

第5章 KAPMで始まるメッセージ
　HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージについて説明しています。

第6章 KAVXで始まるメッセージ
　Replication Manager Application Agentに関するメッセージについて説明しています。

第7章 KFPxで始まるメッセージ
　HiRDBに関するメッセージについて説明しています。

第8章 Device Managerが出力するアラート
　Device Managerが出力するアラートについて説明しています。

第9章 ストレージシステムのメッセージ
　ストレージシステムが出力するメッセージについて説明しています。

付録A このマニュアルの参考情報
　このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

3. マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは，マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Exchange Server	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Exchange Server 2003 ・ Exchange Server 2007 ・ Exchange Server 2010
Exchange Server 2003	Microsoft Exchange Server 2003
Exchange Server 2007	Microsoft Exchange Server 2007
Exchange Server 2010	Microsoft Exchange Server 2010
JScript	Microsoft JScript
WSFC	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Windows Server Failover Cluster ・ Microsoft Cluster Service ・ Microsoft Failover Cluster
SQL Server	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Microsoft SQL Server 2005 ・ Microsoft SQL Server 2008 ・ Microsoft SQL Server 2008 R2 ・ Microsoft SQL Server 2012
Win32	Win32
Windows	Microsoft Windows

4. このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは，次に示す記号を使用しています。

記号	意味
参考	製品を正しく使用していただく際のご参考です。
|	複数の項目に対して項目間の区切りを示し，「または」の意味を示します。 （例） 「A|B|C」は，「A，B，またはC」を示します。
［ ］	メニュータイトル，メニュー項目，およびボタンの名称を示します。メニュー項目を連続して選択する場合は，［ ］を「ー」（ハイフン）でつないで説明しています。
＜ ＞	可変値であることを示します。
{ }	この記号で囲まれている複数の項目の中から，必ず一組の項目を選択します。項目と項目の区切りは「|」で示します。

記号	意味
	（例） 「{A|B|C}」は，「A，B，またはCのどれかを必ず指定する」ことを示します。

5. ストレージシステムのサポートについて

マニュアルでの表記については，「A.2. このマニュアルでの表記」を参照してください。

6. OS，仮想化ソフトウェア，ブラウザーなどのサポートについて

OS，仮想化ソフトウェア，ブラウザーなどの最新のサポート状況は，「ソフトウェア添付資料」を参照してください。

サポートが終了したソフトウェアに関するマニュアル中の記載は無視してください。

新しいバージョンをサポートしたソフトウェアについては，特に記載がないかぎり，従来サポートしているバージョンと同等のものとしてサポートします。

7. エンドユーザライセンスについて

デスクトップアプリケーションのGUIには，Adobe AIRを使用しています。

- Prohibitions against distribution and/or copying of the Object Code Redistributables separately from a Developer Application.
- Prohibitions against creating modifications and/or derivative works of, and against decompiling and reverse engineering, the Object Code Redistributables;
- A disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law;
- A provision indicating ownership of the Sample Code, SDK Source Files and Object Code Redistributables by HARMAN and its licensors.

8. マニュアルに掲載されている機能、ソフトウェアについて

以下の機能、およびソフトウェアは、ストレージシステムの一部のモデルにおいてサポートしていません。サポートしていないストレージシステムを利用する場合、マニュアルに掲載されている機能、およびソフトウェアに関する記述は無効となります。

機能・ソフトウェア	サポートしていないストレージシステム
Server Priority Manager	iStorage V10e
Data Retention Utility	

機能・ソフトウェア	サポートしていないストレージシステム
Volume Shredder	
HA Command Suite, HA Device Manager, Device Manager, HDvM	
Synchronous Replication, SR	
Asynchronous Replication, AR	
Dynamic Tiering, DT	
Server Priority Manager	iStorage V110/V310/V310F
HA Command Suite, HA Device Manager, Device Manager, HDvM	
HA Device Manager - Storage Navigator, Storage Navigator	
Configuration Manager REST API, CM	
Snapshot, SS	

第1章 メッセージの概要

この章では，メッセージの形式と種類について説明します。

1.1. メッセージの構成

Device ManagerおよびReplication Manager Application Agentのメッセージは，GUI，CLI，およびログファイルなどに出力されます。出力されるメッセージは，メッセージIDとメッセージテキストから構成されます。

メッセージを出力するコンポーネントによっては，日付，時刻，プログラム名などが出力される場合もあります。

1.2. メッセージIDの形式と種類

メッセージIDの形式を次に示します。

プレフィックスnnnnn-Z

メッセージIDは次の要素から構成されます。

プレフィックス

メッセージの出力元コンポーネントを示します。プレフィックスとコンポーネントの関係は，「表1.1 プレフィックスとメッセージIDの種類」を参照してください。

nnnnn

メッセージの通し番号を示します。

Z

メッセージの種類を示します。プレフィックスがDRM-から始まるメッセージは種類を出力しません。KAIDから始まるメッセージ以外のメッセージの種類と意味を次に示します。

I（Information） ユーザーに情報を通知するメッセージです。

Q（Question） ユーザーに応答を促すメッセージです。

W（Warning） 処理は続行されますが，制限があることをユーザーに通知するメッセージです。

E（Error） 処理が続行できないエラーをユーザーに通知するメッセージです。

KAID-から始まるメッセージの場合，アラートのレベルに応じて次のいずれかの情報が付けられます。

I（Informational）：Normal

W（Warning）：Moderate またはService

E（Error）：Acute またはSerious

表1.1 プレフィックスとメッセージIDの種類

プレフィックス	メッセージIDの説明
DRM-	Replication Manager Application Agentに関するメッセージです。

プレフィックス	メッセージIDの説明
KAIB	HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージです。
KAIC	Device Managerに関するメッセージです。 メッセージの番号と対応する機能は次のとおりです。 KAIC00000～KAIC09999：サーバ機能に関するメッセージ KAIC10000～KAIC19999：GUIに関するメッセージ KAIC30000～KAIC39999：トレースメッセージ KAIC60000～KAIC69999：トレースメッセージ
KAID	Device Managerが出力するアラートです。
KAPM	HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージです。
KAVX	Replication Manager Application Agentに関するメッセージです。
KDJE	HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージです。
KFPA	HiRDBに関するメッセージです。
KFPC	
KFPD	
KFPH	
KFPI	
KFPK	
KFPL	
KFPO	
KFPR	
KFPS	
KFPU	
KFPX	

推奨する対処を2章以降で説明します。対処に「顧客問い合わせ窓口に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。マニュアル「HA Command Suite システム構成ガイド」またはマニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照して障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

1.3. このマニュアルで使用している用語について

このマニュアルでは，次に示す用語を適宜読み替えてください。

表1.2 このマニュアルで使用している用語の対応関係

このマニュアルでの表記	HA Command Suite製品およびほかのマニュアルでの表記
PDEV	ドライブ
アレイグループ	パリティグループ
アレイファミリー	・ストレージシステムのファミリー ・ストレージシステムファミリー
アレイ名	ストレージシステム名
サブシステム	ストレージシステム

このマニュアルでの表記	HA Command Suite製品およびほかのマニュアルでの表記
ストレージサブシステム	ストレージシステム
ディスク	ドライブ
バックアップ	レプリカ
ホストストレージドメイン	ホストグループ

このマニュアルでは，Dynamic Provisioning機能に関する構成要素を次のとおり表記します。

- Dynamic Tiering（DT）のDPプールを示す場合，DTプールと表記します。
- Dynamic Provisioning（DP）のDPプールボリュームを示す場合，DPプールボリュームと表記します。
- Dynamic Tiering（DT）のDPボリュームを示す場合，DTボリュームと表記します。

第2章 DRMで始まるメッセージ

この章では，Replication Manager Application Agentに関するメッセージについて説明します。

2.1. DRM-10000～DRM-19999

Replication Manager Application Agent に関するメッセージ（DRM-10000～DRM-19999）を次の表に示します。

表2.1 DRM-10000～DRM-19999：Replication Manager Application Agent のメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10000	排他の処理に失敗しました。	**要因** コマンド実行時に別のコマンドが実行されていたため，排他処理をしましたが，エラーが発生しました。 **対処** しばらく待ってから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10001	指定されたファイルは使用中です。	**要因** リストア対象のファイルが使用中のため，リストア処理を続行できません。 **対処** しばらく待ってから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10002	内部エラーが発生しました。	**要因** ディクショナリマップファイルやバックアップカタログの情報が不整合になったり，壊れたりしたため，未知の内部エラーが発生しました。または，OSシステムコール実行中に未知の内部エラーが発生しました。 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したRAID Managerインスタンスの通信相手となるRAID Managerインスタンスが起動済みかどうか。 2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）が適切かどうか。 Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照し

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		て，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10003	バックアップIDの取得に失敗しました。	**要因** ディクショナリマップファイルやバックアップカタログの情報が不整合になったり，壊れたりしたため，バックアップIDを取得できませんでした。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。回復するためにはReplication Manager Application Agentをアンインストールして，再インストールする必要があります。
DRM-10004	指定されたバックアップIDに関連するバックアップ情報は存在しません。	**要因** リストアを実行したり，バックアップ情報を表示したりするときに，コマンドで指定したバックアップIDに対応するバックアップ情報が存在しませんでした。 **対処** 正しいバックアップIDを指定してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10008	コピーグループのペアステータスが不正です。	**要因** コピーグループのペア状態が不正なため，コマンドが実行できません。 次の要因が考えられます。 1. Replication Manager Application Agent以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された。 2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した。 3. ストレージシステムに障害が発生した。 4. RAID Managerの構成定義ファイル(horcm<n>.conf)の記載に誤りがあり， ペアボリュームの状態を正しく認識できていない。 **対処** 現象によって次の対処をしてください。 1. Replication Manager Application Agent以外のプログラムからペアボリュームの状態が変更された場合は，RAID Managerのpairsplitコマンドを使用してコピーグループのペア状態をPSUSに変更してから，コマンドを再度実行してください。 2. ユーザーが不正なオペレーションを実行した場合は，テープからバックアップデータをリストアするか，正ボリュームからバッ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		クアップを取り直すかして，副ボリュームのデータを正しいものにしてください。 バックアップを取り直す場合は次の対処をしてください。 次の三つの条件をすべて満たしているときは，RAID Managerのpaircreateコマンドを使用して，コピーグループのペア状態をPAIRまたはPSUSに変更してから，コマンドを実行してください。 ・KAVX5106-EとKAVX5118-Eが同時に表示された ・KAVX5118-Eで表示されたペア状態がPAIRまたはPSUS ・KAVX5106-Eで出力されたコピーグループのペア状態がSMPL 次の三つの条件をすべて満たしているときは，RAID Managerのpairsplitコマンドを使用して，コピーグループのペア状態をPSUSまたはSMPLに変更してから，コマンドを実行してください。 ・KAVX5107-EとKAVX5118-Eが同時に表示された ・KAVX5118-Eで表示されたペア状態がPSUSまたはSMPL ・KAVX5106-Eで出力されたコピーグループのペア状態がPAIR 3. ストレージシステムに障害が発生した場合は，システムログを参照し，対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうか確認して，障害を取り除いてください。 4. RAID Managerの構成定義ファイルの記述内容を見直して修正してください。 例として以下の記述誤りが考えられます。 ・コマンドデバイス，LDEV番号，装置シリアル番号の定義が間違っている。 ・コピー種別がSnapshot Advancedの場合，Snapshot Advancedの ペアの操作をpairXXコマンドで実施するための設定がされていない。 RAID Managerの構成定義ファイルの詳細についてはRAID Managerのマニュアルを参照してください。
DRM-10009	コピーグループの再同期に失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループの再同期処理に失敗しました。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてく

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ださい。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・Application Agentが適用できるボリューム構成 ・RAID Managerの設定 ・Application Agentの動作の設定 ・RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10010	RAID構成情報を取得できませんでした。	**要因** RAID Managerのコマンドが RAID構成情報を取得できませんでした。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてください。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・Application Agentが適用できるボリューム構成 ・RAID Managerの設定 ・Application Agentの動作の設定 ・RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10011	タイムアウトが発生しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループのペア状態の確認に時間が掛かり，タイムアウトが発生しました。KAVX5106-Eが表示されている場合は，表示結果からエラー対象のコピーグループ名と現時点のペア状態を取得できます。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のペア状態を確認するためのリトライ回数とリトライ間隔の設定の説明を参照して，リトライ回数とリトライ間隔を再設定してください。KAVX5119-Eが表示されている場合は，表示されたパラメーターを見て，そのパラメーターの値を再設定してください。
DRM-10013	インストールパス情報の取得に失敗しました。	**要因** Windowsシステムで，Replication Manager Application Agentが正しくインストールされていないため，Replication Manager Application Agentのインストールパス情報を取得できませんでした。 **対処** いったんReplication Manager Application Agentをアンインストールしたあと，Replication Manager Application Agentをインストールし直してください。
DRM-10014	指定されたコピーグループは存在しません。	**要因** バックアップ情報として登録されたコピーグループが現在の構成に存在しませんでした。 次の要因が考えられます。 ・KAVX5120-Eが表示されている場合は，表示結果のコピーグループが現在の構成に定義されていない。 ・KAVX5121-Eが表示されている場合は，対象のコピーグループが一つも現在の構成に定義されていない。 **対処** 次の順序でコピーグループが正しく定義されているか確認してください。 1. バックアップ情報として登録されたコピーグループを次のコマンドを使用して確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド 2. 現在の構成を，次のコマンドを使用して確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		drmfsdisplayコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplayコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplayコマンド 3. コピーグループが現在の構成に存在しなかった場合は，RAID Manager構成定義ファイルを確認し，RAID Managerの構成定義が正しく設定されているかを確認してください。
DRM-10015	RAID情報の取得に失敗しました。	**要因** ディクショナリマップファイルの更新時にRAID構成情報を取得できませんでした。または，バックアップサーバでディクショナリマップファイルを更新しようとしました。KAVX0272-Eと同時に出力された場合は，バックアップコマンドで-svol_checkオプションを指定して実行した結果，バックアップサーバ側での構成情報の取得に失敗しました。 **対処** バックアップサーバでディクショナリマップファイルを更新する必要はありません。データベースサーバで出力された場合には，次のことを確認してください。 ・RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗していないか確認してください。RAID Managerのコマンドが失敗している場合は，RAID Managerのマニュアルに従って，RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）の修正などを実施し，要因を取り除いてください。そのあとでReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 ・Replication Manager Application Agentを実行する構成および設定が正しいか確認してください。構成および設定については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照してください。 Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 Application Agentが適用できるボリューム構成 RAID Managerの設定 Application Agentの動作の設定 RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・KAVX0272-Eと同時に出力され，バックアップコマンドに-svol_checkオプションを指定して実行した場合，バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し，要因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。
DRM-10016	マウントに失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，マウントポイントディレクトリが存在しない，またはドライブがすでにマウントされていたなどの理由で，ドライブのマウント操作に失敗しました。KAVX5122-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象の論理ボリュームです。 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したRAID Managerインスタンスの通信相手となるRAID Managerインスタンスが起動済みかどうか。 2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）が適切かどうか。 Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，次のことを確認してください。 ・正ボリュームのバックアップ・リストア処理中に，副ボリュームのマウント操作やテープバックアップ・テープリストア操作を実行していないか。 ・正ボリュームに対して，drmmountコマンドを誤って実行していないか。 ・マウントポイントディレクトリの指定が正しいか。 マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のマウント時の注意事項の説明を確認してください。
DRM-10017	指定されたパスはすでにマウントされています。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，マウント操作の対象となるドライブがすでにマウントされていたため，処理が続行できませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		マウント状態のドライブをいったんアンマウントしてから，コマンドを再度実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
DRM-10018	指定されたパスが無効です。	**要因** -targetオプションや-fオプションでバックアップ対象として指定したパス名が不正です。 **対処** 正しいパス名を指定して，再度コマンドを実行してください。
DRM-10019	アンマウントに失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，ドライブのアンマウントに失敗しました。KAVX5122-EまたはKAVX5123-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象の論理ボリュームです。 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したRAID Managerインスタンスの通信相手となるRAID Managerインスタンスが起動済みか。 2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号が適切か。 3. RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）が適切か。 Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，次のことを確認してください。 ・正ボリュームのバックアップ・リストア処理中に，副ボリュームのマウント操作やテープバックアップ・テープリストア操作を実行していないか。 ・アンマウント対象のドライブが使用されていないか。 ・コマンドを実行するワークディレクトリがアンマウントの対象となるドライブ上にないか。 アンマウントするドライブ上にワークディレクトリがある場合，アンマウントできません。アンマウントの指定が正しい場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のマウント時の注意事項の説明を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10020	コピーグループのペア生成に失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループのペア生成に失敗しました。KAVX5120-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のコピーグループです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてください。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・ Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・ Application Agentが適用できるボリューム構成 ・ RAID Managerの設定 ・ Application Agentの動作の設定 ・ RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10021	コピーグループの再同期に失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループの再同期に失敗しました。KAVX5120-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のコピーグループです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてください。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・ Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・ Application Agentが適用できるボリューム構成 ・ RAID Managerの設定

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・ Application Agentの動作の設定 ・ RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10022	コピーグループのペア分割に失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループのペア分割に失敗しました。KAVX5120-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のコピーグループです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてください。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・ Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・ Application Agentが適用できるボリューム構成 ・ RAID Managerの設定 ・ Application Agentの動作の設定 ・ RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10026	コピーグループのステータスを取得できませんでした。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，コピーグループのペア状態が確認できませんでした。KAVX5120-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のコピーグループです。コピーグループのペア状態は，次の場合に取得できなくなります。 ・ バックアップ対象のインスタンスが停止している場合 ・ バックアップ対象のオブジェクトを含むコピーグループが，複数インスタンスに管理されている場合 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したRAID Managerインスタンスの通信相手となるRAID Managerインスタンスが起動済みかどうか。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号が適切か。 3. RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）が適切か。 Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，RAID Managerの設定，または一括定義ファイルが正しいか確認してください。設定が正しい場合は，RAID Managerのログ情報を参照し，問題がないかを確認してください。 また，コピーグループのペア状態が取得できなくなった要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 ・ バックアップ対象のインスタンスが停止している場合は，インスタンスを起動してください。 ・ バックアップ対象が複数インスタンスに管理されている場合は，一括定義ファイルの内容を修正してください。
DRM-10027	一つの物理ドライブ上に複数の論理ドライブが存在します。	**要因** バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに，別の論理ドライブが含まれているため，バックアップを実行できません。 **対処** 論理ボリュームマネージャーを使用して，ボリュームの構成を変更してください。
DRM-10028	指定されたファイルまたはディレクトリはRAID装置上に存在しません。	**要因** -targetオプションや-fオプションでバックアップ対象として指定したファイルまたはディレクトリのパス名が，RAID装置上のドライブにありませんでした。 **対処** RAID装置上のパス名を指定して，コマンドを再度実行してください。
DRM-10031	同じコピーグループに複数のマウントポイントが存在します。	**要因** バックアップ対象のマウントポイントディレクトリに対応する論理ドライブが所属する物理ドライブに，別の論理ドライブが含まれているため，バックアップを実行できません。 **対処** 論理ボリュームマネージャーを使用して，ボリュームの構成をバックアップが可能な構成に変更してください。
DRM-10032	指定されたファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。	**要因** リストアコマンドの実行時に，-targetオプションや-fオプションで指定したファイルまたはディレクトリはバックアップされていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 バックアップしたファイルまたはディレクトリを確認し，正しいパス名を指定したあと，リストアコマンドを再度実行してください。
DRM-10033	指定されたファイルまたはディレクトリのパス名が無効です。	**要因** リストアコマンドの実行時に，-targetオプションや-fオプションで指定したファイルまたはディレクトリのパス名が不正でした。 **対処** バックアップを実行したファイルまたはディレクトリを確認し，正しいパス名を指定して，リストアコマンドを再度実行してください。
DRM-10034	指定されたインスタンスに関連するファイルシステムがマウントされていません。	**要因** バックアップやリストア時に，指定されたインスタンスに関連するファイルシステムがマウントされていませんでした。 **対処** バックアップやリストア対象のファイルシステムをマウントしてから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10036	指定されたバックアップ対象オブジェクトは，バックアップ先の副ボリュームを特定できません。	**要因** バックアップ実行時に，次のどれかの理由によってコピーグループを決定できなかった場合に表示されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10082の場合 現在の構成で，バックアップ対象として指定したボリュームにコピーグループが定義されていない。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10099の場合 コピーグループがロックされているため，利用できるコピーグループが存在しない。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10300の場合 選択可能なコピーグループが一つも定義されていない。または，サポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されている。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10301の場合 ディスクグループ内のコピーグループの数が各物理ドライブで異なっている。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10082の場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		RAID Managerを使用して，コピーグループを定義してから，コマンドを再度実行してください。 ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10099の場合 バックアップ対象として指定したボリュームのコピーグループを次のコマンドで確認し，drmcgctlコマンドでロックを解除してからコマンドを再度実行してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -cf ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -cf ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -cf ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10300の場合 RAID Managerを使用して，コピーグループを定義してから，コマンドを再度実行してください。 または次のコマンドを実行して，Replication Manager Application Agentでサポートしているコピー種別であることを確認してからコマンドを再度実行してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -cf ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -cf ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -cf ・KAVX5124-Eの要因がDRM-10301の場合 RAID Managerを使用して，コピーグループを正しく定義してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10037	マウントポイントが長過ぎます。	**要因** 指定したマウントポイントディレクトリ名が255文字を超えています。 **対処** マウントポイントディレクトリ名には，255文字以下の文字列を指定してください。
DRM-10039	操作対象の副ボリュームがすでにマウントされています。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		バックアップまたはリストアしようとしましたが，すでに副ボリュームがマウントされています。 **対処** バックアップまたはリストア対象の副ボリュームをアンマウントしてください。
DRM-10040	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。	**要因** クラスタ環境で，クラスタリソースをオフライン状態にできませんでした。 **対処** クラスタソフトウェアに問題が発生していないか。 問題がなければ，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10041	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。	**要因** クラスタ環境で，クラスタリソースをオンライン状態にできませんでした。 **対処** 次のことを確認してください。 ・KAVX5137-Eと同時に出力された場合 「KAVX5137-E」のエラー要因と対処方法を参照してください。 ・クラスタソフトウェアがVeritas Cluster Server for Windowsの場合 drmclusinitコマンドで登録したクラスタ情報が正しく設定されているか。 ・すべてのクラスタソフトウェア共通 クラスタソフトウェアに問題が発生していないか。 問題がなければ，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10042	正ボリュームのチェックディスクに失敗しました。	**要因** クラスタ環境で，正ボリュームのchkdskコマンドの実行でエラーが発生しました。 **対処** システムログを参照し，問題が発生していないかどうか確認してください。 問題がなければ，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブル

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		シューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10043	クラスタ情報の取得に失敗しました。	**要因** 指定したマウントポイントがクラスタサーバに存在するかどうかの調査に失敗しました。 **対処** クラスタソフトウェアに問題が発生していないかどうか確認してください。 問題がなければ，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10047	再同期によるリストアに失敗しました。	**要因** リストア対象のファイルを指定するときに，バックアップしたファイルの一部が指定されていませんでした。 **対処** KAVX5125-Eが表示されている場合は，表示結果に指定されていないファイル名とそのディスクグループ名が表示されます。ディスクグループ名は論理ボリュームマネージャー導入環境の場合に表示されます。ベーシックディスク構成の場合は，ディスクグループ名に「-」が表示されます。リストア対象のファイルを指定するときに，バックアップしたすべてのファイルを指定し，コマンドを再度実行してください。
DRM-10049	ファイルシステムの同期に失敗しました。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・KAVX5126-Eの要因がDRM-10302の場合 マウントポイント名を基にボリューム名を取得する処理に失敗しました。 ・KAVX5126-Eの要因がDRM-10303の場合 ファイルシステムの中間バッファのフラッシュに失敗しました。 ・KAVX5126-Eの要因がDRM-10304の場合 ファイルシステムの中間バッファのフラッシュに失敗しました。 **対処** システムログを参照し，対象のファイルシステムに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認して，要因を取り除いてください。
DRM-10050	指定されたマウントポイントは，すでにマウントされています。	**要因** クラスタソフトウェアによってクラスタリソースとして管理されているファイルシステ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ムが，すでにマウントされているため，再同期によってリストアできません。 **対処** クラスタ環境で再同期によってリストアするためには，リストア対象のファイルシステムを一度アンマウントしたあと，コマンドを再度実行してください。
DRM-10052	RAID Managerの起動に失敗しました。	**要因** RAID Managerインスタンスの起動に失敗しました。 KAVX5127-Eが表示されている場合，表示結果が起動に失敗したインスタンス番号です。表示されているインスタンス番号が「-」の場合は，RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号がエラー対象です。 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したRAID Managerインスタンスの通信相手となるRAID Managerインスタンスが起動済みかどうか。 2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINST，またはHORCMINST_AUXパラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうか。 3. 環境変数DRM_HORCMINST，またはDRM_HORCMINST_AUXを定義している場合は，環境変数に指定したインスタンス番号がRAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTまたはHORCMINST_AUXの各パラメーターに設定されているかどうか。 4. RAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）が適切かどうか。 Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，RAID Managerのトレースログと RAID Manager構成定義ファイルを確認し，RAID Managerの構成定義が正しく設定されているかを確認してください。
DRM-10053	RAID Managerの停止に失敗しました。	**要因** RAID Managerインスタンスの停止に失敗しました。 **対処** KAVX5127-Eが表示されている場合，表示結果が停止に失敗したインスタンス番号です。RAID Managerのトレースログを確認し，異常がないかを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10054	正ボリュームと副ボリュームのパス構成が不正です。	**要因** 論理ボリュームマネージャーのマルチパス構成で正ボリュームに対する副ボリュームの物理パスが多く設定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** 副ボリュームの物理パス設定は，正ボリュームの物理パスと同じかそれ以下の数で設定してください。
DRM-10055	ボリュームグループ情報の復元に失敗しました。	**要因** 論理ボリュームマネージャーのボリュームグループ情報の復元に失敗した場合に出力されるメッセージです。論理ボリュームマネージャーのボリュームグループの管理情報が書き換わってしまったため，バックアップサーバからボリュームグループが認識できない状態になっています。 **対処** バックアップサーバで論理ボリュームマネージャーを使用して，ボリュームグループの管理情報を登録し直してください。
DRM-10058	コピーグループの重複を検出しました。	**要因** 異なったインスタンスでRAID Managerの構成定義ファイルに同じコピーグループ名を記述した場合に表示されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのコピーグループ名が重複していないかどうかを確認してください。重複している場合は，コピーグループ名が重複しないようにRAID Managerの設定を変更したあと，RAID Managerのインスタンスを再起動してください。
DRM-10059	RAID管理ソフトウェアと連携するための定義ファイル(DEFAULT.dat)に対する処理でエラーが発生しました。	**要因** 正しく製品がインストールされていないで，RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）が存在しない場合，またはRAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）の記述内容が誤っている場合に表示されるメッセージです。 **対処** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）が存在するかどうかを確認し，存在しない場合は，同じディレクトリ内に存在するDEFAULT.dat.modelファイルをDEFAULT.datファイルとしてコピーし，内容を修正してください。DEFAULT.dat.modelファイルも存在しない場合は，Replication Manager Application Agentをアンインストールしたあと，再度インストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		存在する場合はRAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）の記述内容を確認し，再度実行してください。同じ異常が発生する場合，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10061	対象のコピーグループが異なるRAID Managerインスタンスで管理されています。	**要因** バックアップやリストア対象のコピーグループは，一つのRAID Managerインスタンスで管理されている必要があります。 **対処** RAID Managerの構成定義ファイルの内容が正しいか確認し，正しいインスタンスを設定したあと，コマンドを再度実行してください。
DRM-10062	対象のマウントポイント配下に複数の論理ドライブが存在します。	**要因** マウントポイントディレクトリに別の論理ドライブに対応しているマウントポイントが含まれています。 **対処** ボリュームの構成を確認してください。 KAVX5132-Eが表示されている場合は表示されているマウントポイントが，エラー対象となった最上位のマウントポイントです。 例えば次のような場合にエラーとなります。 E:とE:¥mntの二つのマウントポイントが存在するとき，E:を指定することはできません。バックアップ対象のボリューム構成を変更してください。
DRM-10063	副ボリュームが正ボリュームと同じホストで管理されています。	**要因** コピーグループの正ボリュームと副ボリュームが，コマンド実行ホストのボリュームとして管理されています。 **対処** 正ボリュームと副ボリュームを別のホストのボリュームに分けてから，コマンドを実行してください。
DRM-10064	一つのボリュームに複数のマウントポイントが存在します。	**要因** マウントポイントドライブがほかのマウントポイントにマウントされています。 **対処** ボリュームの構成を確認してください。
DRM-10065	バックアップ情報として登録された処理対象ボリュームのLDEV番号またはSERIAL番号が現在の構成と一致しません。	**要因** 現在の構成はバックアップ情報の処理対象ボリュームのLDEV番号またはSERIAL番号ではありません。KAVX5128-Eが表示されている場合，表示結果がバックアップカタログに登録されていた処理対象ボリュームのLDEV番号，SERIAL番号です。論理ボリュームマネージャー導入環境の場合，ディスクグループ名が表示されます。ベーシックディスク構成の

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		場合は，ディスクグループ名に「-」が表示されます。 **対処** 次の順序で，バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。 1. 次のコマンドに-lオプションを指定して実行し，バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド 2. RAID Managerコマンドなどを使用し，現在のボリューム構成を確認してください。 ボリュームを入れ替えてLDEV番号が変わった場合など，強制的にリストアするときは，-forceオプションを指定してコマンドを実行してください。
DRM-10066	処理対象であるマウントポイントの文字列が最大長を超えています.	**要因** 処理対象であるマウントポイントディレクトリの文字列が最大長を超えているため，処理を続行できません。 **対処** マウントポイントディレクトリ名の文字列長を確認してください。
DRM-10067	処理対象の論理ボリューム名が長過ぎます。	**要因** 処理対象である論理ボリューム名の文字列が最大長を超えているため，処理を続行できません。 **対処** 論理ボリューム名の文字列長を確認してください。 論理ボリューム名の最大文字列長はOSで指定できる最大文字数です。
DRM-10069	コピーグループ情報の取得に失敗しました。	**要因** RAID Managerのコマンドによって，コピーグループ情報の取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Managerのコマンドが失敗した要因をRAID Managerのマニュアルに従って取り除いてく

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ださい。そのあとにReplication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の事項を参照して，構成および設定を確認してください。 ・Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・Application Agentが適用できるボリューム構成 ・RAID Managerの設定 ・Application Agentの動作の設定 ・RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
DRM-10070	ディクショナリマップファイル更新時にペア生成されていないコピーグループが指定されました。	**要因** ディクショナリマップファイル更新時に，コピーグループのペア状態がSMPLだったコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのpairresyncコマンドを使用して，コピーグループのペア状態をPAIRにして，ディクショナリマップファイルを更新してください。
DRM-10071	ペアステータスがSMPLモードに変更されています。	**要因** コピーグループのペア状態がSMPLのコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。 **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・RAID Manager構成定義ファイル（horcmn.conf）から対象のペア論理ボリュームの定義を削除する。 ・次の操作でコピーグループをロックして操作対象から外す。 drmcgctl -copy_group ＜コピーグループ名＞ -mode lock
DRM-10074	処理対象のボリュームにデータ保護が設定されています。	**要因** 対象のボリュームにデータ保護が設定された状態で，コマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerでボリュームのアクセス属性を確認し，アクセス制限を解除したあとに再度コマンドを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10075	処理対象となるコピーグループが見つかりません。	**要因** 処理対象となるコピーグループが，現在の構成に存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・VSS連携機能を使用している場合，システム環境変数VSNECHORCMINST_REMOTEに設定されているインスタンス番号を確認してください。 ・処理対象のコピーグループがRAID Managerに定義されているか確認してください。 ・RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターに，処理対象のコピーグループを記述したRAID Managerの構成定義ファイル（horcmn.conf）のインスタンス番号が定義されているか確認してください。
DRM-10076	RAID管理ソフトウェアのコマンドの実行でエラーが発生しました。	**要因** RAID Managerのコマンドの実行時に，エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照し，問題がないかどうかを確認してください。
DRM-10077	RAID管理ソフトウェアが起動されていません。	**要因** 処理対象のRAID Managerのインスタンスが停止している場合に出力されるメッセージです。 **対処** 次のどちらかの方法で対処してください。 ・処理対象のRAID Managerのインスタンスが停止している場合は，インスタンスを起動してください。 ・DBサーバ側のRAID Managerのインスタンスが停止している場合は，インスタンスを起動してください。 RAID Managerのインスタンスが起動できない場合は，RAID Managerのログ情報を参照し，問題がないか確認してください。
DRM-10080	正ボリュームとして処理しようとしたボリュームが副ボリュームになっています。	**要因** ディクショナリマップファイル更新後に処理対象のコピーグループのローカルボリュームが副ボリュームに変更されている場合に表示されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ガイド」を参照して，処理対象のボリュームを正ボリュームにしてください。
DRM-10081	異なるボリューム複製機能を利用したコピーグループを同時に指定することは出来ません。	**要因** ストレージシステム内のボリューム複製機能を利用したコピーグループとストレージシステム間のボリューム複製機能を利用したコピーグループを同時に指定した場合に表示されるメッセージです。 **対処** コピーグループ一括定義ファイルに記述したコピーグループのコピー種別が混在しないように変更して，再度コマンドを実行してください。 コピー種別は，次のコマンドで確認できます。 ・リシンク対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -cf ・リシンク対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -cf ・リシンク対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -cf
DRM-10082	指定された世代識別名が不正です。	**要因** 指定された世代識別名を持つコピーグループが存在しません。 **対処** 次のコマンドで世代識別名を確認し，コマンドを再度実行してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -cf ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -cf ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -cf
DRM-10083	RAID管理ソフトウェアとの連携に必要な準備でエラーが発生しました。	**要因** RAID Manager用連携定義ファイルまたはコピーパラメーター定義ファイルの読み込み処理でエラーが発生しました。 次の要因が考えられます。 ・KAVX5100-Eと同時に出力された場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-pfオプションに指定したコピーパラメーター定義ファイルのファイル名が誤っている，または存在していない。 ・ KAVX5102-Eと同時に出力された場合 RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）に出力されたパラメーターが記述されていない。 **対処** 要因に応じて，次の対処をしてください。 ・ KAVX5100-Eと同時に出力された場合 -pfオプションに指定したコピーパラメーター定義ファイルが存在するかどうか確認し，正しいコピーパラメーター定義ファイル名を指定して，コマンドを再度実行してください。 ・ KAVX5102-Eと同時に出力された場合 RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）の記述内容を確認し，出力されたパラメーターを記述してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10084	コピーグループの選択でエラーが発生しました。	**要因** バックアップを実行したときのコピーグループの選択でエラーが発生しました。 **対処** 直前に出力されたメッセージの対処方法を参考にしてエラー発生の要因を解決し，コマンドを再度実行してください。
DRM-10085	レジストリ情報定義ファイルの処理で内部エラーが発生しました。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ 内部ファイル（レジストリ情報定義ファイル）の読み込みに失敗した。 ・ 内部ファイル（レジストリ情報定義ファイル）が不正に破壊・改ざんされた。 **対処** Replication Manager Application Agentを再インストールしてください。回復しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLIユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10086	連携するソフトウェア情報を取得するためのレジストリ読み込みに失敗しました。	**要因** 連携するソフトウェア情報を取得するためのレジストリの読み込みに失敗しました。 **対処** Replication Manager Application Agentと連携するソフトウェア製品が正しくインストールされているかどうか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		レジストリに異常が見られる場合はOSを再インストールしてください。
DRM-10087	連携するソフトウェアのインストールパスが複数検知されました。	**要因** Replication Manager Application Agentに連携するソフトウェアで，バージョンの異なるインストールパスが二つ以上見つかりました。 Replication Manager Application Agentと連携するソフトウェア製品で，異なるバージョンの製品がインストールされている可能性があります。 **対処** 現在インストールされている製品のバージョンを確認し，複数のバージョンが存在する場合は使用していないバージョンをアンインストールしてください。 レジストリに異常が見られる場合はOSを再インストールしてください。
DRM-10090	物理ドライブからの論理ボリュームに関する情報の取得に失敗しました。	**要因** 物理ドライブからOSのAPIを使用して取得しようとした論理ボリューム情報が取得できませんでした。 KAVX5130-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象の物理ドライブです。 **対処** 論理ボリュームマネージャーを使用して，物理ドライブに正しく論理ボリュームが定義されているかを確認してください。 論理ボリュームが正常なことを確認できない場合は，論理ボリュームをいったん削除してから再度作成し，マウントしてください。
DRM-10097	diskpartに失敗しました。	**要因** diskpartコマンドが失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** システムログの内容を確認し，diskpartコマンドが失敗した原因を取り除いたあと，コマンドを再度実行してください。
DRM-10098	現在の構成に，指定されたコピーグループが一つも存在しません。	**要因** リストア実行時に，バックアップカタログに存在するコピーグループが，現在の構成に存在しない場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10099	選択可能な世代を特定できません。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コピーグループがロックされているため，利用できるコピーグループが存在しない場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10100	OSが同時にオープンできるファイルの上限値を超えています。	**要因** システムでオープンできるファイル数の制限を超えて，ファイルをオープンしようとしました。 **対処** OSのカーネルパラメーターを定義し直して，システムがオープンできるファイル数を増やしてください。
DRM-10101	ディクショナリマップファイルの内容が壊れています。	**要因** ディクショナリマップファイルが壊れています。 **対処** drmdbsetupユーティリティを使用して，ディクショナリマップファイルを作成し直してください。
DRM-10102	該当レコードはロックされています。	**要因** ディクショナリマップファイルの更新時に，更新対象のレコードがロックされていたため，更新できませんでした。 **対処** しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。
DRM-10103	該当ファイルはロックされています。	**要因** ディクショナリマップファイルの更新時に，更新対象のファイルがロックされていたため，更新できませんでした。 **対処** しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。
DRM-10104	該当レコードがありません。	**要因** ディクショナリマップファイルの参照時に，参照対象のレコードが存在しなかったため，参照できませんでした。 **対処** 次のコマンドを使用し，ディクショナリマップファイルの内容を更新してください。 次のように実行します。 ・ バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -refresh

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -refresh ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -refresh
DRM-10105	メモリー不足が発生しました。	**要因** コマンドの実行時に，メモリーが不足しています。 **対処** メモリーを増設してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10106	内部エラーが発生しました。	**要因** 内部処理の実行中，システムコールを利用したときに未知の内部エラーが発生しました。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。 また，バックアップコマンドの実行中に，drmfscatコマンド，drmsqlcatコマンド，drmexgcatコマンド，drmoracatコマンド，またはdrmappcatコマンドを実行するとこのメッセージが出力されることがあります。 この場合，バックアップコマンドが終了したことを確認したあとで，上記のコマンドを再度実行してください。
DRM-10107	ディクショナリマップファイルはすでに存在します。	**要因** drmdbsetupユーティリティを使用して，指定のディレクトリにディクショナリマップファイルを作成した場合に，以前のインストール時にすでに作成されたディクショナリマップファイルが存在するときに出力されるメッセージです。 **対処** 指定のディレクトリのディクショナリマップファイルを一度削除してから，drmdbsetupユーティリティを使用して再度作成してください。
DRM-10108	ディクショナリマップファイルが見つかりません。	**要因** 何らかの理由で，ディクショナリマップファイルが削除されているか，ディクショナリマップファイル格納ディレクトリがない場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		環境変数（DRM_HOSTNAME）および構成定義ファイル（init.conf）の内容を確認してください。 そのあとに，ディクショナリマップファイル格納ディレクトリを作成し，drmdbsetupユーティリティを使用して，ディクショナリマップファイルを作成してください。
DRM-10109	ドライブ容量が足りません。	**要因** コマンドの実行時に，ドライブ容量が不足しています。 **対処** ドライブ容量を確保してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10110	アクセス権がありません。	**要因** コマンドを実行する権限がないユーザーでコマンドを実行しようとしました。 **対処** システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。
DRM-10111	指定したコピーグループはすでにロックされています。	**要因** コピーグループをロックしようとしましたが，指定したコピーグループはすでにロックされていました。 **対処** drmmountコマンド実行時にこのメッセージが表示される場合は，次のことを確認してください。 1. 同じバックアップIDでdrmmountコマンドが実行済みでないか。 2. 実行済みのdrmmountコマンドが，エラーを出力したdrmmountコマンドで指定したバックアップIDに含まれるコピーグループを含んでいないか。 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 1. このエラーを出力したバックアップIDでdrmumountコマンドを実行後，再度drmmountコマンドを実行してください。 2. 実行済みのdrmmountコマンドから，エラーを出力したdrmmountコマンドで指定したバックアップIDに含まれるコピーグループを含んでいるものを探します。該当するバックアップIDを指定してdrmumountコマンドを実行後，再度drmmountコマンドを実行してください。
DRM-10112	指定したコピーグループはロックされていません。	**要因** コピーグループのロックを解除しようとしましたが，指定したコピーグループはロックされていませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 対処の必要はありません。
DRM-10113	利用可能なコピーグループが存在しません。	**要因** バックアップの実行時に，すべてのコピーグループがロックされていたため，利用できるコピーグループが存在しませんでした。 **対処** コピーグループのロックを解除してから，バックアップコマンドを再度実行してください。
DRM-10114	一時ファイルの操作で，システムエラーが発生しました。	**要因** コマンド対象の一時ファイルの操作で，システムエラーが発生しました。 **対処** メモリーやドライブに十分な空き容量があるかどうか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。 また，バックアップコマンドの実行中に，drmfscatコマンド，drmsqlcatコマンド，drmexgcatコマンド，drmoracatコマンド，またはdrmappcatコマンドを実行するとこのメッセージが出力されることがあります。 この場合，バックアップコマンドが終了したことを確認したあとで，上記のコマンドを再度実行してください。
DRM-10115	指定したバックアップデータはすでにロックされています。	**要因** ロックされたコピーグループに対して，コマンドを実行しようとしました。 **対処** コマンドを実行する前に，対象のコピーグループのロックを解除してください。
DRM-10116	ディクショナリマップファイルに不正がありましたが，修復する権限がありません。	**要因** 破損したディクショナリマップファイルを修復するコマンドを，一般ユーザー権限で実行しようとしました。 **対処** システム管理者権限で，ディクショナリマップファイルの更新コマンドを再度実行してください。
DRM-10117	テープにバックアップしたバックアップIDは指定できません。	**要因** drmtapecatコマンドで表示されるバックアップIDに対して，drmcgctlコマンドでコピーグループをロックしようとした場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		drmcgctlコマンドに指定するバックアップIDは，次のコマンドで表示されるバックアップIDを指定してください。 ・ バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・ バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・ バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド
DRM-10118	ディクショナリマップファイルのバージョンが異なっています。	**要因** Replication Manager Application Agentをバージョンアップしたときに，以前のバージョンのディクショナリマップファイルがデフォルトの格納ディレクトリ，またはinit.confで指定されたディレクトリにすでに存在しているため，本バージョンとデータフォーマットが異なっています。 **対処** drmdbconvertコマンドを使用して，ディクショナリマップファイルのデータ変換を行ってください。 ディクショナリマップファイルのデフォルトの格納ディレクトリは，次のとおりです。 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥db
DRM-10119	構成定義ファイル（init.conf）の仮想サーバ名が不正です。	**要因** 構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義した仮想サーバ名と，DRM_HOSTNAME環境変数で定義した仮想サーバ名が一致していません。 **対処** 構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義した仮想サーバ名と，DRM_HOSTNAME環境変数に定義した仮想サーバ名を確認してください。
DRM-10120	DRM_HOSTNAME環境変数または構成定義ファイル（init.conf）の仮想サーバ名が長過ぎます。	**要因** 構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義した仮想サーバ名，またはDRM_HOSTNAME環境変数で定義した仮想サーバ名が長過ぎます。 **対処** 構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義されている仮想サーバ名と，DRM_HOSTNAME環境変数に定義した仮想サーバ名を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10121	指定したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が不正です。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が長過ぎる。 ・構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義したディクショナリマップファイルのディレクトリ名が絶対パスで指定されていない。 **対処** 構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHパラメーターに定義されているディクショナリマップファイルのディレクトリ名を確認してください。
DRM-10122	指定したコピーグループはリモートコピーであり処理対象外です。	**要因** リモートコピーのコピーグループを指定して，drmtapebackupまたはdrmtaperestoreコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。 **対処** drmtapebackupまたはdrmtaperestoreで指定したバックアップカタログでバックアップされたコピーグループのコピー種別を確認してください。drmtapebackupおよびdrmtaperestoreコマンドはストレージシステム内のボリューム複製機能だけを処理対象としています。 リモートコピーを利用したコピーグループに対して，テープへのバックアップやテープからのリストアを行う場合は，EX_DRM_TAPE_BACKUPコマンドおよびEX_DRM_TAPE_RESTOREコマンドを使用してください。
DRM-10123	ディクショナリマップファイルは最新版なので，データ変換をする必要はありません。	**要因** 最新のデータ構造であるディクショナリマップに対してdrmdbconvertコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。 **対処** drmdbconvertコマンドによってデータを変換しなくても，通常のバックアップ運用ができます。
DRM-10124	ディクショナリマップファイルに矛盾を検出しました。	**要因** ディクショナリマップファイルの内部に矛盾があるため，ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ガイド」のディクショナリマップファイル障害の対処の説明を参照して，ディクショナリマップファイルの回復手順を実行してください。回復手順を行ってもエラーが発生する場合は，同時に出力されたテーブル名，処理およびエラーコードを確認し，資料を採取したあと，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10125	ディクショナリマップファイルに対する処理で，予期しないエラーが発生しました。	**要因** 予期しない致命的なエラーが発生したため，ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照し，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10126	ディクショナリマップに対する処理で，システムエラーが発生しました。	**要因** OSのシステムエラーが原因で，ディクショナリマップファイルに対する操作が失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** 出力されたOSのエラーコードを基に，システムエラーの原因を取り除いたあと，再度実行してください。 システムエラーの内容，発生原因および対処方法については，各OSのマニュアルを参照してください。
DRM-10300	選択可能なコピーグループが定義されていません。	**要因** バックアップ対象として指定したボリュームにコピーグループが定義されていない場合，またはサポート対象外のコピー種別のコピーグループだけが定義されている場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10301	バックアップ先の世代数が異なります。	**要因** ディスクグループ内のコピーグループの数が，物理ドライブごとで異なる場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10302	ボリューム名の取得に失敗しました。	**要因** ボリューム名の取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 KAVX0272-Eが出力されていない場合は，このメッセージ以降に出力されたKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。 KAVX0272-Eが出力されている場合は，バックアップサーバのイベントログに異常を示すメッセージが出力されていないか確認し，要因を取り除いてから再度コマンドを実行してください。
DRM-10303	ファイルシステムの中間バッファのフラッシュに失敗しました。	**要因** ファイルシステムの中間バッファのフラッシュに失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10304	ファイルのオープンに失敗しました。	**要因** ファイルのオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
DRM-10305	マウントポイントが異なります。	**要因** バックアップカタログの情報と現在の構成で，リストア対象の論理ボリュームについて一つ以上マウントポイントが異なる論理ボリュームが存在している場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のディスクグループです。 **対処** 次の順序でバックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。 1. 次のコマンドに-lオプションを指定して実行し，バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. RAID Managerコマンドなどを使用して現在のボリューム構成を確認してください。
DRM-10306	物理ドライブ数が異なります。	**要因** バックアップカタログの情報と現在の構成で，リストア対象の物理ドライブ数が異なっている場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のディスクグループです。 **対処** 次の順序で，バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。 1. 次のコマンドに-lオプションを指定して実行し，バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド 2. RAID Managerコマンドなどを使用して現在のボリューム構成を確認してください。
DRM-10307	ボリューム数が異なります。	**要因** バックアップカタログの情報と現在の構成で，リストア対象のボリューム数が異なっている場合に表示されるメッセージです。 KAVX5129-Eが表示されている場合は，表示結果がエラー対象のディスクグループです。 **対処** 次の順序で，バックアップ時のボリューム構成に変更がないことを確認してください。 1. 次のコマンドに-lオプションを指定して実行し，バックアップ時のボリューム構成を確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. RAID Managerコマンドなどを使用し，現在のボリューム構成を確認してください。
DRM-10308	拡張メンテナンスモードに関する操作でエラーが発生しました。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ディスクリソースのメンテナンスモードの状態を取得できなかった。 ・操作対象のディスクリソースを拡張メンテナンスモードに変更できなかった。 **対処** 次のことを確認してください。 ・WSFCの拡張メンテナンスモードを使用するためのパッチがインストールされているか。 ・対象のディスクリソースがオンライン状態であるか。 ・ホストノードが対象ディスクリソースを所有しているか。 問題がない場合は，同時に出力されたテーブル名，処理およびエラーコードを確認し，資料を採取したあと，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10309	対象ディスクリソースがオンラインではありません。	**要因** 操作対象のディスクリソースがオンライン状態ではないため，ディスクリソースの状態が変更できません。 **対処** 操作対象のディスクリソースがオンライン状態であることを確認してください。 ディスクリソースがオンライン状態ではない場合は，ディスクリソースをオンライン状態に変更したあとで，再度実行してください。 対象のリソースがオンライン状態であるにもかかわらずエラーが発生する場合は，同時に出力されたテーブル名，処理およびエラーコードを確認し，資料を採取したあと，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10310	対象ディスクリソースの状態遷移待ちで，タイムアウトが発生しました。	**要因** ディスクリソースのメンテナンスモードの状態が，待機時間内に指定されたものに遷移しません。 **対処** Replication Manager Application Agentの構成定義ファイル（init.conf）のCLU_RETRY_TIMEおよびCLU_RETRY_WAITを現在の設定よりも大きな値に変更して，再度実行してください。
DRM-10312	OSのバージョン情報の取得に失敗しました。	**要因** OSのバージョン情報の取得に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 製品のトレースログに出力されたエラーコードを基に，バージョンの取得に失敗した原因を取り除いたあと，再度実行してください。
DRM-10313	「Signatureとボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定するのに失敗しました。	**要因** 「Signatureとボリュームレイアウト情報」を物理ドライブに再設定する処理でエラーが発生しました。 **対処** ソフトウェア添付資料を参照して，対象のボリュームがReplication Manager Application Agentでサポートしているドライブかどうかを確認してください。サポート対象の場合には，システムログを参照して，対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し，要因を取り除いてください。
DRM-10314	物理ドライブから「Signatureとボリュームレイアウト情報」の取得に失敗しました。	**要因** 物理ドライブからの「Signatureとボリュームレイアウト情報」の取得に失敗しました。 **対処** ソフトウェア添付資料を参照して，対象のボリュームがReplication Manager Application Agentでサポートしているドライブかどうかを確認してください。サポート対象の場合には，システムログを参照して，対象のボリュームに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し，要因を取り除いてください。
DRM-10315	副ボリュームの状態が不正です。	**要因** 副ボリュームの状態を確認した結果，次のどれかの異常を検知しました。 ・KAVX5146-Eが同時に出力された場合 対象の副ボリュームがバックアップサーバでマウントされています。 ・KAVX5147-Eが同時に出力された場合 副ボリュームが隠ぺいされていません。 ・KAVX5151-Eが同時に出力された場合 ペア状態が不正です。出力されたコピーグループの副ボリュームが，別のコピーグループの正ボリュームになっています。 **対処** 同時に出力されたメッセージに応じて，それぞれ次の対処をしてください。 ・KAVX5146-Eが同時に出力された場合 出力されたマウントポイントをバックアップサーバでアンマウントしてから，コマンドを再実行してください。drmmountコマンドによってマウントしたボリュームのアン

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		マウントには，drmumountコマンドを使用してください。 ・KAVX5147-Eが同時に出力された場合 出力されたボリュームがバックアップサーバでマウントされている場合には，アンマウントしてください。その後，RAID Manager用連携定義ファイルのHORCMINSTとDEVICE_DETACH=ENABLEを記述し，drmdevctl -detachコマンドを実行してください。これによって，バックアップサーバのボリュームが隠ぺいされます。そのあとで，コマンドを再実行してください。 ・KAVX5151-Eが同時に出力された場合 出力されたMU番号から副ボリュームのコピーグループを特定し，ペア分割を実行してください。
DRM-10316	論理ボリュームから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	**要因** OSのAPIを使用して，論理ボリュームが配置されている物理ドライブの情報を取得しようとしましたが，失敗しました。 **対処** システムログを参照し，対象の物理ドライブに関する異常を示すメッセージが出力されていないかどうか確認してから，エラーの要因を取り除いてください。
DRM-10317	Protection Managerサービス上でエラーが発生しました。	**要因** バックアップサーバでの処理中に，Protection Managerサービスでエラーが発生しました。 **対処** 同時に出力されたエラーメッセージ（KAVX5024-E）の対処方法に従って問題を解決してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10318	Protection Managerサービスへの接続に失敗しました。	**要因** Protection Managerサービスの通信処理でエラーが発生しました。 **対処** 同時に出力されたエラーメッセージ（KAVX0258-EまたはKAVX0269-E）の対処方法に従って問題を解決してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-10319	環境変数の設定に失敗しました。	**要因** 環境変数の設定処理でエラーが発生しました。 **対処** メモリーやドライブ容量が十分か確認してください。メモリーやドライブの容量に問題が

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ない場合は，システムログを参照し，OSに異常がないか確認してください。異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10320	バックアップサーバのマウントコマンドがエラー終了しました。	**要因** バックアップサーバ上のマウントコマンドがエラー終了しました。 **対処** マウントのパス名を正しく指定しているかどうか確認してください。正しいパス名を指定している場合は，バックアップサーバ上で製品のトレースログファイルやシステムログを参照し，異常がないか確認してください。異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10321	バックアップサーバのバックアップIDがロックされているため，コマンドを実行できませんでした。	**要因** バックアップサーバのバックアップIDがすでにロックされていたため，バックアップカタログの自動インポートに失敗しました。 **対処** 次のことを確認し，確認結果に応じて対処してください。 ・ バックアップサーバで，ほかのコマンドが実行されていないか。 ほかのコマンドが実行中である場合は，現在実行中のコマンドが終了するのを待ってから，再度コマンドを実行してください。 ・ バックアップサーバのバックアップIDがロックされていないか。 ロックされているバックアップIDがある場合は，ロックを解除してから再度コマンドを実行してください。
DRM-10328	コピーグループから物理ドライブに関する情報を取得することができませんでした。	**要因** コピーグループから物理ドライブ名を取得する処理でエラーが発生しました。 **対処** RAID管理ソフトウェアの設定を見直してください。設定が正しい場合は，RAID管理ソフトウェアのログ情報を参照し，問題がないか確認してください。
DRM-10329	物理ドライブをオフラインにできませんでした。	**要因** 物理ドライブをオフラインにできなかった場合に表示されます。 **対処** システムログを参照し，対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し，要因を取り除いてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10330	物理ドライブをオンラインにできませんでした。	**要因** 物理ドライブをオンラインにできなかった場合に表示されます。 **対処** システムログを参照し，対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し，要因を取り除いてください。
DRM-10337	物理ドライブのパーティションスタイルが異なります。	**要因** リストア先のドライブのパーティションスタイルがバックアップ時と異なっています。 **対処** ドライブのパーティションスタイルをバックアップ時と一致させてから，リストアコマンドを実行してください。
DRM-10339	ユーザーがRAID Managerに認証されていません。	**要因** 以下の要因が考えられます。 1. コマンドを実行したユーザーはRAID Managerにログインしていません。 2. Replication Manager Application Agentがユーザー認証機能をサポートしていないバージョンのRAID Managerを使用しています。 **対処** 要因に応じてそれぞれ以下の対処をしてください。 1. RAID Managerにログインしてから，コマンドを実行してください。 2. Replication Manager Application Agentがユーザー認証機能をサポートしているRAID Managerにバージョンアップしてください。 Replication Manager Application AgentがサポートするRAID Managerバージョンについては，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。 RAID Managerのバージョンの確認方法およびバージョンアップの手順は，RAID Managerのマニュアルを参照してください。
DRM-10340	RAID Managerのユーザー認証機能が正しく実行されませんでした。	**要因** RAID Managerのユーザー認証機能が正しく実行されませんでした。 **対処** RAID Managerのマニュアルを参照して，RAID Managerの設定を見直してください。 設定が正しい場合は，RAID Managerのログ情報を参照し，問題がないか確認してください。
DRM-10341	diskpartコマンドが失敗しました	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		OSのdiskpartコマンドが失敗しました。 **対処** Windowsイベントログを参照して，diskpartコマンドが失敗した原因を取り除いたあと，Replication Manager Application Agentのコマンドを再度実行してください。
DRM-10405	ファイル名が長過ぎます。	**要因** -targetオプションや-fオプションでバックアップ対象として指定したパス名が，1,024バイトを超えています。 **対処** 1,024バイトを超える長さのパス名は指定できません。1,024バイト以内の正しいファイル名を指定してください。
DRM-10408	ファイルのアクセスに失敗しました。	**要因** バックアップやリストア処理の実行時に，誤ったファイル名またはディレクトリ名を指定したため，対象パスへのアクセスに失敗しました。 **対処** バックアップやリストアの対象とするパス名を正しく指定しているかを確認してください。パス名が正しい場合は，Replication Manager Application Agentのトレースログファイルとシステムログを参照し，異常がないかを確認してください。
DRM-10409	プロセスの生成に失敗しました。	**要因** コマンドの実行時に，内部プロセスを生成する処理に失敗しました。 **対処** メモリーやドライブに十分な空き容量があるかを確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
DRM-10410	ホスト名を取得できませんでした。	**要因** テープへのバックアップコマンドを実行するときに，コマンドを実行するホスト名が取得できませんでした。 **対処** コマンドを実行するホスト名を正しく取得できるように，システムを設定してからコマンドを再度実行してください。
DRM-10411	有効期限を設定できませんでした。	**要因** drmtapebackupコマンドを実行するときに，あらかじめdrmtapeinitコマンドで指定したバックアップデータの保存日数を基に，有効期限を設定できませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		drmtapeinitコマンドを再度実行して，バックアップデータの保存日数を設定し直してから，drmtapebackupコマンドを再度実行してください。
DRM-10418	必須の項目 ＜項目名 ＞が指定されていません。	**要因** ユーザースクリプト内で必須項目が指定されていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。
DRM-10419	行番号＜ ＜行番号＞＞: コマンド定義セクション内に必須の項目 ＜項目名＞ の指定がありません。	**要因** ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内に，必須項目が指定されていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル内の必須項目を指定してください。
DRM-10420	行番号＜ ＜行番号＞＞: 項目 ＜項目名＞ の値が指定されていません。	**要因** ユーザースクリプト内で，項目の値が指定されていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの該当行の値を設定してください。
DRM-10421	行番号 ＜行番号＞: 指定された値は項目 ＜項目名＞ に対して使用できません。	**要因** ユーザースクリプト内の項目値に対して，使用できないキーワードが使われている場合に出力されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照し，項目値に使用できる値を確認した上で，ユーザースクリプトファイルの該当行の値を修正してください。
DRM-10422	行番号 ＜行番号＞: 指定された値の長さが，項目 ＜項目名＞ の字数制限を超えています（最大 ＜最大文字数＞ 文字）。	**要因** ユーザースクリプトファイル内の項目値が長過ぎる場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの内容を編集して，該当行の値の字数が最大数以下になるように修正してください。
DRM-10423	行番号 ＜行番号＞: 指定された値は，整数でないか範囲外です（範囲は ＜最小値＞ ～ ＜最大値＞ ）。	**要因** ユーザースクリプトファイル内の項目値が規定範囲外の場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ユーザースクリプトファイルの内容を編集して，該当行の値が表示された範囲内の整数になるように修正してください。
DRM-10424	行番号 ＜行番号＞: 指定された項目＜項目名＞ は同一ファイル内で複数指定できません。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で，重複指定できない項目が重複指定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの内容を編集して，該当行の項目が重複しないように修正してください。
DRM-10425	行番号 ＜行番号＞: 指定された項目＜項目名＞ は同一コマンド定義セクション内で複数指定できません。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で重複指定できない項目が重複指定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの内容を編集して，該当行の項目が重複しないようにしてください。
DRM-10426	行番号 ＜行番号＞: 項目名またはセクション名が不正です。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で指定されている項目名またはセクション名が不正な場合に出力されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照し，項目値に指定できる項目名を確認の上，ユーザースクリプトファイルの該当行を修正してください。
DRM-10427	行番号 ＜行番号＞: 指定された項目＜項目名＞ はユーザー処理セクションの外で指定できません。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で，ユーザー処理セクションの前に指定できない項目がユーザー処理セクションの前に指定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し，ユーザー処理セクション内に記述されるよう修正してください。
DRM-10428	行番号 ＜行番号＞: 指定された項目＜項目名＞ はコマンド定義セクションの外で指定できません。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で，コマンド定義セクション外に指定できない項目がコマンド定義セクション外で指定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し，コマンド定義セクション内に記述されるよう修正してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-10429	行番号 ＜行番号＞: 指定された項目 ＜項目名＞ はユーザー処理セクションの中で指定できません。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で，ユーザー処理セクション内に指定できない項目がユーザー処理セクション内に指定されている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル中の該当行を移動し，ユーザー処理セクション外に記述されるよう修正してください。
DRM-10430	行番号 ＜行番号＞: 一行のサイズ制限を超えています（最大 ＜最大バイト数＞ バイト）。	**要因** ユーザースクリプトファイル内で，1行の最大バイト数を超えている行が存在する場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイル中の該当行を修正し，1行の最大バイト数以内になるよう修正してください。
DRM-10431	ユーザースクリプトのサイズが大きすぎます。	**要因** ユーザースクリプトが大き過ぎて処理できない場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの内容を削減してください。
DRM-10432	行番号 ＜行番号＞，カラム ＜カラム番号＞: 不正な文字が含まれています。	**要因** ユーザースクリプトファイル内に不正な文字コード（0x20未満，かつ改行コードでもタブコードでもない文字）が含まれている場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの内容を編集し，不正な文字を取り除いてください。
DRM-10433	ユーザースクリプト処理に関する内部エラーが発生しました。	**要因** ユーザースクリプトの処理に関する内部エラーが発生した場合に出力されるメッセージです。 **対処** 問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10434	VSSでエラーが発生しました。	**要因** VSSでエラーが発生した場合に出力されるメッセージです。 **対処** Volume Shadow Copyサービスのスタートアップの種類が無効になっていないかどうか確認してください。 スタートアップの種類が無効になっている場合は，スタートアップの種類を手動に戻して，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		スタートアップの種類が手動になっているのにこのメッセージが表示された場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10435	Virtual Disk Serviceでエラーが発生しました。	**要因** Virtual Disk Serviceでエラーが発生しました。 **対処** Virtual Disk Serviceサービスのスタートアップの種類が無効になっていないかどうか確認してください。 Virtual Disk Serviceサービスのスタートアップの種類が無効になっている場合は，スタートアップの種類を手動に戻して，コマンドを再度実行してください。 また，Virtual Disk Serviceサービスを再起動してコマンドを再度実行してください。 再度実行したあとでエラーが発生する場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10436	行番号 ＜行番号＞: 値の形式が不正です。	**要因** 値の形式が不正な場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・ 設定項目ENVの値の指定形式が不正である（半角イコールが含まれていない，または環境変数名が指定されていない）。 **対処** 該当行の値が正しい形式になるように修正してください。
DRM-10437	VSSでエラーが発生しました。	**要因** VSSの処理で一時的な要因によりエラーが発生した可能性があります。 **対処** コマンドを再実行してください。
DRM-10450	FTPクライアントへのファイル転送に失敗しました。	**要因** FTPクライアントへのファイル転送に失敗しました。 **対処** 次のことを確認してください。 ・ FTPサーバでFTPサービスが正常に起動しているかどうか。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・指定したユーザーIDおよびパスワードでFTPサーバに正常に接続できるかどうか。 ・FTPサーバに接続できる場合は，FTPサーバ上の拡張コマンド用一時ディレクトリと転送対象のバックアップカタログファイルがあるかどうか。
DRM-10451	FTPサーバへのファイル転送に失敗しました。	**要因** FTPサーバへのファイル転送に失敗しました。 **対処** 次のことを確認してください。 ・FTPサーバでFTPサービスが正常に起動しているかどうか。 ・指定したユーザーIDおよびパスワードでFTPサーバに正常に接続できるかどうか。 ・FTPサーバに接続できる場合は，FTPサーバ上の拡張コマンド用一時ディレクトリがあり，ファイルが作成できるかどうか。
DRM-10452	オペレーションIDとして指定された文字列が最大文字数を超えています。	**要因** コマンド実行時に指定されたオペレーションIDが，最大文字列長を超えています。 **対処** オペレーションIDの文字列長を確認してください。
DRM-10453	指定されたファイルが存在しません。	**要因** 実行した拡張コマンドが必要とするファイルがありません。 **対処** 指定されたファイルがあるか確認してください。
DRM-10454	指定されたファイルのアクセスに失敗しました。	**要因** 拡張コマンドの処理中に，ファイルにアクセスできませんでした。 **対処** 対象のファイルにアクセス権限があるかどうか，またメモリーやドライブに十分な空き容量があるか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は，システムログを参照し，OSに異常がないか確認してください。
DRM-10455	指定されたファイルの読み込みに失敗しました。	**要因** 拡張コマンドの処理中にファイルを読み込めませんでした。 **対処** テキストエディタなどを使用し，指定された定義ファイルが開けるか確認してください。
DRM-10456	指定されたファイルのコピーに失敗しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ファイルのコピー処理でエラーが発生しました。 **対処** ファイルシステムに十分な空き容量があるか確認してください。容量に問題がない場合は，システムログを参照し，対象のファイルシステムに対して，異常を示すメッセージが出力されていないか確認してください。ファイルシステムに異常がない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10457	指定されたファイルの内容が無効です。	**要因** 指定されたファイルの内容が正しくありません。 **対処** ファイルの内容が正しいかどうか確認してください。
DRM-10458	プロセスの生成に失敗しました。	**要因** コマンド実行時に，内部プロセスを生成する処理に失敗しました。 **対処** メモリーやドライブに十分な空き容量があるか確認してください。メモリーやドライブの容量に問題がない場合は，システムログを参照し，OSに異常がないか確認してください。
DRM-10459	インストールパス情報の取得に失敗しました。	**要因** Windowsシステムで，Replication Manager Application Agentが正しくインストールされていないため，Replication Manager Application Agentのインストールパス情報を取得できませんでした。 **対処** いったんReplication Manager Application Agentをアンインストールしたあと，Replication Manager Application Agentをインストールし直してください。
DRM-10460	FTPサーバへの接続に失敗しました。	**要因** FTPサーバに接続できませんでした。 **対処** FTPサーバ側で，FTPサービスが正常に起動しているか確認してください。また，指定したユーザーID，およびパスワードでFTPサーバに正常に接続できるか確認してください。
DRM-10461	データベースサーバへの接続に失敗しました。	**要因** データベースサーバに接続できませんでした。 **対処** データベースサーバ側で，サービスが正常に起動しているか確認してください。また，ロ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		グインしているユーザー名，およびパスワードを使用してデータベースサーバに接続できるか確認してください。
DRM-10462	内部エラーが発生しました。	**要因** 未知の内部エラーが発生しました。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取した上で，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-10463	操作の対象となるバックアップカタログファイルが存在しません。	**要因** 実行した拡張コマンドで操作の対象となるバックアップカタログファイルが見つかりませんでした。 **対処** バックアップカタログファイルを生成，またはコピーしてから拡張コマンドを実行してください。
DRM-10464	データベースサーバに対する処理でエラーが発生しました。	**要因** データベースサーバに対する処理の結果，エラーになった場合に表示されるメッセージです。 **対処** データベースサーバで，サービスが正常に起動しているか確認してください。また，ログインしているユーザー名，およびパスワードを使用してデータベースサーバに接続できるか確認してください。
DRM-10465	指定されたディレクトリが存在しません。	**要因** 指定されたディレクトリが該当するホスト上に存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 実在するディレクトリ名を設定していることを確認してください。
DRM-10466	指定されたディレクトリ名は絶対パスではありません。	**要因** 指定されたディレクトリ名が絶対パスでない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 絶対パスでディレクトリ名を指定してください。
DRM-10467	操作の対象となるファイルが存在しません。	**要因** 拡張コマンドで操作の対象となるファイルが見つかりませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		次の拡張コマンドを使用して，操作の対象となるファイルを作成してください。 ・ EX_DRM_BACKUPID_SET ・ EX_DRM_SQL_BACKUP（バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合） ・ EX_DRM_TAPE_RESTORE ・ EX_DRM_DB_IMPORT
DRM-10469	内部ファイルの更新に失敗しました。	**要因** 拡張コマンドの処理中にファイルに書き込めませんでした。 **対処** このメッセージと一緒に出力されるファイル名を確認し，そのファイルが書き込みできるかどうか，およびほかのプログラムがそのファイルにアクセスしていないかどうかを確認してください。
DRM-10470	操作の対象となるSQL Serverのメタファイルが存在しません。	**要因** 実行した拡張コマンドで操作の対象となるSQL Serverのメタファイルが見つかりませんでした。 **対処** SQL Serverメタファイルを生成，またはコピーしてから，拡張コマンドを実行してください。
DRM-10471	必要なパラメーター登録コマンドが実行されていません。	**要因** 拡張コマンドを実行する前に必要なパラメーター登録コマンド（drmsqlinitコマンド）が実行されていないか，またはパラメーター登録コマンド実行時に生成された情報が壊れています。 **対処** このメッセージと一緒に出力されるパラメーター登録コマンドを実行してから，拡張コマンドを再度実行してください。
DRM-11010	内部エラーが発生しました。	**要因** コマンドの実行中に，予期しない内部エラーが発生しました。 **対処** メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11011	SQLステートメントの実行中にエラーを検知しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		SQLステートメントの実行中に，SQL Serverからメッセージが返されました。 **対処** メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11012	SQL Serverへのログオン処理中にエラーを検知しました。	**要因** コマンドの実行中に，予期しない内部エラーが発生しました。 **対処** SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11013	SQL Serverへのログオン処理	**要因** SQL Serverへのログオン処理中に，SQL Serverからメッセージが返されました。 **対処** メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OS標準以外のSQL Serverクライアントを使用するための設定を行っている場合，設定に問題が無いか確認してください。OS標準以外のSQL Serverクライアントを使用するための設定の詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLIユーザーズガイド」を参照してください。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11014	SQL Serverからのログオフ処理中にエラーを検知しました。	**要因** SQL Serverからのログオフ処理中に，予期しないエラーが発生しました。 **対処** SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11015	SQL Serverへのログオフ処理	**要因** SQL Serverからのログオフ処理中に，SQL Serverからメッセージが返されました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11016	メタファイルのオープンに失敗しました。	**要因** SQL Serverデータベースのバックアップまたはリストアの実行中に，メタファイルがオープンできませんでした。 **対処** メタファイルに対して，読み取り権限および書き込み権限があることを確認してください。メタファイルの場所は，バックアップ時はdrmsqlinitコマンドで，リストア時はdrmsqlcatコマンドで確認できます。
DRM-11017	タイムアウトが発生しました。	**要因** drmsqlbackupコマンドでのVDIメタファイルの生成時，またはdrmsqlrestoreコマンドでのVDIメタファイルの適用時に時間が掛かったため，タイムアウトが発生しました。drmsqlbackupコマンドの実行中に，Replication Manager Application Agent以外のアプリケーションでトランザクションログのバックアップを実行している可能性があります。 **対処** SQL Serverの状態を確認してから，コマンドを再度実行してください。同じメッセージが繰り返し表示される場合は，drmsqlinitコマンドでタイムアウト値の設定を見直してください。
DRM-11018	SQLステートメントを実行する権限がありません。	**要因** コマンドを実行したユーザーには，SQLステートメントを実行する権限がありません。 **対処** SQLステートメントを実行する権限が与えられているユーザーでコマンドを再度実行してください。
DRM-11019	SQL Serverの起動に失敗しました。	**要因** SQL Serverの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** Windowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLIユーザーズガイド」のトラブルシューティン

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		グの説明を参照して資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11020	仮想デバイスの操作に失敗しました。	**要因** 仮想デバイスの操作に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** Windowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11021	SQL Serverからの情報収集処理。	**要因** SQL Serverの情報収集に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** SQLステートメントの実行中に，SQL Serverからメッセージが返されました。 メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。例えば，1文字あたり3バイト以上のマルチバイト文字を使用した名前のデータベースがSQL Serverインスタンスに存在する可能性があります。必要に応じて，SQL Serverエラーログとイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認します。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11022	オブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェック処理。	**要因** オブジェクトの割り当てと構造的整合性のチェックに失敗したときに表示されるメッセージです。 **対処** SQLステートメントの実行中に，SQL Serverからメッセージが返されました。メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細を基に，SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，SQL Serverエラーログとイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認してください。OSやSQL Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11100	指定されたデータベースはオフラインです。	**要因** データベースがオフラインのため，バックアップできません。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		データベースをオンライン状態にしてください。または，エラーが発生したデータベースをコマンドの対象から外してください。
DRM-11101	指定されたデータベースはリストア中です。	**要因** データベースをリストアしたあと，リカバリしていません。 **対処** drmsqlbackupコマンドまたはdrmsqllogbackupコマンドの場合，対象データベースをリカバリしたあと，コマンドを再度実行してください。drmsqlrestoreコマンドの場合，対象データベースをリカバリまたは削除したあと，コマンドを再度実行してください。
DRM-11102	指定されたデータベースはリカバリ中です。	**要因** データベースはリカバリ中で，まだクエリーで使用できません。 **対処** しばらく待ってからコマンドを再度実行してください。
DRM-11103	指定されたデータベースは未確認状態です。	**要因** データベースはリカバリできない状態です。 **対処** 対象データベースの状態を確認して，コマンドを再度実行してください。 データベースの状態を次に示す状態に戻せない場合は，リストアから実施してください。 ・ バックアップ時またはトランザクションログバックアップ時：オンライン ・ リカバリ時：読み込み中または読み取り専用
DRM-11104	指定されたデータベースのファイル名を取得できませんでした。	**要因** 何らかの理由でデータベースのファイル名が取得できませんでした。 例えば，データベースの所有者が不明の状態のまま，バックアップを実行した可能性があります。 **対処** データベースの状態を確かめてください。
DRM-11105	指定されたデータベース属性は読み取り専用です。	**要因** – **対処** 対象データベースの状態を確認して，コマンドを再度実行してください。
DRM-11107	指定されたデータベースの情報が取得できません。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		操作対象のデータベースの情報が取得できないときに出力されるメッセージです。 **対処** SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認したあと，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11109	指定されたデータベースはスタンバイモードです。	**要因** 指定されたデータベースの状態がスタンバイモードのときに出力されるメッセージです。 **対処** drmsqlrecoverコマンドで-undoオプションを指定しないで実行し，データベースをリカバリしてください。
DRM-11112	自動復旧が完了しませんでした。	**要因** 自動復旧が時間内に終了しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** init.confのSVC_RETRY_TIMEおよびSVC_RETRY_WAITの値を変更してから，コマンドを再度実行してください。
DRM-11113	DATABASEPROPERTY関数で不正なリターンコードを検出しました。	**要因** データベースの状態取得時に不正な値を検出したときに出力されるメッセージです。 **対処** SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，OSやSQL Serverの状態を確認したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11500	Exchange Serverの情報を取得できませんでした。	**要因** コマンドを実行したときに，Exchange Serverの情報が取得できませんでした。 **対処** Exchange Serverの設定を確認してください。Exchange Serverの設定が不正な場合は，Exchange Serverを起動するのに必要なサービスが停止していないか確認してください。
DRM-11501	リストアコマンド実行前の状態	**要因** リストアに失敗したため，次のファイルのコマンドを実行する前の状態に戻しました。 ・ データファイル（*.stmおよび*.edb） ・ トランザクションログファイル（*.log） ・ チェックポイントファイル（*.chk） **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-11502	データベースに不整合がありマウントできない状態	**要因** リストアに失敗したため，データベースに不整合があります。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
DRM-11503	ESEUTILコマンドの実行に失敗しました。	**要因** データベースの整合性チェックを実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
DRM-11504	内部エラーが発生しました。	**要因** 内部処理を実行中に未知の内部エラーが発生しました。 **対処** メッセージと一緒に表示されるエラーコードと詳細メッセージを基に，Exchange Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて，Windowsイベントログを採取して，OSやExchange Serverの状態を確認します。OSやExchange Serverに異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-11505	インフォメーションストアサービスに対するエラーが発生しました。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・インフォメーションストアサービスが正常に動作していない。 ・インフォメーションストアサービスの状態遷移中にタイムアウトが発生した。 ・コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ，予期しない状態へ変更された。 ・クラスタ環境でクラスタリソースのインフォメーションストアがオンラインであるのに，インフォメーションストアサービスが開始されていない。 **対処** Exchange Serverのマニュアルを参照して，インフォメーションストアサービスが正常に動作しているかを確認してください。 要因としてDRM-11508が出力された場合は，init.confファイルのSVC_RETRY_TIMEまたはSVC_RETRY_WAITの値を見直してください。それ以外の要因が指定された場合はその要因を確認してください。
DRM-11506	インフォメーションストアサービスの起動に失敗しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		インフォメーションストアサービスの起動に失敗したときに出力されるメッセージです。 **対処** インフォメーションストアサービスが正常に起動するかを確認してください。 要因としてDRM-11508が出力された場合は，init.confファイルのSVC_RETRY_TIMEまたはSVC_RETRY_WAITの値を見直してください。それ以外の要因が指定された場合はその要因を確認してください。
DRM-11507	インフォメーションストアサービスが予期せぬ状態になりました。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・コマンド実行時に外部からインフォメーションストアサービスに対する操作が行われ，予期しない状態へ変更された。 ・クラスタ環境でインフォメーションストアクラスタリソースがオンラインであるのに，インフォメーションストアサービスが開始していない。 **対処** コマンド実行中は，外部からインフォメーションストアサービスに対する操作を行わないようにしてください。また，クラスタ環境の場合でクラスタリソースのインフォメーションストアがオンラインのときは，インフォメーションストアサービスが開始していることを確認してください。
DRM-11508	タイムアウトが発生しました。	**要因** タイムアウトが発生したときに出力されるメッセージです。 **対処** 同時に表示されるほかのメッセージを確認して対処してください。
DRM-11509	ESEUTILコマンドがエラーを返しました。	**要因** データベースの整合性チェックを実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
DRM-11602	内部エラーが発生しました。	**要因** 未知の内部エラーが発生しました。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取した上で，問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
DRM-11603	オブジェクトの生成に失敗しました。	**要因** オブジェクトの生成に失敗しました。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。
DRM-12500	リモートディレクトリへのアクセスに失敗しました。	**要因** FTPサーバ上のリモートディレクトリへのアクセスに失敗しました。 **対処** このメッセージとともに表示されるメッセージを参照して，次のことを確認してください。 ・ ユーザーID，パスワードが正しいか。 ・ FTPサービスが起動しているか。 ・ 対象とするディレクトリがあるか。 ・ 対象とするディレクトリ，またはファイルの書き込み権限があるか。
DRM-12501	ファイルに実行権限がありません。	**要因** コマンドに実行権限がないためコマンドの実行に失敗しました。 **対処** 対象のファイルが実行できるか，またはコマンドを実行したユーザーに対象ファイルの実行権限があるかを確認してください。
DRM-12502	操作の対象となるバックアップカタログファイルがFTPサーバ上に存在しません。	**要因** 操作の対象となるバックアップカタログファイルがFTPサーバ上の対象ディレクトリに見つかりませんでした。 **対処** 対象となるバックアップカタログファイルがFTPサーバ上にあるかどうかを確認してください。対象となるバックアップカタログファイルがない場合，バックアップカタログファイルの生成またはコピーをして，コマンドを再度実行してください。
DRM-12503	操作の対象となるディレクトリが存在しません。	**要因** 拡張コマンド用一時ディレクトリが見つかりませんでした。 **対処** オペレーション定義ファイルチェックツールを実行後，コマンドを再実行してください。
DRM-12504	Active Directoryに対する処理でエラーが発生しました。	**要因** ドメインコントローラに接続できませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ログインしているユーザー名およびパスワードを使用して，ドメインコントローラに接続できるか確認してください。また，ドメインコントローラ，DNSサービスおよびネットワークが正常に動作しているか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ，ドメインコントローラおよびDNSサービスのイベントログを採取し，OSの状態を確認してください。
DRM-14000	サービスの起動に失敗しました。	**要因** サービスの起動に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14001	サービスの停止に失敗しました。	**要因** サービスの停止に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14002	サービス制御マネージャーが開けませんでした。	**要因** サービス制御マネージャーのオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14003	サービスの情報取得に失敗しました。	**要因** サービスの情報取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14004	スレッドの生成に失敗しました。	**要因** スレッドの生成に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
DRM-14005	バックアップサーバのユーザースクリプトを実行する場合は-sオプションの指定が必要です。	**要因** リモートサイトでユーザースクリプトを実行するときに，-sオプションが指定されていませんでした。 **対処** リモートサイトでユーザースクリプトを実行する場合は，-sオプションでホスト名を指定してください。
DRM-14013	ベリファイ処理がログの異常を検出しました。	**要因** ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。 **対処** バックアップサーバのイベントログ，または，データベースサーバでESEUTILコマンドを/mlオプションで実行した結果，検出されたトランザクションログの異常内容を確認し，トランザクションログの異常を解消してバックアップコマンドを再実行してください。 なおESEUTILコマンドの/mlオプションに指定するベース名はバックアップサーバの標準ログ(drm_output.log)に出力されたKAVX0282-Eメッセージで確認することができます。 ESEUTILコマンドの使用方法及び対象方法については，Exchange Serverのマニュアルを参照してください。

第3章 KAIBで始まるメッセージ

この章では，HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージについて説明します。

3.1. KAIB00000～KAIB09999

HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB00000～KAIB09999）を次の表に示します。

表3.1 KAIB00000～KAIB09999：HA Command Suite製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB00100-I	インストール対象のサーバマシンで，HA Command Suite製品のサービスが起動しています。 インストールを継続するとHA Command Suite製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は，［OK］ボタンをクリックしてください。	**要因** インストール対象のサーバマシンで，HA Command Suite製品のサービスが起動しています。 **対処** HA Command Suite製品のサービスが停止されても問題ない場合は，［OK］ボタンをクリックしてインストールを続行してください。
KAIB00101-I	管理サーバで，HA Command Suite製品のサービスが起動しています。 アンインストールを継続するとHA Command Suite製品のサービスがすべて停止されます。問題がない場合は，［OK］ボタンをクリックしてください。	**要因** 管理サーバで，HA Command Suite製品のサービスが起動しています。 **対処** HA Command Suite製品のサービスが停止されても問題ない場合は，［OK］ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。
KAIB00200-I	インストールに必要なファイルがメディア上にそろっています。	**要因** － **対処** －
KAIB00225-I	現在の仮想メモリーの空き容量は＜空き容量＞MB です。 HA Command Suite 製品が動作するには，＜必要な容量＞MB以上の仮想メモリーが必要です。	**要因** － **対処** －
KAIB00226-I	インストール先のディスクには，十分な空き容量があります。 ディスク：＜ディスク＞，必要な容量：＜必要な容量＞MB，空き容量：＜空き容量＞MB インストール時にバックアップを取得する場合は，さらにディスク容量が必要です。	**要因** － **対処** －
KAIB00227-I	このシステムのOSバージョン: ＜OSバージョン＞	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		－
KAIB00250-I	HiRDB/ClusterService _HD1サービスは停止しています。	**要因** － **対処** －
KAIB00251-I	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスは稼働中です。	**要因** － **対処** －
KAIB00252-I	現在インストールされているHA Command Suiteは，アップグレードインストールできるバージョンです。	**要因** － **対処** －
KAIB00253-I	ほかのサーバマシンからデータベースにアクセスしているプログラムはありません。	**要因** － **対処** －
KAIB00254-I	HA Command Suite共通コンポーネント（32ビット）はインストールされていません。	**要因** － **対処** －
KAIB00255-I	HA Command Suite共通コンポーネント（32ビット）がインストールされています。 インストール先：＜インストール先＞	**要因** － **対処** －
KAIB00256-I	Device Managerはインストールされていません。	**要因** － **対処** －
KAIB00257-I	Device Managerがインストールされています。 インストール先：＜インストール先＞	**要因** － **対処** －
KAIB00264-I	HiRDB/ClusterService _HD1サービスは停止しています。	**要因** － **対処** －
KAIB00265-I	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスは稼働中です。	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAIB00266-I	HA Command Suite共通コンポーネント（64ビット）はインストールされていません。	**要因** - **対処** -
KAIB00267-I	HA Command Suite共通コンポーネント（64ビット）がインストールされています。 インストール先：＜インストール先＞	**要因** - **対処** -
KAIB00275-I	＜ホスト名(IPアドレス)＞は起動しています。	**要因** - **対処** -
KAIB00276-I	Device Manager で使用されるUDPポート(162)は現在使用されていません。	**要因** - **対処** -
KAIB00277-I	Application Experienceサービスが有効になっています。	**要因** - **対処** -
KAIB00279-I	The processing of ＜製品名＞ was successful.	**要因** - **対処** -
KAIB00280-I	管理サーバにインストールされているHA Command Suite製品は，クラスタ構成（＜動作モード＞（実行系ノードまたは待機系ノード））で構築されています。	**要因** - **対処** -
KAIB09000-I	The HA Command Suite services started successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	**要因** - **対処** -
KAIB09001-I	The HA Command Suite services stopped successfully. To verify service status, select [Status] from the Start menu.	**要因** - **対処** -

3.2. KAIB10000～KAIB19999

HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB10000～KAIB19999）を次の表に示します。

表3.2 KAIB10000～KAIB19999：HA Command Suite製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB10002-W	インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保するか，インストール先を変更してください。 ディスク：＜ディスク＞，必要な容量： ＜必要な容量＞MB，空き容量：＜空き容量＞MB	**要因** インストール先のディスク容量が足りません。 **対処** 容量を確保するか，十分な空き容量があるほかのディスクにインストールしてください。
KAIB10003-W	インストール先のディスク容量が足りません。必要な容量を確保してください。 ディスク：＜ディスク＞，必要な容量： ＜必要な容量＞MB，空き容量：＜空き容量＞MB	**要因** インストール先のディスク容量が足りません。 **対処** 容量を確保してください。確保できない場合は，いったんアンインストールしたあと，別の場所に再度インストールし直してください。
KAIB10004-W	アンインストールを実行すると，アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル，フォルダがすべて削除されます。よろしいですか？	**要因** HA Command Suiteのアンインストールに対する事前確認です。 **対処** アンインストール確認画面の「ターゲットフォルダ」下のファイル，フォルダがすべて削除されても問題ない場合は，アンインストールを続行してください。
KAIB10005-W	インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が，HA Command Suiteに設定できるホスト名の文字数の上限を超えています。 インストール設定画面の「IPアドレス(ホスト名)項目」でIPアドレスを指定する，またはホスト名を128バイト以内に変更してください。	**要因** インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が，HA Command Suiteに設定するホスト名の文字数を超えています。 **対処** サーバマシンのホスト名を128バイト以内に変更してください。またはインストール設定画面の「IPアドレス(ホスト名)項目」でIPアドレスを指定してください。
KAIB10006-W	バックアップファイルの格納先として指定したフォルダはすでに存在するため，次のフォルダは一度削除されます。よろしいですか？ ＜バックアップ先フォルダ＞ ほかのフォルダを指定する場合は，バックアップファイルの格納先を指定し直してください。継続する場合は[OK]ボタンをクリックしてください。	**要因** バックアップファイルの格納先として指定したフォルダは，すでに存在します。 **対処** 存在するフォルダを一度削除してください。またはほかのフォルダを指定してください。
KAIB10007-W	仮想メモリーの容量が不足しています。	**要因** 仮想メモリーの容量が不足しています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	現在の仮想メモリーの空き容量は＜空き容量＞MBです。 HA Command Suite製品が動作するには，少なくとも＜必要な容量＞MBの仮想メモリーが必要です。仮想メモリーの設定を見直して，必要な容量を確保してください。 仮想メモリーが不足していると，プログラムが起動できなかったり，動作が不安定になったりするおそれがあります。	**対処** 仮想メモリーの設定を見直して，必要な容量を確保してください。
KAIB10008-W	Virtual memory free space for the management server is ＜空き容量＞MB. HA Command Suite requires ＜必要な容量＞MB of virtual memory, so you must add more. Lack of free space may lead to unstable system and unable to run program. Note that HA Command Suite services are running and some virtual memory is being consumed.	**要因** 仮想メモリーの容量が不足しているおそれがあります。 **対処** 仮想メモリーの設定を見直して，必要であれば仮想メモリーを増やしてください。 なお、現在の仮想メモリーの空き容量は，稼働中のHA Command Suite製品のサービスによって消費された状態の容量を表示しています。 HA Command Suite製品のサービスを停止して、再度、要件チェッカーを実行すれば、仮想メモリの空き容量をより正確に求めることができます。
KAIB10009-W	ローカルホストへの通信状態を確認しましたが，応答がありませんでした。 HA Command Suite 製品は，ローカルループバックアドレス(localhostおよび127.0.0.1)やホスト名をあて先として通信します。その際，通信エラーとなるおそれがあります。 ローカルループバックアドレスや，ホスト名の設定を確認してください。 ローカルループバックアドレスや，ホスト名が正しく設定されている場合でも，ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は，このメッセージを無視して，インストールを続行してください。	**要因** ローカルホストへの通信状態を確認しましたが，応答がありませんでした。 **対処** ローカルループバックアドレスや，ホスト名の設定を確認してください。
KAIB10010-W	＜ホスト名または，IPアドレス＞に対して，通信状態を確認しましたが，応答がありませんでした。 HA Command Suite製品は，＜ホスト名または，IPアドレス＞をあて先として通信します。その際に通信エラーとなるおそれがあります。 指定した値を確認してください。	**要因** 指定した値に対して，通信状態を確認しましたが，応答がありませんでした。 **対処** 指定したホスト名またはIPアドレスに誤りがないか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	指定した値に問題がない場合でも，ネットワーク設定によってはこのメッセージが出力される場合があります。その場合は，このメッセージを無視して，インストールを続行してください。	
KAIB10011-W	Device ManagerのSNMP Trap機能に使用するUDPポート(162)は，別のアプリケーションで使用されています。	**要因** Device ManagerのSNMP Trap機能に使用するUDPポート(162)は，別のアプリケーションで使用されています。 **対処** Device ManagerのSNMP Trap機能を有効にする場合,別アプリケーションのポートを変更してください。
KAIB10012-W	HA Command SuiteはこのOSをサポートしていません。 HA Command Suite がサポートするOSを確認してください。	**要因** HA Command SuiteはこのOSをサポートしていません。 **対処** HA Command Suite がサポートするOS を確認してください。
KAIB10019-W	インストール先にあるファイルが使用中のため，処理できません。 実行中のHA Command Suite製品のプログラムがないかどうか確認してください。HA Command Suite製品のプログラムが実行中の場合は，プログラムが終了するまで待ってください。応答待ちの場合は，プログラムを終了させてください。 実行中のプログラムがない場合，一時的にほかのプログラムからファイルが使用されているおそれがあります。アンチウィルスソフトや，定期的にインストールファイルアクセスするようなプログラムを使用していないか確認してください。使用している場合は，インストール中に動作しないようにしてください。 参考：使用中のファイルの一覧は次のファイルを参照してください。 ファイル名	**要因** インストール先にあるファイルが使用中のため，処理できません。 **対処** 実行中のHA Command Suite製品のプログラムがないかどうか確認してください。HA Command Suite製品のプログラムが実行中の場合は，プログラムが終了するまで待ってください。応答待ちの場合は，プログラムを終了させてください。 実行中のプログラムがない場合，一時的にほかのプログラムからファイルが使用されているおそれがあります。アンチウィルスソフトや，定期的にインストールファイルアクセスするようなプログラムを使用していないか確認してください。使用している場合は，インストール中に動作しないようにしてください。
KAIB10020-W	インストール先にあるファイルが使用中のため，処理できません。 実行中のHA Command Suite製品のプログラムがないかどうか確認してください。HA Command Suite製品のプログラムが実行中の場合は，プログラムが終了するまで待ってください。応答待ちの場合は，プログラムを終了させてください。	**要因** インストール先にあるファイルが使用中のため，処理できません。 **対処** 実行中のHA Command Suite製品のプログラムがないかどうか確認してください。HA Command Suite製品のプログラムが実行中の場合は，プログラムが終了するまで待ってください。応答待ちの場合は，プログラムを終了させてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	実行中のプログラムがない場合，一時的にほかのプログラムからファイルが使用されているおそれがあります。アンチウィルスソフトや，定期的にインストールファイルアクセスするようなプログラムを使用していないか確認してください。使用している場合は，アンインストール中に動作しないようにしてください。 参考：使用中のファイルの一覧は次のファイルを参照してください。 ファイル名	実行中のプログラムがない場合，一時的にほかのプログラムからファイルが使用されているおそれがあります。アンチウィルスソフトや，定期的にインストールファイルアクセスするようなプログラムを使用していないか確認してください。使用している場合は，アンインストール中に動作しないようにしてください。
KAIB10200-W	HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 ［再試行］ボタンをクリックして，HA Command Suite製品のサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため，サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 **対処** ［再試行］ボタンをクリックして，HA Command Suite製品のサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合の原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10201-W	SLPサービスの起動に失敗しましたが，インストールを続行します。インストールしたあと，SLPサービスを起動してください。	**要因** SLPサービスの起動に失敗しました。 **対処** インストールしたあと，SLPサービスを起動してください。
KAIB10202-W	SLPサービスの解除に失敗しましたが，アンインストールを続行します。アンインストールしたあと，SLPサービスを解除してください。	**要因** SLPサービスの解除に失敗しました。 **対処** アンインストールしたあと，SLPサービスを解除してください。
KAIB10205-W	HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しましたが，インストールは正常に完了しました。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。しばらく待ってからサービスを停止してください。 サービスが停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため，サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 **対処** 再度HA Command Suite製品のサービスの停止を実行してください。 サービスが停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB10206-W	アンインストールが不完全な状態で終了しました。 HA Command Suite製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 再度インストールする場合，HA Command Suite製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 HA Command Suite共通コンポーネントを使用する製品をインストールしない場合は問題ありません。	**要因** HA Command Suite製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 **対処** 再度インストールする場合，HA Command Suite製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10207-W	アンインストールが不完全な状態で終了しました。 HA Command Suite製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 再度インストールする場合，HA Command Suite製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 HA Command Suite製品をインストールしない場合は問題ありません。	**要因** HA Command Suite製品のプログラムが実行中であるおそれがあります。 **対処** 再度インストールする場合，HA Command Suite製品のプログラムが実行中でないかを確認してからインストールし直してください。それでも解決しない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10214-W	HA Command Suite製品が使用中のJDKは，アップグレード後にサポートしていないバージョンとなるため，HA Command Suite製品に同梱されているJDKに切り替えます。 HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。	**要因** HA Command Suite製品が使用中のJDKは，アップグレード後にサポートしていないバージョンとなるため，HA Command Suite製品に同梱されているJDKに切り替えます。 **対処** HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。
KAIB10215-W	HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しましたが，インストールは正常に完了しました。 サービスを停止する場合，数分待ってから再度停止してください。 サービスを停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しました。 管理サーバが稼働中のため，サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 **対処** サービスを停止する場合，数分待ってから再度停止してください。 サービスを停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10219-W	Device Managerサーバの証明書の有効期間外のため，Device Managerサーバの SSL/TLSを有効にできませんでしたが，インストールを続行します。インストールが完了したあと，マニュアルを参照して，必要に応じてDevice Managerサーバの証明書の状態を確認し，証明書を更新した上でDevice ManagerサーバのSSL/TLSを有効にしてください。	**要因** Device Managerサーバの証明書の有効期間外のため，Device ManagerサーバのSSL/TLSを有効にできませんでした。 **対処** インストールが完了したあと，マニュアル「HA Command Suite インストールガイド」を参照して，必要に応じてDevice Managerサーバの証明書の状態を確認し，証明書を更新した上でDevice ManagerサーバのSSL/TLSを有効にしてください。
KAIB10220-W	Device ManagerサーバのSSL/TLSを有効にできませんでしたが，インストールを続行します。インストールが完了したあと，マニュアルを参照して，必要に応じてDevice Managerサーバの SSL/TLSを有効にしてください。	**要因** Device ManagerサーバのSSL/TLSを有効にできませんでした。 **対処** インストールが完了したあと，マニュアル「HA Command Suite インストールガイド」を参照して，必要に応じてDevice Managerサーバの SSL/TLSを有効にしてください。
KAIB10222-W	クラスタ管理アプリケーションのリソースグループにHA Command Suite製品のサービスを登録できません。インストール完了後，hcmds64clustersrvupdateコマンドを実行して，HA Command Suite製品のサービスを登録してください。	**要因** クラスタ管理アプリケーションのリソースグループにHA Command Suite製品のサービスを登録できません。 **対処** インストール完了後，hcmds64clustersrvupdateコマンドを実行して，HA Command Suite製品のサービスを登録してください。
KAIB10223-W	クラスタ管理アプリケーションのリソースグループにHA Command Suite製品のサービスを登録できません。アンインストール完了後，hcmds64clustersrvupdateコマンドを実行して，HA Command Suite製品のサービスを登録してください。	**要因** クラスタ管理アプリケーションのリソースグループにHA Command Suite製品のサービスを登録できません。 **対処** アンインストール完了後，hcmds64clustersrvupdateコマンドを実行して，HA Command Suite製品のサービスを登録してください。
KAIB10224-W	サービスの手動起動設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** サービスの手動起動設定に失敗しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10301-W	＜サーバ名＞サーバは起動途中です。	**要因** 管理サーバは起動中のため，HA Command Suiteは現在使用できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	数分待ってから，HA Command Suiteを使用してください。 使用できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**対処** 数分待ってから，HA Command Suiteを使用してください。使用できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB10302-W	＜サーバ名＞サーバが処理中のため，HA Command Suite製品のサービスを停止できません。 数分待ってから，再度サービスを停止してください。 サービスが停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** 管理サーバが処理中のため，HA Command Suite製品のサービスを停止できません。 **対処** 数分待ってから，再度サービスを停止してください。サービスが停止できない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB19000-W	This location might not have enough space for export data. Add more space or change the location. Disk: ＜ディスク＞, Required: ＜必要な容量＞MB, Available: ＜空き容量＞MB Do you want to continue? Enter Y to ignore and continue, N to cancel.	**要因** インストール先のディスク容量が足りません。 **対処** 容量を確保するか，または十分な空き容量があるほかのディスクにエクスポートしてください。

3.3. KAIB20000～KAIB29999

HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB20000～KAIB29999）を次の表に示します。

表3.3 KAIB20000～KAIB29999：HA Command Suite製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20001-E	＜グループ名＞グループのユーザーでインストールしてください。インストールを中止します。	**要因** 管理者権限を持たないユーザーはインストールできません。 **対処** 管理者権限を持つユーザーがインストールしてください。
KAIB20002-E	＜グループ名＞グループのユーザーでアンインストールしてください。アンインストールを中止します。	**要因** 管理者権限を持たないユーザーはアンインストールできません。 **対処** 管理者権限を持つユーザーがアンインストールしてください。
KAIB20003-E	このOSには，HA Command Suiteをインストールできません。HA Command SuiteがサポートするOSを確認してください。	**要因** インストールを実行したOSは未サポートであり，インストールできません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 HA Command Suiteがサポートするosを確認してください。
KAIB20004-E	Server Core環境には，HA Command Suite製品をインストールできません。 インストールを中止します。	**要因** インストールを実行したServer Core環境は未サポートであり，インストールできません。 **対処** HA Command Suite製品のサポート環境を確認してください。
KAIB20005-E	新しいバージョンのHA Command Suiteがインストールされているため，ダウングレードできません。インストールを中止します。	**要因** ダウングレードインストールはできません。 **対処** インストールするHA Command Suiteのバージョンを確認してください。
KAIB20006-E	現在インストールされている＜製品名＞のバージョンから，アップグレードインストールできません。インストールを中止します。	**要因** 現在インストールされているHA Command Suite製品のバージョンからのアップグレードインストールはできません。 **対処** リリースノートを参照し，アップグレードインストールの対象となっているバージョンを確認してください。
KAIB20007-E	異なるベンダーのHA Command Suiteがインストールされているため，インストールできません。インストールを中止します。 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 異なるベンダーのHA Command Suiteがインストールされています。 **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIB20008-E	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していないため，インストールできません。インストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度インストールしてください。	**要因** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していません。 **対処** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスを起動してからインストールしてください。
KAIB20010-E	インストール対象のサーバマシンでHA Command Suite製品のサービスが起動しています。このサーバマシンにインストールされているHA Command Suite製品は，クラスタ環境でセットアップされており，クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。	**要因** すでにインストールされているHA Command Suite製品が，クラスタ環境でセットアップされています。 **対処** マニュアルを参照し，クラスタ環境でのセットアップ手順に従ってインストールしてください。
KAIB20012-E	内部エラーが発生しました。インストールを中止します。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集	**要因** 内部エラーが発生しました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	し，障害対応窓口に連絡してください。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20013-E	Device Managerを前提とする製品がインストールされているため，アンインストールできません。次の製品をアンインストールしたあと,HA Command Suiteをアンインストールしてください。 ＜製品名＞	**要因** Device Managerを前提とする製品が，インストールされています。 **対処** Device Managerを前提とする製品をアンインストールしたあと，アンインストールしてください。
KAIB20014-E	このサーバマシンにインストールされているHA Command Suite製品は，クラスタ環境でセットアップされているため，サービスを停止できません。マニュアルを参照し，クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。	**要因** HA Command Suite製品は，クラスタ環境でセットアップされてこのサーバマシンにインストールされているため，サービスを停止できません。 **対処** マニュアルを参照し，クラスタ環境でのアンインストール手順に従ってアンインストールしてください。
KAIB20015-E	異なるベンダーのHA Command Suiteがインストールされているため，インストールできません。インストールを中止します。 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 異なるベンダーのHA Command Suiteがインストールされています。 **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIB20016-E	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していないため，アンインストールできません。アンインストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度アンインストールしてください。	**要因** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していません。 **対処** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度アンインストールしてください。
KAIB20017-E	HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しているため，インストールできません。インストールを中止します。HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度インストールしてください。	**要因** HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しています。 **対処** HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度インストールしてください。
KAIB20018-E	HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しているため，アンインストールできません。アンインストールを中止します。HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度アンインストールしてください。	**要因** HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しています。 **対処** HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度アンインストールしてください。
KAIB20019-E	HA Command Suite製品が使用するJDKが見つかりません。hcmds64chgjdkコマンドを実行して，JDKを設定してください。	**要因** HA Command Suite製品が使用するJDKの設定が壊れています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。	**対処** hcmds64chgjdkコマンドを実行して，JDKを設定してください。 HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。
KAIB20020-E	You must run setup.exe to install HA Command Suite.	**要因** setup.exe以外のファイルからインストーラーが起動されました。 **対処** setup.exeを実行してください。
KAIB20021-E	インストールに必要なファイル(＜ファイル名＞)を読み込めません。 次の原因が考えられます。 ・統合インストールメディアからWindows上のドライブへのコピーが失敗した。 ・コピーしたファイルがWindows上のドライブから削除された。 ・コピー先のフォルダ名に半角英数字以外の文字が使用されている。 上記に該当する場合，その問題を解決してください。 それでも解決しない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** インストールに必要なファイルを読み込めません。 次の原因が考えられます。 ・ 統合インストールメディアからWindows上のドライブへのコピーが失敗した。 ・ コピーしたファイルがWindows上のドライブから削除された。 ・ コピー先のフォルダ名に半角英数字以外が使用されている。 **対処** 要因に応じて，問題を解決してください。 それでも解決しない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20022-E	ファイル(＜ファイル名＞)の読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** 内部エラーのため，ファイルの読込みに失敗しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20023-E	既に＜インストール済み製品名＞AgentまたはPFM-Baseがインストール済みのサーバに＜製品名＞をインストールできません。 ＜製品名＞とAgentを同じサーバに共存させる場合，先に＜製品名＞をインストールする必要があります。	**要因** PFM-AgentまたはPFM-Baseがインストール済みです。 **対処** 全てのAgentおよびPFM-Baseをアンインストールしたあと，再度インストールしてください。
KAIB20025-E	インストールされているHA Command Suite共通コンポーネントのパスが長いため，HA Command Suiteをインストールできません。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インストールを中止します。	インストールされているHA Command Suite共通コンポーネントのパスが長いため，HA Command Suiteをインストールできません。 **対処** 次の手順で対処してください。 1. すべてのHA Command Suite製品のデータを，hcmds64dbtransコマンドを使用してエクスポートします。 hcmds64dbtransコマンドについては，マニュアル「HA Command Suite Softwareシステム構成ガイド」を参照してください。 2. すべてのHA Command Suite製品をいったんアンインストールしたあと，インストールし直します。 インストール時に指定するHA Command Suite共通コンポーネントのインストールパスは，「¥Base」を含めて72バイト以内で指定してください。 3. 手順1でエクスポートしたデータを，hcmds64dbtransコマンドでインポートします。 4. 再度HA Command Suite製品をインストールします。
KAIB20026-E	最小サーバインターフェース環境には，HA Command Suite製品をインストールできません。 インストールを中止します。	**要因** インストールを実行した最小サーバインターフェース環境は未サポートであり，インストールできません。 **対処** HA Command Suite製品のサポート環境を確認してください。
KAIB20027-E	Application Experienceサービスが無効になっているためインストールできません。インストールを中止します。 Application Experienceサービスのスタートアップの種類を自動にし，サーバを再起動してからインストールし直してください。	**要因** Application Experienceサービスが無効になっているためインストールできません。 **対処** Application Experienceサービスのスタートアップの種類を自動にし，サーバを再起動してからインストールし直してください。
KAIB20028-E	HA Command Suite製品が使用するJDKが見つかりません。hcmds64chgjdkコマンドを実行して，JDKを設定してください。 HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。	**要因** HA Command Suite製品が使用するJDKの設定が壊れています。 **対処** hcmds64chgjdkコマンドを実行して，JDKを設定してください。 HA Command Suite製品に同梱されていないJDKを使用する場合は，JDKを別途インストールしたあと，hcmds64chgjdkコマンドを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20029-E	HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しているため，インストールできません。インストールを中止します。HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度インストールしてください。	**要因** HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しています。 **対処** HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度インストールしてください。
KAIB20030-E	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していないため，インストールできません。インストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度インストールしてください。	**要因** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していません。 **対処** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスを起動してからインストールしてください。
KAIB20032-E	HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しているため，アンインストールできません。アンインストールを中止します。HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度アンインストールしてください。	**要因** HiRDB/ClusterService _HD1のサービスが起動しています。 **対処** HiRDB/ClusterService _HD1サービスを停止してから再度アンインストールしてください。
KAIB20033-E	HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していないため，アンインストールできません。アンインストールを中止します。 HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度アンインストールしてください。	**要因** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1のサービスが起動していません。 **対処** HiRDB/EmbeddedEdition _HD1サービスを起動してから再度アンインストールしてください。
KAIB20034-E	限定評価版のHA Command Suiteがインストールされているため，インストールを中止します。限定評価版と一緒に使用することはできません。HA Command Suite限定評価版をアンインストールしたあと，再度インストールしてください。	**要因** 限定評価版のHA Command Suiteがインストールされています。限定評価版と一緒に使用することはできません。 **対処** 限定評価版のHA Command Suiteをアンインストールしたあと，再度インストールしてください。
KAIB20035-E	このサーバにインストールされているHA Command Suite製品のユーザーアカウントを管理するための設定が正しくありません。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** このサーバにインストールされているHA Command Suite 製品のユーザーアカウントを管理するための設定が正しくありません。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20036-E	次のファイルがあるため，処理が続行できません。ファイル名を変更するか，ファイルを移動または削除してから再実行してください。 ＜ファイル名＞	**要因** 同名のファイル，ハードリンクまたはシンボリックリンクが存在していないか確認してください。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同名のファイル，ハードリンクまたはシンボリックリンクが存在している場合，削除するかリネームして再実行してください。
KAIB20038-E	HA Command Suite製品のプログラムが実行中てす。 プログラムの終了を確認したあと，再度実行してください。	**要因** HA Command Suite製品のプログラムが実行中てす。 **対処** プログラムの終了を確認したあと，再度実行してください。
KAIB20039-E	システム環境変数PATHに必要な値が設定されていないため，処理を続行できません。システム環境変数PATHに次の値を追加してから再実行してください。 ＜パス＞ コマンドプロンプトまたはPowerShellから実行した場合は，システム環境変数PATHに必要な値を追加したあと，コマンドプロンプトまたはPowerShellを再起動してから，再実行してください。	**要因** システム環境変数PATHに必要な値が設定されていないため，処理を続行できません。 **対処** システム環境変数PATHにメッセージで表示されたパスを追加してから再実行してください。 コマンドプロンプトまたはPowerShellから実行した場合は，システム環境変数PATHにパスを追加したあと，コマンドプロンプトまたはPowerShellを再起動してから，再実行してください。
KAIB20042-E	クラスタ構成としてインストールする場合，ローカルユーザーでインストールすることはできません。 ドメインユーザーでインストールしてください。	**要因** クラスタ構成としてインストールする場合，ローカルユーザーでインストールすることはできません。 **対処** ドメインユーザーでインストールしてください。
KAIB20043-E	データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。 リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。 リソースグループをインストールするホストに移動してください。	**要因** データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。 リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。 **対処** リソースグループをインストールするホストに移動してください。
KAIB20044-E	データベースファイルを格納した共有ディスクを含むリソースグループが見つかりません。 共有ディスクをリソースグループに登録してください。	**要因** データベースファイルを格納した共有ディスクを含むリソースグループが見つかりません。 **対処** 共有ディスクをリソースグループに登録してください。
KAIB20045-E	管理サーバにインストールされているHA Command Suite製品は，クラスタ構成で構築されています。	**要因** 管理サーバにインストールされているHA Command Suite製品は，クラスタ構成で構築されています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ドメインユーザーでアンインストールしてください。	**対処** ドメインユーザーでアンインストールしてください。
KAIB20046-E	データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。 リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。 リソースグループをアンインストールするホストに移動してください。	**要因** データベースファイルを格納した共有ディスクが参照できません。 リソースグループの所有者が別のホストに設定されているおそれがあります。 **対処** リソースグループをアンインストールするホストに移動してください。
KAIB20048-E	HA Command Suite共通コンポーネントのインストール先に，不正なディレクトリを検出しました。シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suite共通コンポーネントのインストール先に，不正なディレクトリを検出しました。シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20050-E	現在インストールされているバージョンのHA Device Managerからのアップグレードインストールはできません。 インストール済のHA Device Managerのバージョンが8.8.2より前の場合は、一旦、8.8.2 ～ 8.8.6にアップグレードインストールした後で、再度8.8.9以降にアップグレードインストールしてください。	**要因** - **対処** -
KAIB20101-E	インストール先として指定したパスに，使用できない文字が含まれています。インストール先のパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ ( ) 半角スペース	**要因** インストール先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 **対処** インストール先のパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ ( ) 半角スペース 括弧を使用する場合は，（x86）および半角スペースを含むフォルダで使用していることを確認してください。
KAIB20103-E	インストール先として指定するパスは，64バイト以内で指定してください。	**要因** インストール先として指定したパスが長過ぎます。 **対処** インストール先として指定するパスは，64バイト以内で指定してください。
KAIB20104-E	データベースファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納	**要因** データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	先のパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 ． _（ ） 半角スペース 次のパスは指定できません。 ・ドライブ直下 ・OSの予約語を含むパス	**対処** データベースファイルの格納先として指定するパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 ． _（ ） 半角スペース 次のパスは指定できません。 ・ ドライブ直下 ・ OSの予約語を含むパス
KAIB20106-E	データベースファイルの格納先として指定するパスは，90バイト以内で指定してください。	**要因** データベースファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 **対処** データベースファイルの格納先として指定するパスは，90バイト以内で指定してください。
KAIB20109-E	指定したIPv4アドレスまたはホスト名が長過ぎます。IPv4アドレスまたはホスト名は，128バイト以内で指定してください。	**要因** 指定したIPv4アドレスまたはホスト名が長過ぎます。 **対処** IPv4アドレスまたはホスト名は，128バイト以内で指定してください。
KAIB20110-E	指定したIPv6アドレスに使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。 A～F a～f 0～9 ． ：	**要因** 指定したIPv6アドレスが不正です。 **対処** IPv6アドレスは，次の文字で指定してください。 A-F a-f 0-9 ． ：
KAIB20111-E	指定したIPv6アドレスが長過ぎます。IPv6アドレスは，47バイト以内で指定してください。	**要因** 指定したIPv6アドレスが長過ぎます。 **対処** IPv6アドレスは，47バイト以内で指定してください。
KAIB20113-E	バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。ファイルの格納先のパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 ． _（ ） 半角スペース	**要因** バックアップファイルの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 **対処** ファイルの格納先のパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 ． _（ ） 半角スペース
KAIB20114-E	バックアップファイルの格納先として指定するパスは，150バイト以内で指定してください。	**要因** バックアップファイルの格納先として指定したパスが長過ぎます。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		バックアップファイルの格納先として指定するパスは，150バイト以内 で指定してください。
KAIB20115-E	予期しないエラーが発生しました。HA Command Suiteのインストールを中止します。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** 予期しないエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20116-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）は省略できません。HINST_DBDIRまたはHINST_IPADDRESSプロパティを指定してください。	**要因** クラスタ環境でインストールする場合は，HINST_DBDIRまたはHINST_IPADDRESSプロパティは省略できません。 **対処** HINST_DBDIRまたはHINST_IPADDRESSプロパティを指定してください。
KAIB20117-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）の値が不正です。TRUEまたはFALSEを指定してください。	**要因** TRUEまたはFALSE以外の値が指定されました。 **対処** TRUEまたはFALSEを指定してください。
KAIB20118-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）の値が不正です。SMALL，MEDIUMまたはLARGEを指定してください。	**要因** SMALL，MEDIUMまたはLARGE以外の値が指定されました。 **対処** SMALL，MEDIUMまたはLARGEを指定してください。
KAIB20119-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）の値が不正です。SMALLまたはMEDIUMを指定してください。	**要因** SMALLまたはMEDIUM以外の値が指定されました。 **対処** SMALLまたはMEDIUMを指定してください。
KAIB20120-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）の値が不正です。指定したフォルダは使用できません。	**要因** HINST_INSTDIR，HINST_DBDIR，またはHINST_DBBACKUPDIRプロパティの値が不正です。指定したドライブにアクセスできない，またはドライブが存在しません。 **対処** 有効なドライブのパスを指定してください。
KAIB20121-E	インストール先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	**要因** インストール先にネットワークドライブを指定しています。 **対処** インストール先にはローカルディスクを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20122-E	データベースファイルの格納先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	**要因** データベースファイルの格納先にネットワークドライブを指定しています。 **対処** データベースファイルの格納先にはローカルディスクを指定してください。
KAIB20123-E	データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブは指定できません。 ローカルディスクを指定してください。	**要因** データベースのバックアップファイル格納先にネットワークドライブを指定しています。 **対処** データベースのバックアップファイル格納先にはローカルディスクを指定してください。
KAIB20124-E	次のパスにはインストールできません。ほかのパスを指定してください。 - ＜禁止パスのリスト＞	**要因** 指定されたパスにはインストールできません。 **対処** 別のパスを指定してください。
KAIB20125-E	データベースファイルは次のパスに格納できません。ほかのパスを指定してください。 - ＜禁止パスのリスト＞	**要因** 指定されたパスにはデータベースファイルを格納できません。 **対処** 別のパスを指定してください。
KAIB20126-E	バックアップファイルは次のパスに格納できません。ほかのパスを指定してください。 - ＜禁止パスのリスト＞	**要因** 指定されたパスにはバックアップファイルを格納できません。 **対処** 別のパスを指定してください。
KAIB20127-E	リソースグループ名は，1,024バイト以内で指定してください。	**要因** 指定したリソースグループ名が長過ぎます。 **対処** リソースグループ名は，1,024バイト以内で指定してください。
KAIB20128-E	論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）は，128バイト以内で指定してください。	**要因** 指定した論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）が長過ぎます。 **対処** 論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）は，128バイト以内で指定してください。
KAIB20129-E	実行系ノードのホスト名は，128バイト以内で指定してください。	**要因** 指定した実行系ノードのホスト名が長過ぎます。 **対処** 実行系ノードのホスト名は，128バイト以内で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20130-E	待機系ノードのホスト名は，128バイト以内で指定してください。	**要因** 指定した待機系ノードのホスト名が長過ぎます。 **対処** 待機系ノードのホスト名は，128バイト以内で指定してください。
KAIB20131-E	指定したリソースグループが見つかりません。クラスタ管理アプリケーションで，リソースグループが登録されているか確認してください。	**要因** 指定したリソースグループが見つかりません。 **対処** クラスタ管理アプリケーションで，リソースグループが登録されているか確認してください。
KAIB20132-E	指定した論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）が，リソースグループに登録されていません。クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して，リソースグループに登録されている論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）を指定してください。	**要因** 指定した論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）が，リソースグループに登録されていません。 **対処** クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して，リソースグループに登録されている論理ホスト名（クライアントアクセスポイント）を指定してください。
KAIB20133-E	データベースの格納先に指定したパスに含まれる共有ディスクが，リソースグループに登録されていません。クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して，リソースグループに登録されている共有ディスク上のパスを指定してください。	**要因** データベースの格納先に指定したパスに含まれる共有ディスクが，リソースグループに登録されていません。 **対処** クラスタ管理アプリケーションで設定を確認して，リソースグループに登録されている共有ディスク上のパスを指定してください。
KAIB20134-E	リソースグループ名に，使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。 ！″＆）＊＾｜＜＞	**要因** リソースグループ名に，使用できない文字が含まれています。 **対処** リソースグループ名に，次の文字は使用できません。 ！″＆）＊＾｜＜＞
KAIB20135-E	HA Command Suite製品は，3台以上のサーバを使用したクラスタ構成をサポートしていません。	**要因** HA Command Suite製品は，3台以上のサーバを使用したクラスタ構成をサポートしていません。 **対処** －
KAIB20136-E	指定したデータベースファイルの格納先に実行系ノードで作成されたデータベースファイルがすでにあ	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ります。実行系ノードとしてインストールできません。 待機系ノードとしてインストールしてください。 実行系ノードでインストールする場合，共有ディスク上のデータベース格納先を削除したあと，実行系ノードとしてインストールしてください。	指定したデータベースファイルの格納先に実行系ノードで作成されたデータベースファイルがすでにあります。 **対処** 待機系ノードとしてインストールしてください。 実行系ノードでインストールする場合，共有ディスク上のデータベース格納先を削除したあと，実行系ノードとしてインストールしてください。
KAIB20137-E	指定したデータベースファイルの格納先に実行系ノードで作成されたデータベースファイルがありません。待機系ノードとしてインストールできません。 次の要因が考えられます。 ・実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先を指定していない。 ・実行系ノードでインストールしていない。 実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先を指定してください。 実行系ノードでインストールしていない場合，実行系ノードを先にインストールしてください。	**要因** 指定したデータベースファイルの格納先に実行系ノードで作成されたデータベースファイルがありません。 次の要因が考えられます。 ・ 実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先を指定していない。 ・ 実行系ノードでインストールしていない。 **対処** 実行系ノードで指定したデータベースファイルの格納先を指定してください。 実行系ノードでインストールしていない場合，実行系ノードを先にインストールしてください。
KAIB20138-E	入力項目（リソースグループ名または論理ホスト名または実行系ノードのホスト名または待機系ノードのホスト名またはデータベースの格納先）を指定してください。	**要因** 入力項目が指定されていません。 **対処** _
KAIB20139-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）の値が不正です。ACTIVEまたはSTANDBYを指定してください。	**要因** ACTIVEまたはSTANDBY以外の値が指定されました。 **対処** ACTIVEまたはSTANDBYを指定してください。
KAIB20140-E	プロパティ（＜プロパティ名＞）は省略できません。HINST_CLUSTER_RESOURCEGROUPNAME, HINST_CLUSTER_HOSTNAME_ACTIVE, または HINST_CLUSTER_HOSTNAME_STANDBY プロパティを指定してください。	**要因** クラスタ環境でインストールする場合は，HINST_CLUSTER_RESOURCEGROUPNAME, HINST_CLUSTER_HOSTNAME_ACTIVE, または HINST_CLUSTER_HOSTNAME_STANDBY プロパティは省略できません。 **対処** HINST_CLUSTER_RESOURCEGROUPNAME, HINST_CLUSTER_HOSTNAME_ACTIVE, またはHINST_CLUSTER_HOSTNAME_STANDBYプロパティを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20200-E	HA Command Suite共通コンポーネントのエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suite共通コンポーネントのエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20201-E	HA Command Suite共通コンポーネントでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。アンインストール終了後，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** アンインストール時に共通コンポーネントのエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20204-E	データベースのバックアップ取得に失敗しました(＜要因＞)。インストールを中止します。 バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。バックアップ先のフォルダの容量を確保するか，別のフォルダを指定して再度インストールしてください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** バックアップ先のフォルダの容量が不足しているおそれがあります。 **対処** バックアップ先のフォルダの容量を追加し，再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20205-E	データベースのバックアップ取得に失敗しました。インストールを中止します。サービスの停止が遅延しているおそれがあります。時間をおいてから再度インストールしてください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** データベースのバックアップまたはエクスポート処理中にHiRDBのサービス起動または停止に失敗しました。 次の要因が考えられます。 ・管理サーバが稼働中であり，サービスの起動または停止が遅延している。 **対処** 時間をおいてから再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20206-E	アンインストールが不完全な状態で終了しました。インストールされているHA Command Suite共通コンポーネントを使用する製品に影響が出るおそれがあります。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** アンインストールが不完全な状態で終了しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB20207-E	Device ManagerのJDKの設定が失敗しました。hcmds64chgjdkコマンドを実行して，再度JDKを設定してください。	**要因** Device ManagerのJDKの設定が失敗しました。 **対処** hcmds64chgjdkコマンドを実行して，再度JDKを設定してください。
KAIB20208-E	ファイルの展開に失敗しました。 次の要因が考えられます。 ・HA Command Suite製品のプログラムが実行中である。 ・インストール先のディスク容量が不足している。 ・インストールメディアに異常がある。 上記に該当する場合，その問題を解決してから再度インストールし直してください。 それでも解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・HA Command Suite製品のプログラムが実行中である。 ・インストール先のディスク容量が不足している。 ・インストールメディアに異常がある。 **対処** 要因に応じて，問題を解決してから再度インストールし直してください。 それでも解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20209-E	クラスタ管理アプリケーションのリソースグループからHA Command Suite製品のサービスを削除できません。一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。 時間をおいてから再度インストールしてください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** クラスタ管理アプリケーションのリソースグループからHA Command Suite製品のサービスを削除できません。一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。 **対処** 時間をおいてから再度インストールしてください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20210-E	クラスタ管理アプリケーションのリソースグループからHA Command Suite製品のサービスを削除できません。一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。 時間をおいてから再度アンインストールしてください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** クラスタ管理アプリケーションのリソースグループからHA Command Suite製品のサービスを削除できません。一時的にクラスタ管理アプリケーションの処理に時間がかかっていたことが考えられます。 **対処** 時間をおいてから再度アンインストールしてください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB20211-E	SLPサービスの停止に失敗しました。	**要因** SLPサービスの停止に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	マニュアルを参照して，SLPサービスを停止してから，再度インストールしてください。	**対処** マニュアルを参照して，SLPサービスを停止してから，再度インストールしてください。
KAIB20212-E	SLPサービスの停止に失敗しました。 マニュアルを参照して，SLPサービスを停止してから，再度アンインストールしてください。	**要因** SLPサービスの停止に失敗しました。 **対処** マニュアルを参照して，SLPサービスを停止してから，再度アンインストールしてください。
KAIB20301-E	＜サーバ名＞サーバの初期化に失敗しました。 次のことを確認してください。 ・HA Command Suite製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されていないか。 ・仮想メモリーの容量が十分確保されているか。 ・hcmds64chgurl ＜コマンドオプション＞(Windowsの場合: /print,Unixの場合: -print)コマンドを実行すると，URLに＜ホスト名（IPアドレス）のタイプ＞(非クラスタ運用の場合:管理サーバのホスト名（IPアドレス）,クラスタ運用の場合:論理ホスト名)が表示されるか。 ・管理サーバ上でホスト名が名前解決できるか。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・HA Command Suite製品で使用するポート番号が，管理サーバ上のほかのプログラムで使用されている。 ・管理サーバの仮想メモリーの容量が不足している。 ・HA Command Suite製品のURLの設定が誤っている。 ・管理サーバの名前解決の設定に問題がある。 **対処** 要因に応じて，次の対処をしてください。 ・HA Command Suite製品で使用するポート番号がほかのプログラムで使用されている場合 ポート番号が重複しているプログラムを同時に使用しないでください。または，ポート番号を変更してください。 ポート番号によっては，HA Command Suite製品の設定を変更することで解決できます。HA Command Suite製品が使用するポート番号については，マニュアル「HA Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 ・仮想メモリーの容量が不足している場合 仮想メモリーの容量を確保してください。 ・URLの設定が誤っている場合 hcmdschgurlコマンドにprintオプションを指定すると表示されるURLに，管理サーバのホスト名（IPアドレス）が設定されていることを確認してください。 設定されていない場合は，hcmds64chgurlコマンドにchangeオプションを指定して，URLを変更してください。hcmdschgurlコマンドについては，マニュアル「HA Command Suite Software システム構成ガイド」を参照してください。 ・名前解決の設定に問題がある場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		管理サーバのホストとローカルホストが，管理サーバ上で正しく名前解決できることを確認してください。クラスタ運用している場合は，論理ホスト名についても確認してください。
KAIB20302-E	インストーラによるデータ移行ができませんでした。手動によるデータ移行をしてください。 移行に必要なデータは次の場所にあります。 移行データ格納先 手順の詳細については，バージョン7以前からの移行に関するドキュメントを参照してください。	**要因** インストーラによるデータ移行ができませんでした。 **対処** 手動によるデータ移行をしてください。
KAIB20303-E	The processing of ＜製品名＞ failed.	**要因** - **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29000-E	The HA Command Suite services cannot be started.	**要因** HA Command Suite製品のサービスの起動中に予期しないエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29001-E	The HA Command Suite services cannot be stopped.	**要因** HA Command Suite製品のサービスの停止中に予期しないエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29002-E	Only ＜グループ名＞ group users can re-execute the command.	**要因** 管理者権限を持たないユーザーは実行できません。 **対処** 管理者権限を持つユーザーがこのコマンドを実行してください。
KAIB29003-E	Unable to find file ＜ファイル名＞.	**要因** この操作に必要なファイルが見つかりません。 **対処** HA Command Suiteを上書きインストールしたあと，再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		それでも解決しない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB29004-E	An error occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information.	**要因** 予期しないエラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

3.4. KAIB40000～KAIB49999

HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB40000～KAIB49999）を次の表に示します。

表3.4 KAIB40000～KAIB49999：HA Command Suite製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB40001-W	The HA Command Suite services cannot be stopped. Stopping these services may be delayed. Type y to retry. If you cannot stop the services, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact Support Center, who may ask you to collect troubleshooting information. Do you want to retry? (y/n)	**要因** HA Command Suite製品のサービスの停止に失敗しました。 システムが稼働中のため，サービスの停止が遅延しているおそれがあります。 **対処** HA Command Suite製品のサービスを停止する場合は「y」，中止する場合は「n」を入力してください。 サービスが停止できない場合，原因の究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIB40007-W	インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が，HA Command Suiteに設定できるホスト名の文字数上限を超えています。 設定情報確認画面でeを入力し，「IPアドレス(ホスト名)項目」にIPアドレスを指定する，またはホスト名を128バイト以内に変更してください。	**要因** インストール対象のサーバマシンに設定されているホスト名が，HA Command Suiteに設定するホスト名の文字数を超えています。 **対処** 設定情報確認画面でeを入力し，「IPアドレス(ホスト名)項目」にIPアドレスを指定する，またはホスト名を128バイト以内に変更してください。

3.5. KAIB50000～KAIB59999

HA Command Suite製品のインストーラーに関するメッセージ（KAIB50000～KAIB59999）を次の表に示します。

表3.5 KAIB50000～KAIB59999：HA Command Suite製品のインストーラーのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIB50006-E	The installation path contains an invalid character. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 _ / Note that these directories cannot be specified: - /usr - /usr/local - /var - The root directory (/)	**要因** インストール先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 **対処** インストール先として指定するパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 _ /
KAIB50008-E	An invalid character is included in the database file path. Valid characters are: A-Z a-z 0-9 . _ /	**要因** データベースの格納先として指定したパスに使用できない文字が含まれています。 **対処** データベースファイルの格納先として指定するパスは，次の文字で指定してください。 A～Z a～z 0～9 . _ /
KAIB51003-E	HA Command Suite cannot be installed in this OS version. Verify the supported OS versions for the HA Command Suite.	**要因** インストールを実行したOSのバージョンは未サポートであり，インストールできません。 **対処** HA Command SuiteがサポートするOSのバージョンを確認してください。

第4章 KAICで始まるメッセージ

この章では，Device Managerに関するメッセージについて説明します。

4.1. KAIC00000～KAIC09999

Device Manager サーバに関するメッセージ（KAIC00000～KAIC09999）を次の表に示します。特に書き分けをしていない場合，「サーバ」は「HA Command Suiteの管理サーバ」を指します。 メッセージテキストまたは説明に「サーバ管理者に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は，HA Command Suiteを使用するストレージ管理者に連絡してください。

表4.1 KAIC00000～KAIC09999：Device Manager サーバのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00000-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00001-E	特定不能なサーバエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00002-E	Device Managerサーバの初期化エラーです。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00003-E	サーブレットがありません。	Device Managerがサポートしていないサーブレットを参照しました。
KAIC00004-E	リクエストの記述形式に誤りがあります。	リクエストの記述を見直してください。
KAIC00100-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: 不正なHTTP port 番号 ″＜ポート番号＞″ が指定されました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，″server.properties″の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00101-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: 不正なHTTPS port 番号 ″＜ポート番号＞″ が指定されました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，″server.properties″の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00102-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: 不正な document root directory ″＜ディレクトリ名＞″ が指定されました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，″server.properties″の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00103-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: 不正な bind address ″＜バインドアドレス＞″ が指定されました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，″server.properties″の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00104-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: サポート外のJREバージョン ″＜JREバージョン＞″ です。	使用しているJREのバージョンを確認し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00105-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: Servlet v2.2 クラスファイルの読み込みに失敗しました。	Servlet (JSDK v2.2+) が使用できることを確認し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00106-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: SNMP クラス	Sun SNMP (JDMK) classes が使用できることを確認し，Device Managerサーバを再起動してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ファイルの読み込みに失敗しました。	
KAIC00107-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: サービスモジュールの読み込みに失敗しました。	本エラーは直前に発生しているエラーが直接の要因です。直前のエラーの対処方法に従ってください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00108-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: Device Manager Server KeyStore エントリ ″＜エントリ名＞″ の読み込み中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00110-E	Device Managerサーバの起動に失敗しました。: データベースのチェック中に重大なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00112-E	スレッド数の最大値 ″＜maxThreadsの指定値＞″ を超えました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，″server.properties″の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00113-E	ServiceConnection の確立に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00114-E	HTTPサーバをポート番号 ″＜ポート番号＞″ で起動できませんでした。	″server.properties″の″server.http.port″を見直してください。
KAIC00115-E	HTTPSサーバをポート番号 ″＜ポート番号＞″ で起動できませんでした。	″server.properties″の″server.https.port″を見直してください。
KAIC00116-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。: localhostのIPアドレスが解決できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00120-E	コンフィグレーションファイル ″server.properties″ の読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル″server.properties″を確認し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00123-E	MIME タイプファイルの読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル″mime.properties″を確認し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00125-E	コンフィグレーションファイル ″product.properties″ の読み込みに失敗しました。	コンフィグレーションファイル″product.properties″を確認し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00126-E	プロパティファイル ″＜ファイル名＞″ の読み込みに失敗しました。エラーの詳細：″＜エラーの詳細＞″	エラーの原因を取り除き，Device Managerサーバを再起動してください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00150-E	Device Manager Server KeyStore にエントリ名 ″＜エントリ名＞″ を見つけられません。	Device Managerサーバをセキュアモードで使用するにはDevice Manager Server KeyStoreにエントリーが必要です。
KAIC00180-E	共通コンポーネントがインストールされていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00181-E	共通コンポーネントのインストール先設定に失敗しました。	″server.properties″の″server.base.home″を確認の上，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00182-E	共通コンポーネント位置情報取得に失敗しました。"＜メソッド名＞"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00183-E	Provisioning Manager 起動処理でエラーが発生しました。"＜メソッド名＞"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00184-E	ストレージシステムを管理するのに必要なディレクトリがありません。Device Managerの環境が不正です。（ディレクトリ名："＜ディレクトリ名＞"）	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00200-E	Device Managerサーバの初期化に失敗しました。：不正なRMI port番号 "＜ポート番号＞" が指定されました。	Device Managerサーバのマニュアルを参照し，"server.properties"の値を確認した後，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00300-E	SNMP Trap受け付け用のポート"＜ポート番号＞" を確保できませんでした。そのポートはすでにほかのソフトウェアが使用しています。	そのポートを使用しているソフトウェアを終了させるか，"dispatcher.properties" の"server.dispatcher.daemon.receiveTrap" にfalse を設定し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00350-E	操作種別が指定されていません。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00351-E	操作種別の値が不正です。指定できる値は＜指定可能な値の一覧(カンマ区切りで列挙)＞です。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00352-E	＜パラメーター名＞が指定されていません。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00353-E	＜パラメーター名＞の値が不正です。指定できる値は＜パラメーターに指定可能な値の一覧(カンマ区切りで列挙)＞です。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00354-E	＜パラメーター名＞の値の長さが不正です。指定できる長さは＜指定可能な最小の文字数＞文字以上＜指定可能な最大の文字数＞文字以下です。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00355-E	＜パラメーター名＞の値に使用できない文字が含まれているか，先頭または末尾に空白文字が指定されています。使用できるのは次の文字です。A～Z a～z 0～9 半角スペース ＜指定可能な記号＞	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00356-E	--security_levelを＜--security_levelの値＞にする場合は＜指定する必要があるパラメーター名の一覧＞を指定する必要があります。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00357-E	--encrypt_protocolを変更する場合は--encrypt_keyも変更する必要があります。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00358-E	指定したSNMPトラップ受信用のユーザー"＜SNMPトラップ受信用	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	のユーザーの名前＞″は登録されていません。	
KAIC00359-E	指定したSNMPトラップ受信用のユーザー″＜SNMPトラップ受信用のユーザーの名前＞″はすでに登録されています。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00360-E	コンフィグレーションファイル″＜ファイル名＞″が読み込めません。	メッセージに表示されているコンフィグレーションファイルを確認してください。
KAIC00361-E	SNMPトラップ受信用のユーザーの更新をDevice Managerサーバに通知する処理でエラーが発生しました。	次のことを確認してください。 ・ localhostが正しく名前解決できること。 ・ Device Managerサーバが起動していること。
KAIC00362-E	要求が不正です。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00363-E	SNMPトラップ受信用のユーザーの反映処理のレスポンスを作成できません。	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00364-E	SNMPトラップを受信する設定がされていないため，Device ManagerサーバにSNMPトラップ受信用のユーザー情報を反映できません。	″dispatcher.properties″ の ″server.dispatcher.daemon.receiveTrap″ に ″true″ を設定し，Device Managerサーバを再起動してください。そのあとにストレージシステムからテスト用のSNMPトラップを送信して，SNMPトラップ受信用のユーザー情報が反映されているかを確認してください。テスト用のSNMPトラップの送信については、『SNMP Agent ユーザガイド』を参照してください。
KAIC00370-E	SNMPトラップ受信用のユーザーの更新は成功しましたが，Device Managerサーバに反映できませんでした。	一緒に表示されるエラーメッセージに従って対処してください。そのあとにDevice Managerサーバを再起動し，ストレージシステムからテスト用のSNMPトラップを送信して，SNMPトラップ受信用のユーザー情報が反映されているかを確認してください。テスト用のSNMPトラップの送信については、『SNMP Agent ユーザガイド』を参照してください。
KAIC00405-E	Eメール通知機能で，予期しないエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00407-E	メール送信処理でエラーが発生しました。（未送信メール：（あて先メールアドレス：″＜あて先メールアドレス＞″），アラート：（messageID：″＜アラートID＞″，number：″＜番号＞″，type：″＜タイプ＞″，source：″＜発生元＞″，severity：″＜重要度＞″，component：″＜コンポーネント＞″，description：″＜説明＞″，actionToTake：″＜対処方法＞″，data：″＜データ＞″，timeOfAlert：″＜発生時刻＞″）））	以下の環境と設定を見直してください。 ・ SMTPサーバの起動状態と設定 ・ ネットワークの状態

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00408-E	SMTPサーバとの接続に失敗しました。（SMTPサーバ：（host：″＜ホスト名またはIPアドレス＞″，port：″＜ポート番号＞″），未送信メール：（あて先メールアドレス：″＜あて先メールアドレス＞″），アラート：（messageID：″＜アラートID＞″，number：″＜番号＞″，type：″＜タイプ＞″，source：″＜発生元＞″，severity：″＜重要度＞″，component：″＜コンポーネント＞″，description：″＜説明＞″，actionToTake：″＜対処方法＞″，data：″＜データ＞″，timeOfAlert：″＜発生時刻＞″））	以下のメール送信に関する設定と環境を見直してください。 ・メール送信用のプロパティの設定値 ・SMTPサーバの起動状態と設定 ・ネットワークの状態
KAIC00409-E	認証に失敗したため，SMTPサーバに接続できませんでした。（SMTPサーバ：（host：″＜ホスト名またはIPアドレス＞″，port：″＜ポート番号＞″），未送信メール：（あて先メールアドレス：″＜あて先メールアドレス＞″），アラート：（messageID：″＜アラートID＞″，number：″＜番号＞″，type：″＜タイプ＞″，source：″＜発生元＞″，severity：″＜重要度＞″，component：″＜コンポーネント＞″，description：″＜説明＞″，actionToTake：″＜対処方法＞″，data：″＜データ＞″，timeOfAlert：″＜発生時刻＞″））	SMTPサーバ側の設定で，該当するユーザーを認証できるようにしてください。また，SMTP認証ユーザー情報設定コマンドを使って，SMTP認証ユーザー情報（ユーザーIDおよびパスワード）を再設定してください。
KAIC00410-E	プロパティに指定された値が不正です。デフォルト値で動作します。（ファイル名：″＜ファイル名＞″，プロパティ名：″＜プロパティ名＞″，指定した値：″＜指定した値＞″，デフォルト値：″＜デフォルト値＞″）	デフォルト値の動作で問題なければ，対処の必要はありません。デフォルト値から変更する場合は，プロパティを正しく設定し，Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC00411-E	SMTPサーバに接続するための認証用情報が設定されていません。SMTP認証をしないで，Eメールを送信します。	SMTP認証ユーザー情報設定コマンド（hdvmmodmailuser）を使って，SMTP認証ユーザー情報（ユーザーIDおよびパスワード）を設定してください。SMTP認証をしない場合は，対処の必要がありません。
KAIC00412-E	あて先メールアドレスが不正です。（ユーザーID：″＜ユーザーID＞″，あて先メールアドレス：″＜あて先メールアドレス＞″）このユーザーIDに対して，Eメールを送信しません。	ユーザー管理機能のプロファイルの編集ダイアログで，正しいアドレスを指定してください。
KAIC00413-E	テンプレートファイルがありません。（テンプレートファイル	表示されたテンプレートファイルがあるかどうか確認してください。デフォルトのテンプ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	パス名：″＜テンプレートファイルパス名＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	レートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00414-E	テンプレートファイルの読み込みでエラーが発生しました。（テンプレートファイルパス名：″＜テンプレートファイルパス名＞″，詳細情報：″＜詳細情報＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	詳細情報を参照して，エラーの原因を取り除いてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00415-E	テンプレートファイルのサイズが大き過ぎます。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，テンプレートファイルのサイズ（バイト数）：″＜テンプレートファイルのサイズ（バイト数）＞″，ファイルサイズの上限（バイト数）：″＜ファイルサイズの上限（バイト数）＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	テンプレートファイルの内容を見直して，サイズを小さくしてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00416-E	無効なヘッダーがあります。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，行番号：″＜行番号＞″，ヘッダー名：″＜ヘッダー名＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダー名の文字列を見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00417-E	指定されていないヘッダーがあります。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，ヘッダー名：″＜ヘッダー名＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00418-E	同一のヘッダー名が複数回指定されています。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，行番号：″＜行番号＞″，ヘッダー名：″＜ヘッダー名＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	テンプレートファイル内に指定しているヘッダーを見直してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00419-E	テンプレートファイルのヘッダー部分に無効な行があります。ヘッダー名とヘッダー内容は″:″で区切ってください。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，行番号：″＜行番号＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	テンプレートファイル中のエラーが発生した行に，区切り文字″:″が含まれているか確認してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00420-E	テンプレートファイルの1行の長さが長過ぎます。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″，行番号：″＜行番号＞″，検出された長さ（バイト数）：″＜検出された長さ（バイト数）＞″，長さの上限（バイト数）：″＜長さの上限（バイト数）＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	表示されたテンプレートファイルの内容を見直して，1行の長さを短くしてください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00422-E	入力したSMTP認証ユーザーIDが不正です。	1 ～ 64バイトの範囲内で，SMTP認証ユーザーIDを正しく入力してください。SMTP認証ユーザーIDに使用できるのは，次の文字です。 A ～ Z，a ～ z，0 ～ 9，-（ハイフン），_（アンダーバー），.（ピリオド），，（コンマ），@，!，#，$，%，&，’，(，)，*，+，=，?，^，｜
KAIC00423-E	入力したSMTP認証パスワードが不正です。	0～ 64バイトの範囲内で，SMTP認証パスワードを正しく入力してください。SMTP認証パスワードに使用できるのは，次の文字です。 A ～ Z，a ～ z，0 ～ 9，-（ハイフン），_（アンダーバー），.（ピリオド），，（コンマ），@，!，#，$，%，&，’，(，)，*，+，=，?，^，｜ パスワードは省略できます。
KAIC00424-E	Device ManagerのユーザーIDまたはパスワードが不正です。	正しいユーザーIDとパスワードを指定してください。
KAIC00425-E	入力したDevice Managerのユーザーは，コマンドを実行する権限がありません。	Device ManagerのAdmin権限を持つユーザーでコマンドを実行してください。
KAIC00426-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00427-E	コマンドの書式が不正です。	コマンドの書式を見直してください。
KAIC00428-E	テンプレートファイルにはヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。（テンプレートファイル名：″＜テンプレートファイル名＞″）デフォルトのテンプレートファイルを使用して，Eメールを送信します。	ヘッダー部分の末尾に空行を追加してください。デフォルトのテンプレートファイルを使用する場合は，対処の必要はありません。
KAIC00500-E	リクエスト中に不正なフォーマットのデータが含まれています。	リクエストを修正し，再実行してください。
KAIC00501-E	Device Managerサーバは指定されたストレージシステムをサポートしていません。説明=″＜デバイス＞″	リクエスト中のIPアドレスを確認してください。IPアドレスに間違いがなければストレージシステムの構成エラーのおそれがあります。
KAIC00505-E	Device Managerサーバは指定したアレイファミリーをサポートしていません。	アレイファミリーを確認してください。
KAIC00506-E	ストレージシステムに対し，重複してLUN Scanしようとしました。	指定したストレージシステムはLUN Scan中ですので処理が終わるまでお待ちください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00507-E	実行されたコマンド"＜コマンド名＞"は当APIバージョンではサポートしていません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC00508-E	実行されたコマンド"＜コマンド名＞"は当APIバージョンのアレイファミリー"＜アレイファミリー名＞"ではサポートしていません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC00509-E	このDevice ManagerサーバはAPIバージョン"＜バージョン＞"をサポートしていません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC00510-E	対象のストレージシステムは"＜ストレージシステムファミリー＞"というファミリーではありません。	指定が正しいかどうかを確認してください。
KAIC00511-E	ストレージシステム名称 "＜ストレージシステム名＞" は正しく定義されていません。	設定ファイルのストレージシステム名称の対応が正しいかどうかを確認してください。
KAIC00513-E	リクエストで参照されているサーブレット名 "＜XMLサーブレット名＞" が，指定されたサーブレット "＜指定サーブレット名＞" と一致しません。	サーブレット名を確認してください。
KAIC00514-E	実行されたコマンド"＜指定API名＞"はDevice Managerサーバでサポートしていません。	API名を確認してください。
KAIC00515-E	実行したコマンド"＜コマンド名＞"はこのAPIバージョンでは指定したアレイファミリーをサポートしていません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC00516-E	Device Managerサーバは指定したアレイタイプをサポートしていません。	アレイタイプを確認してください。
KAIC00530-E	このDevice Managerサーバはこのストレージシステムに対するAPIバージョン"＜バージョン＞"での操作をサポートしていません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC00600-E	内部エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00601-E	不正なパラメータを持つオブジェクトがあります。	オブジェクトを確認してください。
KAIC00604-E	共通コンポーネント ロギングサービスの初期化に失敗しました。	共通コンポーネントがインストールされていることを確認してください。
KAIC00650-E	データベースのコマンド"＜データベースのコマンド名＞"が実行できません。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞"，リターンコード="＜コマンドのリターンコード＞"，標準出力="＜コマンド実行時の標準出力＞"，標準エラー出力="＜コマンド実行時の標準エラー出力＞"）	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00651-E	データベースのコマンド"＜データベースのコマンド名＞"実行に対するデータベースからの応答がありません。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞"，標準出力="＜コマンド実行時の標準出力＞"，標準エラー出力="＜コマンド実行時の標準エラー出力＞"） データベースが正しく動作していないおそれがあります。	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00652-E	データベースのコマンド"＜データベースのコマンド名＞"実行中に内部エラーが発生しました。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞"）	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00653-E	データベースのバックアップができません。ほかのプロセスがデータベースのバックアップ，またはリストアを実行中です。	しばらくしてから，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00654-E	データベースのリストアができません。ほかのプロセスがデータベースのバックアップ，またはリストアを実行中です。	しばらくしてから，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00655-E	ほかのプロセスが処理中です。	しばらくしてから，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00656-E	プロパティ"＜プロパティファイル名＞"に書き込めません。＜プロパティファイル配置ディレクトリ＞ディレクトリや＜プロパティファイル名＞プロパティに書き込みができることを確認したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	＜プロパティファイル配置ディレクトリ＞ディレクトリや＜プロパティファイル名＞プロパティに書き込みができることを確認したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00657-E	データベースをバックアップするためのディレクトリ"＜ディレクトリ名＞"が作成できません。	次の条件をすべて確認したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 1. バックアップ用ディレクトリと同名のディレクトリ，またはファイルがない。 2. バックアップ用ディレクトリの親ディレクトリへの書き込みができる。
KAIC00660-E	＜PP名＞ 共通コンポーネントのコマンド"＜コマンド名＞"が実行できません。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞"，リターンコード="＜コマンドのリターンコード＞"，標準出力="＜コマンド実行時の標準出力＞"，標準エラー出力="＜コマンド実行時の標準エラー出力＞"）	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00661-E	＜PP名＞ 共通コンポーネントのコマンド"＜コマンド名＞"の応答がありません。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞", 標準出力="＜コマンド実行時の標準出力＞", 標準エラー出力="＜コマンド実行時の標準エラー出力＞"） ＜PP名＞共通コンポーネントが正しく動作していないおそれがあります。	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00662-E	＜PP名＞ 共通コンポーネントのコマンド"＜コマンド名＞"の実行中に内部エラーが発生しました。（コマンドの引数="＜コマンドの引数＞"）	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00663-E	バックアップファイルまたはアンロードログファイルを移動できません。（ファイル名="＜ファイル名＞", 移動先ディレクトリ名="＜ディレクトリ名＞"）	ディレクトリに書き込みができることを確認したあと，バックアップを再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00664-E	データベースが閉塞しています。原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00666-E	指定したバックアップファイル名"＜backup file absolute path＞"が誤っています。バックアップファイル名は絶対パスで入力する必要があります。コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00667-E	指定したファイルまたはディレクトリ"＜backup file absolute path＞"が誤っています。次の文字を用いて，136文字以内の絶対パスで指定してください。"＜following characters＞"	次の文字を用いて，136文字以内の絶対パスで指定してください。"＜following characters＞"
KAIC00668-E	指定したバックアップファイル名"＜backup file absolute path＞"はディレクトリに書き込みできないため作成できないか，すでにあります。別のディレクトリを指定するか，新しいバックアップファイル名を指定して，再実行してください。	別のディレクトリを指定するか，新しいバックアップファイル名を指定して，再実行してください。
KAIC00669-E	指定したバックアップファイル名"＜backup file absolute path＞"は，自動バックアップディレクトリとして使用している"＜backup directory absolute path＞"の中に作成できません。別のディレクトリを指定して，再実行してください。	別のディレクトリを指定して，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00670-E	"<option name>"オプションと"<option name>"オプションは同時に指定できません。コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00671-E	パラメーターが指定されていません。"<option name>"オプションまたは"<option name>"オプションのどちらかを指定してください。	"<option name>"オプションまたは"<option name>"オプションのどちらかを指定してください。
KAIC00672-E	指定したファイルまたはディレクトリ"<backup file or work directory>"が見つかりません。コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00673-E	ディレクトリ"<backup dir path>"の中で，バックアップが一回も実行されていないため，リストアできません。-backupfileオプションでバックアップファイルを直接指定してリストアしてください。	-backupfileオプションでバックアップファイルを直接指定してリストアしてください。
KAIC00677-E	指定した時間"<specified time>"がバックアップの取得を開始した日時よりも古いため，リストアできません。コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00678-E	指定した時間"<specified time>"が未来の時間のため，リストアできません。コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。	コマンドの入力内容を見直してから再実行してください。
KAIC00682-E	"<copy target file absolute path>"ファイルのコピーに失敗したため，"<new backup directory path>"ディレクトリを使用する設定ができません。次の条件をすべて確認したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 (1) 対象のディレクトリにコピー対象のファイルと同名のファイルがない。 (2) 対象のディレクトリに書き込みできる。 (3) コピー対象のファイルが使用中でなく，アクセス権限がある。	次の条件をすべて確認したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 1. 対象のディレクトリにコピー対象のファイルと同名のファイルがない。 2. 対象のディレクトリに書き込みできる。 3. コピー対象のファイルが使用中でなく，アクセス権限がある。
KAIC00683-E	バックアップできません。バックアップディレクトリ，またはアンロードディレクトリに使用できないディレクトリを指定しているおそれがあります。別のディレクトリを指定して，再実行してください。対処したあとも繰り返しエ	別のディレクトリを指定して，再実行してください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	
KAIC00685-E	″＜databasebackup or databaserestore＞″を実行するためには，″＜HDvM＞″を停止する必要があります。″＜HDvM＞″を停止させてから，再実行してください。	″＜HDvM＞″を停止させてから，再実行してください。
KAIC00686-E	データベースを認識できません。データベースファイル格納先フォルダが参照できません。データベースファイル格納先フォルダが認識できる事を確認してから，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	データベースファイル格納先フォルダが認識できる事を確認してから，再実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC00689-E	ファイルまたはディレクトリ″＜file absolute path＞″の操作に失敗しました。ファイルまたはディレクトリのアクセス状況，またはアクセス権限を確認してください。	ファイルまたはディレクトリのアクセス状況，またはアクセス権限を確認してください。
KAIC00700-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00800-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00801-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00807-E	起動に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00810-E	指定されたプログラムを起動するのに必要なパラメータ ″＜パラメータ名＞″ がありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00811-E	共通コンポーネントエラーによって，Device Managerが起動できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00812-E	ファイルアクセスエラーによって，Device Managerが起動できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00815-E	入出力エラーが発生したため，ライセンスの更新に失敗しました。	操作環境を確認してください。確認後にもエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00816-E	入出力エラー発生によって，Device Managerが起動できません。	操作環境を確認してください。確認後にもエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00817-E	入出力エラーが発生したため，起動できません。	操作環境を確認してください。確認後にもエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00819-E	″＜実行しようとした機能＞″の起動方法が正しくありません。	Device Manager Web Clientで″＜実行しようとした機能＞″を起動してください。
KAIC00825-E	ラウンチに必要なパラメータが不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00828-E	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行していないため，起動できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC00835-E	対象のストレージシステムはラウンチをサポートしていません。(マイクロコードバージョン="＜マイクロコードバージョン＞")	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC00836-E	連携機能の登録に失敗しました(原因="＜原因＞")。少し時間をおいてから再度操作を行ってください。	・ストレージシステムへのアクセスが競合している可能性があります。少し時間をおいてから再度操作を行ってください。再度操作を行ってもエラーが発生する場合は，"server.properties"ファイルの"server.http.host"に設定されている値が不正の可能性があります。Device Managerサーバのマニュアルを参照し，"server.http.host"の設定内容を見直してください。設定を変更した場合はDevice Managerサーバを再起動してください。 ・ストレージシステムとDevice Managerサーバの間にファイアウォールを構築している場合は設定を確認してください。 ・これらの対処を行ってもエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00839-E	Storage Navigatorの起動中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00840-E	ラウンチに失敗しました。ストレージシステム上で有償オプションの構成が変更されている可能性があります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと，再実行してください。
KAIC00843-E	ラウンチに失敗しました。現在のDevice Managerサーバの設定では指定したストレージシステムに対するラウンチを実行できません。	指定したストレージシステムをIPv6のIPアドレスで管理している場合，server.propertiesファイルのserver.http.hostプロパティにIPv6のIPアドレス，またはホスト名を指定してください。
KAIC00857-E	ほかの製品との連携用データベースユーザーの設定処理中に，内部エラーが発生しました。	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00860-E	指定されたストレージシステムはDevice Managerデータベースにありません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC00861-E	ストレージシステムとの通信に失敗しました。	保守情報を取得して，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC00862-E	セッションが無効です。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC00863-E	一時ファイル"＜file path＞"が削除できません。ファイルが使用中か，アクセス権限がありません。対象のファイルを確認し，手動で削除してください。	対象のファイルを確認し，手動で削除してください。
KAIC00880-E	The command execution is failed because an I/O error	Verify the operating environment. If this problem continues, contact Support.

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	occurred. (error details = ″＜error-details＞″)	
KAIC01000-E	特定不能なXMLエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC01001-E	XMLエラー：文法エラー‹″＜XMLパーサのエラーメッセージ＞″›です。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01003-E	XMLエラー：送信されたエンティティはXMLではありません。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01011-E	″＜属性名＞″パラメータの値″＜属性の値＞″が無効です。″＜属性のデータ型＞″タイプを入力してください。	″＜属性のデータ型＞″タイプの値を入力してください。
KAIC01012-E	XMLエラー：内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC01013-E	XMLリクエスト中に不正なエレメント″＜エレメント名＞″が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01014-E	XMLリクエスト中のエレメント″＜エレメント名＞″に不正なパラメータ″＜パラメータ名＞″が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01015-E	XMLリクエスト中のエレメント″＜エレメント名＞″のパラメータ″＜パラメータ名＞″に不正な値が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01016-E	XMLリクエスト中のエレメント″＜親エレメント名＞″に不正な子エレメント″＜子エレメント名＞″が指定されています。	リクエスト記述を確認してください。
KAIC01017-E	リクエストの実行に失敗しました。現在のライセンスでは，リクエストしたユーザーからのコマンドを実行できません。	このコマンドはCore Licenseで許可されているユーザーから実行してください。
KAIC01018-E	リクエストの実行に失敗しました。現在のライセンスでは，このコマンドを実行できません。	このコマンドはFull Licenseでなければ実行できません。
KAIC01019-E	ライセンスが不正です。	Full LicenseまたはCore Licenseを設定してください。
KAIC01021-E	コマンドオプション2の形式が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC01022-E	コマンドオプション2に名前″＜オプション名＞″が複数指定されています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC01023-E	XMLリクエストに失敗しました。ネットワークに障害が発生しているか，一時的にサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。しばらくしてから，再度操作を実行してください。	しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC01024-E	内部エラーが発生しました。"<クラス名>"クラスのインスタンスの生成，または起動に失敗しました。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC02001-E	重複したユーザーグループ名は認められません。	ユーザーグループ名を変更してください。
KAIC02002-E	指定されたユーザーグループはDevice Managerデータベース内に見つかりません。	ユーザーグループ名を確認してください。
KAIC02004-E	指定されたACLルールはDevice Managerデータベース内に見つかりません。	ACLルールIDを確認してください。
KAIC02006-E	ユーザーIDまたはユーザーパスワードが間違っています。	ユーザーIDまたはユーザーパスワードを確認してください。
KAIC02007-E	重複したユーザーIDは認められません。	Device Manager ACLデータベースには重複したユーザーIDを登録できません。ユーザーIDを変更してください。
KAIC02009-E	Device Managerデータベース内に該当するレコードが見つかりません。	対処の必要はありません。
KAIC02010-E	重複したレコードは認められません。	対処の必要はありません。
KAIC02011-E	ユーザー"<ユーザーID>"には実行中のリクエストがあります。ユーザーを削除できません。	実行中のリクエストが終了してから削除してください。
KAIC02012-E	指定されたユーザーグループをこのAPIバージョンで追加することはできません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC02013-E	このAPIバージョンでは指定されたユーザーグループにユーザーを追加することはできません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC02014-E	アクセス権限エラーです。	ユーザーのアクセス権限を確認してください。
KAIC02015-E	アクセス権限情報取得時に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02016-E	指定された論理グループはすでに別のユーザーグループで使用されています。	ユーザーグループが未使用の論理グループを指定してください。
KAIC02017-E	指定されたユーザーグループにはすでに論理グループが関連づけられています。	既存の関連を削除し，再度論理グループとの関連づけを行ってください。
KAIC02018-E	指定されたユーザーグループにはユーザーが登録されています。	ユーザーグループからすべてのユーザーを削除し，再度コマンドを実行してください。
KAIC02019-E	指定された論理グループ下にユーザーグループが登録されています。	論理グループ下のすべてのユーザーグループを削除し，再度コマンドを実行してください。
KAIC02020-E	指定された論理グループにはユーザーグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し，そこにパスを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC02021-E	ログインユーザーに権限のないObjectID ″＜オブジェクトID＞″が指定されました。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02022-E	ログインユーザーは指定されたホスト″＜ホスト名＞″の権限を持っていません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02024-E	権限外のLDEVにパスを追加することはできません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02025-E	権限外のLDEVに設定されたパスを削除することはできません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02026-E	ログインユーザーの権限ではストレージシステムを新規登録できません。	ストレージシステムの新規登録はGlobal Adminユーザーまたは Global Storage Admin ユーザーで行ってください。
KAIC02027-E	ログインユーザーの権限ではストレージシステムを削除できません。	ストレージシステムの削除はGlobal Admin ユーザーまたは Global Storage Adminユーザーで行ってください。
KAIC02028-E	ログインユーザーに権限のないオブジェクトが指定されました。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02030-E	ユーザー″＜ユーザーID＞″には，このAPIに対する実行権限がありません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02032-E	ログインユーザーは，自分のロールを変更できません。	ログインユーザーの権限を確認してください。
KAIC02034-E	ユーザーグループ名は無効です。25バイト以下にする必要があります。	ユーザーグループ名は25バイト以下で入力してください。
KAIC02035-E	指定されたACLルールは Device Managerデータベース内にすでに存在します。	ルールの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC02036-E	削除対象のLDEVに関連するパスが論理グループ″＜論理グループ名＞″に登録されています。	削除対象のLDEVに関連するパスを論理グループから削除してください。
KAIC02037-E	指定されたユーザーIDはDevice Managerで予約されているため，本操作を実行することはできません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02038-E	Storage port ″＜ホスト名＞″ には権限を設定できません。	指定を見直してください。
KAIC02040-E	ビルトインユーザーグループは削除できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02041-E	自分が属しているユーザーグループを削除できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02042-E	ビルトインユーザーグループは変更できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02043-E	自分が属しているユーザーグループを変更できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02044-E	自分は削除できません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02045-E	共通ユーザー情報としてほかの製品でも使用されているユーザーは削除できません。	ユーザーの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC02046-E	指定したユーザーに対しては要求された操作を実行できません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02047-E	指定したACLルールIDは無効です。削除できません。	ACLルールの指定を見直してください。
KAIC02048-E	指定したユーザーグループ名は予約されているので使用できません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02050-E	″＜ロール名＞″ロールと″＜ロール名＞″ロールは同時に指定できません。	ロールの指定を見直してください。
KAIC02051-E	指定したリソースグループには″＜ロール名＞″ロールを設定できません。	ロールの指定を見直してください。
KAIC02052-E	″＜ロール名＞″ロールを重複して指定しています。	ロールの指定を見直してください。
KAIC02053-E	All Resourcesとユーザー定義のリソースグループは同じユーザーグループに割り当てられません。	リソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC02054-E	同じストレージシステムのデフォルトリソースグループとユーザー定義リソースグループは，同じユーザーグループに割り当てられません。	リソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC02055-E	指定した＜エレメント名＞（オブジェクトID=″＜オブジェクトID＞″）は，すでに指定したリソースグループ（オブジェクトID=″＜オブジェクトID＞″）に所属しているため，移動できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC02056-E	必要な権限がありません。割り当てられている権限を確認してください。	User Managementに対するAdmin権限を取得してください。
KAIC02057-E	リソースグループは少なくとも1つのリソースを持つ必要があります。そのため，すべてのリソースは削除できません。	リソースグループ内のすべてのリソースを解放する場合は，リソースグループを削除してください。
KAIC02058-E	指定した＜構成要素名＞（＜属性名＞=″＜属性値＞″）は指定のリソースグループ（＜属性名＞=″＜属性値＞″）に所属していません。	リソースの指定を見直してください。
KAIC02059-E	ボリュームID（オブジェクトID=″＜オブジェクトID＞″）はプールボリュームであるため，VolumeIDエレメントに指定できません。指定したボリュームIDに対応するプールをJournalPoolエレメントに指定してください。	指定したボリュームIDに対応するプールをJournalPoolエレメントに指定してください。
KAIC02060-E	指定したプール（プールID=″＜プールID＞″）は，ほかのリソースグループ（＜プールが所属しているリソースグループ	プールとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ID＞）に所属しているため，リソースグループ（＜指定したリソースグループID＞）に追加できません。	
KAIC02061-E	プール（オブジェクトID=″＜オブジェクトID＞″）はDPプールではないため，JournalPoolエレメントに指定できません。指定したプールのプールボリュームをVolumeIDエレメントに指定してください。	指定したプールのプールボリュームをVolumeIDエレメントに指定してください。
KAIC02100-E	ログインユーザーはDevice Managerの機能を使用する権限がありません。	Device Managerの機能を使用できるユーザーで再実行してください。
KAIC02101-E	ログインユーザーはユーザーグループに属していないので，Device Managerの機能を使用できません。	Device Managerの機能を使用できるユーザーで再実行してください。
KAIC02150-E	権限のないジャーナルグループは使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。ジャーナルグループを使用するには，ジャーナルグループを構成するすべてのボリュームに対する権限が必要です。
KAIC02250-E	権限のないLDEVに関係する＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランは指定できません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02251-E	権限のないLDEVをソースボリュームに指定することはできません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02252-E	権限のないLDEVをターゲットボリュームに指定することはできません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02253-E	権限のないLDEVに対して，＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームの設定および解除はできません。	ログインユーザーのACLルールを確認してください。
KAIC02500-E	共通ユーザー情報の操作時に特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02501-E	共通ユーザー管理機能でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02502-E	ユーザーグループの情報に共通ユーザー情報と異なる部分を発見しました。	共通ユーザー情報が最新の情報を保持していないおそれがあります。Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC02503-E	指定したユーザーは共通ユーザー情報に登録されていません。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02504-E	指定したユーザーは共通ユーザー情報にすでに登録されています。	ユーザーの指定を見直してください。
KAIC02505-E	指定したユーザーグループは共通ユーザー情報に登録されていません。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC02506-E	指定したユーザーグループは共通ユーザー情報にすでに登録されています。	ユーザーグループの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC02507-E	共通ユーザー管理機能を利用できません。	共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。
KAIC02508-E	この操作は不正です。実行できません。	操作を見直してください。
KAIC02509-E	外部認証サーバとの通信に失敗しました。	次の対処をしてください。 外部認証サーバがLDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmdsldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。 外部認証サーバがRADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmdsradiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC02510-E	＜リソース種別＞に対し，必要な権限がありません。割り当てられているロールを確認してください。	割り当てられているロールを確認してください。
KAIC02511-E	必要な権限がありません。割り当てられているロールを確認してください。	割り当てられているロールを確認してください。
KAIC03000-E	特定不能なデータベースエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03001-E	指定したオブジェクトがDevice Managerのデータベース内に見つかりません。	指定したオブジェクトを確認してください。
KAIC03002-E	指定したオブジェクト名の変更はサポートされていません。	名前を変更するには対象となるオブジェクトを削除してから再登録してください。
KAIC03003-E	Device Managerデータベースへのアクセスができません。	内部エラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03004-E	データベースマネージャの操作は無効です。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC03005-E	データベースのクエリ中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03006-E	データベースの挿入時にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03007-E	データベースのアップデート中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03008-E	データベースの削除中にエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03009-E	データベースの"＜カラム名＞"カラムが結果の中に見当たりません。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03010-E	"＜カラム名＞"カラムのフォーマットの結果，データベースエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03011-E	データベースとの接続に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03012-E	データベース接続の切断に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03013-E	データベーストランザクションのコミットに失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03014-E	データベーストランザクションのロールバックに失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03015-E	データベーストランザクションのコミットまたはロールバックに失敗しました。実行中の処理は中断されました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03016-E	項目のけた数が最大値を超えています。入力項目を確認してください。	入力した値を見直してください。
KAIC03017-E	データベースロックの競合によって，要求された更新処理のすべてまたは一部が失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03018-E	データベースのマイグレーション処理に失敗しました。（リターンコード="＜リターンコード＞"）	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03019-E	文字コードの変換処理が失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03020-E	空きページ解放コマンドの実行に失敗しました。（対象="＜解放対象＞"）	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03021-E	データベースの更新コマンドの追加に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03022-E	Device Managerのサーバが使用するDBが閉塞しました。閉塞した部位は，共通コンポーネントです。サーバ管理者に連絡してください。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC03023-E	Device Managerのサーバが使用するDBが閉塞しました。閉塞した部位は，Device Managerのデータ	サーバ管理者に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ベースです。サーバ管理者に連絡してください。	
KAIC03050-E	テーブル ″＜テーブル＞″ のIDが上限を超えました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03051-E	データベースのアクセス時に″＜型名＞″型のマッピングを解決できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03052-E	テーブル″＜テーブル名＞″（″＜キー＞″）の初期化を重複して行おうとしました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03100-E	Device Managerデータベースへの接続エラーです。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03140-E	内部エラーが発生しました。ストレージシステムの使用容量を算出できません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03143-E	内部エラーが発生しました。データベースからレプリケーション情報を取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03144-E	内部エラーが発生しました。データベースからライセンスキー情報を取得できませんでした。（要因:″＜要因＞″）	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03145-E	内部エラーが発生しました。データベースからストレージシステムに関するレコードを削除できませんでした。（要因:″＜要因＞″）	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03147-E	内部エラーが発生しました。″＜テーブル名＞″テーブルの状態を管理する情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03148-E	内部エラーが発生しました。″＜テーブル名＞″テーブルに設定する情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03149-E	内部エラーが発生しました。データベースから仮想化サーバの情報の取得に失敗しました。（テーブル名:″＜テーブル名＞″）	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03150-E	内部エラーが発生しました。＜テーブル名＞テーブルに番号″＜番号＞″がありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03402-E	共通コンポーネントへのログイン時に，通信エラーが発生しました。	共通コンポーネントの起動を確認後，再び実行してください。
KAIC03403-E	共通コンポーネントへのログインに失敗しました。アプリケーション ″＜ApplicationName＞″ はログインできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03404-E	共通コンポーネントへのログイン時，認証に失敗しました。″＜UserID＞″	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC03405-E	共通コンポーネントへのログイン時に，共通コンポーネントでエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03406-E	共通コンポーネントデータベースへの接続時にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03410-E	共通コンポーネントのデータベース操作時にエラーが発生しました。CIMError:"＜エラーコード＞"	共通コンポーネントデータベースとDevice Managerデータベースの間に不整合が発生したおそれがあります。"server.properties"ファイルの"server.base.initialsynchro"プロパティに"true"を設定し，Device Manager Serverを再起動してから本操作を実行してください。それでも発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03411-E	共通コンポーネントと同期するためのDevice Managerの情報取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03412-E	共通コンポーネントのデータベース更新時に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03416-E	共通コンポーネントデータベース更新後にDevice Managerデータベースのロールバックを実行しました。そのため共通コンポーネントデータベースとDevice Managerのデータベースの間に不整合が発生しました。	server.propertiesファイルのserver.base.initialsynchroプロパティにtrueを設定してDevice Managerを再起動してください。
KAIC03420-E	共通コンポーネントデータベースへの初期データ登録に失敗しました。	共通コンポーネントのサービスが起動しているかどうかを確認してください。
KAIC03421-E	共通コンポーネントとの同期に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03422-E	共通コンポーネントとの同期判定に失敗しました。"＜StartingState＞"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03423-E	一覧表示用情報との同期に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03440-E	データベースへのアクセスユーザーIDとパスワードの取得に失敗しました。	共通コンポーネントが起動していることを確認してから，Device Managerサーバを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03441-E	データベースの移行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03500-E	ストレージシステムの追加またはリフレッシュ中にデータベースエラーが発生しました。再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC03999-E	Device Managerデータベース機能の初期化エラーです。	サービスが起動しているかどうか，データベースファイルがあるかどうかを確認してください。確認後にもエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC04000-E	"＜データベースの種類＞"データベースへのアクセスに失敗しました。	"＜データベースの種類＞"データベースに問題がないか確認してください。 エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC04001-E	指定したIPアドレス（ホスト名）"＜IPアドレス（ホスト名）＞"を解決できませんでした。	IPアドレス（ホスト名）の指定を見直してください。
KAIC04002-E	指定した"＜IPアドレス＞"は正しい＜プロトコル＞アドレスの形式ではありません。	指定を見直してください。
KAIC04100-E	内部エラーが発生しました。不正な形式のIPアドレス "＜IPアドレス＞" を検知しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05000-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05001-E	ストレージシステムでは"＜操作＞"操作をサポートしていません。	Device Managerサーバは指定されたストレージシステムへのリクエストをサポートしていません。
KAIC05002-E	内部エラーが発生しました。ストレージシステムとの通信プロトコルが不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05003-E	ストレージシステムは"＜利用者名＞"によってロックされています。	ストレージシステムはほかの管理アプリケーション利用者によってロックされています。ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムにアクセスしていないかどうかを確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05004-E	ストレージシステムのロックの取得に失敗しました。	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムにアクセスしていないかどうかを確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05008-E	ストレージシステムでの内部リフレッシュでSNMPエラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05009-E	SNMPによる情報取得に失敗しました。	繰り返しエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05010-E	指定した外部ボリューム"＜外部ボリュームの識別情報＞"は使用できません。	外部ボリュームの状態を確認してください。
KAIC05011-E	内部エラーが発生しました。DeviceIdentificationServiceが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05012-E	アレイファミリー"＜アレイファミリー＞"は登録されていません。	トランスポート層に無効な構成が見つかりました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05013-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"のストレージシステムからの認証情報取得中にエラーが発生しました。	デバイス構成情報のポーリング中にエラーが発生しました。エラーが繰り返し起こるならばストレージシステムに問題があるおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05014-E	Device Managerはストレージシステムに対する操作"＜操作＞"をサポートしていません。実行するにはマイクロコードのバージョンが"＜マイクロコードバージョン＞"以上である必要があります。	この操作を実行するにはマイクロコードをバージョンアップしてください。
KAIC05015-E	指定したアレイグループ"＜アレイグループ＞" は指定範囲外です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05016-E	指定したアレイグループ"＜アレイグループ＞"はすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05018-E	指定したPDEV"＜PDEV-ID＞"はすでに使用済みです。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05019-E	指定したLDEV"＜デバイス番号＞"は指定範囲外です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05020-E	指定したLDEV"＜デバイス番号＞"はすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC05022-E	指定したホストモードはストレージシステムで使用できないものです。ストレージシステムの種別の設定が実際と異なります。	正しい機種を指定してストレージシステムを追加し直す必要があります。影響が大きい場合，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05023-E	ストレージシステムに適用できないホストモードが指定されました。	ストレージシステムでサポートされているホストモードか確認してください。
KAIC05024-E	ストレージシステムの機能 "＜機能＞" がありません。	ストレージシステムの機能を確認してください。
KAIC05026-E	Device Managerは指定したストレージシステムをサポートしていないか，ストレージシステムの構成エラーのおそれがあります。	ストレージシステムの指定を見直してください。指定に間違いがなければ顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05027-E	現在の構成では指定されたLUを作成するために必要な数のdevNumがありません。	不要なLUを削除したあと，再実行してください。
KAIC05028-E	＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用するアレイグループが指定されました。Device Managerでは，＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用するボリュームの作成はできません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC05029-E	現在の構成では，指定されたホストグループまたはiSCSIターゲットを作成するために必要なIDの数が足りません。	不要なホストグループまたはiSCSIターゲットを削除したあと，再実行してください。
KAIC05030-E	現在の構成では指定したエミュレーションタイプのLDEVを作成できません。	不要なLUを削除したあと，再実行してください。
KAIC05031-E	指定したエミュレーションタイプはそのアレイグループに指定できません。	アレイグループまたはエミュレーションタイプの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05032-E	エミュレーションタイプ ″<エミュレーションタイプ>″ のアレイグループにはLDEVを作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC05034-E	ストレージシステムの種別が正しくありません。	ストレージシステムの種別の指定を見直してください。
KAIC05035-E	指定したデバイス番号（devNum=″<デバイス番号>″）にエミュレーションタイプ ″<エミュレーションタイプ>″ のLDEVを作成できません。	devNumまたはエミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC05036-E	指定したデバイス番号（devNum=″<デバイス番号>″）は使用できません。	devNumの指定を見直してください。
KAIC05037-E	Device Managerサーバが保持するストレージシステムの情報にストレージシステム側と異なる部分があります。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。ローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。同じエラーが発生する場合，指定したデバイス番号（devNum=″<デバイス番号>″）のLDEVがストレージシステム側で無効化されているおそれがあります。devNumの指定を見直して再実行してください。	Device Managerサーバが最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行したあと，再度実行してください。 同じエラーが発生する場合，指定したLDEVがストレージシステム側で無効化されているおそれがあります。無効化を解除したあとリフレッシュを実行するか，devNumの指定を見直して再度実行してください。
KAIC05040-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンではコマンドデバイスセキュリティの設定および解除をすることはできません。	コマンドデバイスセキュリティの設定および解除をするにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05043-E	指定した仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバが見つかりません。	仮想化サーバ管理プログラム，または仮想化サーバの指定を見直してください。
KAIC05045-E	指定した仮想化サーバから取得した情報と，Device Managerデータベースの情報が一致していません。	Device Managerサーバから仮想化サーバを削除してから，仮想化サーバの情報を再登録してください。
KAIC05050-E	CLPR番号の設定に失敗しました。ほかのプロセスでCLPR番号を設定中です。しばらく時間をおいたあと，操作を再実行してください。	しばらく時間をおいたあと，操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は，Storage Navigatorを使用してCLPRの設定を確認してください。
KAIC05051-E	CLPR番号の設定が完了しませんでした。しばらく時間をおいたあと，Storage Navigatorを使用してCLPRの設定を確認してください。	しばらく時間をおいたあと，Storage Navigatorを使用してCLPRの設定を確認してください。
KAIC05056-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプ，IPアドレス，マイクロプログラムバージョン，接続用ポートの設定，およびネッ	ストレージシステムの設定について，次の内容を確認してください。 ・ タイプ ・ IPアドレス ・ マイクロプログラムバージョン

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トワークの状態を確認してください。	・使用するポート（Device Manager サーバ側とストレージシステム側の両方） ・ネットワークの状態 設定に誤りがなければ，ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05057-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプ，IPアドレス，通信プロトコル，マイクロプログラムバージョン，接続用ポートの設定，およびネットワークの状態を確認してください。	ストレージシステムの設定について，次の内容を確認してください。 ・タイプ ・IPアドレス ・通信プロトコル ・マイクロプログラムバージョン ・使用するポート（Device Manager サーバ側とストレージシステム側の両方） ・ネットワークの状態 設定に誤りがなければ，ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05090-E	このストレージシステムのマイクロコードでは，指定された操作はできません。	指定された操作をするためにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05100-E	内部エラーが発生しました。パラメータ"＜パラメータ＞"が見つからないためにトランスポートサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05101-E	内部エラーが発生しました。トランスポート接続の初期化に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05103-E	指定した仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバに対して，ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05114-E	WSDLファイルが見つかりません。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。（保守情報 = "＜パス情報＞"）	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05200-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"でのSNMP接続の初期化に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプとIPアドレスが正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。	指定されたIPアドレスでのSNMPの初期化でエラーが発生しました。ネットワーク接続エラー，またはストレージシステム上のSNMP構成エラーのおそれがあります。
KAIC05201-E	パラメーターが正しくありません。：＂＜パラメーター＞＂	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC05251-E	指定されたボリュームは，すでにほかの＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランで使用されています。	ボリュームの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05252-E	指定された＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランはストレージシステムにありません。	指定を見直してください。
KAIC05254-E	指定された＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランは，移動が終了していないので削除できません。	指定を見直してください。
KAIC05263-E	ストレージシステムの機能 "＜機能＞"を使用するためのライセンスが登録されていないため，操作できません。ストレージシステムでライセンスを登録してから，再実行してください。ライセンスが登録されていても同じエラーが発生する場合，Device Managerでストレージシステムを更新してから，再実行してください。	ストレージシステムでライセンスを登録してから，再実行してください。ライセンスが登録されていても同じエラーが発生する場合，Device Managerでストレージシステムを更新してから，再実行してください。
KAIC05300-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05302-E	ストレージシステムとの通信に使用するライブラリ読み込みに失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05304-E	ストレージシステムを管理するために必要な権限が割り当てられていません。	ストレージシステムを管理するために必要な権限が割り当てられていることを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05305-E	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムの構成を変更しています。	ネットワーク上のほかの管理アプリケーションがストレージシステムの構成を変更していないことを確認してください。確認後も繰り返しエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05306-E	指定したPDEVは連続していません。	連続したPDEVを指定してください。
KAIC05307-E	PDEV数"＜PDEV数＞"が"＜RAIDタイプ＞"のタイプに合っていません。	RAIDタイプに適したPDEV数を指定してください。
KAIC05308-E	LDEVを削除できません。最後に作成されたLDEVしか削除できません。最後に作成されたLDEVは"＜デバイス番号＞"です。	最後に作成されたLDEVしか削除できません。最後に作成されたLDEVは"＜デバイス番号＞"です。
KAIC05310-E	ストレージシステムへの接続が失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプとIPアドレスが正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。	ストレージシステムのタイプとIPアドレスおよびストレージシステム接続ポート番号が正しいか確認してください。指定に誤りがなければ，ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05312-E	指定されたストレージシステムへこれ以上はコマンドデバイスを追加できません。	指定できるコマンドデバイスの最大数は二つです。不要なコマンドデバイスを削除した後，再実行してください。
KAIC05313-E	ストレージシステムのマイクロコードが実行した API をサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロバージョンを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05314-E	指定されたRAIDタイプが不正です。	設定内容を見直してください。
KAIC05315-E	Device Managerサーバは指定したストレージシステムをサポートしていません。	指定したストレージシステムがDevice Managerでサポートされているか確認してください。
KAIC05350-E	指定したIPアドレス（＜IPアドレス＞）で検出された仮想化サーバの名称（＜ホスト名＞）が，Device Managerに登録されている別のホストの名称と重複しています。	ホスト名を見直し，必要に応じてホスト名を変更してから，再実行してください。
KAIC05390-E	ポート"＜Port名＞"はストレージシステム上にありません。	ポートを確認してください。
KAIC05391-E	コントローラ"＜コントローラ番号＞"はストレージシステム上にありません。	コントローラー番号を確認してください。
KAIC05392-E	ホストストレージドメイン"＜ホストグループ番号＞"はストレージシステム上にありません。	ホストストレージドメインを確認してください。
KAIC05393-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたポートオプション "＜ポートオプション名＞"を設定することはできません。	指定されたポートオプションを設定するにはマイクロコードのバージョンアップが必要です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05395-E	ユーザーの登録に失敗しました。すでに最大数のユーザーが登録されています。	ストレージシステムから不要なユーザーを削除したあと，再実行してください。
KAIC05396-E	ユーザーの登録に失敗しました。指定したユーザーIDはすでに登録されています。	指定したユーザーIDまたはパスワードを見直してから再実行してください。
KAIC05400-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"のストレージシステムへの接続に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプとIPアドレス，およびユーザーID／ユーザーパスワードが正しいかどうかを確認し，ネットワークの接続を確認してください。	HTTP接続に失敗しました。指定されたストレージシステムのタイプとIPアドレス，およびユーザーID／ユーザーパスワードが正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。
KAIC05401-E	指定したストレージシステムからのデータ取得に失敗しました。指定されたユーザーID／ユーザーパスワードが正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。	ネットワーク接続状態やストレージシステムへ接続する際のユーザーID／ユーザーパスワードを確認してください。また，そのストレージシステムに対してリフレッシュを実行して最新の構成情報を確認してください。
KAIC05402-E	指定したストレージシステムの操作に失敗しました。	HTTP POST コマンドの実行に失敗しました。ネットワーク接続状態やストレージシステムへ接続する際のユーザーID／ユーザーパスワードを確認してください。また，そのストレージシステムに対してリフレッシュを実行して最新の構成情報を確認してください。
KAIC05409-E	リクエストで参照しているシャーシは指定したストレージシステムでは無効です。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05420-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05421-E	割り当てできる外部アレイグループがストレージシステムにありません。	不要な外部アレイグループを削除してから再実行してください。
KAIC05422-E	指定した外部アレイグループ"＜外部アレイグループ＞"を作成できません。	外部アレイグループの指定を見直してください。
KAIC05423-E	割り当てできるパスグループがストレージシステムにありません。	不要なパスグループを削除してから再実行してください。
KAIC05424-E	作成するLUの総容量が外部ボリュームの容量を超えているため，LUを作成できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC05425-E	内部エラーが発生しました。パラメーターの値が不正なため，トランスポートサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05430-E	指定した外部ストレージシステムのボリューム（PortID = "＜PortID＞"，ExternalWWN = "＜ExternalWWN＞"，ExternalLun = "＜ExternalLun＞"）が見つかりません。外部ストレージシステムで構成が変更されているおそれがあります。	内部ストレージシステムを更新したあと，外部ストレージシステムを更新してから，再実行してください。
KAIC05431-E	指定した内部ストレージシステムのポート（PortID = "＜PortID＞"）と指定した外部ストレージシステムのポート（ExternalWWN = "＜ExternalWWN＞"）の組み合わせでは内部ストレージシステムと外部ストレージシステムの接続およびゾーニングの設定が確認できませんでした。内部ストレージシステムと外部ストレージシステムの接続およびゾーニングの設定を確認したあと，再実行してください。	内部ストレージシステムと外部ストレージシステムの接続およびゾーニングの設定を確認したあと，再実行してください。
KAIC05434-E	指定した外部ボリューム（PortID = "＜PortID＞"，ExternalWWN = "＜ExternalWWN＞"，ExternalLun = "＜ExternalLun＞"）は外部パリティグループとしてマッピングできるボリュームではありません。	外部ボリュームの状態を確認し，原因を取り除いたあと，外部ストレージシステムを更新してください。
KAIC05435-E	指定した外部ボリューム（PortID = "＜PortID＞"，ExternalWWN = "＜ExternalWWN＞"，ExternalLun = "＜ExternalLun＞"）はすでに外部パリティグループとしてマッピングされています。	外部ボリュームの状態を確認し，原因を取り除いたあと，外部ストレージシステムおよび内部ストレージシステムを更新してください。
KAIC05500-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"のストレージシステムからのレスポンスがありません。	ストレージシステムのIPアドレスが正しいのであれば，ネットワーク接続エラーまたはス

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		トレージシステムのSNMP構成エラーです。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05508-E	ESX/vCenterサーバの証明書の有効期限が切れています。	証明書の有効期限を見直し，有効期限が切れている場合には有効期限内の新しい証明書を使用してください。
KAIC05520-E	指定したiSCSIネーム ″＜iSCSIネーム＞″はありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから，リクエストを確認してください。
KAIC05521-E	指定したiSCSIネーム ″＜iSCSIネーム＞″がすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから，リクエストを確認してください。
KAIC05522-E	リクエストの実行に失敗しました。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，指定したiSCSIポート用パラメーターを見直して再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05523-E	リクエストが一定時間内に完了しませんでした。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，設定変更の結果を確認してください。設定が変更されていない個所は，パラメーターを指定し再実行してください。繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05524-E	ESX/vCenterサーバの証明書のホスト名検証に失敗しました。	証明書のコモンネームまたはサブジェクトの別名を見直し，有効な証明書を使用してください。
KAIC05527-E	指定したポート″＜ポート名＞″と指定した外部ストレージシステムのポート（WWN = ″＜WWN＞″）の組み合わせが正しくない，またはファイバチャネル接続の状態が正しくないため，この操作を実行できません。ポートの組み合わせとファイバチャネル接続の状態を見直して，再実行してください。	組み合わせや接続の状態を見直してもエラーが繰り返し発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05528-E	指定したポート″＜ポート名＞″と指定した外部ストレージシステムのボリューム（LUN = ″＜LUN＞″）の組み合わせが不正なので，この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのボリュームの指定を見直してください。
KAIC05532-E	NPIV WWNが割り当てられている仮想マシンについて，NPIV WWNのマッピング情報を生成するために必要な情報が取得できませんでした。（仮想マシン名 = ＜仮想マシン名＞）	仮想マシンへNPIV WWNが割り当てられている場合は，仮想マシン上でのVMware Toolsの稼働状態を確認してください。
KAIC05537-E	仮想マシンの構成情報を取得できませんでした。（仮想マシン名=＜仮想マシン名＞）仮想マシンが作成中または構成変更中か，仮想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできません。仮想マシンを作成または構成変更をしている場合は，完了したあとに再度構成情報を取得してください。仮	仮想マシンを作成または構成変更をしている場合は，完了したあとに再度構成情報を取得してください。仮想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできない場合は修復してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	想マシンファイルを格納するディスクにアクセスできない場合は修復してください。	
KAIC05539-E	指定した仮想化サーバ管理プログラム(IPアドレス = "＜指定した仮想化サーバ管理プログラムのIPアドレス＞")はDevice Managerデータベースにありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC05540-E	指定した仮想化サーバ管理プログラム(IPアドレス = "＜指定した仮想化サーバ管理プログラムのIPアドレス＞")は仮想化サーバに変わったため，更新に失敗しました。Device Mangerからすべての仮想化サーバ管理プログラムの仮想化サーバを削除してください。	Device Mangerからすべての仮想化サーバ管理プログラムの仮想化サーバを削除してください。
KAIC05600-E	特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05601-E	"＜IPアドレス＞"でRMIの接続が失敗しました。指定したストレージシステムのタイプとIPアドレスが正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。	ストレージシステムのタイプとIPアドレスの指定が正しいか確認してください。また，Device Managerとストレージシステムとの通信で使用するポートの設定を確認してください。ストレージシステムのマイクロコードの交換後にDevice Manager サーバを再起動していない場合は，Device Manager サーバを再起動してください。指定および設定に誤りがなく，Device Manager サーバを再起動しても問題が解決しない場合は，ネットワークまたはストレージシステムの故障です。
KAIC05602-E	RMIサーバとの通信に失敗しました。指定したIPアドレスまたはポート番号が正しいか確認し，ネットワークの接続を確認してください。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞，ポート番号 = ＜ポート番号＞）	IPアドレスとポート番号の指定が正しいか確認してください。 また，Device Managerのマニュアルを参照し，RMI通信の環境が正しく設定されているかを，確認してください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05603-E	指定したストレージシステムはストレージ管理サーバに登録されていません。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞，シリアル番号 = ＜シリアル番号＞）	ストレージ管理サーバでストレージシステムを登録してください。
KAIC05607-E	"＜IPアドレス＞" のストレージシステムはほかの人が使用中か内部で構成変更しています。	ほかの管理アプリケーションから使用されていないかどうかを確認してください。
KAIC05609-E	"＜IPアドレス＞" のストレージシステムとの RMI セッション中に問題が発生しました。	ネットワークかストレージシステムに問題があります。
KAIC05610-E	Storage Navigatorとの通信に失敗しました。（URL="＜アクセスURL＞"）	ストレージシステムの追加時に指定したStorage Navigatorのユーザーアカウントの権限を見直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05611-E	Storage Navigatorからシステムタスク情報を取得できませんでした。（URL="＜アクセスURL＞"，HTTPレスポンスコード="＜HTTPレスポンスコード＞"）	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05612-E	Storage Navigatorからシステムタスク情報を取得できませんでした。（URL="＜アクセスURL＞"，status="＜SNのEchoCommandStatus＞"，result="＜SNのEchoCommandResult＞"）	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05613-E	システムタスクの時刻補正に失敗しました。（ストレージシステム名="＜ストレージシステム名＞"）	ストレージシステムを更新してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05670-E	指定したリソースは，Device Managerがサポートしていない機能によって使用されているため，操作を実行できません。メッセージに表示された機能の設定を解除するか，リソースの指定を見直したあと，再実行してください。（機能："＜機能＞"，リソース種別："＜リソース種別＞"，リソースID："＜リソースID＞"）	メッセージに表示された機能の設定を解除するか，リソースの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC05678-E	指定したボリューム（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は＜PP名（Active Mirror）＞のペアボリュームであるため，異なる仮想ストレージマシンに移動できません。	ボリュームの指定を見直すか，ペアを削除したあと，再実行してください。
KAIC05700-E	十分な空領域がありません。	空き領域内の容量で指定してください。
KAIC05701-E	内部エラーが発生しました。HostStorageDomainIDが不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05702-E	指定したポートにはすでにLUNの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとLUNの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05703-E	指定したHostStorageDomainにはすでにLUNの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとLUNの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05706-E	指定したLDEVはありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，リクエストを確認してください。
KAIC05707-E	指定したWWNはありません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，リクエストを確認してください。
KAIC05708-E	指定されたポートにはすでにWWNの最大数が設定されているか，またはこの処理をすると設定できる	設定内容を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	WWNの最大数を超えるおそれがあります。	
KAIC05709-E	指定されたHostStorageDomainにはすでにWWNの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとWWNの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC05710-E	指定したWWNがすでにあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，リクエストを確認してください。
KAIC05711-E	指定したdevNumは使用できません。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行し，リクエストを確認してください。
KAIC05712-E	SSIDが設定されていないため，LDEVを作成できません。	SVPから適切なSSIDを設定する必要があります。ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC05713-E	指定された容量は無効です。	有効な容量を指定してください。
KAIC05714-E	ストレージシステムのセキュリティオプションが変わりました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。	Device Managerサーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュはGUIのリフレッシュ機能を使用するかAPIのAddStorageArrayで実行できます。
KAIC05716-E	指定したポートは，ファイバチャネルポートおよびFCoEポートのどちらでもないため，リクエストを実行できません。	ファイバチャネルポートまたはFCoEポートを指定し，再実行してください。
KAIC05717-E	指定されたポートのセキュリティスイッチがOFFのため，リクエストを処理できません。	指定ポートのセキュリティスイッチをONにした後，再実行してください。
KAIC05718-E	指定したホストストレージドメインは，ファイバチャネルポートおよびFCoEポートのどちらにも属していないため，リクエストを実行できません。	ファイバチャネルポートまたはFCoEポートに属するホストストレージドメインを指定し，再実行してください。
KAIC05719-E	指定されたホストストレージドメインが属するポートのセキュリティスイッチがOFFのため，リクエストを処理できません。	指定ホストストレージドメインが属しているポートのセキュリティスイッチをONにした後，再実行してください。
KAIC05720-E	指定されたホストストレージドメイン ″＜ホストストレージドメイン＞″ はポート″＜ポート番号＞″ ですでに使用されています。	指定したホストストレージドメインとポート番号の組み合わせを確認してください。
KAIC05721-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムの情報を更新してください。実行権限がない場合はストレージシステム管理者に連絡してください。	Device Managerサーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新したあと，再実行してください。
KAIC05722-E	ストレージシステムへの構成変更に失敗しました。構成変更の一部しかストレージシステムに適用されていないおそれがあります。ストレージシステムに対してリフ	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。繰り返し発生する場合は顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	
KAIC05723-E	LUN ″＜パスのLUN＞″ はストレージシステム上にありません。	LUNを確認してください。
KAIC05724-E	SCSI ID ″＜パスのSCSI ID＞″ はストレージシステム上にありません。	SCSI IDを確認してください。
KAIC05725-E	LUN ″＜パスのLUN＞″ はすでにストレージシステム上で使用されています。	LUNを確認してください。
KAIC05726-E	ポート ″＜ポートを特定するもの＞″ はストレージシステム上にありません。	ポートを確認してください。
KAIC05727-E	ホストストレージドメイン ″＜ホストストレージドメインを特定するもの＞″ はポート ″＜ポートを特定するもの＞″ 上にありません。	ホストストレージドメインを確認してください。
KAIC05729-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は不正です。ニックネームの最大長は ″＜ニックネームの最大長＞″バイトです。	ニックネームの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC05730-E	ストレージシステムへのログインに失敗しました。パスワード認証が必要です。ユーザーID／ユーザーパスワードを指定してから再実行してください。	有効なユーザーID／ユーザーパスワードを指定して，再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05732-E	portRoleの変更に失敗しました。	ポートの状態を確認してから，再実行してください。
KAIC05735-E	″＜情報の種類＞″の情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合，システム管理者に連絡してください。	Device Managerサーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してから再実行してください。
KAIC05736-E	LogicalUnitを作成できません。指定したパラメータで作成できるLogicalUnit数は＜LogicalUnit数＞です。	作成するLogicalUnitの容量，数，または作成先の空き容量の指定を見直してください。詳細は該当するストレージシステムのマニュアルを参照してください。
KAIC05737-E	LogicalUnitの削除処理中にエラーが発生しました。(削除に成功しているデバイス番号：″＜デバイス番号リスト＞″)	devNumの値（デバイス番号）を見直してから再実行してください。
KAIC05740-E	ストレージシステムに対してリフレッシュしていないため，この操作は実行できません。	操作対象のストレージシステムをリフレッシュしてください。ストレージシステムがリフレッシュ済みの場合は，ストレージシステムのマイクロコードをアップグレードしてから，再度リフレッシュしてください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05742-E	LDEV ID=″<LDEV ID (devNum)>″のボリュームの状態がフォーマット中のため，Full Allocation属性を変更できません。フォーマットが完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。	フォーマットが完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。
KAIC05743-E	LDEV ID=″<LDEV ID (devNum)>″のボリュームの状態が閉塞中のため，Full Allocation属性を変更できません。閉塞状態を回復してから，再実行してください。	閉塞状態を回復してから，再実行してください。
KAIC05744-E	LDEV ID=″<LDEV ID (devNum)>″のボリュームの状態がシュレッディング中のため，Full Allocation属性を変更できません。シュレッディングが完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。	シュレッディングが完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。
KAIC05745-E	機能=″<PP名>″，プールID=″<プールID>″のプールの状態が縮小中のため，Full Allocation属性を変更できません。縮小が完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。	縮小が完了したことをストレージ管理ツールで確認してから，再実行してください。
KAIC05746-E	機能=″<PP名>″，プールID=″<プールID>″のプールの状態が閉塞であるため，Full Allocation属性を変更できません。閉塞状態を回復してから，再実行してください。	閉塞状態を回復してから，再実行してください。
KAIC05747-E	機能=″<PP名>″，プールID=″<プールID>″のプールに十分な空き領域がないため，指定した操作ができません。プールの空き領域を確保してから，再実行してください。	プールの空き領域を確保してから，再実行してください。
KAIC05750-E	指定したdevNumは使用できません。	devNumの値（デバイス番号）を見直したあと，再実行してください。
KAIC05751-E	指定したディスク容量″<ディスク容量>″のPDEVをサポートしていないため，操作できません。	ディスク容量の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC05752-E	指定したドライブ種別″<ドライブ種別>″は無効です。	ドライブ種別の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC05760-E	指定されたCLPR ″<CLPR番号>″はストレージシステムにありません。	CLPRの指定を見直してください。
KAIC05761-E	指定された容量は有効な値ではありません。	LUまたはLDEVの容量の指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05762-E	指定されたデバイス番号 "＜デバイス番号＞" は使用することができません。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC05763-E	作成するボリュームに割り当て可能なSSIDがありません。	"server.properties"の設定を見直してから，サービスを再起動してください。
KAIC05764-E	作成するLUの総容量がアレイグループの空き領域を超えているため，LUを作成できません。	作成するLUの総容量を減らしてから，再実行してください。
KAIC05765-E	分割ストレージ管理者によって管理されたストレージシステムでは実行できません。	ストレージシステムの設定を見直してください
KAIC05766-E	割り当て可能な＜PP名(Dynamic Provisioning)＞ボリュームグループがありません。	作成するLUを減らして，再実行してください。
KAIC05767-E	割り当て可能なCUがありません。	既存のCUにボリュームを作成してください。
KAIC05768-E	指定したしきい値 "＜しきい値＞" がプール使用率 "＜プール使用率＞" 以下であるため，プールのしきい値を変更できません。	しきい値をプールの使用率より大きい値に指定して，再実行してください。
KAIC05769-E	プール（機能="＜PP名(Dynamic Provisioning)＞" プールID="＜プールID＞"）のステータスが"正常"ではないため，閾値を変更できません。	プールのステータスを確認し，再実行してください。
KAIC05770-E	保護期間は短くできません。	保護期間の設定を見直したあと，再実行してください。
KAIC05771-E	指定されたLDEVは保護期間中です。保護期間中のLDEVには指定された保護属性は設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC05772-E	プール（機能="＜PP名(Dynamic Provisioning)＞" プールID="＜プールID＞"）の使用率が95%以上であるため，閾値の変更はできません。	プールの使用率を確認してください。
KAIC05773-E	ストレージシステムに"＜PP名＞"または"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"のプールが最大数まで作成されているため，プールを作成できません。	不要なプールを削除してから，再実行してください。
KAIC05774-E	ストレージシステム内の"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"，"＜PP名＞"，"＜PP名(Universal Volume Manager)＞"のアレイグループ数が最大数に達するため，アレイグループを追加できません。	＜PP名(Dynamic Provisioning)＞，＜PP名＞または＜PP名(Universal Volume Manager)＞の不要なアレイグループを削除してから，再実行してください。
KAIC05776-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜PP名(Local Replication)＞"の場合，Splitコピーが完了している必要があります。Splitが完了していることを確認し，再実行してください。	Splitが完了していることを確認し，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05779-E	リクエストの実行に失敗しました。ソースボリュームとターゲットボリュームのアレイグループが，Device Managerデータベースと実機との間で異なります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから，リクエストを確認してください。
KAIC05780-E	指定されたストレージシステムはホストモード"＜ホストモード名＞"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05781-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたホストモード"＜ホストモード名＞"を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC05782-E	指定されたポートはチャネルスピード"＜チャネルスピード＞"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05785-E	指定されたストレージシステムはポートオプション"＜ポートオプション名＞"をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC05786-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョンでは指定されたポートオプション"＜ポートオプション名＞"を設定できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC05788-E	＜PP名＞機能がストレージシステム上で有効になっていません。	＜PP名＞機能を有効にしてください。
KAIC05789-E	プールの使用率（プールID="＜プールID＞"，使用率="＜プール使用率＞"）がしきい値（＜属性名＞="＜属性値＞"）以上であるため，この操作はできません。	プール使用率が＜属性名＞の値を下回るように構成を見直してから，再実行してください。
KAIC05790-E	ストレージシステムに"＜PP名(Asynchronous Replication)＞"のプール／ジャーナルグループが最大数まで作成されているのでプール／ジャーナルグループを作成できません。	不要なプール／ジャーナルグループを削除してから再実行してください。
KAIC05791-E	ジャーナルグループの状態がInitialまたはStopのどちらでもないのでジャーナルグループを縮小できません。	ジャーナルグループを使用しているペアのステータスを変更してから再実行してください。
KAIC05792-E	ジャーナルグループの状態が"Initial"，"Active"，"Stop"のどれでもないのでジャーナルグループの拡張はできません。	ジャーナルグループを使用しているペアのステータスを変更してから再実行してください。
KAIC05793-E	指定したプールの使用容量が0GBではないのでプールを削除できません。	指定したプールを使用するすべてのペアを削除し，再実行してください。
KAIC05794-E	指定したプールを使用しているペアの状態はすべて"Simplex"でなければなりません。	プールを使用しているペアの状態を"Simplex"にしてから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05796-E	LU ″＜デバイス番号＞″ はVMAが設定されています。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC05798-E	指定したジャーナルグループは初期状態ではないため，削除できません。	ジャーナルグループを初期状態にして，再実行してください。
KAIC05799-E	内部エラーが発生しました。パラメーター″＜パラメータ＞″またはパラメータ″＜パラメータ＞″が見つからないためにトランスポートサービスの実行に失敗しました。	問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05802-E	ストレージシステムからのレスポンスデータが不正です。	エラーが繰り返し発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05840-E	内部処理エラーが発生しました。ローカルストレージシステムにiSCSIリモートパスを登録できませんでした。	指定したパラメーターを見直してから，再実行してください。 同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05841-E	内部処理エラーが発生しました。ローカルストレージシステムに登録したiSCSIリモートパスを削除できませんでした。	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05850-E	ポート″＜ポート名＞″上のホストストレージドメイン″＜ホストストレージドメイン名＞″とiSCSIイニシエータ″＜iSCSIイニシエータ名＞″には，セキュリティが設定されていません。	指定を見直してください。
KAIC05851-E	ポート″＜ポート名＞″上のホストストレージドメイン″＜ホストストレージドメイン名＞″とiSCSIイニシエータ″＜iSCSIイニシエータ名＞″には，すでにセキュリティが設定されています。	指定を見直してください。
KAIC05852-E	指定されたポート″＜ポート名＞″にはすでにiSCSIネームの最大数″＜ポートのiSCSIイニシエータ最大数＞″が設定されているか，またはこの処理をすることでiSCSIネームの最大数を超えるおそれがあります。	指定を見直してください。
KAIC05853-E	指定されたニックネーム″＜ニックネーム＞″は，同一ポート″＜ポート名＞″上のほかのiSCSIネームが使用しているため，使用できません。	同一ポート上のほかのiSCSIネームと重複しないニックネームを指定してから，再実行してください。
KAIC05854-E	指定されたiSCSIネーム″＜iSCSIネーム＞″は，同一ポート″＜ポート名＞″上のほかのホストスト	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないiSCSIネームを指定してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レージドメインが使用しているため，使用できません。	
KAIC05855-E	指定されたニックネーム"＜ニックネーム＞"は，同一ポート"＜ポート名＞"上のほかのホストストレージドメインが使用しているため，使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから，再実行してください。
KAIC05856-E	設定できる最大数"＜ポートのiSCSIターゲット最大数＞"を超えるホストストレージドメインは，ポート"＜ポート名＞" に設定できません。	有効範囲内の値を指定してください。
KAIC05857-E	指定されたiSCSIネーム"＜iSCSIネーム＞"は最大長を超えています。iSCSIネームの最大長は"＜iSCSIネームの最大長＞"バイトです。	iSCSIネームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC05858-E	指定されたiSCSIネーム "＜iSCSIネーム＞"の形式が不正です。iSCSIネームはiqn形式またはeui形式で指定してください。	iSCSIネームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC05859-E	同一ポート"＜ポート名＞"上のiSCSIネーム"＜iSCSIネーム＞"に異なるニックネーム"＜iSCSIニックネーム１＞"と"＜iSCSIニックネーム２＞"が指定されています。	iSCSIニックネームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC05900-E	指定したジャーナルグループのオプションは変更できません。	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC05902-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"＜状態＞"状態のミラーを含むため，流入制限を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05903-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため，流入制限を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05904-E	機能 = "＜PP名＞" プールID = "＜プールID＞" であるプールのステータスが，使用率100%による閉塞以外の閉塞状態のため，プールボリュームを追加できません。	プールの閉塞状態を回復させてから，再実行してください。
KAIC05905-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"＜状態＞"状態のミラーを含むため，データあふれ監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05906-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ"＜状態＞"状態のミラーを含むため，データあふれ監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05907-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ"＜状	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	態＞″状態のミラーを含むため，パス監視時間を設定できません。	
KAIC05908-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，パス監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05909-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため，パス監視時間を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05910-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，パス監視時間の転送を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05911-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループのため，パス監視時間の転送を設定できません。	ジャーナルグループの種別を確認してください。
KAIC05912-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，キャッシュの使用を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05913-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，キャッシュの使用を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05914-E	指定したジャーナルグループは正ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，回線速度を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05915-E	指定したジャーナルグループは副ジャーナルグループでかつ″＜状態＞″状態のミラーを含むため，回線速度を設定できません。	ジャーナルグループの種別とミラーの状態を確認してください。
KAIC05918-E	機能 = ″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″ プールID = ″＜プールID＞″ であるプールのステータスが閉塞であるため，プールボリュームを追加できません。	プールの閉塞状態を回復させてから，再実行してください。
KAIC05919-E	″＜PP名＞″の仮想ボリュームの数が最大値に達するので，″＜PP名＞″の仮想ボリュームを作成できません。	設定内容を見直してください。
KAIC05920-E	ストレージシステムで内部処理を実行中のため，指定した仮想ボリュームに対して削除およびプールとの関連付け解除を実行できません。しばらく待ってから削除または関連付け解除を実行してください。（対象=″＜デバイス番号のリスト＞″）	しばらく待ってから削除または関連付け解除を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05923-E	指定したプール名"＜プール名＞"は，ストレージシステム上のほかのプール（プールID：＜プールID＞）で使用されています。Storage Navigatorを使用してストレージシステム上のプール名を確認し，別のプール名を指定してから再実行してください。必要に応じて，プール名を更新してください。	Storage Navigatorを使用してストレージシステム上のプール名を確認し，別のプール名を指定してから再実行してください。必要に応じて，プール名を更新してください。
KAIC05924-E	ラベルをストレージシステムに反映できませんでした。再度実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	再度実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05925-E	プール名をストレージシステムに反映できませんでした。再度実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	再度実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05927-E	SVPの「ログインアカウント認証の設定」が正しくないため，Device Managerは画面が起動できません。SVPとDevice ManagerサーバのSSL設定とファイアウォール設定，およびSVPとDevice Managerサーバ間のネットワーク設定を見直したあと，そのストレージシステムの「ストレージシステム編集」を実行して「ログインアカウント認証の設定」が正常終了することを確認してください。そのあと，再度操作してください。	次の項目を見直したあと，「ストレージシステム編集」を実行して「ログインアカウント認証の設定」が正常終了することを確認してください。そのあと，再度操作してください。 ・ SVPとDevice ManagerサーバのSSL設定 ・ SVPとDevice Managerサーバのファイアウォール設定 ・ SVPとDevice Managerサーバ間のネットワーク設定。および「HA Command Suiteシステム構成ガイド」を参照してください。 問題が解決しないときは，保守情報を取得して，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05930-E	Storage Navigatorと通信できません。（URL="＜アクセスURL＞"）	ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05931-E	Storage Navigatorと連携設定ができません。（URL="＜アクセスURL＞"，HTTPレスポンスコード="＜HTTPレスポンスコード＞"）	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05932-E	Storage Navigatorと連携設定ができません。（URL="＜アクセスURL＞"，status="＜Storage NavigatorのEchoCommandStatus＞"，result="＜Storage NavigatorのEchoCommandResultlt＞"）	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC05933-E	Storage Navigatorで認証処理ができません。（URL="＜アクセスURL＞", ステータスコード="＜ステータスコード＞"）	次の原因が考えられます。 ・ ログイン数がオーバーした。 ・ 空きメモリが不足した。 ・ システム準備中にリクエストされた。 しばらくしてから再実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者へ連絡してください。
KAIC05934-E	SVPからDevice Managerサーバへのテスト通信が失敗しました。Device ManagerサーバとSVP間の通信の設定（セキュリティ通信，ファイアーウォール，またはポートの設定）を見直してください。詳細は，Device Managaerのマニュアル，およびストレージシステムのマニュアルを参照してください。設定を確認したあと，再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者へ連絡してください。	Device ManagerサーバとSVP間の通信の設定を見直してください。 ・ セキュリティ通信の設定 ・ ファイアーウォール設定 ・ ポートの設定 なお，サーバ証明書については，次の内容を確認してください。 ・ Device Managerサーバのデフォルトの証明書をSVPにインポートしていないこと。 ・ Hikeytoolコマンドでキーペアを作成している場合，SVPでDevice Managerサーバのホスト名をIPアドレスに解決できることおよびDevice Managerサーバのサーバ証明書がSVPにインポートされていること。 詳細は，Device Managaerのマニュアル，およびストレージシステムのマニュアルを参照してください。設定を確認したあと，再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者へ連絡してください。
KAIC05990-E	内部エラーが発生しました。（詳細情報="＜詳細情報＞"）	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05993-E	接続先（＜IPアドレス＞）からの応答がありません。一時的に接続先との通信ができない状態となっているおそれがあります。　しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	一時的に接続先との通信ができない状態となっているおそれがあります。しばらく待ってから再実行してください。同じエラーが発生する場合は，原因究明と問題の解決に詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC05994-E	仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバへのアクセス中にエラーが発生しました。指定したパラメーターが誤っているか，仮想化サーバ管理プログラムまたは仮想化サーバの状態が正常でないおそれがあります。	パラメーターの指定，仮想化サーバ管理プログラムおよび仮想化サーバの状態を見直してから，再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC05999-E	指定した接続先で管理されている仮想化サーバは，すでにほかの仮想化サーバ管理プログラムに管理されています。仮想化サーバの管	仮想化サーバの管理構成を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	理構成が変更されているおそれがあります。	
KAIC06000-E	特定不能なストレージシステムエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06002-E	SNMPコマンド実行中に特定不能なエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06003-E	SNMPライブラリのエラーが発生しました。"＜IPアドレスまたはホスト名＞"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06004-E	SNMPライブラリのエラーが発生しました。"＜オブジェクトID＞"	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06005-E	SNMPはオブジェクトID"＜オブジェクトID＞" の獲得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06006-E	指定したストレージシステムへのアクセス中にエラーが発生しました。	SNMPによるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06007-E	Device Manager の"＜コマンド＞"の実行完了を待機中のSNMPエラー：ステータス"＜ステータス＞"です。	SNMPによるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06008-E	ストレージシステムからの応答待ち時間切れです。ネットワーク接続を確認してください。	SNMPによるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06009-E	コマンド"＜コマンド＞"の実行中にSNMPのリクエストに失敗しました。エラーステータス="＜ステータス＞", インデックス="＜インデックス＞"	SNMPによるストレージシステムへのアクセス中に発生したエラーです。ネットワークの状態とストレージシステムの状態を確認してください。確認後にも繰り返しエラーが発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06010-E	不正なコマンドステータストラップを検知しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06011-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"のストレージシステムでSNMP認証に失敗しました。	Device Managerサーバはストレージシステムの取り扱いにread/write権が必要です。SNMP communityのread/write権認証を確認してください。
KAIC06012-E	ストレージシステムにアクセスできません。SVPで実行中の処理があります。	SVPがModifyモードであるためストレージシステムへのアクセスに失敗しました。ストレージシステムを操作するにはDevice Managerサーバに実行権が必要です。SVPはViewモードでなければなりません。
KAIC06013-E	IPアドレス"＜IPアドレス＞"のストレージシステムは指定された機種のストレージシステムとして認識できません。	IPアドレスとSNMPエージェントへの接続を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC06200-E	ストレージシステムのシリアル番号が不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06300-E	ストレージシステムのコマンド実行中に特定不能なエラーが発生しました。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行した後，再実行してください。
KAIC06302-E	コントローラ"＜コントローラID＞"のポート情報一覧の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06303-E	ポート"＜ポート名＞"のポート情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06313-E	コントローラ"＜コントローラID＞"のポート情報一覧の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06314-E	ポート"＜ポート名＞"のポート情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC06317-E	指定されたポートはポートオプション"＜ポートオプション＞"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06318-E	指定されたポートはポートオプション"＜ポートオプション＞"をサポートしていません。	指定を見直してください。
KAIC06322-E	ストレージシステムに対して指定された要求を実行できません。ストレージシステムの管理に必要な権限をほかのユーザーに獲得された可能性があります。	ほかのアプリケーションがビルトインアカウントを使用してストレージシステムにアクセスしていないか確認してください。アクセスしていなければ，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと，再実行してください。
KAIC06323-E	ストレージシステムに対して指定された要求を実行できません。ストレージシステムとのログインセッションが破棄されています。	強制ログアウトやアカウントの無効化などの操作により，強制的にログアウトさせられた可能性があります。ほかのユーザーがストレージシステムに対して該当する操作を実行していないかを確認してください。該当する操作を実行していなければ，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行したあと，再実行してください。
KAIC06400-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード1="＜エラーコード1＞"，エラーコード2="＜エラーコード2＞"，意味="＜意味＞" 構成変更をしていた場合はストレージシステムの情報を更新してください。実行権限がない場合はストレージシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから，該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し，それに従ってください。
KAIC06401-E	ストレージシステムでのフォーマット処理でエラーが発生しました（エラーコード="＜エラーコード＞"）。 原因を取り除いたあと，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。	原因を取り除いたあと，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。
KAIC06402-E	ストレージシステムでの処理が完了しません。原因を取り除いたあ	原因を取り除いたあと，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	と，ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。	
KAIC06403-E	LDEV（devNum="＜デバイス番号＞"）はフォーマットできる状態ではありません。	リフレッシュしてからLDEVの状態を見直してください。
KAIC06450-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード1="＜エラーコード1＞"，エラーコード2="＜エラーコード2＞"，意味="＜意味＞" 構成変更をしていた場合，ストレージシステムおよび外部ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーの場合はシステム管理者に連絡してください。	このマニュアルから，該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し，それに従ってください。
KAIC06500-E	RMIサーバで，すべての処理または一部の処理ができません。ストレージシステムに対してリフレッシュしたあと，処理の結果を確認してください。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞）	パラメーターの指定を見直してから，再実行してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC06501-E	RMIサーバで処理が競合しました。しばらく時間をおいたあと，再度操作してください。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞）	同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC06502-E	RMIサーバで内部処理エラーが発生しました。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞）	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC06503-E	RMIライブラリで内部処理エラーが発生しました。（IPアドレス = ＜IPアドレス＞）	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC06999-E	失敗が繰り返されたためSNMPコマンド実行を中止しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07000-E	特定不能なエージェントエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07001-E	ストレージシステムでは"＜操作＞"操作をサポートしていません。	Device Managerサーバは指定されたストレージシステムへのリクエストをサポートしていません。
KAIC07002-E	操作に必要なライセンスキーがインストールされていません。	必要なライセンスキーをインストールしてください。
KAIC07003-E	操作に必要なライセンスキーが無効になっています。	必要なライセンスキーを有効にしてください。
KAIC07004-E	"LU"は無効です。整数を指定してください。	整数を指定してください。
KAIC07005-E	パラメータが指定されていません： storage system "objectID"	storage systemのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07006-E	パラメータが指定されていません： Port "objectID"	PortのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07007-E	パラメータが指定されていません： Path "objectID"	PathのオブジェクトIDを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07008-E	パラメータが指定されていません： WWN "WWN"	WWNを指定してください。
KAIC07009-E	"SCSI ID"が不適切です。	SCSI IDを見直してください。
KAIC07010-E	指定されたWWN "＜WWN＞"は無効な値です。	00.00.00.00.00.00.00.00から FF.FF.FF.FF.FF.FF.FF.FFまでの範囲で指定してください。
KAIC07013-E	リクエストで指定されたオブジェクトIDにはオブジェクトタイプに誤りがあります。	オブジェクトの種類を確認してください。
KAIC07014-E	パラメータが指定されていません： Logical Group "objectID"	Logical GroupのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07015-E	パラメータが指定されていません： Host "objectID"	HostのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07016-E	パラメータが指定されていません： Logical Group Element "objectID"	LogicalGroupエレメントとしてその論理グループに登録するオブジェクトのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07017-E	パラメータが指定されていません： "objectID"	オブジェクトIDを指定してください。
KAIC07018-E	指定した論理グループはDevice Managerデータベース内に見つかりません。論理グループパスが正しく指定されていません。論理グループパス："＜論理グループパス＞"	正しい論理グループパス，またはオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07019-E	パラメータが指定されていません： Host "name"	Host名を指定してください。
KAIC07020-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。"＜エレメント＞"	リクエスト中のエレメントの指定を見直してください。
KAIC07021-E	指定した論理グループは複数あります。オブジェクトIDを指定してください。論理グループ："＜論理グループパス＞"	指定を見直してください。
KAIC07022-E	パラメータが正しくありません：Host Info "＜未指定パラメータ＞"	Host Infoに指定されていないパラメータを指定してください。
KAIC07023-E	親階層の論理グループが正しく指定されていません。変更する論理グループを親階層の論理グループとして指定することはできません。	変更する論理グループ以外の論理グループを親グループとして指定してください。
KAIC07024-E	親階層の論理グループが無効です。実行されたリクエストには親階層の論理グループと子階層の論理グループが反対に指定されています。	親階層の論理グループと子階層の論理グループの関係に矛盾があります。指定を見直してください。
KAIC07025-E	親階層の論理グループがDevice Managerデータベースにありません。	親階層の論理グループの指定を見直してください。
KAIC07026-E	指定された論理グループはDevice Managerデータベースにありません。	論理グループの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07027-E	指定されたストレージシステムはDevice Managerデータベースにありません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07028-E	指定したLDEV（devNum="＜デバイス番号＞"）がDevice Managerデータベース内に見つかりません。	指定したLDEVを確認してください。
KAIC07029-E	指定したパス（portID="＜ポートID＞", domainID="＜ドメインID＞", devNum="＜デバイス番号＞"）はDevice Managerデータベースにありません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07030-E	指定されたhostはDevice Managerデータベースにありません。	hostの指定を見直してください。
KAIC07031-E	host infoがDevice Managerデータベースにありません。	host infoの指定を見直してください。
KAIC07032-E	パラメータ"＜パラメータ名＞"と"＜パラメータ名＞"の両方を指定することはできません。	指定を見直してください。
KAIC07033-E	リクエスト中のエレメント数が不正です。（エレメント名="＜エレメント名＞"）	リクエスト中のエレメント数を見直してから，再実行してください。
KAIC07034-E	パラメータが指定されていません： User "loginID"	UserのloginIDを指定してください。
KAIC07035-E	登録できるRCUまたはSSIDが最大数まで作成されているので，この操作を実行できません。	不要なRCUまたはSSIDを削除してから，再実行してください。
KAIC07036-E	パラメータが指定されていません： Rule "ruleID"	RuleのruleIDを指定してください。
KAIC07037-E	論理パスが登録できる最大数を超えるので，この操作を実行できません。	不要な論理パスを削除してから，再実行してください。
KAIC07038-E	パラメータが正しくありません：UserGroup "name"	ユーザーグループ名を指定してください。
KAIC07039-E	指定されたユーザーグループはDevice Managerデータベースには見つかりません。	ユーザーグループを見直してください。
KAIC07040-E	パラメータが指定されていません： User "password"	ユーザーパスワードを指定してください。
KAIC07041-E	パラメータが指定されていません： User "groupName"	ユーザーのグループ名を指定してください。
KAIC07042-E	ユーザーグループ名が不正です。次の文字を用いて25文字以下で指定してください。a～z A～Z 0～9 - = ¥ ` , . _	入力したユーザーグループ名を見直してください。
KAIC07043-E	ユーザーIDが不正です。次の規則に従って指定してください。入力規則："＜ユーザーIDの入力規則＞"	入力したユーザーIDを見直してください。
KAIC07044-E	パスワードが不正です。次の規則に従って指定してください。入	入力したパスワードを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	力規則：″＜パスワードの入力規則＞″	
KAIC07045-E	指定された子階層のグループ″＜指定した論理グループ名＞″はすでにグループ″＜対象の親論理グループ名＞″の下にあるため使用できません。	子階層のグループ名を変更してください。
KAIC07046-E	指定された名前の最上位グループ″＜指定した論理グループ名＞″はすでにあるため使用できません。	グループ名を変更してください。
KAIC07047-E	″name″の値が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07048-E	″＜ファイル名＞″というファイルはありません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07049-E	″＜ファイル名＞″というファイルは読めません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07050-E	指定したストレージシステムとの間に，MCU-RCUまたはリモートパスは作成できません。	ストレージシステムの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07051-E	パラメータが指定されていません： Debug level ″value″	Debug level値を指定してください。
KAIC07052-E	指定したMCUポートがInitiatorではありません。	論理パスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07053-E	Debug level値″＜Debug level値＞″が無効です。	Debug levelは0（すべてのメッセージ），1（インフォメーション），2（ワーニング），3（エラー），4（致命的エラーだけ）のどれかを指定してください。
KAIC07054-E	Subscriber″＜Subscriber ID＞″の削除に失敗しました。	指定されたSubscriber″topic″はありません。指定を見直してください。
KAIC07055-E	パラメータが指定されていません： Subscriber ″topic″	Subscriber のtopicを指定してください。
KAIC07056-E	Subscriber″＜Subscriber ID＞″の登録に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07057-E	パラメータが指定されていません： Network resource ″IP Address″	Network resource のIPアドレスを指定してください。
KAIC07058-E	指定したストレージシステムとの間のMCU-RCU，またはリモートパスはすでに作成されいるので，この操作を実行できません。	MCU-RCU，またはリモートパスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07059-E	パラメータ″count″が無効です。一つしか指定できません。	″count″を見直してください。
KAIC07060-E	指定したポートは，変更できる組み合わせのポートでないので，この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07061-E	パラメータ″start″が無効です。一つしか指定できません。	″start″を見直してください。
KAIC07062-E	パラメータが指定されていません： Object ″name″	オブジェクト名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07063-E	パラメータが指定されていません： Alert "number"または"source"	Alert "number"と"source"の両方の指定が必要です。
KAIC07064-E	親階層のストレージシステムが見つかりません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07065-E	パラメータが指定されていません： storage system "arrayFamily"	ストレージシステムのアレイファミリーの指定を見直してください。
KAIC07066-E	指定した論理パスは，すでにRCUに登録されているので，この操作を実行できません。	論理パスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07068-E	"objectID" が正しくありません。	オブジェクトIDの記述を見直してください。
KAIC07069-E	一つのストレージシステムのオブジェクトから論理グループを構成してください。	論理グループにオブジェクトを追加しようとしましたが，一つの論理グループには一つのストレージシステムのオブジェクトしか追加できません。
KAIC07070-E	メッセージ"Topic"が無効です。	"Topic"を見直してください。
KAIC07071-E	パラメータ"name"が最大文字列長を超えました。	指定範囲を確認してください。
KAIC07072-E	指定した論理パスは設定されていません。	論理パスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07073-E	リクエスト中に無効なパラメータがあります："＜期待しているクラス名＞"を期待していますが"＜指定されたクラス名＞"が指定されています。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07074-E	パラメータが指定されていません： PortController "ID"	ポートコントローラーIDを指定してください。
KAIC07075-E	パラメータが指定されていません： PortController "Mode"	ポートコントローラーのモードを指定してください。
KAIC07076-E	ポートコントローラのモードとしては無効な値です。	有効なポートコントローラーの値を指定してください。
KAIC07077-E	要求されたモードをファイバーポートでないポートコントローラで設定できません。	このリクエストはファイバーポートにだけ実行できます。
KAIC07078-E	要求されたポートコントローラにポートが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07079-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"＜ポート1ID＞" およびポート"＜ポート2ID＞" のホストモードが異なります。	ハイスピードモードを設定するにはポート"＜ポート1ID＞"とポート"＜ポート2ID＞"のホストモードを統一してください。
KAIC07080-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"＜ポート1ID＞" およびポート"＜ポート2ID＞" のトポロジを統一してください。	ハイスピードモードを設定するにはポート"＜ポート1ID＞"とポート"＜ポート2ID＞"のトポロジを統一してください。
KAIC07081-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"＜ポート1ID＞" およびポート"＜ポート2ID＞" のファイバーアドレスが同じです。	ハイスピードモードを設定するにはポート"＜ポート1ID＞"とポート"＜ポート2ID＞"のファイバーアドレスを異なる値にしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07082-E	ハイスピードモードに設定できません。ポート"＜ポートID＞" のトポロジはPoint-To-Pointです。	ハイスピードモードを設定するにはポート"＜ポートID＞"のトポロジをFC-ALに変更してください。
KAIC07083-E	ハイスピードモードに設定できません。LDEV "＜デバイス番号＞" は，ポート"＜ポート1ID＞" およびポート"＜ポート2ID＞" の両ポートに割り当てられています。	ハイスピードモードを設定するには両ポートのどちらかのLDEVを解放してから再実行してください。
KAIC07084-E	要求されたポートにはWWNはありません。	ポートのWWNの指定を見直してください。
KAIC07085-E	指定したPDEV数はアレイグループの作成には不適切です。	一つアレイグループを作成するのに少なくとも二つのPDEVが必要です。
KAIC07086-E	指定されたホストモードはこのストレージシステムでは無効です。	ホストモードまたはストレージシステムを見直してください。
KAIC07087-E	パラメータが指定されていません： Rule "operation"	Ruleのオペレーションを指定してください。
KAIC07088-E	パラメータが指定されていません： Rule "ruleType"	RuleのruleTypeを指定してください。
KAIC07089-E	パラメータが指定されていません： Rule "target"	Ruleのtargetを指定してください。
KAIC07090-E	パラメータが指定されていません： "groupName" を指定してください。	グループ名を見直してください。
KAIC07091-E	パラメータが指定されていません： User "role"	ユーザーのroleを指定してください。
KAIC07092-E	roleの値が不正です。	ユーザーのroleを見直してください。
KAIC07093-E	無効なポートコントローラ番号が指定されました。	ポートコントローラー番号を見直してください。
KAIC07094-E	指定されたポートコントローラでハイスピードモードは利用できません。	指定されたポートコントローラーでハイスピードモードはサポートされていません。
KAIC07095-E	ポートコントローラに無効なカード番号が指定されました。	カード番号として正しい値を指定してください。
KAIC07096-E	ポートに無効なトポロジが指定されました。	トポロジとして正しい値を指定してください。
KAIC07097-E	ポートに無効なファイバーアドレスが指定されました。	ファイバーアドレスとして正しい値を指定してください。
KAIC07098-E	MU番号が登録できる最大数を超えているため，この操作を実行できません。	不要なペアを削除してから，再実行してください。
KAIC07099-E	ポートに無効なチャネルスピードが指定されました。	チャネルスピードとして正しい値を指定してください。
KAIC07100-E	"portID"が指定できる範囲外です。指定範囲は"＜Port ID最小値＞"-"＜Port ID最大値＞"です。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07101-E	"LDEV"が指定できる範囲外です。指定範囲は"＜LDEV最小値＞" - "＜LDEV最大値＞"です。	有効範囲内で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07102-E	"LUN"が指定できる範囲外です。指定範囲は"＜LUN最小値(16進)＞（＜LUN最小値＞）" - "＜LUN最大値(16進)＞（＜LUN最大値＞）"です。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07103-E	ポートがストレージシステム内に見つかりません。	ポートまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07104-E	LDEV "＜デバイス番号＞" がストレージシステム内に見つかりません。	LDEVまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07105-E	LUN "＜LUN＞" がストレージシステム内に見つかりません。	LUNまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07106-E	LDEV "＜デバイス番号＞" はPort "＜Port名＞" がすでに使用しています。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07107-E	LUN "＜LUN＞" はすでにPort "＜Port名＞" が使用しています。	LUNの指定を見直してください。
KAIC07109-E	Pathエレメントの"devNum"アトリビュートおよびLDEVエレメントがどちらも指定されていないためリクエストを処理できません。	リクエストを見直してください。
KAIC07110-E	指定されたLUNにはホストのセキュリティが設定されているため削除できません。LUNを削除する前にそのLUNに設定されているWWNセキュリティをすべて解除する必要があります。	セキュリティ設定を解除した後，再実行してください。
KAIC07111-E	WWN "＜WWN＞" を削除できません。ポートに指定されたWWNはありません。	WWNとLUNが正しく指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07112-E	ポート（portID="＜ポートID＞"）がストレージシステム内に見つかりません。	ポートまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07113-E	論理パスを最小パス数以下にすることはできません。	論理パスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07116-E	指定したリモートパスが不正です。コントローラ0のポートを一つ，かつコントローラ1のポートを一つ指定する必要があります。	リモートパスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07119-E	HostInfoが参照しているLUNはストレージシステム内に見つかりません。	LUNを見直してください。
KAIC07120-E	指定したホスト"＜ホスト名またはオブジェクトID＞"はありません。	指定を見直してください。
KAIC07121-E	論理グループの要素を削除できません。指定された要素は論理グループに属していません。	オブジェクトIDを見直してください。
KAIC07122-E	指定のホスト"＜ホスト名＞" は既存のホストに使用されています。	ホスト名を変更して指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07123-E	指定されたHostInfoはすでにDevice Managerデータベースに登録されています。	HostInfoの指定を見直してください。
KAIC07124-E	シリアル番号"＜シリアル番号＞"のストレージシステムはDevice Managerデータベースには見つかりません。	ストレージシステムのオブジェクトIDを見直してください。
KAIC07125-E	ホスト"＜ホスト名＞" を削除できません。指定されたホストはLUNに使用されているWWNを含んでいます。	ホストを削除する前にLUNセキュリティを解除してください。
KAIC07126-E	LDEV"＜デバイス番号＞"は＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームです。LUNには使用できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07128-E	LDEV "＜デバイス番号＞" はコマンドデバイスです。指定されたLUNは削除できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07129-E	指定されたWWN "00.00.00.00.00.00.00.00" は無効です。LUNにセキュリティを設定できません。	WWNの指定を見直してください。
KAIC07130-E	ポートタイプ"＜ポートタイプ＞"に対してLUNを追加できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07131-E	指定されたSCSI ID "＜SCSI ID＞" はストレージシステム内に見つかりません。	指定したSCSI IDを確認してください。
KAIC07132-E	ポートタイプ "＜ポートタイプ＞" のポートに対して本操作を実行することはできません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07133-E	指定できるWWNの最大数"＜指定できるWWNの最大数＞"を超えての指定はできません。	指定されたポートへこれ以上WWNを追加できません。不要なWWNを削除した後，再実行してください。
KAIC07134-E	指定されたWWN"＜WWN＞" はホスト"＜ホスト名＞" ですでに使用されています。	WWNの指定を見直してください。
KAIC07135-E	指定されたPDEV"＜PDEV-ID＞"はすでに使用されています（role="＜role＞"）。	PDEVのpdevIDの指定を見直してください。
KAIC07136-E	PDEV"＜PDEV-ID＞" とアレイグループのシャーシが一致していません。	指定したアレイグループのシャーシと同じシャーシのPDEVを指定してください。
KAIC07137-E	LDEVはLUNが定義されているので削除できません。	LDEVを削除する前にLUNが削除されなければなりません。
KAIC07138-E	LUNが定義されているアレイグループは削除できません。	LDEVを削除する前にLUNが削除されなければなりません。
KAIC07139-E	パラメータ"chassis"は指定範囲外です。有効範囲は"＜最小chassis数＞"-"＜最大chassis数＞"です。	有効範囲は"0"-"最大chassis数"です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07140-E	指定されたポートコントローラはDevice Managerデータベースに見つかりません。	ポートコントローラーの指定を見直してください。
KAIC07141-E	アレイグループに設定できる個数は，″＜最大LDEV数＞″を超えることはできません。	LDEVを作成するには，不要なLDEVを削除するか，別のアレイグループを指定してください。
KAIC07144-E	指定されたエミュレーションタイプは無効です。	サポートされていないエミュレーションタイプが指定されています。Device ManagerサーバはOPEN エミュレーションを使用したLDEVだけを作れます。
KAIC07145-E	エミュレーションタイプに反する無効な容量が指定されました。	指定したエミュレーションタイプの有効範囲内の容量が指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07146-E	指定されたアレイグループには十分な空領域がありません。	空き領域内の容量で指定してください。詳細は該当するストレージシステムのマニュアルを参照してください。
KAIC07147-E	シャーシに指定できるアレイグループの最大数″＜アレイグループの最大数＞″を超えています。	シャーシを見直してください。
KAIC07149-E	Device Managerは指定されたポートコントローラ″＜ポートコントローラID＞″ を認識できません。	ポートコントローラーの指定を見直してください。
KAIC07150-E	Device Managerは指定されたポート″＜ポート名＞″ を認識できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07151-E	指定されたストレージシステムが見つかりません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07152-E	パラメータ″domainID″の値は指定範囲外です。有効な範囲は ″＜domainID最小値＞″ から ″＜domainID最大値＞″ です。	DomainIDの指定を見直してください。
KAIC07153-E	DomainID ″＜DomainID＞″ はポート″＜ポートID＞″ にすでに使用されています。	DomainIDの指定を変更してください。
KAIC07154-E	設定できる最大数″＜ホストストレージドメイン最大数＞″を超えるホストストレージドメインをポート″＜ポート名＞″ に設定することはできません。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07155-E	指定されたホストストレージドメイン（portID=″＜ポートID＞″，domainID=″＜ドメインID＞″）はDevice Managerデータベース内に見つかりません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07156-E	パラメータが指定されていません： HostStorageDomain ″objectID″	ホストストレージドメインのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07157-E	ModifyPortのリクエスト内に″HostMode″ パラメータが指定されていません。	ホストストレージドメインのホストモードを指定してください。
KAIC07158-E	指定されたオブジェクトの″name″は削除できません。	objectIDの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07161-E	パラメータが無効です：Filter"Condition type"	Condition typeを見直してください。有効なCondition typeは"ALL", "FREE", "ASSIGNED", "UNASSIGNED", "RESERVED"です。
KAIC07162-E	パラメータが指定されていません： "Port"	Portを指定してください。
KAIC07163-E	指定されたポートオプションは無効です。	サポートされていないポートオプションが指定されています。
KAIC07165-E	同一ポート下に異なる組み合わせのホストモードが指定されています。	指定されたストレージシステムは同一ポート下の異なる組み合わせのホストモードをサポートしていません。指定を見直してください。
KAIC07167-E	API Versionが取得できませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07168-E	指定されたWWNは対象"＜target element＞"にありません。	WWNの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07170-E	指定されたユーザーIDは無効です。	有効なユーザーIDを指定してください。
KAIC07171-E	指定したLUは＜PP名(HRC)＞/＜PP名(HMRCF)＞で使用されているので削除できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07172-E	指定されたストレージシステムへこれ以上はコマンドデバイスを追加できません。	指定できるコマンドデバイスの最大数は二つです。不要なコマンドデバイスを削除した後，再実行してください。
KAIC07174-E	指定されたエミュレーションタイプ"＜エミュレーションタイプ＞"で，指定されたサイズ"＜指定サイズ＞KB"より自動算出された作成容量は"＜作成サイズ＞KB"です。作成容量が"＜下限サイズ＞KB"-"＜上限サイズ＞KB"の範囲になるように指定し直してください。	指定したエミュレーションタイプの有効範囲内の容量が指定されているかどうかを確認してください。
KAIC07175-E	指定されたアレイグループには十分な空領域がありません。空き領域内の容量で指定してください。自動算出された作成容量は"＜作成サイズ＞KB"です。	空き領域内の容量で指定してください。
KAIC07176-E	パスが未設定のLUに対し，コマンドデバイスを設定できません。	パスの設定後，再び本操作を実行してください。
KAIC07177-E	コマンドデバイスが設定されているLU（devNum="＜デバイス番号＞"）の最後のパスは解除できません。	コマンドデバイスを解除してから，パスを解除してください。
KAIC07178-E	指定されたコマンドオプションは無効です。	無効なコマンドオプションが指定されています。
KAIC07179-E	パラメータが正しくありません。domainIDとWWNは同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。
KAIC07181-E	パラメータが指定されていません： LogicalUnit "commandDevice"	LUのコマンドデバイスを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07182-E	LU ″＜デバイス番号＞″ は＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームです。コマンドデバイスには使用できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07184-E	指定したLU ″＜デバイス番号＞″ は＜PP名(HRC)＞/＜PP名(HMRCF)＞で使用されています。コマンドデバイスには使用できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07185-E	＜PP名(HRC)＞/＜PP名(HMRCF)＞で使用されているLU（devNum=″＜デバイス番号＞″）の最後のパスは解除できません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07186-E	指定したLDEVのサイズが小さいためコマンドデバイスを作成できません。″＜コマンドデバイスを作成できるLDEVの最小サイズ＞″KB以上のLDEVを指定してください。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07188-E	＜PP名(HRC)＞/＜PP名(HMRCF)＞で使用されているLUのパスは解除できません。	パスの指定を見直してください。
KAIC07189-E	指定された LDEV に対する操作 ″＜操作＞″ をサポートしていません。	当操作はオープンボリュームにだけ実行できます。LDEV の指定を見直してください。
KAIC07190-E	指定されたLUはすでにコマンドデバイスとして設定されているためコマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07191-E	指定されたLUはコマンドデバイスではないためコマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07192-E	″＜エレメント名＞″のパラメータが不足しています。少なくとも ″＜アトリビュート名1＞″ と ″＜アトリビュート名2＞″ のどちらか一方を指定しなければいけません。	パラメーターの指定を見直してください。
KAIC07193-E	指定されたLUにはすでにコマンドデバイスセキュリティが設定されているため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07194-E	指定されたLUにはコマンドデバイスセキュリティが設定されていないため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07195-E	エミュレーションタイプがOPEN以外のLUをコマンドデバイスにすることはできません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07196-E	指定されたLU ″＜デバイス番号＞″ はすでに ″＜PP名＞″ ″＜ボリュームタイプ＞″ に設定されているためコマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07197-E	アレイグループはドライブ種別が異なるPDEVでは作成できません。	PDEVの指定を見直してください。
KAIC07198-E	指定されたPDEVのドライブ種別では，RAID0のアレイグループを作成できません。	PDEVの指定を見直してください。
KAIC07199-E	指定したオブジェクトはすでに論理グループ ″＜論理グループ名＞″ にあります。	オブジェクトの指定を見直してください。
KAIC07200-E	リクエストの実行に失敗しました。リクエスト中に空のメッセージIDが含まれています。	GetRequestStatusは有効なメッセージIDアトリビュートを要求しています。有効なメッセージIDアトリビュートをリクエストに加えてから再実行してください。
KAIC07201-E	指定した外部ストレージシステムは同じ筐体なのでこの操作を実行できません。	指定を見直してください。
KAIC07202-E	リクエストの実行に失敗しました。メッセージID ″＜メッセージID＞″ が見つかりません。	メッセージIDにはデータが格納されていません。データの受け取りは完了していると思われます。Device Managerデータベースを（例えばAddStorageArrayなどで）アップデートしてみてください。
KAIC07203-E	指定されたLU（devNum=″＜デバイス番号＞″とdevNum=″＜デバイス番号＞″）は通常のボリュームと″＜PP名＞″のV-VOLが混在しているため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07204-E	指定したエミュレーションタイプをサポートしていません。	OPEN-Vを指定してください。
KAIC07205-E	異なる組み合わせのパスグループIDが指定されています。	指定を見直してください。
KAIC07206-E	リモートコマンドデバイスの場合，numOfLUsのパラメーターに″＜LU数＞″は指定できません。	指定を見直してください。
KAIC07207-E	指定したポート″＜ポート名＞″と指定した外部ストレージシステムのポート（WWN = ″＜ポートWWN＞″）の組み合わせが不正なので，この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのポートの指定を見直してください。
KAIC07208-E	指定したポート″＜ポート名＞″と指定した外部ストレージシステムのボリューム（LUN = ″＜LUN＞″）の組み合わせが不正なので，この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのボリュームの指定を見直してください。
KAIC07209-E	交替パス同士で外部ボリュームが異なります。	交替パスの指定を見直してください。
KAIC07217-E	指定されたコマンドオプションは無効です。″＜オプションの数＞″個指定されましたが最低″＜必要とされるオプションの数＞″個必要です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07218-E	指定されたコマンドオプションは無効です。″＜指定されたオプ	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ションの数＞"個指定されましたが最大"＜指定できるオプション数＞"個しか受け付けません。	
KAIC07219-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたcopyTrackSize"＜指定されたコピー速度＞"は無効な値です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07224-E	指定されたホストモードオプションは無効です。	ホストモードオプションの指定を見直してください。
KAIC07225-E	HostのobjectIDが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07226-E	指定したHostのobjectIDが不正です。	ペアを一括管理しているhostのobjectIDを指定してください。
KAIC07227-E	"＜エレメント名＞"のobjectIDは指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07229-E	"＜エレメント名＞"エレメントが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07230-E	指定されたLDEV "＜デバイス番号＞"は保護されているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07231-E	指定されたLDEV "＜デバイス番号＞"はパスが設定されているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07232-E	指定されたLDEV "＜デバイス番号＞"は＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームに設定されているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07234-E	指定されたLDEV "＜デバイス番号＞"はペアを構成しているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07235-E	LDEV "＜デバイス番号＞"が重複して指定されています。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07236-E	パラメータが無効です：Filter"Condition host"	Condition hostを見直してください。有効なCondition hostは"ASSIGNED"，"UNASSIGNED"です。
KAIC07237-E	LogicalUnit "＜デバイス番号＞"が重複して指定されています。	LogicalUnitの指定を見直してください。
KAIC07238-E	指定したストレージシステムでは，LogicalUnitをフォーマットしないで作成することはできません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07240-E	指定されたLUは，他のストレージシステムからリモートコマンドデバイスとして利用されているため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07241-E	指定されたLDEV "＜デバイス番号＞"は＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用されているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07242-E	LDEV ″＜デバイス番号＞″ はコマンドデバイスです。指定されたLDEVは削除できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07243-E	LU ″＜デバイス番号＞″は外部ボリューム，Poolボリュームまたはjournalボリュームのため，フォーマットを実行できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07244-E	オプションに＜オプション名＞と＜オプション名＞の両方を指定することはできません。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC07245-E	指定した外部ボリュームはコマンドデバイスです。LUの容量を指定する場合，外部ボリュームと同じ容量を指定する必要があります。	LUの指定を見直してください。
KAIC07246-E	ポート″＜ポート名＞″と外部ストレージシステムのポート（WWN = ″＜ポートWWN＞″）の組み合わせを二つ以上指定しているので，この操作を実行できません。	ポートと外部ストレージシステムのポートの指定を見直してください。
KAIC07247-E	ポートロール″＜ポートロール＞″のポートに対しては，この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07248-E	指定した外部ボリュームはコマンドデバイスです。内部ボリュームへのマッピングが必要です。	指定を見直してください。
KAIC07249-E	リモートコマンドデバイスの場合，キャッシュモードを設定することはできません。	指定を見直してください。
KAIC07250-E	指定された＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランに関係するLDEVが，Device Managerデータベースにありません。	指定を見直してください。
KAIC07251-E	指定した″＜パラメータ名＞″は，Device Managerのデータベース内にありません。名称が変更されたか，またはDevice Managerの管理対象から削除されたおそれがあります。指定した値を見直してから再実行してください。	指定した値を見直してから再実行してください。
KAIC07254-E	指定されたLDEVにパスが設定されています。＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームには使用できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07255-E	指定されたLDEVはコマンドデバイスです。＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームには使用できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07256-E	指定されたLDEVは，すでに＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームに設定されています。	LDEVの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07257-E	指定されたLDEVは，＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームではありません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07258-E	リクエストの実行に失敗しました。＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームの設定および解除は同時に指定できません。	予約ボリュームの指定を統一してください。
KAIC07259-E	指定された＜PP名(VolumeMigration)＞の移動プランは，ストレージシステム（"＜ストレージシステム機種＞"，"＜シリアル番号＞"）にありません。	指定を見直してください。
KAIC07263-E	リクエストで指定したオーナーIDが，ターゲットボリュームが持つオーナーIDと一致しません。	オーナーIDの指定を見直してください。
KAIC07265-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたソースボリュームとターゲットボリュームのエミュレーションタイプが一致していません。	ソースボリュームとターゲットボリュームは，エミュレーションタイプが同じのボリュームを指定してください。
KAIC07266-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたソースボリュームとターゲットボリュームのサイズが一致していません。	ソースボリュームとターゲットボリュームは，サイズが同じのボリュームを指定してください。
KAIC07267-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたボリュームは，通常ボリュームとCVSボリュームの組み合わせです。	ソースボリュームとターゲットボリュームは，通常ボリューム同士またはCVSボリューム同士を指定してください。
KAIC07269-E	指定されたLDEVは保護されています。＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームには使用できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07270-E	リクエストの実行に失敗しました。ペアを構成しているため＜PP名(VolumeMigration)＞の予約ボリュームには使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07271-E	リクエストの実行に失敗しました。パラメータ"＜属性名＞"に範囲外の値が指定されました。指定範囲は"＜パラメータ指定最小値＞"-"＜パラメータ指定最大値＞"です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07272-E	指定されたLDEVはすでにCacheResidencyに設定されているため使用できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07273-E	パラメータが正しくありません。：Filter "Condition hostType"	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07274-E	ホストのオブジェクトIDまたはホスト名と，ホストを選択するためのフィルターは，同時に指定できません。	指定を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07275-E	指定されたLDEVは＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用されているため，＜PP名(VolumeMigration)＞には使用できません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC07276-E	指定されたLDEV ″＜デバイス番号＞″ は＜PP名(Dynamic Provisioning)＞のプールに使用されているため，パスを設定することはできません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07277-E	Device Managerでは，＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用するボリュームの削除はできません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07278-E	パラメーターが指定されていません：″＜パラメーター＞″	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07281-E	パラメータが正しくありません。：Filter ″Condition portType″	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07282-E	P-VOLとS-VOLのpoolIDが同一ではありません。	poolIDの指定を見直してください。
KAIC07285-E	パラメーターが正しくありません。：″＜パラメーター＞″	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC07286-E	コマンドデバイスが設定されていないので，この操作を実行できません。	コマンドデバイスを設定してから，再実行してください。
KAIC07287-E	指定したスナップショットグループIDはDevice Managerのデータベースにありません。	スナップショットグループIDの指定を見直してください。
KAIC07288-E	指定したポートはファイバチャネルポートでないので，この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07290-E	指定されたLDEV ″＜デバイス番号＞″は″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″のプールに使用されているため，コマンドを実行できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07292-E	指定したLUの容量が″＜LUのサイズ＞″GB未満なので，この操作を実行できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07294-E	指定したLUはDevice Managerデータベースにありません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07295-E	指定したリモートパスはファイバチャネル接続ではないので，この操作を実行できません。	リモートパスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07296-E	ボリューム（＜デバイス番号＞）はQuorumディスクのため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07299-E	指定したストレージシステム(IPアドレス=″＜IPアドレス＞″)のシリアル番号が，Device Managerに登録されているシリアル番号	Device Managerから対象となっているストレージシステム情報を一旦削除したあと，ストレージシステム情報を再登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	と異なります。保守作業などによって，シリアル番号が変更された可能性があります。(変更前シリアル番号=″＜変更前シリアル番号＞″，変更後シリアル番号=″＜変更後シリアル番号＞″)	
KAIC07300-E	timeToWait アトリビュートメッセージに負の数が設定されています。	有効範囲内で指定してください。
KAIC07301-E	Subscriberが登録されていません。	XML-APIのAddSubscriberでSubscriberの登録をしてください。
KAIC07302-E	パラメータが指定されていません： URLLink request	URLLinkの指定を見直してください。
KAIC07303-E	リクエストに書かれているURLLinkはありません。	オプションおよびobjectIDの指定を見直してください。
KAIC07304-E	リクエストにobjectIDとlinkedIDの両方のパラメータが指定されました。	objectIDまたはlinkedIDのどちらかを指定してください。
KAIC07305-E	URLLinkリクエスト中のobjectIDは有効なストレージシステムを参照していません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07307-E	＜パラメーター名＞に指定されたオブジェクトが見つかりません。	URLLinkの指定を見直してください。
KAIC07308-E	Device Managerは，指定したDevice Managerオブジェクトに対するURLLinkの操作をサポートしていません。	URLLinkの指定を見直してください。
KAIC07309-E	リクエストの実行に失敗しました。″groupName″に″All Resources″以外が指定されています。	ユーザーグループの指定を見直してください。
KAIC07311-E	Device Managerは指定されたホスト″＜ホスト名＞″を認識できません。	指定したホストを追加して再実行してください。
KAIC07312-E	パラメータにはPortとLogicalUnitを同時に指定できません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07313-E	パラメータにPortとLogicalUnitのどちらも指定されていません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07314-E	指定されたストレージシステムはPerformanceデータの取得をサポートしていないか，必要なマイクロバージョンを満たしていません。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07315-E	LogicalUnit範囲（″＜LU範囲下限＞″～″＜LU範囲上限＞″）の指定方法に誤りがあります。	パラメーターを見直して再実行してください。
KAIC07316-E	指定したストレージシステムには＜エレメント名＞エレメントを複数指定できません。	リクエスト中のエレメントの指定を見直したあと，コマンドを再実行してください。
KAIC07317-E	＜パラメーター名＞パラメーターと同時に，複数の＜エレメント	リクエスト中のエレメントの指定を見直したあと，コマンドを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	名＞エレメントを指定できません。	
KAIC07318-E	指定したユーザーは複数のユーザグループに属するため，この操作を実行できません。	複数のユーザグループに属するユーザーに対しては操作できません。
KAIC07319-E	指定したユーザーはBuilt-in user groupに属していないため，この操作を実行できません。	Built-in user groupに属していないユーザーに対しては操作できません。
KAIC07321-E	指定したラベル"＜ラベル＞"は不正です。ラベルは＜ラベルの最大長＞バイト以下で指定してください。	指定したラベルを見直してから再実行してください。
KAIC07322-E	指定したラベル"＜ラベル＞"は不正です。空文字は指定できません。	指定したラベルを見直してから再実行してください。
KAIC07323-E	指定したラベル"＜ラベル＞"は不正です。使用できない文字が含まれています。	指定したラベルを見直してから再実行してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.'。
KAIC07324-E	同じLDEVが指定されたエレメントが複数あります。	LDEVの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07325-E	指定したLDEVにはすでにラベルが与えられています。	LDEVの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07326-E	パラメータが指定されていません： ObjectLabel "targetID"	ObjectLabelのtargetIDを指定してから再実行してください。
KAIC07327-E	パラメータが指定されていません： ObjectLabel "label"	ObjectLabelのラベルを指定してから再実行してください。
KAIC07328-E	指定したLDEVは単一のストレージシステムのものではありません。	LDEVの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07329-E	ユーザーの権限の変更に失敗しました。指定したユーザーの権限が不正な状態になったおそれがあります。該当するユーザーをいったん削除したあと，登録し直してください。	該当するユーザーをいったん削除したあと，登録し直してください。
KAIC07330-E	パラメータが不正です。Userエレメントの"groupName"は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07331-E	指定したホストストレージドメイン（portID="＜ポートID＞", domainNickname="＜ドメインニックネーム＞"）はDevice Managerデータベース内に見つかりません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07332-E	パラメーターが正しくありません。domainIDとdomainNicknameは同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。
KAIC07333-E	パラメーターが正しくありません。domainNicknameとWWNは同時に指定できません。	パラメーターを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07334-E	パラメーターが正しくありません。"＜パラメーター1＞"と"＜パラメーター2＞"は同時に指定できません。エレメント："＜エレメント＞"	リクエストを確認してください。
KAIC07335-E	パラメーターが指定されていません。エレメント："＜エレメント＞"，パラメーター："＜パラメーター＞"	リクエストを確認してください。
KAIC07336-E	パラメーターが正しくありません。"＜エレメント＞"エレメントの"＜パラメーター＞"属性と"＜エレメント＞"エレメントは同時に指定できません。	リクエストを確認してください。
KAIC07337-E	hostTypeが"＜ホストタイプ＞"であるホストに対して，コマンドオプション"＜オプション名＞"は指定できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07341-E	Device Managerでは，＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用するボリューム（devNum="＜デバイス番号＞"）のサイズを変更できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07342-E	LU "＜デバイス番号＞" に指定した容量が不正です。現在の容量より小さな値を指定してください。	容量を指定し直してから，再実行してください。
KAIC07349-E	指定したLUはすでにコマンドデバイスのユーザー認証モードが有効になっているため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07355-E	指定したLUはコマンドデバイスのユーザー認証モードが無効になっているため，コマンドを実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07357-E	トランスポート層からのレスポンスデータが見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07370-E	ストレージシステム（"＜ストレージシステム機種＞"，"＜シリアル番号 （非公開）＞"）はDevice Managerの管理対象外です。	対処の必要はありません。
KAIC07371-E	指定したプール名 "＜プール名＞" は不正です。プール名は＜プール名の最大長＞ バイト以下で指定してください。	指定したプール名を見直してから再実行してください。
KAIC07372-E	指定したプール名 "＜プール名＞" は不正です。使用できない文字が含まれています。	指定したプール名を見直してから再実行してください。
KAIC07373-E	指定したプール名は不正です。プール名には1バイト以上，＜プール名の最大長＞バイト以下で文字列を指定してください。	指定したプール名を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07374-E	指定したプール名"＜プール名＞"は，ほかのプール（プールID：＜プールID＞）で使用されています。別のプール名を指定してから再実行してください。	別のプール名を指定してから再実行してください。
KAIC07375-E	指定したLDEVが属するストレージシステムに対して，コマンドオプション2"＜コマンドオプション名＞"は指定できません。指定したLDEVが属するストレージシステムと，コマンドオプションを見直してから再実行してください。	指定したLDEVの属するストレージシステムと，コマンドオプションを見直してから再実行してください。
KAIC07376-E	指定したプールが属するストレージシステムに対して，コマンドオプション2"＜コマンドオプション名＞"は指定できません。指定したプールが属するストレージシステムと，コマンドオプションを見直してから再実行してください。	指定したプールが属するストレージシステムと，コマンドオプションを見直してから再実行してください。
KAIC07377-E	ストレージシステムから取得したLDEVのラベルに，使用できない文字が含まれていたため，対象のLDEV（DevNum：＜DevNum＞）のラベルを更新しませんでした。Storage Navigatorを使用して対象のLDEVのラベルを確認してください。必要に応じて，ラベルを変更してください。	Storage Navigatorを使用して対象のLDEVのラベルを確認してください。必要に応じて，ラベルを変更してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'~'，'`'，'!'，'@'，'#'，'$'，'%'，'^'，'&'，'('，')'，'_'，'+'，'-'，'='，'{'，'}'，'['，']'，''，'.。
KAIC07378-E	ストレージシステムから取得したプール名に，使用できない文字が含まれていたため，対象のプール（プールID：＜プールID＞）のプール名を更新しませんでした。Storage Navigatorを使用して対象のプール名を確認してください。必要に応じて，プール名を変更してください。	Storage Navigatorを使用して対象のプール名を確認してください。必要に応じて，プール名を変更してください。プール名に使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'~'，'`'，'!'，'@'，'#'，'$'，'%'，'^'，'&'，'('，')'，'_'，'+'，'-'，'='，'{'，'}'，'['，']'，''，'.。
KAIC07379-E	指定したストレージシステムに対して，コマンドオプション"＜コマンドオプション名＞"は指定できません。コマンドオプションを見直してから再実行してください。	指定したコマンドオプションを見直してから再実行してください。
KAIC07380-E	パラメータが正しくありません："＜エレメント＞"，"＜不正パラメータ＞"	エレメント中のパラメーター指定を見直してください。
KAIC07381-E	ConfigurationChangeエレメントのtype属性に不正な値 "＜type属性＞" が指定されました。	type属性の値を確認してください。
KAIC07382-E	対象のLDEV(DevNum：＜DevNum＞)のラベルをストレージシステムに反映できません。ラベルに使用できない文字が含まれています。ラベルを変更してください。	ラベルを変更してください。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'~'，'`'，'!'，'@'，'#'，'$'，'%'，'^'，'&'，'('，')'，'_'，'+'，'-'，'='，'{'，'}'，'['，']'，''，'.。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07383-E	対象のLDEV(DevNum：＜DevNum＞)のラベルをストレージシステムに反映できません。ラベルが長過ぎます。ラベルの長さが＜ラベルの最大長＞バイト以下になるように変更してください。	ラベルを変更してください。
KAIC07384-E	対象のプール(プールID：＜プールID＞)のプール名をストレージシステムに反映できません。プール名に使用できない文字が含まれています。プール名を変更してください。	プール名を変更してください。プール名に使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ';', '.。
KAIC07385-E	対象プール(プールID:＜プールID＞)のプール名をストレージシステムに反映できません。プール名が長過ぎます。プール名の長さが＜プール名の最大長＞バイト以下になるように変更してください。	プール名を変更してください。
KAIC07386-E	指定したLDEV（＜LDEV ID(devNum)＞）はDevice Managerデータベースにないため，操作できません。	指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07387-E	指定したLDEV（＜LDEV ID(devNum)＞）にはすでに仮想LDEV IDが設定されているため，操作できません。	指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07388-E	ボリューム（＜LDEV ID(devNum)＞）はプールボリュームのため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07390-E	指定したストレージシステムはセキュア通信をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07391-E	リクエストの実行に失敗しました。指定した通信プロトコルの内容が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07392-E	ボリューム（＜LDEV ID(devNum)＞）はジャーナルボリュームのため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07394-E	ボリューム（＜LDEV ID(devNum)＞）はLUパスが設定されているため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07395-E	ボリューム（＜LDEV ID(devNum)＞）はコマンドデバイスのため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07396-E	ボリューム（＜LDEV ID(devNum)＞）はオープンボリュームでないため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07397-E	ボリューム（<LDEV ID(devNum)>）はエミュレーションタイプが<エミュレーションタイプ>でないため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07400-E	Device Managerと連携しているソフトウェアから取得した情報を更新しているときに，エラーが発生しました。Device Managerと連携しているソフトウェアの環境に問題があるおそれがあります。詳細情報：″<詳細情報>″	Device Managerと連携しているソフトウェアの環境を見直し，再度実行してください。
KAIC07402-E	ボリューム（<LDEV ID(devNum)>）は指定したリソースグループ（<リソースグループID>）に所属していないため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07403-E	ボリューム（<LDEV ID(devNum)>）はストレージシステム内のリソースグループ（<リソースグループID>）と登録対象リソースグループ（<リソースグループID>）のどちらにも所属していないため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07405-E	指定したストレージシステムは暗号化プールの作成をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07406-E	指定したストレージシステムは暗号化パリティグループの作成をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07407-E	指定したPDEV（<PDEV ID>）は暗号化されています。リクエストを見直して再実行してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07409-E	スナップショットグループ名が誤っています。次の文字を用いて32文字以下で指定してください。0-9 a-z A-Z , - . / : @ ¥ _	入力したスナップショットグループ名を見直してください。
KAIC07410-E	すでにホスト情報の更新処理中のため，ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07411-E	ホストへの設定処理中のため，ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07412-E	ほかの処理がホスト情報にアクセス中のため，ホスト情報の更新に失敗しました。	ホスト情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07413-E	ホスト情報の更新が中断されました。	Device Managerサーバがシャットダウン中のおそれがあります。Device Managerサーバの状態を確認したあと，再度実行してください。
KAIC07416-E	hostTypeが"＜ホストタイプ＞"であるホストに対して，AddHostRefreshを実行できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07418-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"が仮想化サーバであるため，iSCSINameの設定はできません。	指定したホストを変更するか，またはiSCSINameを設定しないで再実行してください。
KAIC07419-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"が仮想化サーバであるため，OS名の設定はできません。	指定したホストを変更するか，またはOS名を設定しないで再実行してください。
KAIC07421-E	指定したホストタイプ"＜ホストタイプ＞"は不正です。	ホストタイプの指定を見直してください。
KAIC07422-E	このAPIでは，指定したホスト"＜ホスト名＞"の情報を変更できません。	指定するホストを見直してください。
KAIC07423-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"は，ホストタイプが＜ホストタイプ＞，データ取得元種別が＜データ取得種別＞であるため，ホストを移行できません。	指定ホストをサポート対象のホストに変更してから，再実行してください。
KAIC07424-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"にはWWNとiSCSIネームのどちらも存在しません。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07425-E	ホスト"＜ホスト名またはオブジェクトID＞"が重複して指定されています。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07426-E	移行先ホストと移行元ホストに同じホストが指定されています。	ホストの指定を見直してください。
KAIC07427-E	すでにクラスタ情報の更新処理中のため，クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07428-E	クラスタへの設定処理中のため，クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07429-E	ほかの処理がクラスタ情報にアクセス中のため，クラスタ情報の更新に失敗しました。	クラスタ情報の更新を再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07430-E	クラスタ情報の更新が中断されました。	Device Managerサーバがシャットダウン中のおそれがあります。Device Managerサーバの状態を確認したあと，再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07431-E	指定したWWN"＜WWN＞"はホスト"＜ホスト名＞"ですでに使用されています。指定したホストでこのWWNを利用する場合は，takeOverWWNオプションを指定してから，再実行してください。	WWNの指定を見直すか，またはtakeOverWWNオプションを指定してから，再実行してください。
KAIC07432-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"を仮想化サーバに変更する場合，現在設定されているiSCSIネームを破棄する必要があります。iSCSINameDiscardオプションを指定してから，再実行してください。	ホストの指定を見直すか，またはiSCSINameDiscardオプションを指定してから，再実行してください。
KAIC07433-E	指定したIPアドレス（＜IPアドレス＞）で検出されたホストは，仮想化サーバではありません。	ホストの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07434-E	このAPIバージョンでは仮想化サーバに対して，AddHostRefreshコマンドを実行できません。	APIサポートバージョンを確認してください。
KAIC07435-E	指定した仮想化サーバの情報が不整合になっています。仮想化サーバをリフレッシュしてから再実行してください。	仮想化サーバをリフレッシュしてから再実行してください。
KAIC07436-E	指定した仮想化サーバを更新中です。しばらく待ってから実行してください。	しらばく待ってから実行してください。
KAIC07437-E	ホストの更新機能は，手動で追加した仮想化サーバへの操作をサポートしていません。（ホスト名＝"＜ホスト名＞"）	対象ホストが更新操作をサポートしていないため，対処の必要はありません。
KAIC07438-E	仮想化サーバはiSCSIをサポートしていないため，統合先ホストに仮想化サーバを指定する場合は，統合元ホストに設定されているiSCSIネームを削除する必要があります。iSCSINameDiscardオプションを指定してから，再実行してください。	iSCSINameDiscardオプションを指定してから，再実行してください。
KAIC07439-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"にはWWNがありません。	指定したホストにWWNを設定してから，再実行してください。
KAIC07442-E	指定したCLPR番号"＜CLPR番号＞"は，すでに該当するボリュームに設定されているため，指定できません。	CLPR番号の指定を見直してください。
KAIC07443-E	指定したCLPR番号"＜CLPR番号＞"はストレージシステムにありません。	CLPR番号の指定を見直してください。
KAIC07444-E	Device Managerでは，割り当て済みボリューム（DevNum＝＜DevNum＞）に対してCLPR番号を設定できません。Storage Navigatorを使用してください。	Storage Navigatorを使用して，CLPR番号を設定し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07445-E	パラメーターが正しくありません。CLPR番号とほかのパラメーターは同時に指定できません。	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC07446-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"<アトリビュート名1>"	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC07450-E	内部エラーが発生しました。P-VOLまたはS-VOLであるLogicalUnit情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07451-E	パラメーターが不足しています。このコマンドを実行するには，コマンドデバイスの設定に必要なパラメーターを指定する必要があります。	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC07454-E	内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07470-E	リクエストの実行に失敗しました。再実行してください。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07471-E	一覧表示用情報の更新に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07472-E	ストレージシステム情報（"<ストレージシステム名>"）が不整合になっています。ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。	ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。
KAIC07473-E	ストレージシステム情報（"<ストレージシステム名>"）を更新中です。しばらく待ってから実行してください。	しばらく待ってから実行してください。
KAIC07474-E	パラメータ"<属性名>"の値は有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07475-E	(startElementNum + numOfElements)の合計値は有効範囲外です。有効範囲は"<最小値>"から"<最大値>"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07476-E	リクエスト中の"<エレメント名>"エレメントにパラメータ"<属性名>"が不足しています。	リクエスト中のエレメントに必要なパラメーターがあるかどうか確認してください。不足しているパラメーターを指定し，再実行してください。
KAIC07477-E	この操作の実行中に，Device Managerサーバでメモリー不足が発生しました。	コマンドがAdd，Modify，Deleteのどれかである場合，以下の対処をしてください。 (1) 以下の手順で，操作の状況を確認してください。 1. Device Managerサーバのメモリーヒープサイズを増やしてください。 2. 操作対象がストレージシステムまたはホストの場合，その操作対象の情報をリフレッシュしてください。 3. 操作の状況を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		(2) 再操作が必要な場合，再操作してください。 コマンドがGetの場合，以下の対処をしてください。 (1) 以下の手順で，再操作してください。 1. Device Managerサーバを再起動してください。 2. 以下のどちらかの対処をしてください。 - Device Managerサーバのメモリーヒープサイズを増やして，再操作する。 - 取得する情報量を減らして，再操作する。
KAIC07478-E	ストレージシステムに対する一時ユーザーの登録中に内部エラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07479-E	仮想化超過率警告通知の値は有効範囲外です。有効範囲は"＜最小値＞"から"＜最大値＞"です。	有効な値を指定してください。
KAIC07481-E	指定されたiSCSIネーム "＜iSCSIネーム＞"は不正です。iSCSIネームの最大長は "＜iSCSIネームの最大長（バイト数）＞"バイトです。	iSCSIネームの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07482-E	指定されたiSCSIネーム "＜iSCSIネーム＞"は不正です。禁則文字が含まれています。	iSCSIネームの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07483-E	リクエストにportWWNとportISCSINameの両方のパラメータが指定されました。	portWWNまたはportISCSINameのどちらかを指定してください。
KAIC07484-E	このホストストレージドメインはファイバチャネルポートまたはFCoEポートに属しているためiSCSIネームを指定できません。	iSCSIポートに属するホストストレージドメインを指定してから再実行してください。
KAIC07485-E	不正なiSCSIネームが指定されました。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07486-E	このホストストレージドメインはiSCSIポートに属しているためWWNを指定できません。	ファイバチャネルポートまたはFCoEポートに属するホストストレージドメインを指定し，再実行してください。
KAIC07487-E	指定したドメインタイプ"＜ドメインタイプ＞"は不正です。	ドメインタイプの指定を見直してください。
KAIC07488-E	iSCSIネームはこのストレージシステムでは無効です。	ストレージシステムを見直してください。
KAIC07489-E	パラメータが指定されていません： ISCSIName "iSCSIName"	iSCSIネームを指定してください。
KAIC07490-E	指定されたiSCSIネーム"＜iSCSIネーム＞"はDevice Managerデータベースにありません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07491-E	指定されたiSCSIネーム ″＜iSCSIネーム＞″は同一ドメイン上のほかのiSCSIネームがすでに使用しているため使用できません。	同一ドメイン上のほかのiSCSIネームと重複しないiSCSIネームを指定してから再実行してください。
KAIC07492-E	ファイバチャネルポートとiSCSIポートの両方の属性を同時に指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07493-E	iSCSIポート用の属性をファイバチャネルポートまたはFCoEポートに指定できません。	ファイバチャネルポート用の属性またはFCoEポート用の属性を指定し，再実行してください。
KAIC07494-E	ファイバチャネルポートの属性をiSCSIポートに指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07495-E	指定したポートは，ファイバチャネルポートおよびFCoEポートのどちらでもないため，リクエストを実行できません。	ファイバチャネルポートまたはFCoEポートを指定し，再実行してください。
KAIC07497-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″ は指定されたiSCSIネーム ″＜iSCSIネーム＞″ のニックネームではありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07498-E	指定されたISCSIName ″＜iSCSIネーム＞″ はホスト″＜ホスト名＞″ ですでに使用されています。	ISCSINameの指定を見直してください。
KAIC07499-E	ホスト ″＜ホスト名＞″ を削除できません。指定されたホストはLUNに使用されているISCSINameを含んでいます。	ホストを削除する前にLUNセキュリティを解除してください。
KAIC07501-E	ファブリック情報の取得中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07502-E	ファブリック情報の更新中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07503-E	このコマンドは同時に実行できません。	しばらくしてから実行してください。
KAIC07505-E	Device Managerデータベースのホスト情報が更新されています。Host Scan実行中にほかの更新処理が実行されたおそれがあります。	ほかの更新処理が実行中でないことを確認してから，Host Scanを再実行してください。繰り返しエラーが発生する場合，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07506-E	Host Scanの対象となるストレージシステムが見つかりません。Host Scanを実行できません。	対処の必要はありません。
KAIC07507-E	Device Managerデータベースのホスト情報が更新されています。ホストの移行中に，ほかの更新処理が実行されたおそれがあります。	ほかの更新処理が実行中でないことを確認してから，ホストを移行してください。繰り返しエラーが発生する場合，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07510-E	ストレージシステム上で有償オプションの構成が変更されているおそれがあります。	ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してから，再実行してください。
KAIC07511-E	指定したストレージシステムはすでに最大数のユーザーが登録され	ストレージシステムから不要なユーザーを削除してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ているので，ユーザーを登録できません。	
KAIC07512-E	一時ユーザーと同じユーザーIDがすでにストレージシステムに登録されています。	ストレージシステムから該当するユーザーを削除してから，再実行してください。
KAIC07513-E	＜構成要素名＞（＜属性名＞=″＜属性値＞″）が重複して指定されています。	＜構成要素名＞の指定を見直してください。
KAIC07514-E	指定したプールID″＜プールID＞″はすでにストレージシステムで使用されています。	プールIDの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07515-E	指定した＜構成要素名＞（＜属性名＞=″＜属性値＞″）はDevice Managerデータベースにありません。	＜構成要素名＞の指定を見直してください。
KAIC07516-E	＜属性名＞の値″＜属性値＞″が＜属性名＞の値″＜属性値＞″以上であるため，操作できません。	＜属性名＞，＜属性名＞の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07517-E	＜構成要素名＞の指定が不正です。一つのプールを構成するすべての＜構成要素名＞は，ドライブ種別が同じでなければなりません。	＜構成要素名＞の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07518-E	＜構成要素名＞（＜属性名＞=″＜属性値＞″）の状態が″＜状態＞″であるため，操作を実行できません。	＜構成要素名＞の状態を回復してから，再実行してください。
KAIC07519-E	指定した容量″＜容量＞″は不正です。″＜最小値＞″から″＜最大値＞″の範囲内で指定してください。	容量の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07520-E	＜PP名＞のプールを構成するアレイグループに対し，この操作はできません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC07521-E	この操作では，RAIDレベル″＜RAIDレベル＞″を指定できません。	RAIDレベルの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07522-E	RAIDレベルとPDEV数の組み合わせが不正です。	RAIDレベルとPDEVの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07523-E	プール（機能=″＜PP名＞″，プールID=″＜プールID＞″）のコンビネーションとPDEV数が一致していません。	PDEVの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07524-E	コマンドオプション″＜オプション名＞″が指定されていません。	コマンドオプション″＜オプション名＞″を指定してください。
KAIC07525-E	指定したコマンドオプション″＜オプション名＞″は無効です。	コマンドオプションの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07526-E	＜構成要素名＞（＜属性名＞=″＜属性値＞″）に指定した容量が不正です。現在の容量より大きな値を指定してください。	容量の指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07527-E	プール（プールID=″＜プールID＞″）が閉塞しているため，操作できません。	プールの閉塞状態を回復してから，再実行してください。
KAIC07528-E	コマンドオプション2″＜オプション名＞″が指定されていません。	コマンドオプション2″＜オプション名＞″を指定してください。
KAIC07529-E	プール（プールID=″＜プールID＞″）のステータスが″正常″ではないため，操作できません。	プールの状態を回復してから，再実行してください。
KAIC07530-E	仮想化超過警告しきい値が有効範囲外です。有効範囲は″＜最小値＞″から″＜最大値＞″です。	仮想化超過警告しきい値の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07531-E	仮想化超過限界しきい値が有効範囲外です。有効範囲は″＜最小値＞″から″＜最大値＞″です。	仮想化超過限界しきい値の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07532-E	指定したプール″＜プールID＞″の仮想化超過率が，仮想化超過限界しきい値をすでに超えています。	プールの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07533-E	このコマンドを実行すると，指定したプール″＜プールID＞″の仮想化超過率が仮想化超過限界しきい値を超えます。	作成または変更する仮想ボリュームの容量および個数を見直してから，再実行してください。
KAIC07534-E	仮想化超過警告しきい値″＜属性値＞″が仮想化超過限界しきい値″＜属性値＞″以上なので，操作できません。	仮想化超過警告しきい値および仮想化超過限界しきい値の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07535-E	コマンドオプションに ″＜オプション名＞″ は指定できません。	指定したコマンドオプションを見直したあと，コマンドを再実行してください。
KAIC07536-E	ストレージシステムに対してリフレッシュしていないため，この操作は実行できません。	操作対象のストレージシステムをリフレッシュしてください。ストレージシステムがリフレッシュ済みの場合は，ストレージシステムのマイクロコードをアップグレードしてから，再度リフレッシュしてください。対処したあとも繰り返しエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07540-E	指定したIPアドレス″＜指定したIPアドレス＞″を持つホストは，すでに登録されています。	指定したIPアドレスを見直したあと，操作を再実行してください。
KAIC07544-E	同じホスト名″＜ホスト名＞″を持つホストが，すでに登録されています。	ホスト名を見直し，必要に応じてホスト名を変更してから，再実行してください。
KAIC07546-E	指定したドライブ（＜ドライブ番号＞）は使用できません。（role=″＜role＞″）	ドライブの指定を見直してください。
KAIC07550-E	指定されたIPアドレス ″＜IPアドレス＞″はほかのポートがすでに使用しているため使用できません。	ほかのポートと重複しないIPアドレスを指定してから再実行してください。
KAIC07551-E	ポートに不正な形式のIPアドレス″＜IPアドレス＞″が指定されました。	IPアドレスとして正しい値を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07552-E	ポートに不正な形式のサブネットマスク ″＜サブネットマスク＞″が指定されました。	サブネットマスクとして正しい値を指定してください。
KAIC07553-E	ポートに不正な形式のデフォルトゲートウェイ ″＜デフォルトゲートウェイ＞″が指定されました。	デフォルトゲートウェイとして正しい値を指定してください。
KAIC07554-E	ポートに無効なPortNumberが指定されました。	PortNumberとして正しい値を指定してください。
KAIC07555-E	ポートに無効なkeepAliveTimeが指定されました。	keepAliveTimeとして正しい値を指定してください。
KAIC07556-E	指定されたiSCSIネーム″＜iSCSIネーム＞″は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないiSCSIネームを指定してから再実行してください。
KAIC07557-E	指定できるISCSINameの最大数″＜iSCSIネームの最大数＞″を超えての指定はできません。	指定されたポートへこれ以上ISCSINameを追加できません。不要なISCSINameを削除した後，再実行してください。
KAIC07558-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″ は同一ポート上のほかのISCSINameがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのISCSINameと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07559-E	Device Managerはストレージシステムに対する操作をサポートしていません。操作を実行するには，マイクロコードのバージョンが″＜マイクロコードバージョン＞″以上でなければなりません。	この操作を実行するにはマイクロコードをバージョンアップしてください。
KAIC07560-E	iSCSIの属性をファイバチャネルのHostInfoに指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07561-E	ファイバチャネルの属性をiSCSIのHostInfoに指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07564-E	指定されたLogicalUnitはすでにプール(poolID=″＜プールID＞″)が関連づけられています。	pvolPoolIDの指定を見直してください。
KAIC07565-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムにプールがありません。	プールを作成したあと再実行してください。
KAIC07567-E	プールの使用率（プールID=″＜プールID＞″，使用率=″＜プール使用率＞″）がしきい値（＜属性名＞=″＜属性値＞″）以上であるため，この操作はできません。	プール使用率が＜属性名＞の値を下回るように構成を見直してから，再実行してください。
KAIC07568-E	指定したLUはすでにコマンドデバイスのデバイスグループ定義が無効になっているため，コマンドを実行できません。	デバイスグループ定義の指定を見直してください。
KAIC07569-E	指定したプールは，Device Managerがサポートしていない設定や構成になっているため，操作を実行できません。	次のことを確認してください。どれにも該当しない場合，ストレージシステムの情報が不完全な状態になっているおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。 ・枯渇しきい値を設定している場合，しきい値を変更できません。 ・ドライブタイプなどが異なるプールボリュームで構成されている場合，プールを削除，拡張，および縮小できません。 ・RAIDレベルまたはHDUコンビネーションが混在しているプールの拡張はできません。
KAIC07571-E	指定したプールを構成するすべてのLUは，ドライブ種別が同じでなければなりません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07572-E	仮想ボリュームがあるのでプールを削除できません。	指定したプールに割り当てられている仮想ボリュームをすべて削除してから再実行してください。
KAIC07573-E	指定したプールのプールボリュームを削除できません。	ストレージシステムの機能を確認してください。
KAIC07575-E	指定したLUは，指定したジャーナルグループのボリュームではありません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07576-E	LU"＜デバイス番号＞"は外部ボリュームのため，"＜PP名(Dynamic Tiering)＞"のプールボリュームに指定できません。	ほかのLUを指定して，操作を再実行してください。
KAIC07577-E	"流入制限"の値が"いいえ"の場合，"データあふれ監視時間"を指定できません。	ジャーナルグループオプションの指定内容を見直してから再実行してください。
KAIC07578-E	指定した"パス監視時間"と"パス監視時間の単位"の組み合わせが不正です。	"パス監視時間の単位"と"パス監視時間"の指定を見直してから再実行してください。
KAIC07581-E	LU "＜デバイス番号＞"はI/O抑止モードが有効になっています。プールボリューム／ジャーナルボリュームには利用できません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07582-E	LU "＜デバイス番号＞"はシステムボリュームです。プールボリューム／ジャーナルボリュームには利用できません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07583-E	ジャーナルボリュームの削除では，ジャーナルボリュームを空にすることはできません。	LUの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07584-E	指定したジャーナルグループID "＜ジャーナルグループID＞" はストレージシステムですでに"＜PP名(Asynchronous Replication)＞"に使用されています。	ジャーナルグループIDの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07585-E	指定したジャーナルグループは，ボリュームが割り当てられていないので操作できません。	ジャーナルグループIDの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07586-E	指定したプールID "＜プールID＞" は有効な値ではありませ	プールIDの指定を見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ん。プールIDは"＜値1＞"または"＜値2＞"でなければなりません。	
KAIC07587-E	指定したプールは外部ボリュームのプールボリュームを含むため，Tier管理の設定を変更できません。	指定したプールを，外部ボリュームのプールボリュームを含まない構成に変更してください。そのあと，操作を再実行してください。
KAIC07588-E	ジャーナルグループを変更する場合，ジャーナルグループのオプション，ミラーのオプション，および変更するLUのうち，どれかを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07589-E	このAPIバージョンでは指定したプール／ジャーナルグループを追加できません。	指定したAPIのバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。
KAIC07590-E	このAPIバージョンでは指定したプール／ジャーナルグループを削除できません。	指定したAPIのバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。
KAIC07591-E	このAPIバージョンでは指定したプール／ジャーナルグループを変更できません。	指定したAPIのバージョンでサポートされている操作であることを確認してください。
KAIC07592-E	パラメーターが不正です。"パス監視時間"または"パス監視時間の単位"を指定する場合，両方同時に指定しなければなりません。	"パス監視時間"と"パス監視時間の単位"を両方指定してください。
KAIC07593-E	指定したプールは無効です。	プールIDの指定を見直してから再実行してください。
KAIC07594-E	プール拡張用のLUもプールの属性も指定されなかったため，プールの拡張もプールの属性変更も行えませんでした。	プール拡張用のLUまたはプールの属性を指定し，操作を再実行してください。
KAIC07595-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したボリュームのエミュレーションタイプが"＜エミュレーションタイプ1＞"と"＜エミュレーションタイプ2＞"の組み合わせです。	ソースボリュームとターゲットボリュームは，同じエミュレーションタイプを指定してください。
KAIC07596-E	ストレージシステムの情報（"＜ストレージシステム名＞"）が不完全な状態になっています。ストレージシステムをリフレッシュしてから再度実行してください。	ストレージシステムをリフレッシュしてから再実行してください。
KAIC07597-E	指定したLUのドライブ種別およびディスク回転数は同じですが，RAIDレベルが異なるため，プールを構成できません。	ドライブ種別およびディスク回転数が同じLUを組み合わせてプールを構成する場合は，それぞれのLUのRAIDレベルをすべて同じにしてください。
KAIC07598-E	プールボリュームに指定したLUのドライブ種別およびディスク回転数の組み合わせが，3種類を超えています。	プールボリュームとして使用するLUのドライブ種別およびディスク回転数の組み合わせを，3種類までにしてください。そのあと，操作を再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07599-E	LU"＜デバイス番号＞"のドライブ種別またはディスク回転数は，プールボリュームとして使用できない値です。	LUのドライブ種別またはディスク回転数を確認して，要件に合うLUを指定してください。そのあと，操作を再実行してください。
KAIC07600-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョン"＜マイクロコードバージョン＞" では，"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"の設定操作はできません。	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC07601-E	Device Managerは，"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"機能以外では "＜操作＞" の操作をサポートしていません。	機能のタイプの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07602-E	LU "＜デバイス番号＞" の容量が有効範囲外です。プールボリュームには利用できません。プールボリュームの容量は "＜最小値(KB)＞KB(＜最小値(LBA)＞LBA)" 以上でなければなりません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07604-E	LU "＜デバイス番号＞" にはパスが設定されています。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07605-E	LU "＜デバイス番号＞" は"＜PP名(Volume Migration)＞"の予約ボリュームです。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07606-E	LU "＜デバイス番号＞" は"＜PP名＞"の"＜ボリューム属性＞"です。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07607-E	LDEV "＜デバイス番号＞" のステータスが"正常"ではないため，プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LDEVの状態を確認してから，再実行してください。
KAIC07608-E	LDEV "＜デバイス番号＞" は保護されています。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07609-E	"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"の一つのプール／ジャーナルグループを構成するすべてのLDEVは，同じCLPRでなければなりません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07610-E	エミュレーションタイプが "＜エミュレーションタイプ＞" のLU "＜デバイス番号＞" を"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"のプールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07611-E	LU ″＜デバイス番号＞″ はコマンドデバイスです。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07612-E	LU ″＜デバイス番号＞″ は″＜PP名(Cache Residency)＞″に設定されています。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07613-E	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″の一つのプール／ジャーナルグループを構成する最大LU数を超えるため，プールボリューム／ジャーナルボリュームを追加できません。	指定するLU数を減らしてから，再実行してください。
KAIC07614-E	指定された閾値 ″＜閾値＞″ は有効な値ではありません。	有効な値を指定してから，再実行してください。
KAIC07615-E	指定されたプールID ″＜プールID＞″ はストレージシステムで既に″＜PP名＞″または″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″に使用されています。	プールIDの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07616-E	指定されたプールID／ジャーナルグループID ″＜プールID／ジャーナルグループID＞″ は有効な値ではありません。プールID／ジャーナルグループIDは″＜最小値＞″から″＜最大値＞″の範囲内でなければなりません。	プールID／ジャーナルグループIDの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07617-E	指定したプールを構成するLUのRAIDレベルが異なるため，プールを構成できませんでした。	プールを構成するLUのRAIDレベルをすべて同じに設定したあと，操作を再実行してください。
KAIC07618-E	指定されたプールに関連づけられているLUが存在するため，プールを削除できません。	プールに関連づけられているすべてのLUのプールとの関連を解除してから，再実行してください。
KAIC07619-E	指定したプールを構成するLUのディスク回転数が異なるため，プールを構成できませんでした。	プールを構成するLUのディスク回転数をすべて同じに設定したあと，操作を再実行してください。
KAIC07620-E	LU ″＜デバイス番号＞″ はすでにプールと関連づけられています。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07621-E	″＜ボリューム属性＞″とプールは同じCLPRでなければなりません。	ボリュームとプールの組み合わせを見直してから，再実行してください。
KAIC07622-E	リクエストの実行に失敗しました。LU ″＜デバイス番号＞″ がプールと関連づいてません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07623-E	LU ″＜デバイス番号＞″ にパスが設定されているため，関連づけを削除できません。	LUのパスを解除してから，再実行してください。
KAIC07625-E	アレイグループ（シャーシ=″＜シャーシ＞″ アレイグループ番号=″＜アレイグループ番号＞″）は，すでにストレージシステムにあります。	リクエストを見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07626-E	指定されたデバイス番号 ″＜デバイス番号＞″ はすでに使用されています。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07627-E	アレイグループ内のLDEV数が最大数を超えるため，LDEVを作成できません。	指定するボリューム数を減らしてから，再実行してください。
KAIC07629-E	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″では，エミュレーションタイプが ″＜エミュレーションタイプ＞″ のLUを作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直し，再実行してください。
KAIC07630-E	指定されたアレイグループはデータベースにありません。	アレイグループの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07631-E	指定されたアレイグループ（シャーシ=″＜シャーシ＞″ アレイグループ番号=″＜アレイグループ番号＞″）には，プールと関連づけられたLDEVが含まれているため，削除できません。	″force″オプションを指定してから，再実行してください。
KAIC07632-E	指定されたアレイグループ（シャーシ=″＜シャーシ＞″ アレイグループ番号=″＜アレイグループ番号＞″）にはパスが設定されたLUが含まれているため，削除できません。	LUに設定されているパスを解除してから，再実行してください。
KAIC07634-E	指定されたアレイグループ（シャーシ=″＜シャーシ＞″ アレイグループ番号=″＜アレイグループ番号＞″）には保護されているLDEVが含まれているため，削除できません。	アレイグループの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07635-E	指定されたデバイス番号 ″＜デバイス番号＞″ は有効な値ではありません。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07636-E	LU ″＜デバイス番号＞″ がプールと関連づけられているため，削除できません。	″force″オプションを指定してから，再実行してください。
KAIC07637-E	LU ″＜デバイス番号＞″ にパスが設定されているため，削除できません。	LUに設定されているパスを解除してから，再実行してください。
KAIC07639-E	LU ″＜デバイス番号＞″ は保護されているため，削除できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07640-E	パラメーターが指定されていません ： LU ″emulation″	LUのエミュレーションタイプを指定してください。
KAIC07641-E	パラメーターが指定されていません ： LU ″dpPoolID″	LUのプールIDを指定してください。
KAIC07642-E	パラメーターが指定されていません ： LU ″threshold″	LUの閾値を指定してください。
KAIC07643-E	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″の一つのプールを構成するすべてのLUは，ボリュームの区分（内部または外	LUの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	部）が同じでなければなりません。	
KAIC07644-E	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″の一つのプールを構成するすべてのLDEVは，キャッシュモードが同じでなければなりません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07645-E	指定したLU ″＜デバイス番号＞″に対応するLDEV の状態が，正常またはクイックフォーマット中ではありません。プールの作成および拡張はできません。	LDEVの状態が正常またはクイックフォーマット中のLUを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC07646-E	指定したLUはすでにコマンドデバイスのデバイスグループ定義が有効になっているため，コマンドを実行できません。	デバイスグループ定義の指定を見直してください。
KAIC07647-E	アレイグループのオブジェクトIDが指定されていません。″exist″オプションを指定する場合は，アレイグループのオブジェクトID指定が必要です。	アレイグループのオブジェクトIDを指定してください。
KAIC07648-E	指定されたアレイグループ（chassis=″＜シャーシ＞″ number=″＜アレイグループ番号＞″）は″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″用ではありません。	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″用のアレイグループを指定してください。
KAIC07649-E	指定されたLU（devNum=″＜デバイス番号＞″）は″＜PP名＞″の″＜ボリューム属性＞″ではありません。	＜PP名＞の＜ボリューム属性＞を指定してください。
KAIC07650-E	Provisioning Manager Serverでエラーが発生しました。（メッセージID:＜メッセージID＞）	Provisioning Manager Serverのログを参照してください。
KAIC07651-E	Provisioning Manager Serverの呼び出しでエラーが発生しました。	Provisioning Manager Serverのログを参照してください。
KAIC07652-E	指定した論理グループまたはそれ以下の論理グループに，操作できない論理グループがあります。	GUIから論理グループを操作してください。
KAIC07653-E	指定した論理グループは子グループを持っているため，オブジェクトを追加できません。	子グループを持たない論理グループを指定してください。
KAIC07654-E	指定した新規割り当て用空き領域率（階層＜階層＞）が有効範囲外です。有効範囲は″＜最小値＞″から″＜最大値＞″です。	新規割り当て用空き領域率の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07655-E	指定した再配置用バッファー領域率（階層＜階層＞）が有効範囲外です。有効範囲は″＜最小値＞″から″＜最大値＞″です。	再配置用バッファー領域率の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07658-E	指定した階層（階層＜階層＞）はありません。	指定したプールの階層数を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07659-E	作成される階層数を超えるため，階層＜階層＞は指定できません。	指定したプールの階層数を見直してから，再実行してください。
KAIC07668-E	＜構成要素名＞（"＜属性名＞"）が重複して指定されています。	＜構成要素名＞の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07669-E	新規割り当て用空き領域率，または再配置用バッファー領域率の設定時に内部エラーが発生しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07678-E	VMware vCenter Serverへの接続に失敗しました。	次の対処をしてください。 ・VMware ESX サーバおよび VMware vCenter Serverのサービスが起動していることを確認してください。 ・VMware vSphere Clientを再起動してください。 エラーが繰り返し発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07679-E	ストレージの削除に失敗しました．指定したボリュームはデータストアに利用されているため，削除できません。(データストア名="＜データストア名＞")	次のことを確認したあと，再実行してください。 ・パラメーターが正しく指定されていること ・指定したボリュームが，データストアで利用されていないこと エラーが繰り返し発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC07680-E	ストレージの追加に失敗しました。VMware ESX サーバが認識していないストレージシステムのポートが指定されました。	VMware ESXサーバが認識しているストレージシステムのポートを指定してから再実行してください。VMware ESX Serverが認識しているストレージシステムのポートが不明な場合は，ストレージ管理者に問い合わせてください。
KAIC07681-E	指定したポート"＜ポート情報＞"のIPv6SettingModeが有効になっていません。	ポートのIPv6を有効にしてから再実行してください。
KAIC07682-E	指定したポート"＜ポート情報＞"のVLANが有効になっていません。	ポートのVLANを有効にしてから再実行してください。
KAIC07683-E	ポート"＜ポート情報＞"に無効な"＜パラメータ名＞"が指定されました。	"＜パラメータ名＞"として正しい値を指定してください。
KAIC07684-E	指定したポート"＜ポート情報＞"の"＜パラメータ名＞"は自動設定のため，"＜パラメータ名＞"を指定できません。	ポートの"＜ポート情報＞"を手動設定にしてから再実行してください。
KAIC07685-E	ポートに不正な形式の"＜パラメータ名＞"が指定されました。	IPv6アドレスとして正しい値を指定してください。
KAIC07686-E	指定したストレージシステムでは，"＜機能の種類(IPv6)＞"のパラメーターを指定できません。	ストレージシステムの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07687-E	vlanSettingModeを有効にする場合は，vlanIDを指定してください。	vlanIDを指定してください。
KAIC07688-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョン"＜マイクロコードバージョン＞"では，設定項目（"＜パラメータ名＞"）をサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC07689-E	このストレージシステムに対して仮想ストレージシステムのファミリーを指定することはできません。	仮想ストレージマシンのモデルを指定し，再実行してください。
KAIC07693-E	指定したディレクトリ（＜ディレクトリ名＞）はすでに存在します。別のディレクトリを指定してください。	別のディレクトリを指定してください。
KAIC07696-E	指定したボリュームが見つかりません。	ボリュームが削除されたおそれがあります。ボリュームの存在を確認したあと，再実行してください。
KAIC07698-E	指定したボリューム"＜devNum＞"は使用できません。	ストレージシステムの構成が変更されたおそれがあります。ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07699-E	仮想ファミリー（"＜仮想ファミリー＞"）と仮想シリアル番号（"＜仮想シリアル番号＞"）が同じ仮想ストレージマシンがすでにあるため，操作できません。仮想モデルおよび仮想シリアル番号の指定を見直してから，再操作してください。	仮想モデルおよび仮想シリアル番号の指定を見直してから，再操作してください。
KAIC07700-E	"＜操作＞"操作ではアレイグループとLUを同時に指定できません。	アレイグループまたはLUのどちらかを指定してから，再実行してください。
KAIC07701-E	コマンドオプション2に "＜オプション名＞" は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07702-E	コマンドオプション2の "＜オプション名＞" に指定された値が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07703-E	アレイグループ（シャーシ="＜シャーシ＞" アレイグループ番号="＜アレイグループ番号＞"） が重複して指定されています。	アレイグループの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07704-E	指定されたプール（機能="＜PP名(Dynamic Provisioning)＞", プールID="＜プールID＞"）はデータベースにありません。	プールの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07705-E	パラメーターが指定されていません： ArrayGroup "chassis"または"number"	ArrayGroupの"chassis"および"number"の両方を指定してください。
KAIC07706-E	指定されたリクエストでは，ArrayGroupエレメント	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の"chassis", "number"は指定できません。	
KAIC07707-E	指定されたリクエストでは，ArrayGroupエレメントは一つでなければなりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07708-E	LogicalUnitエレメントの属性"dpPoolID"にはすべて同じ値を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07709-E	リクエスト中のエレメント数が不正です。指定されたリクエストでは，"＜親エレメント名＞"エレメントに子エレメント"＜子エレメント名＞"が一つ指定されなければなりません。	リクエスト中のエレメント数を見直してから，再実行してください。
KAIC07710-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。"＜エレメント名＞"または"＜エレメント名＞"	リクエスト中のエレメントの指定を見直してください。
KAIC07711-E	アレイグループ（シャーシ="＜シャーシ＞" アレイグループ番号="＜アレイグループ番号＞"）がストレージシステム内に見つかりません。	アレイグループまたはストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07712-E	デバイス番号 "＜デバイス番号＞" が重複して指定されています。	デバイス番号の指定を見直してください。
KAIC07713-E	"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"の一つのプールを構成するすべてのLDEVは，ドライブ種別が同じでなければなりません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07714-E	リクエスト中のエレメントまたは属性が不足しています。"＜エレメント名＞"エレメントまたは"＜属性名＞"属性	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07715-E	リクエストには，LogicalUnitのcapacityInKBとLDEVのlbaの両方のパラメータを同時に指定することはできません。	LogicalUnitのcapacityInKBまたはLDEVのlbaのどちらかを指定してください。
KAIC07716-E	リクエストの実行に失敗しました。オプションに"＜オプション名＞"を指定した場合，＜エレメント名＞エレメントは指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07717-E	リクエストの実行に失敗しました。オプションに"＜オプション名＞"を指定した場合，＜エレメント名＞エレメントの＜属性名＞は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07718-E	指定した検索条件の名前(＜検索条件名＞)は，すでに使用されています。	別の検索条件名を指定してください。
KAIC07719-E	指定した論理グループ(＜論理グループ名＞)は，すでに同じ親を	指定した論理グループ名を見直したあと，操作を再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	持つ論理グループで登録されています。	
KAIC07728-E	XMLを解析している最中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07729-E	メッセージを復号化している最中にエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07731-E	指定されたアレイグループでのLDEV作成はサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07733-E	パラメーターが指定されていません： Host ″objectID″または″name″	Hostの″objectID″または″name″のどちらかを指定してください。
KAIC07741-E	すべてのExternalPathInfoエレメントのpriority属性に，値が指定されていません。	すべてのpriority属性に値を指定するか，またはすべてのpriority属性の値を省略してください。
KAIC07742-E	複数のExternalPathInfoエレメントのpriority属性に同じ値が指定されています。	複数のExternalPathInfoエレメントのpriority属性には，それぞれ異なる値を設定してください。
KAIC07743-E	ExternalPathInfoエレメントのpriority属性に指定した値が，指定したパスグループに設定されている値と異なります。	priority属性には，指定したパスグループに設定されたpriority属性と同じ値を指定してください。
KAIC07744-E	指定したスナップショットグループ″＜スナップショットグループ名＞″はストレージ装置（モデル名″＜モデル名＞″，シリアル番号″＜シリアル番号＞″）にありません。	異なるスナップショットグループ名を指定したあと，再実行してください。
KAIC07745-E	指定した階層の配下に子グループを作成できません。親階層はフォルダの論理グループを指定してください。	フォルダの論理グループを親階層に指定してください。
KAIC07748-E	パラメーターが指定されていません： storage system ″arrayType″または″serialNumber″	storage systemの″arrayType″および″serialNumber″の両方を指定してください。
KAIC07749-E	パラメーターが指定されていません： SnapshotGroup ″groupID″または″groupName″	SnapshotGroupの″groupID″または″ groupName ″のどちらかを指定してください。
KAIC07763-E	Device Manager Serverによってタイムアウトしました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07764-E	内部エラーが発生しました。パラメータ″＜パラメータ＞″が指定されていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07771-E	″＜操作＞″の結果の取得に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07791-E	ホスト″＜ホスト名＞″上のソフトウェア情報取得に失敗しました。エラーの詳細：″＜エラーの詳細＞″	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07793-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたLU ″＜デバイス	LUの指定を見直し，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	番号＞″ は＜PP名(Asynchronous Replication)＞で使用されています。	
KAIC07795-E	＜PP名(Asynchronous Replication)＞で使用されているLU (devNum=″＜デバイス番号＞″) の最後のパスは解除できません。	指定を見直してください。
KAIC07796-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたLU ″＜デバイス番号＞″ はジャーナルボリュームとして使用されています。	LUの指定を見直し，再実行してください。
KAIC07800-E	リクエスト中のエレメント数が不正です。 ″＜エレメント名＞″エレメントの指定できる最大数は ″＜指定できる最大エレメント数＞″です。	リクエスト中の指定エレメント数を見直した後，再実行してください。
KAIC07801-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。 ″＜エレメント名＞″エレメントを指定してください。	リクエスト中のエレメントの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07802-E	リクエスト中のエレメントが不足しています。このコマンドを実行するには ″＜エレメント名＞″エレメントを ″＜指定できる最小エレメント数＞″以上指定する必要があります。	リクエスト中の指定エレメント数を見直した後，再実行してください。
KAIC07803-E	パラメータが指定されていません： ″＜エレメント名＞″ ″＜アトリビュート名＞″	リクエスト中のエレメントに正しくパラメーターが指定されているか見直した後，再実行してください。
KAIC07804-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上のPathエレメントで同一オブジェクトが指定されています。	Pathエレメントのオブジェクトの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07805-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の ″WorldWideName″エレメントで同一WWN ″＜WWN＞″が指定されています。	WorldWideNameエレメントのWWN指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07806-E	指定したポート ″＜ポート名＞″はセキュリティスイッチがOFFになっているので，コマンドを実行できません。このコマンドを実行するにはポートのセキュリティスイッチがONになっている必要があります。	指定したポートのセキュリティスイッチをONにしたあと，再実行してください。
KAIC07810-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は不正です。ニックネームの最大長は ″＜ニックネームの最大長（バイト数）＞″バイトです。	ニックネームの指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07811-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は不正です。禁則文字が含まれています。	ニックネームの指定を見直した後，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07818-E	指定したパスはポート ″＜ポート名＞″上のパスではありません。指定したポート上のパスを指定する必要があります。	指定するポートとパスの関係を見直したあと，再実行してください。
KAIC07822-E	指定されたWWN ″＜WWN＞″は同一ポート上のホストストレージドメイン″＜HostStorageDomain＞″で使われているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインで使われていないWWNを指定してから再実行してください。
KAIC07825-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は同一ポート上のほかのWWN/ホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのWWN/ホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07826-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのホストストレージドメインと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07827-E	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は同一ポート上のほかのWWNがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のほかのWWNと重複しないニックネームを指定してから再実行してください。
KAIC07828-E	指定したホストストレージドメイン(nickname=″＜HSDのニックネーム＞″，portID=″＜ポートID＞″)はありません。	指定を見直してください。
KAIC07829-E	指定したWWN(nickname=″＜WorldWideNameのニックネーム＞″)はホストストレージドメイン(portID=″＜ポートID＞″，domainID=″＜ドメインID＞″)にありません。	指定を見直してください。
KAIC07830-E	＜PP名＞が設定されているLU（devNum=″＜デバイス番号＞″）の最後のパスは解除できません。	設定を解除してから，パスを解除してください。
KAIC07832-E	指定されたISCSIName(nickname=″＜ISCSINameのニックネーム＞″)はホストストレージドメイン(portID=″＜ポートID＞″，domainID=″＜ドメインID＞″)にありません。	指定を見直してください。
KAIC07833-E	指定されたホストストレージドメインはDevice Managerデータベース内にありません。	ホストストレージドメインの指定を見直してください。
KAIC07834-E	ホスト″＜ホスト名＞″とホスト″＜ホスト名＞″は互いに通信できる通信プロトコルがありません。	ホストの設定を見直してください。
KAIC07836-E	ポートロール″＜ポートロール＞″のポート（portID=″＜ポートID＞″）に対して，この操作を実行できません。	ポートの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07840-E	指定したポートにはすでにLUNの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとLUNの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07841-E	指定したHostStorageDomainにはすでにLUNの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとLUNの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07844-E	パラメータが不正です。リクエスト中の二つ以上の"Rule"エレメントで同一ruleID"＜ruleID＞"が指定されています。	RuleエレメントのruleID指定を見直した後，再実行してください。
KAIC07845-E	同じポート/グループ/LUNの組（portID="＜ポートID＞"/domainID="＜ドメインID＞"/lun="＜LUN＞"）に対して，複数のボリュームを設定しようとしています。	指定を見直してください。
KAIC07847-E	同じポート/グループ/LUNの組（portID="＜ポートID＞"/lun="＜LUN＞"）に対して，複数のボリュームを設定しようとしています。	指定を見直してください。
KAIC07848-E	先頭に指定するLDEV（devNum="＜デバイス番号＞"）は指定するLDEVのなかで最も小さい番号である必要があります。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07849-E	指定したリクエストは，ArrayGroupエレメントにtype="＜アレイグループタイプ＞"を指定した場合，LogicalUnitエレメントの「dpPoolID」または「threshold」は指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07850-E	指定したリクエストは，複数のArrayGroupの「type」が異なっています。「type」は同一である必要があります。	ArrayGroupの「type」を見直してから再実行してください。
KAIC07851-E	このArrayGroupの指定は，「force」オプションを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07852-E	指定したアレイグループ（シャーシ="＜シャーシ＞" アレイグループ番号="＜アレイグループ番号＞"）はペアが構成されているLU "＜デバイス番号＞"があるので，削除できません。	アレイグループの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07853-E	指定したLU "＜デバイス番号＞"はペアが構成されているので，削除できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07856-E	このリクエストは，シャーシ="＜シャーシ＞"を持つArrayGroupを指定できません。	ArrayGroupの指定を見直してください。
KAIC07857-E	このリクエストは，シャーシ="＜シャーシ＞"を持つLogicalUnitを指定できません。	LogicalUnitの指定を見直してください。
KAIC07858-E	指定したリクエストは，複数のLogicalUnitの仮想ボリュームの「type」が異なっています。仮想ボリュームの「type」は同一である必要があります。	LogicalUnitの指定を見直してください。
KAIC07859-E	指定したストレージ装置にはすでにスナップショットグループの最大数が設定されているか，またはこの処理をするとスナップショットグループの最大数を超えるおそれがあります。	設定内容を見直してください。
KAIC07861-E	パラメータ"＜パラメータ名＞"に無効な値が指定されました。	有効な値を指定してください。
KAIC07862-E	指定されたLDEVはオープンボリュームではありません。オープンボリュームではないLDEVには保護属性は設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07866-E	＜PP名(Volume Migration)＞の予約ボリュームが指定されました。＜PP名(Volume Migration)＞の予約ボリュームには保護属性を設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07867-E	指定されたLDEVはコマンドデバイスです。コマンドデバイスには保護属性を設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07869-E	指定されたLDEVは保護されていません。保護されていないLDEVには指定された保護期間は設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07870-E	データプールボリュームが指定されました。データプールボリュームには保護属性は設定できません。	LDEVの指定を見直してください。
KAIC07873-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは，新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファー領域率の設定はできません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してから，再実行してください。
KAIC07874-E	新規割り当て空き領域率または再配置用バッファー領域率の設定は，プールの拡張と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07875-E	新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファー領域率の設定は，プールの縮小と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07876-E	新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファー領域率の設定は，外部ボリューム階層ランクの設定と同時に実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07877-E	指定したプールは"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"のため，新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファー領域率の設定はできません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07878-E	プールは作成できましたが，新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファー領域率の変更はできません。作成されたプール（"＜プールID＞"）の状態を確認してから新規割り当て用空き領域率または再配置用バッファー領域率を変更してください。（詳細情報："＜エラーの詳細＞"）	ストレージシステムの状態を確認してから再実行してください。
KAIC07879-E	指定したストレージシステムでは，新規割り当て用空き領域率および再配置用バッファー領域率の設定はできません。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC07888-E	指定した＜構成要素名＞はDevice Managerデータベースにありません。	指定を見直してください。
KAIC07889-E	Device Managerは"＜PP名(Dynamic Tiering)＞"機能以外では指定した操作をサポートしていません。	機能のタイプの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC07890-E	指定されたLU "＜デバイス番号＞" は保護されています。削除できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07893-E	指定されたLU "＜デバイス番号＞" は保護されています。コマンドデバイスには使用できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07894-E	指定されたLU "＜デバイス番号＞" は保護されています。S-VOLに使用することはできません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07897-E	指定されたアレイグループには保護されているLDEVが含まれています。削除できません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC07899-E	内部エラーが発生しました。"＜クラス名＞"クラスに適切なメソッドが見つからないので，エージェントサービスの実行に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07901-E	リクエストの実行に失敗しました。アトリビュート"＜属性名＞"が指定されていません。	objectIDを指定しない場合"＜属性名＞"が必要です。"＜属性名＞"をリクエストに追加してから再実行してください。
KAIC07903-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたホストID "＜指定	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	されたホストID＞″はデータベースから見付かりませんでした。	
KAIC07905-E	リクエストの実行に失敗しました。″＜属性名＞″に対する不正な値が指定されました。	1文字以上31文字以下でかつ空白文字（’’）を含んではなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07906-E	リクエストの実行に失敗しました。″＜属性名＞″に対する不正な値が指定されました。	0以上4094以下でなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07908-E	リクエストの実行に失敗しました。″＜属性名＞″に対する不正な値が指定されました。	0以上65535以下でなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07910-E	リクエストの実行に失敗しました。fenceLevelに対する不正な値が指定されました。	NeverかDataかStatusでなければなりません。リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07914-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したLU（製造番号=″＜製番＞″，デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07916-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したLU（製造番号=″＜製番＞″，デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はホストに対するセキュリティが設定されていません。	ホストに対してセキュリティを設定し，リフレッシュを実行してください。
KAIC07917-E	リクエストの実行に失敗しました。muNumberに対する不正な値が指定されました。	muNumberの指定を見直してください。
KAIC07918-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステム（製造番号=″＜製番＞″）はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07922-E	リクエストの実行に失敗しました。フェンスレベル’Status’は指定されたストレージシステムには使用できません。	パラメーターを見直してから再実行してください。
KAIC07923-E	″＜ライセンス名＞″のライセンスキーがインストールされていません。	ライセンスキーをインストールしてください。
KAIC07924-E	″＜ライセンス名＞″のライセンスキーが無効になっています。	ライセンスキーを有効にしてください。
KAIC07928-E	指定されたストレージシステムはシングルコントローラ構成です。	デュアルコントローラ構成である必要があります。
KAIC07929-E	リクエストの実行に失敗しました。ローカルのストレージシステムとリモートのストレージシステムの間の，リモートパスまたはMCU-RCUパスが正しく設定されていません。	リモートパスまたはMCU-RCUパスを見直してください。
KAIC07931-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたLUの組み合わせは不正です。サイズが異なります。	P-VOL，S-VOLにはサイズが同一のLUを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC07933-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたLUの組み合わせは不正です。エミュレーションタイプが異なります。	P-VOL，S-VOLにはエミュレーションタイプが同一であるLUを指定してください。
KAIC07935-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したアレイグループ（製造番号=″＜製番＞″，シャーシ=″＜シャーシ＞″，番号=″＜アレイグループ番号＞″）はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07944-E	″＜API名＞″のリクエストのうち幾つかが失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07945-E	不正なGetHostのリクエストです。″＜エレメント名＞″にobjectIDが指定されていません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07946-E	一つのリクエストの中に同一のオブジェクトを含んでいます。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC07950-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたMU番号はすでに使用されています。	異なるMU番号を指定してください。
KAIC07952-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステム（シーケンス番号=″＜シーケンス番号＞″）はデータベースに見つかりません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07957-E	リクエストの実行に失敗しました。オープンボリュームでないLUが指定されました。	P-VOL，S-VOLにはオープンボリュームであるLUを指定してください。
KAIC07961-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたP-VOLは，指定されたV-VOLを作成するときに関連づけられたボリュームではありません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07963-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたポート″＜ポートID＞″がありません。	ポートの指定を見直してください。
KAIC07964-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したポート″＜ポートID＞″上にあるLU（製造番号=″＜製番＞″，デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はホストに対するセキュリティが設定されていません。	ホストに対してセキュリティを設定し，リフレッシュを実行してください。
KAIC07966-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したポート″＜ポートID＞″上にあるLU（製造番号=″＜製番＞″，デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）のパスがありません。	LUに対して指定したポート上にパスを設定してください。
KAIC07967-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したLU（製造番号=″＜製番＞″，デバイス番号=″＜デバイ	LUに対してパスを設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ス番号＞″）のパスがありません。	
KAIC07968-E	リクエストの実行に失敗しました。ポートがありません。	ポートの状態を確認ください。
KAIC07975-E	外部ＬＵの作成および削除はサポートしていません。	LDEVかArrayGroupの指定を見直してください。
KAIC07976-E	指定したdevNum ″＜デバイス番号＞″ は Device Managerサーバのデータベースにすでにあります。	LogicalUnitエレメントの″devNum″の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC07978-E	パラメータが不正です。WritingPatternエレメントのpattern属性に指定可能な値は，″＜パラメータ最小値＞″バイトから″＜パラメータ最大値＞″バイトの16進数です。	リクエストを見直した後，再実行してください。
KAIC07979-E	最後のWritingPatternエレメントのパラメータが不正です。	リクエストを見直した後，再実行してください。
KAIC07980-E	パラメータが不正です。 ″＜エレメント名＞″ ″＜アトリビュート名＞″：″＜アトリビュート値＞″	リクエスト中のエレメントのパラメーターが正しく指定されているか見直したあと，再実行してください。
KAIC07986-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したジャーナルグループがありません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07987-E	リクエストの実行に失敗しました。ジャーナルボリュームが登録されていないジャーナルグループは使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07989-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したジャーナルグループは，すでに正ジャーナルグループまたは副ジャーナルグループとして使用されているので使用できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07990-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したMU番号は使用できません。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC07991-E	リクエストの実行に失敗しました。ジャーナルグループの組み合わせが不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC07995-E	リクエストの実行に失敗しました。指定されたLUは＜PP名(Dynamic Provisioning)＞のプールに使用されているため，P-VOL，S-VOLとして使用できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC07997-E	リクエストの実行に失敗しました。＜PP名(Local Replication)＞でS-VOLに＜PP名(Dynamic Provisioning)＞のボリュームを使用する場合，P-VOLにも＜PP名(Dynamic	LUの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Provisioning)＞のボリュームを使用してください。	
KAIC07999-E	リソースが予約されていません。対象リソースはほかのタスクで利用されているおそれがあります。タスクの状況を確認してください。	タスクの状況を確認してください。
KAIC08000-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。	Device Managerサーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュはGUIのリフレッシュ機能を使用するかAPIのAddStorageArrayで実行できます。
KAIC08001-E	ストレージシステムの情報に実機と異なる部分を発見しました。ストレージシステムに対してリフレッシュを実行してください。あなたがローカルユーザーであればシステム管理者に連絡してください。Error="＜エラー＞"	Device Managerサーバは最新のストレージシステムの情報を保持していないおそれがあります。リフレッシュを実行してください。リフレッシュはGUIのリフレッシュ機能を使用するかAPIのAddStorageArrayで実行できます。
KAIC08002-E	"FreeSpace"は指定できません。"bulk", "dividebycap", "dividebynum"オプションを指定してから再実行してください。	オプションの指定を見直してください。
KAIC08004-E	リクエストの実行に失敗しました。オプション指定（"＜オプション名＞" "＜オプション名＞"）の組み合わせが不正です。	オプションの指定を見直してください。
KAIC08005-E	LogicalUnitを削除できる個数は，"＜最大LogicalUnit数＞"を超えることはできません。	有効範囲内で削除する個数を指定してください。
KAIC08006-E	エミュレーションタイプがOPEN-V以外のLogicalUnitを一括削除することはできません。（devNum="＜デバイス番号＞"）	LogicalUnitの指定を見直してください。
KAIC08007-E	LDEV（devNum="＜デバイス番号＞"）はパスが定義されているので削除できません。	LDEVを削除する前にパスを削除してください。
KAIC08009-E	指定したアレイグループはDevice Managerデータベース内にありません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC08010-E	指定したアレイグループ内に空き容量はありません。	アレイグループの指定を見直してください。
KAIC08011-E	指定した空き容量はDevice Managerデータベース内にありません。	空き容量の指定を見直してください。
KAIC08012-E	Device Managerでは，＜PP名(Dynamic Provisioning)＞で使用するボリューム（devNum="＜デバイス番号＞"）を削除できません。	LogicalUnitの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08013-E	リクエストの実行に失敗しました。オプションに"＜オプション名＞"を指定した時は"＜オプション名＞"を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08015-E	エミュレーションタイプがOPEN-V以外のLogicalUnitを一括作成できません。	エミュレーションタイプの指定を見直してください。
KAIC08016-E	リクエストの記述形式が誤っています。"＜エレメント名＞"エレメントに"＜アトリビュート名＞"アトリビュートが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08017-E	リクエストの記述形式が誤っています。"＜エレメント名＞"エレメントに "＜アトリビュート名＞"アトリビュートの値"＜アトリビュート値＞"が重複しています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08018-E	リクエストの記述形式が誤っています。Paramエレメント(name="＜エレメント名＞")に"＜アトリビュート名＞"アトリビュートが指定されていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08019-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターに指定した「Type」の値"＜アトリビュート値＞"が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08020-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターに指定した「value」の値"＜アトリビュート値＞"が不正です。値は"＜有効値＞"を指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08021-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターに指定した「value」の値"＜アトリビュート値＞"が不正です。値は"＜最大文字列長＞"文字以下を指定してください	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08022-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜エレメント名＞"エレメントに"＜アトリビュート名＞"アトリビュートの値"＜アトリビュート値＞"が不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08023-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターを指定した場合，"＜パラメーター名＞"パラメーターを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08024-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターに指定した「value」の値"＜アトリビュート値＞"が不	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	正です。指定した「InPool」の空き領域内の容量で指定してください。	
KAIC08025-E	リクエストの記述形式が誤っています。"＜パラメーター名＞"エレメントに不正なアトリビュート"＜アトリビュート名＞"が指定されています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08026-E	リクエストの記述形式が誤っています。"＜パラメーター名＞"パラメーターに子エレメント「ArrayValue」を指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08027-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"パラメーターの子エレメント「ArrayValue」の「value」アトリビュートの値"＜アトリビュート値＞"は不正です。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08028-E	リクエストの実行に失敗しました。"＜パラメーター名＞"と"＜パラメーター名＞"の子エレメント数が一致していません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08029-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムでは＜PP名＞機能をサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08030-E	指定されたメソッド("＜メソッド名＞")は，実行できません。しばらく待ってから実行してください。(オブジェクトパス＝"＜オブジェクトパス＞")	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC08047-E	このAPIバージョンでは，指定したストレージシステムの"＜PP名＞"の仮想ボリューム操作をサポートしていません。	このストレージシステムでのAPIサポートバージョンを確認してください。
KAIC08048-E	このストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは，"仮想化超過時VOL操作強制実行"の設定はできません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08055-E	"＜パラメーター名＞" には "＜パラメーター名＞" よりも大きな値を指定してください。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08056-E	パラメーター "＜パラメーター名＞" に不正な値 "＜パラメーター値＞" が指定されました。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08057-E	パラメーターが不足しています。このコマンドを実行するには以下のパラメーターを同時に指定してください。 (＜同時に指定するパラメーター＞)	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08100-E	ほかのストレージシステム"＜ストレージシステム名＞"を占有し	ほかのストレージシステムの占有を解除してから操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ています。２つのストレージシステムを同時に占有することは出来ません。	
KAIC08101-E	ストレージシステムはユーザー"＜ユーザー名＞"に占有されています。	ストレージシステムの占有が解除されてから操作してください。
KAIC08102-E	占有されているストレージシステムは削除できません。	ストレージシステムの占有を解除してから操作してください。
KAIC08103-E	占有しているストレージシステムのプロパティは，接続の名称だけ変更できます。	ストレージシステムの占有を解除してから操作してください。
KAIC08104-E	指定したストレージシステムはほかのアプリケーションによってすでに占有されています。占有をしているアプリケーション以外では操作できません。	占有をしているアプリケーションから実行してください。
KAIC08105-E	ストレージシステムは占有されていません。または，制限時間を過ぎたため，すでに解除されています。	再度占有を行ってください。
KAIC08106-E	占有状態で使用できないコマンドです。	占有を解除してから実行してください。
KAIC08107-E	占有状態が変更されています。	再実行してください。
KAIC08108-E	このストレージシステムのマイクロコードバージョン "＜マイクロコードバージョン＞" では，指定したコマンドの実行はできません。	ストレージシステムのマイクロコードバージョンを確認してください。
KAIC08109-E	指定された外部パリティグループはiSCSIポートに接続されているため，削除できません。GUIから外部パリティグループを削除してください。	GUIから外部パリティグループを削除してください。
KAIC08110-E	指定されたコマンドは実行できません。このストレージシステムのアレイグループに追加できる"＜PP名(Dynamic Provisioning)＞"のボリュームは一つだけです。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08111-E	指定されたコマンドは実行できません。このストレージシステムではアレイグループを指定する必要があります。	指定を見直してから再実行してください。
KAIC08112-E	指定された外部アレイグループ"＜外部アレイグループ名＞"は，外部ボリュームのマッピング情報にないため，削除することができません。	外部アレイグループのマッピング情報を見直してください。
KAIC08113-E	指定された外部アレイグループ"＜外部アレイグループ名＞"は，エミュレーションタイプがOPEN-Vではないため，削除することができません。	外部アレイグループのエミュレーションタイプの情報を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08114-E	″＜PP名(Dynamic Provisioning)＞″の一つのプールを構成するすべてのパリティグループは，ドライブ種別が＜最大ドライブ種別数＞種類以内でなければなりません。	ドライブ種別が＜最大ドライブ種別数＞種類以内になるようにプールボリュームの指定を見直してから，再度実行してください。
KAIC08115-E	外部ボリュームのキャッシュモードはすべて有効でなければなりません。	外部ボリュームのキャッシュモードを有効にしてから，再度実行してください。
KAIC08116-E	リクエストの実行に失敗しました。＜PP名＞の場合，S-VOLは＜PP名＞ V-VOLに指定済みでなければなりません。	LUの指定を見直してください。
KAIC08117-E	このコマンドは″＜PP名＞″のプールに対して実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08118-E	このコマンドは″＜PP名＞″の仮想ボリュームに対して実行できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08119-E	＜属性名＞の値″＜属性値＞″が＜属性名＞の値″＜属性値＞″より大きいため，操作できません。	各属性の指定を見直してから再実行してください。
KAIC08120-E	指定したストレージシステムに対して，＜権限名＞権限がありません。	指定したストレージシステムに対して操作に必要な権限があることを確認したあと，再実行してください。
KAIC08121-E	＜リソース名＞に対して，＜権限名＞権限がありません。	リソースに対して必要な権限を持つユーザーが実行してください。
KAIC08123-E	指定したLDEVはエミュレーションタイプが″＜エミュレーションタイプ＞″のため，予約ボリュームに設定できません。	リクエストを見直したあと，操作し直してください。
KAIC08124-E	指定したLDEVはエミュレーションタイプが″＜エミュレーションタイプ＞″のため，ソースボリュームまたはターゲットボリュームに設定できません。	リクエストを見直したあと，操作し直してください。
KAIC08125-E	＜構成対象＞を構成する＜デバイス種別＞は同じリソースグループにしてください。	＜デバイス種別＞の指定を見直してから再度実行してください。
KAIC08126-E	指定した″＜対象＞″はDeviceManagerに登録されていません。	DeviceManagerに登録されている″＜対象＞″を指定してください。
KAIC08127-E	指定した″＜対象＞″は，すでに割り当てられています。	オブジェクトの割り当ての状態を確認し，割り当てられていないオブジェクトを指定してください。
KAIC08128-E	指定した″＜対象＞″は，すでに割り当てが解除されています。	オブジェクトの割り当ての状態を確認し，割り当てられたオブジェクトを指定してください。
KAIC08129-E	指定した″＜対象＞″は，すでにDeviceManagerに登録されています。	DeviceManagerに登録されていない″＜対象＞″を指定してください。
KAIC08130-E	パラメータが無効です。:″＜対象＞″	パラメータを見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08133-E	パラメーターが不足しています。"＜エレメント名1＞"エレメントの"＜アトリビュート名1＞"アトリビュート，または"＜エレメント名2＞"エレメントの"＜アトリビュート名2＞"アトリビュートのどちらかを指定してください。	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08135-E	複数の操作は実行できません。	複数のプールを一括して操作する場合，すべてのプールに対して同じ操作オプションを指定してください。
KAIC08136-E	異なるストレージに属するプールは指定できません。	複数のプールを指定する場合，同じストレージシステムに属するプールを選択してください。
KAIC08137-E	次のプールに対する操作が失敗しました。プールID:(＜失敗したプールID一覧＞)	メッセージに表示されたプールの状態を確認してください。
KAIC08138-E	プール(＜失敗したプールID＞)は階層化機能が有効でないため、この操作は実行できません。	階層化機能が有効なプールのみを指定してください。
KAIC08139-E	128個以上のプールが指定されているため，この操作は実行できません。	プールは127個以下で指定してください。
KAIC08140-E	階層管理の設定が手動ではないプール(＜プールID＞)に対して，この操作を実行できません。	プールの階層管理の設定を手動にしてください。
KAIC08141-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"＜アトリビュート名1＞"，"＜アトリビュート名2＞"，"＜アトリビュート名3＞"	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08142-E	階層再配置実行"＜階層再配置実行＞"は指定できません。階層再配置実行は"＜0＞"または"＜1＞"のどちらかを指定してください。	階層再配置実行を指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08143-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"はすでに使用されています。	overwriteオプションを指定するか，またはホスト名の指定を見直してから再実行してください。
KAIC08144-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"は手動で追加したホストではないため，変更できません。	ホストの指定を見直してから再実行してください。
KAIC08145-E	指定したホスト"＜ホスト名＞"のosType"＜osType＞"は指定できません。	osTypeの指定を見直してから再実行してください。
KAIC08146-E	指定したホストの件数が多過ぎます。	ホストは"＜件数＞"件以内で指定してください。
KAIC08147-E	"＜エレメント名＞"エレメントを複数指定する場合は，"＜エレメント名＞"エレメントの"＜アトリビュート名＞"アトリビュートを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08148-E	子エレメント"＜エレメント名＞"の指定が同じになっていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08149-E	"＜エレメント名＞"エレメントを指定する場合は，"＜エレメント名＞"エレメントの"＜アトリビュート名＞"アトリビュートを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08150-E	"＜エレメント名＞"エレメントの子エレメントとして"＜エレメント名＞"エレメントは複数指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08151-E	"＜エレメント名＞"エレメントを複数指定する場合は，"＜アトリビュート名＞"と"＜アトリビュート名＞"は混在して指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08152-E	"＜エレメント名＞"エレメントを指定する場合は，"＜エレメント名＞"エレメントの"＜アトリビュート名＞"アトリビュートを指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08153-E	"＜エレメント名＞"エレメントを複数指定する場合は，"＜エレメント名＞"エレメントは指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08154-E	"＜エレメント名＞"エレメントを一意に指定する場合は，親エレメントも一意に指定する必要があります。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08155-E	"＜エレメント名＞"エレメントを複数指定する場合は，"＜エレメント名＞"エレメントの"＜アトリビュート名＞"アトリビュートを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08156-E	返却対象リソース（論理グループ，Host，LogicalUnit）の合計が4096を超えているため，レスポンスを返却できません（論理グループ："＜論理グループ数＞"，Host："＜ホスト数＞"，LogicalUnit："＜LU数＞"）。リソースの集約情報（numOfHostsやnumOfLUs）の値を参照して，返却対象リソース数が4096以内になるようにリクエストを分割してから，再実行してください。	リソースの集約情報（numOfHostsやnumOfLUs）の値を参照して，返却対象リソース数が4096以内になるようにリクエストを分割してから，再実行してください。
KAIC08157-E	返却対象リソース（論理グループ，Host，LogicalUnit）の合計が4096を超えているため，レスポンスを返却できませんリソースの集約情報（numOfHostsやnumOfLUs）の値を参照して，返却対象リソース数が4096以内にな	リソースの集約情報（numOfHostsやnumOfLUs）の値を参照して，返却対象リソース数が4096以内になるようにリクエストを分割してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	るようにリクエストを分割してから，再実行してください。	
KAIC08158-E	性能情報取得中にデータベースエラーが発生しました。(リソース名:"＜リソース名＞")	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08160-E	外部ボリューム階層ランク"＜指定した外部ボリューム階層ランクの値＞"は指定できません。"＜2＞"(高)，"＜1＞"(中)，または"＜0＞"(低)のいずれかを指定してください。	外部ボリューム階層ランクを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08161-E	指定したストレージシステムは外部ボリューム階層ランクをサポートしていません。(マイクロコードのバージョン="＜指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョン＞")	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08162-E	外部ボリューム階層ランクの設定とプールの縮小は同時に実行できません。	コマンドオプションの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08163-E	指定したボリューム（"＜デバイス番号＞"）はプール（"＜プールID＞"）のプールボリュームではありません。	プール（"＜プールID＞"）のボリュームを指定してください。
KAIC08164-E	指定したボリューム（"＜デバイス番号＞"）は外部ボリュームでないため外部ボリューム階層ランクを設定できません。	階層ランクには，外部ボリュームを指定してください。
KAIC08167-E	"＜エレメント名＞"エレメントのパラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"＜アトリビュート名1＞"，"＜アトリビュート名2＞"，"＜アトリビュート名3＞"，"＜アトリビュート名4＞"	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08176-E	リクエストを実行できません。指定したスナップショットグループの名前に使用できない文字が含まれております。Device Managerでは，名前に次の文字以外が含まれているスナップショットグループを操作できません。0-9 a-z A-Z , - . / : @ ¥ _	ペアを追加する場合は，別のスナップショットグループを選択してください。それ以外の場合は，指定したスナップショットグループを追加した時に使用した管理ツールからペア操作をしてください。
KAIC08177-E	階層再配置速度の指定に誤りがあります。階層再配置速度は"＜最小値＞"から"＜最大値＞"の範囲で指定してください。	階層再配置速度を指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08178-E	RAIDレベル "＜RAIDレベル＞" のボリュームは "＜PP名（Dynamic Provisioning）＞" のプールボリュームとして使用できません。（デバイス番号 = "＜デバイス番号＞")	ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08180-E	Device Managerでは，指定したストレージシステムで，LDEVエレメントのlba属性を指定した場合のリクエストをサポートしていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08181-E	パラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュートを指定してください。:"＜アトリビュート名1＞"，"＜アトリビュート名2＞"，"＜アトリビュート名3＞"，"＜アトリビュート名4＞"	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。
KAIC08184-E	指定したストレージシステムに対して，指定できない値（パラメーター="＜パラメータ名＞"，値="＜値＞"）が含まれています。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08186-E	複数のスナップショットグループを指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08187-E	パラメーターが指定されていません： SnapshotGroup "objectID"または"groupName"	SnapshotGroupの"objectID"および"groupName"のどちらか一方を指定してください。
KAIC08188-E	指定したグループはコンシステンシーグループであるため，操作できません。	コンシステンシーグループにペアを追加できません。コンシステンシーグループではないスナップショットグループを指定してください。
KAIC08190-E	ボリューム"＜デバイス番号＞"は"＜PP名＞"の"＜ボリューム属性＞"ではありません。ジャーナルボリュームには使用できません。	ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08191-E	容量が"＜容量＞"未満のボリュームはQuorumディスクには利用できません。容量が"＜容量＞"以上のボリュームを指定してください。	容量が"＜容量＞"以上のボリュームを指定してください。
KAIC08192-E	Quorumディスクを共有するストレージシステムのファミリーが異なるため，QuorumディスクIDを設定できません。ストレージシステムの指定を見直してください。	ストレージシステムの指定を見直してください。
KAIC08194-E	指定したボリュームの仮想エミュレーションタイプ（"＜仮想エミュレーションタイプ＞"）が正しくありません。ボリュームの仮想エミュレーションタイプをOPEN-Vに変更してください。	ボリュームの仮想エミュレーションタイプをOPEN-Vに変更してください。
KAIC08195-E	指定したストレージシステムのマイクロコードは＜PP名（Active Mirror）＞のコンシステンシーグループをサポートしていません。ストレージシステムのマイクロコードを確認してください。	ストレージシステムのマイクロコードを確認してください。
KAIC08196-E	指定したポート"＜ポート情報＞"のglobalAddress1属性と	globalAddress1属性とglobalAddress2属性を異なる値にしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	globalAddress2属性の値が重複しています。	
KAIC08197-E	指定したポート"＜ポート情報＞"のglobalAddress1属性が無効のためglobalAddress2属性を有効にできません。	ポートの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08198-E	指定したポート"＜ポート情報＞"のglobalAddress2属性が有効のためglobalAddress1属性を無効にできません。	ポートの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08202-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したストレージシステムに対する＜PP名＞機能は，Device Managerではサポートされていません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08210-E	Device Managerサーバが認識していないオプションを指定したため実行できません。	次の対処をしてください。 ・指定したオプションがストレージシステムでサポートされているか確認してください。 ・最新の情報を取得するため，ストレージシステムを更新してください。 同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08213-E	指定されたWWN "＜WWN＞"は同一ポート上のホストグループがすでに使用しているため使用できません。	同一ポート上のホストグループと重複しないWWNを指定してから再実行してください。
KAIC08214-E	指定した移行元のストレージシステムは，Device Managerに登録されていません。移行元のストレージシステムを見直したあと，再実行してください。	移行元のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08215-E	指定した移行先のストレージシステムは，Device Managerに登録されていません。移行先のストレージシステムを見直したあと，再実行してください。	移行先のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08217-E	指定したストレージシステムは移行元としてサポートしていません。移行元のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08218-E	指定したストレージシステムは移行先としてサポートしていません。移行先のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のストレージシステムの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08219-E	指定した移行元のポートが見つかりません。移行元のポートを見直したあと，再実行してください。	移行元のポートの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08222-E	指定した移行先のポートが見つかりません。移行先のポートを見直したあと，再実行してください。	移行先のポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08223-E	指定した移行元のポートは指定した移行元のストレージシステム（"＜移行元のストレージシステムの名前＞"）のポートではありません。移行元のポートの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08224-E	指定した移行先のポートは指定した移行先のストレージシステム（"＜移行先のストレージシステムの名前＞"）のポートではありません。移行先のポートの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08239-E	指定したIPアドレス（ipAddress="＜IPアドレス（ホスト名）＞"とipAddress2="＜IPアドレス（ホスト名）＞"）の入力形式がIPアドレスまたはホスト名で統一されていないため，実行できません。	IPアドレスの入力形式をIPアドレスまたはホスト名に統一して，再実行してください。
KAIC08240-E	指定したホスト名"＜ホスト名＞"が誤っています。ホスト名に入力できる文字は，次のとおりです。"＜入力できる文字＞"	指定したホスト名を見直してから再実行してください。
KAIC08241-E	ホスト名"＜ホスト名＞"の最初と最後に記号は指定できません。	指定したホスト名を見直してから再実行してください。
KAIC08243-E	自動生成された論理グループのため，指定した操作はできません。論理グループパス："＜論理グループパス＞"	論理グループを見直したあと，再実行してください。
KAIC08244-E	指定したIPアドレス（＜接続先IPアドレス＞）で検出された仮想化サーバのUUIDが，Device Managerに登録されている仮想化サーバのUUIDと異なります。次の仮想化サーバをDevice Managerから削除したあと，再実行してください。（仮想化サーバ名 = ＜仮想化サーバ名＞）	仮想化サーバのバージョンによっては，仮想化サーバが応答するUUIDが不正になることがあります。仮想化サーバをアップグレードしたあとこのメッセージが表示されるようになった場合，追加に失敗したホストをDevice Managerから削除してから登録し直してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08246-E	指定したIPアドレス（＜接続先IPアドレス＞）で検出された仮想化サーバのUUIDがDevice Managerに登録されている仮想化サーバ（仮想化サーバ名 = ＜仮想化サーバ名＞）のUUIDと重複しています。仮想化サーバをDevice Managerから削除したあと，追加できなかった仮想化サーバと削除した仮想化サーバのOSバージョンを同一にしてから再実行してください。	仮想化サーバのバージョンによっては，仮想化サーバが応答するUUIDが不正になることがあります。仮想化サーバをアップグレードしたあと，このメッセージが表示されるようになった場合，追加できなかったホストをDevice Managerから削除し，追加できなかった仮想化サーバと削除した仮想化サーバのOSバージョンを同一にしてから登録し直してください。また，削除したホストは必要に応じて，登録し直してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08247-E	パラメータが正しくありません。パラメータ"dedupeSupported"に無効が指定された場合，パラメータ"dedupeEnabled"は有効にできません。指定した値を見直してから再実行してください。	指定した値を見直してから再実行してください。
KAIC08255-E	リクエストの実行に失敗しました。Device Managerがサポートしている＜PP名＞の場合，副ボリュームは＜PP名＞ V-VOLに指定済みでなければなりません。	LUの指定を見直してください。
KAIC08260-E	指定したパリティグループ（シャーシ番号="＜シャーシ番号＞"，パリティグループ番号="＜パリティグループ番号＞"）は，ほかのリソースグループ（＜パリティグループが所属しているリソースグループID＞）に所属しているため，リソースグループ（＜指定したリソースグループID＞）に追加できません。	パリティグループとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08261-E	指定したホストグループ番号（ポートID="＜ポートID＞"，ドメインID="＜ドメインID＞"）は，ほかのリソースグループ（＜ホストグループが所属しているリソースグループID＞）に所属しているため，リソースグループ（＜指定したリソースグループID＞）に追加できません。	ホストグループ番号とリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08262-E	指定したLDEV ID（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）は，ほかのリソースグループ（＜LDEV IDが所属しているリソースグループID＞）に所属しているため，リソースグループ（＜指定したリソースグループID＞）に追加できません。	LDEV IDとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08263-E	指定したポート（ポートID="＜ポートID＞"）は，ほかのリソースグループ（＜ポートが所属しているリソースグループID＞）に所属しているため，リソースグループ（＜指定したリソースグループID＞）に追加できません。	ポートとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08269-E	リクエストが実行できません。"＜ArrayType(pvolArrayTypeまたはsvolArrayType)＞"に"＜モデル＞"を指定した場合，"＜属性名＞"を指定できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08270-E	リクエストが実行できません。指定したボリューム（＜デバイス番号(pvolDevNumまたは	指定したボリュームを見直すか，または仮想IDを指定して再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	svolDevNum)＞）には，仮想IDを指定する必要があります。	
KAIC08271-E	指定したストレージシステム名"＜ストレージシステム名＞"は不正です。ストレージシステム名は＜ストレージシステム名の最大長＞文字以下で指定してください。	指定したストレージシステム名を見直してから再実行してください。
KAIC08272-E	指定したストレージシステム名"＜ストレージシステム名＞"は不正です。空文字は指定できません。	指定したストレージシステム名を見直してから再実行してください。
KAIC08273-E	指定したストレージシステム名"＜ストレージシステム名＞"は不正です。使用できない文字が含まれています。	指定したストレージシステム名を見直してから再実行してください。ストレージシステム名に使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'!'，'#'，'$'，''，'('，')'，'+'，'-'，'.'，'='，'@'，'['，']'，'_'，'`'，'{'，'}'，'~'。
KAIC08274-E	指定したリソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）は，パスが設定されているホストグループ（ポートID="＜ポートID＞"，ドメインID="＜ドメインID＞"）があるため，削除できません。	ホストグループ番号の指定を見直すか，またはパスを削除したあと，再実行してください。
KAIC08288-E	指定した"＜要素名＞"の数が"＜上限値＞"を超えています。	"＜要素名＞"の数を減らして再実行してください。
KAIC08289-E	"＜属性名＞"または"＜属性名＞"を指定する場合，両方同時に指定しなければなりません。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC08292-E	"＜属性名＞"の値に"＜属性名＞"の値の倍数ではない値が指定されています。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC08294-E	指定された"＜構成要素名＞"（＜属性名＞="＜属性値＞"）は"＜構成要素の種類＞"のため，処理できません。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC08295-E	指定された"＜構成要素名＞"（＜属性名＞="＜属性値＞"）は"＜構成要素の種類＞"でないため，処理できません。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC08301-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）はすでに仮想LDEV情報が割り当てられているため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08302-E	ストレージシステム内のリソースグループが最大数＜最大数＞を超えています。	ストレージシステムの指定を見直すか，不要なリソースグループを削除したあと，再実行してください。
KAIC08303-E	指定したリソースグループの名前"＜名前＞"はすでに使用されています。	ストレージシステム内で使われていない名前を指定して，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08304-E	ストレージシステム内の仮想ストレージマシンの最大数は＜最大数＞です。	仮想モデル，仮想シリアル番号およびストレージシステムの指定を見直すか，不要な仮想リソースグループを削除したあと，再実行してください。
KAIC08305-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）は，リソースを含むため削除できません。	リソースグループの指定を見直すか，指定したリソースグループ内のリソースをほかのリソースグループに移したあと，再実行してください。
KAIC08306-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は仮想LDEV情報が割り当てられていないため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08307-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）はLDEV IDがあるため削除できません。	リソースグループの指定を見直すか，リソースグループ内のLDEV IDを移動したあと，再実行してください。
KAIC08308-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）はホストグループ番号があるため削除できません。	リソースグループの指定を見直すか，リソースグループ内のホストグループ番号を移動したあと，再実行してください。
KAIC08309-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）は仮想IDを持つポートがあるため，削除できません。	リソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08310-E	指定した移行先のリソースグループが見つかりません。移行先のリソースグループを見直したあと，再実行してください。	移行先のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08311-E	指定した移行元のリソースグループは指定した移行元のストレージシステム（″＜移行元のストレージシステムの名前＞″）のリソースグループではありません。移行元のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08312-E	仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）に指定した仮想デバイス番号（＜仮想デバイス番号＞）は，同じ仮想ストレージマシン内ですでに使用されているため割り当てられません。	使用されていない仮想デバイス番号を指定し，再実行してください。
KAIC08313-E	指定したパリティグループ（シャーシ番号=″＜シャーシ番号＞″，パリティグループ番号=″＜パリティグループ番号＞″）はリソースグループの管理対象外であるため，操作できません。	パリティグループの指定を見直してください。
KAIC08314-E	この操作では，デフォルトの仮想ストレージマシン以外のリソースグループに所属するLDEV IDを操作できません。	LDEV IDの指定を見直すか，仮想LDEV用の操作を実行してください。
KAIC08315-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はすでに	リソースグループと仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	指定のリソースグループに所属するため，移動できません。	
KAIC08316-E	modifyPRPU:falseオプションを指定していますが，指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）が所属するリソースグループと指定したリソースグループが異なるため，操作できません。	リソースグループと仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08317-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はすでに仮想IDが割り当てられているため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08318-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は仮想IDが割り当てられていないため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08319-E	操作対象のリソースが指定されていません。	操作対象のリソースを指定したあと，再実行してください。
KAIC08320-E	指定したパリティグループ（シャーシ番号=″＜シャーシ番号＞″，パリティグループ番号=″＜パリティグループ番号＞″）はすでに指定のリソースグループに所属するため，移動できません。	パリティグループとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08321-E	ホストグループ番号（ポートID=″＜ポートID＞″，ドメインID=″＜ドメインID＞″）が重複して指定されています。	ホストグループ番号の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08322-E	指定したホストグループ番号（ポートID=″＜ポートID＞″，ドメインID=″＜ドメインID＞″）は仮想IDを持つポートに所属しているため，操作できません。	ホストグループ番号の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08323-E	指定したホストグループ番号（ポートID=″＜ポートID＞″，ドメインID=″＜ドメインID＞″）はすでに指定のリソースグループに所属するため，移動できません。	ホストグループ番号とリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08324-E	指定したLDEV ID（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）に対応する仮想LDEVがあるため，指定した操作はできません。	LDEV IDの指定を見直すか，操作の対象を仮想LDEVに変更したあと，再実行してください。
KAIC08325-E	指定したLDEV ID（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はすでに指定のリソースグループに所属するため，移動できません。	LDEV IDとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08326-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はパスが設定されているため，異なる仮想ストレージマシンに所属するリソースグループに移動できません。	仮想LDEVとリソースグループの指定を見直すか，指定した仮想LDEVに対するすべてのパスを削除したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08327-E	この操作では，LDEV IDをデフォルトの仮想ストレージマシン以外のリソースグループに移動できません。	LDEV IDの指定を見直すか，仮想LDEV用の操作を実行してください。
KAIC08328-E	ポート（ポートID="＜ポートID＞"）が重複して指定されています。	ポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08329-E	指定したポート（ポートID="＜ポートID＞"）は仮想IDを持つため，指定した操作はできません。	ポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08330-E	指定したポート（ポートID="＜ポートID＞"）はすでに指定のリソースグループに所属するため，移動できません。	ポートとリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08331-E	指定したリソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）はパリティグループがあるため削除できません。	リソースグループの指定を見直すか，リソースグループ内のパリティグループを移動したあと，再実行してください。
KAIC08332-E	指定した名前"＜名前＞"は不正です。使用できない文字が含まれています。	名前の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08333-E	指定したリソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）はポートがあるため削除できません。	リソースグループの指定を見直すか，リソースグループ内のポートを移動したあと，再実行してください。
KAIC08334-E	指定した移行先のリソースグループは指定した移行先のストレージシステム（"＜移行先のストレージシステムの名前＞"）のリソースグループではありません。移行先のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08336-E	指定のリソースグループ（名前="＜リソースグループ名（meta_resource）＞"）は操作できません。	リソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08337-E	パラメーターが正しくありません。"＜エレメント1＞"エレメントの"＜属性1＞"属性と"＜エレメント2＞"エレメントの"＜属性2＞"属性は同時に指定できません。	リクエストを確認してください。
KAIC08338-E	指定したデバイス番号（＜デバイス番号＞）を使用している仮想LDEVがすでにあるため，仮想LDEVを追加できません。	デバイス番号の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08339-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）は，指定したリソースグループに所属していないため，追加できません。	デバイス番号の指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08340-E	指定したパリティグループ（シャーシ番号="＜シャーシ番号＞"，パリティグループ番号="＜パリティグループ番号＞"）は連結パリティグループを構成するパリティグループの一部であるため，移動できません。	連結パリティグループを構成するすべてのパリティグループを指定して，再実行してください。
KAIC08342-E	指定した＜LDEV IDまたは仮想LDEV＞（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）はプール（プールID="＜プールID＞"）を構成するプールボリュームの一部であるため，移動できません。	プールを構成するすべてのプールボリュームを指定して，再実行してください。
KAIC08343-E	指定した＜LDEV IDまたは仮想LDEV＞（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）はジャーナルグループ（ジャーナルグループID="＜ジャーナルグループID＞"）を構成するジャーナルボリュームの一部であるため，移動できません。	ジャーナルグループを構成するすべてのジャーナルボリュームを指定して，再実行してください。
KAIC08344-E	modifyPRPU:falseオプションを指定していますが，仮想LDEV（objectID="＜objectID＞"）はデフォルトの仮想ストレージマシンに所属していないため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直すか，またはオプションの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08345-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号="＜デバイス番号＞"）は＜PP名（Active Mirror）＞のS-VOL用であるため，操作できません。	デバイス番号の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08346-E	指定した仮想LDEV（objectID="＜objectID＞"）は＜PP名（Active Mirror）＞のS-VOL用であるため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08350-E	指定した名前"＜名前＞"が長過ぎます。＜最大長＞文字以内の名前を入力してください。	名前の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08351-E	指定した名前"＜名前＞"は不正です。名前の先頭および末尾に空白文字は使用できません。	名前の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08353-E	指定したリソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）は，仮想IDを持つポートに所属するホストグループ番号（ポートID="＜ポートID＞"，ドメインID="＜ドメインID＞"）があるため，削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC08355-E	指定したリソースグループ（objectID="＜オブジェクトID＞"）は、指定のストレージシステムに所属していません。	ストレージシステムに所属するリソースグループを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08356-E	使用できる仮想デバイス番号がありません。	仮想ストレージマシン内に割り当てられている不要な仮想デバイス番号を解除し，再実行してください。
KAIC08357-E	指定したリソースグループの数がストレージシステムに登録できるリソースグループの最大数を超えています。	指定するリソースグループの数を減らすか，または不要なリソースグループを削除したあと，再実行してください。
KAIC08358-E	指定した名前″＜リソースグループ名＞″は予約語″＜予約語＞”であるため，リソースグループ名に使用できません。	予約語を含まない仮想リソースグループ名を指定してください。
KAIC08359-E	指定したリソースグループに対して，変更する要素が指定されていません。	リソースグループ名を指定するか，変更するリソースを指定したあと，再実行してください。
KAIC08360-E	指定したホストグループ番号（ポートID=″＜ポートID＞″，ドメインID=″＜ドメインID＞″）はパスが設定されているため，異なる仮想ストレージマシンへ移動できません。	ホストグループ番号の指定を見直すか，またはパスを削除したあと，再実行してください。
KAIC08361-E	仮想ストレージマシン（仮想モデル=″＜仮想モデル＞″,仮想シリアル番号=″＜仮想シリアル番号＞″）に登録できるリソースグループの数が最大数（＜最大数（1024）＞）を超えています。	指定の仮想ストレージマシンに追加するリソースグループの数を減らすか，すでに構成されているリソースグループを削除したあと，再実行してください。
KAIC08362-E	指定のリソースグループは指定のストレージマシンに所属していません。	リソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08363-E	デフォルトの仮想ストレージマシン内では，デバイス番号と仮想デバイス番号が同じ仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）に対して，仮想LDEV情報を割り当てられません。	仮想デバイス番号にデバイス番号と異なる番号を割り当てるか，または仮想LDEV情報を指定しないで，再実行してください。
KAIC08364-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は，仮想デバイス番号（＜仮想デバイス番号＞）が割当てられているため，異なる仮想ストレージマシン内のリソースグループへ移動できません。	仮想LDEVの指定を見直すか，仮想LDEVの仮想デバイス番号を解除したあと，再実行してください。
KAIC08365-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は，仮想デバイス番号の解除と仮想LDEV情報の割り当てを同時に指定しているため，操作できません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08366-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は，パスが設定されているため，仮想LDEV情報を割り当てられません。	仮想LDEVの指定を見直すか，パスを削除したあと，再実行してください。
KAIC08367-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は，パス	仮想LDEVの指定を見直すか，パスを削除したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	が設定されているため，仮想LDEV情報を解除できません。	
KAIC08368-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）は，＜PP名（Active Mirror）＞のS-VOL用の仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）が含まれているため，削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC08369-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）は，パスが設定されている仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）があるため，削除できません。	リソースグループに含まれる仮想LDEVを確認し，パスを削除したあと，再実行してください。
KAIC08370-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）はパスが設定されているため，指定した操作はできません。	仮想LDEVの指定を見直すか，指定した仮想LDEVに対するすべてのパスを削除したあと，再実行してください。
KAIC08372-E	指定したデバイス番号（＜デバイス番号＞）は，仮想ストレージマシン（仮想モデル=″＜仮想モデル＞″,仮想シリアル番号=″＜仮想シリアル番号＞″）に定義されている仮想デバイス番号と重複しているため，操作できません。	デバイス番号の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08373-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）は，すでに他のリソースグループに所属しているため，追加できません。	デバイス番号の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08374-E	指定したボリューム(デバイス番号=″＜デバイス番号＞″)は，仮想管理されているため，ジャーナルボリュームとして使用できません。	ボリュームの指定を見直してください。
KAIC08376-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はS-VOLであるため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08377-E	指定した移行元のリソースグループ（モデル名=″＜移行元リソースグループのモデル名＞″，シリアル番号=″＜移行元リソースグループのシリアル番号＞″）と，移行先リソースグループ（仮想モデル名=″＜移行先リソースグループの仮想モデル名＞″，仮想シリアル番号=″＜移行先リソースグループの仮想シリアル番号＞″）の指定が異なります。移行元リソースグループのモデル名・シリアル番号と同じ仮想モデル名・仮想シリアル番号を持つ移行先のリソースグループを指定してください。	移行元リソースグループのモデル名・シリアル番号と同じ仮想モデル名・仮想シリアル番号を持つ移行先のリソースグループを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08378-E	指定した移行元の仮想リソースグループ（仮想モデル名=″＜移行元リソースグループの仮想モデル名＞″，仮想シリアル番号=″＜移行元リソースグループの仮想シリアル番号＞″）と，移行先のリソースグループ（仮想モデル名=″＜移行先リソースグループの仮想モデル名＞″，仮想シリアル番号=″＜移行先リソースグループの仮想シリアル番号＞″）の指定が異なります。移行元の仮想リソースグループの仮想モデル名・仮想シリアル番号と同じ仮想モデル名・仮想シリアル番号を持つ移行先のリソースグループを指定してください。	移行元の仮想リソースグループの仮想モデル名・仮想シリアル番号と同じ仮想モデル名・仮想シリアル番号を持つ移行先のリソースグループを指定してください。
KAIC08382-E	指定した名前が不正です。空白文字だけの名前は使用できません。指定した名前を見直したあと，再実行してください。	指定した名前を見直したあと，再実行してください。
KAIC08386-E	指定した説明（″＜説明＞″）に使用できない文字が含まれています。説明を見直したあと，再実行してください。	説明の内容を見直したあと，再実行してください。説明に使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’!’，’#’，’$’，’’’，’ (’，’) ’，’+’，’-’，’.’，’=’，’@’，’[’，’]’，’_’，’`’，’{’，’}’，’~’。
KAIC08387-E	指定した説明（″＜説明＞″）が長過ぎます。＜最大長＞文字以内の説明を入力してください。説明の内容を見直したあと，再実行してください。	説明の内容を見直したあと，再実行してください。
KAIC08388-E	リクエストの実行に失敗しました。名前および説明が指定されていません。名前，説明のどちらか，または両方を指定し，再実行してください。	名前，説明のどちらか，または両方を指定し，再実行してください。
KAIC08391-E	このストレージシステムは，空き容量の位置を指定してLogicalUnitを作成する機能をサポートしていません。	ストレージシステムを確認してください。また，リクエストを見直してください。
KAIC08394-E	リクエストの実行に失敗しました。対象のボリュームには，外部ボリュームを指定してください。	外部ボリュームを指定してください。
KAIC08396-E	ボリューム（＜LDEV ID（devNum）＞）はQuorumディスクのため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08397-E	ボリューム（＜LDEV ID（devNum）＞）はS-VOL予約中のため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直すかS-VOL予約を解除したあと，再実行してください。
KAIC08398-E	リクエストの実行に失敗しました。指定したボリューム（デバイス番号=″＜デバイス番号＞″）が属している仮想ストレージは，	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	＜PP名（Active Mirror）＞をサポートしていません。	
KAIC08399-E	指定したQuorumディスクID(ID=＜QuorumディスクID＞)は，すでに利用されています。利用していないQuorumディスクIDを指定してください。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08400-E	次の理由でリソースグループが移動できません。(1)指定のパリティグループの中に，連結パリティグループを構成するすべてのパリティグループを含んでいない。(2)Device Managerの構成が変更されたおそれがある。	操作し直してください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08401-E	次の理由でリソースグループが移動できません。(1)指定のプールボリュームの中に，プールを構成するすべてのプールボリュームを含んでいない。(2)Device Managerの構成が変更されたおそれがある。	操作し直してください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08402-E	次の理由でリソースグループが移動できません。(1)指定のジャーナルボリュームの中に，ジャーナルグループを構成するすべてのジャーナルボリュームを含んでいない。(2)Device Managerの構成が変更されたおそれがある。	操作し直してください。対処後も繰り返しエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08411-E	指定した移行元のホストグループが見つかりません。移行元のホストグループを見直したあと，再実行してください。	移行元のホストグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08412-E	指定した移行先の仮想ストレージマシンが見つかりません。移行先の仮想ストレージマシンを見直したあと，再実行してください。	移行先の仮想ストレージマシンの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08413-E	指定した移行元のホストグループは移行元のストレージシステム（"＜移行元のストレージシステムの名前＞"）のホストグループではありません。移行元のホストグループの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のホストグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08414-E	指定した移行元のホストグループは移行元のポートのホストグループではありません。移行元のホストグループ，またはポートの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のホストグループ，またはポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08415-E	指定した移行元のストレージシステムのモデル名，シリアル番号と同じ仮想モデル，および仮想シリアル番号を持つ仮想ストレージマシンが移行先のストレージシステム内に作成されていません。移行	移行先のストレージシステムに移行元のストレージシステムのモデル名，シリアル番号と同じ仮想モデル，および仮想シリアル番号を持つ仮想ストレージマシンを作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	先のストレージシステムに移行元のストレージシステムのモデル名，シリアル番号と同じ仮想モデル，および仮想シリアル番号を持つ仮想ストレージマシンを作成してください。	
KAIC08416-E	移行元のポート（"＜移行元のポートのDisplayname＞"），ホストグループ（ポートID="＜移行元のホストグループのポートID＞"，ドメインID="＜移行元のホストグループのドメインID＞"）と移行先のポート（"＜移行先のポートのDisplayname＞"），仮想ストレージマシン（"＜移行先の仮想ストレージマシンの名前＞"）の組み合わせが重複して指定されています。移行元のポート，ホストグループと移行先のポート，仮想ストレージマシンの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のポート，ホストグループと移行先のポート，仮想ストレージマシンの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08417-E	指定した移行元のポート（"＜移行元のポートのDisplayname＞"），ホストグループ（ポートID="＜移行元のホストグループのポートID＞"，ドメインID="＜移行元のホストグループのドメインID＞"）と移行先のポート（"＜移行先のポートのDisplayname＞"），仮想ストレージマシン（"＜移行先の仮想ストレージマシンの名前＞"）の組み合わせはすでに登録されています。移行元のポート，ホストグループと移行先のポート，仮想ストレージマシンの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のポート，ホストグループと移行先のポート，仮想ストレージマシンの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08418-E	指定した移行元のリソースグループが見つかりません。移行元のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のリソースグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08421-E	指定した外部パス設定が見つかりません。外部パス設定を見直したあと，再実行してください。	外部パス設定の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08424-E	内部エラーが発生しました。指定したタスク情報が見つかりません。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08426-E	内部エラーが発生しました。タスク情報の取得に失敗しました。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集	エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	し，障害対応窓口に連絡してください。	
KAIC08428-E	指定した移行元のボリュームが見つかりません。移行元のボリュームを見直したあと，再実行してください。	移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08429-E	指定した移行先のボリュームが見つかりません。移行先のボリュームを見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08430-E	指定したマイグレーションターゲットボリュームが見つかりません。マイグレーションターゲットボリュームを見直したあと，再実行してください。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08431-E	指定した移行元のボリュームは指定した移行元のストレージシステム（"＜移行元のストレージシステムの名前＞"）のボリュームではありません。移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08432-E	指定した移行先のボリュームは指定した移行先のストレージシステム（"＜移行先のストレージシステムの名前＞"）のボリュームではありません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08433-E	指定したマイグレーションターゲットボリュームは指定した移行先のストレージシステム（"＜移行先のストレージシステムの名前＞"）のボリュームではありません。マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08434-E	移行元のボリューム（デバイス番号="＜移行元のボリュームのdevnum＞"）が重複して指定されています。移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08435-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号="＜移行先のボリュームのdevnum＞"）が別の移行先のボリューム，またはマイグレーションターゲットボリュームと重複して指定されています。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08436-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号="＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞"）が別の	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	移行先のボリューム，またはマイグレーションターゲットボリュームと重複して指定されています。マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	
KAIC08437-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はすでに登録されています。移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行元のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08438-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号=″＜移行先のボリュームのdevnum＞″）は移行先のボリューム，またはマイグレーションターゲットボリュームとしてすでに登録されています。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08439-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）は移行先のボリューム，またはマイグレーションターゲットボリュームとしてすでに登録されています。マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08443-E	指定したID″＜QuorumディスクID＞″に対応するQuorumディスクはストレージ装置（モデル名″＜モデル名＞″，シリアル番号″＜シリアル番号＞″）にありません。	別のQuorumディスクIDを指定してください。または，Quorumディスクを追加したあと，再実行してください。
KAIC08451-E	リクエストの実行に失敗しました。ローカルのストレージシステムとリモートのストレージシステムの間のリモートパスが″CUフリー″ではありません。	リモートパスを見直してください。
KAIC08452-E	指定したリソースグループ（名前=″＜リソースグループ名＞″）は，仮想IDを持つポートに所属するホストグループ番号（ポート名=″＜ポート名＞″，番号=″＜ホストグループ番号＞″）があるため，削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC08453-E	指定したホストグループ番号（ポート名=″＜ポート名＞″，番号=″＜ホストグループ番号＞″）は仮想IDを持つポートに所属しているため，操作できません。	ホストグループ番号の指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08454-E	指定したポート(名前=″＜ポート名＞″)は仮想IDを持つため，指定した操作はできません。	ポートの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08455-E	ボリューム（＜LDEV ID（devNum）＞）はS-VOL予約されていないため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08456-E	指定したボリューム（＜LDEV ID（devNum）＞）は仮想デバイス番号が設定されているため，指定した操作はできません。	仮想LDEVの仮想デバイス番号を削除したあと，再実行してください。
KAIC08457-E	パラメーターに誤りがあります。S-VOL予約をする場合は，仮想デバイス番号を設定できません。	仮想デバイス番号，またはS-VOL予約のどちらかだけを指定し，再実行してください。
KAIC08458-E	指定した仮想LDEV(デバイス番号=＜デバイス番号＞)は，デフォルトの仮想ストレージマシンに属していないため，指定した操作はできません。	仮想LDEVの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08459-E	指定したボリューム（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は＜PP名＞のペアボリュームであるため，この操作はできません。	ボリュームの指定を見直すか，ペアを削除したあと，再実行してください。
KAIC08460-E	指定したボリューム（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は＜PP名＞の予約ボリュームであるため，この操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08461-E	LU ″＜デバイス番号＞″ は″＜PP名＞″の予約ボリュームです。プールボリューム／ジャーナルボリュームには使用できません。	LUの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08462-E	＜PP名＞のペアを構成するLU（devNum=″＜デバイス番号＞″）の最後のパスは解除できません。	＜PP名＞のペアを解除してから，パスを解除してください。
KAIC08463-E	＜PP名＞のペアボリュームに対し，コマンドデバイスを設定できません。	ボリュームの設定を見直したあと，操作し直してください。
KAIC08464-E	＜PP名＞の予約ボリュームに対し，コマンドデバイスを設定できません。	ボリュームの設定を見直したあと，操作し直してください。
KAIC08465-E	指定したボリューム（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は＜PP名＞のS-VOLであるため，この操作はできません。	ボリュームの指定を見直すか，ペアを削除したあと，再実行してください。
KAIC08466-E	指定したストレージ間にリモートパスが設定されていないか，設定されているリモートパスに誤りがあります。リモートパスの状態を確認してから，再実行してください。	リモートパスの状態を確認してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08467-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はコマンドデバイスであるため，移行できません。移行先のストレージシステムでコマンドデバイスを使用したい場合は，移行先のストレージシステムで再構築してください。	移行先のストレージシステムでコマンドデバイスを使用したい場合は，移行先のストレージシステムで再構築してください。
KAIC08469-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はQuorumディスクに設定されているため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08470-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はプールボリュームに設定されているため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08471-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）は＜PP名＞の予約ボリュームに設定されているため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08473-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）は外部接続によって外部ボリュームとして使用されているため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08474-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はシステムボリュームに設定されているため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08475-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はパスが割り当てられていないため，移行できません。	対処の必要はありません。
KAIC08477-E	指定した移行先のボリュームのエミュレーションタイプ（″＜エミュレーションタイプ＞″）が不正です。移行先のボリュームのエミュレーションタイプはOPEN-Vでなければなりません。エミュレーションタイプがOPEN-Vのボリュームを指定してください。	エミュレーションタイプがOPEN-Vのボリュームを指定してください。
KAIC08481-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号=″＜移行先のボリュームのdevnum＞″）は移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）を外部接続したボリュームではありません。移行先のボリュームの指	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	定を見直したあと，再実行してください。	
KAIC08483-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号=″＜移行先のボリュームのdevnum＞″，容量：＜移行先ボリュームの容量＞ ［block］）は移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″，容量：＜移行元ボリュームの容量＞ ［block］）と容量が一致しないため，移行先のボリュームとして指定できません。。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08484-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″，容量：＜マイグレーションターゲットボリュームの容量＞ ［block］）は移行元のボリューム（デバイス番号=″＜のdevnum＞″，容量：＜移行元ボリュームの容量＞ ［block］）と容量が一致しないため，マイグレーションターゲットボリュームとして指定できません。。マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08485-E	指定したマイグレーションボリュームが見つかりません。マイグレーションボリュームを見直したあと，再実行してください。	マイグレーションボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08490-E	指定したマイグレーションボリューム（移行元のボリュームのデバイス番号=″＜移行先のボリュームのdevnum＞″）は待機中または実行中のため削除できません。指定したマイグレーションボリュームの実行が完了したあと，再実行してください。	指定したマイグレーションボリュームの実行が完了したあと，再実行してください。
KAIC08491-E	指定した名前（″＜名前＞″）は不正です。使用できない文字が含まれています。名前の指定を見直したあと，再実行してください。	名前の指定を見直したあと，再実行してください。名前に使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’!’，’#’，’$’，’’’，’ (’，’) ’，’+’，’-’，’.’，’=’，’@’，’[’，’]’，’_’，’`’，’{’，’}’，’~’。
KAIC08493-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先のボリュームのdevnum＞″）が仮想化されていません。移行先のボリュームを仮想化したあと，再実行してください。	移行先のボリュームを仮想化したあと，再実行してください。
KAIC08498-E	指定した移行元のボリューム（デバイス番号=″＜移行元のボリュームのdevnum＞″）はペアの	対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ボリュームとして使用されているため，移行できません。	
KAIC08499-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号=″＜移行先のボリュームのdevnum＞″）はペアのボリュームであるため，指定できません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08504-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョンでは，＜一度に実行できるリクエストの件数＞件を超える＜PP名＞の実行をサポートしていません。＜一度に実行できるリクエストの件数＞件以内になるようにリクエストを分割して再実行してください。	＜一度に実行できるリクエストの件数＞件以内になるようにリクエストを分割して再実行してください。
KAIC08507-E	指定した移行先ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームのデバイス番号＞″）に移行元ボリュームと一致する仮想デバイス（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″）が設定されていません。移行先ボリュームの仮想デバイスを設定したあと，再実行してください。	移行先ボリュームの仮想デバイスを設定したあと，再実行してください。
KAIC08509-E	指定した外部ボリューム（Port = ″＜Port名＞″，ExternalLUN = ″＜ExternalLUN＞″，ExternalWWN = ″＜ExternalWWN＞″）が重複しているため，この操作を実行できません。同じ外部ボリュームから異なる外部パリティグループを作成することはできません。外部ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	外部ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08511-E	指定した移行先ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームのデバイス番号＞″）に移行元ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″）のエミュレーションタイプ（″＜移行元ボリュームのエミュレーションタイプ＞″）と一致する仮想エミュレーションタイプが設定されていません。移行先ボリュームの仮想エミュレーションタイプを見直したあと，再実行してください。	移行先ボリュームの仮想エミュレーションタイプを見直したあと，再実行してください。
KAIC08512-E	指定した移行先ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームのデバイス番号＞″）に移行元ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″）のSSID（SSID = ″＜移行元ボリュームのSSID＞″）と一	移行先ボリュームの仮想SSIDを見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	致する仮想SSIDが設定されていません。移行先ボリュームの仮想SSIDを見直したあと，再実行してください。	
KAIC08514-E	指定した移行先ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームのデバイス番号＞″）に移行元ボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″）と一致する仮想CVSが設定されていません。移行先ボリュームの仮想CVSを見直したあと，再実行してください。	移行先ボリュームの仮想CVSを見直したあと，再実行してください。
KAIC08515-E	指定したパリティグループ（″＜パリティグループのdisplayname＞″）は，外部パリティグループではないため，操作できません。外部パリティグループの指定を見直したあと，再実行してください。	外部パリティグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08522-E	ボリュームが設定されていないQuorumディスクは削除できません。	リクエストを見直してから再実行してください。
KAIC08527-E	指定したマイグレーションターゲットボリュームのエミュレーションタイプ（″＜エミュレーションタイプ＞″）が不正です。マイグレーションターゲットボリュームのエミュレーションタイプはOPEN-Vでなければなりません。エミュレーションタイプがOPEN-Vのボリュームを指定してください。	エミュレーションタイプがOPEN-Vのボリュームを指定してください。
KAIC08530-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）はペアのボリュームであるため，指定できません。マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08536-E	リクエストの実行に失敗しました。移行元のストレージシステムは構成変更中のおそれがあります。しばらくしてから，再実行してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08537-E	内部エラーが発生しました。パラメーター″＜パラメーター名＞″が不正です。	同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08538-E	指定したペアボリュームは，指定したマイグレーションボリュー	マイグレーションボリュームおよびマイグレーションボリュームのペアボリュームの

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ムのペアボリュームではありません。マイグレーションボリュームおよびマイグレーションボリュームのペアボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	指定を見直したあと，再実行してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08539-E	Device Managerの管理対象に指定したマイグレーションボリュームのペアボリュームがありません。ペアボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	マイグレーションボリュームのペアボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08552-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″，仮想モデル=″＜移行先ボリュームの仮想モデル名＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″，モデル=″＜移行元ボリュームのモデル名＞″）のモデルと一致する仮想モデルが設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08553-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″，仮想シリアル番号=″＜移行先ボリュームの仮想シリアル番号＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号= ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″，シリアル番号=″＜移行元ボリュームのシリアル番号＞″）のシリアル番号と一致する仮想シリアル番号が設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08554-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″，仮想デバイス番号=″＜移行先ボリュームの仮想デバイス番号＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号= ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞）のデバイス番号と一致する仮想デバイス番号が設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08555-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″，仮想エミュレーションタイプ = ″＜移行先ボリュームの仮想エミュレーションタイプ＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイ	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ス番号＞″，エミュレーションタイプ = ＜移行元ボリュームのエミュレーションタイプ＞）のエミュレーションタイプと一致する仮想エミュレーションタイプが設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	
KAIC08556-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″）のCVSと一致する仮想CVSが設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08557-E	指定した移行先のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行先ボリュームの物理デバイス番号＞″， 仮想SSID：″＜移行先ボリュームの仮想SSID＞″）には，移行元のボリューム（デバイス番号 = ″＜移行元ボリュームのデバイス番号＞″， SSID：＜移行元ボリュームのSSID＞）のSSIDと一致する仮想SSIDが設定されていません。移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。	移行先のボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08561-E	指定したボリュームとホストグループ（ポートID = ″＜ポートID＞″，ドメインID = ″＜ドメインID＞″）は異なる仮想ストレージマシンに所属しているため，パスを設定できません。	ボリュームとホストグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08562-E	指定したホストグループ（ポートID = ″＜ポートID＞″，ドメインID = ″＜ドメインID＞″）は，そのホストグループと異なる仮想ストレージマシンに所属しているボリュームにパスが定義されているため，ホストモードオプション″＜ホストモードオプション＞″を解除できません。	ホストグループの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08570-E	操作対象の複数の″＜エレメント名＞″に対して，異なる″＜パラメータ名＞″を指定しています。	複数の″＜エレメント名＞″を一括して操作する場合，すべての″＜パラメータ名＞″に対して同じ値を指定してください。
KAIC08571-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）はコマンドデバイスであるため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08573-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）はQuorumディスクに設定されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08574-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）はプールボリュームに設定されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08575-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）は＜PP名＞の予約ボリュームに設定されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08577-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）は外部接続によって外部ボリュームとして使用されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08578-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）はシステムボリュームに設定されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08579-E	指定したマイグレーションターゲットボリューム（デバイス番号=″＜マイグレーションターゲットボリュームのdevnum＞″）は＜PP名＞のペアボリュームとして使用されているため，使用できません。	マイグレーションターゲットボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08587-E	指定したCTG IDは＜PP名＞ですでに使用されています。CTG IDの指定を見直したあと，再実行してください。	CTG IDの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08597-E	このストレージシステムは仮想ストレージマシンのモデル，ファミリー，およびシリアル番号の設定をサポートしていません。	仮想ストレージマシンのモデル，ファミリー，およびシリアル番号の指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08598-E	このストレージシステムは仮想LDEVの設定をサポートしていません。	リクエストの内容を見直してください。
KAIC08601-E	パラメーターが指定されていません。少なくとも1つ以上指定してください。	パラメーターの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08602-E	指定したタイムゾーンに誤りがあります。	タイムゾーンの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08603-E	指定した日付または時刻に誤りがあります。	日付または時刻の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08604-E	指定したNTPサーバ名またはIPアドレスに誤りがあります。	NTPサーバ名またはIPアドレスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08615-E	必要なリソースが他の処理で使用されているため操作できません。	しばらく時間をおいたあと，操作を再実行してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC08616-E	必要なリソースが不足しているため操作できません。	操作環境を確認してください。確認後にもエラーが繰り返し発生する場合には顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC08620-E	内部エラーが発生しました。（詳細情報="＜詳細情報＞"）	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08700-E	ファイバチャネルポートとiSCSIポート間のリモートパスは指定できません。	ポートの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08701-E	一定時間内にレスポンスに必要な最小データ領域分を取得できませんでした。	再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08702-E	指定したリモートストレージシステムのiSCSIポートのIPアドレスが不正です。IPv4アドレスまたはIPv6アドレスを指定してください。	IPアドレスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08703-E	指定したローカルストレージシステムのiSCSIポートはIPv6設定が無効です。リモートストレージシステムのiSCSIポートのIPアドレスにIPv6は指定できません。	ポートとIPアドレスの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08704-E	指定したリモートストレージシステムのiSCSIポートのポート番号が有効範囲外です。有効範囲は"＜最小値＞"から"＜最大値＞"です。	ポート番号の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08705-E	指定したポート番号が正しくありません。ポート番号は＜最小値＞以上＜最大値＞以下の値を設定してください。	ポート番号の指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08706-E	プールボリュームにドライブ種別が"＜ドライブ種別（SSD)＞"のボリュームが含まれていないため，パラメーター"＜realtimerelocation＞"は指定できません。	指定するプールの構成を見直してください。
KAIC08707-E	指定したプールは"＜(Realtime Tiering/Real Time Smart Tier)＞"が有効なプールのため，ドライブ種別が"＜ドライブ種別（SSD）＞"のプールボリュームは0個にできません。	指定するプールボリュームを見直してください。
KAIC08708-E	指定したホストグループ（ポートID="＜ポートID＞"，ドメイン	パスを設定してから，再操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ID=″＜ドメインID＞″）にパスが設定されていないため，ALUAパス優先度を変更できません。	
KAIC08709-E	ALUA設定したLDEVへのパスがあるホストグループの数が，ストレージシステムの上限値(＜ALUA有効を適用したホストグループ数の上限値＞)を超えるため，操作に失敗しました。	不要なLDEVのALUA適用状態を無効にしてから，再操作してください。
KAIC08710-E	指定したストレージシステムのマイクロコードのバージョン″＜マイクロコードのバージョン＞″では，iSCSIターゲットに設定した項目（″＜パラメーター名＞″）をサポートしていません。	ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを確認してください。
KAIC08711-E	指定したホストグループはすでにALUAパス優先度″＜アトリビュート値(Active/Optimized，Active/Non-Optimized)＞″として設定されているため，操作できません。	ホストグループの指定を見直してください。
KAIC08712-E	作成するホストグループ（ポートID=″＜ポートID＞″，ドメインID=″＜ドメインID＞″）にパスが追加されていないため，ALUAパス優先度を設定できません。	パスを設定してから，再操作してください。
KAIC08715-E	ALUAが設定されているボリュームの属するホストストレージドメインの数が上限値（＜1ストレージシステムでボリュームにALUAを設定できるホストストレージドメイン数＞）に達したため，この操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08716-E	iSCSIポートに属しているホストストレージドメインが使用されているため，この操作はできません。	ボリュームの指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08717-E	指定したLdevにはすでにALUAが設定されているため，コマンドを実行できません。	Ldevの指定を見直してください。
KAIC08718-E	指定したLdevにはALUAが設定されていないため，コマンドを実行できません。	Ldevの指定を見直してください。
KAIC08719-E	外部ボリュームのT10 PIを有効にできません。	リクエストを見直してから，再実行してください。
KAIC08720-E	ボリューム（＜デバイス番号＞）はT10 PIが有効のため，指定した操作はできません。	ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08721-E	ボリューム（＜デバイス番号＞）はT10 PIが有効のため，T10 PIモードが無効なポートとのパスを設定できません。	ボリュームとポートの指定を見直してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08722-E	リクエストが実行できません。指定した正ボリュームと副ボリュームのT10 PIが一致していません。	正ボリュームと副ボリュームには，T10 PIが同じボリュームを指定してください。
KAIC08723-E	リクエストが実行できません。指定したソースボリュームとターゲットボリュームのT10 PIが一致していません。	ソースボリュームとターゲットボリュームには，T10-PI属性が同じボリュームを指定してください。
KAIC08724-E	指定したポート（ポートID=＜ポートID＞）は，リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているため，操作できません。リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているリソースはストレージシステムで予約されています。指定するポートを見直してから，操作し直してください。	ポートの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08725-E	指定したホストグループ番号（ポートID=＜ポートID＞，ドメインID=＜ドメインID＞）は，リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているため，操作できません。リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているリソースはストレージシステムで予約されています。指定するホストグループ番号を見直してから，操作し直してください。	ホストグループの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08726-E	指定したLDEV ID（＜デバイス番号＞）は，リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているため，操作できません。リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているリソースはストレージシステムで予約されています。指定するLDEV IDを見直してから，操作し直してください。	LDEV IDの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08727-E	指定した仮想LDEV（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は，リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているため，操作できません。リソースグループ（名前="＜リソースグループ名＞"）に所属しているリソースはストレージシステムで予約されています。指定する仮想LDEVを見直してから，操作し直してください。	仮想LDEVの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08728-E	リソースグループ（名前=＜リソースグループID＞）は，ストレージシステムで予約されているため，操作できません。	リソースグループの指定を見直してから，操作し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08729-E	＜ポート種別＞ポート（ポートID=＜ポートID＞）はストレージシステムで予約されているため，操作できません。	ポートの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08730-E	＜ポート種別＞ポートに所属するホストグループ（ポートID=＜ポートID＞，ドメインID=＜ドメインID＞）はストレージシステムで予約されているため，操作できません。	ホストグループの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08731-E	＜ボリュームの予約属性＞ボリューム（デバイス番号=＜デバイス番号＞）は，ストレージシステムで予約されているため，操作できません。	ボリュームの指定を見直してから，操作し直してください。
KAIC08732-E	ポートタイプ＜ポートタイプ＞のポートに対して，ポートロールを変更できません。	ポート指定を見直してください。
KAIC08733-E	LU ″＜デバイス番号＞″のボリュームは，ホストモードオプション″＜ホストモード＞″が有効に設定されているホストグループに属するため，ゼロページ破棄を実行できません。	LUの指定を見直してください。
KAIC08734-E	″＜アトリビュート名１＞″アトリビュートを指定していません。″＜アトリビュート名２＞″を手動設定にする場合は，″＜アトリビュート名１＞″アトリビュートの指定が必要です。	″＜アトリビュート名１＞″を指定してから，再実行してください。
KAIC08751-E	データダイレクトマップ属性またはプール専用属性が有効な外部ボリュームは指定できません。	ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08752-E	データダイレクトマップ属性が有効な＜PP名(Dynamic Provisioning)＞のプールは指定できません。	プールの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08754-E	データダイレクトマップ属性が有効な＜PP名(Dynamic Provisioning)＞のボリュームは指定できません。	ボリュームの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC08762-E	指定したオプション（＜オプション名＞）は複数のプールを指定できません。指定を見直したあと，再実行してください。	指定を見直したあと，再実行してください。
KAIC08771-E	指定したストレージシステム″＜ストレージシステム名＞″のマイクロコードのバージョンでは，″＜ファミリー名＞”の仮想ストレージマシンの作成はサポートしていません。	マイクロコードをバージョンアップしたあと，再実行してください。
KAIC08774-E	″＜エレメント名＞″エレメントのパラメーターが不足しています。次のどれかのアトリビュー	パラメーターを指定し直したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トを指定してください。:″＜アトリビュート名1＞″, ″＜アトリビュート名2＞″, ″＜アトリビュート名3＞″, ″＜アトリビュート名4＞″, ″＜アトリビュート名5＞″	
KAIC08775-E	指定したボリュームは＜dedupe and compression＞が有効なためフォーマットできません。＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用してフォーマットしてください。	＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用してフォーマットしてください。
KAIC08776-E	指定したボリュームは＜dedupe and compression＞が有効なため削除できません。＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用して削除してください。	＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用して削除してください。
KAIC08777-E	指定したプールは重複排除機能が有効なため削除できません。＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用して削除してください。	＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用して削除してください。
KAIC08778-E	指定したボリュームは重複排除用システムデータボリュームのためフォーマットできません。＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用してフォーマットしてください。	＜HA Device Manager - Storage Navigator＞を使用してフォーマットしてください。
KAIC08800-E	性能情報の初期化に内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08801-E	性能情報の初期化に失敗しました。設定ファイル″＜設定ファイル名＞″が不正である，または読み込めません。	以下を確認し，再実行してください。 ・ 設定ファイルの存在を確認してください。 ・ 設定ファイルのアクセス権限を確認してください。 ・ 設定ファイルの内容を確認してください。 同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08802-E	性能情報の初期化に予期しないエラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08809-E	性能情報の取得中に予期しないエラーが発生しました。ホスト名:″＜接続先のホスト名＞″, プロトコル:″＜プロトコル＞″, ポート番号:″＜接続先のポート番号＞″	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08810-E	性能情報を取得できません。Device Managerのデータベースにアクセスできません。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC08818-E	性能情報の取得中に内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08823-E	性能情報の取得に失敗しました。他のプロセスが性能情報を取得中です。しばらく時間をおいたあと，操作を再実行してください。	しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC08840-E	Device Managerサーバが停止されたため，処理を実行できません。	Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC08857-E	入力値が不正です。	-
KAIC08859-E	指定したアラート定義はすでに存在します。アラート定義名:"＜alert definition name＞"	-
KAIC08861-E	範囲外の値が指定されています。変数名="＜element＞"，最小値="＜minimum＞"，最大値="＜maximum＞"	-
KAIC08863-E	不正な値が指定されています。変数名="＜element＞"，値="＜value＞"	-
KAIC08865-E	範囲外の文字列の長さが指定されています。変数名="＜element＞"，値="＜value＞"，最小値="＜minimum-length＞"，最大値="＜max-length＞"	-
KAIC08867-E	必要な要素が存在していません。変数名="＜element＞"	-
KAIC08871-E	フォーマットが不正です。	-
KAIC08876-E	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	-
KAIC08877-E	データベースアクセス時にエラーが発生しました。	-
KAIC08878-E	Device Managerサーバが起動していることを確認してください。	-
KAIC08884-E	既に同名のアラート定義が存在します。	-
KAIC08885-E	存在しないフィールド名が指定されています。	-
KAIC08887-E	存在しないキー名が指定されています。	-
KAIC08888-E	リクエストが不正です。詳細情報： "＜detail＞"	詳細情報をもとにリクエストを修正して，再実行してください。
KAIC08911-E	指定されたアラートが存在しません。	-
KAIC08912-E	アラート名を確認してください。	-

4.2. KAIC10000～KAIC19999

Device Manager GUIに関するメッセージ（KAIC10000～KAIC19999）を示します。特に書き分けをしていない場合，「サーバ」は「HA Command Suiteの管理サーバ」を指します。メッセージテキストまたは説明に「サーバ管理者に連絡してください。」と記載されているメッセージが出力された場合は，HA Command Suiteを使用するストレージ管理者に連絡してください。

表4.2 KAIC10000～KAIC19999：Device Manager GUIのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10001-W	現在，サブシステム″＜サブシステム名＞″に対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10002-W	異なるサブシステムの論理グループにはストレージを移動できません。	同じストレージサブシステムの論理グループを移動先に指定してください。
KAIC10003-W	現在，サブシステム″＜サブシステム名＞″に対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10004-W	現在，論理グループ″＜論理グループ名＞″に対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10005-W	現在，サブシステム″＜サブシステム名＞″に対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10006-W	現在，サブシステム″＜サブシステム名＞″に対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10010-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ストレージの追加に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10011-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ホストの更新に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10012-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ホストの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10013-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ストレージの移動に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10015-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	セキュリティの解除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10016-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ポートの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10017-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	論理グループの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10018-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ストレージの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10019-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ストレージサブシステムの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10024-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	LUN Scanの実行に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10025-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	複数の論理グループからのストレージの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10026-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	LDEVの作成に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10027-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	LDEVの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10028-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	アレイグループの作成に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10029-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	スペアドライブの設定に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10030-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	アレイグループの削除に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10031-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ポートコントローラーの設定に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10032-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	ホストストレージドメインの作成に失敗しました。 実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10033-E	Device Managerサーバは以前の処理で使用されたメッセージIDを返しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10034-W	アラートを削除中です。処理が完了してから，再度実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10035-E	Device Manager サーバと接続できません。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。 ネットワークに問題がある場合は，ネットワークの障害を取り除いてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Device Managerサーバが停止している場合は，Device Managerサーバを起動してください。Device Managerサーバが起動できない場合，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 正しく起動している場合，Device Managerサーバが前回停止したときの状態によっては，Device Managerサーバの起動に時間がかっているためにこのメッセージが出力される場合があります。この場合はしばらくしてから再実行してください。
KAIC10036-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10037-E	Device Managerサーバからのダウンロード・インストール中にエラーが発生しました。サーバとのSecure Socketを使った接続ができません。システム管理者に連絡してください。	システム管理者に連絡し，サーバマシン上にKeystoreファイルが正しく作成されていることを確認してください。
KAIC10038-E	Secure Socket接続に必要なファイルのダウンロードができません。［OK］ボタンをクリックしてシステムを終了してください。	ネットワークの設定を確認してください。
KAIC10039-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10040-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10041-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10042-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10043-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10044-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10045-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10046-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10047-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10048-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10049-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10050-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10051-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10052-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10053-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10054-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10055-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10056-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10057-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10058-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10059-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10060-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10061-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10062-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10063-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10064-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10065-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10066-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10067-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10068-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10069-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10070-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10071-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10072-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10073-E	Peerグループのユーザーでログインすることはできません。	Peerグループ以外のユーザーでログインしてください。
KAIC10074-E	JREのバージョンが古いため，Web Clientを起動できません。現在動作しているJREのバージョンは ＜JREバージョン＞ です。	ご使用のJRE が，Web Client がサポートしているJRE のバージョンであることを確認してください。
KAIC10075-E	選択された論理グループはありません。	いったんほかの画面を表示し，元の画面に戻ってから再度操作してください。エラーが

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10078-E	容量の計算に失敗しました。	エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10079-W	ストレージが選択されていません。	ストレージを選択してから操作してください。
KAIC10080-E	リンク先が見つかりません。	ネットワークの設定を確認してください。StorageNavigator，パス管理のラウンチ機能の場合は，リンク先が正しく動作しているか確認してください。
KAIC10081-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10082-W	子グループがリソースグループにすでに割り当てられているため，論理グループを削除できません。まず，リソースグループを削除してください。	リソースグループを削除してから再度操作してください。
KAIC10083-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10084-W	リソースグループ ″＜リソースグループ名＞″ が割り当てられている論理グループにはストレージを移動できません。	リソースグループが割り当てられていない論理グループに移動先を指定してください。
KAIC10085-W	論理グループが選択されていません。	論理グループを選択してから操作してください。
KAIC10086-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10087-W	このホストでセキュリティ設定されたサブシステムは，現在ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10088-W	このホストでセキュリティ設定されたサブシステムは，現在ほかの処理を実行中です。しばらくしてから再実行してください。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10089-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10091-W	アレイグループ内のすべてのディスクは同じUNITでなければなりません。	同じUNIT内のディスクを指定してください。
KAIC10092-W	アレイグループを構成するためには二つ以上のディスクが必要です。	二つ以上のディスクを指定してください。
KAIC10093-W	アレイグループ内のすべてのディスクは連続していなければなりません。	連続したディスクを指定してください。
KAIC10094-W	現在ログイン中のユーザーは削除できません。	ほかのSystem AdministratorまたはLocal System Administratorユーザーでログインしてから削除してください。
KAIC10095-W	最後の ″＜リソースグループ名＞″ ユーザーを削除しようとしています。Device Manager の作業のため，	ほかのユーザーを作成してから削除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	このタイプのユーザーは少なくとも1人はなければなりません。	
KAIC10096-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10097-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10098-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10099-W	ストレージが選択されていません。	ストレージを選択してから再度操作してください。
KAIC10100-W	サブシステムが選択されていません。	ストレージサブシステムを選択してから再度操作してください。
KAIC10101-W	このリソースグループ名はすでに使用されています。	重複しないリソースグループ名を指定してください。
KAIC10102-W	ユーザー名はすでに使用されています。	重複しないユーザー名を指定してください。
KAIC10103-W	現在ログインしているユーザーには，この機能を実行する権限がありません。	権限のあるユーザーでログインしてください。
KAIC10104-E	Device Manager サーバとのネットワーク接続が切断されました。ネットワーク上の問題か，サーバのダウンと考えられます。WebClientは終了します。ネットワーク接続を確認した後，再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。また，一度に操作する対象のLDEV数が限界値を超えていないことを確認してください。限界値の目安はLDEVにボリュームパスが1本ある場合は200個，2本ある場合は100個となります。
KAIC10106-E	Device Managerサーバの使用期限が切れました。システム管理者に連絡してください。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10108-E	この処理は本バージョンのDevice Manager サーバではサポートしていません。	Web Clientのバージョンとサーバのバージョンが一致しているかを，メニューの［ヘルプ］－［バージョン情報］で確認してください。
KAIC10109-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10110-E	Device Manager サーバ内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10111-E	Device Managerサーバが不正なリクエストを受け取りました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10112-E	設定されている最大サイズよりも大きなリクエストを Device Manager サーバが受け取りました。	システム管理者に連絡し，Device Manager サーバが受け取ることのできるリクエストの最大サイズを再設定してください。
KAIC10113-E	Device Manager サーバがシャットダウン中のため，通信ができません。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10114-E	ダウンロードしようとしたファイルがDevice Manager サーバ上に見つかりません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10123-E	追加したホストが見つかりませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10124-E	追加したホスト情報が見つかりませんでした。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10125-E	親グループ ″＜論理グループ名＞″ は以前の処理で削除されました。	ほかの論理グループを親グループに指定してください。
KAIC10126-E	指定した親グループにはすでにストレージが割当てられています。	ほかの論理グループを親グループに指定してください。
KAIC10127-E	論理グループ名はすでに使用されています。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10128-E	論理グループ名 ″＜論理グループ名＞″ は予約されています。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10129-E	親グループでほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10130-E	Device Manager サーバへのログイン処理でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため，Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後，ログインしてください。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10131-E	Device Manager サーバからのメッセージ取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため，Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後，再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10132-E	Device Managerサーバからのメッセージ取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため，Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後，再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10133-E	Device Managerサーバからの処理結果の取得でエラーが発生しました。ネットワーク障害の可能性があるため，Web Client は終了します。ネットワーク接続を確認した後，再度実行してください。	ネットワークの状態を確認するとともに，Device Managerサーバが正しく起動しているかを確認してください。
KAIC10134-W	入力したパスワードは間違っています。	パスワードを確認してください。
KAIC10135-W	設定できるスペアディスクは ＜個数＞ 個までです。	＜個数＞以下のスペアディスクを設定してください。
KAIC10136-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10137-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10139-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生したため，″＜プログラム名＞″ の起動に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10140-E	＜プログラム名＞ は起動できない状態にあります。	システム管理者に連絡してください。
KAIC10141-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10142-W	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10147-W	現在，サブシステムに対してほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10149-W	名前の長さに誤りがあります。名前には1文字以上8文字以下の文字列を指定してください。	名前を変更してください。
KAIC10150-W	名前の長さに誤りがあります。名前には1文字以上8文字以下の文字列を指定してください。	名前を変更してください。
KAIC10153-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10154-E	LDEV/LU ″＜DevNum＞″ をコマンドデバイスに設定することはできません。 容量が不足しています。	LDEV/LUの容量を確認してLDEV/LUを選び直してください。
KAIC10155-E	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10156-E	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10157-E	現在，サブシステムに対して，ほかの処理を実行中です。	実行中の処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10158-W	重複したニックネームが指定されています。	変更するホストストレージドメインのニックネームに重複がないように指定してから再度操作してください。
KAIC10159-W	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″ は同一ポート上のほかのホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同じポート下のホストストレージドメインに存在しない名称を設定してください。
KAIC10160-W	指定されたニックネーム ″＜ニックネーム＞″は同一ポート上のほかのWWN/ホストストレージドメインがすでに使用しているため使用できません。	同じポート下のホストストレージドメインとWWNに存在しない名称を設定してください。
KAIC10170-E	削除するストレージを選択してください。	削除するストレージを選択してください。
KAIC10171-E	移動するストレージを選択してください。	移動するストレージを選択してください。
KAIC10172-E	セキュリティを変更するストレージを選択してください。	セキュリティを変更するストレージを選択してください。
KAIC10175-E	割当てるストレージを選択してください。	割当てるストレージを選択してください。
KAIC10176-E	割当てを解除するストレージを選択してください。	割当てを解除するストレージを選択してください。
KAIC10177-E	コピーペア作成するストレージを選択してください。	コピーペア作成するストレージを選択してください。
KAIC10178-E	1つのサブシステムのストレージを選択してください。	一つのストレージサブシステムのストレージを選択してください。
KAIC10179-E	論理グループ名が指定されていません。	論理グループ名を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10180-E	論理グループ名 ″＜論理グループ名＞″ は，予約されているため使用できません。	ほかの論理グループ名を指定してください。
KAIC10181-E	ホスト名が指定されていません。	ホスト名を指定してください。
KAIC10182-E	指定した World Wide Name のフォーマットが不正です。	World Wide Nameを正しく入力してください。
KAIC10183-E	この World Wide Name はすでに使用されています。	ほかの World Wide Nameを指定してください。
KAIC10184-E	IPアドレスまたはホスト名が指定されていません。	IPアドレスまたはホスト名を入力してください。
KAIC10185-E	ユーザーIDが指定されていません。	ユーザーIDを指定してください。
KAIC10186-E	SNMPコミュニティ名が指定されていません。	SNMP コミュニティ名を指定してください。
KAIC10187-E	パスワードが間違っています。	パスワードを入力し直してください。
KAIC10188-E	LDEVの入力形式が不正です。	正しい形式でLDEVを入力してください。
KAIC10189-E	総容量の入力形式が不正です。整数値を入力してください。	総容量を入力し直してください。 入力できる値は2^31-1以下の数値です。
KAIC10190-E	ストレージの数の入力形式が不正です。整数値を入力してください。	ストレージの数を入力し直してください。
KAIC10191-E	検索オプションが不正です。	正しい検索オプションの組み合わせを入力してください。
KAIC10192-E	LDEVを入力してください。	LDEVを入力してください。
KAIC10193-E	総容量を入力してください。	総容量を入力してください。
KAIC10194-E	ストレージの数を入力してください。	ストレージの数を入力してください。
KAIC10195-E	LDEV番号 ＜LDEV番号＞ で指定されるデバイスが存在しません。	ほかのLDEV番号を指定してください。
KAIC10196-E	検索条件に一致するLDEVが見つかりません。	ほかの検索条件を指定してください。
KAIC10197-E	ポートが選択されていません。	ポートを選択してください。
KAIC10198-E	ポート-ホスト:WWN/iSCSI Nameが選択されていません。	ポート-ホスト:WWNを選択してください。
KAIC10199-E	LUが選択されていません。	LUを選択してください。
KAIC10201-E	LU-ポート-ホスト:WWN/iSCSI Name接続が選択されていません。	LU-ポート-ホスト:WWN接続を選択してください。
KAIC10215-E	選択された論理グループにストレージを割当てることはできません。	ほかの論理グループを選択してください。
KAIC10216-E	ストレージ割当て可能なサブシステムが一つも登録されていません。	ストレージサブシステムを登録してから操作を行ってください。
KAIC10218-E	選択されたポートに割り当て済みのWWNが選択されています。利用可能なWWNとポートの組合せを確認してください。	利用可能なWWNとポートの組み合わせを確認してください。
KAIC10220-E	ユーザーID を入力してください。	ユーザーID を入力してください。
KAIC10221-E	パスワードを入力してください。	パスワードを入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10222-E	ユーザーIDまたはパスワードが正しくありません。	正しいユーザーIDとパスワードを入力してください。
KAIC10224-E	Single Sign On Service でエラーが発生しました。	外部認証サーバがLDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmdsldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。 外部認証サーバがRADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmdsradiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。 外部認証サーバがKerberosの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホストおよびポートを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。 上記以外の場合： 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10225-E	セッションタイムアウトです。再ログインしてください。	再ログインしてください。
KAIC10226-E	一時ライセンスの有効期間が満了しています。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスを購入してください。
KAIC10227-E	非常ライセンスの有効期間が満了しています。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスを購入してください。
KAIC10228-E	ライセンスキーを入力してください。	ライセンスキーを入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10229-E	ライセンス情報の取得に失敗しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10231-E	ライセンスキーが不正か，すでに登録されているライセンスキーを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーを入力してください。
KAIC10232-E	Device Manager のログインに失敗しました。ユーザーID/パスワードを入力してください。	再ログインしてください。
KAIC10236-E	ホスト ＜ホスト名＞ にはコピーペアの情報はありません。	コピーペアの情報を持つホストを選択してください。
KAIC10237-W	正ボリュームへのI/O処理中にこの処理を行なうと副ボリュームのデータが不完全な状態になる場合があります。正ボリュームへのI/O処理を行なっていないことを確認してください。	正ボリューム(P-VOL)に指定したボリュームに対して，ホストからのI/O処理が停止していることを確認してから操作を続行してください。
KAIC10239-W	この操作によって，副ボリュームとして指定されたボリュームのデータが消失します。変更内容を十分確認してください。	この操作を続行すると，副ボリュームのデータが削除されます。必要に応じてバックアップを取ってから，操作を続行してください。
KAIC10240-E	World Wide NameかiSCSI Nameのどちらかが指定されていません。	World Wide NameかiSCSI Nameのどちらかを指定してください。
KAIC10241-E	サブシステム名が指定されていません。	ストレージサブシステム名を指定してください。
KAIC10243-E	指定した親グループが不正です。	親グループには，更新する論理グループとその子グループ以外を指定してください。
KAIC10244-E	このホスト名はすでに使用されています。	ほかのホスト名を指定してください。
KAIC10245-E	指定されたWorld Wide Name/iSCSI Name ＜World-Wide-Name / iSCSI Name＞ は，ホスト ＜ホスト名＞ ですでに使用されています。	他の World Wide Name/iSCSI Nameを指定してください。
KAIC10249-E	＜ホスト名＞ に指定したポート番号 ＜ポート番号＞ はすでに利用されています。	ほかのポート番号を指定してください。
KAIC10252-E	LU ＜DevNum＞ はコマンドデバイスに設定されているため削除できません。	コマンドデバイスの設定を解除してください。
KAIC10253-E	LU ＜DevNum＞ はコピーペアに設定されているため削除できません。	コピーペアを削除してください。
KAIC10254-E	LU ＜DevNum＞ はDevice Managerからは削除できません。	ストレージサブシステムに付属のアプリケーションから削除してください。
KAIC10255-E	LU ＜DevNum＞ は論理グループの移動はできません。	ディスクアレイ管理プログラム2を用いて，すでにLUNが割り当てられた二つ以上のボリュームから統合LUを作成する，もしくは統合LU作成後にMainLU以外にLUNを割り当てると，Device Manager上ではMainLU以外のLUに割り当てられたLUNが表示されたままになります。このようなLUNは，Device Managerでは操作ができません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10256-E	論理グループ ＜論理グループ名＞ には他のサブシステムのストレージが割当てられています。	ほかの論理グループを選択してください。
KAIC10257-E	選択した全ての LDEV に同じセキュリティを設定することはできません。	個別にセキュリティ設定を行ってください。
KAIC10258-E	LU ＜DevNum＞ はDevice Managerでセキュリティの設定はできません。	ストレージサブシステムに付属のアプリケーションからセキュリティの設定を行ってください。
KAIC10260-E	リクエストを受け付けられません。ダイアログを閉じて，もう一度，操作をやりなおしてください。それでもうまくいかない場合は，もう一度，ログインしなおした後にやりなおしてください。	画面を閉じてから，やり直してください。［Close］ボタンがダイアログにない場合は，画面右上の［×］ボタンより画面を閉じてください。問題が残る場合はログアウト後もう一度ログインしてやり直してください。
KAIC10265-E	コピーペア名およびコピーグループ名には英数字と記号以外は使用できません。また名前の先頭に「-」を使用できません。	正しい文字列を指定してください。
KAIC10266-W	選択された LDEV と ポート の組合せのうち，以下のものはすでに LUN が割り当て済みですので， LUN の割り当て，およびこの論理グループへの追加は行ないません。よろしいですか？	LUN の割り当て，およびこの論理グループへの追加が行われないLDEVを確認してから処理を続行してください。
KAIC10268-E	選択されたLUは既に選択されたポートに割当てられています。利用可能なLUとポート-ホスト WWNの組合せを確認してください。	利用可能なLUとポート-ホスト WWNの組み合わせを確認し，利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10269-E	選択されたLUは既に選択されたポート/HSD（iSCSI Target）に割当てられています。利用可能なLUとポート-ホスト WWN/iSCSI Nameの組合せを確認してください。	利用可能なLUとポート-ホスト WWN/iSCSIの組み合わせを確認し，利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10270-W	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。必要に応じてバックアップを取り，操作を続行してください。
KAIC10271-W	この操作の対象となるポート下の全LUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認してください。I/O処理を行なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。	この操作の対象となるポート下の全LUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認してください。I/O処理を行なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。
KAIC10272-W	この操作の対象となるホストストレージドメイン/iSCSI Target下の全LUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認してください。I/O処理を行なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。	この操作の対象となるホストストレージドメインまたはiSCSIターゲット下の全LUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認してください。I/O処理を行なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。
KAIC10273-W	この操作の対象となるLUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認し	この操作の対象となるLUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理を行なっていないことを確認してください。I/O処理を行

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	てください。I/O処理を行なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。	なった状態で実行すると，I/Oが異常終了する場合があります。
KAIC10274-W	この操作の対象となるポートのLUNセキュリティが有効になります。その結果，現在アクセスしているホストおよびExternalポートがストレージにアクセスできなくなる可能性があります。変更内容を十分確認してください。	この操作の対象となるポートのLUNセキュリティが有効になります。その結果，現在アクセスしているホストおよびExternalポートがストレージにアクセスできなくなる可能性があります。LUNセキュリティが有効になると，サーバやHBAから，今まで認識していたポート上のLUNを参照できなくなる場合があります。この場合は，LUNに対してLUNセキュリティの設定が必要です。
KAIC10275-W	コピーペアボリューム，またはコマンドデバイスへのLUNを解放すると，コピーペア設定ができなくなる場合があります。変更内容を十分確認してください。	コピーペアボリューム，またはコマンドデバイスへのLUNを解放することにより，コピーペア設定の条件を満たさなくなる場合，コピーペア設定ができなくなります。変更内容を確認してから操作してください。
KAIC10277-E	選択されたLDEVは，コピーペアの必要条件を満たしません。次の理由によるエラーのおそれがあるため，「コピーペアの要件」を参照し，コピーペアの作成に必要な要件を満たしているか確認してください。 1. コピーペアの作成に必要な条件を満たしていない。 2. コピーペアの作成に必要な条件を満たすLDEVが選択されていない。	コピーペアの作成に必要な条件を満たすLDEVを選択して再実行してください。
KAIC10278-E	コピーグループ名を指定してください。	正しい文字を入力してください。
KAIC10279-E	＜P-VOLもしくはS-VOL＞の＜項目名＞を指定してください。	数字を入力してください。
KAIC10281-E	＜名前＞に数字以外の文字を指定しています。	数字を入力してください。
KAIC10282-E	＜名前＞は＜数値＞から＜数値＞の範囲で指定してください。	ほかの番号を指定してください。
KAIC10284-E	すべてのポートに割当て済みのデバイスが含まれています。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10286-E	選択されたポートとWWNの組合せが不正です。利用可能なホスト:WWNとポートの組合せを確認してください。	利用可能なホスト:WWNとポートの組み合わせを確認し，利用可能な組み合わせを選択してください。
KAIC10288-E	サブシステムを追加してください。	レポート画面を表示する前にストレージサブシステムを追加してください。
KAIC10289-E	警告の内容を確認してください。	警告の内容を確認し，チェックボックスをチェックしてください。
KAIC10290-E	指定された論理グループにはリソースグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し，そこにパスを登録してください。
KAIC10291-E	ホストが登録されていないため，操作を続行することができません。	ホストを登録してください。
KAIC10292-E	認証に失敗しました。	システム管理者に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10293-E	起動に失敗しました。	ご使用のJREが，Web Clientがサポートしているバージョンであることを確認してください。再発するときはシステム管理者に連絡してください。
KAIC10294-E	パスが選択されていません。	パスを選択してください。
KAIC10295-E	プールを構成しているLDEVにパスを設定することはできません。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10296-E	指定したLDEV＜LDEV番号＞はプールを構成しているデバイスです。	割り当て可能なデバイスのLDEV番号を指定してください。
KAIC10298-E	通信障害が発生しました。'タスク'メニューを開いて，処理が完了したかどうかを確認してください。	［タスク］メニューを開いて，処理が完了したかどうかを確認してください。このエラー画面が頻発する場合，システム管理者に連絡してください。
KAIC10299-E	ユーザー操作により不正な画面遷移が行なわれました。	再度操作を実行してください。
KAIC10300-E	セッションが切れました。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10301-E	セッションが無効です。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10302-E	指定された全てのパスがすでに存在します。他のLDEVもしくはポートを指定してください。	選択したものとは別のLDEVもしくはポートを選択してください。
KAIC10304-E	削除するアラートを選択してください。	削除するアラートを選択してください。
KAIC10305-E	論理グループが一つも登録されていません。論理グループを作成してから操作を行なってください。	操作の前に論理グループを作成してください。
KAIC10306-W	サブシステム"＜サブシステム名＞"には2つのコントローラーがありますが，IPアドレスが1つしか設定されていません。サブシステム管理画面のプロパティ変更で，もう1つのIPアドレスを設定することを推奨します。	ストレージサブシステム管理画面のプロパティ変更で，IPアドレスを設定してください。
KAIC10307-E	入力可能な文字は以下の通りです。＜文字列＞ 入力可能な文字数は，＜数値＞文字以下です。	使用可能な文字を入力してください。また，文字数を制限以下で入力してください。
KAIC10309-W	Java Scriptのバージョンをアップデートしてください。	下記のサイトより最新のJScriptをダウンロードしてインストールしてください。 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=c717d943-7e4b-4622-86eb-95a22b832caa
KAIC10310-E	World Wide Nameを指定してください。	削除するWorld Wide Nameを指定してください。
KAIC10311-E	選択したストレージは削除されています。	ほかのストレージを選択してください。
KAIC10312-E	"LUN SCAN"は予約されている論理グループ名です。この操作を行うには，論理グループ名を変更してください。	"Modify Properties"（プロパティ変更）を使用し，論理グループ名を変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10316-W	サブシステムのExternalポートであるホストを削除することはできません。	ストレージサブシステムのExternalポートであるホストは，システム上削除できないホストです。
KAIC10317-W	＜PP名＞ により割り当てられたボリュームが無効になる可能性があります。変更内容を十分確認してください。	Universal Volume Manager/External Storageにより割り当てられたボリュームが無効になる可能性があります。変更内容を十分確認してください。
KAIC10319-E	Provisioning ManagerはDevice Managerの呼び出しに失敗しました。(詳細情報:＜詳細情報＞)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10320-E	Provisioning Managerから不正なリクエストが送信されました。(詳細情報:＜詳細情報＞)	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10321-E	入力されたライセンスキーファイルが不正です。	正しいライセンスキーファイルを指定して，再実行してください。
KAIC10322-E	ライセンスキーファイルを入力してください。	ライセンスキーファイルを入力してください。
KAIC10323-E	ファイル削除に失敗しました。	対処の必要はありません。
KAIC10324-E	システム環境が不正です。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10325-E	ライセンスキーファイルの最大サイズを超えています。	顧客問合せ窓口に連絡してください。
KAIC10326-E	ライセンスキーファイルが不正か，すでに登録されているライセンスキーファイルを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーファイルを指定して，再実行してください。
KAIC10329-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10331-E	LDEV属性の条件値に指定した形式が一致していません。	LDEV属性の条件値には同じ形式で指定してください。
KAIC10332-E	≧には≦に指定した値以下の値を指定してください。	>=には<=に指定した値以下の値を指定してください。
KAIC10336-E	Device Managerは Webブラウザーの起動に失敗しました。 Webブラウザーが正常に動作するか確認してください。	Webブラウザーへのリンクが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC10337-E	Device Managerは Webブラウザーの起動に失敗しました。 Webブラウザーが正常に動作するか確認してください。	Webブラウザーへのパスが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC10338-W	サブシステムの更新中に操作が実行されました。 表示内容は最新の情報ではないおそれがあります。	更新処理中にストレージサブシステムに対して操作を実行すると，操作が失敗するおそれがあります。 実行中の更新処理が完了してから，再度操作してください。
KAIC10339-E	現在，サブシステムの更新中です。実行中の更新処理が完了してから，再度操作してください。	実行中の更新処理が完了してから再度操作してください。
KAIC10340-E	ライセンス管理の実行に失敗しました。	Device Managerが稼働しているシステムでライセンス管理の実行に必要なメモリーが不足している可能性があります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		システムでメモリーが不足していないか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10361-E	ホストストレージドメイン名が入力されていません。ホストストレージドメイン名を入力してください。	ホストストレージドメイン名を入力してください。
KAIC10362-E	指定されたホストストレージドメイン名 ″＜ホストストレージドメイン名＞″ は，同じポート上にすでに存在しています。同じポート上に存在しないホストストレージドメイン名を指定してください。	同じポート上に存在しないホストストレージドメイン名を設定してください。
KAIC10363-E	ホストストレージドメイン情報の画面が開いている，または終了処理中のため，操作できません。ホストストレージドメイン情報の画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。	ホストストレージドメイン情報の画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。
KAIC10366-E	共通コンポーネントの認証に失敗しました。ログインからやり直してください。	ログインからやり直してください。
KAIC10367-E	Device Manager Web Client内部でエラーが発生しました。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10368-E	サブシステムに対応するライセンスが登録されていません。	Device Manager バージョン情報画面よりライセンスを登録してください。
KAIC10369-W	この操作の対象となるアレイグループ ＜アレイグループ番号＞ のデータが消失します。操作内容を十分に確認してください。	この操作の対象となるアレイグループのデータが消失します。操作内容を十分に確認してください。必要に応じてバックアップを取り，操作を続行してください。
KAIC10370-W	このポート設定の変更によって，現在アクセスしているホストおよびExternalポートがサブシステムにアクセスできなくなるおそれがあります。変更内容を十分に確認してください。	変更内容を十分に確認してください。
KAIC10371-W	設定を有効にするためにサブシステムを再起動します。このときホストからのI/Oを受け付けなくなります。外部サブシステムとして使用している場合は，Storage Navigatorを使用してDisconnect subsystemを必ず実行してください。	設定を有効にするためにサブシステムを再起動します。このときホストからのI/Oを受け付けなくなります。外部サブシステムとして使用している場合は，Storage Navigatorを使用してDisconnect subsystemを必ず実行してください。
KAIC10372-W	この操作の対象となるポートを使用しているLUNに対して，ホストおよびExternalポートからI/O処理をしていないことを確認してください。I/O処理をした状態で実行するとファイルシステムが破壊されるおそれがあります。この操作の結果，ホストストレージドメイン ＜ホストストレージドメインID0の名前＞ に設定しているホストおよびExternalポートだけがアクセスできるようになります。	ホストおよびExternalポートからI/O処理をしていないことを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10373-I	ライセンスキーを登録してください。	ライセンスキーを登録してください。
KAIC10374-I	ライセンスの登録が完了しました。	対処の必要はありません。
KAIC10375-I	一時ライセンスの有効期間は，＜n＞日間です。＜date＞に満了します。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10376-I	非常ライセンスの有効期間は，＜n＞日間です。＜date＞に満了します。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10377-E	Device Managerのログインに失敗しました。ユーザーにリソースグループとPeer以外のDevice Managerの権限，またはUser Management権限を割り当ててから再度ログインしてください。	ユーザーにリソースグループとPeer以外のDevice Managerの権限，またはUser Management権限を割り当ててから再度ログインしてください。
KAIC10380-E	Java Script を有効にしてください。	Java Script を有効にしてください。
KAIC10381-E	一時ライセンスの有効期間が満了しています。	ライセンスを購入してください。
KAIC10382-E	非常ライセンスの有効期間が満了しています。	ライセンスを購入してください。
KAIC10383-E	フィルター条件の組み合わせが不正です。	AND条件でフィルタリングを実行する場合，LDEV属性の条件は二つまで指定できます。条件にはそれぞれ異なる演算子を指定してください。LDEV属性以外の属性は，二つ以上の条件を指定できません。
KAIC10385-E	重複したリソースグループ名は認められません。	リソースグループ名を変更してください。
KAIC10386-E	指定されたリソースグループはDevice Managerデータベース内に見つかりません。	リソースグループ名を確認してください。
KAIC10387-E	指定されたリソースグループをこのAPIバージョンで追加することはできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10388-E	このAPIバージョンでは指定されたリソースグループにユーザを追加することはできません。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10389-E	指定された論理グループはすでに別のリソースグループで使用されています。	リソースグループが未使用の論理グループを指定してください。
KAIC10390-E	指定されたリソースグループにはすでに論理グループが関連づけられています。	既存の関連を削除し，再度論理グループとの関連づけを行ってください。
KAIC10391-E	指定されたリソースグループにはユーザが登録されています。	リソースグループからすべてのユーザを削除し，再度コマンドを実行してください。
KAIC10392-E	指定された論理グループ下にリソースグループが登録されています。	論理グループ下のすべてのリソースグループを削除し，再度コマンドを実行してください。
KAIC10393-E	指定された論理グループにはリソースグループが登録されています。	新たに論理グループを作成し，そこにパスを登録してください。
KAIC10394-E	ログオンユーザは，自分のリソースグループ，ロールを変更できません。	ログオンユーザの権限を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10395-E	リソースグループ名は無効です。25バイト以下にする必要があります。	リソースグループ名は25バイト以下で入力してください。
KAIC10396-E	ビルトインリソースグループは削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10397-E	自分が属しているリソースグループを削除できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10398-E	ビルトインリソースグループは変更できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10399-E	自分が属しているリソースグループを変更できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10400-E	指定されたリソースグループ名は予約されているため使用できません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10401-E	ログオンユーザはリソースグループに属していないためDevice Managerの機能を使用できません。	Device Managerの機能を使用できるユーザで再実行してください。
KAIC10402-E	リソースグループの情報に共通ユーザ情報と異なる部分を発見しました。	共通ユーザ情報が最新の情報を保持していないおそれがあります。Device Managerサーバを再起動してください。
KAIC10403-E	指定されたリソースグループは共通ユーザ情報に登録されていません。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10404-E	指定されたリソースグループは共通ユーザ情報にすでに登録されています。	リソースグループの指定を見直してください。
KAIC10405-E	パラメータが正しくありません：Resource Group ＜name＞	リソースグループ名を指定して再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10406-E	指定されたリソースグループはDevice Managerデータベースには見つかりません。	リソースグループを見直してください。
KAIC10407-E	リソースグループ名が不正です。次の文字を用いて25文字以下で指定してください。a-z，A-Z，0-9，’-’，’=’，’¥’，’`’，’,’，’.’，’_’	入力したリソースグループ名を見直してください。
KAIC10408-E	入力するライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。他製品のライセンスキーファイルを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーファイルを指定して，再実行してください。
KAIC10410-E	WWN/iSCSI Name選択の画面が開いているか，または終了処理中のため，操作できません。WWN/iSCSI Name選択の画面が開いている場合は閉じてください。そのあとで，WWN/iSCSI Name選択の画面の起動元となった画面が更新されてから操作してください。	WWN/iSCSI Name選択の画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。
KAIC10412-E	LDEV番号＜LDEV番号＞のLDEVはMigration用予約LDEVです。	LDEVの選択を見直してください。
KAIC10414-E	Migration用予約LDEVにパスを設定できません。	LDEVの選択を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10417-E	選択されているすべてのLDEVのパスが，同一の論理グループに属していません。同一の論理グループに属しているLDEVのパスを選択してください。	選択されているすべてのLDEVのパスが，同一の論理グループに属するように，幾つかのLDEVのパスを，ストレージの移動機能で論理グループに移動させるか，選択解除してから，再実行してください。
KAIC10418-E	選択されている幾つかのLDEVのパスが，論理グループに属していません。同一の論理グループに属しているLDEVのパスを選択してください。	選択されているすべてのLDEVのパスが，同一の論理グループに属するように，幾つかのLDEVのパスを，ストレージの移動機能で論理グループに移動させるか，選択解除してから，再実行してください。
KAIC10419-E	＜選択したLDEVのパス数＞個のLDEVのパスが選択されています。類似ストレージ追加機能で選択できるLDEVのパス数は最大＜LDEVのパスの最大数＞個です。	選択できる最大のLDEVのパス数を超えないように選択してから，再実行してください。
KAIC10420-E	＜選択したホスト数＞個のホストが選択されています。削除できるホスト数は最大＜最大ホスト数＞個です。	削除できる最大ホスト数を超えないように選択してから，再実行してください。
KAIC10421-W	一時ライセンスの有効期間は，＜n＞日間です。＜date＞に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10422-W	非常ライセンスの有効期間は，＜n＞日間です。＜date＞に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを入力してください。	期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC10423-W	この装置では，同じP-VOLを使用した複数のコピーペアのコピー状態を"Pair"にできないため，コピーペアを作成できません。	コピーペアを作成する場合，「ペアの選択」画面に戻り，同じP-VOLを使用しないようにコピーペアを設定し直すか，既存のコピーペアのコピー状態を"Split"または"Simplex"に変更してください。
KAIC10424-E	＜サブシステム名＞ では，同じP-VOLを使用した複数のコピーペアのコピー状態を"Pair"にできないため，二つ以上のコピーペアの操作にRestoreまたはResyncを指定することはできません。	同じP-VOLを使用した複数のコピーペアに対して操作を変更する場合，RestoreまたはResyncを指定するコピーペアは一つだけにしてください。
KAIC10425-W	client.propertiesファイルの読み込みに失敗したため，table.ldev.rowsperpageプロパティの値を取得できませんでした。この場合，ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値（25，300）で動作します。	client.propertiesファイルが存在すること，ファイルの読み取り権限があること，ファイルが壊れていないことを確認し，client.propertiesファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティの詳細は，「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10426-W	client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティに指定した値（＜設定値＞）は不正です。この場合，ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値（25，300）で動作します。	client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティに正しい値を設定してください。client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティの詳細

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		は，「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10427-I	client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティに（＜設定値＞）が指定されました。ソータブルテーブルの表示行数の選択肢は，＜設定値＞になります。	対処の必要はありません。
KAIC10428-W	client.propertiesファイルにtable.ldev.rowsperpageプロパティが指定されていません。この場合，ソータブルテーブルの表示行数の選択肢はデフォルト値（25，300）で動作します。	client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティに正しい値を設定してください。client.propertiesファイルのtable.ldev.rowsperpageプロパティの詳細は，「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10430-E	ユーザーIDまたはユーザーパスワードが間違っています。	ユーザーIDとユーザーパスワードを確認してください。
KAIC10439-E	ライセンスキーが不正か，ほかの製品のライセンスキーを登録しようとした可能性があります。	正しいライセンスキーを入力してください。
KAIC10440-E	コピーペアボリュームのLUの最後のパスは解除できません。	コピーペアボリュームを解除し，ストレージの削除をしてください。V-VOLの場合，PhysicalViewから削除してください。
KAIC10441-W	容量の入力形式が不正です。	正しい形式で容量を入力してください。
KAIC10442-W	容量に指定した値の長さに誤りがあります。容量には1文字以上9文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式で容量を入力してください。
KAIC10446-E	ジャーナルグループ選択画面が開いているか，終了処理中のため，操作できません。ジャーナルグループ選択画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。	ジャーナルグループ選択画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。
KAIC10447-E	自動割り当てに使用できるLUNが不足しています。ポート（HSD）：＜ポート（HSD）名＞	指定した開始LUN以降に，割り当て可能なLUNが不足しています。開始LUNを小さな番号に変更してから再実行してください。
KAIC10448-E	LDEV番号＜LDEV番号＞のLDEVは＜ボリューム属性＞のLDEVです。	割り当て可能なデバイスのLDEV番号を指定してください。
KAIC10449-E	ボリューム属性が＜ボリューム属性＞のLDEVにパスを設定することはできません。	割り当て可能なデバイスを選択してください。
KAIC10450-W	LDEVの数が，一度に処理できる数（＜LDEV数＞個）を超えているため，［ストレージの検出］で指定された検索条件が有効にならないおそれがあります。［LDEVの指定］または［LDEVの参照］を使用して，ストレージを選択してください。	［LDEVの指定］または［LDEVの参照］を使用して，ストレージを選択してください。
KAIC10451-E	指定したLDEVの数が，一度に指定できる上限値（＜LDEV数＞）を超えています。上限値を超えるLDEVを操作したい場合は，数回に分けて操作してください。	上限値を超えるLDEVを操作したい場合は，数回に分けて操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10452-W	検索データが上限値2048個に達しました。必要なデータが表示されていない場合，数回に分けて操作してください。	数回に分けて操作してください。
KAIC10453-E	ストレージサブシステム情報が最新になっていないおそれがあります。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから，再実行してください。サブシステム名:＜サブシステム名＞	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから，再実行してください。 ストレージサブシステムのリフレッシュを実行しない場合，ストレージサブシステムの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10454-E	ストレージサブシステム情報が最新になっていないおそれがあります。Device Managerサーバを再起動してから，再実行してください。	Device Managerサーバを再起動してから，再実行してください。 Device Managerサーバを再起動しない場合，ソータブルテーブルに表示されている内容が不正になる場合があります。
KAIC10455-E	消費済み容量の入力形式が不正です。	正しい形式で消費済み容量を入力してください。
KAIC10456-E	消費済み容量に指定した値の長さに誤りがあります。消費済み容量には1文字以上9文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式で消費済み容量を入力してください。
KAIC10457-W	Device Managerでサポートしていないストレージサブシステムに対して，指定された操作はできません。	サポートしていないストレージサブシステムに対して実施できる操作は，サブシステムの削除だけです。
KAIC10460-E	＜コマンド名＞の起動コマンドの実行に失敗しました。	手動でDevice Managerサーバを起動してください。
KAIC10461-E	＜コマンド名＞の停止コマンドの実行に失敗しました。	手動でDevice Managerサーバを停止してください。
KAIC10462-W	検索したLDEVの数が，一度に処理できる数（＜LDEV数個＞）を超えています。他のLDEVを操作したい場合は，検索オプションを変更して再実行するか，［LDEVの指定］または［LDEVの参照］を使用して，ストレージを選択してください。	ほかのLDEVを操作したい場合は，検索オプションを変更して再実行するか，［LDEVの指定］または［LDEVの参照］を使用して，ストレージを選択してください。
KAIC10463-E	iSCSI Target情報の画面が開いている，または終了処理中のため，操作できません。iSCSI Target情報の画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。	iSCSI Target情報の画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。
KAIC10465-E	アレイグループに指定した値の長さに誤りがあります。アレイグループには1文字以上20文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10466-I	Core Licenseの登録が完了しました。	対処の必要はありません。
KAIC10467-E	iSCSI Targetが入力されていません。iSCSI Targetを入力してください。	iSCSI Targetを入力してください。
KAIC10468-E	指定されたiSCSI Target ″＜iSCSI Target＞″ は，同じポート上にすでに存在しています。同じポート上に	同じポート上に存在しないiSCSI Targetを設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	存在しないiSCSI Targetを指定してください。	
KAIC10469-E	iSCSI Nameを指定してください。	削除するiSCSI Nameを指定してください。
KAIC10470-E	指定した iSCSI Name のフォーマットが不正です。	iSCSI Nameを正しく入力してください。
KAIC10471-E	この iSCSI Name はすでに使用されています。	他のiSCSI Nameを指定してください。
KAIC10472-E	Web Clientのライセンス登録処理は終了しましたが，Device Manager サーバがライセンス情報の取得に失敗したおそれがあります。	再ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10473-E	Device Managerサーバがライセンス情報の取得に失敗したおそれがあります。	再ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10474-E	タスクの実行中にエラーが発生しました。詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。パラメータが誤っている場合は，戻るボタンをクリックしてパラメータを修正したあと，再実行してください。	エラーの詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。パラメーターが誤っている場合は，戻るボタンをクリックしてパラメーターを修正したあと，再実行してください。
KAIC10475-W	ホストストレージドメイン/iSCSI Targetに含まれるセキュリティと一致しないセキュリティのLUNがあります。	顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10476-E	異なる種別のホスト：WWN/iSCSI Nameとポートが選択されています。利用できるWWN/iSCSI Nameとポートの組み合わせを確認してください。	利用できるWWNとポートの組み合わせを確認してください。
KAIC10477-E	異なる種別のポートに設定されたパスが選択されています。同じ種別のポートに設定されたパスを選択してください。	同じ種別のポートに設定されたパスを選択してください。
KAIC10478-W	すでにホストに設定されているWWN/iSCSI Nameと種別の異なるWWN/iSCSI Nameが入力されたため，パスを追加できません。パスを追加する場合は，ストレージの追加からパスの追加を実施してください。	パスを追加する場合は，ストレージの追加からパスの追加を実施してください。
KAIC10479-E	内部エラーが発生しました。	保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10481-E	使用できるPOOLが設定されていません。	POOLを設定してください。
KAIC10482-E	ホストに指定した値の長さに誤りがあります。ホストには50文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でホストを入力してください。
KAIC10483-E	ホストの入力形式が不正です。	正しい形式でホストを入力してください。
KAIC10484-E	アレイグループの入力形式が不正です。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10485-E	マッピングパスが選択されていません。	マッピングパスを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10486-E	LDEV番号が入力されていません。LDEV番号を入力してください。	LDEV番号を入力してください。
KAIC10487-E	LDEV番号の入力形式が誤っています。使用できる値は"Auto"またはLDEV番号です。	正しい形式でLDEV番号を入力してください。
KAIC10488-E	アレイグループが入力されていません。アレイグループを入力してください。	アレイグループを入力してください。
KAIC10489-E	アレイグループの入力形式が誤っています。使用できる値は"Auto"または1から16384までの数値です。	正しい形式でアレイグループを入力してください。
KAIC10490-E	CLPRが入力されていません。CLPRを入力してください。	CLPRを入力してください。
KAIC10491-E	CLPRの入力形式が誤っています。使用できる値は0から2147483647までの数値です。	正しい形式でCLPRを入力してください。
KAIC10494-E	LDEVが重複しています。ユニークなＬＤＥＶ番号を設定してください。	ユニークなＬＤＥＶ番号を設定してください。
KAIC10495-E	指定したLDEV数が，100を超えています。上限値を超えるLDEVを操作したい場合，数回に分けて操作してください。	上限値を超えるLDEV数を操作したい場合，数回に分けて操作してください。
KAIC10496-E	選択できるマッピングパスの件数が上限を超えています。選択できる最大数は8件です。	選択するマッピングパスの件数を8件以内に変更してください。
KAIC10497-W	External Array Nodeとポートは1件から8件まで組み合わせることができます。該当するLDEV番号をクリックして，組み合わせ件数を変更してください。	該当するLDEV番号をクリックして，組み合わせ件数を変更してください。
KAIC10498-E	このストレージサブシステムではExternal Storageの設定ができません。マイクロコードバージョン(＜Version番号＞)	設定できるストレージサブシステムを選択してください。
KAIC10500-E	データベースとの接続に失敗しました。データベースが起動しているか確認してください。	データベースが起動していない場合，データベースを起動してから再度操作してください。 データベースが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10501-E	データベースからデータを取得できませんでした。データベースが起動しているか確認してください。SQL文:＜SQL文＞	データベースが起動していない場合，データベースを起動してから再度操作してください。 データベースが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10502-E	ファイルを開けません。パス名，ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイルシステムの空き容量を確認してください。ファイル名:＜ファイル名＞	パス名，ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し，実行ユーザーがファイルを開けるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。 ファイルシステムの空き容量が足りない場合は，不要なファイルを削除するなどして，

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		空き容量を増やしてから再度操作してください。
KAIC10503-E	ファイルの書き込みに失敗しました。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイルシステムの空き容量を確認してください。ファイル名:＜ファイル名＞	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し，実行ユーザーがファイルに書き込めるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。 ファイルシステムの空き容量が足りない場合は，不要なファイルを削除するなどして，空き容量を増やしてから再度操作してください。
KAIC10504-E	ファイルの読み取りに失敗しました。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイル名:＜ファイル名＞	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し，実行ユーザーがファイルを読み取れるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。
KAIC10505-E	ファイルを削除できませんでした。ファイルおよびディレクトリのアクセス権が正しいことを確認してください。ファイル名:＜ファイル名＞	ファイルおよびディレクトリのアクセス権を確認し，実行ユーザーがファイルを削除できるようにアクセス権を設定してから再度操作してください。
KAIC10506-E	Detailed Array Reportのサイズが2Gバイトを超えました。選択するストレージサブシステムの数を減らして，再度操作してください。	選択するストレージサブシステムの数を減らして，再度操作してください。
KAIC10507-E	キャンセルできませんでした。Detailed Array Reportの状態がerrorまたはincompletedになっているか，Detailed Array Reportが削除されています。	キャンセルは，Detailed Array Reportの状態がprocessingのときだけ実行できます。その他の状態ではキャンセルできないので，閉じるボタンを押して画面を閉じてください。
KAIC10508-W	別のCreate Detailed Array Reportの要求が実行されています。しばらくお待ちください。	Detailed Array Reportの状態がprocessingからほかの状態になるまで待ち，再度操作してください。
KAIC10509-W	LDEV数が多過ぎるため，表示できないおそれがあります。表示できない場合は，Detailed Array Reportを使用してください。	LDEV数が多過ぎるとHTMLを出力できない場合があります。その場合は，レポート一覧のDetailed Array Reportsを使用してください。
KAIC10510-W	ダウンロードが完了したら，サーバ上の不要なDetailed Array Reportを削除してください。	Detailed Array Reportは，ダウンロードしたあともサーバ上に残ります。ダウンロード済みのDetailed Array Reportは，速やかに削除することをお勧めします。
KAIC10511-E	Detailed Array Reportの状態がincompletedになりました。ファイル名:＜ファイル名＞	内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10512-E	Detailed Array Reportが削除されました。ファイル名:＜ファイル名＞	Detailed Array Reportが必要な場合は，再度操作してください。
KAIC10513-E	内部エラーが発生しました。	［ツリー更新］ボタンをクリックし，ナビゲーションエリアを再表示してください。
KAIC10515-E	使用できるLDEVがありません。	プールに登録できるLDEVを用意してください。
KAIC10516-E	指定されたプールに関連づけられている仮想ボリュームがあるので，プールを削除できません。	プールに関連づいている仮想ボリュームを削除してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10517-E	＜PP名称＞の仮想ボリューム(LDEV番号: ＜LDEV番号＞)にパスが設定されているため，その仮想ボリュームを削除できません。	仮想ボリュームを確認してから，再実行してください。
KAIC10520-E	ストレージサブシステムに＜PP名称＞のライセンスが登録されていません。	ストレージサブシステムに＜PP名称＞のライセンスをインストールしてください。
KAIC10521-E	使用できるPool IDがありません。	不要なプールを削除してから，再実行してください。
KAIC10522-E	＜選択されたプールの個数＞個のプールを削除しようとしています。一度の操作で削除できるプールの数の上限値は＜設定された上限値＞です。上限値を超えるプールを削除する場合は，数回に分けて操作してください。	上限値を超えるプールを削除する場合は，数回に分けて操作してください。
KAIC10525-E	＜選択された仮想ボリュームの数＞個の＜PP名称＞の仮想ボリュームを削除しようとしています。一度の操作で削除できる仮想ボリュームの上限値は＜設定された上限値＞です。上限値を超える仮想ボリュームを削除する場合は，数回に分けて操作してください。	上限値を超える仮想ボリュームを削除する場合は，数回に分けて操作してください。
KAIC10526-E	編集画面が開いているか，または終了処理中のため，操作できません。画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。	編集画面を閉じて，画面が更新されてから操作してください。
KAIC10527-E	複数の仮想ボリュームが選択されています。単一の仮想ボリュームだけを選択してください。	単一の仮想ボリュームだけを選択してください。
KAIC10528-E	プールに登録するすべてのLDEVは，同じCLPRでなければなりません。	LDEVの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC10551-E	分割ストレージ管理者によって管理されたストレージサブシステムでは実行できません。	ストレージサブシステムの設定内容を見直してください。
KAIC10560-E	二つ以上のLDEVが選択されました。一つのLDEVだけを選択してください。	二つ以上のLDEVが選択されました。一つのLDEVだけを選択してください。
KAIC10562-E	LUの大きさの合計は60TBより小さくなければいけません。	LUの大きさの合計が60TBより小さくなるようにしてください。
KAIC10572-E	選択されているすべてのLDEVのパスが，同一のストレージサブシステムに属していません。同一のストレージサブシステムに属しているLDEVのパスを選択してください。	同一のストレージサブシステムに属しているLDEVのパスを選択してください。
KAIC10573-W	操作対象となるボリュームのうち，パスが設定されていないボリューム（詳細一覧で*マークが付いているボリューム）のデータが消失します。十分確認してください。	この操作の対象となるボリュームのデータが消失します。十分確認してください。必要に応じてバックアップを取り，操作を続行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10574-E	選択されているLDEVの幾つかのパスが，同じポート，同じHSD/iSCSI Target，および同じホストに割り当てられています。選択されているLDEVのパスのポート，HSD/iSCSI Target，およびホストを確認してください。	選択されているLDEVのパスのポート，HSD/iSCSI Target，およびホストを確認してください。
KAIC10576-E	選択されているLDEVの幾つかのパスが，同じポート，同じWWN，および同じホストに割り当てられています。選択されているLDEVのパスのポート，WWN，およびホストを確認してください。	選択されているLDEVのパスのポート，WWN，およびホストを確認してください。
KAIC10601-E	指定したLDEV数が，一度に指定できる上限値(＜LDEV数＞)を超えています。上限値を超えるLDEVを操作したい場合，数回に分けて操作してください。	上限値を超えるLDEV数を操作したい場合，数回に分けて操作してください。
KAIC10602-E	ラベルに使用できる文字は以下のとおりです。＜文字列＞	使用できる文字を入力してください。
KAIC10603-E	ラベルに使用できる文字数は，＜数値＞文字以下です。	文字数を制限以下で入力してください。
KAIC10604-E	LDEVに該当しないフィルター条件が復元されました。"Not applicable"が表示されている個所を，リストボックスの中から選択し，有効な値に変更してください。	正しい値をリストボックスの中から選択してください。
KAIC10607-W	選択されたボリュームにラベルを追加してよろしいですか？	選択されたボリュームにラベルの追加を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。
KAIC10608-W	選択されたボリュームのラベルを変更してよろしいですか？	選択されたボリュームのラベルの変更を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。
KAIC10609-W	選択されたボリュームのラベルを削除してよろしいですか？	選択されたボリュームのラベルの削除を許可するかどうかを確認してから処理を続行してください。
KAIC10610-E	選択されたLDEVが見つかりません。このダイアログを閉じ，再度操作してください。	このダイアログを閉じ，再度操作してください。
KAIC10614-E	ラベルに指定した値の長さに誤りがあります。ラベルには64文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でラベルを入力してください。
KAIC10615-E	HSD/iSCSI Targetに指定した値の長さに誤りがあります。HSD/iSCSI Targetには32文字以下の文字列を指定してください。	正しい形式でHSD/iSCSIターゲットを入力してください。
KAIC10616-W	ストレージサブシステムの構成情報が更新されているおそれがあります。ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。 ストレージサブシステムのリフレッシュを実行しない場合，ストレージサブシステムの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10617-W	ストレージサブシステムの構成情報が最新になっていないおそれがあり	ストレージサブシステムの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ます。ストレージサブシステムの状態を確認してください。	
KAIC10618-E	Device Managerサーバが使用するDBが閉塞しました。閉塞した部位は，＜データベース名＞です。サーバ管理者に連絡してください。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC10619-E	選択できるストレージシステムがありません。	ホストを検出できるストレージシステムを登録してから操作してください。
KAIC10621-E	ポート番号が指定されていません。	ポート番号を指定してください。
KAIC10622-E	パスワードが指定されていません。	パスワードを指定してください。
KAIC10626-E	現在，ほかのユーザーが，選択したサブシステムのストレージを追加するため，ウィザードを起動しています。サブシステムのストレージを追加するためには，ほかのユーザーによる処理の完了，または中止を待ってください。	ほかのユーザーによる処理の完了，または中止を待ってください。
KAIC10627-E	プールに登録するすべてのLDEVは，同じタイプでなければなりません。	LDEVの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC10628-E	ポート番号が不正です。1～65535を指定してください。	1～65535を指定してください。
KAIC10629-E	プールに登録するすべてのLDEVは，ボリュームの区分（内部または外部）が同じでなければなりません。	LDEVの指定を見直してから，再実行してください。
KAIC10630-E	ストレージサブシステム情報の取得に失敗しました。	［ツリー更新］ボタンをクリックし，画面を再表示してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC10631-E	選択されたポート-ホストからは，HSD/iSCSI Targetが削除されたおそれがあります。利用できるポート-ホスト WWN/iSCSI Nameを選択してください。	利用できるポート-ホスト WWN/iSCSI Nameを選択してください。
KAIC10633-E	サブシステムに対応するライセンスが登録されていません。	Device Managerのライセンス情報のダイアログよりライセンスを登録してください。
KAIC10634-E	Device Managerに有効なFull Licenseが登録されていません。	Device Managerに有効なFull Licenseを登録してください。
KAIC10635-E	不正なURLを検出しました。URLの指定を確認してください。	URLの指定を確認してください。
KAIC10637-E	＜選択されたホスト数＞個のホストが選択されています。選択できるホスト数は最大＜設定された上限値＞個です。	ホストの数を100個以下にしてください。
KAIC10639-E	＜選択されたWWN/iSCSI Name＞個のWWN/iSCSI Nameが選択されています。選択できるWWN/iSCSI Name数は最大＜設定された上限値＞個です。	WWN/iSCSI Nameの数を100個以下にしてください。
KAIC10640-E	統合できるホストがありません。	統合できるホストを登録してから実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC10641-W	client.propertiesファイルにclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティを指定していません。デフォルト値（true）で動作します。	client.propertiesファイルのclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティに正しい値を設定してください。 client.propertiesファイルのclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティの詳細は，「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10642-W	client.propertiesファイルのclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティに指定した値（＜設定値＞）は不正です。デフォルト値（true）で動作します。	client.propertiesファイルのclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティに正しい値を設定してください。 client.propertiesファイルのclient.ldev.rowsperpage.retain.enabledプロパティの詳細は，「システム構成ガイド」を参照してください。
KAIC10643-I	client.propertiesファイルの＜プロパティキー＞プロパティに＜設定値＞が指定されました。	対処の必要はありません。
KAIC10647-I	現在，ライセンスの許容範囲内です。	対処の必要はありません。
KAIC10650-W	ライセンスの許容範囲を超えました。	対処の必要はありません。
KAIC10651-E	＜プロパティファイル＞ファイルのプロパティの読み込みに失敗しました。＜プロパティキー＞プロパティはデフォルト値（＜デフォルト値＞）で動作します。	ファイルがあること，ファイルの読み取り権限があること，およびファイルが壊れていないことを確認し，ファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。
KAIC10652-W	＜プロパティファイル＞ファイルのプロパティの読み込みに失敗しました。＜プロパティキー＞プロパティはデフォルト値（＜デフォルト値＞）で動作します。	ファイルがあること，ファイルの読み取り権限があること，およびファイルが壊れていないことを確認し，ファイルをアプリケーションプログラムから読み取れるようにしてください。
KAIC10659-W	ストレージサブシステムがサポートしているホストモードのオプションを取得できませんでした。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してください。
KAIC10660-W	ホストの更新中に操作が実行されました。表示内容が最新の情報ではないおそれがあります。	更新処理中にホストに対して操作を実行すると，操作が失敗するおそれがあります。 実行中の更新処理が完了してから，操作してください。
KAIC10661-E	ホストの情報が最新になっていないおそれがあります。ホストの状態を確認してください。	ホストのリフレッシュを実行してから，再実行してください。 ホストのリフレッシュを実行しない場合，ホストの操作ができなくなる場合があります。
KAIC10662-E	タスクの実行中にエラーが発生しました。詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。画面を閉じて，再度処理を実行してください。	エラーの詳細は下記のエラーコードおよびメッセージを参照してください。画面を閉じて，再度処理を実行してください。
KAIC10663-E	仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラムを検出できませんでした。指定したIPアドレスおよびプロトコルが誤っているか，仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラ	次の対処をしてください。 ・ IPアドレスおよびプロトコルの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ムの状態が正常でないおそれがあります。	・仮想化サーバまたは仮想化サーバ管理プログラムの設定を見直してください。
KAIC10664-E	IPアドレスの入力形式が不正です。次のどちらかの形式で指定してください。 - xxx.xxx.xxx.xxx形式（xxx：0～255の10進数） - yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy形式（yyyy：0～ffffの16進数）	IPアドレスを次のどちらかの形式で入力し直してください。 - xxx.xxx.xxx.xxx形式（xxx：0～255の10進数） - yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy:yyyy形式（yyyy：0～ffffの16進数）
KAIC10665-E	LUの大きさの合計は128TBより小さくなければいけません。	LUの大きさの合計が128TBより小さくなるようにしてください。
KAIC10666-W	仮想マシンの情報を取得できないため，仮想マシン名を表示できません。仮想マシンの状態を確認してください。	仮想マシンの情報を取得できないため，仮想マシン名を表示できません。仮想マシンの状態を確認してください。
KAIC10668-E	プール(Pool ID: ＜プール番号＞)の状態がNormalでない可能性があります。プールの状態がNormalの場合のみ，しきい値１を変更できます。 ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから，プールの状態を確認してください。	ストレージサブシステムのリフレッシュを実行してから，プールの状態を確認してください。
KAIC10670-W	仮想化サーバの場合は，iSCSIはサポートしていません。統合元ホストのiSCSIネームは削除されます。	統合先ホストまたは統合元ホストを見直してください。
KAIC10671-E	仮想化サーバの場合は，iSCSIはサポートしていません。統合元ホストにはWWNがないホストが含まれるため統合できません。	統合先ホストまたは統合元ホストを見直してください。
KAIC11999-E	メモリ不足またはネットワーク障害の可能性があります。 （詳細情報：＜詳細情報＞）	詳細情報またはログにOut Of Memoryという文字列がある場合，メモリ不足が発生しています。HBase Storage Mgmt Web Serviceのメモリーヒープサイズを設定してください。 Connectionという文字列がある場合，ネットワーク障害が発生しているおそれがあります。ネットワークの状態を確認してください。 GUIでこのメッセージが表示された場合，再度GUIを表示してください。 上記以外の問題の場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15000-E	予期しないエラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜保守情報＞)	**要因** - **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜保守情報＞)
KAIC15001-E	特定できないエラーが発生しました。内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 内部エラーのおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15002-E	ボリュームを取り出せません。条件に合うボリュームの数は＜ボリューム数＞個です。条件の指定を見直してください。またはLDEV IDをリソースグループに登録してください。	**要因** 条件に合うボリュームの数は＜ボリューム数＞個です。 **対処** 条件の指定を見直してください。またはLDEV IDをリソースグループに登録してください。
KAIC15005-E	データベースからデータを取得できませんでした。データベースが正常に動作していません。データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報=＜例外＞)	**要因** データベースが正常に動作していません。 **対処** データベースを再起動してから再度操作してください。(保守情報=＜例外＞)
KAIC15006-W	設定内容を保存できませんでした。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜例外＞)	**要因** - **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜例外＞)
KAIC15008-W	ホスト ″＜ホスト名＞″ では推奨するパスを提示できません。ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または，ホストにWWNを追加してください。	**要因** ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。 **対処** ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または，ホストにWWNを追加してください。
KAIC15009-W	推奨するプールやパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。条件を見直すか，手動で指定してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。 **対処** 条件を見直すか，手動で指定してください。
KAIC15010-E	ストレージシステムが見つかりません。ストレージシステムが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ストレージシステムが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15011-E	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ホストが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15012-E	ポートが見つかりません。ポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ポートが削除されたおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15013-E	＜ポート表示名＞のポートには，同じWWNを持つホストグループがすでに予約されています。ほかのポートまたはWWNを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのポートまたはWWNを選択してください。
KAIC15014-E	選択したボリューム″＜ボリュームID＞″,″で連結した文字列＞″は，この操作では使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15015-E	指定されたホストグループ名(＜ホストグループ名＞)は，設定予定のポートがあるため使用できません。別のホストグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 別のホストグループ名を指定してください。
KAIC15016-E	指定されたホストグループ名(＜ホストグループ名＞)は，設定済みのポートがあるため使用できません。別のホストグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 別のホストグループ名を指定してください。
KAIC15017-E	ボリュームが見つかりません。ボリュームが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ボリュームが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15018-E	パリティグループが見つかりません。パリティグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** パリティグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15019-E	プールが見つかりません。プールが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** プールが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15020-E	タスクが見つかりません。タスクが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し，もう一度操作をやりなおしてください。	**要因** タスクが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15021-E	タスク(＜タスク名＞)に対応するプランが見つかりません。削除されたおそれがあります。いったん操作を	**要因** 削除されたおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	終了し，もう一度操作をやりなおしてください。	いったん操作を終了し，もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15022-W	推奨するプールがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。条件を見直すか，手動で指定してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。 **対処** 条件を見直すか，手動で指定してください。
KAIC15023-W	推奨するパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。条件を見直すか，手動で指定してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。 **対処** 条件を見直すか，手動で指定してください。
KAIC15024-E	ライセンスを確認できませんでした。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)は更新中のため，ライセンスの確認ができません。更新処理が完了してから，再操作してください。	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)は更新中のため，ライセンスの確認ができません。 **対処** 更新処理が完了してから，再操作してください。
KAIC15025-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のライセンス情報を取得できませんでした。ストレージシステムの更新を実行してから，再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** ストレージシステムの更新を実行してから，再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15026-E	操作に必要なライセンス(＜ライセンス名＞)が，ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)に登録されていません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)に，ライセンス(＜ライセンス名＞)を登録してください。	**要因** - **対処** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)に，ライセンス(＜ライセンス名＞)を登録してください。
KAIC15027-E	操作できません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のマイクロコードのバージョンが＜マイクロコードのバージョン＞未満のため，この操作を実行できません。マイクロコードのバージョンを＜マイクロコードのバージョン＞以上にアップデートしてください。	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のマイクロコードのバージョンが＜マイクロコードのバージョン＞未満のため，この操作を実行できません。 **対処** マイクロコードのバージョンを＜マイクロコードのバージョン＞以上にアップデートしてください。
KAIC15028-E	操作できません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)は，ファームウェアのバージョンが＜ファームウェアのバージョン＞未満のため，この操作を実行できません。ファームウェアのバージョンを	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)は，ファームウェアのバージョンが＜ファームウェアのバージョン＞未満のため，この操作を実行できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	＜ファームウェアのバージョン＞以上にアップデートしてください。	**対処** ファームウェアのバージョンを＜ファームウェアのバージョン＞以上にアップデートしてください。
KAIC15029-E	操作できません。ストレージ分割機能を使用しているストレージシステムのため，この操作は実行できません。	**要因** ストレージ分割機能を使用しているストレージシステムのため，この操作は実行できません。 **対処** –
KAIC15030-E	PDEVが見つかりません。削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15031-E	ライセンス期限が満了しています。(＜製品名＞)有効なライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15032-I	ライセンスキーを登録してください。（＜製品名＞）	**要因** – **対処** –
KAIC15033-E	選択したボリューム(＜devNum＞)はすでに予約されています。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15034-E	選択したパリティグループ(＜パリティグループ名＞)は予約されています。ほかのパリティグループを選択してください。または，いったん操作を終了し，タスクを終了またはキャンセルしたあとに，再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択してください。または，いったん操作を終了し，タスクを終了またはキャンセルしたあとに，再度操作してください。
KAIC15035-E	ライセンス情報を取得できませんでした。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15036-E	ライセンスキーが無効か，すでに登録されているライセンスキーを登録しようとしたおそれがあります。有効なライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15037-E	ライセンスキーが無効か，インストールされていない，または前提バージョンでない製品のライセンスを登録しようとしたおそれがあります。有効なライセンスキーを登録してください。または前提環境を確認してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。または前提環境を確認してください。
KAIC15038-E	指定したライセンスキーファイルは無効です。有効なライセンスキーファイルを指定して，再度操作してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーファイルを指定して，再度操作してください。
KAIC15039-E	指定したライセンスキーがライセンスキーファイル内にありません。ほかの製品，または前提バージョンでない製品のライセンスキーファイルを登録しようとしたおそれがあります。有効なライセンスキーファイルを指定して，再度操作してください。または前提環境を確認してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーファイルを指定して，再度操作してください。または前提環境を確認してください。
KAIC15040-E	ライセンスキーファイルが大き過ぎます。顧客問合せ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問合せ窓口に連絡してください。
KAIC15041-I	ライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15042-I	＜PP名＞のライセンスの登録が完了しました。対処の必要はありません。	**要因** – **対処** 対処の必要はありません。
KAIC15043-I	＜PP名＞のライセンスの登録が完了しました。非常ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**要因** – **対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15044-I	＜PP名＞のライセンスの登録が完了しました。一時ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**要因** – **対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15045-I	＜PP名＞のライセンスの登録が完了しました。期間ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	時＞に満了します。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15046-I	＜PP名＞のCore Licenseの登録が完了しました。対処の必要はありません。	**要因** - **対処** 対処の必要はありません。
KAIC15047-W	非常ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**要因** - **対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15048-W	一時ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**要因** - **対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15049-W	期間ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。期限が切れる前にライセンスを登録してください。	**要因** - **対処** 期限が切れる前にライセンスを登録してください。
KAIC15050-E	システム環境が不正です。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 仮想メモリーが不足しているおそれがあります。 **対処** システムが仮想メモリーの要件を満たしているか確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15051-E	サーバが起動していません。サーバの状態を確認してください。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** - **対処** サーバの状態を確認してください。
KAIC15052-E	ライセンスキーファイルからライセンス情報を認識できませんでした。有効なライセンスが登録されているかを確認してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスが登録されているかを確認してください。
KAIC15053-E	異なるストレージシステムを選択することはできません。同じストレージシステムにあるパリティグループを選択してください。	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同じストレージシステムにあるパリティグループを選択してください。
KAIC15054-W	ストレージシステムの更新中に操作が実行されました。表示された情報は最新ではないおそれがあります。	**要因** – **対処** 実行中の更新処理が完了してから，再度操作してください。
KAIC15055-E	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してから，再度実行してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してから，再度実行してください。
KAIC15056-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15057-W	ホスト(＜ホスト名＞)の更新中に操作が実行されました。表示された情報は最新ではないおそれがあります。	**要因** – **対処** 実行中の更新処理が完了してから，再度操作してください。
KAIC15058-E	ホスト(＜ホスト名＞)の情報が最新ではないおそれがあります。ホストの情報を更新してから，再度実行してください。	**要因** – **対処** ホストの情報を更新してから，再度実行してください。
KAIC15059-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム：＜ストレージシステム名＞)	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15060-E	WWNが見つかりません。WWNが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** WWNが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15061-E	永久ライセンスキーが登録されていません。永久ライセンスキーを登録してから再度操作を実行してください。	**要因** – **対処** 永久ライセンスキーを登録してから再度操作を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15062-E	ライセンス登録処理が失敗しました。しばらくしてから，再度操作を実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてから，再度操作を実行してください。
KAIC15063-W	インストールされている製品のバージョン情報を取得できませんでした。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15064-E	ボリューム(＜LDEV ID＞)は指定できません。ボリュームが見つかりません。指定を見直してください。	**要因** ボリュームが見つかりません。 **対処** 指定を見直してください。
KAIC15065-E	ホストグループが見つかりません。ホストグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ホストグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15066-W	バージョンを＜バージョン＞以上にアップデートしてください。	**要因** – **対処** –
KAIC15067-W	古いバージョンの＜製品名＞にライセンスを登録しようとしたおそれがあります。＜製品名＞のバージョンをアップデートしてください。	**要因** – **対処** ＜製品名＞のバージョンをアップデートしてください。
KAIC15068-I	論理グループの情報を更新中です。しばらくしてから，画面を再表示してください。	**要因** – **対処** しばらくしてから，画面を再表示してください。
KAIC15069-E	ホスト名を解決できません。DNSサーバ等を確認するか，IPアドレスを指定してください。	**要因** – **対処** DNSサーバ等を確認するか，IPアドレスを指定してください。
KAIC15070-E	ストレージシステム（＜ストレージシステム＞）に，LUNセキュリティが無効で，ポートタイプがFCのストレージポートがありません。ストレージポートのLUNセキュリティを無	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	効に設定してから，再度実行してください。	ストレージポートのLUNセキュリティを無効に設定してから，再度実行してください。
KAIC15071-E	状態が「＜タスクの状態＞」のタスクは中止できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15072-E	タイプが「＜タスクタイプ＞」のタスクは中止できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15073-E	タスクを中止できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15074-E	タスクを中止できませんでした。(＜タスク名＞)状態が「＜タスクの状態＞」のタスクは中止できません。	**要因** 状態が「＜タスクの状態＞」のタスクは中止できません。 **対処** –
KAIC15075-E	タスクを中止できませんでした。(＜タスク名＞)	**要因** – **対処** –
KAIC15076-W	性能使用率を表示できません。次の原因が考えられます：(1) このDTプールに対して一度もモニタリングを実行していない。(2) 稼働率の取得に失敗した。このDTプールに対して一度もモニタリングを実行していない場合は，モニタリングを実行した後ストレージシステムの情報を更新してください。モニタリングを一度でも実行している場合は，ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** 次の原因が考えられます： 1. このDTプールに対して一度もモニタリングを実行していない。 2. 稼働率の取得に失敗した。 **対処** このDTプールに対して一度もモニタリングを実行していない場合は，モニタリングを実行した後ストレージシステムの情報を更新してください。モニタリングを一度でも実行している場合は，ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15080-W	ストレージシステムの性能情報が最新でないおそれがあります。ストレージシステムのリフレッシュを実行し，再度性能情報を取得してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムのリフレッシュを実行し，再度性能情報を取得してください。
KAIC15081-E	論理グループの情報更新に失敗しました。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	度操作してください。サーバが起動している場合は，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15082-W	推奨するプールがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。条件を見直してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールがありません。 **対処** 条件を見直してください。
KAIC15083-W	推奨するパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。条件を見直してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるパリティグループがありません。 **対処** 条件を見直してください。
KAIC15084-W	推奨するプールやパリティグループがありません。指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。条件を見直してください。	**要因** 指定した条件を満たすボリュームを用意できるプールやパリティグループがありません。 **対処** 条件を見直してください。
KAIC15085-E	指定したiSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)は，割り当てが予約されているポートがあるため，使用できません。別のiSCSIターゲットを指定してください。	**要因** - **対処** 別のiSCSIターゲットを指定してください。
KAIC15086-E	指定したiSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)は，すでにポートが割り当てられているため使用できません。別のiSCSIターゲットを指定してください。	**要因** - **対処** 別のiSCSIターゲットを指定してください。
KAIC15087-E	iSCSIターゲットが見つかりません。iSCSIターゲットが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** iSCSIターゲットが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15088-W	ホスト ″＜ホスト名＞″ では推奨するパスを提示できません。ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または，ホストにiSCSIネームを追加してください。	**要因** ボリュームの割り当てに適切なホストポートがありません。 **対処** ホストポートを手動で指定してください。ホストを更新してください。または，ホストにiSCSIネームを追加してください。
KAIC15089-W	＜プロパティファイル名＞内で定義している＜プロパティ名＞の値が不正です。＜プロパティ名＞は無効と	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	して処理を継続します。（値=＜プロパティ値＞)原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15090-W	プロパティファイルの読み込みに失敗しました。プロパティファイルを適用しないで処理を継続します。(プロパティファイル=＜プロパティファイルのファイルパス＞，保守情報=＜保守情報＞)原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15091-I	プロパティファイルが見つかりません。プロパティファイルを適用しないで処理を継続します。(プロパティファイル=＜プロパティファイルのファイルパス＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15092-I	プロパティファイルを読み込みました。(プロパティファイル=＜プロパティファイル名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15093-E	iSCSIネームが見つかりません。iSCSIネームが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** iSCSIネームが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC15094-E	Device Manager サーバとの通信に失敗しました。以下の要因が考えられます。(1)Device Manager サーバのサービスが初期起動中である。(2)DeviceManager サーバのサービスが停止しているか，または再起動した。次の対処をしてください。Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合は，時間を空けて再度操作してください。Device Manager サーバのサービスが停止またはDevice Manager サーバのサービスだけを再起動した場合は，共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと，再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** 次の対処をしてください。Device Manager サーバのサービスが初期起動中の場合は，時間を空けて再度操作してください。Device Manager サーバのサービスが停止またはDevice Manager サーバのサービスだけを再起動した場合は，共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと，再度操作してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15099-E	＜製品名＞との連携に失敗したため，操作できません（原因=″＜原因＞″）。＜製品名＞が正しく起動していることを確認してください。Device Managerサーバを再起動	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	したあと，＜製品名＞を再起動してログインしてください。	＜製品名＞が正しく起動していることを確認してください。Device Managerサーバを再起動したあと，＜製品名＞を再起動してログインしてください。
KAIC15100-E	異なるストレージシステムにあるボリュームでは，プールを作成できません。同じストレージシステムにあるボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 同じストレージシステムにあるボリュームを選択してください。
KAIC15101-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のボリュームを使ったプールは作成できません。ほかのストレージシステムにあるボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムにあるボリュームを選択してください。
KAIC15102-E	タスクを登録できませんでした。（タスク名=＜タスク名＞）	**要因** – **対処** –
KAIC15103-E	指定したボリューム(＜LDEV ID＞)はホストグループ(＜ホストグループ名＞)が異なるため，同時に操作できません。同じホストグループにあるボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 同じホストグループにあるボリュームを選択してください。
KAIC15104-E	選択したボリュームに，パスがありません。ボリュームが割り当てられているホストグループ(＜ホストグループ名＞)に属しているホストが一つもありません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15105-W	このポートのLUNセキュリティを，オフからオンに変更します。現在使用しているホストとの接続は切断され，LUNセキュリティをオフに設定するまでホストは使用できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15106-W	ホストグループに，ホストが特定できないWWN(＜WWN＞)が割り当てられています。ボリュームの割り当てを変更すると，このWWNにも影響します。	**要因** – **対処** –
KAIC15107-I	操作対象外のボリュームの割り当てに使用されています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。	**要因** – **対処** –
KAIC15108-E	タスクの操作に必要な権限がありません。権限のあるユーザーでログインしてください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 権限のあるユーザーでログインしてください。
KAIC15110-E	同じストレージシステムのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** -
KAIC15113-E	＜指定できるボリュームの個数＞個以上のボリュームを同時に指定できません。指定を見直してください。	**要因** - **対処** 指定を見直してください。
KAIC15114-E	指定したタスク名はすでに使用されているため，タスクを登録できません。タスク名を変更してください。	**要因** - **対処** タスク名を変更してください。
KAIC15115-E	コマンドデバイスやリモートコマンドデバイス(＜LDEV ID＞)を指定に含めないで下さい。コマンドデバイス・リモートコマンドデバイスを操作するには，それらだけ指定してください。	**要因** - **対処** コマンドデバイス・リモートコマンドデバイスを操作するには，それらだけ指定してください。
KAIC15122-E	リソースグループの割り当てに失敗しました。 (ユーザーID=＜ユーザーID＞)ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報が変更されています。ほかのユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせてユーザ情報を見直してください。	**要因** - **対処** ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報が変更されています。ほかのユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせてユーザ情報を見直してください。
KAIC15123-E	サーバAPIを実行できません。いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。
KAIC15125-E	サーバのサービスにアクセスできません。いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。
KAIC15127-E	リソースグループの割り当て解除に失敗しました。 (ユーザーID=＜ユーザーID＞)ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報が変更されています。ほかのユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせてユーザ情報を見直してください。	**要因** - **対処** ログインしたユーザーまたは選択したユーザの情報が変更されています。ほかのユーザー

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		で実行するか，システム管理者に問い合わせてユーザ情報を見直してください。
KAIC15128-E	認証サービスにアクセスできません。いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。(保守情報=＜例外＞)	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。(保守情報=＜例外＞)
KAIC15129-E	指定したプロパティを読み込めません。(プロパティ名=＜プロパティ名＞)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15130-E	指定したテーブルを読み込めません。(テーブル名=＜テーブル名＞)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15131-E	データベースにアクセス中にエラーが発生しました。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜例外＞)	**要因** – **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜例外＞)
KAIC15132-E	指定したユーザーを認証できません。ユーザーが存在しないか，またはパスワードが間違っています。(ユーザーID=＜ユーザーID＞)ユーザーIDおよびパスワードを確認してください。	**要因** ユーザーが存在しないか，またはパスワードが間違っています。(ユーザーID=＜ユーザーID＞) **対処** ユーザーIDおよびパスワードを確認してください。
KAIC15134-E	ユーザーの設定情報を削除できませんでした。(ユーザーID=＜ユーザーIDセット＞)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15141-E	ユーザー(＜ユーザーID＞)には＜権限名＞権限がありません。ほかのユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** ほかのユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15144-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。（ユーザーID=＜ユーザーID＞）サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15149-E	リソースグループが見つかりません。すでに削除されています。いったん操作を終了し，リソースグループを確認してください。	**要因** すでに削除されています。 **対処** いったん操作を終了し，リソースグループを確認してください。
KAIC15150-E	同じ名前のリソースグループがすでに作成されています。（リソースグループ名=＜グループ名＞）異なるリソースグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 異なるリソースグループ名を指定してください。
KAIC15151-E	ユーザーの情報が見つかりません。(ユーザーID=＜ユーザーID＞)ユーザーはすでに削除されています。いったん操作を終了し，ユーザーを確認してください。	**要因** ユーザーはすでに削除されています。 **対処** いったん操作を終了し，ユーザーを確認してください。
KAIC15153-E	選択したホストには複数のOS種別が混在しているため，ホストの情報を編集できません。複数のホストの情報を編集する場合は，同じOS種別のホストだけを選択してください。	**要因** – **対処** 複数のホストの情報を編集する場合は，同じOS種別のホストだけを選択してください。
KAIC15154-E	選択したホストには複数の管理方式が混在しているため，ホストの情報を編集できません。複数のホストの情報を編集する場合は，同じ管理方式のホストだけを選択してください。	**要因** – **対処** 複数のホストの情報を編集する場合は，同じ管理方式のホストだけを選択してください。
KAIC15155-E	選択したホストの中に，すでに削除されたホストが含まれています。ホスト一覧を更新したあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** ホスト一覧を更新したあと，再度実行してください。
KAIC15156-E	論理グループを作成できませんでした。（パラメータ=＜パラメータ＞）いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，サーバの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15157-E	論理グループを削除できませんでした。(unique key=＜論理グループUK＞)いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。
KAIC15158-E	論理グループが見つかりません。(unique key=＜論理グループUK＞)いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。
KAIC15159-E	指定した条件を満たすホストが見つかりません。(条件=＜検索条件＞)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15160-E	指定した条件を満たすボリュームが見つかりません。(条件=＜検索条件＞)サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15161-E	指定した論理グループ名はすでに作成されています。(論理グループ名=＜グループ名＞)異なる論理グループ名を指定してください。	**要因** - **対処** 異なる論理グループ名を指定してください。
KAIC15162-E	論理グループを変更できませんでした。(パラメータ=＜パラメータ＞)いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，論理グループを確認してください。
KAIC15165-E	適切な操作対象がありません。条件の指定を見直してください。	**要因** - **対処** 条件の指定を見直してください。
KAIC15166-E	ホストを追加できませんでした。指定されたホストが存在しないおそれがあります。条件の指定を見直してください。	**要因** 指定されたホストが存在しないおそれがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 条件の指定を見直してください。
KAIC15167-E	未使用LUNが足りません。ポート(＜LUNを設定するポートの表示名＞)のホストグループ(＜LUNを設定するホストグループのニックネーム＞)では指定範囲のうち未使用LUNの数は＜未使用LUNの個数＞個です。開始LUN(16進)を見直すか，別のポートを指定してください。	**要因** ポート(＜LUNを設定するポートの表示名＞)のホストグループ(＜LUNを設定するホストグループのニックネーム＞)では指定範囲のうち未使用LUNの数は＜未使用LUNの個数＞個です。 **対処** 開始LUN(16進)を見直すか，別のポートを指定してください。
KAIC15168-E	＜新規に設定するLUNの個数＞個のLUNをポート(＜LUNを設定するポートの表示名＞)に設定しようとしています。このポートに設定済みのLUNは＜すでに設定済みのLUNの個数＞個です。一つのポートに設定できるLUNの最大数は＜設定できるLUNの最大個数＞個です。別のポートを指定してください。	**要因** このポートに設定済みのLUNは＜すでに設定済みのLUNの個数＞個です。一つのポートに設定できるLUNの最大数は＜設定できるLUNの最大個数＞個です。 **対処** 別のポートを指定してください。
KAIC15169-E	ライセンスを登録できませんでした。 (Mode=＜ライセンスキー登録 or ファイル登録＞，保守情報=＜詳細情報＞)エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15171-E	ユーザー(＜ユーザーID＞)は存在しません。	**要因** － **対処** －
KAIC15172-E	ログインできませんでした。ユーザーID，パスワードが正しいことと，権限，およびリソースグループが正しく設定されていることを確認してください。	**要因** － **対処** ユーザーID，パスワードが正しいことと，権限，およびリソースグループが正しく設定されていることを確認してください。
KAIC15173-E	サーバと接続できませんでした。しばらくしてから，再度操作を実行してください。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15174-E	外部ストレージシステムとして使用できるストレージシステムがありません。	**要因** － **対処** －
KAIC15175-E	選択したストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)は，外部スト	**要因** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レージシステムとして使用できません。	**対処** －
KAIC15176-E	Universal Volume Manager/External Storageを使用しているストレージシステムがありません。	**要因** － **対処** －
KAIC15177-E	ボリュームの割り当てを解除できるホストがありません。ホストとストレージシステムが登録されていること，ホストにボリュームが割り当てられていること，およびホストグループに対して必要な権限があることを確認してください。	**要因** － **対処** ホストとストレージシステムが登録されていること，ホストにボリュームが割り当てられていること，およびホストグループに対して必要な権限があることを確認してください。
KAIC15178-W	選択したホストの一部は，ストレージの割り当てを解除できるボリュームがないため，ホスト一覧から除外されました。(除外されたホスト：＜ホスト名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15179-E	割り当てを解除できるボリュームがありません。選択したボリュームはほかのタスクで使用中か，すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または，ホストグループもしくはiSCSIターゲットに必要な権限がないおそれがあります。ダイアログを閉じて，リソース画面でボリュームの状態を確認してください。	**要因** 選択したボリュームはほかのタスクで使用中か，すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または，ホストグループもしくはiSCSIターゲットに必要な権限がないおそれがあります。 **対処** ダイアログを閉じて，リソース画面でボリュームの状態を確認してください。
KAIC15180-W	選択したボリュームの一部は，ストレージの割り当てを解除できないため，ボリューム一覧から除外されました。（除外されたボリューム：＜dev num＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15181-E	Storage Navigatorを起動できません。指定したストレージシステムがデータベース上にありません。指定したストレージシステムが登録されているか，確認してください。	**要因** 指定したストレージシステムがデータベース上にありません。 **対処** 指定したストレージシステムが登録されているか，確認してください。
KAIC15182-E	Storage Navigatorを起動できません。Storage Navigatorを起動するには，ユーザーに「All Resources」が割り当てられている必要があります。ユーザーに割り当てられたリソースグループを確認してください。	**要因** Storage Navigatorを起動するには，ユーザーに「All Resources」が割り当てられている必要があります。 **対処** ユーザーに割り当てられたリソースグループを確認してください。
KAIC15183-E	指定したプール名(＜プール名＞)は，すでにストレージシステム(＜ス	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トレージシステム名＞)で使用されている，または使用される予定です。ほかのプール名を指定してください。	- **対処** ほかのプール名を指定してください。
KAIC15184-E	プールを作成できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15185-E	プールを作成できません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)には，プールを作成できるパリティグループがありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)には，プールを作成できるパリティグループがありません。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15186-E	プールを作成できません。内部パリティグループ(＜内部ArrayGroup名＞)と外部パリティグループ(＜外部ArrayGroup名＞)を同じプールに混在できません。内部パリティグループ，または外部パリティグループのどちらかだけを選択してください。	**要因** 内部パリティグループ(＜内部ArrayGroup名＞)と外部パリティグループ(＜外部ArrayGroup名＞)を同じプールに混在できません。 **対処** 内部パリティグループ，または外部パリティグループのどちらかだけを選択してください。
KAIC15187-E	プールを作成できません。キャッシュモードが有効な外部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。	**要因** キャッシュモードが有効な外部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。
KAIC15188-E	プールを作成できません。異なるドライブタイプのパリティグループを同じプールに混在できません。同じドライブタイプのパリティグループを選択してください。	**要因** 異なるドライブタイプのパリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 同じドライブタイプのパリティグループを選択してください。
KAIC15189-E	プールを作成できません。ボリュームの数(＜プールに登録するボリューム数＞)が，プールに登録できるボリュームの最大数(＜プール1個あたりの最大プールVOL数＞)を超えます。プールに登録するボリュームの数を減らしてください。	**要因** ボリュームの数(＜プールに登録するボリューム数＞)が，プールに登録できるボリュームの最大数(＜プール1個あたりの最大プールVOL数＞)を超えます。 **対処** プールに登録するボリュームの数を減らしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15190-E	プールを作成できません。プールの総容量(＜プールの総容量＞)が，ストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のプールの合計容量の上限値＞)を超えます。プールに登録するボリューム数を減らしてください。	**要因** プールの総容量(＜プールの総容量＞)が，ストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のプールの合計容量の上限値＞)を超えます。 **対処** プールに登録するボリューム数を減らしてください。
KAIC15191-E	プールを作成できません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)を使ってプールを作成できません。いったん操作を終了し，ほかのストレージシステムを選択してください。	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)を使ってプールを作成できません。 **対処** いったん操作を終了し，ほかのストレージシステムを選択してください。
KAIC15192-E	プールを作成できません。CLPRが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。同じCLPRに属するパリティグループを選択してください。	**要因** CLPRが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 同じCLPRに属するパリティグループを選択してください。
KAIC15194-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はLocal Replication Softwareで使用しているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** － **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15195-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はSynchronous Replication Softwareで使用しているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** － **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15196-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はAsynchronous Replication Softwareで使用しているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** － **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15198-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はSnapshotで使用されているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** － **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15199-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はData Retention UtilityでProtect属性またはReadOnly属性が設定されているため， プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** － **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15200-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はData Retention Utilityで副VOL拒否を設定しているため，プールボ	**要因** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15201-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)はコマンドデバイスとして使用されているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15203-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)はQuorum Diskとして使用されているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15204-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)はエミュレーションタイプがOPEN-Vでないため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15205-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)は容量が8GB未満のため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15206-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)は未割り当てのボリュームでないため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15207-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)はプールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15208-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)はほかのタスクに予約されているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15209-E	プールを拡張できません。プールに必要なドライブがありません。ドライブを追加してください。	**要因** プールに必要なドライブがありません。 **対処** ドライブを追加してください。
KAIC15210-E	プールを作成できません。ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に作成できるプールの上限値(<作成できるプールの最大個数>)を超えます。不要なプールを削除するか，ほかのストレージシステムを選択してください。	**要因** ストレージシステム(<ストレージシステム名>)に作成できるプールの上限値(<作成できるプールの最大個数>)を超えます。 **対処** 不要なプールを削除するか，ほかのストレージシステムを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15211-E	プールボリュームに使用できません。CLPRが異なるボリュームを一つのプールに混在できません。CLPRが同じボリュームだけを選択してください。	**要因** CLPRが異なるボリュームを一つのプールに混在できません。 **対処** CLPRが同じボリュームだけを選択してください。
KAIC15212-E	選択したボリュームは，プールボリュームに使用できません。キャッシュモードが有効なボリュームと，キャッシュモードが無効なボリュームを同じプールに混在できません。同じキャッシュモードのボリュームを選択してください。	**要因** キャッシュモードが有効なボリュームと，キャッシュモードが無効なボリュームを同じプールに混在できません。 **対処** 同じキャッシュモードのボリュームを選択してください。
KAIC15213-E	選択したボリュームは，プールボリュームに使用できません。内部ボリュームと外部ボリュームを同じプールに混在できません。選択するボリュームの種類は，内部ボリュームまたは外部ボリュームのどちらか一つにしてください。	**要因** 内部ボリュームと外部ボリュームを同じプールに混在できません。 **対処** 選択するボリュームの種類は，内部ボリュームまたは外部ボリュームのどちらか一つにしてください。
KAIC15214-E	選択したボリューム(<LDEV ID>)は，プールボリュームに使用できません。これらのボリュームは，Dynamic Provisioning Softwareで使用されています。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** これらのボリュームは，Dynamic Provisioning Softwareで使用されています。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15215-E	ドライブタイプが異なるボリュームを同じプールに混在できないため，プールボリュームに使用できません。ドライブタイプが同じボリュームだけを選択してください。	**要因** – **対処** ドライブタイプが同じボリュームだけを選択してください。
KAIC15216-E	選択したストレージシステムの中に，削除されたストレージシステムが含まれています。画面を更新してください。	**要因** – **対処** 画面を更新してください。
KAIC15217-W	このホストに関連するタスクが実行中です。このホストに関連するすべてのタスクが完了したあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** このホストに関連するすべてのタスクが完了したあと，再度実行してください。
KAIC15218-E	このストレージシステムに関連するタスクが実行中です。このストレージシステムに関連するすべてのタスクが完了したあと，再度実行してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このストレージシステムに関連するすべてのタスクが完了したあと，再度実行してください。
KAIC15219-E	論理グループを作成できません。32階層以上の論理グループは作成できません。（グループ名=＜グループ名＞）ほかの論理グループを選択してください。	**要因** 32階層以上の論理グループは作成できません。（グループ名=＜グループ名＞） **対処** ほかの論理グループを選択してください。
KAIC15220-E	プールを拡張できません。プールを拡張できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。	**要因** プールを拡張できるストレージシステムがありません。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15221-E	プールを拡張できません。プールが使用率100%による閉塞以外の閉塞状態です。プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。	**要因** プールが使用率100%による閉塞以外の閉塞状態です。 **対処** プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。
KAIC15222-E	プールを拡張できません。プールが閉塞状態です。プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。	**要因** プールが閉塞状態です。 **対処** プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。
KAIC15223-E	ボリュームにパスが設定されているため，プール(＜プールID＞)を削除できません。ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** - **対処** ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC15224-E	選択したプール(＜プールID＞)に属するボリュームはほかのタスクに使用されています。ほかのタスクが終了してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** - **対処** ほかのタスクが終了してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC15225-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のプールは削除できません。ほかのストレージシステムのプールを指定してください。	**要因** - **対処** ほかのストレージシステムのプールを指定してください。
KAIC15226-E	異なるストレージシステムにあるプールは同時に削除できません。(＜ストレージシステム名＞)同じス	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トレージシステムに属するプールを選択してください。	**対処** 同じストレージシステムに属するプールを選択してください。
KAIC15227-E	ボリュームがペアを構成しているため，プール(＜プールID＞)を削除できません。ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** – **対処** ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC15228-E	ボリュームのエミュレーションタイプがOPEN-Vではないため，プール(＜プールID＞)を削除できません。ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** – **対処** ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC15229-E	ボリュームにProtect属性またはReadOnly属性が設定されているため，プール(＜プールID＞)を削除できません。ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** – **対処** ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC15232-E	選択したストレージシステムにはDTプールを作成できるパリティグループがありません。(＜ストレージシステム名＞)ほかのストレージシステムを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを選択してください。
KAIC15233-E	RAIDレベルが異なるパリティグループを同一の階層に混在できないため，プールボリュームに使用できません。ほかのパリティグループを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC15234-E	選択したボリューム（＜LDEV ID＞）は，状態が正常ではないため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15235-E	選択したパリティグループは，RAIDレベルが異なるため，プールボリュームに使用できません。同じRAIDレベルのパリティグループを選択してください。	**要因** – **対処** 同じRAIDレベルのパリティグループを選択してください。
KAIC15236-E	選択したボリュームは，ドライブ回転数が異なるため，プールボリュームに使用できません。同じドライブ回転数のボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 同じドライブ回転数のボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15237-E	ボリュームを作成できません。プールがない，または，プールに十分な空き容量がありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** プールがない，または，プールに十分な空き容量がありません。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC15238-E	ボリュームを作成できません。ストレージにパリティグループが存在しない，パリティグループに十分な容量がない，またはパリティグループが予約されているおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** ストレージにパリティグループが存在しない，パリティグループに十分な容量がない，またはパリティグループが予約されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC15240-E	プールを拡張できるストレージシステムがありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15242-E	利用できるドライブ数が足りないため，プールを作成できません。ドライブを追加してください。	**要因** – **対処** ドライブを追加してください。
KAIC15246-E	同じ名前の検索条件がすでにあります。ほかの名前を指定してください。	**要因** – **対処** ほかの名前を指定してください。
KAIC15247-E	データベース上のボリューム(<LDEV ID>)の情報が正しくありません。ストレージシステムを更新してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムを更新してください。
KAIC15253-E	ボリューム(<LDEV ID>)は指定できません。ホストや外部ポートにDP/DTプールを割り当てることはできません。指定を見直してください。	**要因** ホストや外部ポートにDP/DTプールを割り当てることはできません。 **対処** 指定を見直してください。
KAIC15254-E	ボリューム(<LDEV ID>)は指定できません。プールやジャーナルをホストや外部ポートに割り当てることはできません。指定を見直してください。	**要因** プールやジャーナルをホストや外部ポートに割り当てることはできません。 **対処** 指定を見直してください。
KAIC15257-E	ボリューム(<LDEV ID>)は指定できません。Data Retention Utility	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	で，Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または，マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。Storage Navigatorでボリュームを見直してください。	Data Retention Utilityで，Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または，マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。 **対処** Storage Navigatorでボリュームを見直してください。
KAIC15260-E	非常ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15261-E	一時ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15262-I	すべてのストレージシステムのライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15263-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステム，ライセンス容量を超過しているストレージシステム，および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15264-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステム，ライセンス容量を超過しているストレージシステム，および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15265-W	ライセンス容量を超過しているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15266-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンス	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	キーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15267-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15268-W	一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15269-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15270-W	一部のストレージシステムで，ライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15271-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと，ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15272-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと，ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15273-W	一部ストレージシステムの容量がライセンス容量を超過しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15274-I	ライセンスが登録されていません。	**要因** – **対処** 正規のライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。［ライセンス］ボタンが表示されていない場合は，Adobe AIRデスクトップアプリケーションを起動し，

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ライセンスを登録してください。Adobe AIR デスクトップアプリケーションについてはマニュアルを参照してください。
KAIC15275-I	ライセンスは有効です。	**要因** – **対処** –
KAIC15276-E	入力したライセンスキーはライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15277-E	非常ライセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15278-W	非常ライセンスのライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15279-E	一時ランセンスのライセンス期限が満了しました。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15280-W	一時ライセンスのライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15281-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステム，ライセンス容量を超過しているストレージシステム，および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15282-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステム，ライセンス容量を超過しているストレージシステム，および一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーま	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	たはライセンスキーファイルを登録してください。	
KAIC15283-W	ライセンス容量を超過しているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15284-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15285-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと，一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15286-W	一部ライセンスが登録されていないストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15287-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15288-W	一部のストレージシステムで，ライセンス期限が満了に近づいています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15289-W	ライセンス期限が満了しているストレージシステムと，ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15290-W	ライセンス期限が満了に近づいているストレージシステムと，ライセンス容量を超過しているストレージシステムがあります。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15291-W	一部ストレージシステムの容量がライセンス容量を超過しています。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15292-I	ライセンスが登録されていません。有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーまたはライセンスキーファイルを登録してください。
KAIC15294-E	指定した容量の値が範囲外です。＜最小容量(単位付き)＞から＜最大容量(単位付き)＞の範囲で指定し直してください。	**要因** – **対処** ＜最小容量(単位付き)＞から＜最大容量(単位付き)＞の範囲で指定し直してください。
KAIC15295-E	ライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC15297-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)はほかのタスクに使用されています。ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC15298-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)は，DPボリュームではないため，拡張できません。DPボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** DPボリュームを選択してください。
KAIC15299-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)の状態が正常ではないため，拡張を実行できません。正常な状態のDPボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 正常な状態のDPボリュームを選択してください。
KAIC15300-E	選択したボリュームの属するプールの状態が正常でないため，拡張できません。プールの状態を確認し，必要に応じて正常な状態に戻してください。	**要因** – **対処** プールの状態を確認し，必要に応じて正常な状態に戻してください。
KAIC15301-E	予約率が最大予約率を超えているため，DPボリューム拡張を実行できません。プールを拡張するか，最大予約率を変更してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		プールを拡張するか，最大予約率を変更してください。
KAIC15302-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)は，DPボリュームでないため，DPボリューム編集を実行できません。DPボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** DPボリュームを選択してください。
KAIC15303-E	現在の容量が拡張可能な容量を超えているボリューム(＜LDEV ID＞)が選択されているため，DPボリューム拡張を実行できません。ほかのボリュームを選択してください。または，プールを拡張するか，最大予約率を変更してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。または，プールを拡張するか，最大予約率を変更してください。
KAIC15304-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)の容量は，拡張できる最大容量を超えているため，DPボリューム拡張を実行できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15305-E	＜パスの数＞パスの候補を作成できませんでした。パスを手動で設定してください。	**要因** – **対処** パスを手動で設定してください。
KAIC15306-E	使用できるLDEV IDが不足しています。不要なボリュームを＜ボリューム数＞個削除するか，リソースグループにLDEV IDを登録してください。	**要因** – **対処** 不要なボリュームを＜ボリューム数＞個削除するか，リソースグループにLDEV IDを登録してください。
KAIC15307-E	ボリュームを作成できません。ボリュームの数(＜作成するボリューム数＞)が，ストレージシステムに作成できるボリュームの最大数(＜作成可能な最大ボリューム数＞)を超えます。ストレージシステムに作成するボリュームの数を減らしてください。	**要因** ボリュームの数(＜作成するボリューム数＞)が，ストレージシステムに作成できるボリュームの最大数(＜作成可能な最大ボリューム数＞)を超えます。 **対処** ストレージシステムに作成するボリュームの数を減らしてください。
KAIC15308-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)に，パスがありません。選択したボリュームは，ホストグループに割り当てられていません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15309-E	外部認証サーバとの接続に失敗しましたため，ユーザーを認証できません。外部認証サーバと通信できることを確認してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		外部認証サーバと通信できることを確認してください。
KAIC15310-E	Device Managerサーバが使用するDBが閉塞しました。閉塞した部位は，＜DB名＞ です。サーバ管理者に連絡してください。サーバ管理者に連絡してください。	**要因** – **対処** サーバ管理者に連絡してください。
KAIC15311-I	非常ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。	**要因** – **対処** –
KAIC15312-I	一時ライセンスの有効期間は，あと＜日＞日間です。＜日時＞に満了します。	**要因** – **対処** –
KAIC15313-E	検索条件(＜検索条件名＞)は，削除されています。保存されている検索条件を更新してください。	**要因** – **対処** 保存されている検索条件を更新してください。
KAIC15314-I	ライセンスの登録が完了しました。詳細は，ライセンス情報を確認してください。	**要因** – **対処** 詳細は，ライセンス情報を確認してください。
KAIC15316-E	タスクを登録できませんでした。（タスク名=＜タスク名＞，原因=＜原因＞）	**要因** – **対処** –
KAIC15317-W	プールの使用率(＜使用率＞)が使用率しきい値1(＜使用率しきい値1＞)を超えています。	**要因** – **対処** –
KAIC15318-E	プールの使用率(＜使用率＞)が使用率しきい値2(＜使用率しきい値2＞)を超えているため，ボリュームを作成できません。次のどれかの方法で対処してください。ほかのプールを選択する。プールを拡張する。使用率しきい値2を変更する。	**要因** – **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ 使用率しきい値2を変更する。
KAIC15319-W	プールの予約率(＜予約率＞)が警告予約率(＜警告予約率＞)を超えています。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 –
KAIC15320-E	プールの予約率(＜予約率＞)が最大予約率(＜限界予約率＞)を超えるため，ボリュームを作成できません。次のどれかの方法で対処してください。ほかのプールを選択する。プールを拡張する。最大予約率を変更する。	**要因** – **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ 最大予約率を変更する。
KAIC15321-E	プールの総容量(＜プールの総容量＞)がストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のプールの合計容量の上限値＞)を超えるため，プールを拡張できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15322-E	DPボリュームの総容量(＜DPボリュームの総容量＞)が，ストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のDPボリュームの合計容量の上限値＞)を超えるため，DPボリュームを作成できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15323-E	DPボリュームの総容量(＜DPボリュームの総容量＞)が，ストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のDPボリュームの合計容量の上限値＞)を超えるため，DPボリュームを拡張できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15325-E	ボリューム″＜LDEV ID＞″は割り当てることができません。プールに割り当てられていないDPボリュームは，ホストや外部ポートに割り当てることはできません。プールに割り当てられたボリュームを指定してください。	**要因** プールに割り当てられていないDPボリュームは，ホストや外部ポートに割り当てることはできません。 **対処** プールに割り当てられたボリュームを指定してください。
KAIC15326-E	フォーマットタイプが指定されていません。フォーマットタイプを指定してください。	**要因** – **対処** フォーマットタイプを指定してください。
KAIC15327-E	選択したボリューム(＜LDEV IDs＞)は，DPボリュームではないため，ゼロページを破棄できません。DPボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** DPボリュームを選択してください。
KAIC15328-E	選択したボリューム(＜LDEV IDs＞)は，状態が正常ではないため，ゼロページを破棄できません。詳細情報画面でボリュームの状態を確認し，状態が正常なボリュームを選択してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		詳細情報画面でボリュームの状態を確認し，状態が正常なボリュームを選択してください。
KAIC15329-E	選択したボリュームの属するプールが閉塞しているため，ゼロページを破棄できません。プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。	**要因** – **対処** プールを閉塞状態から解除させたあと，ストレージシステムを更新し，再度実行してください。
KAIC15330-E	選択したボリューム(＜LDEV IDs＞)は，ペアを構成しているため，ゼロページを破棄できません。ゼロページを破棄できるボリュームを選択してから，再度実行してください。	**要因** – **対処** ゼロページを破棄できるボリュームを選択してから，再度実行してください。
KAIC15331-E	選択したボリューム(＜LDEV IDs＞)は，すでにゼロページの破棄が実行中か実行待ちのため，操作が受け付けられませんでした。実行中のゼロページの破棄が完了したあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** 実行中のゼロページの破棄が完了したあと，再度実行してください。
KAIC15336-E	選択したLU番号(＜DEVNUM IDs＞)は，すでに使用されています。ほかのユーザーが指定したLU番号を選択したおそれがあります。LU番号を選択し直してください。	**要因** ほかのユーザーが指定したLU番号を選択したおそれがあります。 **対処** LU番号を選択し直してください。
KAIC15337-E	選択したホストには，割り当てを解除できるボリュームがありません。ボリュームの割り当てが解除されているか，割り当てられているボリュームが予約されています。または，ホストグループもしくはiSCSIターゲットに必要な権限がないおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ホストにボリュームが割り当てられていること，割り当てられているボリュームが予約されていないこと，およびホストグループまたはiSCSIターゲットに対して必要な権限があることを確認してください。	**要因** ボリュームの割り当てが解除されているか，割り当てられているボリュームが予約されています。または，ホストグループもしくはiSCSIターゲットに必要な権限がないおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ホストにボリュームが割り当てられていること，割り当てられているボリュームが予約されていないこと，およびホストグループまたはiSCSIターゲットに対して必要な権限があることを確認してください。
KAIC15338-E	ホストグループ(＜ホストグループ名カンマ区切り＞)間でホストモード(＜ホストモードカンマ区切り＞)が異なります。ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。	**要因** – **対処** ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。
KAIC15339-E	ホストグループ(＜Host Group Names＞)間でホストモードオプション(＜ホストモードオプションカンマ区切り＞)が異なります。ホストモー	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ドとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。	ホストモードとオプションがすべて同じになるようポートを選択してください。
KAIC15340-E	指定したホストグループの情報がほかのユーザーによって変更されたおそれがあります。いったん操作を中断し，再度操作を実行してください。	**要因** - **対処** いったん操作を中断し，再度操作を実行してください。
KAIC15341-E	選択したボリュームに属するプールが縮小中のため，ゼロページを破棄できません。プールの縮小が完了したあと，再度実行してください。	**要因** - **対処** プールの縮小が完了したあと，再度実行してください。
KAIC15342-E	プールを削除できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Storage Navigatorで操作してください。	**要因** ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 **対処** Storage Navigatorで操作してください。
KAIC15343-E	プールを拡張できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Storage Navigatorで操作してください。	**要因** ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 **対処** Storage Navigatorで操作してください。
KAIC15344-E	プールを縮小できません。ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。Storage Navigatorで操作してください。	**要因** ドライブタイプまたは回転数が異なるパリティグループが同じプールに混在しています。 **対処** Storage Navigatorで操作してください。
KAIC15345-E	選択したボリューム(＜LDEV Ids＞)は，状態が正常ではないため，プールを縮小できません。ボリュームを移動できない主な理由は次のとおりです。 (1) 最初にプールに追加したプールボリュームである。 (2) プールボリュームを移動するとプールのしきい値を超える。 (3) 指定したボリュームはすでに移動中である。 (4) 指定したボリュームはすでにプールボリュームではない。［リソース］タブのツリービューからDPプール名を再度選択し，［DPプールVol］タブの［移動可能］列から移動できる状態のボリュームを選択してください。	**要因** ボリュームを移動できない主な理由は次のとおりです。 (1) 最初にプールに追加したプールボリュームである。 (2) プールボリュームを移動するとプールのしきい値を超える。 (3) 指定したボリュームはすでに移動中である。 (4) 指定したボリュームはすでにプールボリュームではない。 **対処** ［リソース］タブのツリービューからDPプール名を再度選択し，［DPプールVol］タブの［移動可能］列から移動できる状態のボリュームを選択してください。
KAIC15346-W	プールを縮小すると，使用率が使用率しきい値1を超えます。	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 –
KAIC15347-E	プールの使用率が使用率しきい値2を超えるため，プールを縮小できません。ほかのプールボリュームを選択して，プールから取り除くプールボリュームの容量を減らしてください。	**要因** – **対処** ほかのプールボリュームを選択して，プールから取り除くプールボリュームの容量を減らしてください。
KAIC15348-W	プールを縮小すると，予約率が警告予約率を超えます。	**要因** – **対処** –
KAIC15349-E	プールの予約率が最大予約率を超えるため，プールを縮小できません。縮小するボリューム容量を減らすか，最大予約率を変更してください。	**要因** – **対処** 縮小するボリューム容量を減らすか，最大予約率を変更してください。
KAIC15350-E	ボリューム(<LDEV ID>)は指定できません。Data Retention Utilityで，Protectの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。指定を見直してください。	**要因** Data Retention Utilityで，Protectの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。 **対処** 指定を見直してください。
KAIC15351-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。パスが設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** パスが設定されているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15352-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。コピーペアを構成しているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** コピーペアを構成しているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15354-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。ボリュームマイグレーションの予約ボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** ボリュームマイグレーションの予約ボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15355-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。Data Retention UtilityでProtect属性またはReadOnly属性が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** Data Retention UtilityでProtect属性またはReadOnly属性が設定されているボリュームは削除できません。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15356-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。コマンドデバイスに設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** コマンドデバイスに設定されているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15357-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。Quorumディスクに設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** Quorumディスクに設定されているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15358-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。Inquiry制御が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** Inquiry制御が設定されているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15359-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。Replication制御が設定されているボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** Replication制御が設定されているボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15361-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。外部ボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** 外部ボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15362-W	指定した仮想ボリュームと同じパリティグループ上に次の仮想ボリュームがあります。(<LDEV IDs>)これらの仮想ボリュームも同時に削除されます。	**要因** - **対処** -
KAIC15363-E	ボリューム(<LDEV IDs>)は指定できません。プールボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** プールボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15364-E	指定したストレージシステムの構成は，すでにあります。ホスト，ポート，およびボリュームの組み合わせを確認してください。	**要因** - **対処** ホスト，ポート，およびボリュームの組み合わせを確認してください。
KAIC15365-E	ホストグループ名に同じ名前(<ホストグループ名カンマ区切り>)が指定されています。異なるホストグループ名を指定してください。	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		異なるホストグループ名を指定してください。
KAIC15366-E	ホストグループまたはiSCSIターゲットを削除できません。割り当てを解除したあとのホストグループまたはiSCSIターゲット(＜ホストグループまたはiSCSIターゲットカンマ区切り＞)にパスが残っています。タスクを開始する前に，ホストグループまたはiSCSIターゲットにボリュームが割り当てられたおそれがあります。ホストグループまたはiSCSIターゲットに割り当てられたボリュームを確認したあと，必要に応じて再度割り当てを解除してください。	**要因** 割り当てを解除したあとのホストグループまたはiSCSIターゲット(＜ホストグループまたはiSCSIターゲットカンマ区切り＞)にパスが残っています。タスクを開始する前に，ホストグループまたはiSCSIターゲットにボリュームが割り当てられたおそれがあります。 **対処** ホストグループまたはiSCSIターゲットに割り当てられたボリュームを確認したあと，必要に応じて再度割り当てを解除してください。
KAIC15367-E	指定したユーザグループ名はすでに使用されています。	**要因** – **対処** –
KAIC15369-E	リソースグループの作成に失敗しました。いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(保守情報=＜保守情報＞)	**要因** – **対処** いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(保守情報=＜保守情報＞)
KAIC15370-E	リソースグループの作成に失敗しました。対象のストレージシステムに登録できるリソースがありません。いったん操作を終了して，対象のストレージシステムに登録できるリソースが存在するか確認してください。	**要因** 対象のストレージシステムに登録できるリソースがありません。 **対処** いったん操作を終了して，対象のストレージシステムに登録できるリソースが存在するか確認してください。
KAIC15372-W	プールボリュームが選択されています。同じプールを構成するすべてのボリュームも登録されます。	**要因** – **対処** –
KAIC15373-E	ビルトインリソースグループはこの操作を実行できません。ビルトインリソースグループ以外のリソースグループを選択してください。	**要因** – **対処** ビルトインリソースグループ以外のリソースグループを選択してください。
KAIC15375-E	指定した＜リソース種別＞(＜リソース名＞)に対して，この操作を実行する権限がありません。指定内容が正しいか確認してください。	**要因** – **対処** 指定内容が正しいか確認してください。
KAIC15376-E	使用できるLDEV IDが不足しています。リソースグループにLDEV IDを登録してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 リソースグループにLDEV IDを登録してください。
KAIC15377-E	ポート(＜ポート名＞)に使用できるホストグループ番号がありません。リソースグループにホストグループ番号を登録してください。	**要因** - **対処** リソースグループにホストグループ番号を登録してください。
KAIC15378-E	ポート(＜ポート名＞)を使用できません。権限のないホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)を使用してWWN(＜WWN＞)にボリュームが割り当てられています。ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録するか，別のポートを使用してください。	**要因** 権限のないホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)を使用してWWN(＜WWN＞)にボリュームが割り当てられています。 **対処** ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録するか，別のポートを使用してください。
KAIC15379-E	選択したタスク(＜操作権限のないタスクの名前(カンマ区切り)＞)に対して，操作に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** - **対処** タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15380-E	選択したタスク(＜操作権限のないタスクの名前(カンマ区切り)＞)に対して，詳細情報の参照に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** - **対処** タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15381-E	ストレージシステム(＜アラート削除権限のないストレージの名前(カンマ区切り)＞)のアラートの削除に必要な権限がありません。必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** - **対処** 必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15382-E	アラートが見つかりません。アラートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し，画面を更新してください。必要に応じて，もう一度操作をやりなおしてください。	**要因** アラートが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，画面を更新してください。必要に応じて，もう一度操作をやりなおしてください。
KAIC15383-E	プールを拡張できません。ドライブタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。ドライブタイプが同じパリティグループを選択してください。	**要因** ドライブタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** ドライブタイプが同じパリティグループを選択してください。
KAIC15384-E	プールを拡張できません。内部パリティグループと外部パリティグルー	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	プを同じプールに混在できません。選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。	内部パリティグループと外部パリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。
KAIC15385-E	プールを拡張できません。混在可否が不可のプールに，内部パリティグループと外部パリティグループを混在できません。選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。	**要因** 混在可否が不可のプールに，内部パリティグループと外部パリティグループを混在できません。 **対処** 選択したプールを構成するパリティグループと同じ構成のパリティグループを選択してください。
KAIC15386-E	プールを拡張できません。キャッシュモードが有効な外部パリティグループと無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択したプールの外部パリティグループと同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。	**要因** キャッシュモードが有効な外部パリティグループと無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 選択したプールの外部パリティグループと同じキャッシュモードの外部パリティグループを選択してください。
KAIC15387-E	プールを作成できません。内部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	**要因** 内部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15388-E	プールを拡張できません。内部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	**要因** 内部パリティグループと，キャッシュモードが無効な外部パリティグループを同じプールに混在できません。 **対処** 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15389-E	プールを作成できません。内部ボリュームと，キャッシュモードが無効な外部ボリュームを同じプールに混在できません。選択するボリュームを見直してください。	**要因** 内部ボリュームと，キャッシュモードが無効な外部ボリュームを同じプールに混在できません。 **対処** 選択するボリュームを見直してください。
KAIC15390-E	RAID1のパリティグループとRAID1以外のパリティグループを同じプールに混在できません。プールを構成するパリティグループのRAIDレベルは，RAID1で統一するか，RAID1以外	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	で構成するかのどちらかにしてください。	プールを構成するパリティグループのRAIDレベルは，RAID1で統一するか，RAID1以外で構成するかのどちらかにしてください。
KAIC15391-E	ドライブタイプと回転数が同じで，RAIDレベルだけが異なるパリティグループを同じプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	**要因** – **対処** 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15392-W	プールを構成するパリティグループに，ドライブタイプ，回転数，RAIDレベル，または内部および外部パリティグループの組み合わせのうち，3種類が混在しています。	**要因** – **対処** –
KAIC15393-E	プールを構成するパリティグループに，ドライブタイプ，回転数，RAIDレベル，または内部および外部パリティグループの組み合わせのうち，4種類以上を混在できません。プールを構成するパリティグループの組み合わせが3種類以下になるように，選択するパリティグループを見直してください。	**要因** – **対処** プールを構成するパリティグループの組み合わせが3種類以下になるように，選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15394-W	ドライブタイプ，回転数，RAIDレベル，または内部および外部パリティグループの組み合わせが混在しているプールが選択されています。	**要因** – **対処** –
KAIC15396-E	選択したストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15397-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15398-E	選択したプール(＜プールID＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのプールを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのプールを指定してください。
KAIC15399-E	選択したボリュームは，プールボリュームに使用できません。異なるリソースグループのボリュームを同じプールに混在できません。同じリソースグループのボリュームを選択してください。	**要因** 異なるリソースグループのボリュームを同じプールに混在できません。 **対処** 同じリソースグループのボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15400-E	プールを作成できません。ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)には，プールボリュームに使用できるボリュームがありません。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。	**要因** ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)には，プールボリュームに使用できるボリュームがありません。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムの管理者に連絡してください。
KAIC15401-E	選択したプール(＜プールID＞)に属するボリューム(＜LDEV ID＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのプールを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのプールを指定してください。
KAIC15402-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)が属するプール(＜プールID＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15403-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)の更新に必要な権限がありません。必要な権限があるユーザーでストレージシステムの更新タスクを実行してください。	**要因** – **対処** 必要な権限があるユーザーでストレージシステムの更新タスクを実行してください。
KAIC15404-E	ストレージシステムの編集に必要な権限がありません。必要な権限があるユーザーでストレージシステムの編集タスクを実行してください。	**要因** – **対処** 必要な権限があるユーザーでストレージシステムの編集タスクを実行してください。
KAIC15405-E	RAID1のパリティグループとRAID1以外のパリティグループを混在可否が不可のプールに混在できません。選択するパリティグループを見直してください。	**要因** – **対処** 選択するパリティグループを見直してください。
KAIC15406-E	使用できるポートがありません。リソースグループにポートおよびホストグループ番号を登録してください。	**要因** – **対処** リソースグループにポートおよびホストグループ番号を登録してください。
KAIC15407-E	選択したプールの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム：＜ストレージシステム名＞)	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム：＜ストレージシステム名＞)
KAIC15408-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15410-E	ユーザーの情報を取得できませんでした。（ユーザーID=＜ユーザーID＞）サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15411-E	ユーザーグループの情報を取得できませんでした。（ユーザーグループID=＜ユーザーグループID＞）サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15412-E	ユーザーグループとリソースグループとロールの関連について，情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15413-E	アプリケーションの情報を取得できませんでした。（アプリケーション=＜アプリケーション名＞）サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15414-E	ロールの情報を取得できませんでした。（アプリケーション=＜アプリケーション名＞）サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部	**要因** － **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15416-E	ユーザーグループが見つかりません。ユーザーグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループを確認してください。	**要因** ユーザーグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ユーザーグループを確認してください。
KAIC15418-E	ユーザーをユーザーグループに割り当てられません。ビルトインユーザーグループに属しているユーザーが選択されています。該当するユーザーをビルトインユーザーグループから削除したあと，ユーザーグループに割り当て直してください。	**要因** ビルトインユーザーグループに属しているユーザーが選択されています。 **対処** 該当するユーザーをビルトインユーザーグループから削除したあと，ユーザーグループに割り当て直してください。
KAIC15420-W	同じストレージシステムから作成された複数のリソースグループに対して異なるロールが選択されています。選択したすべてのロールがすべてのリソースグループに適用されます。	**要因** – **対処** –
KAIC15421-E	ユーザーグループの作成に失敗しました。（ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを作成し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを作成し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）
KAIC15422-E	ユーザーグループへのユーザー割り当てに失敗しました。（ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞）いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにユーザーを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにユーザーを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）
KAIC15423-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当てに失敗しました。いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループにリソースグループとロールを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループにリソースグループとロールを割り当て直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15424-E	ユーザーグループ名または説明の編集に失敗しました。（ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞）いったん操作を終了してサーバの状態を確認してから，ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）	**要因** – **対処** いったん操作を終了してサーバの状態を確認してから，ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）
KAIC15430-E	ユーザーグループの削除に失敗しました。（ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞）いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを削除し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを削除し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15434-E	ユーザーグループの割り当てができませんでした。（ユーザーID=＜ユーザーID＞）いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループにユーザーを登録し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループにユーザーを登録し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。（保守情報=＜サーバメッセージ＞）
KAIC15435-E	リソースグループを編集できませんでした。いったん操作を終了し，登録するリソースの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，登録するリソースの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15436-E	リソースグループを削除できませんでした。いったん操作を終了し，削除するリソースグループの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，削除するリソースグループの状態を確認してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15437-E	選択したリソースが見つかりません。選択したリソースはすでに削除されたか，ほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。いったん操作を終了し，リソースの状態を確認してください。	**要因** 選択したリソースはすでに削除されたか，ほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，リソースの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15438-E	選択したリソースは操作できません。選択したリソースはすでに登録が解除されたおそれがあります。いったん操作を終了し，リソースの登録状態を確認してください。	**要因** 選択したリソースはすでに登録が解除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，リソースの登録状態を確認してください。
KAIC15439-E	＜リソースグループ名＞の削除に失敗しました。いったん操作を終了し，削除するリソースグループの状態を確認してください。	**要因** － **対処** いったん操作を終了し，削除するリソースグループの状態を確認してください。
KAIC15440-E	リソースグループをユーザーグループに割り当てられません。All Resourcesとユーザー定義のリソースグループが混在しているか，または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループとユーザー定義のリソースグループが混在しています。リソースグループを選択し直してください。	**要因** All Resourcesとユーザー定義のリソースグループが混在しているか，または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループとユーザー定義のリソースグループが混在しています。 **対処** リソースグループを選択し直してください。
KAIC15441-E	使用できるポートがありません。次のどちらかの原因が考えられます。 ・ポートまたはホストグループ番号に対する権限がない ・操作対象のポートまたはホストグループは，別の仮想ストレージマシンに属しており，すでに対象のホストへのボリューム割り当てに使用されている 必要に応じてポートまたはホストグループを仮想ストレージマシンに新規に登録したあと，更新権限があるユーザーで操作を実行してください。	**要因** 次のどちらかの原因が考えられます。 ・ポートまたはホストグループ番号に対する権限がない ・操作対象のポートまたはホストグループは，別の仮想ストレージマシンに属しており，すでに対象のホストへのボリューム割り当てに使用されている **対処** 必要に応じてポートまたはホストグループを仮想ストレージマシンに新規に登録したあと，更新権限があるユーザーで操作を実行してください。
KAIC15442-E	ストレージポート(＜ポート名＞)に新しいホストグループを作成できません。ストレージポートに対する権限がありません。ストレージポートをリソースグループに登録してください。	**要因** ストレージポートに対する権限がありません。 **対処** ストレージポートをリソースグループに登録してください。
KAIC15443-E	選択したタスク(＜操作権限のないタスクの名前(コンマ区切り)＞)に対して，操作に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** － **対処** タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15444-E	選択したタスク(＜操作権限のないタスクの名前＞)に対して，詳細情報の参照に必要な権限がありません。タ	**要因** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	スクを登録したユーザー，必要な権限があるユーザーで操作してください。	**対処** タスクを登録したユーザー，必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15445-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)が属するパリティグループ(＜パリティグループ名＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを指定してください。
KAIC15446-E	選択したユーザーに，別のユーザーグループに属しているユーザーがいます。別のユーザーグループからユーザーを削除して，再度ユーザーグループを割り当ててください。	**要因** – **対処** 別のユーザーグループからユーザーを削除して，再度ユーザーグループを割り当ててください。
KAIC15447-E	選択したパスを削除できません。ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)に対する権限がありません。ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録してください。	**要因** ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)に対する権限がありません。 **対処** ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録してください。
KAIC15448-E	ホストグループを作成できません。ストレージポート(＜ストレージポート名＞)に割り当てられるホストグループ番号が不足しています。ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。	**要因** ストレージポート(＜ストレージポート名＞)に割り当てられるホストグループ番号が不足しています。 **対処** ホストグループ番号をリソースグループに登録してください。
KAIC15449-E	ユーザーグループにユーザーを追加できません。ビルトインユーザーグループを複数選択している，またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。ユーザーグループを選択し直してください。	**要因** ビルトインユーザーグループを複数選択している，またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。 **対処** ユーザーグループを選択し直してください。
KAIC15450-E	選択したパリティグループ(＜パリティグループ名＞)，または選択したパリティグループ(＜パリティグループ名＞)に属するボリュームに対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのパリティグループを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを指定してください。
KAIC15451-E	選択したプール(＜プールID＞)，または選択したプール(＜プールID＞)に属するボリュームに対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのプールを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのプールを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15453-E	この論理グループには＜表示できる最大ボリューム数＞個以上のボリュームが含まれているため表示できません。ほかの論理グループを選択してください。	**要因** – **対処** ほかの論理グループを選択してください。
KAIC15454-E	この論理グループは単一のプールに属するDTボリューム以外を含むため表示できません。ほかの論理グループを選択するか，単一のプールに属するDTボリュームのみを含むように論理グループの内容を変更してください。	**要因** – **対処** ほかの論理グループを選択するか，単一のプールに属するDTボリュームのみを含むように論理グループの内容を変更してください。
KAIC15455-E	ハードウェア階層の使用状況レポートの設定情報がデータベースにありません。ログインし直してください。(保守情報=＜見つからなかったエンティティ名＞)	**要因** – **対処** ログインし直してください。(保守情報=＜見つからなかったエンティティ名＞)
KAIC15456-I	ホスト(＜ホスト名＞)が関連づけられたホストグループ(＜ホストグループ番号＞)には，ホスト名が不明なWWN(＜WWN＞)が含まれています。この操作を実行すると，ホスト名が不明なWWNからもボリュームの割り当てが解除されます。	**要因** – **対処** –
KAIC15457-E	選択したボリュームは，ホストグループに割り当てられたボリュームの一部のため，割り当てを解除できません。操作対象のホスト（＜ホスト＞）がホストグループ（＜ホストグループ＞）に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または，ホストグループ（＜ホストグループ＞）を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。	**要因** 操作対象のホスト（＜ホスト＞）がホストグループ（＜ホストグループ＞）に関連づいています。 **対処** ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または，ホストグループ（＜ホストグループ＞）を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。
KAIC15458-E	選択したタスク(＜操作権限のないタスクの名前＞)に対して，詳細情報の参照に必要な権限がありません。タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** – **対処** タスクを登録したユーザー，または必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15459-E	選択したパリティグループ(＜パリティグループ名＞)に対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのパリティグループを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15460-E	選択したストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のパリティグループに対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15461-E	選択したストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のプールに対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15462-E	選択したストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のパリティグループおよびプールに対して，操作に必要な権限(＜権限＞)がありません。ほかのストレージシステムを指定してください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを指定してください。
KAIC15463-E	＜オブジェクト名＞の情報を取得できませんでした。＜オブジェクト名＞が削除されたおそれがあります。いったん操作を終了して，＜オブジェクト名＞を確認してください。	**要因** ＜オブジェクト名＞が削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了して，＜オブジェクト名＞を確認してください。
KAIC15464-E	指定したユーザーグループ名はすでに作成されています。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)異なるユーザーグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 異なるユーザーグループ名を指定してください。
KAIC15465-E	ユーザーグループへのユーザー割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。	**要因** ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。
KAIC15466-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当てに失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)ユーザーグループ，またはリソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとリソースグループを確認してください。	**要因** ユーザーグループ，またはリソースグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとリソースグループを確認してください。
KAIC15467-E	ユーザーグループへのユーザー割り当て，または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれが	**要因** ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	あります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)	いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)
KAIC15469-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当て，または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)ユーザーグループ，またはリソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとリソースグループを確認してください。	**要因** ユーザーグループ，またはリソースグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとリソースグループを確認してください。
KAIC15470-E	ユーザーグループへのリソースグループとロールの割り当て，または削除に失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにリソースグループを設定し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループ編集ダイアログでユーザーグループにリソースグループを設定し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)
KAIC15471-E	ユーザーグループの編集に失敗しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)	**要因** – **対処** いったん操作を終了してください。サーバの状態を確認したあと，ユーザーグループを編集し直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜サーバメッセージ＞)
KAIC15472-E	ユーザーグループの割り当てができませんでした。(ユーザーID=＜ユーザーID＞)ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。	**要因** ユーザーグループ，またはユーザーが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ユーザーグループとユーザーを確認してください。
KAIC15473-E	ユーザーグループの情報を取得できませんでした。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15474-E	指定したパスをポート(＜ポート名＞)に設定できません。ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)に対する権限がありません。ホ	**要因** ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)に対する権限がありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録してください。	**対処** ホストグループ番号(＜ホストグループ番号＞)をリソースグループに登録してください。
KAIC15475-E	リソースグループの作成に失敗しました。いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(完了=＜成功＞，失敗=＜失敗＞，未実行=＜未実行＞，保守情報=＜サーバメッセージ＞)	**要因** - **対処** いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(完了=＜成功＞，失敗=＜失敗＞，未実行=＜未実行＞，保守情報=＜サーバメッセージ＞)
KAIC15476-E	リソースグループを編集できませんでした。いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(完了=＜成功＞，失敗=＜失敗＞，未実行=＜未実行＞，保守情報=＜サーバメッセージ＞)	**要因** - **対処** いったん操作を終了して，サーバの状態を確認してください。(完了=＜成功＞，失敗=＜失敗＞，未実行=＜未実行＞，保守情報=＜サーバメッセージ＞)
KAIC15477-E	プールを作成できません。ドライブタイプ，ドライブ回転数，またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は，パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は，チップタイプ列が表示されません。ドライブタイプ，ドライブ回転数，およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。	**要因** ドライブタイプ，ドライブ回転数，またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は，パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は，チップタイプ列が表示されません。 **対処** ドライブタイプ，ドライブ回転数，およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。
KAIC15478-E	プールを拡張できません。ドライブタイプ，ドライブ回転数，またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は，パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は，チップタイプ列が表示されません。ドライブタイプ，ドライブ回転数，およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。	**要因** ドライブタイプ，ドライブ回転数，またはチップタイプが異なるパリティグループを同じプールに混在させることはできません。チップタイプが識別できる装置の場合は，パリティグループ一覧にチップタイプ列が表示されます。識別できない場合は，チップタイプ列が表示されません。 **対処** ドライブタイプ，ドライブ回転数，およびチップタイプが同じパリティグループを選択してください。
KAIC15479-I	Device Managerがサポートしていないドライブが含まれています。Device Managerがサポートしていないドライブは，プールの作成に使用できません。Device Managerがサポートしているドライブタイプについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。	**要因** Device Managerがサポートしていないドライブは，プールの作成に使用できません。 **対処** Device Managerがサポートしているドライブタイプについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15480-I	Device Managerがサポートしていないドライブが含まれています。Device Managerがサポートしていないドライブは，プールの拡張に使用できません。Device Managerがサポートしているドライブタイプについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。	**要因** Device Managerがサポートしていないドライブは，プールの拡張に使用できません。 **対処** Device Managerがサポートしているドライブタイプについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。
KAIC15481-E	次のリソースに階層ポリシーを編集する権限がありません。リソースに対する権限を確認してください。：＜デバイス番号およびプールIDのリスト＞	**要因** – **対処** リソースに対する権限を確認してください。
KAIC15482-E	ストレージシステムが階層ポリシー機能をサポートしていません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**要因** – **対処** ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC15483-E	DTプールにハードウェア階層が一つしかないため，階層ポリシーの編集は不要です。	**要因** – **対処** –
KAIC15484-E	DPボリュームに複数のストレージシステムのボリュームが混在しているため，階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認してください。	**要因** – **対処** 選択したボリュームを確認してください。
KAIC15486-E	DTプールから作成されたDPボリュームではないため，階層ポリシーを編集できません。選択したボリュームを確認してください。	**要因** – **対処** 選択したボリュームを確認してください。
KAIC15487-E	論理グループに階層ポリシー機能をサポートしているストレージシステムのボリュームが含まれていません。選択した論理グループを確認してください。	**要因** – **対処** 選択した論理グループを確認してください。
KAIC15491-W	DTプールのハードウェア階層数を変更すると，DPボリュームの階層ポリシーの設定が自動的に変更されます。タスクが完了したあと，DPボリュームの階層ポリシーの設定を確認してください。	**要因** – **対処** タスクが完了したあと，DPボリュームの階層ポリシーの設定を確認してください。
KAIC15492-E	履歴レポートダイアログを起動できません。選択したリソースはラウンチ先で管理されていません。	**要因** – **対処** 選択したリソースはラウンチ先で管理されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15493-I	指定したLUNパス数が，ホスト＜ホスト名＞またはストレージシステムの推奨可能なポート数を超えています。［LUNパス］テーブルには，ホストまたはストレージシステムの推奨可能なポート数と同じ数のパスを表示しています。必要に応じて手動でパスを編集してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて手動でパスを編集してください。
KAIC15494-E	論理グループ(＜論理グループ名＞)はフォルダです。ボリュームまたはホストの論理グループを選んでください。	**要因** – **対処** ボリュームまたはホストの論理グループを選んでください。
KAIC15497-E	複数のストレージシステムに属するプールに対して，この操作を実行できません。同じストレージシステムのプールを選択してください。	**要因** – **対処** 同じストレージシステムのプールを選択してください。
KAIC15499-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のマイクロコードのバージョンが70-02-00-00/00未満のため，この操作を実行できません。マイクロコードのバージョンを70-02-00-00/00以上にアップデートしてください。	**要因** – **対処** マイクロコードのバージョンを70-02-00-00/00以上にアップデートしてください。
KAIC15500-E	プール(＜プールID＞)はDTプールではないため，この操作を実行できません。DTプールを選択してください。	**要因** – **対処** DTプールを選択してください。
KAIC15501-E	階層管理の設定が手動ではないDTプール(＜プールID＞)に対して，この操作を実行できません。DTプールの階層管理の設定を手動にしてください。	**要因** – **対処** DTプールの階層管理の設定を手動にしてください。
KAIC15502-E	ハードウェア階層が一つのプール(＜プールID＞)に対して，この操作を実行できません。ハードウェア階層が二つ以上あるプールを選択してください。	**要因** – **対処** ハードウェア階層が二つ以上あるプールを選択してください。
KAIC15503-E	プール(＜プールID＞)に対して，この操作を実行できませんでした。タスクの詳細情報を確認してください。	**要因** – **対処** タスクの詳細情報を確認してください。
KAIC15504-E	選択した複数のDPボリュームに，複数のDTプールのボリュームが混在しているため，階層ポリシーを編集で	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	きません。選択したボリュームを確認したあと，再度階層ポリシー編集を行ってください。	**対処** 選択したボリュームを確認したあと，再度階層ポリシー編集を行ってください。
KAIC15505-E	論理グループにDTプールのDPボリュームが含まれていないため，階層ポリシーを編集できません。選択した論理グループを確認してください。	**要因** – **対処** 選択した論理グループを確認してください。
KAIC15506-E	指定した容量の値が範囲外です。容量は＜最大容量＞以内で指定してください。	**要因** – **対処** 容量は＜最大容量＞以内で指定してください。
KAIC15507-E	次の理由でタスクの実行に失敗しました。(＜メッセージ＞)プールの構成が変更されていないことを確認してください。必要に応じて，階層ポリシーの編集を再度実行してください。新規ページ割り当て階層や再配置プライオリティを変更する場合は，Storage Navigatorを使用して操作してください。	**要因** – **対処** プールの構成が変更されていないことを確認してください。必要に応じて，階層ポリシーの編集を再度実行してください。新規ページ割り当て階層や再配置プライオリティを変更する場合は，Storage Navigatorを使用して操作してください。
KAIC15508-E	LUNセキュリティが無効なポート(＜ポート＞)に対するパス編集はできません。ボリュームを選択しなおしてください。	**要因** – **対処** ボリュームを選択しなおしてください。
KAIC15510-E	指定したテンプレート名はすでに使用されています。重複しないテンプレート名に変更してください。	**要因** – **対処** 重複しないテンプレート名に変更してください。
KAIC15511-E	ボリュームを作成できません。指定した容量でボリュームを作成すると，プールの予約率が最大予約率を超えます。作成するボリュームの容量を減らすか，最大予約率を変更してください。	**要因** 指定した容量でボリュームを作成すると，プールの予約率が最大予約率を超えます。 **対処** 作成するボリュームの容量を減らすか，最大予約率を変更してください。
KAIC15514-E	指定した条件に合うボリュームが多過ぎます。(件数: ＜件数＞，上限値: ＜上限値＞)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。	**要因** – **対処** 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。
KAIC15515-I	指定した期間の性能情報はありません。(ホスト名=＜ホスト名＞)	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC15516-E	指定したストレージシステムを，＜プロダクト名＞が監視していません。指定したストレージシステムを，＜プロダクト名＞が監視しているか確認したあと，再実行してください。	**要因** – **対処** 指定したストレージシステムを，＜プロダクト名＞が監視しているか確認したあと，再実行してください。
KAIC15517-I	指定した期間の性能情報がありません。	**要因** – **対処** –
KAIC15526-E	指定したパリティグループ番号（パリティグループ番号=＜パリティグループ番号＞）はすでにパリティグループまたはDPプールで使用されています。ほかのパリティグループ番号を指定してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループ番号を指定してください。
KAIC15527-E	パリティグループを作成できません。パリティグループを作成できるストレージシステムがありません。	**要因** パリティグループを作成できるストレージシステムがありません。 **対処** –
KAIC15528-E	パリティグループを作成できません。パリティグループの数が上限値(上限値=＜パリティグループの最大数＞)に達しています。	**要因** パリティグループの数が上限値(上限値=＜パリティグループの最大数＞)に達しています。 **対処** –
KAIC15530-E	指定されたパリティグループ番号の数が足りません。＜パリティグループ数＞個のパリティグループ番号を指定してください。	**要因** – **対処** ＜パリティグループ数＞個のパリティグループ番号を指定してください。
KAIC15531-E	パリティグループを作成できるドライブの組み合わせがありません。ドライブを追加してください。	**要因** – **対処** ドライブを追加してください。
KAIC15532-E	パリティグループの作成に失敗しました(パリティグループ=＜パリティグループ番号＞)。各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。	**要因** – **対処** 各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。
KAIC15533-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)がありません。ス	**要因** 選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)がありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トレージシステムの情報を更新してください。	**対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15534-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)のパリティグループは削除できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15535-E	パリティグループを削除できません。異なるストレージシステムに属するパリティグループは一度に削除できません。(指定したストレージシステム=＜ストレージシステム名＞)同じストレージシステムに属するパリティグループを指定してください。	**要因** 異なるストレージシステムに属するパリティグループは一度に削除できません。(指定したストレージシステム=＜ストレージシステム名＞) **対処** 同じストレージシステムに属するパリティグループを指定してください。
KAIC15536-E	パリティグループを削除できません。割り当て済みボリュームを含むパリティグループは削除できません。(パリティグループ=＜パリティグループ＞)。ボリュームの割り当てを解除してください。	**要因** 割り当て済みボリュームを含むパリティグループは削除できません。(パリティグループ=＜パリティグループ＞)。 **対処** ボリュームの割り当てを解除してください。
KAIC15537-E	パリティグループを削除できません。DPプールを構成するパリティグループは削除できません。(パリティグループ=＜パリティグループ＞)プールを削除または縮小してください。	**要因** DPプールを構成するパリティグループは削除できません。(パリティグループ=＜パリティグループ＞) **対処** プールを削除または縮小してください。
KAIC15538-E	パリティグループを削除できません。パリティグループ(＜パリティグループ＞)を削除する権限がありません。必要な権限があるユーザーが操作してください。	**要因** パリティグループ(＜パリティグループ＞)を削除する権限がありません。 **対処** 必要な権限があるユーザーが操作してください。
KAIC15539-E	パリティグループ(＜パリティグループ＞)はほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC15540-W	選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)にボリュームがあります。パリティグループを削除すると，ボリューム内のデータはすべて削除され，復元できなくなります。	**要因** – **対処** –
KAIC15541-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(＜パ	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リティグループ＞)にコマンドデバイスが含まれています。	選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)にコマンドデバイスが含まれています。 **対処** –
KAIC15542-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)にはDMLUが含まれます。ほかのパリティグループを選択してください。	**要因** 選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)にはDMLUが含まれます。 **対処** ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC15543-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)に，ペアが構成されたLUが含まれます。(ペア項目=＜LUペア名＞)ボリュームを確認してください。	**要因** 選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)に，ペアが構成されたLUが含まれます。(ペア項目=＜LUペア名＞) **対処** ボリュームを確認してください。
KAIC15544-E	パリティグループの削除に失敗しました(パリティグループ=＜パリティグループ番号＞)。各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。	**要因** – **対処** 各パリティグループのタスクの詳細を確認してください。
KAIC15546-E	パスが設定されていないボリュームは拡張できません。ボリュームを割り当てたあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** ボリュームを割り当てたあと，再度実行してください。
KAIC15569-E	パリティグループを作成できません。パリティグループ番号の上限値は＜上限値＞です。＜上限値＞以下の開始番号を指定してください。	**要因** パリティグループ番号の上限値は＜上限値＞です。 **対処** ＜上限値＞以下の開始番号を指定してください。
KAIC15570-E	パリティグループ(＜パリティグループ＞)に含まれるボリュームは，ほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC15573-E	パリティグループを削除できません。選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)に，＜LUプール名＞のプールボリュームが含まれます。ボリュームを確認してください。	**要因** 選択したパリティグループ(＜パリティグループ＞)に，＜LUプール名＞のプールボリュームが含まれます。 **対処** ボリュームを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15575-E	パリティグループを作成できません。ストレージシステムに含まれるドライブの情報が最新ではありません。ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** ストレージシステムに含まれるドライブの情報が最新ではありません。 **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC15576-E	選択したボリュームは，iSCSIターゲットに割り当てられたボリュームの一部のため，割り当てを解除できません。操作対象のホスト（＜ホスト＞）がiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じiSCSIターゲットに関連づいたホストをすべて選択してください。または，iSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。	**要因** 操作対象のホスト（＜ホスト＞）がiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）に関連づいています。 **対処** ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じiSCSIターゲットに関連づいたホストをすべて選択してください。または，iSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）を経由して割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。
KAIC15577-E	選択したボリュームは，ホストグループまたはiSCSIターゲットに割り当てられたボリュームの一部のため，割り当てを解除できません。操作対象のホスト（＜ホスト＞）がホストグループ（＜ホストグループ＞）またはiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）に関連づいています。ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または，ホストグループ（＜ホストグループ＞）またはiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）経由で割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。	**要因** 操作対象のホスト（＜ホスト＞）がホストグループ（＜ホストグループ＞）またはiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）に関連づいています。 **対処** ボリュームの割り当てを解除するホストだけでなく，同じホストグループに関連づいたホストをすべて選択してください。または，ホストグループ（＜ホストグループ＞）またはiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）経由で割り当てられたすべてのボリュームの割り当てを解除してください。ボリューム（＜LDEV ID＞）に対して割り当てを解除する権限がない場合は，システム管理者に問い合わせてください。
KAIC15586-I	ホスト(＜ホスト名＞)が関連づけられたiSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)には，ホスト名が不明なホストポート(＜ホストポート＞)が含まれています。この操作を実行すると，ホスト名が不明なホストポートからもボリュームの割り当てが解除されます。	**要因** - **対処** -
KAIC15587-I	ホスト(＜ホスト名＞)が関連づけられたホストグループ(＜ホストグループ＞)にホスト名が不明なホストポート(＜ホストグループのホス	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トポート＞)含まれているか，ホスト(＜ホスト名＞)が関連づけられたiSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)にホスト名が不明なホストポート(＜iSCSIターゲットのホストポート＞)が含まれています。この操作を実行すると，ホスト名が不明なホストポートからもボリュームの割り当てが解除されます。	-
KAIC15588-E	プールボリュームをフォーマットできませんでした。（LDEV ID:＜LDEV ID＞）ボリュームが削除されたおそれがあります。対象のストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。	**要因** ボリュームが削除されたおそれがあります。 **対処** 対象のストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。
KAIC15589-E	プールボリュームをフォーマットできませんでした。（LDEV ID:＜LDEV ID＞）フォーマットできなかった，またはボリュームの状態が変更されたおそれがあります。対象のストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。	**要因** フォーマットできなかった，またはボリュームの状態が変更されたおそれがあります。 **対処** 対象のストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。
KAIC15591-E	参考ボリューム(＜LDEV ID＞)はLUNセキュリティが有効なストレージポートと，LUNセキュリティが無効なストレージポートに同時に割り当てられているため，類似ボリューム割り当てを実行できません。同じLUNセキュリティのストレージポートに割り当てられているボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** 同じLUNセキュリティのストレージポートに割り当てられているボリュームを選択してください。
KAIC15592-E	参考ボリューム(＜LDEV ID＞)はホストに割り当てられていないため類似ボリューム割り当てを実行できません。ホストに割り当てられているボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ホストに割り当てられているボリュームを選択してください。
KAIC15594-W	iSCSIターゲットに，ホストが特定できないiSCSIネーム（＜iSCSIネーム＞）が割り当てられています。ボリュームの割り当てを変更すると，このiSCSIネームにも影響します。	**要因** - **対処** -
KAIC15595-I	操作対象外のボリュームの割り当てに使用されています。操作対象外のボリュームは，追加するホストポートからもアクセスできるようになります。	**要因** - **対処** -
KAIC15596-E	Device Manager管理下にないホストに割り当てられているボリューム(＜LDEV ID＞)からは類似ボリューム割り当てを実行できません。対象のホストをDevice Managerに登録してから，再実行してください。	**要因** - **対処** 対象のホストをDevice Managerに登録してから，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15610-E	未使用のLUNが足りません。ポート(＜LUNを設定するポートの表示名＞)のiSCSIターゲット(＜LUNを設定するiSCSIターゲット＞)では指定範囲のうち，未使用のLUNの数は＜未使用のLUNの個数＞個です。開始LUN(16進)を見直すか，別のポートを指定してください。	**要因** ポート(＜LUNを設定するポートの表示名＞)のiSCSIターゲット(＜LUNを設定するiSCSIターゲット＞)では指定範囲のうち，未使用のLUNの数は＜未使用のLUNの個数＞個です。 **対処** 開始LUN(16進)を見直すか，別のポートを指定してください。
KAIC15611-E	iSCSI経由でLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられているボリュームを起点に類似ボリューム割り当てを行うことはできません。類似ボリューム割り当ては，ホストに割り当てられているボリュームもしくはFC経由でLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられているボリュームを選択して実行してください。	**要因** - **対処** 類似ボリューム割り当ては，ホストに割り当てられているボリュームもしくはFC経由でLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられているボリュームを選択して実行してください。
KAIC15612-E	指定したボリューム(＜LDEV ID＞)はホストグループ/iSCSIターゲット(＜ホストグループ/iSCSIターゲット名＞)が異なるため，同時に操作できません。同じホストグループ/iSCSIターゲットにあるボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** 同じホストグループ/iSCSIターゲットにあるボリュームを選択してください。
KAIC15613-E	選択したボリュームに，パスがありません。ボリュームが割り当てられているホストグループ/iSCSIターゲット(＜ホストグループ/iSCSIターゲット名＞)に属しているホストが一つもありません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15614-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)に，パスがありません。選択したボリュームは，ホストグループ/iSCSIターゲットに割り当てられていません。ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ホストに割り当てられたボリュームを選択してください。
KAIC15625-E	選択されたリソースにボリュームが含まれていません。ボリュームを含むリソースを選択して，再度実行してください。	**要因** - **対処** ボリュームを含むリソースを選択して，再度実行してください。
KAIC15626-E	データ取得がキャンセルされました。しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15634-E	参考ボリューム(＜LDEV ID＞)はLUNセキュリティが無効のポートに対して，LUNセキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられています。LUNセキュリティが無効なポートに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。	**要因** – **対処** LUNセキュリティが無効なポートに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。
KAIC15635-E	参考ボリューム(＜LDEV ID＞)はホストに対して，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。ホストに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合，LUNセキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。	**要因** – **対処** ホストに対して割り当てられているボリュームを選択して起動する場合，LUNセキュリティが有効なホストグループ経由で割り当てられていることを確認してください。
KAIC15637-E	再配置を実行できません。（プールID=＜プールID＞)プールのモニタリング情報がありません。	**要因** プールのモニタリング情報がありません。 **対処** –
KAIC15639-E	プールからすべてのプールボリュームを削除することはできません。プールを縮小後にプールボリュームの数が1以上になるように指定してください。	**要因** – **対処** プールを縮小後にプールボリュームの数が1以上になるように指定してください。
KAIC15640-E	再配置を実行できません。原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15642-W	選択したリソースに含まれるボリュームが多いため，システムの応答が遅くなるおそれがあります。	**要因** – **対処** –
KAIC15643-E	ハードウェア階層が一つのプール(プールID=＜プールID＞)に対して，再配置を実行できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15645-E	マイグレーションに失敗しました。ストレージシステムによってマイグレーションが中止されました。ストレージシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか，ソースボリュームおよびター	**要因** ストレージシステムによってマイグレーションが中止されました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ゲットボリュームの構成を変更していないかを確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	ストレージシステムに対するホストからのアクセス負荷が大きくなっていないか，ソースボリュームおよびターゲットボリュームの構成を変更していないかを確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15646-E	マイグレーションの進捗情報をストレージシステムから取得できませんでした。マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	**要因** マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。 **対処** タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15647-E	マイグレーションに失敗しました。予期しないステータスを検知しました。（保守情報:サブタスクID:＜サブタスクID＞,ステータス:＜ステータス＞）タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。	**要因** 予期しないステータスを検知しました。（保守情報:サブタスクID:＜サブタスクID＞,ステータス:＜ステータス＞） **対処** タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，再度実行してください。また，マイグレーションに成功したペアに対しても，必要に応じてデータ消去やゼロページの破棄を再度実行してください。
KAIC15653-E	自動コミットの時間を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15657-E	0以上の値を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15659-E	自動コミットの時間を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15662-E	入力した値が範囲外です。＜入力できる最小値＞から＜入力できる最大値＞までの範囲で，かつ整数値を入力してください。	**要因** – **対処** ＜入力できる最小値＞から＜入力できる最大値＞までの範囲で，かつ整数値を入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15663-E	＜最小文字長＞文字以上＜最大文字長＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15664-E	ディレクトリに使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '-', '.', '/', '_'。ディレクトリ名を入力し直してください。	**要因** – **対処** ディレクトリ名を入力し直してください。
KAIC15665-E	識別子に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '_'。識別子を入力し直してください。	**要因** – **対処** 識別子を入力し直してください。
KAIC15666-E	入力した値が範囲外です。＜入力できる最小値＞分から＜入力できる最大値＞日までの範囲で，かつ整数値を入力してください。	**要因** – **対処** ＜入力できる最小値＞分から＜入力できる最大値＞日までの範囲で，かつ整数値を入力してください。
KAIC15669-I	WORM設定が有効です。	**要因** – **対処** –
KAIC15670-E	選択したボリュームには，交替パスが設定されていません。交替パスが設定されているボリュームを選択して，再度実行してください。	**要因** – **対処** 交替パスが設定されているボリュームを選択して，再度実行してください。
KAIC15674-E	選択したボリューム"＜LDEV ID＞"に対するViewロールがありません。選択したボリュームにViewロールを割り当てたあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** 選択したボリュームにViewロールを割り当てたあと，再度実行してください。
KAIC15675-E	必須入力です。	**要因** – **対処** –
KAIC15680-E	異なるストレージシステムに属するボリュームを選択しています。複数のボリュームを選択する場合，同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 複数のボリュームを選択する場合，同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15690-E	削除しきい値が，警告しきい値より小さくなっています。削除しきい値は，警告しきい値より大きい値を指定してください。	**要因** – **対処** 削除しきい値は，警告しきい値より大きい値を指定してください。
KAIC15696-E	ディレクトリに使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，'!'，'#'，'$'，'%'，'&'，'''，'('，')'，'+'，','，'-'，'.'，'/'，';'，'='，'@'，'['，']'，'^'，'_'，'`'，'<指定可能文字列1>'，'<指定可能文字列2>'，'~'，' '，全角文字。ディレクトリ名を入力し直してください。	**要因** – **対処** ディレクトリ名を入力し直してください。
KAIC15697-E	選択した論理グループに含まれるボリュームに対して再配置の設定はできません。DTプールに属するボリュームが存在しないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。論理グループの指定を見直してください。	**要因** DTプールに属するボリュームが存在しないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。 **対処** 論理グループの指定を見直してください。
KAIC15698-E	選択したホストに割り当てられているボリュームに対して再配置の設定はできません。DTプールに属するボリュームが選択したホストに割り当てられていないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。ホストの指定を見直してください。	**要因** DTプールに属するボリュームが選択したホストに割り当てられていないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。 **対処** ホストの指定を見直してください。
KAIC15699-E	選択したDTプールに対してボリューム再配置の設定はできません。選択したDTプールに属するボリュームが存在しないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。DTプールの指定を見直してください。	**要因** 選択したDTプールに属するボリュームが存在しないか，またはボリュームに対する更新権限がありません。 **対処** DTプールの指定を見直してください。
KAIC15700-E	選択したボリュームに対して再配置の設定はできません。選択したボリュームがDTプールに属していないか，またはDPボリュームに対する更新権限がありません。DPボリュームの指定を見直してください。	**要因** 選択したボリュームがDTプールに属していないか，またはDPボリュームに対する更新権限がありません。 **対処** DPボリュームの指定を見直してください。
KAIC15701-E	ボリューム再配置設定のタスクの実行に失敗しました。ストレージシステムの情報を更新して，対象ボリュームの設定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は，ストレージシステムのメッセージを参照し，問題を解決してからこの操作を再度実行してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新して，対象ボリュームの設定が変更されているかどうかを確認してください。対象ボリュームの設定が変更されていない場合は，ストレージシス

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		テムのメッセージを参照し，問題を解決してからこの操作を再度実行してください。
KAIC15702-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。ボリュームの数が＜ボリューム数上限＞個以内となるように選択して，再度実行してください。	**要因** – **対処** ボリュームの数が＜ボリューム数上限＞個以内となるように選択して，再度実行してください。
KAIC15711-E	重複した値が指定されています。値が重複しないように指定し直してください。	**要因** – **対処** 値が重複しないように指定し直してください。
KAIC15722-E	/mnt/を除いたディレクトリ名は＜最小文字長＞文字以上＜最大文字長＞文字以下で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC15733-E	対象のプールはメディアが混在する階層が含まれるため，操作を実行できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15734-E	対象のストレージシステムは外部LDEV階層ランク編集をサポートしていないため，操作を実行できません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**要因** – **対処** ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC15735-E	選択したボリューム(＜devNum＞)は外部ボリュームではないため，操作を実行できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15751-E	プールタイプを変更すると，階層内にメディアが混在するため操作を実行できません。プールタイプの変更を戻してください。	**要因** – **対処** プールタイプの変更を戻してください。
KAIC15752-E	選択した論理グループ(＜論理グループ名＞)の情報を表示できません。論理グループに含まれるボリュームが削除されているか，またはボリュームに参照権限がありません。論理グループの内容を見直してください。	**要因** 論理グループに含まれるボリュームが削除されているか，またはボリュームに参照権限がありません。 **対処** 論理グループの内容を見直してください。
KAIC15755-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞の性能情報を取得できませんでした。(保守情報: ＜保守情	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	報＞)保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決したあと，再実行してください。または，[ボリュームを選択]ダイアログでストレージシステム＜ストレージシステム名＞のボリュームを除いたあと，再実行してください。	**対処** 保守情報に表示されたメッセージを基に問題を解決したあと，再実行してください。または，[ボリュームを選択]ダイアログでストレージシステム＜ストレージシステム名＞のボリュームを除いたあと，再実行してください。
KAIC15757-I	変更された項目がないため，タスクは登録されませんでした。	**要因** - **対処** -
KAIC15764-E	ユーザーIDまたはパスワードが長過ぎます。ユーザIDまたはパスワードを見直してください。	**要因** - **対処** ユーザIDまたはパスワードを見直してください。
KAIC15784-E	タスクを登録できませんでした。しばらくしてから，再度操作を実行してください。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** - **対処** しばらくしてから，再度操作を実行してください。(保守情報：＜保守情報＞)
KAIC15785-E	ラベルの更新に必要な権限がありません。必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** - **対処** 必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC15786-E	この操作は，対象のストレージシステムモデル(＜ストレージシステムのModel名を″,″で連結した文字列＞)に対して実行できません。Device Managerでは，これらのストレージシステムモデルのラベルの更新をサポートしていません。設定画面を閉じ，ラベルを更新できるストレージシステムだけを選択したあと，再実行してください。	**要因** Device Managerでは，これらのストレージシステムモデルのラベルの更新をサポートしていません。 **対処** 設定画面を閉じ，ラベルを更新できるストレージシステムだけを選択したあと，再実行してください。
KAIC15787-E	選択したストレージシステムに対してラベルを更新できません。ストレージシステムにボリュームとプールがありません。ストレージシステムを選択し直してください。	**要因** ストレージシステムにボリュームとプールがありません。 **対処** ストレージシステムを選択し直してください。
KAIC15788-E	ラベル更新タスクの実行に失敗しました。対象ボリュームのラベルまたはプール名が変更されているかどうかを確認してください。変更されていない場合は，ストレージシステムのメッセージを参照し，問題を解決	**要因** - **対処** 対象ボリュームのラベルまたはプール名が変更されているかどうかを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	してからこの操作を再度実行してください。	変更されていない場合は，ストレージシステムのメッセージを参照し，問題を解決してからこの操作を再度実行してください。
KAIC15789-E	選択したボリュームはすでに予約されているか，必要な権限がありません。ボリュームを選択し直してください。	**要因** – **対処** ボリュームを選択し直してください。
KAIC15790-E	ラベル編集タスクの実行に失敗しました。対象ボリュームのラベルが変更されているかどうかを確認してください。ラベルが変更されていない場合は，ストレージシステムのメッセージを参照し，問題を解決してからこの操作を再度実行してください。	**要因** – **対処** 対象ボリュームのラベルが変更されているかどうかを確認してください。ラベルが変更されていない場合は，ストレージシステムのメッセージを参照し，問題を解決してからこの操作を再度実行してください。
KAIC15795-I	選択したDTボリュームの一部は，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，対象ボリュームから除外されました。	**要因** – **対処** –
KAIC15796-I	選択したプールに割り当てられているDTボリュームの一部は，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，対象ボリュームから除外されました。	**要因** – **対処** –
KAIC15797-I	選択したホストに割り当てられているDTボリュームの一部は，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，対象ボリュームから除外されました。	**要因** – **対処** –
KAIC15798-I	選択したサーバ/クラスタに割り当てられているDTボリュームの一部は，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，対象ボリュームから除外されました。	**要因** – **対処** –
KAIC15799-I	選択した論理グループに割り当てられているDTボリュームの一部は，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，対象ボリュームから除外されました。	**要因** – **対処** –
KAIC15800-E	選択した階層ポリシーはすでに予約されています。選択した階層ポリシーが関連するタスクが完了したあとに，再度実行してください。	**要因** – **対処** 選択した階層ポリシーが関連するタスクが完了したあとに，再度実行してください。
KAIC15801-E	未サポートの階層ポリシーを指定しているため，操作を実行できません。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAIC15804-E	ほかのユーザーがレポートをエクスポートしているため，エクスポートを実行できません。しばらくしてから，エクスポートを再実行してください。	**要因** － **対処** しばらくしてから，エクスポートを再実行してください。
KAIC15805-E	エクスポート対象のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。	**要因** － **対処** いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。
KAIC15806-W	エクスポート対象の一部のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。	**要因** － **対処** いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。
KAIC15807-E	エクスポート処理中にエラーが発生しました。ネットワークの状態に問題がないこと，Device Manager Web Serviceが正しく起動していること，エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること，指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。	**要因** － **対処** ネットワークの状態に問題がないこと，Device Manager Web Serviceが正しく起動していること，エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること，指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。
KAIC15815-E	指定したスケジュール名はすでに使用されているため，スケジュールを登録できません。スケジュール名を変更してください。	**要因** － **対処** スケジュール名を変更してください。
KAIC15816-E	スケジュールを登録できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞，原因=＜原因＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15817-E	スケジュールを登録できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15818-E	スケジュールを更新できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞，原因=＜原因＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15819-E	スケジュールを更新できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15820-E	スケジュールの情報に不整合が発生しました。（スケジュール名=＜スケジュール名＞）スケジュールを編集し，再度登録してください。	**要因** – **対処** スケジュールを編集し，再度登録してください。
KAIC15821-E	スケジュールを削除できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞，原因=＜原因＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15822-E	スケジュールを削除できませんでした。（スケジュール名=＜スケジュール名＞）エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15823-E	エクスポート処理中に予期しない内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC15824-I	エクスポートがキャンセルされました。	**要因** – **対処** –
KAIC15826-E	選択したボリューム(＜LDEV ID＞)は，仮想IDが設定されているため，プールボリュームに使用できません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC15828-E	一度に割り当てられないボリュームを複数選択しています。仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は，同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください(仮想モードがオンのボリューム=＜LDEV ID＞)。	**要因** – **対処** 仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は，同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してくださ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		い(仮想モードがオンのボリューム=＜LDEV ID＞)。
KAIC15829-E	ボリューム割り当てができないボリュームとホストグループの組み合わせが含まれています。次のどちらかの方法で対処してください。 (1)ホストグループの仮想モードがオンの場合，ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください。 (2)ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合，仮想モードがオフであるボリューム，または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** 次のどちらかの方法で対処してください。 1. ホストグループの仮想モードがオンの場合，ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリュームを選択してください。 2. ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合，仮想モードがオフであるボリューム，または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。
KAIC15842-E	タスクの実行に失敗しました。失敗したタスクの［メッセージ］欄を確認し，メッセージの対処に従ってください。	**要因** - **対処** 失敗したタスクの［メッセージ］欄を確認し，メッセージの対処に従ってください。
KAIC15850-E	ルートノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=＜ノード名＞)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 環境が正しくありません。 **対処** Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15851-E	子ノードの情報を取得できませんでした。(ノード名=＜ノード名＞)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 環境が正しくありません。 **対処** Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15852-E	データを取得できませんでした。(レポート=＜レポート名＞)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのお	**要因** 環境が正しくありません。 **対処** Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	それがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15853-E	データ構造を取得できませんでした。(レポート=＜レポート名＞)環境が正しくありません。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動したあとに再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 環境が正しくありません。 **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動したあとに再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15854-E	ユーザー情報を保存しました。(ユーザー名=＜レポート名＞， レポート=＜ユーザ名＞)環境が正しくありません。Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** 環境が正しくありません。 **対処** Device Manager サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合は，サーバを起動したあとに再度操作を実行してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15857-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため，一覧を表示できません。(件数：＜件数＞，上限値：＜上限値＞，保守情報：＜レポート名＞)一覧表示できる上限値＜上限値＞を超えました。指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。	**要因** 一覧表示できる上限値＜上限値＞を超えました。 **対処** 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。
KAIC15858-W	指定した列の組み合わせではソートできません。(列名：＜列名＞)別の列を指定してください。	**要因** － **対処** 別の列を指定してください。
KAIC15859-W	フィルタリングおよび列の表示条件を保存できません。指定したソート条件が多過ぎます。ソート条件を見直してください。	**要因** 指定したソート条件が多過ぎます。 **対処** ソート条件を見直してください。
KAIC15860-W	フィルタリングおよび列の表示条件を保存できません。指定したフィルター条件が多過ぎる，またはフィルター条件が長過ぎます。フィルター条件を見直してください。	**要因** 指定したフィルター条件が多過ぎる，またはフィルター条件が長過ぎます。 **対処** フィルター条件を見直してください。
KAIC15861-E	指定したiSCSIターゲットの情報がほかのユーザーによって変更されたおそれがあります。いったん操作を中断し，再度操作を実行してください。	**要因** － **対処** いったん操作を中断し，再度操作を実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15862-E	iSCSIターゲット名に同じ名前(＜iSCSIターゲット名＞)が指定されています。異なるiSCSIターゲット名を指定してください。	**要因** – **対処** 異なるiSCSIターゲット名を指定してください。
KAIC15864-I	Device Managerがサポートしていないドライブが含まれています。Device Managerがサポートしていないドライブは画面に表示されず，パリティグループの作成に使用できません。Device Managerがサポートしているドライブについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。	**要因** Device Managerがサポートしていないドライブは画面に表示されず，パリティグループの作成に使用できません。 **対処** Device Managerがサポートしているドライブについては，顧客問い合わせ窓口に問い合わせてください。
KAIC15867-E	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)に対して，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，実行できません。この操作をサポートしているモデルか確認してください。	**要因** – **対処** この操作をサポートしているモデルか確認してください。
KAIC15868-E	ストレージシステム上のDTプールに対して，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，実行できません。	**要因** – **対処** –
KAIC15869-W	この論理グループにはサポートしていないストレージシステム上のDTボリュームを含むため表示できません。ほかの論理グループを選択するか，サポートしているストレージシステム上のDTボリュームだけを含むように論理グループの内容を変更してください。	**要因** – **対処** ほかの論理グループを選択するか，サポートしているストレージシステム上のDTボリュームだけを含むように論理グループの内容を変更してください。
KAIC15872-E	使用できるLDEV IDが＜ボリューム数＞個不足しています。不要なボリュームを削除するか，リソースグループまたは仮想ストレージマシンにLDEV IDを登録してください。	**要因** – **対処** 不要なボリュームを削除するか，リソースグループまたは仮想ストレージマシンにLDEV IDを登録してください。
KAIC15873-E	使用できるLDEV IDが不足しています。リソースグループまたは仮想ストレージマシンにLDEV IDを登録してください。	**要因** – **対処** リソースグループまたは仮想ストレージマシンにLDEV IDを登録してください。
KAIC15874-E	ボリュームを取り出せません。条件に合うボリュームの数は＜ボリューム数＞個です。条件の指定を見直してください。またはLDEV IDをリソー	**要因** 条件に合うボリュームの数は＜ボリューム数＞個です。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	スグループまたは仮想ストレージマシンに登録してください。	条件の指定を見直してください。またはLDEV IDをリソースグループまたは仮想ストレージマシンに登録してください。
KAIC15876-E	dedupe and compressionが有効なDPボリューム（<LDEV ID>）は，ページ予約を有効にできません。ほかのボリュームを選択して，再実行してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択して，再実行してください。
KAIC15900-E	セッションの有効期限が切れました。ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)	**要因** – **対処** ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15901-E	セッションが無効です。ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)	**要因** – **対処** ログインし直してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15902-E	サーバと通信できません。再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)	**要因** – **対処** 再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15903-E	サーバと通信できません。再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)	**要因** – **対処** 再度同じ操作を実行してください。(保守情報=<保守情報>)
KAIC15904-E	外部API ＜機能名＞ に特定できないエラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15905-E	不明なメッセージが検出されました。(メッセージID=<メッセージID>，パラメータ=<メッセージのパラメータ>)顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC15906-E	製品のインストールファイル″<ファイル名>″が見つかりません。インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。上書きインストールを実行してください。	**要因** インストールディレクトリが不整合になっているおそれがあります。 **対処** 上書きインストールを実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC15907-E	製品の内部ファイル"＜ファイル名＞"へのアクセスで，I/Oエラーが発生しました（操作名 "＜操作名＞"）。インストールディレクトリが不整合になっているか，または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。プロセスの実行権限を確認してください。製品の内部ファイルが存在しない，または壊れていると思われる場合は，製品を上書きインストールしてください。	**要因** インストールディレクトリが不整合になっているか，または管理サーバプロセスが正しい権限で起動されていないことが考えられます。 **対処** プロセスの実行権限を確認してください。製品の内部ファイルが存在しない，または壊れていると思われる場合は，製品を上書きインストールしてください。
KAIC15908-E	内部エラーが発生しました。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜要因＞)	**要因** － **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜要因＞)
KAIC15950-I	アプリケーションの起動を実施しています。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15951-I	アプリケーションの起動に成功しました。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15952-E	アプリケーションの起動に失敗しました。 (保守情報：＜保守情報＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15953-I	アプリケーションの終了を開始しました。	**要因** － **対処** －
KAIC15954-I	アプリケーションの終了に成功しました。	**要因** － **対処** －
KAIC15955-E	アプリケーションの終了に失敗しました。	**要因** － **対処** －
KAIC15956-I	サーバとの接続状態をテストします。 (試行した回数：＜試行した回数＞， 試行する最大回数：＜試行する最大回数＞，接続名：＜接続名＞)	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		－
KAIC15957-I	サーバとの接続テストに成功しました。(接続名: ＜接続名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15958-E	サーバとの接続テストに失敗しました。(接続名: ＜接続名＞)各種サービスの稼働状態を確認してください。	**要因** － **対処** 各種サービスの稼働状態を確認してください。
KAIC15984-I	The task operation was successful. (method name = ＜メソッド名＞, task name = ＜タスク名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15985-E	The task operation failed. (method name = ＜メソッド名＞, task name = ＜タスク名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15986-I	The configuration was changed. (method name = ＜メソッド名＞, task name = ＜タスク名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC15987-E	The configuration could not be changed. (method name = ＜メソッド名＞, task name = ＜タスク名＞)	**要因** － **対処** －
KAIC16000-I	ログインセッションは切断されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16001-E	ユーザーIDおよびパスワードが入力されていません。ユーザーIDおよびパスワードを入力してください。	**要因** － **対処** ユーザーIDおよびパスワードを入力してください。
KAIC16002-E	サーバと通信できません。ネットワークの状態に問題がないこと，およびDevice Manager Web Serviceが正しく起動していることを確認してください。	**要因** － **対処** ネットワークの状態に問題がないこと，およびDevice Manager Web Serviceが正しく起動していることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16003-E	警告バナーを取得できません。現在，サーバの起動中か，起動できなかったおそれがあります。しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16008-E	ログインに必要なパラメータが不足しています。(保守情報=＜パラメータ名＞)同じエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 同じエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16009-E	予期しないエラーが発生しました。アプリケーションを終了します。(保守情報=＜保守情報＞) しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** アプリケーションを終了します。 しばらくしてから再実行してください。同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16010-E	タスク名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16011-E	タスク名が長過ぎます。	**要因** – **対処** –
KAIC16012-E	時刻の形式が正しくありません。時刻をHH:MM形式（Hは時間，Mは分）で入力してください。	**要因** – **対処** 時刻をHH:MM形式（Hは時間，Mは分）で入力してください。
KAIC16013-I	ライセンスキーを登録してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16014-I	ライセンスの登録が完了しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16015-E	タスクの説明が長過ぎます。タスクの説明を500バイト以内で入力してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 タスクの説明を500バイト以内で入力してください。
KAIC16016-E	入力したライセンスキーはライセンス期限が満了しています。有効なライセンスキーを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスキーを登録してください。
KAIC16017-E	選択したWWNはすでに追加されています。（WWN=＜WWN＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16018-W	サーバとの通信が中断されました。	**要因** - **対処** -
KAIC16019-I	データ収集タスクを登録しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16020-E	手動で追加したホストは，更新できません。自動的に探索して登録したホストを選択してください。	**要因** - **対処** 自動的に探索して登録したホストを選択してください。
KAIC16021-W	選択したホストに手動で追加したホストが＜更新できないホストの数＞個含まれています。これらのホストは更新されません。	**要因** - **対処** これらのホストは更新されません。
KAIC16022-I	ホストを追加しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16023-I	ホストを編集しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16024-E	完了していないタスクは，削除できません。完了しているタスクを選択してください。	**要因** - **対処** 完了しているタスクを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16025-W	選択したタスクに，完了していないタスクが＜削除できないタスクの数＞個含まれています。これらのタスクは削除されません。	**要因** – **対処** これらのタスクは削除されません。
KAIC16026-E	正しいWWNが選択または入力されていません。正しいWWNを選択または入力してください。	**要因** – **対処** 正しいWWNを選択または入力してください。
KAIC16028-I	サーバは起動途中です。しばらくお待ちください。(保守情報: ＜コンポーネント名＞)	**要因** – **対処** しばらくお待ちください。(保守情報: ＜コンポーネント名＞)
KAIC16029-E	サーバを起動できませんでした。(保守情報: ＜コンポーネント名＞ 初期化エラー)Device Managerサーバを再起動してから，ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** Device Managerサーバを再起動してから，ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16030-I	リソースグループを作成しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16031-E	リソースグループを作成できませんでした。 (パラメータ=＜パラメータ＞)いったん操作を終了して，登録するリソースの状態を確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了して，登録するリソースの状態を確認してください。
KAIC16032-I	指定したライセンスファイルが不正です。 (保守情報: ファイル名: ＜ファイル名＞, ファイルサイズ: ＜ファイルサイズ＞)	**要因** – **対処** –
KAIC16033-E	インストールされている製品のバージョン情報を取得できませんでした。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16034-I	複数のリソースグループが使用されています。設定内容が正しいか確認してください。	**要因** – **対処** 設定内容が正しいか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16035-W	選択したプールは，内部または外部，ドライブタイプ，回転数，チップタイプ，RAIDレベルなどの特性が異なるパリティグループが混在しています。	**要因** – **対処** –
KAIC16036-E	使用できるLDEV IDが不足しています。不要なボリュームを＜ボリューム数＞個削除してください。またはリソースグループにLDEV IDを登録してください。	**要因** – **対処** 不要なボリュームを＜ボリューム数＞個削除してください。またはリソースグループにLDEV IDを登録してください。
KAIC16037-E	メールアドレスが長過ぎます。	**要因** – **対処** –
KAIC16038-E	メールアドレスの形式が正しくありません。	**要因** – **対処** –
KAIC16039-E	選択したiSCSIネームはすでに追加されています。（iSCSIネーム=＜iSCSI Name＞）	**要因** – **対処** –
KAIC16040-E	＜製品名＞レポートを起動できません。HA Command Suiteまたは＜製品名＞の設定に誤りがあるおそれがあります。HA Command Suiteおよび＜製品名＞の設定を見直し，再度ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** HA Command Suiteまたは＜製品名＞の設定に誤りがあるおそれがあります。 **対処** HA Command Suiteおよび＜製品名＞の設定を見直し，再度ログインしてください。エラーが繰り返し発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16041-E	この画面を表示するためのコンポーネントを＜製品名＞から読み込めません。＜製品名＞で環境不正の可能性があります。＜製品名＞の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** ＜製品名＞で環境不正の可能性があります。 **対処** ＜製品名＞の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16042-E	この画面を表示するためのコンポーネントを＜製品名＞から読み込めません。ネットワーク障害または＜製品名＞が起動していないおそれがあります。＜製品名＞の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場合は，障	**要因** ネットワーク障害または＜製品名＞が起動していないおそれがあります。 **対処** ＜製品名＞の環境を見直し再度ログインし直してください。エラーが繰り返し発生する場

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16043-E	画面の初期化に失敗しました。再度ログインしてください。	**要因** - **対処** 再度ログインしてください。
KAIC16044-E	画面の初期化に失敗しました。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16045-E	正しいiSCSIネームが選択または入力されていません。正しいiSCSIネームを選択または入力してください。	**要因** - **対処** 正しいiSCSIネームを選択または入力してください。
KAIC16046-E	＜開始時刻フィールド名＞ より前の時刻が＜終了時刻フィールド名＞として指定されました。＜終了時刻フィールド名＞の時刻は，＜開始時刻フィールド名＞より後に指定してください。	**要因** - **対処** ＜終了時刻フィールド名＞の時刻は，＜開始時刻フィールド名＞より後に指定してください。
KAIC16050-W	RAIDレベルまたはRAID構成が同一階層に混在しているプールが選択されています。	**要因** - **対処** -
KAIC16052-E	ドロップダウンリストの項目に値が指定されていません。適切な値を選択してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16053-E	ラジオボタンの項目が選択されていません。適切なラジオボタンを選択してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16054-E	［選択済みフリースペース］に入力したボリューム数の合計が，指定したボリューム数と一致しません。合計が一致するように入力してください。入力したボリューム数合計：＜入力したボリューム数合計＞，必要なボリューム数： ＜要求ボリューム数＞	**要因** - **対処** -
KAIC16055-E	使用できるLDEV IDが不足しています。不要なボリュームを＜LDEV ID数＞個削除するか，リソースグルー	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	プにLDEV IDを登録してください。またはほかのリソースグループを選択してください。	**対処** 不要なボリュームを＜LDEV ID数＞個削除するか，リソースグループにLDEV IDを登録してください。またはほかのリソースグループを選択してください。
KAIC16056-E	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC16058-E	デスクトップアプリケーションではこの操作をサポートしていないため，実行できません。	**要因** – **対処** 他の管理ソフトウェア，もしくはWebアプリケーションのGUIをお使いください。問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16105-E	この作成の方法はサポートしていません。	**要因** – **対処** –
KAIC16106-E	ボリュームを作成できるストレージシステムがありません。ストレージシステムを登録してください。またはリソースグループにLDEV IDを登録してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムを登録してください。またはリソースグループにLDEV IDを登録してください。
KAIC16107-E	内部エラーが発生しました。同じエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜保守情報＞)	**要因** – **対処** 同じエラーが発生する場合には，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。(保守情報=＜保守情報＞)
KAIC16108-E	ボリュームを作成できるプールがありません。プールを作成してください。	**要因** – **対処** プールを作成してください。
KAIC16109-E	ボリュームを作成できるパリティグループがありません。パリティグループを作成してください。	**要因** – **対処** パリティグループを作成してください。
KAIC16110-I	前回実行したときの条件を適用できません。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC16111-E	論理グループ名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16112-E	プールが選択されていません。プールを選択してください。	**要因** – **対処** プールを選択してください。
KAIC16113-E	パリティグループが選択されていません。パリティグループを選択してください。	**要因** – **対処** パリティグループを選択してください。
KAIC16114-E	前回実行したときの条件を適用できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16115-E	このストレージシステムに関連するタスクが実行中です。このストレージシステムに関連するタスクがすべて完了したあと，再度実行してください。	**要因** – **対処** このストレージシステムに関連するタスクがすべて完了したあと，再度実行してください。
KAIC16116-E	ライセンス情報を取得できません。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC16117-E	開始アドレスより後のアドレスを指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16118-E	ホストグループ名を＜最小文字長＞文字以上＜最大文字長＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16119-E	文字＜使えない文字＞は使えません。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16120-E	入力値は16進数で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16121-E	指定できる範囲(＜最小Lun番号＞~＜最大Lun番号＞)を超えます。	**要因** – **対処** –
KAIC16122-E	ユーザー名が長すぎます。ユーザー名は255文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** ユーザー名は255文字以内で入力してください。
KAIC16123-E	パスワードが長すぎます。パスワードは255文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** パスワードは255文字以内で入力してください。
KAIC16124-E	半角英数字で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16125-E	グループ名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16126-E	不正なグループ名が入力されています。	**要因** – **対処** –
KAIC16127-E	フルネームに使用できない文字が含まれています。	**要因** – **対処** –
KAIC16128-E	半角英数字で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16129-E	Eメールアドレスは＜最大文字数＞文字以内で入力してください。入力したEメールアドレスに誤りがないか確	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	認してください。または，文字数に収まるEメールアドレスを入力してください。	**対処** 入力したEメールアドレスに誤りがないか確認してください。または，文字数に収まるEメールアドレスを入力してください。
KAIC16130-E	グループ名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, '=', '-', '_', '.', ',', '`' グループ名に使用できる文字を入力してください。	**要因** - **対処** グループ名に使用できる文字を入力してください。
KAIC16131-E	ライセンスキーファイルをアップロードできませんでした。(保守情報=<保守情報>)	**要因** - **対処** -
KAIC16132-E	外部パリティグループ番号は<最小外部ArrayGroup番号>以上<最大外部ArrayGroup番号>以下の値を入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16133-E	名前を入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16134-E	名前が長過ぎます。名前を75バイト以内で入力してください。	**要因** - **対処** 名前を75バイト以内で入力してください。
KAIC16135-E	説明が長過ぎます。説明を500バイト以内で入力してください。	**要因** - **対処** 説明を500バイト以内で入力してください。
KAIC16137-E	条件またはリソースを指定していません。少なくとも一つ以上の条件またはリソースを指定してください。	**要因** - **対処** 少なくとも一つ以上の条件またはリソースを指定してください。
KAIC16139-E	容量の値が範囲外です。<最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の間に設定してください。	**要因** - **対処** <最小容量(単位付き)>から<最大容量(単位付き)>の間に設定してください。
KAIC16140-E	割り当てられるホストがありません。ホストを追加してください。	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ホストを追加してください。
KAIC16141-E	選択したホストに割り当てられるストレージシステムがありません。選択したホストと接続できるストレージシステムを追加するか，またはホストを選択し直してください。	**要因** – **対処** 選択したホストと接続できるストレージシステムを追加するか，またはホストを選択し直してください。
KAIC16142-E	ホスト名に使用できない文字が含まれています。	**要因** – **対処** –
KAIC16143-E	過去の日付でスケジューリングされています。	**要因** – **対処** –
KAIC16144-E	タスク名に制御文字が含まれています。タスク名を変更してください。	**要因** – **対処** タスク名を変更してください。
KAIC16145-E	タスク名が長すぎます。タスク名は32バイト以内で入力してください。	**要因** – **対処** タスク名は32バイト以内で入力してください。
KAIC16146-E	選択したタスクは操作できません。タスクを選択し直してください。	**要因** – **対処** タスクを選択し直してください。
KAIC16147-W	操作できない状態のタスクを対象外にしました。(タスク名=<タスク名>)	**要因** – **対処** –
KAIC16148-E	グループ名は<最大バイト数>バイト以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16149-E	説明は<最大バイト数>文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16150-W	異なる特徴を持つパリティーグループが混在しています。	**要因** – **対処** –
KAIC16151-E	予期しないエラーが発生しました。エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 ＜スタックトレース＞	**要因** – **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。 ＜スタックトレース＞
KAIC16152-W	使用率の現在値が使用率しきい値1を超えています。使用率しきい値1は現在値より大きい値を設定してください。	**要因** – **対処** 使用率しきい値1は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16153-W	使用率の現在値が使用率しきい値2を超えています。使用率しきい値2は現在値より大きい値を設定してください。	**要因** – **対処** 使用率しきい値2は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16154-W	予約率の現在値が警告予約率を超えています。警告予約率は現在値より大きい値を設定してください。	**要因** – **対処** 警告予約率は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16155-W	予約率の現在値が最大予約率を超えています。最大予約率は現在値より大きい値を設定してください。	**要因** – **対処** 最大予約率は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16156-E	使用率しきい値1（＜使用率しきい値1＞%）は使用率しきい値2（＜使用率しきい値2＞%）より小さい値を設定すべきです。使用率しきい値1は使用率しきい値2より小さい値を設定してください。	**要因** – **対処** 使用率しきい値1は使用率しきい値2より小さい値を設定してください。
KAIC16157-E	警告予約率（＜警告予約率＞%）は最大予約率（＜最大予約率＞%）より小さい値を設定すべきです。警告予約率は最大予約率より小さい値を設定してください。	**要因** – **対処** 警告予約率は最大予約率より小さい値を設定してください。
KAIC16158-E	プール名は，＜最小文字長＞文字以上＜最大文字長＞文字以内で入力してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 –
KAIC16159-E	プール名に使用できない文字を入力しています。プール名に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.'。プール名に使用できる文字を入力してください。	**要因** – **対処** プール名に使用できる文字を入力してください。
KAIC16160-E	ラベルに使用できない文字を入力しています。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '*', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', '|', ':', ';', ''', '<', '>', ',', '.', '?', '/'。ラベルに使用できる文字を入力してください。	**要因** – **対処** ラベルに使用できる文字を入力してください。
KAIC16161-W	使用率が使用率しきい値1を超えています。プール容量を拡張してください。	**要因** – **対処** プール容量を拡張してください。
KAIC16162-W	使用率が使用率しきい値2を超えています。プール容量を拡張してください。	**要因** – **対処** プール容量を拡張してください。
KAIC16163-W	予約率が警告予約率を超えています。プール容量を拡張してください。	**要因** – **対処** プール容量を拡張してください。
KAIC16164-W	予約率が最大予約率を超えています。プール容量を拡張してください。	**要因** – **対処** プール容量を拡張してください。
KAIC16165-E	条件またはリソースが指定されていません。一つ以上の条件またはリソースを指定してください。	**要因** – **対処** 一つ以上の条件またはリソースを指定してください。
KAIC16166-E	論理グループ名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '-', '_', '.', '@', 全角文字	**要因** – **対処** 論理グループ名を入力し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	論理グループ名を入力し直してください。	
KAIC16167-E	検索条件のデバイス番号に不正な文字が含まれています。デバイス番号を見直してください。	**要因** – **対処** デバイス番号を見直してください。
KAIC16168-E	検索条件に指定されたデバイス番号の指定数が多すぎます。デバイス番号は100個以内で指定してください。	**要因** – **対処** デバイス番号は100個以内で指定してください。
KAIC16169-E	検索条件に指定したデバイス番号の形式が正しくありません。デバイス番号を正しい形式で指定してください。	**要因** – **対処** デバイス番号を正しい形式で指定してください。
KAIC16170-E	すべてのホストは削除できません。削除するホストを再度選択してください。	**要因** – **対処** 削除するホストを再度選択してください。
KAIC16171-E	すべてのボリュームは削除できません。削除するボリュームを再度選択してください。	**要因** – **対処** 削除するボリュームを再度選択してください。
KAIC16172-E	開始時刻(＜モニタリング開始時刻＞)は，終了時刻(＜モニタリング終了時刻＞)より早くなければいけません。開始時刻と終了時刻の設定を見直してください。	**要因** – **対処** 開始時刻と終了時刻の設定を見直してください。
KAIC16173-E	開始時刻(＜モニタリング開始時刻＞)と終了時刻(＜モニタリング終了時刻＞)の間が，1時間未満です。開始時刻と終了時刻の間を1時間以上空けてください。	**要因** – **対処** 開始時刻と終了時刻の間を1時間以上空けてください。
KAIC16174-E	ボリューム作成のためのプールやパリティグループがありません。プールやパリティグループを作成してください。	**要因** – **対処** プールやパリティグループを作成してください。
KAIC16175-E	検索条件に指定したプールIDの数が，101個を超えています。プールIDは100個以内で指定してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 プールIDは100個以内で指定してください。
KAIC16176-E	検索条件に指定したプールIDの形式が正しくありません。プールIDの形式は「＜PoolIDPrefix＞ 123」などです。複数指定する場合はコンマ区切りで指定してください。	**要因** – **対処** プールIDの形式は「＜PoolIDPrefix＞ 123」などです。複数指定する場合はコンマ区切りで指定してください。
KAIC16177-E	0より大きい値を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16178-E	タスク集計期間を入力されていません。タスク集計期間を入力してください。	**要因** – **対処** タスク集計期間を入力してください。
KAIC16179-E	検索条件に指定したパリティグループの形式が正しくありません。パリティグループやその形式を確認し，再度検索を実行してください。	**要因** – **対処** パリティグループやその形式を確認し，再度検索を実行してください。
KAIC16180-E	入力した値が範囲外です。＜入力できる最小値＞から＜入力できる最大値＞までの範囲で，かつ整数値を入力してください。	**要因** – **対処** ＜入力できる最小値＞から＜入力できる最大値＞までの範囲で，かつ整数値を入力してください。
KAIC16181-E	複数の値を入力する場合はコンマで区切ってください。	**要因** – **対処** –
KAIC16182-E	値の範囲を指定する場合は″-″で区切ってください。値の範囲は一組だけ指定できます。	**要因** – **対処** –
KAIC16183-E	この演算子では，値を一つだけ入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16184-E	LDEV IDの形式は「123」，「00:12」，「00:12:34」などです。複数の形式を混在させることはできません。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC16185-E	プールIDの形式は「＜プールIDのプレフィクス＞ 123」などです。	**要因** – **対処** –
KAIC16186-I	異なるストレージシステムに属するボリュームが選択されています。複数のボリュームを指定する場合，すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。	**要因** – **対処** 複数のボリュームを指定する場合，すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。
KAIC16187-E	現在の容量以下の値は入力できません。＜現在の容量＞より大きい値を入力してください。	**要因** – **対処** ＜現在の容量＞より大きい値を入力してください。
KAIC16188-E	プールの最大予約率を超えるボリュームの拡張はできません。＜拡張できる容量＞以下の値を設定してください。	**要因** – **対処** ＜拡張できる容量＞以下の値を設定してください。
KAIC16189-W	ボリュームを拡張すると，プールの警告予約率を超えます。ボリュームを拡張したあと，プールを拡張してください。	**要因** – **対処** ボリュームを拡張したあと，プールを拡張してください。
KAIC16190-E	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ホストが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC16191-E	ユーザーIDが入力されていません。ユーザーIDを入力してください。	**要因** – **対処** ユーザーIDを入力してください。
KAIC16192-E	パスワードが入力されていません。パスワードを入力してください。	**要因** – **対処** パスワードを入力してください。
KAIC16193-W	タイムアウトしました。絞込条件を追加して再実行してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		絞込条件を追加して再実行してください。
KAIC16194-E	DPボリュームの総容量(＜DPボリュームの総容量＞)が，ストレージシステムの上限値(＜ストレージシステム内のDPボリュームの合計容量の上限値＞)を超えるため，DPボリュームを拡張できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16196-W	ログインしようとした製品のライセンスが登録されていません。サーバの初期化が完了していないため，詳細な情報を表示できません。しばらくしてから画面を更新してください。	**要因** – **対処** しばらくしてから画面を更新してください。
KAIC16199-E	ホスト名に使用できない文字が含まれています。ホスト名には次の文字を使用してください：A-Z，a-z，0-9，’!’，’#’，’$’，’%’，’&’，’’’，’(’，’)’，’+’，’-’，’.’，’=’，’@’，’[’，’]’，’^’，’_’，’{’，’}’，’`’，’:’，’~’	**要因** – **対処** ホスト名には次の文字を使用してください：A-Z，a-z，0-9，’!’，’#’，’$’，’%’，’&’，’’’，’(’，’)’，’+’，’-’，’.’，’=’，’@’，’[’，’]’，’^’，’_’，’{’，’}’，’`’，’:’，’~’
KAIC16202-E	手動設定で指定できるLU番号の候補がありません。使用するストレージポートを変更するかLU番号を自動設定にしてください。	**要因** – **対処** 使用するストレージポートを変更するかLU番号を自動設定にしてください。
KAIC16203-E	指定したLU番号が重複しています。ボリューム(＜重複するボリューム群＞)，LU番号(＜重複するLUN群＞)。ボリュームごとに一意のLU番号を指定してください。	**要因** – **対処** ボリュームごとに一意のLU番号を指定してください。
KAIC16204-E	LU番号を設定していない，またはLU番号に関連するボリューム割り当て情報が変更されました。［ホストグループ，LU番号 設定］から［LU番号選択］ダイアログを表示させて，LU番号を選択してください。	**要因** – **対処** ［ホストグループ，LU番号 設定］から［LU番号選択］ダイアログを表示させて，LU番号を選択してください。
KAIC16205-E	ラベルは＜開始番号のラベル＞と合わせて，＜ラベル最大文字数(64)＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16206-E	＜開始番号のラベル＞は，＜開始番号のけた数(9)＞けた以内で入力してください。ラベルは＜開始番号のラベル＞と合わせて，＜ラベル最大文字数(64)＞文字以内で入力してください。＜ボリューム数のラベル＞を	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	変更した場合は，＜開始番号のラベル＞を見直してください。	
KAIC16207-E	ラベルは＜ラベル最大文字数(64)＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16208-E	統合先ホストは複数選択できません。統合先ホストには，ホストを一つだけ選択してください。	**要因** – **対処** 統合先ホストには，ホストを一つだけ選択してください。
KAIC16209-W	枯渇しきい値を設定しているため，使用率しきい値1を変更できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16210-E	通常ホスト以外のホスト，または手動で追加した仮想化サーバ以外のホストが選択されています。統合先ホストには，通常ホストまたは手動で追加した仮想化サーバを選択してください。	**要因** – **対処** 統合先ホストには，通常ホストまたは手動で追加した仮想化サーバを選択してください。
KAIC16211-E	リソースグループ名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16212-E	リソースグループが見つかりません。リソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了して，リソースグループを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了して，リソースグループを確認してください。
KAIC16213-E	リソースグループ名に使用できない文字を入力しています。次の文字は使用できません。：’¥¥’，’/’，’:’，’,’，’;’，’*’，’?’，’”’，’<’，’>’，’|’，全角文字 リソースグループ名を入力し直してください。	**要因** – **対処** リソースグループ名を入力し直してください。
KAIC16214-E	選択できるリソースがありません。対象のストレージシステムに登録できるリソースがあるか確認してください。	**要因** – **対処** 対象のストレージシステムに登録できるリソースがあるか確認してください。
KAIC16215-E	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため，画面に表示できません。指定した条件に合うボリューム	**要因** 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の数が上限値を超えています。指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。	**対処** 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。
KAIC16217-E	選択できるユーザーがいません。ユーザーを追加してください。	**要因** - **対処** ユーザーを追加してください。
KAIC16218-E	選択できるリソースグループがありません。リソースグループを追加してください。	**要因** - **対処** リソースグループを追加してください。
KAIC16219-W	ストレージポート(ポート名=＜ポート名＞)にFCoEポートが選択されています。ホストポートがFCoEポートであることを確認してください。	**要因** - **対処** ホストポートがFCoEポートであることを確認してください。
KAIC16220-E	FCoEポート(ポート名=＜ポート名＞)は選択できません。FCポートを選択してください。	**要因** - **対処** FCポートを選択してください。
KAIC16222-W	プールボリュームが選択されています。同じプールを構成するすべてのボリュームも登録されます。	**要因** - **対処** -
KAIC16223-I	リソースグループを編集しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16224-I	リソースグループを削除しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16225-I	ユーザーグループを作成しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)	**要因** - **対処** -
KAIC16226-I	ユーザーグループを編集しました。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)	**要因** - **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16227-E	ユーザーグループ名に使用できない文字を入力しています。使用できない文字は次のとおりです。：’″’, ’*’, ’,’, ’/’, ’:’, ’;’, ’<’, ’>’, ’?’, ’¥¥’, ’|’, 全角文字 ユーザーグループ名を入力し直してください。	**要因** – **対処** ユーザーグループ名を入力し直してください。
KAIC16228-E	ユーザーグループ名が長過ぎます。ユーザーグループ名は64文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** ユーザーグループ名は64文字以内で入力してください。
KAIC16229-E	指定したユーザーグループ名はすでに使用されています。(ユーザーグループ名=＜ユーザーグループ名＞)異なるユーザーグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 異なるユーザーグループ名を指定してください。
KAIC16230-E	ユーザーグループ名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16231-E	説明は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16232-W	選択できるストレージシステムがありません。リソースグループの作成および変更が可能なストレージシステムが登録されていません。	**要因** リソースグループの作成および変更が可能なストレージシステムが登録されていません。 **対処** –
KAIC16233-E	リソースグループからリソースを削除できません。リソースグループには一つ以上のリソースが登録されている必要があります。削除するリソースを選択し直すか，リソースグループ自体を削除してください。	**要因** リソースグループには一つ以上のリソースが登録されている必要があります。 **対処** 削除するリソースを選択し直すか，リソースグループ自体を削除してください。
KAIC16234-I	リソースグループからリソースを削除しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16235-I	リソースグループにリソースを追加しました。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC16236-I	ユーザーグループからユーザーを削除しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16237-I	ユーザーグループにユーザーを追加しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16238-I	ユーザーグループからリソースグループを削除しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16239-I	ユーザーグループにリソースグループを追加しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16240-I	リソースグループのロールを変更しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16241-I	同一ポート内で作成されるホストグループは，同一リソースグループに設定されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16242-E	必要な権限のないホストグループやiSCSIターゲット番号（<ホストグループ番号>）が割り当てられているため，選択したパスを削除できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC16244-W	プールボリュームが選択されています。同じプールを構成するすべてのボリュームも削除されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16246-E	ユーザーグループにユーザーを追加できません。ビルトインユーザーグループを複数選択している，またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。ユーザーグループを選択し直してください。	**要因** ビルトインユーザーグループを複数選択している，またはビルトインユーザーグループとユーザー定義のユーザーグループが混在しています。 **対処** ユーザーグループを選択し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16247-I	ユーザーグループの割り当てが完了しました。（ユーザーID=＜ユーザーグループ名＞）	**要因** – **対処** –
KAIC16248-I	ユーザーグループを削除しました。	**要因** – **対処** –
KAIC16250-E	同じストレージシステムの＜リソース種別＞を選択してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16251-E	対象のストレージシステムの履歴レポートダイアログを起動できません。対象のストレージシステムは，履歴レポートダイアログのラウンチをサポートしていません。	**要因** 対象のストレージシステムは，履歴レポートダイアログのラウンチをサポートしていません。 **対処** –
KAIC16256-E	データストア名はASCII文字で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16257-E	データストア名は＜最小文字数＞文字以上＜最大文字数＞文字以下で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16258-E	データストア名の先頭および末尾にはスペースを指定できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16259-W	指定した容量でボリュームを作成すると，プールの予約率が警告予約率を超えます。	**要因** – **対処** –
KAIC16261-W	幾つかのタスクは中止できません。実行中または中止中でないタスクは中止できません。実行中または中止中のタスクを中止してください。	**要因** 実行中または中止中でないタスクは中止できません。 **対処** 実行中または中止中のタスクを中止してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16262-E	選択したタスクは中止できません。実行中もしくは中止中のタスクがないか，または中止できるタスクタイプではありません。	**要因** 実行中もしくは中止中のタスクがないか，または中止できるタスクタイプではありません。 **対処** –
KAIC16264-E	テンプレート名が入力されていません。	**要因** – **対処** –
KAIC16265-E	テンプレート名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。A-Z，a-z，0-9，’ ’，’-’，’_’，’.’，’@’，全角文字 テンプレート名を入力し直してください。	**要因** – **対処** テンプレート名を入力し直してください。
KAIC16270-E	選択されたドライブの数が足りません。＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。	**要因** – **対処** ＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。
KAIC16271-E	選択されたパリティグループ番号が重複しています。別のパリティグループ番号を選択してください。	**要因** – **対処** 別のパリティグループ番号を選択してください。
KAIC16272-E	ポート番号は整数で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16273-E	ポート番号は0～65535の整数で指定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16283-E	再配置開始時間の設定が重複しています。赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。時間帯が重複しないように設定を変更してください。	**要因** 赤い四角で囲まれた時間帯が重複しています。 **対処** 時間帯が重複しないように設定を変更してください。
KAIC16284-E	選択されたドライブの数が多過ぎます。＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 ＜ドライブ数＞個のドライブを選択してください。
KAIC16285-W	参考ボリュームのLDEV IDが所属するリソースグループ(＜参考リソースグループ＞)には空きLDEV IDが無いため，作成される類似ボリュームにはリソースグループ(＜自動選択されたリソースグループ＞)のLDEV IDが割り当てられます。	**要因** － **対処** －
KAIC16286-W	参考ボリューム(＜参考リソースグループ＞)のLDEV IDが属するリソースグループに類似ボリュームのLDEV IDを追加できません。リソースグループにLDEV IDを追加するか，別のリソースグループを選択してください。	**要因** － **対処** リソースグループにLDEV IDを追加するか，別のリソースグループを選択してください。
KAIC16287-W	参考ボリュームは，＜混在したドライブ属性＞が混在したDPプールから作成されたDPボリュームです。＜混在したドライブ属性＞の項目には"いずれか"が設定されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16288-W	参考ボリュームの属するプールには割り当て条件に合致するDPボリュームが無く，当該プールから新規に作成することもできません。推奨プールが自動的に選択されます。	**要因** － **対処** 推奨プールが自動的に選択されます。
KAIC16289-I	外部ボリュームで構成されるプールが削除対象に含まれるため，タスクの実行に時間が掛かるおそれがあります。（プールID:＜プールID＞）	**要因** － **対処** －
KAIC16290-E	パリティグループ番号の開始番号を入力してください。	**要因** － **対処** －
KAIC16291-W	リソースグループに所属していない未割当LDEV IDが無いため，作成される類似ボリュームにはリソースグループ(＜自動選択されたリソースグループ＞)のLDEV IDが割り当てられます。	**要因** － **対処** －
KAIC16292-W	リソースグループに所属していない未割当LDEV IDが無いため，ボリュームを作成できません。リソースグループにLDEV IDを追加するか，別のリソースグループを選択してください。	**要因** － **対処** リソースグループにLDEV IDを追加するか，別のリソースグループを選択してください。
KAIC16293-W	パスおよびホストグループまたはiSCSIターゲットの設定が自動的に変更されました。参考ボリュームの	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	パス設定で使用されているホストグループ/iSCSIターゲットに対して設定を変更する権限がありません。パスおよびホストグループ/iSCSIターゲットの設定を確認してください。	参考ボリュームのパス設定で使用されているホストグループ/iSCSIターゲットに対して設定を変更する権限がありません。 **対処** パスおよびホストグループ/iSCSIターゲットの設定を確認してください。
KAIC16295-E	開始時刻が不正です。時間のフォーマットを確認してください。	**要因** - **対処** 時間のフォーマットを確認してください。
KAIC16296-E	終了時刻が不正です。時間のフォーマットを確認してください。	**要因** - **対処** 時間のフォーマットを確認してください。
KAIC16297-E	終了時刻は開始時刻のあとでなければなりません。時刻の指定を見直してください。	**要因** - **対処** 時刻の指定を見直してください。
KAIC16298-E	＜指定可能な最も前の時刻＞ より前の時刻が開始時刻として指定されました。現在から30日より前の時間は指定できません。時刻の指定を見直してください。	**要因** 現在から30日より前の時間は指定できません。 **対処** 時刻の指定を見直してください。
KAIC16299-E	現在時刻 ＜指定可能な最も後の時刻＞ より後の時刻が終了時刻として指定されました。現在より後の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	**要因** 現在より後の時刻は指定できません。 **対処** 時刻の指定を見直してください。
KAIC16300-E	現在時刻 ＜指定可能な最も後の時刻＞ より後の時刻が開始時刻として指定されました。現在より後の時刻は指定できません。時刻の指定を見直してください。	**要因** 現在より後の時刻は指定できません。 **対処** 時刻の指定を見直してください。
KAIC16301-E	＜指定可能な最も前の時刻＞ より前の時刻が終了時刻として指定されました。現在から30日より前の時間は指定できません。時刻の指定を見直してください。	**要因** 現在から30日より前の時間は指定できません。 **対処** 時刻の指定を見直してください。
KAIC16305-E	選択されたリソースにボリュームが含まれていません。ボリュームを含むリソースを選択して，再度実行してください。	**要因** - **対処** ボリュームを含むリソースを選択して，再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16306-W	iSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)間でホストモード(＜ホストモード＞)が異なります。ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるようにiSCSIターゲットを選択してください。	**要因** – **対処** ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるようにiSCSIターゲットを選択してください。
KAIC16307-W	iSCSIターゲット(＜iSCSIターゲット＞)間でホストモードオプション(＜ホストモードオプション＞)が異なります。ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるようにiSCSIターゲットを選択してください。	**要因** – **対処** ホストモードおよびホストモードオプションがすべて同じになるようにiSCSIターゲットを選択してください。
KAIC16308-E	割り当てを解除できるボリュームがありません。選択したボリュームはほかのタスク使用中か，すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または，ホストグループに必要な権限がないおそれがあります。ダイアログを閉じて，リソース画面でボリュームの状態を確認してください。	**要因** 選択したボリュームはほかのタスク使用中か，すでに割り当てを解除されたおそれがあります。または，ホストグループに必要な権限がないおそれがあります。 **対処** ダイアログを閉じて，リソース画面でボリュームの状態を確認してください。
KAIC16309-E	参考ボリュームの割り当て状態を再現できません。LUNセキュリティが無効のポートの数が足りません。LUNセキュリティが無効のポートを手動で追加してください。	**要因** – **対処** LUNセキュリティが無効のポートを手動で追加してください。
KAIC16310-W	参考ボリュームの属するリソースグループとは別のリソースグループに属するボリュームが，類似ボリュームとして選択されています。	**要因** – **対処** –
KAIC16311-W	複数ホストに対してiSCSI経由で割り当てられたボリュームが参考ボリュームとして選択されている場合，iSCSI ターゲットには″全ホスト共通″が初期値として選択されています。必要に応じて変更してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて変更してください。
KAIC16314-E	性能に問題のあるリソースの検出中に問題が発生しました。リソース種別:″＜リソース種別＞’ダイアログを閉じるか，前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** ダイアログを閉じるか，前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16315-W	性能に問題のあるリソースの検出中に，一部のリソースで問題が発生しました。リソース種別:″＜リソース種別＞’。以後のページにおいて，該	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	当のリソースに関する情報は正確でない可能性があります。ダイアログを閉じるか，前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は，障害対応窓口に連絡してください。	ダイアログを閉じるか，前のページに戻って再度操作を実行してください。繰り返し問題が起きる場合は，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16316-E	LU番号を設定していないボリューム，またはLU番号に関連するボリュームの割り当て情報が変更されました。［iSCSIターゲット，LU番号設定］から［LU番号選択］ダイアログを表示させて，LU番号を選択してください。	**要因** – **対処** ［iSCSIターゲット，LU番号 設定］から［LU番号選択］ダイアログを表示させて，LU番号を選択してください。
KAIC16317-E	257個以上のボリュームを一度に選択できません。ボリュームが＜選択数＞個選択されています。選択するボリュームの数を256個以下に減らしてください。	**要因** ボリュームが＜選択数＞個選択されています。 **対処** 選択するボリュームの数を256個以下に減らしてください。
KAIC16318-E	レプリケーション枯渇警告のしきい値（＜レプリケーション枯渇警告しきい値＞%）とレプリケーションデータ解放のしきい値（＜レプリケーションデータ解放しきい値＞%）の差が5%以内か，または，レプリケーション枯渇警告のしきい値（＜レプリケーション枯渇警告しきい値＞%）がレプリケーションデータ解放のしきい値（＜レプリケーションデータ解放しきい値＞%）以上です。レプリケーション枯渇警告のしきい値（＜レプリケーション枯渇警告しきい値＞%）とレプリケーションデータ解放のしきい値（＜レプリケーションデータ解放しきい値＞%）の差が5%より大きい値になるように設定してください。また，レプリケーションデータ解放のしきい値は，レプリケーション枯渇警告のしきい値よりも大きい値を指定する必要があります。	**要因** – **対処** レプリケーション枯渇警告のしきい値（＜レプリケーション枯渇警告しきい値＞%）とレプリケーションデータ解放のしきい値（＜レプリケーションデータ解放しきい値＞%）の差が5%より大きい値になるように設定してください。また，レプリケーションデータ解放のしきい値は，レプリケーション枯渇警告のしきい値よりも大きい値を指定する必要があります。
KAIC16319-W	使用率の現在値（＜現在使用率＞%）がレプリケーション枯渇警告のしきい値（＜レプリケーション枯渇警告しきい値＞%）以上です。レプリケーション枯渇警告のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。	**要因** – **対処** レプリケーション枯渇警告のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。
KAIC16320-W	使用率の現在値（＜現在使用率＞%）がレプリケーションデータ解放のしきい値（＜レプリケーションデータ解放しきい値＞%）以上です。レプリケーションの差分データと管理領域で使用されている容量を解放します。レプリケーションデータ解放の	**要因** – **対処** レプリケーションデータ解放のしきい値は現在値より大きい値を設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	しきい値は現在値より大きい値を設定してください。	
KAIC16324-W	次のポートは操作対象外のボリュームの割り当てに使用されています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。(ポート名:＜ポート名＞)	**要因** - **対処** -
KAIC16325-I	WORM設定が有効です。	**要因** - **対処** -
KAIC16329-E	説明は＜最大バイト数＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16332-E	＜1:フィールド名＞に入力した日時が不正です。日付および時間の両方を入力するか，または入力をクリアしてください。	**要因** - **対処** 日付および時間の両方を入力するか，または入力をクリアしてください。
KAIC16333-E	＜開始日時フィールド名＞より前の日時が＜終了日時フィールド名＞として指定されました。＜終了日時フィールド名＞の日時は，＜開始日時フィールド名＞よりあとに指定してください。	**要因** - **対処** ＜終了日時フィールド名＞の日時は，＜開始日時フィールド名＞よりあとに指定してください。
KAIC16334-E	ボリューム数が＜最大ボリューム数＞を超えています。[ボリュームを選択]で，＜最大ボリューム数＞以下になるようボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** [ボリュームを選択]で，＜最大ボリューム数＞以下になるようボリュームを選択してください。
KAIC16337-E	スケジュールが変更されていません。スケジュールを変更するか，ダイアログを閉じてください。	**要因** - **対処** スケジュールを変更するか，ダイアログを閉じてください。
KAIC16343-I	この見積り時間はおおよその操作実行時間であり，典型的な負荷環境下でストレージシステムが運用されていることを前提としています。	**要因** - **対処** -
KAIC16346-E	権限がないため，レポートを削除できません。削除権限のあるレポートを選択してください。	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 削除権限のあるレポートを選択してください。
KAIC16348-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。ボリュームの数が＜ボリューム数＞個以内となるように選択してください。	**要因** - **対処** ボリュームの数が＜ボリューム数＞個以内となるように選択してください。
KAIC16349-E	選択した論理グループには，DTプールに属し，必要な権限を持つDPボリュームが含まれていません。論理グループの内容を見直してください。	**要因** - **対処** 論理グループの内容を見直してください。
KAIC16355-E	＜フィールド名＞が不正です。時間および日数の両方を入力するか，または入力をクリアしてください。	**要因** - **対処** 時間および日数の両方を入力するか，または入力をクリアしてください。
KAIC16367-E	パスに使用できない文字が含まれています。次の文字は使用できません。：＜使用不可の文字＞	**要因** - **対処** -
KAIC16368-E	パスが長過ぎます。＜文字列長＞以下で入力してください。	**要因** - **対処** ＜文字列長＞以下で入力してください。
KAIC16369-E	パスの形式が正しくありません。セパレーターから開始してください。使用できるセパレーターは＜使用できるセパレータ＞です。セパレーターは連続して使用できません。	**要因** - **対処** セパレーターから開始してください。使用できるセパレーターは＜使用できるセパレータ＞です。セパレーターは連続して使用できません。
KAIC16387-E	＜最大容量＞より小さい値を入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16388-E	ラベルにストレージシステムで使用できない文字を入力しています。ストレージシステムでラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.'。ラ	**要因** ストレージシステムでラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '%', '^', '&', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ベルに使用できる文字を入力してください。	ラベルに使用できる文字を入力してください。
KAIC16389-E	ストレージシステム上のDTプールに対して，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，実行できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16390-E	ボリューム(＜VolumeのID＞)のラベルが不正です。ラベルの文字数(＜32＞文字以内)が長過ぎるか，ラベルにストレージシステムで使用できない文字が使用されています。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’~’，’`’，’!’，’@’，’#’，’$’，’%’，’^’，’&’，’(’，’)’，’_’，’+’，’–’，’=’，’{’，’}’，’[’，’]’，’;’，’.’。ラベルを見直してください。	**要因** ラベルの文字数(＜32＞文字以内)が長過ぎるか，ラベルにストレージシステムで使用できない文字が使用されています。ラベルに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’~’，’`’，’!’，’@’，’#’，’$’，’%’，’^’，’&’，’(’，’)’，’_’，’+’，’–’，’=’，’{’，’}’，’[’，’]’，’;’，’.’。 **対処** ラベルを見直してください。
KAIC16391-W	選択したボリュームの一部にラベルを反映できません。一部のボリュームは，Device Managerがラベルを反映できないストレージシステムに属しています。	**要因** 一部のボリュームは，Device Managerがラベルを反映できないストレージシステムに属しています。 **対処** –
KAIC16392-W	対象プールのハードウェア階層数が＜ハードウェア階層数＞のため，選択した階層ポリシーの割り当てしきい値について，一部の設定（＜割り当てしきい値＞）は無視されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16393-E	指定した割り当てしきい値が不正です。指定した最小値が，指定した最大値を超えています。最小値が最大値以下になるように指定してください。	**要因** 指定した最小値が，指定した最大値を超えています。 **対処** 最小値が最大値以下になるように指定してください。
KAIC16394-E	指定した割り当てしきい値が不正です。階層1の最小値と階層3の最小値の合計が100%を超えています。100%以下になるように指定してください。	**要因** 階層1の最小値と階層3の最小値の合計が100%を超えています。 **対処** 100%以下になるように指定してください。
KAIC16395-W	選択した階層ポリシーがすでに適用されているボリュームがあります。階層ポリシーをカスタマイズすると，すでに適用されているボリュームすべてに変更が適用されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16398-E	選択した項目には，エクスポート対象のレポートがありません。エクスポート対象のレポートがある項目を選択し直してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		エクスポート対象のレポートがある項目を選択し直してください。
KAIC16399-W	選択した項目には，レポートがない項目が含まれています。レポートがある項目だけエクスポートします。	**要因** – **対処** –
KAIC16400-E	ほかのユーザーがレポートをエクスポートしているため，エクスポートを実行できません。しばらくしてから，エクスポートを再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてから，エクスポートを再実行してください。
KAIC16401-E	エラーが発生しました。サーバとの通信が中断されました。ネットワークの状態に問題がないこと，およびDevice Manager Web Serviceが正しく起動していることを確認してください。	**要因** – **対処** ネットワークの状態に問題がないこと，およびDevice Manager Web Serviceが正しく起動していることを確認してください。
KAIC16402-E	エクスポート対象のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。
KAIC16403-W	エクスポート対象の一部のレポートがありません。レポートが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，レポートを確認してください。
KAIC16404-E	エクスポート処理中にエラーが発生しました。ネットワークの状態に問題がないこと，Device Manager Web Serviceが正しく起動していること，エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること，指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。	**要因** – **対処** ネットワークの状態に問題がないこと，Device Manager Web Serviceが正しく起動していること，エクスポート先ドライブの空き容量が十分にあること，指定したフォルダがエクスポート先にあることを確認してください。
KAIC16405-E	スケジュール名を入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16406-E	スケジュール名に使用できない文字が含まれています。スケジュール名を変更してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		スケジュール名を変更してください。
KAIC16407-E	スケジュール名が長過ぎます。スケジュール名は64バイト以内で入力してください。	**要因** – **対処** スケジュール名は64バイト以内で入力してください。
KAIC16408-E	スケジュールの説明が長過ぎます。スケジュールの説明を500バイト以内で入力してください。	**要因** – **対処** スケジュールの説明を500バイト以内で入力してください。
KAIC16409-E	指定できるメールアドレスは最大10個です。メールアドレスを10個以下で指定してください。	**要因** – **対処** メールアドレスを10個以下で指定してください。
KAIC16420-W	メール通知が無効に設定されているため，［通知設定］の［実行結果をE-mailで通知する］を選択しても，メールは送信されません。	**要因** – **対処** –
KAIC16422-W	参考ボリュームの割り当て設定を再現できません。ストレージシステムが変更されたため，参考ボリュームの割り当て設定が再現できなくなりました。割り当て設定を再現するためにはこのダイアログを閉じ，再度操作してください。	**要因** ストレージシステムが変更されたため，参考ボリュームの割り当て設定が再現できなくなりました。 **対処** 割り当て設定を再現するためにはこのダイアログを閉じ，再度操作してください。
KAIC16423-E	エクスポート画面表示中に予期しないエラーが発生しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16424-E	エクスポート処理中に予期しない内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** – **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC16425-W	Device Managerのボリュームラベルおよびプール名は，ストレージシステムのボリュームラベルおよびプール名ですべて上書きされます。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16426-W	ストレージシステムのボリュームラベルを上書きします。	**要因** - **対処** -
KAIC16427-W	ストレージシステムのボリュームラベルを，現在のDevice Managerのボリュームラベルで上書きします。	**要因** - **対処** -
KAIC16428-W	ストレージシステムのプール名を上書きします。	**要因** - **対処** -
KAIC16429-W	最大予約率または警告予約率を片方だけ設定することはできません。設定されていない予約率しきい値にデフォルト値を設定しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16430-E	入力したユーザー/グループ名はすでに使用されているため，使用できません。別のユーザー/グループ名を入力してください。	**要因** - **対処** 別のユーザー/グループ名を入力してください。
KAIC16431-E	ユーザー/グループ名が長過ぎます。＜文字列長＞以下で入力してください。	**要因** - **対処** ＜文字列長＞以下で入力してください。
KAIC16432-E	アクセス設定に入力した文字列が長過ぎます。＜文字列長＞以下で入力してください。	**要因** - **対処** ＜文字列長＞以下で入力してください。
KAIC16438-W	最新の性能グラフを作成中です。性能グラフを表示できません。詳細メッセージに従って対処したあと，［表示更新］ボタンをクリックするか，または画面を再表示してください。（詳細：＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** 詳細メッセージに従って対処したあと，［表示更新］ボタンをクリックするか，または画面を再表示してください。（詳細：＜メッセージ＞）
KAIC16439-W	最新の性能グラフを作成中です。表示されている情報は最新ではないおそれがあります。しばらくしてから，［表示更新］ボタンをクリックするか，または画面を再表示してください。	**要因** - **対処** しばらくしてから，［表示更新］ボタンをクリックするか，または画面を再表示してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16445-W	DPプールの予約率が最大予約率を超えても，DPボリュームを作成および拡張できます。	**要因** – **対処** –
KAIC16446-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，操作を続行するとDPプールの予約率（＜予約率＞%）が最大予約率（＜最大予約率＞%）を超えます。	**要因** – **対処** –
KAIC16447-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，DPプールの予約率（＜予約率＞%）がすでに最大予約率（＜最大予約率＞%）を超えています。	**要因** – **対処** –
KAIC16453-W	ホストグループに選択したボリューム以外のボリュームが割り当てられています。それらのボリュームは追加するホストポートからもアクセス可能になります。	**要因** – **対処** –
KAIC16454-E	本操作で割り当てられるホストがありません。いったん操作を終了し，ホストを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，ホストを確認してください。
KAIC16455-E	選択したストレージシステムでは，ブロック数に奇数を指定できません。容量をブロック以外の単位で指定するか，ブロック数を偶数で指定してください。または，奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。	**要因** – **対処** 容量をブロック以外の単位で指定するか，ブロック数を偶数で指定してください。または，奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。
KAIC16456-E	[IPアドレス/ホスト名]に入力した(″＜コントローラ0＞″，″＜コントローラ1＞″)は，入力形式が統一されていません。入力形式をIPアドレスまたはホスト名のどちらかに統一してください。	**要因** – **対処** 入力形式をIPアドレスまたはホスト名のどちらかに統一してください。
KAIC16457-I	指定したWWN（＜WWN＞）は，すでに[WWNペア]に設定されています。WWN（＜WWN＞）を設定したペアを確認してください。	**要因** – **対処** WWN（＜WWN＞）を設定したペアを確認してください。
KAIC16458-W	選択したホスト（＜ホスト名＞）の情報は編集されません。操作を実行すると，LUNパス情報の操作とWWNニックネーム設定の操作は実施されますが，ホストの情報は変更されま	**要因** – **対処** 操作後にホストの情報を更新してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	せん。操作後にホストの情報を更新してください。	
KAIC16459-W	選択したホスト（＜ホスト名＞）にはiSCSIターゲットが含まれています。iSCSIターゲットは表示されません。	**要因** – **対処** –
KAIC16460-W	選択したWWN（＜wwn＞）が割り当てられているホストグループに，割り当てられているボリュームがありません。ほかのWWNを選択するか，リソースの状態を確認し，問題がなければ操作を継続してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNを選択するか，リソースの状態を確認し，問題がなければ操作を継続してください。
KAIC16461-W	選択したWWNペアはすでに追加されています。（新規WWN=＜新規WWN＞ 既存WWN=＜既存WWN＞）ほかのWWNペアを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択してください。
KAIC16462-W	選択したWWNペアはすでに追加されています。（新規WWN=＜新規WWN＞ 既存WWN=＜既存WWN＞）ほかのWWNペアを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択してください。
KAIC16463-E	ニックネームに使用できない文字が含まれています。ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '$', '%', '&', ''', '(', ')', '+', '-', '.', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '`', '{', '}', '~', ' ', '。	**要因** – **対処** ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '$', '%', '&', ''', '(', ')', '+', '-', '.', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '`', '{', '}', '~', ' ', '。
KAIC16464-E	ニックネームに使用できない文字が含まれています。ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '$', '%', '&', ''', '(', ')', '+', '-', '.', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', '~', ' ', '。	**要因** – **対処** ニックネームに使用できる文字は次のとおりです。：A-Z, a-z, 0-9, '!', '#', '$', '%', '&', ''', '(', ')', '+', '-', '.', '=', '@', '[', ']', '^', '_', '{', '}', '~', ' ', '。
KAIC16465-E	ニックネームが長過ぎます。＜文字列長＞文字以下で入力してください。	**要因** – **対処** ＜文字列長＞文字以下で入力してください。
KAIC16466-I	下記のWWNにはホストグループごとに異なるニックネームが設定されています。この操作を続行すると，ホストグループごとに設定されているすべてのニックネームが下記のとお	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	り変更されます。操作を続行しますか？＜WWNと変更するニックネーム＞	
KAIC16467-W	WWNニックネームが不正です。ニックネームの文字数が長過ぎるか，ニックネームに使用できない文字が設定されています。ニックネームを見直してください。または，ホストグループごとにWWNニックネームを編集してください。	**要因** – **対処** ニックネームを見直してください。または，ホストグループごとにWWNニックネームを編集してください。
KAIC16470-I	暗号化するドライブが＜暗号化対象ドライブ数＞台あります。暗号化してもよいドライブであることを確認してください。	**要因** – **対処** 暗号化してもよいドライブであることを確認してください。
KAIC16471-I	選択したホストが多いため，削除に時間が掛かるおそれがあります。一度に削除するホスト数は＜ホスト数上限値＞台以下を推奨します。	**要因** – **対処** –
KAIC16472-W	指定したホストに割り当てられたボリュームの数が＜ボリューム数上限値＞を超えています。一部のボリュームを解除して，再実行してください。	**要因** – **対処** 一部のボリュームを解除して，再実行してください。
KAIC16473-I	選択したタスクはすでに再開始されているため，最後に再開始されたタスクの内容を表示しています。	**要因** – **対処** –
KAIC16474-E	指定したWWNペアは同じ値（WWN:＜wwn＞）が指定されています。ほかのWWNペアを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択してください。
KAIC16477-E	同じWWNは追加できません。（WWN=＜wwn＞)ほかのWWNペアを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択してください。
KAIC16478-E	指定されたWWN(＜追加するWWN＞)はホスト(＜ホスト名＞)ですでに使用されています。	**要因** – **対処** –
KAIC16479-W	削除対象のホストグループには，ホストに登録されていないWWNが含まれています。この操作を続行すると，ホストグループは削除されます。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	（ホストに登録されていないWWN:＜WWN＞） （該当するホストグループ:＜ホストグループ＞）	
KAIC16480-W	選択したホスト（＜ホスト名＞）の情報は編集されません。操作を実行すると，LUNパス情報の操作は実施されますが，ホストの情報は変更されません。操作実行後にホストの情報を更新してください。	**要因** – **対処** 操作実行後にホストの情報を更新してください。
KAIC16481-E	ホストグループにホストポートのWWNが設定されているストレージシステムが見つかりません。または，ポートやホストグループに対して操作に必要な権限がありません。ホストポートのWWNが設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または，対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し，必要な権限があるユーザーで操作してください。	**要因** – **対処** ホストポートのWWNが設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または，対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し，必要な権限があるユーザーで操作してください。
KAIC16482-I	追加するWWNがすでに既存のホストグループに存在する場合，[関連するLUNパス情報]は表示されません。	**要因** – **対処** –
KAIC16483-I	このストレージシステムはデータのシュレッディングをサポートしていないため，シュレッディングではなくフォーマットが実行されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16484-I	選択したボリュームの一部は，データのシュレッディングおよびフォーマットができないため，それらのボリュームに対する処理はスキップされます。必要に応じて選択したボリュームの設定を見直してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて選択したボリュームの設定を見直してください。
KAIC16485-E	選択したボリュームはどれもデータのシュレッディングおよびフォーマットができません。選択したボリュームの設定を見直してください。	**要因** – **対処** 選択したボリュームの設定を見直してください。
KAIC16486-E	仮想化に使用できるボリュームがありません。	**要因** – **対処** –
KAIC16487-E	選択したボリュームの数が上限を超えています。選択するボリュームの数を500個以下に減らしてください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		選択するボリュームの数を500個以下に減らしてください。
KAIC16488-E	仮想化サーバの場合は，iSCSIはサポートしていません。iSCSIネームを削除するか，別のOSタイプを選択してください。	**要因** - **対処** iSCSIネームを削除するか，別のOSタイプを選択してください。
KAIC16489-W	選択したWWNは，すでにほかのホストに設定されています。既存のホストからWWNを削除して登録中のホストに設定します。 （ホスト:＜hostData＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16490-I	指定した外部ストレージシステムは，Device Managerに登録されたストレージシステムではないため，ボリュームの割り当ては解除されません。	**要因** - **対処** -
KAIC16491-W	選択したパリティグループに属している内部ボリュームは削除されます。	**要因** - **対処** -
KAIC16492-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。仮想化を解除できるパリティグループだけが次の一覧に追加されています。仮想化できないパリティグループを確認するには，パリティグループ選択をクリックしてください。	**要因** - **対処** -
KAIC16494-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。仮想化を解除できないパリティグループを確認するには，パリティグループ選択をクリックしてください。	**要因** - **対処** 仮想化を解除できないパリティグループを確認するには，パリティグループ選択をクリックしてください。
KAIC16495-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。次の一覧を確認してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16496-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。	**要因** - **対処** -
KAIC16498-W	未割り当てのDPボリュームに対して，指定したCLPRが設定されます。割り当て済みのDPボリュームのCLPRは変更されません。	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC16499-W	未割り当てのDPボリュームに対して，指定したCLPRが設定されます。割り当て済みのDPボリュームのCLPRは変更されません。プラン詳細のボリューム情報を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16500-I	内部ストレージシステムにUniversal Volume Managerがインストールされていません。Universal Volume Managerがインストールされていない場合は，リモートコマンドデバイスだけが作成できます。	**要因** – **対処** –
KAIC16501-E	内部ストレージシステムに利用可能なポートが見つかりません。ポートの設定確認をお勧めします。	**要因** – **対処** –
KAIC16503-I	指定したIOPSの値域の上限より大きな読み込み/書き込みIOPSがあるため，IOPSの値域を拡張しました。表示されているIOPSより大きな値を指定してください。	**要因** – **対処** 表示されているIOPSより大きな値を指定してください。
KAIC16504-W	仮想化を解除できないパリティグループがあります。プラン詳細を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16505-W	削除できないホストグループがあります。プラン詳細を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16508-E	仮想化を解除できるパリティグループがありません。プラン詳細を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16509-W	この外部ストレージシステムからはシリアル番号を取得できません。このモデルのストレージシステムが複数接続されている場合は，1台の外部ストレージシステムに属するパスだけが正しく選択されるように設定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16510-E	利用できるパスがどのポートにも見つかりません。ポート，パス，外部ストレージシステムを確認してください。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16511-W	次のポートには利用できるパスが見つかりません：＜portsWithOutPaths＞。ポート，パス，外部ストレージシステムを確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16512-W	削除できない外部ボリュームがあります。プラン詳細を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16513-W	このモデルのストレージシステムは，1台ごとに識別できません。このモデルのストレージシステムが複数接続されている場合は，外部ストレージポートWWNで外部ストレージシステムを特定してください。外部ストレージポートWWNが表示されていないときは，［列の表示・非表示］ダイアログで設定してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16514-W	利用できないボリュームが見つかりました。検出された外部ボリュームの仮想化可否を確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16515-E	利用できるボリュームが見つかりません。外部パスを再度選択してボリュームを探索してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16516-E	パリティグループが見つかりません。別のストレージシステムを選択してください。	**要因** – **対処** 別のストレージシステムを選択してください。
KAIC16517-I	異なる外部LDEV階層ランクのプールボリュームが階層3に混在しています。	**要因** – **対処** –
KAIC16518-W	ホスト検出は，管理下のストレージシステムにあるホストグループ/iSCSI ターゲットから，それらに登録されているWWN/iSCSI Nameを持つホストを自動的に作成し，そのホストにホストグループ/iSCSI ターゲット名を付けます。最良の結果を得るためには，以下の条件を満たす環境が必要です。	**要因** – **対処** –
KAIC16521-E	仮想ストレージマシン名を入力してください。	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAIC16522-E	仮想ストレージマシン名は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** － **対処** －
KAIC16523-I	プールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームが選択されています。同じDPプールを構成するすべてのボリュームも同時に仮想ストレージマシンに登録されます。重複排除機能が有効な場合は，重複排除用システムデータボリュームも同時に登録されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16524-I	プールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームが選択されています。同じDPプールを構成するすべてのボリュームも同時に仮想ストレージマシンから削除されます。重複排除機能が有効な場合は，重複排除用システムデータボリュームも同時に削除されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16525-W	連結パリティグループに設定されているパリティグループが選択されています。選択したパリティグループに連結されているすべてのパリティグループも登録されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16526-W	連結パリティグループに設定されているパリティグループが選択されています。選択したパリティグループに連結されているすべてのパリティグループが同時に削除されます。	**要因** － **対処** －
KAIC16527-E	仮想ストレージマシン名に使用できない文字を入力しています。使用できない文字は次のとおりです。: サロゲートペア(1文字が4バイトの文字)仮想ストレージマシン名を入力し直してください。	**要因** － **対処** 仮想ストレージマシン名を入力し直してください。
KAIC16528-I	ストレージシステムのデフォルト仮想ストレージマシンは名前を変更できません。	**要因** － **対処** －
KAIC16529-E	入力した値が範囲外です。＜シリアル番号最小値＞から＜シリアル番号最大値＞までの範囲で，かつ＜桁数＞桁の整数値を入力してください。	**要因** － **対処** －
KAIC16530-W	パスが設定されているボリュームが含まれているため，リソースを削除	**要因** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	できません。リソースを確認してください。	**対処** リソースを確認してください。
KAIC16531-W	ほかのタスクで使用されているリソースが含まれているためリソースを削除できません。ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC16532-W	仮想IDが設定されているポートに割り当てられたホストグループ番号が含まれているため，リソースを削除できません。リソースを確認してください。	**要因** – **対処** リソースを確認してください。
KAIC16533-W	パスが設定されているホストグループ番号が含まれているため，リソースを削除できません。リソースを確認してください。	**要因** – **対処** リソースを確認してください。
KAIC16534-W	仮想IDが設定されているポートが含まれているため，リソースを削除できません。リソースを確認してください。	**要因** – **対処** リソースを確認してください。
KAIC16537-W	仮想属性が"AM Reserved"のボリュームが含まれているため，リソースを削除できません。リソースを確認してください。	**要因** – **対処** リソースを確認してください。
KAIC16541-E	選択した対象の情報を表示できません。この画面の表示履歴は履歴リストから削除されます。対象が削除されたおそれがあります。	**要因** 対象が削除されたおそれがあります。 **対処** –
KAIC16542-E	ストレージシステムを追加できません。仮想ストレージマシンに追加できるストレージシステムは1件です。	**要因** 仮想ストレージマシンに追加できるストレージシステムは1件です。 **対処** –
KAIC16543-E	ストレージシステムのデフォルト仮想ストレージマシンは編集できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16544-I	発生元が削除されたアラートも同時に削除します。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16548-E	″＜予約語＞”はシステムで予約されているため，リソースグループ名に使用できません。	**要因** – **対処** –
KAIC16549-E	″＜予約語＞”で終わる文字列はシステムで予約されているため，リソースグループ名に使用できません。文字列″＜予約語＞”で終わらないリソースグループ名を指定してください。	**要因** – **対処** 文字列″＜予約語＞”で終わらないリソースグループ名を指定してください。
KAIC16550-W	選択したパリティグループは，連結パリティグループを構成しています。同じ連結パリティグループを構成するすべてのパリティグループも登録対象となります。	**要因** – **対処** –
KAIC16551-W	選択したパリティグループは，連結パリティグループを構成しています。同じ連結パリティグループを構成するすべてのパリティグループも削除対象となります。	**要因** – **対処** –
KAIC16552-E	テンプレート名に使用できない文字を入力しています。使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’-’，’_’，’.’，’@’，全角文字 テンプレート名を入力し直してください。	**要因** – **対処** テンプレート名を入力し直してください。
KAIC16553-I	選択したボリュームには，リソースグループに割り当てられていないボリュームが含まれています。この操作を続行すると，リソースグループに割り当てられていないボリュームは，選択した仮想ストレージマシンに割り当てられます。設定内容が正しいか確認してください。	**要因** – **対処** 設定内容が正しいか確認してください。
KAIC16554-E	仮想ストレージマシンが見つかりません。仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC16555-I	指定したリソースの数が＜閾値＞を超えています。タスク登録に数分間掛かることがあります。	**要因** – **対処** –
KAIC16556-W	クイックフォーマットは，ホストのI/O性能に影響を与えます。クイックフォーマットを実行するときの注意事項については，「HA Command	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Suite ユーザーズガイド」を参照してください。	-
KAIC16557-I	変更した名前はストレージシステムに反映されます。	**要因** - **対処** -
KAIC16558-E	名前にストレージシステムで使用できない文字を入力しています。ストレージシステムで名前に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.'。名前に使用できる文字を入力してください。	**要因** ストレージシステムで名前に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ' ', '~', '`', '!', '@', '#', '$', '(', ')', '_', '+', '-', '=', '{', '}', '[', ']', ''', '.'。 **対処** 名前に使用できる文字を入力してください。
KAIC16559-E	名前は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16560-I	正側DPプールまたはパリティグループに選択された既存ボリュームはありません。	**要因** - **対処** -
KAIC16561-E	LUNパスオプションの設定が不正です。正側と副側のどちらのボリュームにも割り当てられていないホストがあります。LUNパスの設定を確認してください。	**要因** 正側と副側のどちらのボリュームにも割り当てられていないホストがあります。 **対処** LUNパスの設定を確認してください。
KAIC16562-E	不正な文字が名称に使われています。次の文字を使用してください : A-Z, a-z, 0-9,'-','_','.','@'	**要因** - **対処** 次の文字を使用してください : A-Z, a-z, 0-9,'-','_','.','@'
KAIC16563-E	ペア名が長過ぎます。26文字以内のペア名を指定してください。	**要因** - **対処** 26文字以内のペア名を指定してください。
KAIC16564-E	コピーグループ名が長過ぎます。31文字以内のコピーグループ名を指定してください。	**要因** - **対処** 31文字以内のコピーグループ名を指定してください。
KAIC16565-E	入力した名称は不正です。ハイフン (-) は，名称の先頭には使用でき	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ません。名称を指定し直してください。	ハイフン（-）は，名称の先頭には使用できません。 **対処** 名称を指定し直してください。
KAIC16566-E	指定した値は範囲外です。0から＜max number＞の値を入力してください。	**要因** - **対処** 0から＜max number＞の値を入力してください。
KAIC16567-E	ボリューム数が1を超える場合，このフィールドを空にできません。	**要因** - **対処** -
KAIC16569-E	指定した値は範囲外です。0から899または999から4093の整数値を入力してください。	**要因** - **対処** 0から899または999から4093の整数値を入力してください。
KAIC16575-W	正側と副側で選択したホストモードオプションが異なります。	**要因** - **対処** -
KAIC16576-W	正側と副側で選択したホストモードが異なります。	**要因** - **対処** -
KAIC16577-I	選択したActive Mirrorボリュームは，P-VOLとS-VOLのボリューム特性が異なります。	**要因** - **対処** -
KAIC16578-E	選択した正ストレージシステムと副ストレージシステムで使用できるQuorumディスクがありません。Quorumディスクを設定してください。またはストレージシステムを確認してください。	**要因** - **対処** Quorumディスクを設定してください。またはストレージシステムを確認してください。
KAIC16579-I	選択したボリュームにActive Mirrorペアボリュームが含まれています。画面下部に表示されている，Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームの情報を参照して，LUNパスを編集してください。	**要因** - **対処** 画面下部に表示されている，Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームの情報を参照して，LUNパスを編集してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16580-W	Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームに情報を取得できないボリュームが含まれています。対象のボリュームが属するストレージシステムが登録されていないか，情報が更新されていない，または対象のボリュームを参照するための権限がないおそれがあります。対象のボリュームが属するストレージシステムの状態を確認してください。また，対象のボリュームを参照する権限があるユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** 対象のボリュームが属するストレージシステムが登録されていないか，情報が更新されていない，または対象のボリュームを参照するための権限がないおそれがあります。 **対処** 対象のボリュームが属するストレージシステムの状態を確認してください。また，対象のボリュームを参照する権限があるユーザーで実行するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC16581-W	選択したプールに，Active Mirrorペアボリュームが含まれています。DTの設定を変更する場合，Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームがあるプールにも，同様の設定を適用することを推奨します。	**要因** - **対処** DTの設定を変更する場合，Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームがあるプールにも，同様の設定を適用することを推奨します。
KAIC16582-E	タスク(＜task name＞)が失敗しました。タスク詳細を開きエラー内容を確認してください。	**要因** - **対処** タスク詳細を開きエラー内容を確認してください。
KAIC16583-I	タスク(＜task name＞)を登録しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16584-I	タスク(＜task name＞)が成功しました。	**要因** - **対処** -
KAIC16586-E	ストレージシステムを選択できません。Quorumディスクを作成できるストレージシステムが登録されていません。条件を確認して，ストレージシステムを登録してください。	**要因** Quorumディスクを作成できるストレージシステムが登録されていません。 **対処** 条件を確認して，ストレージシステムを登録してください。
KAIC16587-E	QuorumディスクID（＜quorum disk id＞）はすでに使用されています。対象ボリュームがリモートストレージシステムで仮想化され，すでにQuorumディスクとして使用されているため，このQuorumディスクと同じID（＜quorum disk id＞）を設定する必要があります。設定を見直すか，Quorumディスク（＜quorum disk	**要因** 対象ボリュームがリモートストレージシステムで仮想化され，すでにQuorumディスクとして使用されているため，このQuorumディスクと同じID（＜quorum disk id＞）を設定する必要があります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	id＞）を削除し，ID（＜quorum disk id＞）を使用できる状態にしてから，再操作してください。	設定を見直すか，Quorumディスク（＜quorum disk id＞）を削除し，ID（＜quorum disk id＞）を使用できる状態にしてから，再操作してください。
KAIC16588-E	使用できるQuorumディスクIDがありません。QuorumディスクIDが正ストレージシステムか副ストレージシステムのどちらかで使用されています。使用されていないQuorumディスクを削除し，両方のストレージシステムで同じQuorumディスクIDを使用できる状態にしてから，再操作してください。	**要因** QuorumディスクIDが正ストレージシステムか副ストレージシステムのどちらかで使用されています。 **対処** 使用されていないQuorumディスクを削除し，両方のストレージシステムで同じQuorumディスクIDを使用できる状態にしてから，再操作してください。
KAIC16589-W	正側と副側で選択したLUの開始番号が異なります。	**要因** － **対処** －
KAIC16590-E	このフィールドを空にできません。名称を指定してください。	**要因** － **対処** 名称を指定してください。
KAIC16591-W	正側と副側で選択したボリュームタイプが異なります。	**要因** － **対処** －
KAIC16593-W	正側で指定した条件に合うDPプールまたはパリティグループがありません。手動で選択するか条件を変更してください。	**要因** － **対処** 手動で選択するか条件を変更してください。
KAIC16594-W	正側と副側で選択したパス数が異なります。	**要因** － **対処** －
KAIC16595-W	選択したリソースはデフォルト仮想ストレージマシンに属しているため，削除できません。リソースを確認してください。	**要因** － **対処** リソースを確認してください。
KAIC16596-W	副ボリュームを自動設定できません。手動でボリュームを選択するか，条件を変更してください。	**要因** － **対処** 手動でボリュームを選択するか，条件を変更してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16597-E	指定したボリューム容量ではQuorumディスクは作成できません。Quorumディスクには12.01GB以上が必要です。ボリュームの容量を見直してください。	**要因** Quorumディスクには12.01GB以上が必要です。 **対処** ボリュームの容量を見直してください。
KAIC16600-E	選択したストレージシステムとの間にリモートパスが設定されているストレージシステムがありません。リモートパスを設定するか，または，ほかの正ストレージシステムを選択してください。	**要因** – **対処** リモートパスを設定するか，または，ほかの正ストレージシステムを選択してください。
KAIC16601-W	正側と副側で内部/外部の指定が異なります。同じ構成にすることを推奨します。	**要因** – **対処** –
KAIC16606-W	選択したボリュームにActive Mirrorペアボリュームが含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様に操作することを推奨します。	**要因** – **対処** Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様に操作することを推奨します。
KAIC16607-W	操作対象のボリュームにActive Mirrorペアボリューム（<LDEV IDs>）が含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様に階層ポリシーを編集することを推奨します。	**要因** – **対処** Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様に階層ポリシーを編集することを推奨します。
KAIC16610-E	選択したボリュームはコマンドデバイスとして割り当てられません。コマンドデバイスオプションは割り当てるボリュームが1つのときだけ有効です。ボリュームを1つだけ選択してください。複数のボリュームをコマンドデバイスにしたい場合は，ボリュームごとに操作を繰り返してください。	**要因** コマンドデバイスオプションは割り当てるボリュームが1つのときだけ有効です。 **対処** ボリュームを1つだけ選択してください。複数のボリュームをコマンドデバイスにしたい場合は，ボリュームごとに操作を繰り返してください。
KAIC16615-E	選択したWWN（<WWN>）を削除できません。Active Mirrorペアボリュームが使用しているホストグループの最後のWWNです。いったん操作を終了し，ホストグループを確認してください。	**要因** Active Mirrorペアボリュームが使用しているホストグループの最後のWWNです。 **対処** いったん操作を終了し，ホストグループを確認してください。
KAIC16617-W	選択したDPプール（<プールID>）にActive Mirrorペアボリュームが含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームがあるDPプールも，同様に操作することを推奨します。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームがあるDPプールも，同様に操作することを推奨します。
KAIC16618-I	正側と副側でDTプールが選択されています。同じ階層構成のDTプールを使用することを推奨します。	**要因** – **対処** –
KAIC16620-E	DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを追加できません。DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを追加するには，DPプールタブのプールを選択して追加してください。	**要因** – **対処** DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを追加するには，DPプールタブのプールを選択して追加してください。
KAIC16621-E	DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを削除できません。DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを削除するには，DPプールタブのプールを選択して削除してください。	**要因** – **対処** DPプールボリュームまたは重複排除用システムデータボリュームを削除するには，DPプールタブのプールを選択して削除してください。
KAIC16622-I	同じDPプールを構成するすべてのボリュームも同時に登録されます。重複排除機能が有効な場合は，重複排除用システムデータボリュームも同時に登録されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16623-I	同じDPプールを構成するDPプールボリュームも同時に削除されます。重複排除機能が有効な場合は，重複排除用システムデータボリュームも同時に削除されます。	**要因** – **対処** –
KAIC16628-E	説明は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** – **対処** –
KAIC16629-E	説明に使用できない文字を入力しています。説明に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z, a-z, 0-9, ’ ’, ’~’, ’`’, ’!’, ’@’, ’#’, ’$’, ’%’, ’^’, ’&’, ’(’, ’)’, ’_’, ’+’, ’-’, ’=’, ’{’, ’}’, ’[’, ’]’, ’’’, ’.’。説明に使用できる文字を入力してください。	**要因** – **対処** 説明に使用できる文字を入力してください。
KAIC16630-W	選択できるホストがありません。ホストを登録するか，手動でボリュームを選択してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ホストを登録するか，手動でボリュームを選択してください。
KAIC16646-E	選択したリソースはロックされています。移動したい場合は，リソースのロックを解除してください。	**要因** - **対処** 移動したい場合は，リソースのロックを解除してください。
KAIC16647-E	選択したリソースを移動できません。割り当てを見直してください。	**要因** - **対処** 割り当てを見直してください。
KAIC16651-W	選択したボリューム（＜割り当てのないLDEV＞）が割り当てられているホストがありません。ホストがDevice Managerに登録されていないか，またはLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられています。ホストが登録されていない場合は，登録することを推奨します。	**要因** ホストがDevice Managerに登録されていないか，またはLUNセキュリティ無効のポートに割り当てられています。 **対処** ホストが登録されていない場合は，登録することを推奨します。
KAIC16653-E	割り当て変更の対象に選択したリソースは，ロックできません。	**要因** - **対処** -
KAIC16674-I	ボリュームを仮想化するときに，次のホストグループにホストモードオプション（＜ホストモードオプション＞）を設定します。（ホストグループ: ＜ホストグループ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16679-W	性能情報を表示できません。（リソース種別：＜リソース種別＞，ストレージシステム名：＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16681-I	ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）で作成できるDPボリュームの上限値が＜容量＞であるため，ボリューム容量のデフォルト値が変更されました。	**要因** - **対処** -
KAIC16683-E	選択したパリティグループに外部パリティグループが含まれているため，この操作はできません。パリティグループを選択しなおしてください。	**要因** - **対処** パリティグループを選択しなおしてください。
KAIC16684-E	選択したパリティグループに外部パリティグループが含まれているため，この操作はできません。外部パリティグループを削除したい場合	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	は，ボリューム仮想化解除を実行してください。	外部パリティグループを削除したい場合は，ボリューム仮想化解除を実行してください。
KAIC16685-W	選択したボリュームを拡張すると，プールの使用率しきい値1を超えます。ボリュームを拡張したあと，プールを拡張してください。	**要因** – **対処** ボリュームを拡張したあと，プールを拡張してください。
KAIC16686-E	プールの使用率しきい値2を超えるため，DPボリュームを拡張できません。次のどれかの方法で対処してください。 ・プールを拡張する。 ・ボリュームの容量を＜拡張できる容量＞以下に設定する。 ・使用率しきい値2を変更する。	**要因** – **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ プールを拡張する。 ・ ボリュームの容量を＜拡張できる容量＞以下に設定する。 ・ 使用率しきい値2を変更する。
KAIC16687-W	指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを割り当てると，プールの使用率が使用率しきい値1を超えます。必要に応じて，プールを拡張してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて，プールを拡張してください。
KAIC16688-E	指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを割り当てると，プールの使用率が使用率しきい値2を超えます。次のどれかの方法で対処してください。 ・ほかのプールを選択する。 ・プールを拡張する。 ・ボリュームの容量を減らす。 ・ページ予約を無効にする。 ・使用率しきい値2を変更する。	**要因** – **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ ボリュームの容量を減らす。 ・ ページ予約を無効にする。 ・ 使用率しきい値2を変更する。
KAIC16690-I	この画面を閉じると，設定した内容は破棄されます。よろしいですか？	**要因** – **対処** –
KAIC16698-W	正側と副側でページ予約の設定が異なるペアがあります。ページ予約の設定は，正側と副側で同じにすることを推奨します。	**要因** – **対処** –
KAIC16699-I	システムタスク（＜タスク名＞）でQuorumディスク設定を実行中です。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16700-I	システムタスク（＜タスク名＞）でQuorumディスク設定が完了しました。ストレージシステムの情報を更新します。完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16701-E	システムタスク（＜タスク名＞）でQuorumディスク設定が失敗しました。システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）
KAIC16702-I	システムタスク（＜タスク名＞）でQuorumディスク設定の状態が＜ステータス＞です。システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）
KAIC16703-I	システムタスク（＜タスク名＞）でストレージシステムの情報更新が完了しました。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** -
KAIC16704-E	システムタスク（＜タスク名＞）でストレージシステムの情報更新に失敗しました。システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）	**要因** - **対処** システムタスク一覧でタスクの状態を確認してください。（ストレージシステム:＜ストレージシステム名＞）
KAIC16705-E	登録可能なストレージシステムが＜ストレージ数＞台見つかりました。一度に登録できるストレージシステムは＜上限値＞台までです。SVP IPアドレス/ホスト名を指定し直して，再度，探索してください。	**要因** 一度に登録できるストレージシステムは＜上限値＞台までです。 **対処** SVP IPアドレス/ホスト名を指定し直して，再度，探索してください。
KAIC16706-E	登録可能なストレージシステムが見つかりませんでした。SVP IPアドレス/ホスト名を確認して，再度，探索してください。	**要因** - **対処** SVP IPアドレス/ホスト名を確認して，再度，探索してください。
KAIC16708-W	データを取得できませんでした。この画面でエラーが発生している個所がないか確認してください。	**要因** - **対処** この画面でエラーが発生している個所がないか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC16709-E	予期しないエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。(保守情報：＜保守情報＞)	**要因** - **対処** 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。(保守情報：＜保守情報＞)
KAIC16710-I	iStorage Vシリーズの場合は，[OK]ボタンをクリックするとSVP，maintenance utilityおよびRAID Managerへのログイン時にHDvMでユーザーアカウントを認証する設定を自動的に実施します。	**要因** - **対処** -
KAIC16713-E	名前は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16714-E	説明は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16717-E	指定したパスを設定できません。指定したポートには使用できるiSCSIターゲットがありません。パスの指定を見直すか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** 指定したポートには使用できるiSCSIターゲットがありません。 **対処** パスの指定を見直すか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC16719-W	DTプールのプールボリュームに外部ボリュームを使用する場合，キャッシュモードが無効の外部ボリュームを含む構成は推奨しません。	**要因** - **対処** -
KAIC16720-W	DPプールのプールボリュームに内部ボリュームと外部ボリュームを混在して使用する構成は推奨しません。	**要因** - **対処** -
KAIC16721-W	DPプールのプールボリュームに外部ボリュームを使用する場合，キャッシュモードの有効/無効が混在する構成は推奨しません。	**要因** - **対処** -
KAIC16726-E	説明に使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'，全角文字。	**要因** 使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'，全角文字。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	説明に使用できる文字を入力してください。	**対処** 説明に使用できる文字を入力してください。
KAIC16728-E	説明に使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’-’，’_’，’.’，’@’，全角文字。説明に使用できる文字を入力してください。	**要因** 使用できる文字は次のとおりです。：A-Z，a-z，0-9，’ ’，’-’，’_’，’.’，’@’，全角文字。 **対処** 説明に使用できる文字を入力してください。
KAIC16730-E	選択したストレージシステムの組み合わせはサポートしていません。正側および副側ストレージシステムは同じモデルである必要があります。設定を見直してください。	**要因** 正側および副側ストレージシステムは同じモデルである必要があります。 **対処** 設定を見直してください。
KAIC16732-W	副側のパスを自動設定できません。正側でFCとiSCSIのパスが混在しています。Active Mirrorペアボリュームのパスは FCまたはiSCSIのどちらかに統一することを推奨します。	**要因** 正側でFCとiSCSIのパスが混在しています。 **対処** Active Mirrorペアボリュームのパスは FCまたはiSCSIのどちらかに統一することを推奨します。
KAIC16733-I	指定した内部ストレージシステムには外部接続できるiSCSIポートがあります。このダイアログでは，iSCSIポートを使用したボリューム仮想化はできません。iSCSIポートを使用する場合はヘルプを参照してください。	**要因** このダイアログでは，iSCSIポートを使用したボリューム仮想化はできません。 **対処** iSCSIポートを使用する場合はヘルプを参照してください。
KAIC16734-E	ボリューム仮想化ができません。指定した内部ストレージシステムにある外部接続できるポートは，すべてiSCSIポートです。iSCSIポートを使用してボリューム仮想化を実行する場合はヘルプを参照してください。	**要因** 指定した内部ストレージシステムにある外部接続できるポートは，すべてiSCSIポートです。 **対処** iSCSIポートを使用してボリューム仮想化を実行する場合はヘルプを参照してください。
KAIC16735-I	指定した内部ストレージシステムにはiSCSIポートを使用した外部接続ボリュームがあります。このダイアログでは，iSCSIポートを使用した外部接続ボリュームのボリューム仮想化解除はできません。iSCSIポートを使用する場合はヘルプを参照してください。	**要因** このダイアログでは，iSCSIポートを使用した外部接続ボリュームのボリューム仮想化解除はできません。 **対処** iSCSIポートを使用する場合はヘルプを参照してください。
KAIC16736-E	ボリューム仮想化を解除できません。指定した内部ストレージシステムにある外部接続ボリュームは，すべてiSCSIポートを使用しています。iSCSIポートを使用してボリューム仮想化を解除する場合はヘルプを参照してください。	**要因** 指定した内部ストレージシステムにある外部接続ボリュームは，すべてiSCSIポートを使用しています。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		iSCSIポートを使用してボリューム仮想化を解除する場合はヘルプを参照してください。
KAIC16737-E	PDFファイルの保存中にエラーが発生しました。保存先のディスクの空き容量，書き込みできる状態であるかどうかなどを確認してください。	**要因** - **対処** 保存先のディスクの空き容量，書き込みできる状態であるかどうかなどを確認してください。
KAIC16742-E	IPアドレスまたはホスト名に使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，' '，'~'，'`'，'!'，'@'，'#'，'$'，'('，')'，'_'，'+'，'-'，'='，'{'，'}'，'['，']'，':'，';'，'.'	**要因** - **対処** -
KAIC16743-E	IPアドレスまたはホスト名は＜最大文字数＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16744-E	IPアドレスまたはホスト名を入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16745-I	選択したストレージポートのホストグループのホストモードオプション（＜ホストモードオプション＞）が有効に設定されているため，ゼロページ破棄を実行しません。	**要因** - **対処** -
KAIC16747-E	説明に使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'。説明に使用できる文字を入力してください。	**要因** 使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'。 **対処** 説明に使用できる文字を入力してください。
KAIC16749-E	説明に使用できない文字が含まれています。使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'。説明に使用できる文字を入力してください。	**要因** 使用できる文字は次のとおりです。: A-Z，a-z，0-9，' '，'-'，'_'，'.'，'@'。 **対処** 説明に使用できる文字を入力してください。
KAIC16751-W	ホストグループの非対称アクセス状態に設定している”Active/Non-Optimized”が有効になりません。ボリュームにALUAが設定されていません。必要に応じて，ボリュームのALUAを有効に設定するか，非対称アクセス状態を変更してください。	**要因** ボリュームにALUAが設定されていません。 **対処** 必要に応じて，ボリュームのALUAを有効に設定するか，非対称アクセス状態を変更してください。
KAIC16752-I	＜正側 / 副側＞のストレージシステムはALUAをサポートしていません。必要に応じて、ストレージシステム	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	のマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**対処** 必要に応じて、ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC16753-W	ALUA設定を有効にするためには，ボリューム（＜ボリューム＞）を再認識させるための操作をホストで実施する必要があります。	**要因** – **対処** –
KAIC16754-I	ホストグループの非対称アクセス状態が” Active/Non-Optimized”のため，ALUAの設定を有効にします。	**要因** – **対処** –
KAIC16755-E	ボリューム(＜1ボリューム＞)の割り当てができません。T10 PI属性が有効なボリュームに対してT10 PIモードが無効なポートのパスを選択しています。手動ボリューム選択でT10 PI属性が無効なボリュームを選択するか，T10 PIモードが有効なポートのパスを選択して操作し直してください。	**要因** T10 PI属性が有効なボリュームに対してT10 PIモードが無効なポートのパスを選択しています。 **対処** 手動ボリューム選択でT10 PI属性が無効なボリュームを選択するか，T10 PIモードが有効なポートのパスを選択して操作し直してください。
KAIC16756-E	ボリューム(＜1ボリューム＞)のLUNパスを編集できません。T10 PI属性が有効なボリュームに対してT10 PIモードが無効なポートのパスを選択しています。T10 PIモードが有効なポートのパスを選択して操作し直してください。	**要因** T10 PI属性が有効なボリュームに対してT10 PIモードが無効なポートのパスを選択しています。 **対処** T10 PIモードが有効なポートのパスを選択して操作し直してください。
KAIC16757-E	類似ボリューム割り当てができません。T10 PIが有効なボリュームとポートが割り当たっているホストに対して，T10 PI属性が無効な類似ボリュームを割り当てようとしました。選択しているボリュームのT10 PI属性とポートのT10 PIモードがすべて一致するようにしてください。必要に応じてStorage NavigatorでT10 PI属性が有効なボリュームを作成してから再度操作してください。	**要因** T10 PIが有効なボリュームとポートが割り当たっているホストに対して，T10 PI属性が無効な類似ボリュームを割り当てようとしました。 **対処** 選択しているボリュームのT10 PI属性とポートのT10 PIモードがすべて一致するようにしてください。必要に応じてStorage NavigatorでT10 PI属性が有効なボリュームを作成してから再度操作してください。
KAIC16758-E	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム：＜ストレージシステム＞)	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。(ストレージシステム：＜ストレージシステム＞)
KAIC16761-E	探索済みストレージシステムの数が＜ストレージシステム数＞を超えた	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ため，探索を中断しました。SVP IPアドレス/ホスト名を指定し直して，再度，探索してください。	- **対処** SVP IPアドレス/ホスト名を指定し直して，再度，探索してください。
KAIC16765-E	階層ポリシー名は，＜最小文字長＞文字以上＜最大文字長＞文字以内で入力してください。	**要因** - **対処** -
KAIC16766-E	階層ポリシー名に使用できない文字を入力しています。階層ポリシー名に使用できる文字は次のとおりです。 A-Z，a-z，0-9，’ ’，’~’，’`’，’!’，’@’，’#’，’$’，’%’，’^’，’&’，’(’，’)’，’_’，’+’，’-’，’=’，’{’，’}’，’[’，’]’，’’’，’.’階層ポリシー名に使用できる文字を入力してください。	**要因** - **対処** 階層ポリシー名に使用できる文字を入力してください。
KAIC16767-I	dedupe and compressionが有効なDPボリュームと無効なDPボリュームの組み合わせのコピーペアがあります。	**要因** - **対処** -
KAIC16768-I	dedupe and compressionが有効なボリュームはデータのシュレッディングをサポートしていないため，シュレッディングではなくフォーマットが実行されます。	**要因** - **対処** -
KAIC16769-E	dedupe and compressionが有効なボリュームと無効なボリュームを同時に指定できません。ボリュームを選択し直してください。	**要因** - **対処** ボリュームを選択し直してください。
KAIC16770-E	レポートは複数同時にエクスポートできません。	**要因** - **対処** レポートを一つだけ選択してください。
KAIC16771-E	同じ種類の画面を複数同時に起動することはできません。	**要因** - **対処** すでに起動している画面を閉じたあと，再実行してください。
KAIC16850-E	選択した対象の情報が表示できません。ツリーの表示を更新してください。（保守情報=＜ノード名＞）	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ツリーの表示を更新してください。（保守情報=＜ノード名＞）
KAIC16851-E	選択したレポートを閲覧する権限がありません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。（保守情報=＜レポート名＞）	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。（保守情報=＜レポート名＞）
KAIC16854-I	ログアウトしました。 画面を閉じてください。	**要因** – **対処** –
KAIC16900-E	予期しないエラーが発生しました。システム管理者に問い合わせてください。（保守情報：＜保守情報＞）	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせてください。（保守情報：＜保守情報＞）
KAIC16901-E	サーバとの接続に失敗しました。次の理由が考えられます：(1) ネットワークに障害が発生している，(2) 一時的にサーバの負荷が高くなっている，(3) サーバが停止しているしばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合，サーバが起動しているか確認してください。（保守情報：＜保守情報＞）	**要因** – **対処** しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが何度も発生する場合，サーバが起動しているか確認してください。（保守情報：＜保守情報＞）
KAIC16902-E	サーバとの接続がタイムアウトしました。ネットワークに障害が発生しているか，一時的にサーバの負荷が高くなっているおそれがあります。しばらくしてから，再度操作を実行してください。ボリュームの検索でエラーが繰り返し発生する場合は，指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。（保守情報：＜保守情報＞）	**要因** – **対処** しばらくしてから，再度操作を実行してください。ボリュームの検索でエラーが繰り返し発生する場合は，指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。（保守情報：＜保守情報＞）
KAIC16993-E	予期しないエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。（保守情報：＜保守情報＞）	**要因** – **対処** 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17001-E	データベースの処理中にエラーが発生しました。データベースの処理中にエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。	**要因** データベースの処理中にエラーが発生しました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17002-E	データベースの処理中に予期しないエラーが発生しました。データベースの処理中に内部エラーが発生しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** データベースの処理中に内部エラーが発生しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17006-E	プロパティの値が不正です。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:＜プロパティファイル名＞， プロパティ:＜プロパティ名＞指定したプロパティの値が不正です。正しいプロパティを指定し直してください。	**要因** 指定したプロパティの値が不正です。 **対処** 正しいプロパティを指定し直してください。
KAIC17007-E	必要なプロパティを指定していません。プロパティファイルの読み込みを中止します。プロパティファイル名:＜プロパティファイル名＞， プロパティ:＜プロパティ名＞必要なプロパティを指定していません。必要なプロパティを指定し直してください。	**要因** 必要なプロパティを指定していません。 **対処** 必要なプロパティを指定し直してください。
KAIC17009-E	パラメタ ＜パラメーター名＞ がnullです。 クラス=＜クラス名＞，メソッド=＜メソッド名＞原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** － **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17010-I	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放します。（ストレージシステム名: ＜ストレージシステム名＞）	**要因** － **対処** －
KAIC17011-I	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放しました。（ストレージシステム名: ＜ストレージシステム名＞）	**要因** － **対処** －
KAIC17012-E	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放しました。解放できないリソースがあるため，次回リフレッシュ時にもう一度解放処理をします。（ストレージシステム名: ＜ストレージシステム名＞）ストレージシステム内で意図しないマイグレーションを実行していたため，マイグレーションリソー	**要因** ストレージシステム内で意図しないマイグレーションを実行していたため，マイグレーションリソースを解放できませんでした。 **対処** しばらくしてから，ストレージシステムの情報を更新してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	スを解放できませんでした。しばらくしてから，ストレージシステムの情報を更新してください。	
KAIC17013-E	前回のマイグレーション時に解放できなかったリソースを解放する際に，エラーが発生しました。（ストレージシステム名：＜ストレージシステム名＞）ストレージシステムの操作でエラーが発生したため，マイグレーションリソースを解放できませんでした。対処は次のとおりです。 メッセージログに表示されている場合： 直前に出力されている同じIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は，再実行してください。それでも解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合： このメッセージの前後にメッセージが出力されている場合は，そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていない場合は，再実行してください。それでも解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** ストレージシステムの操作でエラーが発生したため，マイグレーションリソースを解放できませんでした。 **対処** 対処は次のとおりです。 メッセージログに表示されている場合： 直前に出力されている同じIDのメッセージに従って対処してください。直前にメッセージが出力されていない場合は，再実行してください。それでも解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 標準エラー出力またはエラー画面に表示されている場合： このメッセージの前後にメッセージが出力されている場合は，そのメッセージに従って対処してください。前後にメッセージが出力されていない場合は，再実行してください。それでも解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC17014-E	ストレージシステムの処理でエラーが発生しました。（ストレージシステム名：＜ストレージシステム名＞，エラーコード1=＜ストレージシステムのエラーコード1＞，エラーコード2=＜ストレージシステムのエラーコード2＞，保守情報=＜保守情報＞）ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。Storage Navigatorのマニュアルを参照して対処したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。 ″ストレージシステムのエラーコード1″は部位コード，″ストレージシステムのエラーコード2″はエラーコードに対応します。	**要因** ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。 **対処** Storage Navigatorのマニュアルを参照して対処したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。 ″ストレージシステムのエラーコード1″は部位コード，″ストレージシステムのエラーコード2″はエラーコードに対応します。
KAIC17015-E	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。（ストレージシステム名：＜ストレージシステム	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	名＞，エラーコード1=＜ストレージシステムのエラーコード１＞，エラーコード2=＜ストレージシステムのエラーコード2＞）ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード1を特定できない場合は，"-1"が表示されます。Storage Navigatorのマニュアルを参照して対処したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード1"は部位コード，"ストレージシステムのエラーコード2"はエラーコードに対応します。	ストレージシステムでの処理でエラーが発生しました。エラーコード1を特定できない場合は，"-1"が表示されます。 **対処** Storage Navigatorのマニュアルを参照して対処したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。 "ストレージシステムのエラーコード1"は部位コード，"ストレージシステムのエラーコード2"はエラーコードに対応します。
KAIC17016-E	マイグレーション対象のストレージシステムにプログラムプロダクト（＜プログラムプロダクト名＞）がインストールされていません。（ストレージシステム名: ＜ストレージシステム名＞）ストレージシステムにプログラムプロダクトがインストールされていないか，またはライセンスが登録されていません。ストレージシステムにプログラムプロダクトをインストールしてください。または，Storage Navigatorからライセンスを登録してください。そのあと， ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** ストレージシステムにプログラムプロダクトがインストールされていないか，またはライセンスが登録されていません。 **対処** ストレージシステムにプログラムプロダクトをインストールしてください。または，Storage Navigatorからライセンスを登録してください。そのあと， ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC17017-E	ストレージシステムの制限によって，次のボリュームをマイグレーションできません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"，マイグレーションできない理由:"＜マイグレーションできない理由＞"，コントローラー論理デバイス番号:＜コントローラー論理デバイス番号＞メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため，マイグレーションできないボリュームがあります。マイグレーションに関する制限事項に該当しないように，ストレージシステムの設定を変更したあと， ストレージシステムの情報を更新してください。 または，マイグレーションに関する制限事項に該当するLUを構成するすべてのLDEVに対して，移動先ボリュームを移動元ボリューム自身に設定してください。	**要因** メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため，マイグレーションできないボリュームがあります。 **対処** マイグレーションに関する制限事項に該当しないように，ストレージシステムの設定を変更したあと， ストレージシステムの情報を更新してください。 または，マイグレーションに関する制限事項に該当するLUを構成するすべてのLDEVに対して，移動先ボリュームを移動元ボリューム自身に設定してください。
KAIC17018-E	ストレージシステムの制限によって，次のボリュームを移動先ボリュームとして使用できません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"，マイグレーションできない理由:"＜マイグレーションできない理由＞"，コントローラー論	**要因** メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため，マイグレーションできないボリュームがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	理デバイス番号:＜コントローラー論理デバイス番号＞メッセージに表示されたストレージシステムの制限のため，マイグレーションできないボリュームがあります。マイグレーションに関する制限事項に該当しないように，ストレージシステムの設定を変更したあと， ストレージシステムの情報を更新してください。 または，移動先にできるほかのボリュームを指定してください。	マイグレーションに関する制限事項に該当しないように，ストレージシステムの設定を変更したあと， ストレージシステムの情報を更新してください。 または，移動先にできるほかのボリュームを指定してください。
KAIC17019-E	マイグレーションできるボリュームが含まれていません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"指定したボリュームに，マイグレーションできるボリュームが一つも含まれていません。マイグレーションできるボリュームを追加してください。	**要因** 指定したボリュームに，マイグレーションできるボリュームが一つも含まれていません。 **対処** マイグレーションできるボリュームを追加してください。
KAIC17020-E	マイグレーションの際にボリュームを作成できません。指定したストレージシステムは，仮想ボリュームグループ数が上限に達しています。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"指定したストレージシステムは，仮想ボリュームグループ数が上限に達しているため，ボリュームを作成できません。不要な仮想ボリュームグループを削除してください。ストレージシステムの情報を更新したあと，マイグレーションタスクを作成し直してください。	**要因** 指定したストレージシステムは，仮想ボリュームグループ数が上限に達しているため，ボリュームを作成できません。 **対処** 不要な仮想ボリュームグループを削除してください。ストレージシステムの情報を更新したあと，マイグレーションタスクを作成し直してください。
KAIC17022-E	マイグレーションできるプールが，指定したプールに含まれていません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"指定したプールに，マイグレーションできるプールが一つも含まれていません。マイグレーションできるプールを，移動先に追加してください。	**要因** 指定したプールに，マイグレーションできるプールが一つも含まれていません。 **対処** マイグレーションできるプールを，移動先に追加してください。
KAIC17023-E	ストレージシステムの情報が最新ではありません。Device Managerが保有しているストレージシステムの情報が最新ではないため，処理を実行できません。システム管理者はWebServiceMessageログファイルを参照し，メッセージに応じて対処してください。 KAIC17012-EまたはKAIC17013-Eが出力されている場合: メッセージに応じて対処してください。 KAIC17010-Iが出力されていない場合: ストレージシステムの情報を更新したあと，WebServiceMessageログファイルでKAIC17011-Iを確認してから再実行してください。	**要因** Device Managerが保有しているストレージシステムの情報が最新ではないため，処理を実行できません。 **対処** システム管理者はWebServiceMessageログファイルを参照し，メッセージに応じて対処してください。 KAIC17012-EまたはKAIC17013-Eが出力されている場合: メッセージに応じて対処してください。 KAIC17010-Iが出力されていない場合: ストレージシステムの情報を更新したあと，WebServiceMessageログファイルで

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	KAIC17010-Iが出力されている場合: WebServiceMessageログファイルでKAIC17011-Iを確認してから再実行してください。 KAIC17011-Iが出力されている場合: 再実行してください。	KAIC17011-Iを確認してから再実行してください。 KAIC17010-Iが出力されている場合: WebServiceMessageログファイルでKAIC17011-Iを確認してから再実行してください。 KAIC17011-Iが出力されている場合: 再実行してください。
KAIC17026-E	マイグレーションプランを作成できません。作成したマイグレーションプランに，マイグレーションできるボリュームがありません。	**要因** - **対処** -
KAIC17027-W	マイグレーションしないボリュームが含まれています。マイグレーションしないボリュームを確認したあと，マイグレーションタスクを実行してください。	**要因** - **対処** -
KAIC17029-E	すべてのボリュームに対して，移動元ボリュームと移動先ボリュームのペアを自動的に作成できませんでした。	**要因** - **対処** -
KAIC17030-E	すべてのボリュームに対して，移動元ボリュームと移動先ボリューム（またはDPプール）のペアを自動的に作成できませんでした。 継続する場合は，ペアを編集してください。	**要因** - **対処** -
KAIC17031-I	移動元ボリュームよりも容量が大きいボリュームが，移動先ボリュームとして選択されているマイグレーションペアがあります。移動元ボリュームよりも容量が大きい移動先ボリュームは，移動元ボリュームと同じ容量に再生成され，残りの容量は再利用できるようになります。	**要因** - **対処** -
KAIC17032-W	移動元ボリュームと移動先ボリュームのリソースグループが異なります。確認して問題なければ，マイグレーションタスクを作成してください。	**要因** - **対処** -
KAIC17033-E	マイグレーションタスクを実行すると仮想ボリューム数の上限を超えます。仮想ボリューム数の上限を超えないようにマイグレーションプランを編集してください。 (Pool=<プール番号>)	**要因** - **対処** -
KAIC17034-E	マイグレーションタスクを実行すると最大予約率を超えます。最大予約率を超えないようにマイグレーションプランを編集してください。 (Pool=<プール番号>)	**要因** - **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC17035-W	マイグレーションタスクを実行すると警告予約率を超えます。確認して問題なければ，マイグレーションタスクを生成してください。（Pool=＜プール番号＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17036-E	マイグレーションタスクを実行すると使用率しきい値を超えます。使用率しきい値を超えないようにマイグレーションプランを編集し直してください。(Pool=＜プール番号＞)	**要因** – **対処** –
KAIC17037-E	ストレージシステムにプログラムプロダクト（＜PP名＞）がインストールされてないので，仮想ボリュームだけを単体で削除することはできません。	**要因** – **対処** –
KAIC17038-I	タスクの進ちょく状況の更新中に，エラーが発生しました。タスクの進ちょく状況の更新は自動的に再実行されます。長時間エラーが発生している場合は，エラーメッセージの内容に従って，エラーの要因を取り除いてください。発生しているエラー:(＜エラー詳細＞) 発生時刻:(＜エラー時刻＞)	**要因** – **対処** –
KAIC17039-E	移動先候補があるマイグレーションペアが一つもないためマイグレーションできません。移動先の条件を見直して，プランを編集してください。	**要因** – **対処** –
KAIC17040-W	マイグレーションできないボリュームが含まれています。マイグレーションの条件を満たさないボリュームが含まれる場合，そのボリュームは移動対象外となり，条件を満たすボリュームのデータだけが移動されます。(＜LDEV ID＞)	**要因** – **対処** –
KAIC17041-W	移動元ボリュームに複数のリソースグループが含まれています。必要に応じてリソースグループを絞り込んでください。	**要因** – **対処** 必要に応じてリソースグループを絞り込んでください。
KAIC17042-W	移動元ボリュームにコピーペアを構成しているボリュームが含まれています。(＜LDEV ID＞)マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください，ペアは必要に応じて変更してください。	**要因** – **対処** マイグレーションペアウィザードからボリュームの詳細情報を確認してください，ペアは必要に応じて変更してください。
KAIC17043-E	移動元ボリュームに複数のストレージが含まれるため，マイグレーションできません。絞り込み条件にス	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	トレージシステムを指定し，一つのストレージシステムから移動元ボリュームを選択してください。	**対処** 絞り込み条件にストレージシステムを指定し，一つのストレージシステムから移動元ボリュームを選択してください。
KAIC17045-E	移動元ボリュームにマイグレーションできないボリュームが含まれています。移動元ボリューム選択ウィザードで再度絞り込みを実行し，移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認してください。 絞り込み条件は，必要に応じて変更してください。	**要因** – **対処** 移動元ボリューム選択ウィザードで再度絞り込みを実行し，移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認してください。 絞り込み条件は，必要に応じて変更してください。
KAIC17046-E	マイグレーションできないペアが含まれています。マイグレーションペアウィザードからペアを変更してください。	**要因** – **対処** マイグレーションペアウィザードからペアを変更してください。
KAIC17047-E	マイグレーションできる移動元ボリュームがありません。移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認し，再度実行してください。	**要因** – **対処** 移動元ボリュームがマイグレーションできない理由を確認し，再度実行してください。マイグレーションできない理由は，［マイグレーション不可理由］列に表示されます。［マイグレーション不可理由］列はデフォルトでは，表示されません。表示するには，［列の表示・非表示］ボタンをクリックして表示されるダイアログから指定してください。
KAIC17048-E	Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）に，ヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。	**要因** – **対処** ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。
KAIC17049-E	Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）がありません。	**要因** – **対処** –
KAIC17050-E	Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のサイズが大き過ぎます。（テンプレートファイルのファイルサイズ:＜ファイルサイズ＞，使用できる最大のファイルサイズ:＜ファイルの最大サイズ＞）テンプレートファイルの内容を見直し，ファイルサイズを小さくしてください。	**要因** – **対処** テンプレートファイルの内容を見直し，ファイルサイズを小さくしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC17051-E	Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）の＜行番号＞行目の記述が長過ぎます。（検出された長さ(バイト数):＜行の長さ＞，指定できる最大の長さ(バイト数):＜行の最大長＞）テンプレートファイルの内容を見直し，1行の長さを短くしてください。	**要因** – **対処** テンプレートファイルの内容を見直し，1行の長さを短くしてください。
KAIC17052-E	Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のヘッダー部分に無効な行（行番号:＜行番号＞）があります。「Subject」とメールの件名は″:″で区切る必要があります。エラーが発生した行に，区切り文字″:″が含まれているか確認してください。	**要因** – **対処** エラーが発生した行に，区切り文字″:″が含まれているか確認してください。
KAIC17053-E	ヘッダーが複数指定されています。（テンプレートファイル名:＜ファイル名＞， ヘッダー名:＜ヘッダ名＞）ヘッダー部分を見直してください。	**要因** – **対処** ヘッダー部分を見直してください。
KAIC17054-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため，画面に表示できません。指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=＜表示できるボリューム数＞)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。	**要因** 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。(上限値=＜表示できるボリューム数＞) **対処** 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。
KAIC17055-E	操作対象のボリュームがありません。 ストレージシステム名:″＜ストレージシステム名＞″指定されたボリュームがない，又は，別ユーザーがボリュームを削除した，ボリュームにアクセス権限がありません。正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して，再度操作を実行してください。	**要因** 指定されたボリュームがない，又は，別ユーザーがボリュームを削除した，ボリュームにアクセス権限がありません。 **対処** 正しいコントローラー論理デバイス番号を指定して，再度操作を実行してください。
KAIC17056-E	移動先に指定されたプールがありません。ストレージシステム名:″＜ストレージシステム名＞″，ソースコントローラー論理デバイス番号:＜″コントローラー論理デバイス番号1″，″コントローラー論理デバイス番号2″，…″コントローラー論理デバイス番号n″＞移動先に指定されたプールがありません。ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。	**要因** 移動先に指定されたプールがありません。 **対処** ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。
KAIC17057-E	移動先に指定されたプールの状態が正常でないため，マイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:″＜ストレージシステム名＞″，プールID:＜プールID＞，プールの状態:″＜プール状態＞″移動	**要因** 移動先に指定されたプールの状態が正常でないためです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	先に指定されたプールの状態が正常でないためです。ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に，再度タスクを作成してください。	ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの状態を正常に戻した後に，再度タスクを作成してください。
KAIC17058-E	移動先に指定されたプールの空き容量が不足しているため，ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"，プールID:＜プールID＞移動先に指定されたプールに，ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成するだけの空き容量がありません。ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの容量を確保した後に，再度タスクを作成してください。	**要因** 移動先に指定されたプールに，ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成するだけの空き容量がありません。 **対処** ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの容量を確保した後に，再度タスクを作成してください。
KAIC17059-E	移動先に指定されたプールにボリュームを作成した場合，プールのしきい値を超えるため，ボリュームを作成してのマイグレーションを実行できません。ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"，プールID:＜プールID＞移動先に指定されたプールに，ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成した場合，プールのしきい値を超えるため，ボリュームを作成することができません。ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの容量を確保した後に，再度タスクを作成してください。	**要因** 移動先に指定されたプールに，ソースボリュームと同サイズのボリュームを作成した場合，プールのしきい値を超えるため，ボリュームを作成することができません。 **対処** ほかのプールを移動先に指定して，再度タスクを作成してください。 または，移動先に指定されたプールの容量を確保した後に，再度タスクを作成してください。
KAIC17071-E	リフレッシュが異常終了しているため，この処理はできません。 ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"ストレージシステムの情報が最新ではないため，処理を実行できません。メッセージに表示されたストレージシステムをリフレッシュしたあと，再実行してください。	**要因** ストレージシステムの情報が最新ではないため，処理を実行できません。 **対処** メッセージに表示されたストレージシステムをリフレッシュしたあと，再実行してください。
KAIC17072-E	リフレッシュ中のため，この処理はできません。 ストレージシステム名:"＜ストレージシステム名＞"ストレージシステムがリフレッシュ処理中です。リフレッシュが完了したあと，再実行してください。	**要因** ストレージシステムがリフレッシュ処理中です。 **対処** リフレッシュが完了したあと，再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC17075-I	移動元DPボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除が実行できるようになるまで，待機しています。（保守情報=＜保守情報＞）ボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除は，自動的に開始されます。	**要因** – **対処** ボリュームの削除およびプールとの関連づけ解除は，自動的に開始されます。
KAIC17076-W	以下のボリュームをシュレッディングしてもよいかを確認してください。ボリュームのデータはシュレッディングによって消去されます。（シュレッディングするボリュームのデバイス番号：＜デバイス番号1，デバイス番号2，…，デバイス番号n＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17077-W	以下のボリュームを削除してもよいかを確認してください。タスクを再実行すると，ボリュームは削除されます。（削除するボリュームのデバイス番号：＜デバイス番号1，デバイス番号2，…，デバイス番号n＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17079-W	移動元ボリュームと移動先ボリュームのリソースグループが異なります。確認して問題なければ，タスクを再実行してください。（移動先ボリュームのデバイス番号：＜デバイス番号1，デバイス番号2，…，デバイス番号n＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17080-E	移動元ボリュームがすでにないため，タスクを再実行できません。（移動元ボリュームのデバイス番号：＜デバイス番号1，デバイス番号2，…，デバイス番号n＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17081-E	移動先ボリュームがすでにないため，タスクを再実行できません。（移動先ボリュームのデバイス番号：＜デバイス番号1，デバイス番号2，…，デバイス番号n＞）	**要因** – **対処** –
KAIC17094-E	DPボリュームを作成すると，仮想ボリュームグループ数が上限を超えます。不要なDPボリュームを削除してください。（現在の仮想ボリュームグループ数：＜現在の仮想ボリュームグループ数＞，作成するボリューム数：＜作成するボリューム数＞）	**要因** – **対処** 不要なDPボリュームを削除してください。（現在の仮想ボリュームグループ数：＜現在の仮想ボリュームグループ数＞，作成するボリューム数：＜作成するボリューム数＞）
KAIC17102-E	シュレッディングできないボリュームがあります。表示されたシュレッディングできない理由に従って対処してください。（［移動先ボリュームのデバイス番号，″シュレッディングできない理由″］：＜［デバイス番号1，″シュレッディングできない理由1″］，［デバイス番号2，″シュ	**要因** – **対処** 表示されたシュレッディングできない理由に従って対処してください。（［移動先ボリュームのデバイス番号，″シュレッディングできない理由″］：＜［デバイス番号1，″シュ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レッディングできない理由2″］，…，［デバイス番号n，″シュレッディングできない理由n″］＞）	レッディングできない理由1″］，［デバイス番号2，″シュレッディングできない理由2″］，…，［デバイス番号n，″シュレッディングできない理由n″］＞）
KAIC17103-E	削除できないボリュームがあります。表示された削除できない理由に従って対処してください。（［移動先ボリュームのデバイス番号，″削除できない理由″］：＜［デバイス番号1，″削除できない理由1″］，［デバイス番号2，″削除できない理由2″］，…，［デバイス番号n，″削除できない理由n″］＞）	**要因** – **対処** 表示された削除できない理由に従って対処してください。（［移動先ボリュームのデバイス番号，″削除できない理由″］：＜［デバイス番号1，″削除できない理由1″］，［デバイス番号2，″削除できない理由2″］，…，［デバイス番号n，″削除できない理由n″］＞）
KAIC17104-E	ゼロページを破棄できないボリュームがあります。表示されたゼロページを破棄できない理由に従って対処してください。（［移動元ボリュームのデバイス番号，″ゼロページを破棄できない理由″］：＜［デバイス番号1，″ゼロページを破棄できない理由1″］，［デバイス番号2，″ゼロページを破棄できない理由2″］，…，［デバイス番号n，″ゼロページを破棄できない理由n″］＞）	**要因** – **対処** 表示されたゼロページを破棄できない理由に従って対処してください。（［移動元ボリュームのデバイス番号，″ゼロページを破棄できない理由″］：＜［デバイス番号1，″ゼロページを破棄できない理由1″］，［デバイス番号2，″ゼロページを破棄できない理由2″］，…，［デバイス番号n，″ゼロページを破棄できない理由n″］＞）
KAIC17105-I	選択したタスクの処理はすべて完了しているため，再実行は不要です。	**要因** – **対処** –
KAIC17106-E	選択したタスクを再実行できません。新しいタスクを作成して実行してください。	**要因** – **対処** 新しいタスクを作成して実行してください。
KAIC17107-E	選択したタスクを再実行できません。次のメッセージに従って対処したあとに，タスクを再実行してください。対処できない場合は，新しいタスクを作成して実行してください。	**要因** – **対処** 次のメッセージに従って対処したあとに，タスクを再実行してください。対処できない場合は，新しいタスクを作成して実行してください。
KAIC17400-W	ほかの移動元ボリュームの移動先として設定されているボリュームを選択してよろしいですか？	**要因** – **対処** –
KAIC17402-W	指定した条件に合うボリュームが多過ぎるため，画面に表示できません。指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。（上限	**要因** 指定した条件に合うボリュームの数が上限値を超えています。（上限値=＜ボリューム数のラベル＞）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	値=＜ボリューム数のラベル＞)指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。	**対処** 指定した条件に合うボリュームの数が少なくなるように，条件を指定し直してください。
KAIC17403-W	ボリューム条件を指定する場合は，絞り込み条件を一つ以上指定してください。	**要因** - **対処** -
KAIC17405-W	選択したマイグレーションペアの初期設定の移動先が，ほかのマイグレーションペアの移動先として設定されています。移動先を初期設定に戻してよろしいですか？ この操作によって，ほかの幾つかのマイグレーションペアの状態は"移動させない"に変わります。(該当するマイグレーションペアの移動元ボリューム:＜"移動させない"に変わる対象の移動元ボリューム＞)該当するマイグレーションペアの対象の移動元ボリュームを確認してから処理を続行してください。	**要因** - **対処** 該当するマイグレーションペアの対象の移動元ボリュームを確認してから処理を続行してください。
KAIC17406-I	移動元ボリュームを使用しない場合，削除オプションを選択しボリュームを削除することを推奨します。移動元ボリュームを削除しない場合，マイグレーションタスクが完了したあと，移動元ボリュームに対してゼロページを破棄することを推奨します。	**要因** - **対処** -
KAIC17408-I	削除オプションを指定しても，データダイレクトマップ属性が有効なボリュームは削除されません。（ボリューム=［＜LDEV IDs＞］）データダイレクトマップ属性が有効なボリュームを削除する場合は，タスクが正常終了したあと，Device Manager - Storage Navigatorで実行してください。	**要因** - **対処** データダイレクトマップ属性が有効なボリュームを削除する場合は，タスクが正常終了したあと，Device Manager - Storage Navigatorで実行してください。
KAIC17409-I	ゼロページ破棄オプションを指定しても，データダイレクトマップ属性が有効なボリュームはゼロページ破棄されません。（ボリューム=［＜LDEV IDs＞］）	**要因** - **対処** -
KAIC17410-I	dedupe and compressionが有効なボリュームは，シュレッディングの対象にはなりません。（ボリューム=＜LDEV IDs＞）	**要因** - **対処** -
KAIC17411-I	dedupe and compressionが有効なボリュームは，ボリューム削除の対象にはなりません。（ボリューム=＜LDEV IDs＞）	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		－
KAIC17500-I	ホスト名/IPアドレスまたはポート番号を入力してください。	**要因** － **対処** －
KAIC17501-E	インストールフォルダのパスの長さを＜maxLength＞ 文字以内にしてください。	**要因** － **対処** －
KAIC17502-E	起動できません。次の問題が考えられます。 (1) 入力したホスト名/IPアドレスまたはポートが誤っている。 (2) サーバ証明書がインポートされていない。 (3) ネットワークに障害が発生している。 (4) 一時的にサーバの負荷が高くなっている。 (5) 接続したDevice Managerサーバが停止している，または起動が完了していない。 (6) 接続したDevice ManagerサーバがAdobe AIRのデスクトップアプリケーションをサポートしていない。 上記の要因を取り除き，再度操作してください。	**要因** － **対処** －
KAIC17503-E	本プログラムのインストールフォルダへの書き込み権限がないか，ディスク容量が不足しています。要因を取り除き，再度操作してください。	**要因** － **対処** －
KAIC17504-I	終了しますか？	**要因** － **対処** －
KAIC17505-I	このダイアログは，すべての管理サーバとの接続が終了したときに，終了します。	**要因** － **対処** －
KAIC18001-W	入力したパス（＜パス＞）がありません。入力したパスが誤っているおそれがあります。既存のパスを指定する場合は，ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は，パスを手動で入力し，	**要因** 入力したパスが誤っているおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	［パスが存在しない場合にパスを作成する］チェックボックスを選択してください。	既存のパスを指定する場合は，ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は，パスを手動で入力し，［パスが存在しない場合にパスを作成する］チェックボックスを選択してください。
KAIC18004-E	一度に割り当てることのできないボリュームを複数選択しています。仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は，同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム，またはストレージシステムリソースグループIDが0のボリュームを選択してください（仮想モードがオンのボリューム=＜LDEV ID＞）。	**要因** – **対処** 仮想モードがオンのボリュームを選択する場合は，同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム，またはストレージシステムリソースグループIDが0のボリュームを選択してください（仮想モードがオンのボリューム=＜LDEV ID＞）。
KAIC18005-E	仮想ID情報の設定とボリューム割り当てができないボリュームとホストグループの組み合わせが含まれています。次のどちらかの方法で対処してください。 (1)ホストグループの仮想モードがオンの場合，ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム，またはストレージシステムリソースグループIDが0であるボリュームを選択してください。 (2)ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合，仮想モードがオフであるボリューム，または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 次のどちらかの方法で対処してください。 1. ホストグループの仮想モードがオンの場合，ホストグループと同じ仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されているボリューム，またはストレージシステムリソースグループIDが0であるボリュームを選択してください。 2. ホストグループの仮想モードがオフまたは仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていない場合，仮想モードがオフであるボリューム，または仮想モデルと仮想シリアル番号が設定されていないボリュームを選択してください。
KAIC18007-W	指定したパス（＜パス＞）がありません。既存のパスを指定する場合は，ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は，パスを手動で入力ししてください。	**要因** – **対処** 既存のパスを指定する場合は，ツリーからパスを選択してください。新しくパスを作成する場合は，パスを手動で入力ししてください。
KAIC18008-E	使用できるLDEV IDが不足しています。IDが0のストレージシステムリソースグループに使用できるLDEV IDを＜LDEV ID数＞個増やしてください。	**要因** – **対処** IDが0のストレージシステムリソースグループに使用できるLDEV IDを＜LDEV ID数＞個増やしてください。
KAIC18009-E	使用できる仮想LDEV IDが不足しています。開始仮想LDEV IDを変更するか，次の方法で仮想LDEV IDの空きを＜仮想LDEV ID数＞個確保してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	(1) 仮想ストレージマシンの仮想モデルが”iStorage Vシリーズ”の場合，この仮想ストレージマシンと同じモデルおよびシリアル番号のストレージシステムで，デフォルト仮想ストレージマシン上のLDEV IDをほかの仮想ストレージマシンに移動させてください。 (2) 仮想ストレージマシンの仮想モデルが”iStorage Vシリーズ”以外の場合，この仮想ストレージマシンと同じモデルおよびシリアル番号のストレージシステムでボリュームを削除してください。	開始仮想LDEV IDを変更するか，次の方法で仮想LDEV IDの空きを＜仮想LDEV ID数＞個確保してください。 1. 仮想ストレージマシンの仮想モデルが”iStorage Vシリーズ”の場合，この仮想ストレージマシンと同じモデルおよびシリアル番号のストレージシステムで，デフォルト仮想ストレージマシン上のLDEV IDをほかの仮想ストレージマシンに移動させてください。 2. 仮想ストレージマシンの仮想モデルが”iStorage Vシリーズ”以外の場合，この仮想ストレージマシンと同じモデルおよびシリアル番号のストレージシステムでボリュームを削除してください。
KAIC18010-E	仮想ID情報が設定できなかったため，ボリュームの割り当てに失敗しました。（保守情報：＜保守情報＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。再度実行してください。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** 再度実行してください。
KAIC18011-E	仮想ID情報の削除に失敗しました。（保守情報：＜保守情報＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。ボリューム一覧で，選択したボリュームの状態を確認したあと，必要に応じて再度操作を実行してください。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** ボリューム一覧で，選択したボリュームの状態を確認したあと，必要に応じて再度操作を実行してください。
KAIC18012-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，操作を続行するとDPプールの予約率（＜予約率＞%）が最大予約率（＜最大予約率＞%）を超えます。	**要因** - **対処** -
KAIC18013-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，DPプールの予約率（＜予約率＞%）がすでに最大予約率（＜最大予約率＞%）を超えています。	**要因** - **対処** -
KAIC18014-W	Local Replicationのボリューム（＜LDEV IDs＞）が選択されています。ペアの状態がPSUSでない場合は，タスクを実行できないおそれがあります。ペアの状態がPSUSであることを確認してください。	**要因** - **対処** -
KAIC18027-W	ストレージシステムの情報が最新ではないおそれがあります（構成情報の更新状態：＜構成情報の更新状態＞，データベース整合/不整合の状態：＜データベース整合/不整合の状態＞）。	**要因** - **対処** -
KAIC18032-E	異なるストレージシステムに属するボリュームを選択しています。複数	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	のボリュームを選択する場合，同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。	**対処** 複数のボリュームを選択する場合，同じストレージシステムに属しているボリュームを選択してください。
KAIC18033-E	操作できるホストグループが見つかりません。ホストに割り当てられているボリュームが存在しない，または予約されていて操作可能なボリュームがありません。 いったん操作を終了し，ホストグループまたはボリュームを確認してください。	**要因** - **対処** ホストに割り当てられているボリュームが存在しない，または予約されていて操作可能なボリュームがありません。 いったん操作を終了し，ホストグループまたはボリュームを確認してください。
KAIC18034-E	操作できるホストが見つかりません。いったん操作を終了し，ホストを確認してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，ホストを確認してください。
KAIC18041-E	選択したストレージシステムにパリティグループがありません。いったん操作を終了し，パリティグループを作成したあとに，操作し直してください。	**要因** - **対処** いったん操作を終了し，パリティグループを作成したあとに，操作し直してください。
KAIC18046-W	このボリュームはシュレッディング機能をサポートしていません。そのため，シュレッディングしないでボリュームの削除だけを実行します。	**要因** - **対処** -
KAIC18047-W	このボリュームはData Retention UtilityでProtect属性またはReadOnly属性が設定されているため，削除できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18048-W	このボリュームはコピーペアを構成しているため，削除できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18049-W	このボリュームはコマンドデバイスに設定されているため，削除できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18062-W	割り当てるボリュームのパスが冗長化されていません。冗長化されるようパスを手動で入力してください。	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		冗長化されるようパスを手動で入力してください。
KAIC18098-W	前回実行したときのLUNパスを適用できません。	**要因** – **対処** –
KAIC18100-E	操作できるストレージシステムが見つかりません。いったん操作を終了し，ストレージシステムを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，ストレージシステムを確認してください。
KAIC18102-E	選択したWWN(＜WWN＞)が割り当てられているホストグループがありません。ほかのWWNを選択するか，ストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNを選択するか，ストレージシステムの情報を更新して，リソースを確認してください。
KAIC18103-E	ホスト（＜ホスト名＞）に，ホストポートがありません。ホストにホストポートが追加されていることを確認し，ホスト編集ダイアログで対象のホスト（＜ホスト名＞）にWWNを追加してください。	**要因** – **対処** ホストにホストポートが追加されていることを確認し，ホスト編集ダイアログで対象のホスト（＜ホスト名＞）にWWNを追加してください。
KAIC18104-E	ホスト（＜ホスト名＞）に，LUNセキュリティが有効なホストグループ経由でボリュームが割り当てられていないため，WWNニックネームは編集できません。	**要因** – **対処** –
KAIC18105-E	ホストグループにホストポートのWWNが設定されているストレージシステムが見つかりません。または，ポートやホストグループに対して操作に必要な権限がありません。ホストポートのWWNが設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または，対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し，そのリソースグループにModify権限があるユーザーで操作するか，All ResourcesにModify権限があるユーザーで操作してください。	**要因** – **対処** ホストポートのWWNが設定されているホストグループを持つストレージシステムを追加してください。または，対象のポートとホストグループをリソースグループに登録し，そのリソースグループにModify権限があるユーザーで操作するか，All ResourcesにModify権限があるユーザーで操作してください。
KAIC18106-I	ストレージシステム（＜ストレージシステム（コンマスペース区切り）＞）に一部権限のないホストグループがあります。そのため，一括編集では権限のないホストグループ	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	へのWWNニックネームの変更が適用されません。	
KAIC18108-E	同一ポート内（<Port名称>）で同じニックネーム（<重複したNickname>）は使用できません。同一ポート内で重複しないニックネームを設定してください。	**要因** – **対処** 同一ポート内で重複しないニックネームを設定してください。
KAIC18109-E	このタスクで使用しようとしているホストグループ/iSCSIターゲットがほかの操作によって削除されたおそれがあります。操作し直してください。	**要因** – **対処** 操作し直してください。
KAIC18115-E	再実行できない状態のタスクを選択しているか，すでに再実行されています。対象のタスクを確認してタスクを選択し直すか，タスクの完了を待ってから，必要であれば再実行してください。	**要因** – **対処** 対象のタスクを確認してタスクを選択し直すか，タスクの完了を待ってから，必要であれば再実行してください。
KAIC18116-E	最後に再実行されたタスクがすでに削除されているため，再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** – **対処** 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18117-E	このタスクは再実行できません。上位の権限を持つユーザによって再実行されたため，再実行に必要な権限が変更されました。管理者に連絡するか，必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** 上位の権限を持つユーザによって再実行されたため，再実行に必要な権限が変更されました。 **対処** 管理者に連絡するか，必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18118-E	このタスクは再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** – **対処** 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18119-I	以下のタスクを最初から実行し直します。	**要因** – **対処** –
KAIC18120-I	以下のタスクを未実行の処理から再開します。	**要因** – **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18121-W	この操作はストレージシステムの構成・設定を変更します。再実行するタスクのプラン内容，操作対象リソースの現在の構成および状態を確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合，タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** – **対処** –
KAIC18122-E	タスクを再実行できません。サーバが起動しているか確認し，サーバが起動していなければサーバを起動してから操作し直してください。サーバが起動していても同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。(保守情報：＜メッセージ＞)	**要因** – **対処** サーバが起動しているか確認し，サーバが起動していなければサーバを起動してから操作し直してください。サーバが起動していても同じエラーが発生する場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。(保守情報：＜メッセージ＞)
KAIC18126-E	選択したタスクはすでに再実行して完了しているため，再実行は不要です。	**要因** – **対処** –
KAIC18127-E	ホストを削除できませんでした。（原因:＜メッセージ＞）エラー発生原因のメッセージを参照してください。	**要因** – **対処** エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC18128-E	必要な権限のないホストグループ（＜ホストグループ＞）が割り当てられているため，ホスト（＜ホスト名＞）を削除できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18129-E	必要な権限のないiSCSIターゲット（＜iSCSIターゲット＞）が割り当てられているため，ホスト（＜ホスト名＞）を削除できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18130-E	必要な権限のないホストグループやiSCSIターゲット（＜ホストグループまたはiSCSIターゲット＞）が割り当てられているため，ホスト（＜ホスト名＞）を削除できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18131-E	必要な権限のないLDEV（＜LDEV＞）が割り当てられているため，ホスト（＜ホスト名＞）を削除できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18132-E	指定したホストに割り当てられたボリュームの数が＜上限値＞を超えています（ボリューム数=＜ボリューム数＞）。ホストの指定数を減らすか，または一部のボリュームを解除したあと，再実行してください。	**要因** – **対処** ホストの指定数を減らすか，または一部のボリュームを解除したあと，再実行してください。
KAIC18133-E	ボリューム（＜ボリューム＞）のデータのシュレッディングの完了を検知できませんでした。データがシュレッディングされないでボリュームが削除されたおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して，リソースを確認してください。	**要因** – **対処** 対象のストレージシステムを更新して，リソースを確認してください。
KAIC18134-E	ボリューム（＜ボリューム＞）のデータのシュレッディングの完了を検知できませんでした。ボリュームのデータのシュレッディングまたはフォーマットが実行されなかったおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して，Storage Navigatorでボリュームのデータのシュレッディングまたはフォーマットを実行してください。	**要因** – **対処** 対象のストレージシステムを更新して，Storage Navigatorでボリュームのデータのシュレッディングまたはフォーマットを実行してください。
KAIC18136-E	選択したWWNが割り当てられているホストグループに対して，操作に必要な権限がありません。ほかのWWNペアを選択するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18137-E	選択したWWNが設定されているホストグループに属するボリュームに対して，操作に必要な権限がありません。ほかのWWNペアを選択するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** – **対処** ほかのWWNペアを選択するか，システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18138-E	選択したストレージシステムでは，ブロック数に奇数を指定できません。容量をブロック以外の単位で指定するか，ブロック数を偶数で指定してください。または，奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。	**要因** – **対処** 容量をブロック以外の単位で指定するか，ブロック数を偶数で指定してください。または，奇数のブロック数をサポートしているストレージシステムを選択してください。
KAIC18139-E	指定されたボリュームはDevice Manager管理下のホストに割り当てら	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	れていません。いったん操作を終了し，ボリュームが割り当てられているホストが，Device Managerに登録されているか，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていないか確認してください。	**対処** いったん操作を終了し，ボリュームが割り当てられているホストが，Device Managerに登録されているか，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられていないか確認してください。
KAIC18140-E	このタスクを再実行できません。ホストグループ（＜ホストグループ＞）を使用してボリュームが割り当てられたため，この操作を実行すると，これらのボリュームの割り当てが解除されるおそれがあります。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** ホストグループ（＜ホストグループ＞）を使用してボリュームが割り当てられたため，この操作を実行すると，これらのボリュームの割り当てが解除されるおそれがあります。 **対処** 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18141-E	このタスクは再実行できません。Device Managerをバージョンアップした場合，バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できないことがあります。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** Device Managerをバージョンアップした場合，バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できないことがあります。 **対処** 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18142-E	操作できるボリュームが見つかりません。ボリュームがホストに割り当てられていることを確認してください。	**要因** - **対処** ボリュームがホストに割り当てられていることを確認してください。
KAIC18143-E	ほかの操作によってLDEV（＜LDEV＞）が予約されているため，ホスト（＜ホスト名＞）を削除できません。すべてのタスクが完了したあと，再実行してください。	**要因** - **対処** すべてのタスクが完了したあと，再実行してください。
KAIC18144-E	複数の交換元WWNを一つの交換先WWNに指定しているため，この操作を実行できません。交換元WWNが複数のホストグループに関連づいています。交換先WWNを一つに指定してください。	**要因** 交換元WWNが複数のホストグループに関連づいています。 **対処** 交換先WWNを一つに指定してください。
KAIC18145-E	選択したタスクはすでに完了しているため，再実行は不要です。	**要因** - **対処** -
KAIC18146-W	再実行するプランの内容，および操作スケジュールを確認してから実行してください。操作対象リソースが存在しない場合，タスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** - **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18148-E	ホストグループが見つかりません。ホストグループが削除されたか，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ホストグループが削除されたか，LUNセキュリティが無効なホストグループ経由で割り当てられています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18149-E	ボリューム（＜ボリューム＞）の割り当てが解除できません。コピーペアが設定されたボリューム（＜ボリューム＞）の最後のパスを解除しようとしています。コピーペアを解除したあと，再実行してください。	**要因** コピーペアが設定されたボリューム（＜ボリューム＞）の最後のパスを解除しようとしています。 **対処** コピーペアを解除したあと，再実行してください。
KAIC18150-E	ボリューム（＜ボリューム＞）の割り当てが解除できません。Data Retention Utilityで，Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または，マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。Storage Navigatorでボリュームを見直してください。	**要因** Data Retention Utilityで，Reservedの属性を持つボリュームは割り当てを変更できません。または，マッピングガードが設定されているボリュームは割り当てを変更できません。 **対処** Storage Navigatorでボリュームを見直してください。
KAIC18151-E	指定したホストに設定されたLUNパスの数が＜上限値＞を超えています（LUNパス数=＜LUNパス数＞）。ホストの指定数を減らすか，または一部のLUNパスを解除したあと，再実行してください。	**要因** － **対処** ホストの指定数を減らすか，または一部のLUNパスを解除したあと，再実行してください。
KAIC18152-E	Device Managerをバージョンアップした場合，バージョンアップ前に登録したタスクを再実行できません。必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。	**要因** － **対処** 必要であれば同じ内容のタスクを登録し直してください。
KAIC18153-E	ボリュームに割り当てられているホストグループ（＜ホストグループID(ポート)…＞）に必要な権限がないため，パスを編集できません。システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	**要因** － **対処** システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18154-W	ホストグループの設定（＜項目名＞）が一致していないため，ホストグループの設定は変更できません。	**要因** － **対処** －
KAIC18155-E	新たなホストグループが作成できないため，指定した操作はできません。既存のホストグループの設	**要因** 既存のホストグループの設定（＜項目名＞）が一致していません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	定（＜項目名＞）が一致していません。Storage Navigatorを使用して操作してください。	**対処** Storage Navigatorを使用して操作してください。
KAIC18156-E	ホストにボリュームを割り当てられません。操作に必要なLUN Managerライセンスが，ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）に登録されていません。ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）に，LUN Managerライセンスを登録してください。ストレージシステムの更新を実行してから，再度操作してください。	**要因** 操作に必要なLUN Managerライセンスが，ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）に登録されていません。 **対処** ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）に，LUN Managerライセンスを登録してください。ストレージシステムの更新を実行してから，再度操作してください。
KAIC18157-I	ボリュームに対する必要な権限がないため，データのシュレッディングができません。	**要因** － **対処** －
KAIC18158-I	ボリュームがホストから利用されているため，データのシュレッディングができません。	**要因** － **対処** －
KAIC18159-I	ガードモードが設定されているため，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18160-I	ペアボリュームには，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18161-I	コマンドデバイスには，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18163-I	Quorum diskには，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18164-I	予約ボリュームには，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18165-I	仮想IDを削除できない仮想ボリュームには，データを書き込めません。	**要因** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAIC18166-I	ボリュームマイグレーションの予約ボリュームには，データを書き込めません。	**要因** － **対処** －
KAIC18167-E	ボリュームのデータのシュレッディングおよびフォーマットができませんでした。（原因 = ＜メッセージ＞）エラー発生原因のメッセージを参照してください。	**要因** － **対処** エラー発生原因のメッセージを参照してください。
KAIC18168-E	内部ストレージシステムがビジー状態です。数分後に再実行してください。	**要因** － **対処** －
KAIC18175-E	ポートスキャン機能をサポートしている内部ストレージシステムがありません。	**要因** － **対処** －
KAIC18176-I	ストレージシステムがデータのシュレッディングおよびフォーマットをサポートしていないため，処理は適用されません。	**要因** － **対処** －
KAIC18178-E	仮想化されているストレージシステムがありません。	**要因** － **対処** －
KAIC18179-I	プールボリュームには，データのシュレッディングができません。	**要因** － **対処** －
KAIC18180-I	Universal Volume Managerがインストールされている内部ストレージシステムがありません。リモートコマンドデバイスだけ作成できます。リモートコマンドデバイスを作成するには，外部ストレージシステムとして［外部接続先のボリュームを検索］を選択してください。	**要因** － **対処** －
KAIC18181-E	チップタイプが異なるボリュームを同じプールに混在させることができないため，プールボリュームに使用できません。チップタイプが同じボリュームだけを選択してください。	**要因** － **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		チップタイプが同じボリュームだけを選択してください。
KAIC18182-E	仮想化解除タスクは失敗しました。次の手順を実施してください。 1. 仮想化解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は，ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し，必要に応じて仮想化を解除する。 4. 外部ストレージシステムのボリュームの状態を確認し，必要に応じてボリュームの割り当て解除やボリュームの削除を実行する。 [エラー情報] ---- ＜Error Message＞ ----	**要因** - **対処** 1. 仮想化解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は，ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し，必要に応じて仮想化を解除する。 4. 外部ストレージシステムのボリュームの状態を確認し，必要に応じてボリュームの割り当て解除やボリュームの削除を実行する。 [エラー情報] ---- ＜Error Message＞ ----
KAIC18183-E	仮想化解除タスクは失敗しました。次の手順を実施してください。 1. 仮想化解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は，ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し，必要に応じて仮想化を解除する。 [エラー情報] ---- ＜Error Message＞ ----	**要因** - **対処** 1. 仮想化解除タスクを再実行する。 2. 再実行に失敗した場合は，ストレージ装置の情報を更新する。 3. 内部ストレージシステムのパリティグループの有無を確認し，必要に応じて仮想化を解除する。 [エラー情報] ---- ＜Error Message＞ ----
KAIC18184-E	対象の外部ボリュームは，ほかのホストまたはストレージシステムで使用しているため，割り当てを解除できません。 外部ストレージシステムのホストグループ（＜Host Group＞）の状態を確認して，次のどれかの方法で対処してください。 ・同じホストグループに割り当てられているすべての外部ボリュームの仮想化を解除する場合は，それらすべての外部ボリュームを選択して実行してください。 ・対象となっている外部ボリュームがほかのホストに割り当てられてい	**要因** - **対処** 外部ストレージシステムのホストグループ（＜Host Group＞）の状態を確認して，次のどれかの方法で対処してください。 ・同じホストグループに割り当てられているすべての外部ボリュームの仮想化を解除する場合は，それらすべての外部ボリュームを選択して実行してください。 ・対象となっている外部ボリュームがほかのホストに割り当てられている場合は，割り当てを解除してからボリュームの仮想化を解除してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	る場合は，割り当てを解除してからボリュームの仮想化を解除してください。	
KAIC18185-E	統合できるホストが一台もありません。	**要因** – **対処** –
KAIC18186-E	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。ホスト一覧を更新したあと，再度実行してください。	**要因** ホストが削除されたおそれがあります。 **対処** ホスト一覧を更新したあと，再度実行してください。
KAIC18187-E	ホスト名(＜ホスト名＞)は既存のホストに使用されています。異なるホスト名を指定してください。	**要因** – **対処** 異なるホスト名を指定してください。
KAIC18188-E	ホスト検出が可能なストレージシステムがありません。	**要因** – **対処** –
KAIC18196-E	仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）はほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC18197-E	指定したリソースグループ名はすでに使用されています。	**要因** – **対処** –
KAIC18198-E	指定した仮想モデル（＜仮想モデル＞）と仮想シリアル番号（＜仮想シリアル番号＞）を持つ仮想ストレージマシンがすでにあります。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18199-E	選択したリソースは，すでにリソースグループで使用されているリソースが含まれています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18200-E	仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）は削除できません。指定した仮想ストレージマシンは，ストレージシステムのデフォルト仮想スト	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	レージマシンであるため削除できません。	指定した仮想ストレージマシンは，ストレージシステムのデフォルト仮想ストレージマシンであるため削除できません。 **対処** –
KAIC18201-E	選択した仮想ストレージマシンは編集できません。仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。 **対処** 仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18203-E	このリソースグループに対する操作を実行できません。指定したリソースグループ（＜リソースグループ名＞）はほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** 指定したリソースグループ（＜リソースグループ名＞）はほかのタスクで使用されています。 **対処** ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC18204-E	このリソースグループに対する操作を実行できません。指定したリソースグループはすでに削除されています。いったん操作を終了したあと，リソースグループを確認してください。	**要因** 指定したリソースグループはすでに削除されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースグループを確認してください。
KAIC18205-E	このリソースグループに対する操作を実行できません。追加対象のリソースは，すでにリソースグループに登録されています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 追加対象のリソースは，すでにリソースグループに登録されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18206-E	ストレージシステム(＜ストレージ名＞)を追加できません。登録できるリソースグループ数が最大値（＜最大数＞）を超えます。いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。	**要因** 登録できるリソースグループ数が最大値（＜最大数＞）を超えます。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。
KAIC18207-E	ストレージシステム(＜ストレージ名＞)を追加できません。同じストレージシステム内で，リソースグループ名（＜リソースグループ名＞）はすでに使用されています。いったん操作を終了し，リソースグループ名を変更したあと，再実行してください。	**要因** 同じストレージシステム内で，リソースグループ名（＜リソースグループ名＞）はすでに使用されています。 **対処** いったん操作を終了し，リソースグループ名を変更したあと，再実行してください。
KAIC18208-E	ストレージシステム(＜ストレージ名＞)を追加できません。ストレージシステムに作成できる仮想ストレージマシン数が最大値（＜最大数＞）	**要因** ストレージシステムに作成できる仮想ストレージマシン数が最大値（＜最大数＞）を超えます。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	を超えます。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	**対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18209-E	仮想ストレージマシンの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）の情報を更新してから，再度操作してください。	**要因** - **対処** ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）の情報を更新してから，再度操作してください。
KAIC18210-E	リソースグループをユーザーグループに割り当てられません。All Resourcesと仮想ストレージマシンのリソースプールが混在しているか，または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループと仮想ストレージマシンのリソースプールが混在しています。リソースグループを選択し直してください。	**要因** All Resourcesと仮想ストレージマシンのリソースプールが混在しているか，または同じストレージシステムのデフォルトリソースグループと仮想ストレージマシンのリソースプールが混在しています。 **対処** リソースグループを選択し直してください。
KAIC18211-E	ストレージシステムをすべて削除できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18212-E	仮想ストレージマシンを作成できません。詳細のストレージタブのメッセージカラムを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて次のどちらかの操作を実行してください。 (1)　対象の仮想ストレージマシンがない場合は，仮想ストレージマシン作成ダイアログで再度操作してください。 (2)　対象の仮想ストレージマシンがある場合は，仮想ストレージマシン編集ダイアログで操作してください。	**要因** - **対処** 詳細のストレージタブのメッセージカラムを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて次のどちらかの操作を実行してください。 1. 対象の仮想ストレージマシンがない場合は，仮想ストレージマシン作成ダイアログで再度操作してください。 2. 対象の仮想ストレージマシンがある場合は，仮想ストレージマシン編集ダイアログで操作してください。
KAIC18213-E	仮想ストレージマシンを作成できません。（保守情報：＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18214-E	仮想ストレージマシンにリソースを追加できません。（保守情報：＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18215-E	仮想ストレージマシンにリソースを追加できません。（保守情報:＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18216-E	仮想ストレージマシンにリソースを追加できません。（保守情報:＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -
KAIC18217-E	仮想ストレージマシンにリソースを追加できません。（保守情報:＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18218-E	仮想ストレージマシンよりリソースを削除できません。（保守情報:＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -
KAIC18219-E	仮想ストレージマシンよりリソースを削除できません。（保守情報:＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18220-E	仮想ストレージマシン名を変更できません。（保守情報:＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -
KAIC18221-E	仮想ストレージマシンにストレージシステムを追加できません。（保守情報:＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -
KAIC18222-E	仮想ストレージマシンにストレージシステムを追加できません。（保守情報:＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18223-E	仮想ストレージマシンよりストレージシステムを削除できません。（保守情報:＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18224-E	リソースグループを編集できません。All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ，またはリソースプールが選択されています。リソースグループを選択し直してください。リソースプールに対してリソースを追加または削除したい場合は，仮想ストレージマシンを編集してください。	**要因** All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ，またはリソースプールが選択されています。 **対処** リソースグループを選択し直してください。リソースプールに対してリソースを追加または削除したい場合は，仮想ストレージマシンを編集してください。
KAIC18225-E	リソースグループ（＜リソースグループ名＞）を削除できません。All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ，またはリソースプールが選択されています。リソースグループを選択し直してください。	**要因** All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ，またはリソースプールが選択されています。 **対処** リソースグループを選択し直してください。
KAIC18226-E	仮想ストレージマシンよりストレージシステムを削除できません。（保守情報：＜メッセージ＞）	**要因** – **対処** –
KAIC18227-E	仮想ストレージマシンを削除できません。対象ストレージシステムカラムのメッセージを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて再度操作してください。	**要因** – **対処** 対象ストレージシステムカラムのメッセージを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて再度操作してください。
KAIC18228-E	仮想ストレージマシンを削除できません。（保守情報：＜メッセージ＞）	**要因** – **対処** –
KAIC18230-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。パスが設定されているボリュームが含まれています。［LDEV ID］タブでリソースを確認してください。	**要因** パスが設定されているボリュームが含まれています。 **対処** ［LDEV ID］タブでリソースを確認してください。
KAIC18231-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。仮想属性が"AM Reserved"のボリュームが含まれています。LDEV IDタブでリソースを確認してください。	**要因** 仮想属性が"AM Reserved"のボリュームが含まれています。 **対処** LDEV IDタブでリソースを確認してください。
KAIC18232-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。仮想IDが設定されているポートに割り当てられたホストグループが含まれて	**要因** 仮想IDが設定されているポートに割り当てられたホストグループが含まれています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	います。［ホストグループ番号］タブでリソースを確認してください。	**対処** ［ホストグループ番号］タブでリソースを確認してください。
KAIC18233-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。パスが設定されているホストグループが含まれています。［ホストグループ番号］タブでリソースを確認してください。	**要因** パスが設定されているホストグループが含まれています。 **対処** ［ホストグループ番号］タブでリソースを確認してください。
KAIC18234-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。仮想IDが設定されているポートが含まれています。［ストレージポート］タブでリソースを確認してください。	**要因** 仮想IDが設定されているポートが含まれています。 **対処** ［ストレージポート］タブでリソースを確認してください。
KAIC18235-E	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞を削除できません。ストレージシステム内のほかのリソースが，ほかのタスクで使用されています。いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** ストレージシステム内のほかのリソースが，ほかのタスクで使用されています。 **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC18236-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞の削除はできません。仮想ストレージマシン＜VDKC名＞にほかのタスクで使用されているリソースが含まれています。ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** 仮想ストレージマシン＜VDKC名＞にほかのタスクで使用されているリソースが含まれています。 **対処** ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC18237-E	すでに削除された仮想ストレージマシンが含まれているおそれがあります。仮想ストレージマシンがあるかどうか確認してください。	**要因** - **対処** 仮想ストレージマシンがあるかどうか確認してください。
KAIC18239-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞を削除できません。パスが設定されているボリュームが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。	**要因** パスが設定されているボリュームが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。
KAIC18240-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞を削除できません。仮想属性が"AM Reserved"のボリュームが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。	**要因** 仮想属性が"AM Reserved"のボリュームが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18241-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞を削除できません。仮想IDが設定されているポートに割り当てられたホストグループが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。	**要因** 仮想IDが設定されているポートに割り当てられたホストグループが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。
KAIC18242-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞を削除できません。パスが設定されているホストグループが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。	**要因** パスが設定されているホストグループが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。
KAIC18243-E	仮想ストレージマシン＜VDKC名＞を削除できません。仮想IDが設定されているポートが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。	**要因** 仮想IDが設定されているポートが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン詳細を確認してください。
KAIC18244-W	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)の更新中に操作が実行されました。表示された情報は最新ではないおそれがあります。	**要因** － **対処** －
KAIC18245-W	ストレージシステム(＜ストレージシステム名＞)の情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** － **対処** ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC18246-E	追加できるLDEV IDが不足しています。指定するLDEV IDの個数を減らすか，または開始LDEV IDを変更してください。	**要因** － **対処** 指定するLDEV IDの個数を減らすか，または開始LDEV IDを変更してください。
KAIC18247-E	ストレージポート（＜ストレージポート名＞）は追加できるホストグループ番号が不足しています。指定するホストグループ番号の個数を減らすか，または選択するストレージポートを変更してください。	**要因** － **対処** 指定するホストグループ番号の個数を減らすか，または選択するストレージポートを変更してください。
KAIC18248-E	仮想ストレージマシンを作成できません。（保守情報：＜メッセージ＞）	**要因** － **対処** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18249-E	仮想ストレージマシンを編集できません。詳細のストレージタブのメッセージカラムを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて仮想ストレージマシン編集ダイアログで操作してください。	**要因** – **対処** 詳細のストレージタブのメッセージカラムを確認して，問題を解決してください。そのあと仮想ストレージマシンの状態を確認し，必要に応じて仮想ストレージマシン編集ダイアログで操作してください。
KAIC18250-E	仮想ストレージマシンを削除できません。（保守情報：＜メッセージ＞）ストレージシステムの構成情報が変更されています。	**要因** ストレージシステムの構成情報が変更されています。 **対処** –
KAIC18251-E	ストレージシステム(＜ストレージ名＞)を追加できません。リソースグループ名（＜リソースグループ名＞）が同一ストレージシステム内のほかのタスクによって使用されています。いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了していることを確認したあと，リソースグループ名を変更し，再実行してください。	**要因** リソースグループ名（＜リソースグループ名＞）が同一ストレージシステム内のほかのタスクによって使用されています。 **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了していることを確認したあと，リソースグループ名を変更し，再実行してください。
KAIC18252-E	ストレージシステム（＜ストレージ名＞）を追加できません。指定したストレージシステムは，ほかのタスクで仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）にすでに追加されているおそれがあります。いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	**要因** 指定したストレージシステムは，ほかのタスクで仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）にすでに追加されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18256-E	ストレージシステムを追加できません。ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）のプロダクトコードが，操作している仮想ストレージマシンのプロダクトコードと異なります。ストレージシステムを見直してください。	**要因** ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）のプロダクトコードが，操作している仮想ストレージマシンのプロダクトコードと異なります。 **対処** ストレージシステムを見直してください。
KAIC18257-E	ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）を追加できません。仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）には，指定したストレージシステムがすでに追加されています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）には，指定したストレージシステムがすでに追加されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18258-E	指定した仮想モデル（＜仮想モデル＞）と仮想シリアル番号（＜仮想シリアル番号＞）は，ほかのタスクで使用されています。いったん操作	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	を終了し，ほかのタスクが終了してから，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18259-E	仮想ストレージマシンを編集できません。（保守情報：＜保守情報＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18260-E	管理操作を実行できません。指定したストレージシステムがデータベース上にありません。指定したストレージシステムが登録されているか，確認してください。	**要因** 指定したストレージシステムがデータベース上にありません。 **対処** 指定したストレージシステムが登録されているか，確認してください。
KAIC18261-E	システムタスクを管理するストレージシステムがありません。	**要因** - **対処** -
KAIC18263-E	ストレージシステムを追加できません。指定した仮想IDは，予約されています。仮想IDを使用している仮想ストレージマシンを削除するか，ほかの仮想IDを選択してください	**要因** 指定した仮想IDは，予約されています。 **対処** 仮想IDを使用している仮想ストレージマシンを削除するか，ほかの仮想IDを選択してください
KAIC18264-E	＜SNタスクのType＞に失敗しました。(ストレージシステム:″＜ストレージシステム＞″)［システムタスク管理］ボタンから起動した画面でエラーの内容を確認したあと，必要に応じて再実行してください。	**要因** - **対処** ［システムタスク管理］ボタンから起動した画面でエラーの内容を確認したあと，必要に応じて再実行してください。
KAIC18265-E	システムタスクの取得に失敗しました。(ストレージシステム：″＜ストレージシステム＞″,保守情報：″＜保守情報＞″)保守情報を基に対処してください。	**要因** - **対処** 保守情報を基に対処してください。
KAIC18266-E	データベースの更新に失敗しました。(ストレージシステム：″＜ストレージシステム＞″,失敗情報：″＜失敗情報＞″)失敗情報を基に対処してください。また,ストレージシステムの情報が最新ではありません。対象のストレージシステムに対する失敗したデータベース更新タスクを再実行する，または，ストレージシステムの情報を更新してください。	**要因** - **対処** 失敗情報を基に対処してください。また,ストレージシステムの情報が最新ではありません。対象のストレージシステムに対する失敗したデータベース更新タスクを再実行する，または，ストレージシステムの情報を更新してください。
KAIC18267-W	プロパティに指定した値に誤りがあります。デフォルト値で動作します。（ファイル名：″＜ファイル	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	名＞″，プロパティ名：″＜プロパティ名＞″，指定した値：″＜指定した値＞″，デフォルト値：″＜デフォルト値＞″）デフォルト値の動作で問題なければ，対処の必要はありません。デフォルト値から変更する場合は，プロパティを正しく設定し，サービスを再起動してください。	**対処** デフォルト値の動作で問題なければ，対処の必要はありません。デフォルト値から変更する場合は，プロパティを正しく設定し，サービスを再起動してください。
KAIC18268-E	vMA経由で登録した複数のホストに対する同時編集はできません。ホストを１つずつ編集してください。または，編集するホストを再度登録して，ホストの情報を上書きしてください。	**要因** － **対処** ホストを１つずつ編集してください。または，編集するホストを再度登録して，ホストの情報を上書きしてください。
KAIC18270-E	選択したリソースに，すでに仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）から削除されているリソースが含まれています。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** － **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18272-E	仮想ストレージマシンは編集できません。仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。 **対処** 仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18273-E	すでに削除されたっストレージシステムの仮想ストレージマシンが含まれているおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** － **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC18274-E	ストレージシステムが見つかりません。ストレージシステムが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** ストレージシステムが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC18275-E	選択したタスクを再実行できません。ストレージシステムが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** ストレージシステムが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC18276-E	選択したタスクを再実行できません。指定した仮想モデル，仮想シリアル番号（＜仮想ID＞）を持つ仮想ストレージマシンがすでにあります。いったん操作を終了したあと，	**要因** 指定した仮想モデル，仮想シリアル番号（＜仮想ID＞）を持つ仮想ストレージマシンがすでにあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18277-E	選択したタスクを再実行できません。仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）に指定したストレージシステムは，すでにほかのタスクで追加されているおそれがあります。いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）に指定したストレージシステムは，すでにほかのタスクで追加されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了したあと，仮想ストレージマシン一覧を確認してください。
KAIC18278-E	選択したタスクを再実行できません。追加対象のリソースは，すでにリソースグループで使用されています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 追加対象のリソースは，すでにリソースグループで使用されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18279-E	選択したタスクを再実行できません。削除対象のリソースは，すでに仮想ストレージマシンから削除されています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 削除対象のリソースは，すでに仮想ストレージマシンから削除されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18280-E	選択したタスクを再実行できません。仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** 仮想ストレージマシンが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18281-E	選択したタスクを再実行できません。仮想ストレージマシンの情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新してから，再実行してください。	**要因** 仮想ストレージマシンの情報が最新ではないおそれがあります。 **対処** ストレージシステムの情報を更新してから，再実行してください。
KAIC18287-E	フリースペースの情報が変更されたため，ボリュームを作成できません（フリースペース情報（パリティグループ/フリースペース番号）：＜フリースペース情報＞）。指定したフリースペースの開始LBAやサイズが変更されています。フリースペースを選択し直してから再度操作してください。	**要因** 指定したフリースペースの開始LBAやサイズが変更されています。 **対処** フリースペースを選択し直してから再度操作してください。
KAIC18288-E	選択したタスクを再実行できません。ストレージシステムが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。	**要因** ストレージシステムが削除されたおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		いったん操作を終了したあと，ストレージシステムを確認してください。
KAIC18289-E	選択したタスクを再実行できません。指定したリソースグループ名はすでに使用されています。いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。	**要因** 指定したリソースグループ名はすでに使用されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。
KAIC18290-E	選択したタスクを再実行できません。リソースグループが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。	**要因** リソースグループが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースグループ一覧を確認してください。
KAIC18291-E	選択したタスクを再実行できません。追加対象のリソースは，すでにリソースグループに登録されています。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 追加対象のリソースは，すでにリソースグループに登録されています。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18292-E	選択したタスクを再実行できません。削除対象のリソースはすでに削除されたか，またはほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 削除対象のリソースはすでに削除されたか，またはほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18293-E	タスクを登録できません。選択したボリュームまたはホストグループの状態が変更されています。いったん操作を終了し，再度操作してください。　（＜問題のあるリソース＞）	**要因** 選択したボリュームまたはホストグループの状態が変更されています。 **対処** いったん操作を終了し，再度操作してください。　（＜問題のあるリソース＞）
KAIC18294-E	選択したタスクを再実行できません。選択したストレージシステムに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。	**要因** 選択したストレージシステムに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。 **対処** 不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。
KAIC18295-E	リソースグループを作成できません。選択したストレージシステムに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。	**要因** 選択したストレージシステムに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。
KAIC18296-E	リソースグループを作成できません。（保守情報：＜メッセージ＞）保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ作成ダイアログで操作してください。	**要因** – **対処** 保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ作成ダイアログで操作してください。
KAIC18297-E	リソースグループにリソースを追加できません。（保守情報：＜メッセージ＞）保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ編集ダイアログで操作してください。	**要因** – **対処** 保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ編集ダイアログで操作してください。
KAIC18298-E	リソースグループを編集できません。（保守情報：＜メッセージ＞）保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ編集ダイアログで操作してください。	**要因** – **対処** 保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度，リソースグループ編集ダイアログで操作してください。
KAIC18299-E	リソースグループを削除できません。（保守情報：＜メッセージ＞）保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度操作してください。	**要因** – **対処** 保守情報を確認し，問題を解決してください。そのあと，リソースグループの状態を確認し，再度操作してください。
KAIC18300-E	一度に割り当てることのできないボリュームを複数選択しています。複数のボリュームを選択する場合，同じ仮想ストレージマシンに属しているボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** 複数のボリュームを選択する場合，同じ仮想ストレージマシンに属しているボリュームを選択してください。
KAIC18301-E	指定した仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）は，ほかのタスクで使用されています。いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから仮想ストレージマシンを確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから仮想ストレージマシンを確認してください。
KAIC18302-E	指定したボリューム（＜LDEV番号＞）は，ほかのタスクで使用されています。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18303-E	指定したホストグループ（＜ホストグループ名＞）は，ほかのタスクで使用されています。ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** - **対処** ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC18304-E	仮想ストレージマシン（＜VDKC名＞）に対して，Device Managerがこの操作をサポートしていないため，実行できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18305-E	この操作を実行できません。異なる仮想ストレージマシンに属するボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットの組み合わせが含まれています。ボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットは同じ仮想ストレージマシンに属する必要があります。ほかのポートまたはWWN/iSCSI Nameを選択してパスを設定するか，または，いったん操作を終了したあと，ボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットの所属する仮想ストレージマシンを変更してください。	**要因** 異なる仮想ストレージマシンに属するボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットの組み合わせが含まれています。 **対処** ボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットは同じ仮想ストレージマシンに属する必要があります。ほかのポートまたはWWN/iSCSI Nameを選択してパスを設定するか，または，いったん操作を終了したあと，ボリュームとホストグループ/iSCSIターゲットの所属する仮想ストレージマシンを変更してください。
KAIC18306-E	この操作を実行できません。＜ストレージポート名＞のポートには，WWN＜WWN＞を持つホストグループがすでに割り当てられています。ほかのポートまたはWWNを選択してください。	**要因** ＜ストレージポート名＞のポートには，WWN＜WWN＞を持つホストグループがすでに割り当てられています。 **対処** ほかのポートまたはWWNを選択してください。
KAIC18307-W	仮想化サーバの場合は，iSCSIはサポートしていません。統合元ホスト(＜ホスト名＞)のiSCSIネームは削除されます。	**要因** - **対処** -
KAIC18308-E	仮想化サーバの場合は，iSCSIはサポートしていません。統合元ホストにはWWNがないホスト(＜ホスト名＞)が含まれるため統合できません。	**要因** - **対処** -
KAIC18309-E	割り当てられないボリュームが含まれています。ボリューム（＜LDEV ID＞）は，デフォルト仮想ストレージマシンに属し，かつ，仮想LDEV IDが設定されていません。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** ボリューム（＜LDEV ID＞）は，デフォルト仮想ストレージマシンに属し，かつ，仮想LDEV IDが設定されていません。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18310-E	名前以外のパラメタの変更は成功しましたが，名前の変更に失敗しました。(保守情報: ＜Message＞)名前を	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	変更する場合は，新しいタスクを作成して実行してください。	名前を変更する場合は，新しいタスクを作成して実行してください。
KAIC18311-E	リソースの選択時に画面で不整合が発生しました。ダイアログを閉じて，操作し直してください。	**要因** - **対処** ダイアログを閉じて，操作し直してください。
KAIC18318-E	選択したボリューム（LDEV ID: ＜LDEV IDs＞）は拡張できません。選択したボリュームはActive Mirrorペアボリュームです。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** 選択したボリュームはActive Mirrorペアボリュームです。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18319-E	選択したボリューム（LDEV ID: ＜LDEV IDs＞）は拡張できません。選択したボリュームはAM予約ボリュームです。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** 選択したボリュームはAM予約ボリュームです。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18320-E	プール（＜プールID＞）を削除できません。選択したプールにAM予約ボリュームが含まれています。ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。	**要因** 選択したプールにAM予約ボリュームが含まれています。 **対処** ボリュームを確認してから，プールの削除を再度実行してください。
KAIC18321-E	AM予約ボリュームは，データのシュレッディングができません。	**要因** - **対処** -
KAIC18322-W	Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームのLUNパス情報を表示できません。このボリュームはLUNセキュリティが無効なポートに割り当てられています。	**要因** このボリュームはLUNセキュリティが無効なポートに割り当てられています。 **対処** -
KAIC18323-W	Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームのLUNパス情報を表示できません。ボリュームが割り当てられているホストグループに対する参照権限がないおそれがあります。	**要因** ボリュームが割り当てられているホストグループに対する参照権限がないおそれがあります。 **対処** -
KAIC18324-E	ボリューム（＜LDEV IDs＞）を削除できません。AM予約ボリュームは削除できません。ほかのボリュームを指定してください。	**要因** AM予約ボリュームは削除できません。 **対処** ほかのボリュームを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18325-W	ホストが見つかりません。ホストが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** ホストが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18326-I	プランが変更されています。Active MirrorペアのP-VOLとS-VOLの割り当てが同時に解除されます。	**要因** - **対処** -
KAIC18328-E	指定されたボリューム容量ではQuorumディスクは作成できません。ボリュームの容量が12.01 GB以上になるように設定を見直してください。	**要因** - **対処** ボリュームの容量が12.01 GB以上になるように設定を見直してください。
KAIC18329-E	選択したボリューム"＜LDEV IDs＞"を仮想化できません。選択したボリュームはActive Mirrorペアを構成するために予約されています。別のボリュームを選択してください。	**要因** 選択したボリュームはActive Mirrorペアを構成するために予約されています。 **対処** 別のボリュームを選択してください。
KAIC18332-E	リソースグループを操作できません。次のどれかがほかのタスクで使用されているおそれがあります。 ・リソースグループ（＜リソースグループ名＞） ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に属するほかのリソースグループ ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞） いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** 次のどれかがほかのタスクで使用されているおそれがあります。 ・リソースグループ（＜リソースグループ名＞） ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に属するほかのリソースグループ ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞） **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC18335-W	選択したボリューム（＜LDEV IDs＞）に，Active Mirrorペアボリュームが含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様にゼロページを破棄することを推奨します。	**要因** - **対処** Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様にゼロページを破棄することを推奨します。
KAIC18336-E	ゼロページを破棄できません。選択したボリュームに，AM予約ボリューム（＜LDEV IDs＞）が含まれています。対象のボリュームを確認してください。	**要因** 選択したボリュームに，AM予約ボリューム（＜LDEV IDs＞）が含まれています。 **対処** 対象のボリュームを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18342-E	リソースグループを操作できません。次のどれかがほかのタスクで使用されているおそれがあります。 ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に属するほかのリソースグループ ・仮想ストレージマシン（＜VSM名＞） いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。	**要因** 次のどれかがほかのタスクで使用されているおそれがあります。 ・ 仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に属するほかのリソースグループ ・ 仮想ストレージマシン（＜VSM名＞） **対処** いったん操作を終了し，ほかのタスクが終了してから，再度操作してください。
KAIC18347-E	選択したボリュームを仮想化できません。対象のボリュームはすでに仮想化されているか，または外部パスに割り当てられています。すでにボリュームが仮想化されている場合は，ほかのボリュームを選択してください。内部ストレージシステムの外部ポートに割り当てられているボリュームを仮想化する場合は，パスを解除してから再度実行するか，または［外部システム］で［外部接続先のボリュームを検索］を選択して仮想化してください。	**要因** 対象のボリュームはすでに仮想化されているか，または外部パスに割り当てられています。 **対処** すでにボリュームが仮想化されている場合は，ほかのボリュームを選択してください。内部ストレージシステムの外部ポートに割り当てられているボリュームを仮想化する場合は，パスを解除してから再度実行するか，または［外部システム］で［外部接続先のボリュームを検索］を選択して仮想化してください。
KAIC18356-E	リソースグループを作成できません。選択した仮想ストレージマシンに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。	**要因** 選択した仮想ストレージマシンに登録できるリソースグループ数の上限（＜最大数＞）を超えます。 **対処** 不要なリソースグループを削除したあと，再度操作してください。
KAIC18358-W	LUNパスが設定されるボリュームにActive Mirrorペアボリューム（＜ボリュームIDを″,″で連結した文字列＞）が含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームのLUNパス構成を確認してください。この操作が完了したあと，必要に応じてもう一方のボリュームのLUNパス構成を編集してください。	**要因** – **対処** Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームのLUNパス構成を確認してください。この操作が完了したあと，必要に応じてもう一方のボリュームのLUNパス構成を編集してください。
KAIC18360-I	選択したボリュームとActive Mirrorペアを構成しているもう一方のボリュームを，同時に割り当て解除する対象にできません。もう一方のボリュームは選択したホストに割り当てられていません。	**要因** もう一方のボリュームは選択したホストに割り当てられていません。 **対処** –
KAIC18361-W	選択したボリューム（＜LDEV IDs＞）に， Active Mirrorペアボリュームが含まれています。Active Mirrorペアを構成するもう一方のボ	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リュームも，同様に再配置の設定をすることを推奨します。	Active Mirrorペアを構成するもう一方のボリュームも，同様に再配置の設定をすることを推奨します。
KAIC18362-E	再配置設定はできません。選択したボリュームに，AM予約ボリューム（<LDEV IDs>）が含まれています。対象のボリュームを確認してください。	**要因** 選択したボリュームに，AM予約ボリューム（<LDEV IDs>）が含まれています。 **対処** 対象のボリュームを確認してください。
KAIC18367-E	ボリューム（<LDEV ID>）に割り当てられているホストが見つかりません。ボリュームの状態を確認してください。	**要因** - **対処** ボリュームの状態を確認してください。
KAIC18373-E	指定したActive Mirrorペアが見つかりません。指定したActive Mirrorペアが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，対象のActive Mirrorペアを確認してください。	**要因** 指定したActive Mirrorペアが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，対象のActive Mirrorペアを確認してください。
KAIC18376-E	選択したタスクを再実行できません。追加対象のリソースがリソースプール（<リソースプール名>）から削除されたか，またはほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** 追加対象のリソースがリソースプール（<リソースプール名>）から削除されたか，またはほかのリソースグループに登録されているおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。
KAIC18377-E	選択したボリュームの割り当てができません。選択したボリュームはAM Reservedのボリュームです。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** 選択したボリュームはAM Reservedのボリュームです。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18379-E	タスクの実行に失敗しました。ストレージシステムから予期しない応答を検知しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** ストレージシステムから予期しない応答を検知しました。 **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC18380-E	指定したリソースグループは詳細を表示できません。詳細の表示に対応していないリソースグループ（All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ， 内部処理用のリソースグループ，リソースプール，仮想ストレージマシンのデフォルトリソースプール）です。	**要因** 詳細の表示に対応していないリソースグループ（All Resources，ストレージシステムのデフォルトリソースグループ， 内部処理用のリソースグループ，リソースプール，仮想ストレージマシンのデフォルトリソースプール）です。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		–
KAIC18381-E	選択したユーザーグループ（<ユーザグループ名>）は削除できません。Device Manager以外の製品のリソースグループが割り当てられています。	**要因** Device Manager以外の製品のリソースグループが割り当てられています。 **対処** –
KAIC18391-E	このステップを実行できない状態のボリュームがあります。いったん操作を終了したあと，ボリュームの状態を確認してください。	**要因** – **対処** いったん操作を終了したあと，ボリュームの状態を確認してください。
KAIC18397-I	失敗したタスクのエラーの原因を確認し，必要なリカバリー作業を実施しました。	**要因** – **対処** –
KAIC18398-E	選択したボリュームのステータスを変更できません。「失敗」以外のステータスのボリュームが含まれています。ボリュームのステータスを確認してください。	**要因** 「失敗」以外のステータスのボリュームが含まれています。 **対処** ボリュームのステータスを確認してください。
KAIC18399-E	選択したボリュームのステータスを変更できません。異なるステップでの「失敗」ステータスのボリュームが混在しています。同じステップ内のボリュームを選択するか，ボリュームごとにタスクを実行してください。	**要因** 異なるステップでの「失敗」ステータスのボリュームが混在しています。 **対処** 同じステップ内のボリュームを選択するか，ボリュームごとにタスクを実行してください。
KAIC18425-E	リソースグループを作成できません。指定した名前（<リソースグループ名>）はほかのタスクで予約されています。ほかのリソースグループ名を指定してください。	**要因** 指定した名前（<リソースグループ名>）はほかのタスクで予約されています。 **対処** ほかのリソースグループ名を指定してください。
KAIC18426-E	リソースグループを作成できません。指定したリソースグループ名（<リソースグループ名>）はすでに使用されています。ほかのリソースグループ名を指定してください。	**要因** 指定したリソースグループ名（<リソースグループ名>）はすでに使用されています。 **対処** ほかのリソースグループ名を指定してください。
KAIC18432-E	一部のリソースグループを作成できませんでした。タスク詳細でメッセージを確認してください。	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		タスク詳細でメッセージを確認してください。
KAIC18444-E	外部パスが設定されていません。外部パス編集ダイアログで，仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に対する外部パスを設定してから，再実行してください。	**要因** – **対処** 外部パス編集ダイアログで，仮想ストレージマシン（＜VSM名＞）に対する外部パスを設定してから，再実行してください。
KAIC18465-E	外部パリティグループ番号が不足しています。開始外部パリティグループ番号を変更するか，マイグレーションが完了したボリュームに対して，ボリューム仮想化解除を実行してください。	**要因** – **対処** 開始外部パリティグループ番号を変更するか，マイグレーションが完了したボリュームに対して，ボリューム仮想化解除を実行してください。
KAIC18467-E	選択したパリティグループ（＜パリティグループ名＞）は，ほかのタスクで使用されています。ほかのパリティグループを選択してください。または，いったん操作を終了し，タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに，操作し直してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択してください。または，いったん操作を終了し，タスクを終了もしくはキャンセルしたあとに，操作し直してください。
KAIC18478-E	論理グループのボリュームの数が多いため，論理グループに関する情報の一部を表示できません。	**要因** – **対処** –
KAIC18492-W	タスクを実行すると，DPプールの予約率が最大予約率を超えます。ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。
KAIC18493-W	タスクを実行すると，DPプールの予約率が警告予約率を超えます。タスクを実行する前にDPプールを拡張することをお勧めします。	**要因** – **対処** タスクを実行する前にDPプールを拡張することをお勧めします。
KAIC18494-W	タスクを実行すると，DPプールの使用済み容量が使用率しきい値2を超えます。ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。
KAIC18495-W	タスクを実行すると，DPプールの使用済み容量が使用率しきい値1を超えます。ほかのDPプールを選択する	**要因** – **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	か，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。	ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。
KAIC18496-W	タスクを実行するとDPプールの空き容量が不足します。ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。
KAIC18498-E	パリティグループのフリースペースが不足しています。ほかのパリティグループを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC18499-E	使用できるLDEV IDが不足しています。不要なボリュームを＜LDEV ID数＞個削除するか，リソースグループにLDEV IDを登録してください。またはほかのリソースグループを選択してください。	**要因** – **対処** 不要なボリュームを＜LDEV ID数＞個削除するか，リソースグループにLDEV IDを登録してください。またはほかのリソースグループを選択してください。
KAIC18500-E	選択したDPプールまたはパリティグループには，マイグレーションターゲットボリュームとして使用できるボリュームが不足しています。ほかのDPプールまたはパリティグループを選択するか，［新規にボリュームを作成する］を選択してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールまたはパリティグループを選択するか，［新規にボリュームを作成する］を選択してください。
KAIC18501-E	選択したパリティグループはほかのタスクで使用されています。ほかのパリティグループを選択するか，ほかのタスクが終了してから再度操作してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択するか，ほかのタスクが終了してから再度操作してください。
KAIC18502-E	タスクを実行できません。［タスクステータス詳細］テーブルの［メッセージ］欄を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。	**要因** – **対処** ［タスクステータス詳細］テーブルの［メッセージ］欄を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。
KAIC18511-E	選択したユーザーグループ（＜ユーザグループ名＞）は削除できません。Device Manager以外の製品のリソースグループまたはサービスグループが割り当てられています。	**要因** Device Manager以外の製品のリソースグループまたはサービスグループが割り当てられています。 **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18521-W	＜選択したジョブのボリューム数＞個中＜使用できないボリューム数＞個のボリュームに対して，この操作ができません。操作の対象外となります。	**要因** – **対処** –
KAIC18526-E	データベース上のCLPRの情報が正しくありません。ストレージシステムを更新してください。	**要因** – **対処** ストレージシステムを更新してください。
KAIC18530-E	ストレージシステムの情報が最新ではありません。ストレージシステムの情報が更新されていないか，前回実行したタスクのマイグレーションペアが解除されていないおそれがあります。ストレージシステムの情報を更新するか，すでに更新している場合は，しばらくしてから再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。（ストレージシステム名：＜ストレージシステム名＞）	**要因** ストレージシステムの情報が更新されていないか，前回実行したタスクのマイグレーションペアが解除されていないおそれがあります。 **対処** ストレージシステムの情報を更新するか，すでに更新している場合は，しばらくしてから再実行してください。エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決に，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。（ストレージシステム名：＜ストレージシステム名＞）
KAIC18531-E	タスクを再実行できません。操作対象のボリュームが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了し，操作対象のボリュームを見直してください。	**要因** 操作対象のボリュームが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了し，操作対象のボリュームを見直してください。
KAIC18546-W	ほかのボリュームを作成できなかったため，ボリューム作成が完了したあとの処理を中止しました。	**要因** – **対処** –
KAIC18547-E	ボリュームのフォーマットの完了を検知できませんでした。ボリュームがフォーマットされないで削除されたおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して，リソースを確認してください。	**要因** ボリュームがフォーマットされないで削除されたおそれがあります。 **対処** 対象のストレージシステムを更新して，リソースを確認してください。
KAIC18548-E	ボリュームのフォーマットの完了を検知できませんでした。ボリュームがフォーマットされなかったおそれがあります。対象のストレージシステムを更新して，ボリュームをフォーマットしてください。	**要因** ボリュームがフォーマットされなかったおそれがあります。 **対処** 対象のストレージシステムを更新して，ボリュームをフォーマットしてください。
KAIC18549-E	ボリューム作成が完了したあとの処理でエラーが発生しました。詳細を	**要因** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。（詳細：＜メッセージ＞）	**対処** 詳細を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。（詳細：＜メッセージ＞）
KAIC18550-E	ボリューム作成が完了したあとの処理でエラーが発生しました。詳細を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。（詳細：＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** 詳細を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。（詳細：＜メッセージ＞）
KAIC18551-E	マイグレーションの進捗情報をストレージシステムから取得できませんでした。マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，必要に応じてタスクを再実行してください。	**要因** マイグレーションペアが解除されたおそれがあります。 **対処** タスクが終了したあと，ストレージシステムの情報を更新してください。そのあと，ボリューム情報を確認して，必要に応じてタスクを再実行してください。
KAIC18554-E	タスクを中止できません。［タスクステータス詳細］の［メッセージ］欄を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで再度タスクを中止してください。	**要因** - **対処** ［タスクステータス詳細］の［メッセージ］欄を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで再度タスクを中止してください。
KAIC18555-E	データマイグレーションを中止できません。［マイグレーション情報］の［メッセージ］欄を確認し，メッセージに従って対処してください。	**要因** - **対処** ［マイグレーション情報］の［メッセージ］欄を確認し，メッセージに従って対処してください。
KAIC18556-E	データマイグレーションが完了したあとの処理でエラーが発生しました。詳細を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。（詳細：＜メッセージ＞）	**要因** - **対処** 詳細を確認し，必要に応じてメッセージに従って対処してください。そのあとで，タスクを再実行してください。（詳細：＜メッセージ＞）
KAIC18559-I	再実行元のタスクで使用したLDEV IDは，すでにほかのボリュームに使用されているため，別のLDEV IDを使用します。	**要因** - **対処** -
KAIC18560-E	ボリュームを作成できません。[マイグレーションターゲットボリューム情報]の[メッセージ]欄を確認し，	**要因** - **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	メッセージに従って対処してください。	[マイグレーションターゲットボリューム情報]の[メッセージ]欄を確認し，メッセージに従って対処してください。
KAIC18568-E	タスクを実行すると，DPプールの予約率が最大予約率を超えます。ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールを選択するか，タスクを実行する前にDPプールを拡張してください。
KAIC18569-W	タスクを実行すると，DPプールの予約率が警告予約率を超えます。タスクを実行する前にDPプールを拡張することをお勧めします。	**要因** – **対処** タスクを実行する前にDPプールを拡張することをお勧めします。
KAIC18570-E	パリティグループのフリースペースが不足しています。ほかのパリティグループを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC18571-E	タスクを再実行できません。マイグレーションできないボリュームが含まれています。いったん操作を終了したあと，ボリュームを確認してください。	**要因** マイグレーションできないボリュームが含まれています。 **対処** いったん操作を終了したあと，ボリュームを確認してください。
KAIC18572-E	選択したタスクは操作できません。ほかのタスクを選択して，再実行してください。	**要因** – **対処** ほかのタスクを選択して，再実行してください。
KAIC18574-W	ストレージシステム＜ストレージシステム名＞のマイクロコードのバージョンが＜マイクロコードのバージョン＞未満のため，外部ボリュームを表示できません。マイクロコードのバージョンを＜マイクロコードのバージョン＞以上にアップデートしてください。	**要因** – **対処** マイクロコードのバージョンを＜マイクロコードのバージョン＞以上にアップデートしてください。
KAIC18575-E	選択したボリューム（＜LDEV ID＞）は読み取り専用です。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18576-E	選択したボリューム（＜LDEV ID＞）は閉塞中，または未フォーマット状態です。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18577-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はコレクションアクセス状態です。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** – **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18578-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はシュレッディング中です。しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。
KAIC18579-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はフォーマット中です。しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。
KAIC18580-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はコピー中です。しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。
KAIC18581-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はクイックフォーマットの準備中です。しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。
KAIC18583-E	選択したボリューム（<LDEV ID>）はクイックフォーマット実行中です。しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。	**要因** – **対処** しばらくしてからストレージシステムを更新し，再実行してください。
KAIC18589-E	選択したDPプールは閉塞状態です。ほかのDPプールを選択してください。または，いったん操作を終了し，DPプールを閉塞状態から回復させたあと，ストレージシステムを更新してから操作し直してください。	**要因** – **対処** ほかのDPプールを選択してください。または，いったん操作を終了し，DPプールを閉塞状態から回復させたあと，ストレージシステムを更新してから操作し直してください。
KAIC18603-E	VMware vCenter Serverが見つかりません。VMware vCenter Serverが削除されたおそれがあります。いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。	**要因** VMware vCenter Serverが削除されたおそれがあります。 **対処** いったん操作を終了したあと，リソースを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18606-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，操作を続行するとDPプールの予約率が最大予約率（＜最大予約率＞）を超えます。DPプールを拡張するか，最大予約率を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，最大予約率を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。
KAIC18607-W	超過時VOL操作強制実行オプションが有効であるため，操作を続行するとDPプールの予約率が最大予約率（＜最大予約率＞）を超えます。DPプールを拡張するか，または最大予約率を変更することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，または最大予約率を変更することを推奨します。
KAIC18610-W	プールの予約率が警告予約率(＜警告予約率＞)を超えています。DPプールを拡張するか，警告予約率を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，警告予約率を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。
KAIC18611-W	プールの予約率が警告予約率(＜警告予約率＞)を超えています。DPプールを拡張するか，または警告予約率を変更することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，または警告予約率を変更することを推奨します。
KAIC18615-W	プールの使用率が使用率しきい値1(＜使用率しきい値1＞)を超えています。DPプールを拡張するか，使用率しきい値1を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，使用率しきい値1を変更することを推奨します。または，ほかのDPプールを選択することを推奨します。
KAIC18616-W	DPプールの使用率が使用率しきい値1（＜使用率しきい値1＞）を超えています。DPプールを拡張するか，または使用率しきい値1を変更することを推奨します。	**要因** – **対処** DPプールを拡張するか，または使用率しきい値1を変更することを推奨します。
KAIC18617-E	タスクを即時中止できません（タスク名=＜タスク名＞）。ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）が更新中です。ストレージシステムの更新が完了してから，再度操作してください。	**要因** ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）が更新中です。 **対処** ストレージシステムの更新が完了してから，再度操作してください。
KAIC18618-E	タスクを即時中止できません（タスク名=＜タスク名＞）。ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）の情報が最新ではないおそれがあります。ストレージシステムの	**要因** ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）の情報が最新ではないおそれがあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	情報を更新してから，再度操作してください。	ストレージシステムの情報を更新してから，再度操作してください。
KAIC18619-E	ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）のマイクロコードのバージョンが＜マイクロコードのバージョン＞未満のため，この操作はできません。ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**要因** – **対処** ストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC18620-E	ストレージシステム（＜ストレージシステム名＞）のマイクロコードのバージョンが＜マイクロコードのバージョン＞未満のため，この操作はできません。ほかのストレージシステムを選択するか，またはストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**要因** – **対処** ほかのストレージシステムを選択するか，またはストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC18623-E	HA Command Suiteの管理サーバがSVPの外部認証サーバとして登録されていません。この操作をする場合は、ストレージシステム編集を実行して，HA Command Suiteの管理サーバをSVPの外部認証サーバとして登録してください。	**要因** – **対処** この操作をする場合は、ストレージシステム編集を実行して，HA Command Suiteの管理サーバをSVPの外部認証サーバとして登録してください。
KAIC18624-E	選択したパリティグループ（＜連結パリティグループの代表パリティグループ以外のパリティグループ＞）に対して，この操作はできません。連結パリティグループを操作する場合は，連結パリティグループのうち一番小さい番号のパリティグループだけを代表として選択してください。	**要因** – **対処** 連結パリティグループを操作する場合は，連結パリティグループのうち一番小さい番号のパリティグループだけを代表として選択してください。
KAIC18662-E	ホストの情報がありません。このストレージシステムに接続しているホストはDevice Managerに登録されていません。Device Managerにホストを登録したあと，再実行してください。	**要因** このストレージシステムに接続しているホストはDevice Managerに登録されていません。 **対処** Device Managerにホストを登録したあと，再実行してください。
KAIC18672-W	指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを作成すると，プールの使用率が使用率しきい値1を超えます。必要に応じて，プールを拡張してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて，プールを拡張してください。
KAIC18673-E	ボリュームを作成できません。指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを作成すると，プールの使用率が使用率しきい値2を超えます。次のどれかの方法で対処してください。 ・ほかのプールを選択する。 ・プールを拡張する。	**要因** 指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを作成すると，プールの使用率が使用率しきい値2を超えます。 **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	・作成するボリュームの容量を減らす。 ・ページ予約を無効にする。 ・使用率しきい値2を変更する。	・ プールを拡張する。 ・ 作成するボリュームの容量を減らす。 ・ ページ予約を無効にする。 ・ 使用率しきい値2を変更する。
KAIC18674-W	指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを割り当てると，プールの使用率が使用率しきい値1を超えます。必要に応じて，プールを拡張してください。	**要因** – **対処** 必要に応じて，プールを拡張してください。
KAIC18675-E	指定した容量で，ページ予約を有効にしてボリュームを割り当てると，プールの使用率が使用率しきい値2を超えます。次のどれかの方法で対処してください。 ・ほかのプールを選択する。 ・プールを拡張する。 ・ボリュームの容量を減らす。 ・ページ予約を無効にする。 ・使用率しきい値2を変更する。	**要因** – **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・ ほかのプールを選択する。 ・ プールを拡張する。 ・ ボリュームの容量を減らす。 ・ ページ予約を無効にする。 ・ 使用率しきい値2を変更する。
KAIC18677-E	使用率が使用率しきい値2を超えているため，DPボリュームを拡張できません。プールを拡張するか，使用率しきい値2を見直してください。	**要因** – **対処** プールを拡張するか，使用率しきい値2を見直してください。
KAIC18680-E	DPプール縮小後にボリュームのフォーマットを実行できませんでした。ストレージシステムの情報を更新し，DPプールの状態を確認してください。DPプールから削除したボリュームが閉塞状態の場合は，Storage Navigatorを使用してボリュームをフォーマットしてください。	**要因** – **対処** ストレージシステムの情報を更新し，DPプールの状態を確認してください。DPプールから削除したボリュームが閉塞状態の場合は，Storage Navigatorを使用してボリュームをフォーマットしてください。
KAIC18681-E	CTG IDにAutoを指定できません。選択したストレージシステムのCTG IDはすべて使用されています。不要なペアを削除して，使用できるCTG IDを用意してから，再実行してください。	**要因** 選択したストレージシステムのCTG IDはすべて使用されています。 **対処** 不要なペアを削除して，使用できるCTG IDを用意してから，再実行してください。
KAIC18690-E	maintenance utilityでストレージシステムと通信できません。（エラーコード＜GUMサーバから返却されたエラーコード、またはHTTPのステータスコード＞,保守情報＜GUMサーバから返却されたエラーメッセージ、またはHTTPのレスポンスメッセージ＞）	**要因** – **対処** 次の項目を見直したあと，「ストレージシステム編集」を実行して「ログインアカウント認証の設定」が正常終了することを確認し

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	次の項目を見直したあと，「ストレージシステム編集」を実行して「ログインアカウント認証の設定」が正常終了することを確認してください。そのあと，再度操作してください。 ・SVPとDevice ManagerサーバのSSL設定 ・SVP，コントローラ，およびDevice Managerサーバのファイアウォール設定 ・SVPまたはコントローラとDevice Managerサーバ間のネットワーク設定 問題が解決しないときは，保守情報を取得して，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	てください。そのあと，再度操作してください。 ・SVPとDevice ManagerサーバのSSL設定 ・SVP，コントローラ，およびDevice Managerサーバのファイアウォール設定 ・SVPまたはコントローラとDevice Managerサーバ間のネットワーク設定 問題が解決しないときは，保守情報を取得して，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC18698-E	使用できるLDEV IDが不足しています。開始LDEV IDを変更するか，LDEV IDの空きを確保するために，不要なボリュームを削除してください。	**要因** – **対処** 開始LDEV IDを変更するか，LDEV IDの空きを確保するために，不要なボリュームを削除してください。
KAIC18701-E	追加しようとしたLDEV ID（＜LDEV ID＞）は，ほかのタスクですでに使用されています。使用できるLDEV IDを取得し直すために，［1.ボリューム仮想化］画面に戻り，再度［次へ］ボタンをクリックしてください。	**要因** – **対処** 使用できるLDEV IDを取得し直すために，［1.ボリューム仮想化］画面に戻り，再度［次へ］ボタンをクリックしてください。
KAIC18703-E	追加しようとしたホストグループ番号（＜ホストグループ番号＞）は，ほかのタスクですでに使用されています。使用できるホストグループ番号を取得し直すために，［2. ボリューム割り当て］画面に戻り，再度［次へ］ボタンをクリックしてください。	**要因** – **対処** 使用できるホストグループ番号を取得し直すために，［2. ボリューム割り当て］画面に戻り，再度［次へ］ボタンをクリックしてください。
KAIC18716-W	選択されたリソースグループにプールが含まれていません。いったん操作を終了したあと，リソースグループを確認してください。	**要因** – **対処** –
KAIC18717-E	ポート(＜ポート名＞)に使用できるiSCSIターゲット番号がありません。リソースグループにiSCSIターゲット番号を登録してください。	**要因** – **対処** リソースグループにiSCSIターゲット番号を登録してください。
KAIC18718-E	指定したパスをポート(＜ポート名＞)に設定できません。iSCSIターゲット番号(＜ホストグルー	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	プ番号>)に対する権限がありません。iSCSIターゲット番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。	iSCSIターゲット番号(<ホストグループ番号>)に対する権限がありません。 **対処** iSCSIターゲット番号(<ホストグループ番号>)をリソースグループに登録してください。
KAIC18721-W	DPプールのプールボリュームに内部ボリュームと外部ボリュームを混在して使用する構成は推奨しません。	**要因** - **対処** -
KAIC18722-W	DPプールのプールボリュームに外部ボリュームを使用する場合，キャッシュモードの有効/無効が混在する構成は推奨しません。	**要因** - **対処** -
KAIC18723-E	選択したボリューム"<ldev id>"は，この操作では使用できません。選択したボリュームはAM予約ボリュームです。ほかのボリュームを選択してください。	**要因** 選択したボリュームはAM予約ボリュームです。 **対処** ほかのボリュームを選択してください。
KAIC18724-E	異なるストレージシステムに属するボリュームが選択されています。複数のボリュームを指定する場合，すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。	**要因** - **対処** 複数のボリュームを指定する場合，すべてのボリュームが同じストレージシステムに属していることを確認してください。
KAIC18733-W	予期しないエラーが発生しました。保守情報（<保守情報>）エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** 保守情報（<保守情報>） **対処** エラーが繰り返し発生する場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC18744-E	選択したストレージシステム（<ストレージシステム名>）はこの操作をサポートしていません。ほかのストレージシステムを選択するか，またはストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。	**要因** - **対処** ほかのストレージシステムを選択するか，またはストレージシステムのマイクロコードのバージョンを最新にしてください。
KAIC18745-W	副側で<パス>パスを自動設定できません。ホストまたはストレージシステムに<パス>ポートがないか，ストレージポートに対する権限がありません。ストレージポートの設定を見直してください。ストレージポートに権限がない場合は，システ	**要因** ホストまたはストレージシステムに<パス>ポートがないか，ストレージポートに対する権限がありません。 **対処** ストレージポートの設定を見直してください。ストレージポートに権限がない場合は，

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ム管理者に問い合わせて権限を見直してください。	システム管理者に問い合わせて権限を見直してください。
KAIC18747-E	Realtime Tieringが有効な場合，階層1のDPプールボリュームをすべて削除することはできません。別のボリュームを選択し直してください。または，Device Manager - Storage NavigatorでRealtime Tieringを無効にしてから，再実行してください。	**要因** - **対処** 別のボリュームを選択し直してください。または，Device Manager - Storage NavigatorでRealtime Tieringを無効にしてから，再実行してください。
KAIC18756-E	ストレージ機能スキーマ情報を取得できません。（詳細情報=＜詳細情報＞）	**要因** - **対処** -
KAIC18781-E	ゼロページ破棄を実行できません。選択したボリューム（＜LDEV ID＞）のホストグループ/iSCSIターゲット（＜ホストグループ名またはiSCSIターゲット名＞）のホストモードオプション（＜ホストモードオプション名またはiSCSIホストモードオプション名＞）が有効に設定されています。必要に応じて，ホストモードオプション（＜ホストモードオプション名またはiSCSIホストモードオプション名＞）を無効に設定してから，再度操作してください。	**要因** 選択したボリューム（＜LDEV ID＞）のホストグループ/iSCSIターゲット（＜ホストグループ名またはiSCSIターゲット名＞）のホストモードオプション（＜ホストモードオプション名またはiSCSIホストモードオプション名＞）が有効に設定されています。 **対処** 必要に応じて，ホストモードオプション（＜ホストモードオプション名またはiSCSIホストモードオプション名＞）を無効に設定してから，再度操作してください。
KAIC18790-E	メール通知機能の初期化に失敗しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC18791-E	メール通知に失敗しました。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC18792-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）に，ヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）に，ヘッダー部分の終わりを示す空行がありません。 **対処** ヘッダー部分と本文の間に空行を入れてください。
KAIC18793-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールの	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）がありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	テンプレートファイル（＜ファイル名＞）がありません。テンプレートファイルを所定のディレクトリに配置してください。	**対処** テンプレートファイルを所定のディレクトリに配置してください。
KAIC18794-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のサイズが大き過ぎます。（テンプレートファイルのファイルサイズ:＜ファイルサイズ＞，使用できる最大のファイルサイズ:＜ファイルの最大サイズ＞）テンプレートファイルの内容を見直し，ファイルサイズを小さくしてください。	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のサイズが大き過ぎます。（テンプレートファイルのファイルサイズ:＜ファイルサイズ＞，使用できる最大のファイルサイズ:＜ファイルの最大サイズ＞） **対処** テンプレートファイルの内容を見直し，ファイルサイズを小さくしてください。
KAIC18795-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）の＜行番号＞行目の記述が長過ぎます。（検出された長さ（バイト数）:＜行の長さ＞，指定できる最大の長さ（バイト数）:＜行の最大長＞）テンプレートファイルの内容を見直し，1行の長さを短くしてください。	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）の＜行番号＞行目の記述が長過ぎます。（検出された長さ（バイト数）:＜行の長さ＞，指定できる最大の長さ（バイト数）:＜行の最大長＞） **対処** テンプレートファイルの内容を見直し，1行の長さを短くしてください。
KAIC18796-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のヘッダー部分に無効な行（行番号:＜行番号＞）があります。「Subject」とメールの件名は″:″で区切る必要があります。エラーが発生した行に，区切り文字″:″が含まれているか確認してください。	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）のヘッダー部分に無効な行（行番号:＜行番号＞）があります。「Subject」とメールの件名は″:″で区切る必要があります。 **対処** エラーが発生した行に，区切り文字″:″が含まれているか確認してください。
KAIC18797-E	テンプレートファイルの読み込みに失敗しました。（テンプレートファイル=＜ファイル名＞）Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）に，ヘッダーが見つかりません。ヘッダー部分を見直してください。	**要因** Eメールのテンプレートファイル（＜ファイル名＞）に，ヘッダーが見つかりません。 **対処** ヘッダー部分を見直してください。
KAIC18799-E	データダイレクトマップ属性が有効なリソースは操作できません。（リソース：［＜リソース名＞］）別のリソースを選択し直してください。または，Device Manager - Storage Navigatorから操作してください。	**要因** - **対処** 別のリソースを選択し直してください。または，Device Manager - Storage Navigatorから操作してください。
KAIC18800-E	データダイレクトマップ属性が有効なDPプールから新規にボリュームを作成できません。（DPプール：［＜DPプール名＞］）別のDPプールを選択し直してください。	**要因** - **対処** 別のDPプールを選択し直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18801-E	データダイレクトマップ属性が有効な外部ボリュームは，データシュレッディングできません。	**要因** - **対処** -
KAIC18803-I	データダイレクトマップ属性が有効なDPプールであるため，変更できるのはDPプール名だけです。（DPプール：［<DPプール名>］）	**要因** - **対処** -
KAIC18804-E	データダイレクトマップ属性が有効なボリュームに対しては，次の設定を変更できません（ボリューム：［<LDEV IDs>］）。 (1) ページ予約 (2) DPボリュームのCLPR (3) コマンドデバイス設定 (4) Active Mirrorの副ボリュームとして使用する 必要に応じて，別のボリュームを選択して操作し直してください。	**要因** - **対処** 必要に応じて，別のボリュームを選択して操作し直してください。
KAIC18805-E	指定したボリューム（<ボリューム>）はALUA属性が異なるため，同時に操作できません。ALUA属性が同じボリュームを選択してください。	**要因** - **対処** ALUA属性が同じボリュームを選択してください。
KAIC18806-E	選択したボリューム（<ボリューム>）のALUA属性が無効なため，実行できません。ホストグループの非対称アクセス状態に” Active/Non-Optimized”が選択されています。事前にALUA属性を有効にする必要があります。LUNパス編集ダイアログでALUA属性を変更してから再度操作してください。	**要因** ホストグループの非対称アクセス状態に”Active/Non-Optimized”が選択されています。 **対処** 事前にALUA属性を有効にする必要があります。LUNパス編集ダイアログでALUA属性を変更してから再度操作してください。
KAIC18807-E	選択したActive Mirrorペアボリューム（<LDEV ID>）のペアの状態がsplitではないため，ボリュームのALUA属性は変更できません。コピーペアを分割したあとで，再度操作してください。	**要因** - **対処** コピーペアを分割したあとで，再度操作してください。
KAIC18808-E	指定したボリュームは，Device Managerで仮想化できる範囲外の容量であるため，仮想化できません（ボリューム=[<LDEV IDs>]，容量の最小値=<最小容量(単位付き)>，容量の最大値=<最大容量(単位付き)>）。別のボリュームを選択してください。または，容量の最大値を超えて仮想化する場合は，Device	**要因** - **対処** 別のボリュームを選択してください。または，容量の最大値を超えて仮想化する場合は，Device Manager - Storage Navigatorでデータダイレクトマップ属性を有効にしてから操作してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	Manager - Storage Navigatorでデータダイレクトマップ属性を有効にしてから操作してください。	
KAIC18809-E	データベースからデータを取得できませんでした。データベースが正常に動作していません。サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。	**要因** データベースが正常に動作していません。 **対処** サーバが起動しているか確認してください。サーバが起動していない場合，サーバを起動してから再度操作してください。サーバが起動している場合は，内部エラーのおそれがあります。顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC18811-E	予期しないエラーが発生しました。再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	**要因** - **対処** 再度実行してください。エラーが繰り返し発生する場合には，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC18813-E	リクエストボディの内容の読み込み時にエラーが発生しました。リクエストボディの内容を確認し、再度実行してください。	**要因** - **対処** リクエストボディの内容を確認し、再度実行してください。
KAIC18815-E	認証に必要なHTTPヘッダ(Authorizationヘッダ)が指定されていません。Authorizationヘッダに認証に必要な値を設定してください。	**要因** - **対処** Authorizationヘッダに認証に必要な値を設定してください。
KAIC18817-E	ユーザーID，またはパスワードが違います。ユーザーID，パスワードを確認し，再入力してください。ユーザの権限を見直し，適切な権限を付加してください。	**要因** - **対処** ユーザーID，パスワードを確認し，再入力してください。ユーザの権限を見直し，適切な権限を付加してください。
KAIC18819-E	GETパラメタに不正なキーが指定されています（キー名：＜キー名＞）。GETパラメータに正しいキーを設定してください。	**要因** - **対処** GETパラメータに正しいキーを設定してください。
KAIC18821-E	GETパラメータに指定された値の長さが不正です(キー名：＜キー名＞，値：＜値＞)。GETパラメータの値は設定可能な範囲内で指定してください。	**要因** - **対処** GETパラメータの値は設定可能な範囲内で指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC18823-E	GETパラメータに指定された値が不正です(キー名: ＜キー名＞, 値: ＜値＞)。GETパラメータの値は設定可能な範囲内で指定してください。	**要因** - **対処** GETパラメータの値は設定可能な範囲内で指定してください。
KAIC18825-E	有効なライセンスがありません。有効なライセンスを登録してください。	**要因** - **対処** 有効なライセンスを登録してください。
KAIC18828-E	操作対象のストレージシステムが見つからないため，タスクを実行できません。ストレージシステムの状態を確認してください。	**要因** - **対処** ストレージシステムの状態を確認してください。
KAIC18835-W	選択したパリティグループ（＜パリティグループ名＞）の物理容量が枯渇しています。パリティグループの物理容量の空きを確保するか，ほかのパリティグループを選択してください。	**要因** - **対処** パリティグループの物理容量の空きを確保するか，ほかのパリティグループを選択してください。
KAIC18858-E	再実行したタスクのステータス変更の処理に失敗しました。このステップでの必要な処理は完了しているため，手動でジョブのステータスを［完了（手動回復）］に遷移させたあと，次のステップへ進んでください。	**要因** - **対処** このステップでの必要な処理は完了しているため，手動でジョブのステータスを［完了（手動回復）］に遷移させたあと，次のステップへ進んでください。
KAIC18875-E	ユーザーIDおよびパスワードが入力されていません。	**要因** - **対処** ユーザーIDおよびパスワードを入力してください。
KAIC18876-E	ユーザーIDが入力されていません。	**要因** - **対処** ユーザーIDを入力してください。
KAIC18877-E	パスワードが入力されていません。	**要因** - **対処** パスワードを入力してください。
KAIC18878-I	サーバは起動途中です。	**要因** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 しばらくお待ちください。(保守情報: ＜コンポーネント名＞)
KAIC18879-E	サーバを起動できませんでした。(保守情報: ＜コンポーネント名＞ 初期化エラー)	**要因** - **対処** Device Managerサーバを再起動してから，ログイン画面を更新してください。同じエラーが発生する場合は，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAIC18880-E	Adobe AIRデスクトップアプリケーションでDevice Managerを使用してください。システム要件，および「HA Command Suite ユーザーズガイド」を確認し，下記の「ダウンロードリンク」から同アプリケーションのZIPファイルを入手して，同アプリケーションをセットアップし，起動してください。	**要因** - **対処** -
KAIC18881-E	ライセンスの登録，および，バージョンの確認はAdobe AIRデスクトップアプリケーションでDevice Managerを使用してください。システム要件，および「HA Command Suite ユーザーズガイド」を確認し，下記の「ダウンロードリンク」から同アプリケーションのZIPファイルを入手して，同アプリケーションをセットアップし，起動してください。	**要因** - **対処** -
KAIC18882-E	ラウンチすることができません。	**要因** - **対処** ストレージシステムのマイクロバージョンがデスクトップアプリケーションをサポートしていません。直接Storage Navigatorを使用してください。

4.3. KAIC30000～KAIC39999

Device Managerに関するトレースメッセージ（KAIC30000～KAIC39999）を次の表に示します。

表4.3 KAIC30000～KAIC39999：Device Managerに関するトレースメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC30004-I	Device Manager Serverを開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC30005-I	Device Manager Serverを停止しました。	対処の必要はありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC30017-I	Device Manager Serverをセキュアモードで開始しました。(Cipher Suites="＜Cipher Suites＞")	対処の必要はありません。
KAIC30029-I	Device Manager Serverのセキュアモードで使用するプロトコルは＜プロトコル名＞です。	-
KAIC30442-I	SNMPトラップ受信用のユーザーの設定が完了しました。	対処の必要はありません。
KAIC30522-E	SNMPトラップを受信しましたが，認証に失敗したため無視します（アドレス:"＜SNMPトラップの発信元のIPアドレス＞"）。設定を見直してから，必要に応じてSNMPトラップをテスト送信して，受信できるか確認してください。	設定を見直してから，必要に応じてSNMPトラップをテスト送信して，受信できるか確認してください。
KAIC30962-E	データベースのバックアップに失敗しました。(メッセージID="＜メッセージID＞"，詳細メッセージ="＜詳細メッセージ＞") Device Managerのメッセージガイドを参照して，対処してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。	Device Managerのメッセージガイドを参照して，対処してください。 同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC30963-I	データベースのバックアップに成功しました。	-
KAIC30964-I	データベースが更新中のため，データベースのバックアップをスキップしました。＜再実行までの時間＞分後に再実行します。	-
KAIC30965-I	データベースの更新要求があったため，データベースのバックアップを中止しました。＜再実行までの時間＞分後に再実行します。	-
KAIC32006-I	Device Manager HiKeyToolを開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC32007-I	Device Manager HiKeyToolを停止しました。	対処の必要はありません。
KAIC32101-I	Device Manager ＜クライアント名＞を開始しました。	対処の必要はありません。
KAIC32102-I	Device Manager ＜クライアント名＞を終了しました。	対処の必要はありません。
KAIC33020-W	データベース情報から不整合が検出されました。データベースは初期化されます。	対処の必要はありません。
KAIC33025-W	データベース情報から不整合が検出されました。データベースをバックアップから復元してください。	対処の必要はありません。
KAIC33026-I	データベースを初期化します。	対処の必要はありません。
KAIC35101-E	保守情報（＜保守情報＞）	-
KAIC35102-I	保守情報（＜保守情報＞）	-
KAIC35103-W	保守情報（＜保守情報＞）	-

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC35435-I	″＜ライブラリ名＞″のバージョンは″＜バージョン＞(＜追加情報＞)″です。	対処の必要はありません。
KAIC35436-W	″＜ライブラリ名＞″のバージョンの取得に失敗しました（エラーコード″＜エラーコード＞″）。	対処の必要はありません。
KAIC36101-E	保守情報（＜保守情報＞）	−
KAIC36102-I	保守情報（＜保守情報＞）	−
KAIC36103-W	保守情報（＜保守情報＞）	−

4.4. KAIC60000～KAIC69999

Device Managerに関するトレースメッセージ（KAIC60000～KAIC69999）を次の表に示します。

表4.4 KAIC60000～KAIC69999：Device Managerに関するトレースメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC60000-E	内部エラーが発生しました。指定した＜パラメータ名＞はデータベースから削除されています。	指定したリソース種別を見直したあと，再度操作してください。
KAIC60001-E	内部エラーが発生しました。	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC60002-E	Device Managerサーバとの通信に失敗しました。以下の要因が考えられます。(1)Device Managerサーバのサービスが初期起動中である。(2)Device Managerサーバのサービスが停止しているか，または再起動した。	次の対処をしてください。 Device Managerサーバのサービスが初期起動中の場合： 時間を空けて再度操作してください。 Device Managerサーバのサービスが停止またはDevice Managerサーバのサービスだけを再起動した場合： 共通コンポーネントおよび関連するサービスを再起動したあと，再度操作してください。 同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC60012-E	このストレージシステムでは＜機能名＞の操作をサポートしていません。	ストレージシステムの指定を見直したあと，再度実行してください。
KAIC60013-E	予期しないエラーが発生しました。(保守情報:＜保守情報＞)	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC60014-E	″＜名称＞″は無効です。″＜最大文字列長＞″以下にする必要があります。	″＜名称＞″は″＜最大文字列長＞″以下で入力してください。
KAIC60015-E	″＜名称＞″が不正です。次の文字を用いて指定してください。″＜入力可能文字＞″	″＜名称＞″は″＜入力可能文字＞″を用いて入力してください。
KAIC61000-E	データベースへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。(保守情報:＜保守情報＞)	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC61001-E	一時的な競合が発生しているため，データベースの更新に失敗しました。(保守情報:＜保守情報＞)	しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC61002-E	データベースが閉塞しました。	サーバ管理者に連絡してください。
KAIC61501-E	一時的な競合が発生しているため，データベースの更新に失敗しました。(保守情報:＜保守情報＞)	しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC62001-E	一時的な競合が発生しているため，データベースの更新に失敗しました。(保守情報:＜保守情報＞)	しばらくしてから，再度操作を実行してください。同じエラーが発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC63500-W	一部のストレージシステムのデータ収集を省略しました。(収集済みの数: ＜データ収集済みのストレージシステム数＞，省略した数: ＜データ収集を省略したストレージシステムの数＞)	各ストレージシステムに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63501-E	ストレージシステムのデータ収集に失敗しました。(収集済みの数: ＜データ収集済みのストレージシステム数＞，失敗した数: ＜データ収集に失敗したストレージシステム数＞，省略した数: ＜データ収集を省略したストレージシステム数＞)	各ストレージシステムに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63502-W	一部のホストのデータ収集を省略しました。(収集済みの数: ＜データ収集済みのホスト数＞，省略した数: ＜データ収集を省略したホスト数＞)	各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63503-E	ホストのデータ収集に失敗しました。(収集済みの数: ＜データ収集済みのホスト数＞，失敗した数: ＜データ収集に失敗したホスト数＞，省略した数: ＜データ収集を省略したホスト数＞)	各ホストに関する詳細メッセージを参照してください。
KAIC63504-E	タスクの操作に失敗しました。指定したタスクの状態ではこの操作を実行できません。(タスク名 = ＜タスク名＞)	タスクの状態を見直したあと，再度操作してください
KAIC63513-E	データベースでエラーが発生しました。タスクを停止できません。(タスク名: ＜タスク名＞)	サーバ管理者にデータベースの回復を依頼したあと，Device Managerサービスを再起動してください。エラーが繰り返し発生する場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC63514-E	予期しないエラーが発生しました。タスクを停止できません。(タスク名: ＜タスク名＞)	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAIC63515-E	Device Managerサービスが停止されたため，実行中のタスクを停止しました。(タスク名: ＜タスク名＞) タスクの実行結果を確認してください。	タスクの実行結果を確認してください。タスクが正常に完了していない場合は，タスクを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC63516-E	データベースがリストアされたため，処理中および処理予定のタスクを停止しました。ストレージシステムの情報を更新したあと，ストレージシステムの構成を確認してください。タスクを実行する必要がある場合は再度タスクを作成してから実行してください。	ストレージシステムの情報を更新したあと，ストレージシステムの構成を確認してください。タスクを実行する必要がある場合は再度タスクを作成してから実行してください。
KAIC63517-E	Device Managerサービスが停止されたため，処理中のタスクを停止しました。対象リソースの情報を更新したあと，対象リソースの構成を確認してください。	ストレージシステムの情報を更新したあと，ストレージシステムの構成を確認してください。
KAIC64001-W	指定したIPアドレス"＜IPアドレス＞"はすでに使用されているため，登録できませんでした。	IPアドレスの指定を見直してください。
KAIC64002-W	ホスト"＜ホスト名＞"のIPアドレス"＜IPアドレス＞"を削除しました。	-
KAIC64003-W	指定したWWN"＜WWN＞"はすでに使用されているため，登録できませんでした。	WWNの指定を見直してください。
KAIC64004-W	ホスト"＜ホスト名＞"のWWN"＜WWN＞"を削除しました。	-
KAIC64005-W	指定したiSCSIName"＜iSCSIName＞"はすでに使用されているため，登録できませんでした。	iSCSINameの指定を見直してください。
KAIC64006-W	ホスト"＜ホスト名＞"のiSCSIName"＜iSCSIName＞"を削除しました。	-
KAIC64501-W	ストレージシステムからメッセージが出力されました。（エラーコード1="＜エラーコード1＞"，エラーコード2="＜エラーコード2＞"，メッセージ="＜メッセージ＞"）	このマニュアルから，該当するストレージシステムのエラーメッセージおよび対処を参照し，それに従ってください。
KAIC65000-E	指定した＜リソース種別＞はすでに使用されているか，または予約されています。	使用していないリソース，または予約されていないリソースを指定したあと，再度操作してください。
KAIC65001-E	指定した＜リソース名＞のリソース名またはリソース番号(＜リソース識別子の値＞)はすでに使用されているか，または予約されています。	指定したリソース名またはリソース番号を見直したあと，再度操作してください。
KAIC65002-E	指定したWWN "＜WWN＞"は同一ポート(port ID = "＜ポートID＞"，port name = "＜ポート名＞")の中ですでに使用されているか，または予約されています。	使用していないWWN，または予約されていないWWNを指定して，再度操作してください。
KAIC65003-E	予約したリソースに対する操作が完了していないため，予約の解除に失敗しました。	予約したリソースは，ほかの操作による処理が実行中です。この処理が終了してから再度操作してください。
KAIC65505-E	セッションが無効です。ログインし直してください。	ログインし直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAIC69010-E	例外が発生しました。(メッセージ: ＜メッセージ＞, スタックトレース: ＜スタックトレース＞)	-

第5章 KAPMで始まるメッセージ

この章では，HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージについて説明します。

5.1. KAPM00000～KAPM09999

HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージ（KAPM00000～KAPM09999）を次の表に示します。

表5.1 KAPM00000～KAPM09999：HA Command Suite共通コンポーネントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM00090-I	The SSO server started successfully.	SSOサーバの起動に成功しました。
KAPM00091-E	An attempt to start the SSO server has failed.	SSOサーバの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM00092-I	The SSO server was stopped successfully.	SSOサーバの停止に成功しました。
KAPM00146-E	Requests containing QueryString are not accepted.	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01095-E	The authenticated user does not have permission. User ID = aa...aa, Application = bb...bb aa...aa：ユーザーID bb...bb：アプリケーション名	認証されたユーザーは指定されたアプリケーションの権限を持ちません。 権限を持つユーザーでログインしてください。
KAPM01124-I	The login was successful. (session ID = aa...aa) aa...aa：セッションID	ログインが正常に終了したことを示す監査ログです。
KAPM01125-E	The login process has failed.	ログインに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM01126-W	The logout processing failed because the user was already logged out. (session ID = aa...aa) aa...aa：セッションID	すでにログアウトしているため，ログアウトに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM01172-E	An error occurred while linking to the external authentication server.	外部認証サーバ連携でエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポート，およびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 Kerberosの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているレルム名とKDCが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. 外部認証サーバがKerberos V5プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 4. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01176-E	An attempt to acquire the trusted server ID failed.	サーバ識別子の取得に失敗しました。 hcmds64chgtsidコマンドでサーバ識別子を設定してください。
KAPM01177-E	An attempt to acquire the trusted server information has failed. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	HSSOセッションに設定されているサーバー識別子の接続先が登録されていません。 HSSOセッションは無効です。再ログインしてください。 相互認証を行っている場合，hcmds64trustコマンドを使ってサーバ識別子の接続先を登録してください。
KAPM01180-E	Granting of a permission failed because the client of the trusted server and the trusted server have different	接続元と接続先でユーザー認証方法が異なるため，権限の付与に失敗しました。 認証されたユーザーの管理方法を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	authentication methods. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	
KAPM01181-E	Authentication has failed.	認証に失敗しました。 相互認証の環境を見直してください。
KAPM01182-E	Authentication has failed. User ID = aa...aa aa...aa：認証したユーザーのユーザーID	認証に失敗しました。 相互認証の環境を見直してください。
KAPM01183-E	An error occurred in communication with the HSSO server.	HSSOサーバへの接続でエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 1. hcmds64trustコマンドで設定したホスト，ポート，プロトコルを使用して接続先の製品にアクセスできることを確認してください。 2. hcmds64trustコマンドで相互認証を行う製品への接続設定を見直してください。
KAPM01184-E	An error occurred on the HSSO server.	HSSOサーバでエラーが発生しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01185-E	No groups that the user belongs to are registered.	ユーザーが所属するグループが登録されていません。 ユーザーが所属する外部認証サーバのグループを登録し，そのグループに適切な権限を付与してください。
KAPM01186-E	The authenticated user cannot be used in mutual authentication. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	認証されたユーザーは，相互認証で利用できません。 相互認証で利用できるユーザーを使用してください。
KAPM01187-W	An attempt to record a login date failed. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ログイン日時の記録に失敗しました。 頻繁に発生する場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM01188-I	The login date was recorded. (user ID = aa...aa, product name = bb...bb) aa...aa：ユーザーID bb...bb：製品名	ログイン日時を記録しました。
KAPM01190-E	An attempt to authenticate the user failed because a secret file is registered. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	シークレットファイルが登録されているため，ユーザー認証に失敗しました。 プライマリーサーバ，セカンダリーサーバでの，シークレットファイルの状態を同じにしてください。
KAPM01191-E	An attempt to decrypt authentication data failed. (user id = aa...aa)	認証情報の復号に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：ユーザーID	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01192-E	The decrypted authentication data is invalid. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	復号した認証情報が不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM01193-E	Requests containing QueryString are not accepted.	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02280-I	The permissions were changed successfully. (ID = aa...aa, user ID = bb...bb, permissions = cc...cc) aa...aa：セッションID bb...bb：変更対象のユーザーID cc...cc：変更後の権限	権限を変更しました。
KAPM02291-W	Authentication has failed. aa...aa aa...aa：詳細情報	認証に失敗しました。
KAPM02292-W	Authentication has failed for aa...aa times in a row, so the user (bb...bb) was locked. aa...aa：失敗した回数 bb...bb：ユーザーID	aa...aa回連続で認証に失敗したので，ユーザー"bb...bb"をロックしました。
KAPM02401-E	An attempt to read the file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの読み込みに失敗しました。 指定のフォルダにファイルが存在することを確認してください。
KAPM02411-W	Authentication with an external authentication server has failed. The specified user was not found in the external authentication server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb) aa...aa：ユーザID bb...bb：ホスト名	ログインユーザーが外部認証サーバに見つかりません。 正しいユーザーIDとパスワードでログインしてください。
KAPM02412-E	A naming exception occurred. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	ネーミング例外が発生しました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM02414-I	Authentication with an external authentication server was successful. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	ログインユーザーが外部認証サーバの認証に成功しました。
KAPM02416-E	A communication error occurred in an external authentication server.	外部認証サーバの通信障害が発生しました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，次の対処をしてください。 ・証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しないときは，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM02417-E	Communication with an external authentication server has failed. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	LDAPサーバとの通信に失敗しました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02422-W	A parameter in the exauth.properties file contains an invalid value (aa...aa = bb...bb). The default value (cc...cc) will be used.	exauth.propertiesファイルのパラメーターに指定した値が不正です。 exauth.propertiesファイルの設定内容を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：パラメーター名称 bb...bb：パラメーターの値 cc...cc：デフォルト値	
KAPM02430-E	Verification of a RADIUS packet has failed. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc, cause = dd...dd) aa...aa：ホスト bb...bb：ポート cc...cc：プロトコル dd...dd：失敗の原因	RADIUSパケットの検証に失敗しました。
KAPM02431-E	The connection to an external authentication server has timed out. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	外部認証サーバとの接続がタイムアウトしました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02450-I	Authentication by an external authentication server was	ログインが正常に終了したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	successful. (server type = aa...aa, host = bb...bb) aa...aa：サーバ種別 bb...bb：ホスト名	
KAPM02451-W	Authentication by an external authentication server has failed. (server type = aa...aa, host = bb...bb) aa...aa：サーバ種別 bb...bb：ホスト名	ログインに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM02452-I	A user's authentication method has been successfully changed. (authentication method = aa...aa, user ID = bb...bb) aa...aa：認証方式 bb...bb：ユーザーID	認証方式の変更が正常に終了したことを示す監査ログです。
KAPM02453-E	An attempt to change a user's authentication method has failed. (authentication method = aa...aa, user ID = bb...bb) aa...aa：認証方式 bb...bb：ユーザーID	認証方式の変更に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM02482-E	The method cannot be used. (class name = aa...aa, method name = bb...bb) aa...aa：クラス名 bb...bb：メソッド名	使用できないメソッドです。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02495-W	Authentication by an external authentication server failed.	外部認証サーバの認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 1. 指定したユーザーを見直してください。ユーザーには，DN形式ではなくユーザー名だけ指定してください。 2. 指定したユーザーのパスワードを見直してください。 3. 指定したユーザーが外部認証サーバに登録されていて，かつ有効になっているか確認してください。 4. exauth.propertiesに設定されている対応したサーバのbasednまたはattrを見直してください。 5. LDAP階層構造モデルの場合，次の対処をしてください。 ・ hcmds64ldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・情報検索用ユーザーに権限があるかどうか確認してください。 6. LDAPフラットモデルの場合，次の対処をしてください。 ・hcmds64ldapuser コマンドで exauth.properties の auth.server.name 属性に指定したサーバ名の情報が登録されていないことを確認してください。 7. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02496-E	There is no configuration corresponding to the specified domain name. (domain name = aa...aa) aa...aa：ドメイン名	指定したドメイン名と一致するドメイン名の構成がありません。 ユーザーIDに指定したドメインが正しいことを確認してください。
KAPM02497-E	Requests containing QueryString are not accepted.	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02551-E	The following characters can be used for the value: aa...aa aa...aa：値	ユーザーIDには次の文字を使用してください。 エラーメッセージに従って適切な値を入力してください。
KAPM02553-E	An attempt to authenticate the user failed because a secret file is registered. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	シークレットファイルが登録されているため，ユーザー認証に失敗しました。 プライマリーサーバ，セカンダリーサーバでの，シークレットファイルの状態を同じにしてください。
KAPM02555-E	An attempt to decrypt the password failed. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	パスワードの復号に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM02557-E	The decrypted password is invalid. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	復号したパスワードが不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03972-E	内部認証に失敗しました。	内部認証に失敗しました。 ログインからやり直してください。それでも問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM03973-E	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04034-E	An attempt to read the configuration file failed.	hsso.confファイルの読み込みに失敗しました。 次のことを確認してください。 ・ hsso.confファイルがあること。 ・ hsso.confファイルのアクセス権限があること。 ・ hsso.confファイルが使用中でないこと。 また，ほかの設定ファイルもアクセス権限などが変更されているおそれがあります。 hsso.confファイルと同様に見直してください。
KAPM04050-I	The command hcmds64prmset ended successfully.	コマンドが終了しました。
KAPM04061-E	The value specified for an option is invalid.	オプションに指定した値が不正です。 オプションに指定した値を見直し，正しい値を入力してください。
KAPM04062-I	This server is set as a primary server.	プライマリサーバ設定となっている場合に表示されるメッセージです。
KAPM04063-I	This server is set as a secondary server.	セカンダリサーバ設定となっている場合に表示されるメッセージです。
KAPM04064-W	The configuration file was re-created because it was missing.	hsso.confファイルがないなどの原因によって，hsso.confファイルへの書き込みに失敗しました。 次のことを確認してください。 ・ hsso.confファイルがあること。 ・ hsso.confファイルのアクセス権限があること。 ・ hsso.confファイルが使用中でないこと。 また，ほかの設定ファイルもないおそれがあります。 hsso.confファイルと同様に見直してください。
KAPM04067-I	This server is set as a primary server.	プライマリーサーバとして設定しました。
KAPM04068-I	This server is set as a secondary server.	セカンダリーサーバとして設定しました。
KAPM04070-I	The connection test was successful.	接続確認に成功しました。
KAPM04071-E	The connection test failed.	接続確認に失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04072-E	A problem occurred on the primary server.	プライマリサーバに問題が発生しています。 次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		1. 接続先がプライマリサーバとして設定されていることを確認してください。 2. プライマリサーバのデータベースが起動していることを確認してください。 3. プライマリサーバのデータベースが閉塞していないことを確認してください。 4. 問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04073-E	An unexpected error occurred on the primary server.	プライマリサーバで予期しないエラーが発生しました。 再実行してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04074-E	SSL communication failed.	SSL通信に失敗しました。 次の対処をしてください。 1.指定したホスト名やポート番号が正しいことを確認してください。 2.セカンダリサーバで，次の設定を見直してください。 ・HA Command Suite共通コンポーネントのトラストストア（jssecacerts）に，プライマリサーバのHBase 64 Storage Mgmt Web Serviceを信頼するための証明書を正しくインポートしているか。 ・指定したホスト名がプライマリサーバのサーバ証明書のCommon Nameが一致しているか。 ・トラストストアのキーストアタイプがjksであるか。 3.プライマリサーバで，次の設定を見直してください。 ・user_httpsd.confファイルのServerNameディレクティブにIPアドレスではなくホスト名を指定しているか。 ・user_httpsd.confファイルのServerNameディレクティブに指定したホスト名とSSLCertificateFileディレクティブに設定した証明書のCommon Nameが一致しているか。 4.問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04075-E	An attempt to connect to the primary server failed.	プライマリサーバへの接続に失敗しました。 次の対処をしてください。 1. プライマリサーバのサービスが起動していることを確認してください。 2. 指定したホスト名やポート番号が正しいことを確認してください。 3. 指定したホスト名を，IPアドレスに解決できるか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		4. SSLで通信する場合，次の設定を見直してください。 ・ プライマリサーバのuser_httpsd.confファイルの設定内容を見直してください。 5. 問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04076-E	An unexpected error occurred during the connection test.	接続確認で予期しないエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04077-I	hcmds64prmset [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM04078-I	A trusted server ID was successfully acquired. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	サーバ識別子の取得に成功しました。
KAPM04079-E	The specified cipher type is invalid, or the specified cipher suites are invalid. (invalid ciphers = aa...aa) aa...aa：不正なciphers	指定した暗号タイプ，またはCipher Suitesが不正です。 次の対処をしてください。 1. 指定した暗号タイプ名に誤りがないか確認してください。 2. 指定したCipher Suitesが使用中のJDKにサポートされているか確認してください。 3. 同一のCipher Suiteを指定していないか確認してください。
KAPM04080-E	The specified SSL protocols are invalid. (invalid SSL protocols = aa...aa) aa...aa：不正なSSLProtocol	指定したSSLプロトコルが不正です。 次の対処をしてください。 1. 指定したSSLプロトコルが使用中のJDKにサポートされているか確認してください。 2. 同一のSSLプロトコルを指定していないか確認してください。
KAPM04081-E	An attempt to configure SSL communication failed.	SSL通信の設定に失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04084-W	The SSL protocols defined by the cipher type will be used. (cipher type = aa...aa, SSL protocols = bb...bb) aa...aa：暗号タイプ bb...bb：SSLプロトコル	暗号タイプで定義されたSSLプロトコルが使われます。 ciphersオプションで暗号タイプを指定した場合やすでに暗号タイプが設定されていた場合は，暗号タイプで定義されたSSLプロトコルが優先されます。任意のSSLプロトコルを使用したい場合は，ciphersオプションでCipher Suitesを指定し，sslprotocolオプションで任意のSSLプロトコルを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04085-W	The SSL protocol "aa...aa" will be used. To change the SSL protocol, execute this command again with the "sslprotocol" option specified. aa...aa：SSLプロトコル	SSLプロトコルにデフォルトが使われます。任意のSSLプロトコルに変更したい場合は，sslprotocolオプションで指定してください。 任意のSSLプロトコルを使用したい場合は，sslprotocolオプションを指定して再実行してください。
KAPM04086-E	The truststore file is not in JKS format.	トラストストアファイルはJKS形式ではありません。 トラストストアのキーストアタイプをJKS形式にしてください。
KAPM04087-E	Failed to establish encrypted communication with the primary server.	プライマリサーバとの暗号通信に失敗しました。 次の対処をしてください。 1.指定したホスト名やポート番号が正しいことを確認してください。 2.セカンダリサーバで，次の設定を見直してください。 ・HA Command Suite共通コンポーネントのトラストストア（jssecacerts）に，プライマリサーバのHBase 64 Storage Mgmt Web Serviceを信頼するための証明書を正しくインポートしているか。 ・指定したホスト名がプライマリサーバのサーバ証明書のCommon Nameが一致しているか。 3.プライマリサーバで，次の設定を見直してください。 ・user_httpsd.confファイルのServerNameディレクティブにIPアドレスではなくホスト名を指定しているか。 ・user_httpsd.confファイルのServerNameディレクティブに指定したホスト名とSSLCertificateFileディレクティブに設定した証明書のCommon Nameが一致しているか。 4.問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04088-E	Failed to connect to the primary server.	プライマリサーバとの接続に失敗しました。 次の対処をしてください。 1.プライマリサーバのサービスが起動していることを確認してください。 2.指定したホスト名やポート番号が正しいことを確認してください。 3.指定したホスト名を，IPアドレスに解決できるか確認してください。 4.暗号通信する場合，次の設定を見直してください。 ・プライマリサーバのuser_httpsd.confファイルの設定内容を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		5.問題が解決しない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04256-E	An attempt to delete service registration information from the version file has failed.	サービス登録情報をバージョンファイルから削除することに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04257-E	An attempt to start the hcmds64srv command has failed.	hcmds64srvコマンドの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04616-E	Server is running. pid=aa...aa aa...aa：プロセスID	サーバが起動しています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04623-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM04624-E	The value specified for an option is invalid. (option = aa...aa) aa...aa：オプション名	オプションに指定した値に誤りがあります。 オプションに指定した値を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM04625-E	Creation of the directory failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ディレクトリの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04626-E	Execution of the command failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04627-E	aa...aa aa...aa：標準エラー出力	コマンド実行時の標準エラー出力です。 前または，後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM04628-I	aa...aa aa...aa：標準出力	コマンド実行時の標準出力です。
KAPM04629-I	The service was successfully registered. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスの登録に成功しました。
KAPM04630-E	An attempt to upgrade the version of the definition file failed.	定義ファイルのバージョンアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04631-I	The service was successfully deleted. (service name = aa...aa)	サービスの削除に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：サービス名	
KAPM04632-I	The hcmdsweb command successfully registered an application.	hcmdswebコマンドでの登録処理に成功しました。
KAPM04633-I	The hcmdsweb command successfully deleted an application.	hcmdswebコマンドでの削除処理に成功しました。
KAPM04634-E	The configuration information is incorrect. (cause = aa...aa) aa...aa：原因	設定情報が誤っています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04635-I	The command will now be executed. (command line to be executed = aa...aa) aa...aa：実行するコマンドライン	コマンドを実行します。
KAPM04636-I	The command successfully executed.	コマンドの実行に成功しました。
KAPM04637-E	Execution of the command failed. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04638-E	An error occurred during execution of the command.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04639-I	The server is already set up. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバはセットアップされています。
KAPM04640-I	The server was successfully set up. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのセットアップに成功しました。
KAPM04641-E	Setup of the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのセットアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04642-I	The server was successfully deleted. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのアンセットアップに成功しました。
KAPM04643-E	Deletion of the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのアンセットアップに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04644-E	An attempt to acquire the RMI naming port failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	RMIネーミングポートの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04645-E	Resolution of the local host name failed.	ローカルホストが解決できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ローカルホストが解決できる環境であるか確認してください。
KAPM04646-I	Information about the local host is as follows: IP address = aa...aa, host name = bb...bb aa...aa：IPアドレス bb...bb：ホスト名	ローカルホストの情報です。
KAPM04647-W	Deletion of the web application failed. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのアンデプロイに失敗しました。
KAPM04648-W	An attempt to stop the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバの停止に失敗しました。
KAPM04649-W	Deployment of the application failed. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのデプロイに失敗しました。
KAPM04650-W	Deletion of the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのアンセットアップに失敗しました。
KAPM04651-I	aa...aa aa...aa：標準エラー出力	コマンド実行時の標準エラー出力です。
KAPM04653-I	The application was successfully deployed. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのアンデプロイに成功しました。
KAPM04654-E	Deployment of the application failed. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのアンデプロイに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04655-E	Deletion of the web application directory failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	アプリケーションのディレクトリ削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04656-E	The value of the parameter to be set on the server exceeds the maximum. (parameter name = aa...aa) aa...aa：パラメーター名	サーバに設定するパラメーターの値が最大値を超えています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04657-I	The application was successfully deleted. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのアンデプロイに成功しました。
KAPM04658-E	Deletion of the web application failed. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションのアンデプロイに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04659-E	Deletion of the file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04660-I	The service was successfully registered in Service Control Manager. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス登録に成功しました。
KAPM04661-E	Registration of the service in Service Control Manager failed. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス登録に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04662-I	The service was successfully deleted from Service Control Manager. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス削除に成功しました。
KAPM04663-E	Deletion of the service from Service Control Manager failed. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04664-I	The service was successfully updated in Service Control Manager. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス更新に成功しました。
KAPM04665-E	The update of the service in Service Control Manager failed. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	Service Control Managerへのサービス更新に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04666-E	An attempt to copy a file failed. (copy source = aa...aa, copy destination = bb...bb) aa...aa：コピー元ファイル	ファイルのコピーに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	bb...bb：コピー先ファイル	
KAPM04667-W	An attempt to forcibly stop the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバの強制停止に失敗しました。
KAPM04668-E	The check of the existence of the service failed. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスの存在確認に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04669-E	The check of the service activation status failed. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスの起動状態の確認に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04670-E	An operation on the management book file failed. (operation = aa...aa) aa...aa：操作	管理簿ファイルの操作に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04671-E	Renaming of the file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイル名の変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04672-E	A directory exists at the destination for which a symbolic link is to be created. (path = aa...aa) aa...aa：パス	シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04673-E	Creation of the service control file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	サービス制御のファイルの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04674-E	Creation of the symbolic link failed.	シンボリックリンクの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04675-W	A file remains because an attempt to delete it failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの削除に失敗したため，ファイルが残っています。
KAPM04676-E	Execution of the insserv command failed. (error code = aa...aa) aa...aa：エラーコード	insservコマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04677-E	Creation of the flag file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	フラグファイルの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04678-E	Deletion of the flag file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	フラグファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04679-E	An operation on the file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの操作に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04680-E	An error occurred during input of a file.	ファイルの入力時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04681-E	Execution of the chkconfig command failed. (error code = aa...aa) aa...aa：エラーコード	chkconfigコマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04682-E	An error occurred in the SAX parser.	SAXのパーサーでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04683-E	A file exists at the destination for which a symbolic link is to be created. (path = aa...aa) aa...aa：パス	シンボリックリンクの作成先にファイルがあります。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04684-E	An attempt to change the file access permissions failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルのアクセス権限の変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04685-E	The service definition file is invalid.	サービス定義ファイルの内容が誤っています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04686-W	An attempt to delete the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのアンセットアップが失敗しました。
KAPM04687-E	A class could not be found. (class name = aa...aa) aa...aa：クラス名	クラスが見つかりません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04688-E	An operation on the service failed. (operation = aa...aa, service name = bb...bb) aa...aa：操作 bb...bb：サービス名	サービスの操作に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM04689-W	An attempt to perform unsetup of the server failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	サーバのアンセットアップが失敗しました。
KAPM04690-E	No worker information is registered.	Workerの情報がありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04691-I	A command will now be executed. (command line = aa...aa) aa...aa：コマンドライン	実行したコマンドのコマンドラインを表示します。
KAPM04692-I	The hcmdsweb command finished successfully.	hcmdswebコマンドが成功しました。
KAPM04693-E	The hcmdsweb command failed.	hcmdswebコマンドが失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM04694-E	A service is starting up. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスが起動途中です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04696-W	A file exists in the location where a symbolic link is to be created. (path = aa...aa) aa...aa：パス	シンボリックリンクの作成先にファイルがあります。
KAPM04698-W	A directory exists in the location where a symbolic link is to be created. (path = aa...aa) aa...aa：パス	シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。
KAPM04843-E	An attempt to decrypt authentication data failed.	認証情報の復号に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04844-E	Login from anything other than a local host is not possible.	ローカルホスト以外からのログインはできません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04845-E	The decrypted authentication data is invalid.	復号した認証情報が不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04846-E	Requests containing QueryString are not accepted.	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM04975-E	The type of OS is unknown.	OSの種類が不明です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05011-E	Failed to control service.	サービスの制御に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05024-W	Failed to initialize trace. Reason=aa...aa aa...aa：理由	トレースの初期化に失敗しました。 トレースなしで処理を続行します。
KAPM05025-I	The start type has been successfully changed. service-name = aa...aa aa...aa：サービス名	スタートタイプの変更に成功しました。
KAPM05026-E	An attempt to change the start type has failed. service-name = aa...aa aa...aa：サービス名	スタートタイプの変更に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05031-W	An attempt to set the environment variable has failed.	環境変数の設定に失敗しました。
KAPM05050-E	Failed to execute the command that stops services. (command name = aa...aa, return code = bb...bb, server name = cc...cc) aa...aa：コマンド名 bb...bb：リターンコード cc...cc：サーバ名	サービス停止コマンドの実行に失敗しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM05052-I	The command that stops services was executed successfully. (command name = aa...aa, server name = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：サーバ名	サービス停止コマンドの実行に成功しました。
KAPM05053-I	hcmds64srv [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定したオプションを表示します。
KAPM05055-W	The path is not a symbolic link. (path = aa...aa) aa...aa：パス	このパスはシンボリックリンクではありません。 システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05056-E	The directory could not be found. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ディレクトリがありません。 システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05057-E	A memory-allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05058-W	Execution of the hcmdsstartapp command failed. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	hcmdsstartappコマンドが失敗しました。
KAPM05059-I	A request to start an application was received. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	アプリケーションの起動要求を受け付けました。
KAPM05230-E	An attempt to execute the command to stop the Web container server has failed.	Webコンテナーサーバ停止コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05231-E	An attempt to execute the thread-dump acquisition command has failed.	スレッドダンプ取得コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05232-E	The service stopped abnormally. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスが異常停止しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05234-E	Execution of the command to start the J2EE server failed.	J2EEサーバ起動コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05235-E	Execution of the command to stop the J2EE server failed.	J2EEサーバ停止コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05236-E	An attempt to delete a file failed. (file path = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：ファイルパス bb...bb：エラーコード	ファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05237-E	An error occurred in an API function. (API function name = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：API名 bb...bb：エラーコード	APIでエラーが発生しました。 頻繁に発生する場合，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05282-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 正しいオプションを指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05285-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05318-I	The acquiring of logs successfully ended. aa...aa aa...aa：PP名	aa...aa のログ取得に成功しました。
KAPM05319-E	The acquiring of logs abnormally ended. aa...aa aa...aa：PP名	aa...aa のログ取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05324-E	The privilege is invalid.	実行権限がありません。 実行権限のあるユーザーで実行してください。
KAPM05350-E	An attempt to create an archive file of troubleshooting information failed.	障害情報のアーカイブファイル作成に失敗しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM05351-E	Acquire all directories under the directory specified for the dir option, and then contact customer support. (dir option = "aa...aa") aa...aa：dirオプションに指定したディレクトリのパス	dirオプションに指定したディレクトリの下に存在するディレクリをすべて取得して障害対応窓口に連絡してください。 dirオプションに指定したディレクトリの下に存在するディレクリをすべて取得して障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05392-W	An attempt to get the System Log failed.	システムログの取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05393-W	An attempt to get the Application Log failed.	アプリケーションログの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05394-W	An attempt to get the Syslog Daemon configuration file failed.	syslogデーモンの設定ファイルの取得に失敗しました。
KAPM05447-E	An error occurred in communication with the HSSO server.	HSSOサーバへの接続でエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 1.HBase Storage Mgmt Common ServiceまたはHBase Storage Mgmt Web Serviceが起動していることを確認してください。 2.セカンダリサーバからコマンドを実行した場合，hcmds64prmsetコマンドでcheckオプションを指定して接続確認をしてください。
KAPM05448-E	Failed to connect to the external authentication server.	外部認証サーバとの接続に失敗しました。 次の対処をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポート，およびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 Kerberosの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているレルム名とKDCが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. 外部認証サーバがKerberos V5プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 4. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05449-E	Authentication failed.	認証に失敗しました。 次の対処をしてください。 1.正しいユーザーIDまたはパスワードを指定してください。 2.セカンダリサーバからコマンドを実行した場合，hcmds64prmsetコマンドでcheckオプションを指定して接続確認をしてください。
KAPM05450-E	An error occurred on the HSSO Server.	HSSOサーバでエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05561-I	The database was backed up successfully.	データベースのバックアップに成功しました。
KAPM05562-E	An attempt to back up the database has failed.	データベースのバックアップに失敗しました。
KAPM05563-I	The database was completely restored.	データベースの全体リストアに成功しました。
KAPM05564-E	An attempt to completely restore the database has failed.	データベースの全体リストアに失敗しました。
KAPM05565-I	The database was partially restored.	データベースの部分リストアに成功しました。
KAPM05566-E	An attempt to partially restore the database has failed.	データベースの部分リストアに失敗しました。
KAPM05654-E	An attempt to output the password file has failed.	パスワードファイルを書き出す処理で障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05655-E	The character string specified by the option is too long.	オプションで指定した文字列が最大文字数を超えています。 文字数の制限値を超えない文字列を入力してください。
KAPM05664-W	To enhance the security of internal accounts, use the hcmds64accountsecret command.	内部アカウントのセキュリティ強化は，hcmds64accountsecretコマンドで行ってください。
KAPM05815-E	A NullPointerException occurred. (details = aa...aa) aa...aa：例外の詳細	NullPointerExceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05825-E	An HSSOException occurred. (details = aa...aa) aa...aa：例外の詳細	HSSOExceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05832-I	The authentication data was backed up successfully.	認証データのバックアップに成功しました。
KAPM05833-E	An attempt to back up the authentication data has failed.	認証データのバックアップに失敗しました。
KAPM05834-I	The authentication data was restored successfully.	認証データのリストアに成功しました。
KAPM05835-E	An attempt to restore the authentication data has failed.	認証データのリストアに失敗しました。
KAPM05861-E	An attempt to cancel the banner message display has failed.	バナーメッセージの解除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM05897-E	An attempt to acquire the installation path has failed.	インストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05898-E	An attempt to create the log file path has failed.	ログファイルパスの作成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05901-I	The hcmds64dbtrans command ended normally.	hcmds64dbtransコマンドは正常終了しました。
KAPM05903-E	An option is invalid. Code=[aa...aa], Data=[bb...bb] aa...aa：発生箇所を示すコード bb...bb：発生したオプションと値	オプションの指定に誤りがあります。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM05904-I	hcmds64dbtrans [aa...aa]{, [bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM05916-E	An attempt was made to register secondary server data into the primary server.	セカンダリサーバのデータをプライマリサーバに登録しようとしました。 インポートするデータ，およびインポート先のサーバの設定を見直してください。
KAPM05918-E	An attempt to export the database has failed.	データベースのエクスポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM05923-E	An archive file cannot be created because the data exceeds 2 GB.	2GBを超えるため，アーカイブファイルを作成できません。 アーカイブファイルの代わりに，workpathオプションで指定したディレクトリに格納されているデータを移行先サーバに転送してください。
KAPM05924-E	The work directory specification is incorrect.	workpathオプションに指定した作業用ディレクトリ名に誤りがあります。 次の対処をしてください。 1. パスが適切か確認してください。 2. 指定したディレクトリまでの権限を確認してください。
KAPM06050-E	An attempt to add a built-in user group failed.	ビルトインユーザーグループの追加に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06052-E	An attempt to change a resource group attribute has failed. (attribute = aa...aa)	リソースグループの属性の変更に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：属性	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06124-W	An attempt to register authentication data failed.	認証データの登録に失敗しました。 次の対処をしてください。 分散環境： ・プライマリ側からコマンドを実行した場合は，プライマリ側のSingle Sign On serverを再起動してください。 ・セカンダリ側からコマンドを実行した場合は，プライマリ側のSingle Sign On serverの起動を確認してください。Single Sign On serverが起動していないときは，起動してから，セカンダリ側のSingle Sign On serverを再起動してください。 単一構成： Single Sign On serverを再起動してください。
KAPM06162-E	An attempt to acquire the key name has failed.	キー名の取得に失敗しました。 クラスタ設定ファイルを確認してください。
KAPM06166-E	An attempt to register the authentication data has failed.	認証データの登録に失敗しました。 hcmds64chgurlコマンドを実行して，このメッセージが表示された場合は，分散環境でのローカルのリポジトリーへの情報登録には成功していますが，リモートのマシンでの登録情報が未反映です。リモートのマシンで登録情報を反映するために，リモートのマシンのSingle Sign On Serverを起動または再起動してください。起動または再起動しても問題が解決しない場合は，ネットワークの接続・設定を確認してください。それでも問題が解決しないときは，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06169-E	An attempt to log in as an internal user has failed.	内部ユーザーでのログインに失敗しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM06194-W	An attempt to obtain the absolute path of the hcmdsChangeSysPass file failed.	hcmdsChangeSysPassファイルの絶対パスの取得に失敗しました。
KAPM06195-W	An attempt to delete the hcmdsChangeSysPass file failed.	hcmdsChangeSysPassファイルの削除に失敗しました。
KAPM06290-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06291-W	The host name cannot be acquired.	ホスト名の取得に失敗しました。
KAPM06292-E	An attempt to output a file failed.	ファイルの出力に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		詳細はhcmds64ssltoolのログを参照してください。
KAPM06304-E	The option value specified is invalid.	オプションと値の対応づけに誤りがあります。 オプションを指定し，その後ろに必要な値（ユーザー名，パスワードなど）を指定してください。
KAPM06312-E	An error occurred when inputting the file.	ファイルの入力時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06348-I	The database was created successfully.	データベースの作成に成功しました。
KAPM06349-E	An attempt to create the database has failed.	データベースの作成に失敗しました。
KAPM06350-I	The database was deleted successfully.	データベースの削除に成功しました。
KAPM06351-E	An attempt to delete the database has failed.	データベースの削除に失敗しました。
KAPM06370-I	The service does not exist.	サービスがありません。
KAPM06371-W	The service is disabled.	サービスが無効です。
KAPM06372-W	Acquisition of the service status failed.	サービスの状態取得に失敗しました。
KAPM06373-W	The service status is currently unknown.	現在のサービス状態が不明です。
KAPM06374-I	Execution of the "aa...aa" command ended successfully. (return code = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：コマンドの戻り値	コマンドの実行が正常に終了しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06375-E	Execution of the "aa...aa" command failed. (return code = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：コマンドの戻り値	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06376-E	Failed to specify the permission settings. (path = aa...aa) aa...aa：パス	権限の設定に失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，パスのファイルシステムを見直してください。
KAPM06377-E	Failed to specify the permission settings.	権限の設定処理に失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。 障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06378-E	The specified directory name already exists as a file name. (file name = aa...aa)	指定したディレクトリ名はすでにファイル名に使用されています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：ファイル名	指定するディレクトリ名を変更してください。
KAPM06383-E	The format of the unload function file is invalid.	アンロード機能ファイルのフォーマットが正しくありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06386-E	Command aa...aa returned the value bb...bb. The error message is cc...cc. aa...aa：コマンド名 bb...bb：戻り値 cc...cc：エラーメッセージ	コマンドaa...aaが戻り値bb...bbを返しました。エラーメッセージはcc...ccです。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06395-I	"aa...aa" aa...aa：標準出力	コマンド実行時の標準出力です。
KAPM06445-E	HiRDB cannot be stopped because a Suite product is connected to HiRDB.	HiRDBと接続しているSuite製品が存在するため，HiRDBを停止できません。 HiRDB と接続しているHA Command Suite製品があるため，HiRDB を停止できません。 HiRDB と接続しているHA Command Suite製品を停止してから，再実行してください。 再実行しても問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06461-E	aa...aa aa...aa：デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM06543-I	The database was exported successfully.	データベースのエクスポートに成功しました。
KAPM06544-E	An attempt to export the database has failed.	データベースのエクスポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06545-I	The database was imported successfully.	データベースのインポートに成功しました。
KAPM06546-E	An attempt to import the database has failed.	データベースのインポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06586-I	Processing to import data was successful.	データのインポートに成功した場合に表示します。
KAPM06614-E	An attempt to communicate with SSO Server has failed.	SSOサーバとの通信に失敗しました。 次の対処をしてください。 分散環境：

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		プライマリサーバからコマンドを実行した場合，プライマリサーバのSingle Sign On serverが起動しているか確認してください。 セカンダリサーバからコマンドを実行した場合，プライマリサーバのSingle Sign On serverが起動しているか確認してください。起動していないときは，Single Sign On serverを起動させてから，セカンダリ側のSingle Sign On serverを再起動してください。起動しているときは，セカンダリサーバのSingle Sign On serverが起動しているか確認してください。hcmds64prmsetコマンドでcheckオプションを指定して接続確認をしてください。 単一構成： Single Sign On serverが起動しているか確認してください。 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06615-E	The truststore file is not in JKS format.	トラストストアファイルはJKS形式ではありません。 トラストストアのキーストアタイプをJKS形式にしてください。
KAPM06616-E	Failed to connect to the primary server.	プライマリサーバーとの接続に失敗しました。 hcmds64prmsetコマンドでcheckオプションを指定して接続確認をしてください。 それでも問題が解決しない場合は保守情報を取得し，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM06694-E	aa...aa aa...aa：デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM06720-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06721-I	The hcmdsscmquery command ended.	hcmdsscmqueryコマンドが終了しました。
KAPM06722-E	An error occurred in the Win32 API.. (API name = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：API名 bb...bb：エラーコード	WIN32APIでエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06774-E	The hcmds.home value cannot be acquired.	hcmds.homeの値が取得できません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06778-E	A specified path already exists as a file or directory. (path = aa...aa) aa...aa：パス	指定したファイルは，すでにファイルまたはディレクトリとしてあります。 別のパスを指定するか，パスに指定したファイルまたはディレクトリを削除してから，再実行してください。
KAPM06788-W	The host name cannot be acquired.	ホスト名の取得に失敗しました。
KAPM06790-E	An IllegalArgumentException occurred.	IllegalArgumentExceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06791-E	An IOException occurred.	IOExceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06792-E	A HBaseDeleteFileException occurred.	HBaseDeleteFileExceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06793-E	An exception occurred.	exceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06804-E	An attempt to export the product database failed. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	製品のデータベースの出力のエクスポートに失敗しました。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06805-W	Command processing will continue.	コマンドは処理を継続します。
KAPM06806-E	aa...aa aa...aa：デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM06807-I	aa...aa aa...aa：標準エラー出力	コマンド実行時の標準エラー出力です。
KAPM06808-I	aa...aa aa...aa：標準出力	コマンド実行時の標準出力です。
KAPM06809-E	An error occurred during execution of the command.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06811-I	hcmds64authmove [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM06813-E	aa...aa	デバッグ用情報です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：デバッグ用情報	
KAPM06814-I	aa...aa aa...aa：標準出力	コマンド実行時の標準出力です。
KAPM06815-E	An error occurred during execution of the command.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06820-E	Execution of the cjdeleteapp command failed.	cjdeleteappコマンドに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06821-E	Execution of the cjimportapp command failed.	cjimportappコマンドに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06822-E	Execution of the cjstartapp command failed.	cjstartappコマンドに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06823-I	The netstat command will now be executed.	netstatコマンドを実行します。
KAPM06824-I	The ps command will now be executed.	psコマンドを実行します。
KAPM06825-I	The tasklist command will now be executed.	tasklistコマンドを実行します。
KAPM06826-I	These are the execution results of the cjstartsv command.	cjstartsvコマンドの実行結果です。
KAPM06827-E	Execution of the cjstartsv command failed.	cjstartsvコマンドに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06828-W	The server set up is not completed. Command processing will continue. (server name = aa...aa)	サーバのセットアップは完了していません。コマンドは処理を継続します。
KAPM06829-W	A directory remains because an attempt to delete it failed. (path = ""aa...aa"") aa...aa：パス	ディレクトリの削除に失敗したため，ディレクトリが残っています。
KAPM06830-W	An operation on the file failed. (path = ""aa...aa"") aa...aa：パス	ファイル操作に失敗しました。
KAPM06831-W	Deletion of the uCPSB failed. (error code = ""aa...aa"") aa...aa：エラーコード	uCPSBの削除に失敗しました。
KAPM06832-W	Deletion of the uCPSB failed.	uCPSBの削除に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06833-W	An error occurred during execution of the command. (error code = ""aa...aa"") aa...aa：エラーコード	コマンドの実行中に例外が発生しました。
KAPM06864-I	Permissions were successfully set. (path = aa...aa) aa...aa：パス	権限の設定に成功しました。
KAPM06870-E	An attempt to run the command hcmdscopyacl failed. (path = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：パス bb...bb：エラーコード	hcmdscopyaclコマンドが失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，パスのファイルシステムを見直してください。
KAPM06906-I	Processing to stop the DBMS has started.	データベースの停止を開始した場合に表示します。
KAPM06907-I	The DBMS was stopped successfully.	データベースの停止に成功した場合に表示します。
KAPM06916-I	hcmds64dbclustersetup [aa...aa] {,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	hcmds64dbclustersetupコマンドに指定したオプションを表示します。
KAPM06917-E	Copying of the unload function file failed.	アンロード機能ファイルのコピーに失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06920-W	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。 頻繁に発生する場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06921-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06922-E	The aa...aa command will stop because setting an environment variable failed. (details = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：詳細	環境変数の設定に失敗したため，コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06923-E	The aa...aa command will stop because internal processing failed. (details = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：詳細	内部処理に失敗したため，コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM06924-E	An error occurred in an internal function. (function = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：関数 bb...bb：エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06925-E	A system environment variable is invalid.	システム環境変数が不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06926-E	The aa...aa command will stop because setting an environment variable failed. (details = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：詳細	環境変数の設定に失敗したため，コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06927-E	The aa...aa command will stop because internal processing failed. (details = bb...bb) aa...aa：コマンド名 bb...bb：詳細	内部処理に失敗したため，コマンドの実行を中断します。 コマンドを再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06932-W	Failed to initialize a log.	ログの初期化に失敗しました。 頻繁に発生する場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06933-E	An error occurred in an internal function. (function called = aa...aa, function executed = bb...bb, notes = cc...cc, error code = dd...dd) aa...aa：呼び出し関数名 bb...bb：実行関数名 cc...cc：備考 dd...dd：エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM06934-E	Failed to create a mutex object.	ミューテックスオブジェクトの生成に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06935-E	Failed to release a mutex object.	ミューテックスオブジェクトの解放に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06936-E	Failed to lock a file.	ファイルロックに失敗しました。 しばらくしてから再実行してください。
KAPM06937-E	Failed to release a file lock.	ファイルロックの解除に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06938-E	Failed to open a file. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	ファイルのオープンに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06939-E	Failed to close a file. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	ファイルのクローズに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06940-E	Failed to set permissions for a file. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	ファイルの権限設定に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06941-E	Failed to acquire a file descriptor. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	ファイルデスクリプタの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM06942-E	Failed to acquire a mutex object.	ミューテックスオブジェクトの取得に失敗しました。 しばらくしてから再実行してください。
KAPM07230-I	The user was registered successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザーが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07231-I	The user was deleted successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザーが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07232-I	The password was changed successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	パスワードが正常に変更されたことを示す監査ログです。
KAPM07233-I	The user information was modified successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザー情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07235-I	The user was locked successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa：操作者名 bb...bb：処理したユーザーID cc...cc：機能名	ユーザーが正常にロックされたことを示す監査ログです。
KAPM07236-I	The user was unlocked successfully. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc)	ユーザーが正常にアンロックされたことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：操作者名 bb...bb：処理したユーザーID cc...cc：機能名	
KAPM07239-E	The old password is incorrect. (operator = aa...aa, user ID = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa：操作者名 bb...bb：処理したユーザーID cc...cc：機能名	パスワード変更時に指定した古いパスワードが正しくないことを示す監査ログです。
KAPM07240-E	An attempt to execute the aa...aa operation has failed. (operator = bb...bb, user ID = cc...cc, function = dd...dd) aa...aa：操作名 bb...bb：操作者名 cc...cc：処理したユーザーID dd...dd：機能名	aa...aa操作が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07241-I	A user was registered successfully. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07242-E	Registration of a user has failed. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07243-I	The user information was updated successfully. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザー情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07244-E	An attempt to update the user information has failed. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザー情報の更新に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07245-I	A user was deleted successfully. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07246-E	Deletion of a user has failed. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーの削除に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07247-I	The authorization group was added successfully. (operator = aa...aa, distinguished name = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa：操作者名 bb...bb：識別名 cc...cc：機能名	認可グループが正常に追加されたことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM07248-E	An attempt to execute the aa...aa operation has failed. (operator = bb...bb, distinguished name = cc...cc, function = dd...dd) aa...aa：操作名 bb...bb：操作者名 cc...cc：識別名 dd...dd：機能名	aa...aa操作が失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07249-I	The authorization group was deleted successfully. (operator = aa...aa, distinguished name = bb...bb, function = cc...cc) aa...aa：操作者名 bb...bb：識別名 cc...cc：機能名	認可グループが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07250-I	The permissions were changed successfully. (operator = aa...aa, distinguished name = bb...bb, permissions = cc...cc) aa...aa：操作者名 bb...bb：識別名 cc...cc：変更後の権限	権限情報が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07251-I	The authorization group was registered successfully. (distinguished name = aa...aa) aa...aa：識別名	認可グループが正常に登録されたことを示す監査ログです。
KAPM07252-E	An attempt to register the authorization group has failed. (distinguished name = aa...aa) aa...aa：識別名	認可グループの登録に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07253-I	The authorization group was deleted successfully. (distinguished name = aa...aa) aa...aa：識別名	認可グループが正常に削除されたことを示す監査ログです。
KAPM07254-E	An attempt to delete the authorization group has failed. (distinguished name = aa...aa) aa...aa：識別名	認可グループの削除に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM07255-I	The authorization group's permissions were changed successfully. (distinguished name = aa...aa) aa...aa：識別名	認可グループの権限が正常に更新されたことを示す監査ログです。
KAPM07256-E	An attempt to change the authorization group's permissions has failed. (distinguished name = aa...aa)	認可グループの権限更新に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：識別名	
KAPM08009-I	The logout processing finished. (session ID = aa...aa) aa...aa：セッションID	ログアウト処理が終了しました。
KAPM08330-E	システム環境が不正です。	システム環境が不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08912-E	Null is specified for the argument.(aa...aa) aa...aa：パラメーター	引数にnullが指定されています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM08923-E	Requests containing QueryString are not accepted.	クエリストリングが含まれるリクエストは，受け付けられません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09090-E	hcmds.home is not specified in the Java system properties.	Javaのシステムプロパティにhcmds.homeが設定されていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09091-E	An error occurred during reading of a library. library path = aa...aa aa...aa：ライブラリーのパス	ライブラリーの読み取りでエラーが発生しました。ライブラリーのパス=aa...aa 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09092-E	A timeout was generated during lock acquisition.	ロックの取得でタイムアウトが発生しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09210-E	hcmds.home is not specified in the Java system properties.	Javaのシステムプロパティにhcmds.homeが設定されていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09211-E	An error occurred during reading of a library. library path = aa...aa aa...aa：ライブラリーのパス	ライブラリーの読み取りでエラーが発生しました。ライブラリーのパス=aa...aa 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM09212-E	An attempt to execute JNI has failed. function = aa...aa, error code = bb...bb aa...aa：関数 bb...bb：エラーコード	JNIの実行に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，保守情報を取得し，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM09213-E	A specified argument is invalid.	指定した引数に誤りがあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

5.2. KAPM10000～KAPM19999

HA Command Suite共通コンポーネントに関するメッセージ（KAPM10000～KAPM19999）を次の表に示します。

表5.2 KAPM10000～KAPM19999：HA Command Suite共通コンポーネントのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10116-I	Communication with the directory server was successfully established. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	ディレクトリサーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10117-E	Communication with the directory server failed to be established. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	ディレクトリサーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10118-I	Communication with the RADIUS server was successfully established. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	RADIUSサーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10119-E	Communication with the RADIUS server failed to be established. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	RADIUSサーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10120-I	Communication with the Kerberos server was successfully established. (KDC = aa...aa) aa...aa：KDC	Kerberosサーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10121-E	Communication with the Kerberos server failed to be established. (KDC = aa...aa)	Kerberosサーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：KDC	
KAPM10122-I	Communication with the DNS server was successfully established.	DNSサーバとの通信に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10123-E	Communication with the DNS server failed to be established.	DNSサーバとの通信に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10124-I	A TLS session with a directory server was successfully negotiated. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	ディレクトリサーバとのTLSセッションのネゴシエーションに成功したことを示す監査ログです。
KAPM10125-E	A TLS session with a directory server failed to be negotiated. (host = aa...aa, port = bb...bb, protocol = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート番号 cc...cc：プロトコル	ディレクトリサーバとのTLSセッションのネゴシエーションに失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10126-I	An information-search user was successfully authenticated by the directory server. (distinguished name = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：識別名 bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	ディレクトリサーバで情報検索用ユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10127-W	An information-search user failed to be authenticated by the directory server. (distinguished name = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：識別名 bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	ディレクトリサーバで情報検索用ユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10128-I	A user was successfully authenticated by the directory server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号	ディレクトリサーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	dd...dd：プロトコル	
KAPM10129-W	No users are registered on the directory server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	ディレクトリサーバにユーザーが登録されていないことを示す監査ログです。
KAPM10130-W	A user failed to be authenticated by the directory server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	ディレクトリサーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10131-I	A user was successfully authenticated by the RADIUS server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	RADIUSサーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10132-W	A user failed to be authenticated by the RADIUS server. (user ID = aa...aa, host = bb...bb, port = cc...cc, protocol = dd...dd) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ホスト名 cc...cc：ポート番号 dd...dd：プロトコル	RADIUSサーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10133-I	A user was successfully authenticated by the Kerberos server. (Kerberos principal = aa...aa, KDC = bb...bb) aa...aa：Kerberosプリンシパル名 bb...bb：KDCのリスト	Kerberosサーバでユーザーの認証に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10134-W	A user failed to be authenticated by the Kerberos server. (Kerberos principal = aa...aa, KDC = bb...bb) aa...aa：Kerberosプリンシパル名 bb...bb：KDCのリスト	Kerberosサーバでユーザーの認証に失敗したことを示す監査ログです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM10135-I	User information was successfully acquired from the directory server. (user ID = aa...aa, domain name = bb...bb, host = cc...cc, port = dd...dd, protocol = ee...ee, base DN = ff...ff) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ドメイン名 cc...cc：ホスト名 dd...dd：ポート番号 ee...ee：プロトコル ff...ff：ベース識別名	ディレクトリサーバからユーザーの情報取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10136-E	Acquisition of user information from the directory server failed. (user ID = aa...aa, domain name = bb...bb, host = cc...cc, port = dd...dd, protocol = ee...ee, base DN = ff...ff) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ドメイン名 cc...cc：ホスト名 dd...dd：ポート番号 ee...ee：プロトコル ff...ff：ベース識別名	ディレクトリサーバからユーザーの情報取得に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM10137-I	An SRV record was successfully acquired from the DNS server. (record key = aa...aa) aa...aa：SRVレコードのキー	DNSサーバからSRVレコードの取得に成功したことを示す監査ログです。
KAPM10138-E	An SRV record failed to be acquired from the DNS server. (record key = aa...aa) aa...aa：SRVレコードのキー	DNSサーバからSRVレコードの取得に失敗したことを示す監査ログです。
KAPM11003-E	The function is not supported. (function = aa...aa) aa...aa：機能名	機能がサポートされていません。 プライマリーサーバのHA Command Suite共通コンポーネントで機能がサポートされているか確認してください。
KAPM11051-E	The request was invalid.	リクエストが不正です。 Common APIが実行できる環境かどうか確認してください。
KAPM11052-E	Login processing failed.	ログイン処理に失敗しました。 ログインするユーザーのID，パスワード，権限を確認してください。サービスの起動状態を確認してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM11101-E	The specified user does not exist. (instance ID = aa...aa) aa...aa：インスタンスID	指定したユーザーは存在しません。 指定したユーザーが存在することを確認してください。
KAPM11102-E	The built-in user account cannot be deleted.	ビルトインアカウントは削除できません。 ユーザーの指定を見直してください。
KAPM11103-E	A required parameter is not specified. (operation = aa...aa, parameter name = bb...bb) aa...aa：オペレーション bb...bb：パラメーター名	必須パラメーターを指定していません。 パラメーターの指定を見直してください。
KAPM11105-E	The instance ID specified for a parameter differs from the instance ID specified for the URL. (operation = aa...aa, instance ID specified for the parameter = bb...bb, instance ID specified for the URL = cc...cc) aa...aa：オペレーション bb...bb：パラメーターに指定しているインスタンスID cc...cc：URLに指定しているインスタンスID	パラメーターに指定しているインスタンスIDが，URLに指定しているインスタンスIDと異なります。 パラメーターの指定またはURLの指定を見直してください。
KAPM11106-E	An inappropriate parameter is specified. (operation = aa...aa, parameter name = bb...bb) aa...aa：オペレーション bb...bb：パラメーター名	不適切なパラメーターを指定しています。 パラメーターの指定を見直してください。
KAPM11107-E	The request data is invalid.	リクエストデータが不正です。 リクエストデータを見直してください。
KAPM11108-E	The specified user already exists. (login ID = aa...aa) aa...aa：ログインID	指定したユーザーはすでに存在しています。 パラメーターに指定したユーザーの情報を見直してください。
KAPM11109-E	The password for a user authenticated by an external authentication server cannot be changed. (instance ID = aa...aa) aa...aa：インスタンスID	外部認証サーバで認証するユーザーのためパスワードは変更できません。 パラメーターに指定したユーザーの情報を見直してください。
KAPM11110-E	The password is not set up.	パスワードが設定されていません。 パラメーターにパスワードを指定してください。
KAPM11112-E	The password cannot be changed for a user mapped to an external authentication group. (login ID = aa...aa) aa...aa：ログインID	外部認証グループ連携ユーザーのためパスワードは変更できません。 ユーザーの認証方法を確認してください。
KAPM11113-E	The password for a user authenticated by an external	外部認証サーバで認証したユーザーのためパスワードは変更できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	authentication server cannot be changed. (login ID = aa...aa) aa...aa：ログインID	ユーザーの認証方法を確認してください。
KAPM11114-E	There is a logout request for a user who is not logged in.	ログインしていないユーザーのログアウト要求です。 ログアウト要求を見直してください。
KAPM11115-E	The session information contains no token information. (token = aa...aa) aa...aa：Token	セッション情報にトークン情報がありません。 ログアウト要求を見直してください。
KAPM11116-E	Authentication for this session is not basic authentication.	Basic認証ではありません。 要求はBasic認証にしてください。
KAPM11117-E	The password conflicts with the input rules.	パスワードが入力規定に違反しています。 パスワードの指定を見直してください。
KAPM11120-E	The specified parameter is too long. (operation = aa...aa, parameter name = bb...bb) aa...aa：オペレーション bb...bb：パラメーター名	指定したパラメーターが長過ぎます。 パラメーターの指定を見直してください。
KAPM11121-E	The specified parameter value is invalid. (operation = aa...aa, parameter name = bb...bb) aa...aa：オペレーション bb...bb：パラメーター名	指定したパラメーターの値が不正です。 パラメーターの指定を見直してください。
KAPM11122-E	The user information to be registered already exists. (login ID = aa...aa) aa...aa：ログインID	登録するユーザーの情報が重複しています。 パラメーターに指定したユーザーの情報を見直してください。
KAPM11201-E	The built-in user group cannot be deleted. (instance ID = aa...aa) aa...aa：インスタンスID	ビルトインユーザーグループは削除できません。 ユーザーグループの指定を見直してください。
KAPM14009-E	An attempt to read a file failed. (file name = aa...aa) aa...aa：ファイル名	ファイルの読み込みに失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14010-E	Table information could not be acquired. (table name = aa...aa) aa...aa：テーブル名	テーブルの情報が取得できませんでした。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14011-W	A key is invalid. (key name = aa...aa) aa...aa：キー名	キーが不正です。
KAPM14012-I	Association information will be deleted because the chain	チェーン切れのため，アソシエーション情報を削除します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	was broken. (hcmdsID = aa...aa, association = bb...bb) aa...aa：製品ID bb...bb：アソシエーション	
KAPM14013-I	Incorrect product information will be removed. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	不正な製品の情報を削除します。
KAPM14014-E	The value of hcmds.home could not be acquired.	hcmds.homeの値を取得できません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14015-E	An attempt to delete the product information has failed. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	製品情報の削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14016-E	An attempt to delete the association information has failed. (association = aa...aa) aa...aa：アソシエーション	アソシエーション情報の削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14017-E	The DBMS is blocked.	DBMSが閉塞しています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14018-E	An attempt to get association information failed.	アソシエーション情報の取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14019-E	An attempt to get the class name failed.	クラス名の取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14020-W	Processing is being re-executed.	処理を再実行しています。
KAPM14021-E	An authentication error occurred.	認証障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14022-E	An error occurred during DBMS access processing.	DBMSへのアクセス中に障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14023-E	aa...aa	デバッグ用情報です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：デバッグ用情報	
KAPM14030-I	The hcmdsServiceCtrl command started.	hcmdsServiceCtrlコマンドを開始しました。
KAPM14031-I	The hcmdsServiceCtrl command finished successfully.	hcmdsServiceCtrlコマンドが成功しました。
KAPM14032-E	The hcmdsServiceCtrl command failed.	hcmdsServiceCtrlコマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14033-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14034-E	Acquisition of the HBase64 installation path failed.	HBase64のインストールパスの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14035-W	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。
KAPM14036-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM14039-E	An error occurred in an internal function. (calling function = aa...aa, executed function = bb...bb, note = cc...cc, error code = dd...dd) aa...aa：呼び出し関数名 bb...bb：実行関数名 cc...cc：備考 dd...dd：エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14040-E	The service is running. (service name = aa...aa) aa...aa：サービス名	サービスが起動しています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14041-I	The service operation was executed. (operation name = aa...aa) aa...aa：操作名	サービスの操作を実行しました。
KAPM14152-I	A command will now be executed. (command line = aa...aa) aa...aa：コマンドライン	実行したコマンドのコマンドラインを表示します。
KAPM14153-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してから再実行してください。
KAPM14154-I	The path is a symbolic link. (path = aa...aa)	このパスはシンボリックリンクです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：パス	
KAPM14155-W	The path is not a symbolic link. (path = aa...aa) aa...aa：パス	このパスはシンボリックリンクではありません。 システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14156-E	The path to be checked could not be obtained.	チェックするパスが取得できませんでした。 システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14157-E	The directory could not be found. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ディレクトリがありません。 システムの環境が不正です。原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14158-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14172-E	An option is incorrect.	オプションが不正です。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM14173-E	The specified file does not exist. (path = aa...aa) aa...aa:パス	指定したファイルがありません。 ファイルがあるか確認してください。
KAPM14174-E	The specified directory does not exist. (path = aa...aa) aa...aa:パス	指定したディレクトリがありません。 ディレクトリがあるか確認してください。
KAPM14175-E	The specified file format is invalid.	指定したファイルのファイル形式が誤っています。 変換元ファイルのファイル形式がuser_httpsd.confである事を確認してください。
KAPM14176-E	The backup file exists. (path = aa...aa) aa...aa:パス	バックアップファイルが存在します。 バックアップファイルを削除した後，再度コマンドを実行してください。
KAPM14177-I	Processing has finished normally.	処理は正常に終了しました。
KAPM14179-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14180-E	Creation of the file has failed. (path = aa...aa) aa...aa:パス	ファイルの作成に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM14181-E	An attempt to delete a file failed.	ファイルの削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14182-E	Copying of the file failed.	ファイルのコピーに失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14202-I	The hcmdsdefcphws command finished successfully. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	hcmdsdefcphwsコマンドの実行に成功しました。
KAPM14203-E	The hcmdsdefcphws command failed. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	hcmdsdefcphwsコマンドが失敗しました。 直前のメッセージKAPMxxxxx-Eを参照してください。
KAPM14204-E	An option is incorrect.	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM14205-E	The specified file does not exist. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルが存在しません。 ファイルがあるか確認してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14206-E	An attempt to delete a file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14207-W	An attempt to delete a file failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの削除に失敗しました。
KAPM14208-E	Creation of the file has failed. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの作成に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14209-E	An error occurred during file I/O processing. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの入出力処理でエラーが発生しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14210-E	A syntax error occurred. (path = aa...aa) aa...aa：パス	シンタックスエラーが発生しました。 必要に応じて，ファイルに定義を追加してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM14211-E	The specified file name already exists as a directory. (path = aa...aa) aa...aa：パス	指定されたファイル名がすでにディレクトリとして存在します。 指定したファイルを見直して，コマンドを再実行してください。
KAPM14212-I	hcmdsdefcphws [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM14213-E	An error occurred during execution of the command.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14214-E	Failed to rename aa...aa to bb...bb. aa...aa：変更前ファイル名 bb...bb：変更後ファイル名	ファイル名の変更に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM14215-E	The contents of the file are invalid. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの内容が不正です。 ファイルの内容を確認してください。
KAPM15004-I	The result of the configuration check of aa...aa was normal. aa...aa：フェーズ番号	コンフィグチェックは正常です。
KAPM15019-E	The configuration file contains a syntax error. (line number = aa...aa, value = bb...bb) aa...aa：行番号 bb...bb：値	設定ファイルに構文エラーがあります。 aa...aa行目のbb...bbに構文エラーがあります。設定ファイルを見直して再実行してください。
KAPM15020-E	The same property key already exists. (line number = aa...aa, key = bb...bb) aa...aa：行番号 bb...bb：キー	同じプロパティキーがすでにあります。 aa...aa行目のbb...bbに重複するプロパティキーがあります。設定ファイルを見直して再実行してください。
KAPM15022-W	An optional parameter has been omitted. (value = aa...aa) aa...aa：値	任意パラメーターが省略されています。
KAPM15036-E	Authentication information cannot be acquired.	認証情報を取得できません。 hcmds64ldapuserコマンドまたはhcmds64radiussecretコマンドで，認証情報を再設定してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15037-E	Specify a value for at least one key. (key = aa...aa) aa...aa：キー	一つはキーの値を指定してください。 キーの値を指定してから再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15039-I	A connection was successfully established. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	接続に成功しました。
KAPM15040-E	A connection attempt has failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	接続に失敗しました。 外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと，次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト名またはIPアドレス，ポート，およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. ファイアウォールの設定を確認してください。 4. LDAPディレクトリサーバがLDAPv3プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 5. StartTLSで通信するときは，SSLの設定内容を見直してください。StartTLSでは，IPアドレスではなくホスト名を指定してください。 6. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 7. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト名またはIPアドレス，ポート，およびプロトコルが正しいか確認してください。 2. 外部認証サーバに設定したクライアントのシークレットと，クライアントで設定したシークレットを確認して，再設定してください。 3. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 4. ファイアウォールの設定を確認してください。 5. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15041-E	Authentication has failed. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	認証に失敗しました。 上記のaa...aaサーバのメッセージKAPMxxxxx-Eを参照してください。
KAPM15042-E	A syntax error occurred. (server name = aa...aa)	シンタックスエラーです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：サーバ名	上記のaa...aaサーバのメッセージKAPMxxxxx-Eを参照してください。
KAPM15061-E	No file targeted for generation management exists.	コマンドで指定されたファイルがありません。 保存対象のファイルまでのパスを正しく指定してください。
KAPM15062-E	There is not enough free space to save the file.	ファイルの保存先に十分な空き領域がありません。 保存先のディスク容量を十分に確保してから，コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15063-E	The specified management target is a directory.	ファイルを指定するオプションの引数にディレクトリが指定されました。 保存対象のファイルを絶対パスで指定してください。
KAPM15064-E	The permissions for the file to be managed are invalid.	コマンドで指定したファイルに設定されている権限が誤っています。 指定したファイルの権限を確認してから，コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15067-E	Creation of the directory has failed.	ディレクトリの作成に失敗しました。 指定したファイルを保存するディレクトリの作成先を確認してから，コマンドを再実行してください。 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15068-E	An option is invalid.	コマンドのオプションが誤っています。 正しいオプションを指定してください。
KAPM15087-E	A dn value is invalid. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	DNの値が不正です。 次の対処をしてください。 1. exauth.propertiesに設定されている対応したサーバのbasednを見直してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されている場合，次の対処をしてください。 hcmds64ldapuserコマンドのDNオプションに指定した値を見直してください。
KAPM15088-I	The common-items check will now start.	共通項目のチェックを開始します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15089-I	The results of the common-items check were normal.	共通項目のチェックの結果，成功しました。
KAPM15221-W	An unexpected error occurred on the DBMS.	DBMSで予期しないエラーが発生しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15233-E	On the DNS server,the SRV record corresponding to the domain name is not defined. (domain name = aa...aa) aa...aa：ドメイン名称	DNSサーバにドメイン名に対応するSRVレコードが定義されていません。 次の対処をしてください。 ・DNSサーバにドメイン名に対応したSRVレコードを定義してください。 ・ドメイン名が誤っていないか設定内容を確認してください。
KAPM15234-I	The DNS server has been referenced. (aa...aa = bb...bb, domain name = cc...cc) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値 cc..cc：ドメイン名称	DNSサーバを参照します。
KAPM15235-E	A server error occurred. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	サーバエラーが発生しました。 次の対処をしてください。 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15236-E	A check cannot be performed because the group definition is invalid.	グループ定義が不正のためチェックできません。 auth.group.mappingの値を見直してから再実行してください。
KAPM15237-I	Group acquisition was successful. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	グループ取得に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15238-E	Group acquisition failed. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	グループ取得に失敗しました。 次の対処をしてください。 ・指定したユーザーにグループが登録されていることを確認してください。 ・exauth.propertiesに設定されている対応したサーバのbasednを見直してください。
KAPM15269-E	The value of the property could not be acquired. (property name = aa...aa) aa...aa：プロパティ名	プロパティの値が取得できません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15270-E	An attempt to acquire an SSL setting failed. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	SSL設定の取得に失敗しました。 exauth.propertiesのSSL設定を見直してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15271-E	There is no supported cipher suite. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	サポートしているCipher Suitesがありません。 exauth.propertiesのCipher Suitesの設定を見直してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15272-E	There is no supported protocol. (aa...aa = bb...bb) aa...aa：属性名 bb...bb：属性値	サポートしているプロトコルがありません。 exauth.propertiesのSSLプロトコルの設定を見直してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15273-I	Multi-domain LDAP authentication is enabled.	LDAPマルチドメインが有効です。
KAPM15274-E	The following attributes cannot be enabled at the same time: "auth.ldap.multi_domain" and "auth.ldap.<server-identification-name>.dns_lookup".	auth.ldap.multi_domainとauth.ldap.＜サーバ識別名＞.dns_lookupの両方を有効にできません。 exauth.propertiesに設定されているauth.ldap.multi_domainとauth.ldap.＜サーバ識別名＞.dns_lookupの値を見直してください。
KAPM15275-I	The server connection will now be checked. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	サーバへの接続をチェックします。
KAPM15276-I	The server connection will now be checked. (user ID = aa...aa, domain name = bb...bb) aa...aa：ユーザーID bb...bb：ドメイン名	サーバへの接続をチェックします。
KAPM15277-E	There is no configuration corresponding to the specified	指定したドメイン名と一致するドメイン名の構成がありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	domain name. (domain name = aa...aa) aa...aa：ドメイン名	ユーザーIDに指定したドメインが正しいことを確認してください。
KAPM15278-W	Failed to access the database.	データベースへのアクセスに失敗しました。 DBMSが起動しているか確認してください。
KAPM15279-I	The global catalog is enabled.	グローバルカタログが有効です。
KAPM15280-E	The domain name corresponding to auth.ldap.default_domain is not specified for auth.ldap.<server-identification-name>.domain.	auth.ldap.default_domainに対応するauth.ldap.＜サーバ識別名＞.domainがありません。 exauth.propertiesのauth.ldap.default_domainに対応するドメイン名をauth.ldap.＜サーバ識別名＞.domainに指定してください。
KAPM15281-E	The number of host names does not match the number of port numbers. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	ホスト名とポート番号の数が一致していません。 exauth.propertiesのauth.ldap.＜サーバ識別名＞.hostとauth.ldap.＜サーバ識別名＞.portの数を同じにしてください。
KAPM15282-E	The following attributes cannot be enabled at the same time: "auth.ldap.default_domain" and "auth.ldap.<server-identification-name>.dns_lookup".	auth.ldap.default_domainとauth.ldap.＜サーバ識別名＞.dns_lookupの両方を有効にできません。 exauth.propertiesに設定されているauth.ldap.default_domainとauth.ldap.＜サーバ識別名＞.dns_lookupの値を見直してください。
KAPM15283-W	The specified user is not registered in the DBMS as a user of the LDAP authentication method. (user ID = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	指定したユーザーは，LDAP認証方式のユーザーとしてDBMSに登録されていません。 指定したユーザーの認証方式をLDAPに変更するか，または新たにLDAP認証方式のユーザーを作成してください。
KAPM15284-E	The truststore file is not in JKS format.	トラストストアファイルはJKS形式ではありません。 トラストストアのキーストアタイプをJKS形式にしてください。
KAPM15285-E	Failed to connect to the specified server.	指定されたサーバーとの接続に失敗しました。 外部認証サーバが正しく動作していることを確認したあと，次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1.exauth.propertiesに設定されているホスト名またはIPアドレス，ポート，およびプロトコルが正しいか確認してください。 2.ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3.ファイアウォールの設定を確認してください。 4.LDAPディレクトリサーバがLDAPv3プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		5.StartTLSで通信するときは，暗号通信の設定内容を見直してください。StartTLSでは，IPアドレスではなくホスト名を指定してください。 6.OCSPが有効な場合，次の対処をしてください。 ・証明書が有効であるか確認してください。 7.問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1.exauth.propertiesに設定されているホスト名またはIPアドレス，ポート，およびプロトコルが正しいか確認してください。 2.外部認証サーバに設定したクライアントのシークレットと，クライアントで設定したシークレットを確認して，再設定してください。 3.ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 4.ファイアウォールの設定を確認してください。 5.問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15435-E	The numbers of license information items on the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = aa...aa, transfer destination = bb...bb) aa...aa：移行元のライセンス情報の数 bb...bb：移行先のライセンス情報の数	移行先のライセンス情報の数が，移行元のライセンス情報の数と一致しません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15438-E	The device numbers of the transfer source and transfer destination do not match. (transfer source = aa...aa, transfer destination = bb...bb) aa...aa：移行元のDKC製番 bb...bb：移行先のDKC製番	移行先のDKC製番が，移行元のDKC製番と一致しません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15439-E	The license key types of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = aa...aa, transfer destination = bb...bb) aa...aa：移行元のライセンスキー種別	移行先のライセンスキー種別が，移行元のライセンスキー種別と一致しません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	bb...bb：移行先のライセンスキー種別	
KAPM15440-E	The device types of the transfer source and the transfer destination do not match. (transfer source = aa...aa, transfer destination = bb...bb) aa...aa：移行元の装置種別 bb...bb：移行先の装置種別	移行先の装置種別が，移行元の装置種別と一致しません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15450-I	hcmdslicenseconvert [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたコマンドライン引数を表示します。
KAPM15520-E	An attempt to output a file has failed. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15525-E	An attempt to delete the file to which the HiRDB connection status is output failed. (file path = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	HiRDBの接続状態を出力するファイルの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15617-E	A file exists at the destination for which a symbolic link is to be created.	シンボリックリンクの作成先にファイルがあります。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15618-E	A directory exists at the destination for which a symbolic link is to be created.	シンボリックリンクの作成先にディレクトリがあります。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15619-E	An error occurred in an API function. (API function name = aa...aa, error code = bb...bb) aa...aa：API名 bb...bb：エラーコード	APIでエラーが発生しました。 あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM15635-E	HiRDB has not been set up.	HiRDBがセットアップされていないため，続行できません。
KAPM15645-I	Setup has started.	セットアップを開始しました。
KAPM15649-E	The aa...aa directory could not be deleted. aa...aa：ディレクトリ名	ディレクトリの削除に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15802-I	Are you sure you want to execute the hcmdsdbchgwork command? (Y/N)	コマンド実行を確認するメッセージ。
KAPM15816-I	The hcmdsdbchgwork_setting file was created.	hcmdsdbchgwork_settingファイルを作成しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15820-E	HiRDB is not set up.	HiRDBがセットアップされていないため，続行できません。 HiRDBのセットアップ状態を確認してください。
KAPM15821-E	The HiRDB setup status is "Standby".	HiRDBのセットアップ状態は待機系です。 スタンドアロンまたは実行系で実行してください。
KAPM15822-E	Stopping of the service or database failed.	サービスまたはデータベースの停止に失敗しました。 しばらく待ってから，hcmds64srvコマンドにstopオプションを指定し，実行して，サービスとHiRDBが正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15823-E	An internal error occurred.	内部エラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15824-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15825-E	Starting of the HiRDB service failed.	HiRDBサービスの起動に失敗しました。 しばらく待ってから，hcmds64srvコマンドにstopオプションを指定し，実行して，サービスとHiRDBが正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15826-E	Stopping of the HiRDB service failed.	HiRDBサービスの停止に失敗しました。 しばらく待ってから，hcmds64srvコマンドにstopオプションを指定し，実行して，サービスとHiRDBが正常停止していることを確認してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15827-E	Reading of the configuration file failed.	設定ファイルが読み込めませんでした。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15828-E	One or more command options are invalid.	コマンドのオプションが誤っています。 正しいオプションを指定してコマンドを再実行してください。
KAPM15829-E	A user operation interrupted the command execution.	ユーザー操作によって中断されました。 コマンドを実行する場合は，KAPM15802-Iの応答入力で"Y"を指定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15830-E	hcmdsdbchgwork command execution failed.	hcmdsdbchgworkコマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15831-E	Command execution failed. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	コマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15832-E	An invalid value is set in the aa...aa file. aa...aa：ファイル名	対象ファイルに正しくない値が設定されています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15833-E	An exception occurred during command execution.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15834-E	No command arguments are specified.	コマンドの引数が指定されていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15835-E	aa...aa aa...aa：デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM15840-I	The hcmdslicenseconvert3 command started.	hcmdslicenseconvert3コマンドを開始しました。
KAPM15841-I	The hcmdslicenseconvert3 command finished successfully.	hcmdslicenseconvert3コマンドが終了しました。
KAPM15842-E	The hcmdslicenseconvert3 command failed.	hcmdslicenseconvert3コマンドが失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM15845-E	Acquisition of the HBase installation path failed.	HBaseのインストールパスの取得に失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15846-E	Acquisition of the HBase64 installation path failed.	HBase64のインストールパスの取得に失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15847-E	HBase is not installed.	HBaseがインストールされていません。 HA Command Suite共通コンポーネントがインストールされているか確認してください。
KAPM15848-E	There is no license information file. (type = aa...aa)	ライセンス情報ファイルがありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：製品種別	該当製品のライセンスが入力されていることを確認してください。ライセンスが入力されている場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15849-E	An option is invalid.	オプションが誤っています。 オプションを確認してください。
KAPM15850-E	An attempt to transfer the license information failed. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンス情報ファイルの移行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15852-E	A memory allocation error occurred.	メモリー確保エラーが発生しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15853-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15854-W	Log initialization failed.	ログの初期化に失敗しました。
KAPM15855-W	The license information file at the transfer destination was overwritten. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	移行先のライセンス情報ファイルを上書きしました。
KAPM15856-E	Modification of the file attribute failed. (file = aa...aa) aa...aa：ファイルパス	ライセンス情報ファイルのファイル属性変更に失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15857-E	An error occurred in an internal function. (calling function = aa...aa, function used = bb...bb, notes = cc...cc, error code = dd...dd) aa...aa：呼び出し関数 bb...bb：使用関数 cc...cc：備考 dd...dd：エラーコード	内部関数でエラーが発生しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM15858-W	There is no license history. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンス履歴がありません。
KAPM15859-W	An attempt to transfer the license history failed. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンス履歴の移行に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15860-W	An attempt to transfer the license log file failed. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンスログファイルの移行に失敗しました。
KAPM15861-W	Creation of the directory for backing up the license history failed. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンス履歴を退避するディレクトリの作成に失敗しました。
KAPM15862-I	The license information file will now be migrated. (type = aa...aa) aa...aa：製品種別	ライセンス情報ファイルを移行します。
KAPM15872-E	An option is incorrect.	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM15873-E	An option is incorrect. (code = [aa...aa], data = [bb...bb]) aa...aa：誤っている個所を示すコード bb...bb：誤りを含むオプションと値	オプションが誤っています。 オプションの指定を見直してからコマンドを再実行してください。
KAPM15874-I	hcmds64dbconvert [aa...aa]{,[bb...bb],...[...]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	hcmds64dbconvertコマンドに指定したオプションを表示します。
KAPM15875-I	The hcmds64dbconvert command started.	hcmds64dbconvertコマンドを開始しました。
KAPM15876-I	The hcmds64dbconvert command finished normally.	hcmds64dbconvertコマンドは正常に終了しました。
KAPM15877-I	Product data will not be registered, because the data will not be migrated. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	データ移行の対象ではないため，登録処理をしません。
KAPM15900-I	Re-create the database in the following directory.	以下のディレクトリにデータベースを再作成します。
KAPM15901-I	Set the system area in the following directory.	以下のディレクトリにシステム領域を設定します。
KAPM15902-I	If you continue, the database will be re-created. Are you sure you want to continue? (y/n) [default=n]	続行すると，データベースを再作成します。続行してよろしいですか？
KAPM15903-I	If you continue, the system area will be set. Are you sure you want to continue? (y/n) [default=n]	続行すると，システム領域を設定します。続行してよろしいですか？
KAPM15904-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15905-E	The registered product is not supported by the hcmds64dbinit command. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	登録されている製品がhcmds64dbinitコマンドに対応していません。 データベースを回復するには，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15906-E	HiRDB has not been set up.	HiRDBがセットアップされていません。 データベースを回復するには，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15907-E	Failed to stop the HiRDB service.	HiRDBサービスの停止に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15908-E	An attempt to perform an unsetup of the database failed. Retry the operation. If the problem persists, contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information.	データベースのアンセットアップに失敗しました。再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15909-E	Failed to start the HiRDB service.	HiRDBサービスの起動に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15910-E	Failed to re-create the database. Remove the cause of the failure to create the database, and then try again. If the problem persists, contact customer support, who might ask you to collect troubleshooting information.	データベースの再作成に失敗しました。データベースの作成に失敗した原因を取り除いてから再実行してください。 問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 次のことを確認してhcmds64dbinitコマンドを再実行してください。 ・クラスタ環境の場合，HDvM用のクラスタ登録サービスがすべて監視対象外になっているか。 ・データベース作成先のファイルシステムの容量に十分な空き領域があるか。 ・データベース作成先のパスに，空白が含まれてないか。 問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15911-E	A command of the registered product failed. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	登録されている製品のコマンドが失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15912-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15913-W	An attempt to delete a temporary directory failed. Manually delete the directory. (path = aa...aa) aa...aa：パス	一時ディレクトリの削除に失敗したため，ディレクトリが残っています。手動で削除してください。 手動で削除してください。
KAPM15914-I	Processing ended normally.	処理は正常に終了しました。
KAPM15915-E	The parameter definition file of a higher-level product required to re-create the database is corrupted. Restore the parameter definition file, and then try again. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	データベース再作成に必要な上位製品のパラメーター定義ファイルが破損しています。パラメーター定義ファイルを復元してから再実行してください。 パラメーター定義ファイルを復元してから再実行してください。
KAPM15916-E	The process for re-creating the database will stop because the setup destination of the database cannot be acquired.	データベースのセットアップ先が取得できないため，データベース再作成処理を中断します。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15917-E	The specified directory path is invalid. (path = aa...aa) Specify another directory. aa...aa：パス	指定したディレクトリのパスが不正です。 別のディレクトリを指定してください。
KAPM15918-E	The database setup file remains because an attempt to delete it failed. (path = aa...aa) Manually delete the file. aa...aa：パス	データベースのセットアップファイルの削除に失敗したため，ファイルが残っています。手動で削除してください。 手動で削除してください。
KAPM15919-I	Re-create the database as the online system of the cluster system in the directory below.	以下のディレクトリにクラスタシステムの実行系としてデータベースを再作成します。
KAPM15922-I	The hcmds64dbinit command started.	hcmds64dbinitコマンドが開始しました。
KAPM15923-I	The hcmds64dbinit command finished.	hcmds64dbinitコマンドが終了しました。
KAPM15924-I	Read processing of a recovery file was performed.	リカバリファイルの読み込み処理を実行しました。
KAPM15925-E	A file with the same name as the specified directory name already exists. (path = aa...aa) aa...aa：パス	指定したディレクトリ名は，すでにファイルとしてあります。 databasepathオプションで指定したディレクトリのパスを見直してください。
KAPM15926-E	An exception occurred.	例外が発生しました。 前後のメッセージの対処に従ってください。
KAPM15927-E	The absolute path of the location to which the system area was installed cannot be acquired.	システム領域のインストールされた絶対パスが取得できません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15928-E	The contents of the hcmdsdbinit.ini file are invalid.	hcmdsdbinit.iniファイルの内容が不正です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15929-E	The hcmdsdbset.ini file does not exist.	hcmdsdbset.iniファイルがありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15930-E	The hcmdsdbsetCheck.ini file does not exist.	hcmdsdbsetCheck.iniファイルがありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15931-E	The hcmdsdbsetOrder.ini file does not exist.	hcmdsdbsetOrder.iniファイルがありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15932-I	HiRDB is in a stand-alone setup.	HiRDBはスタンドアロンとしてセットアップされています。
KAPM15933-I	HiRDB is in an online setup.	HiRDBは実行系としてセットアップされています。
KAPM15934-I	HiRDB is in a standby setup.	HiRDBは待機系としてセットアップされています。
KAPM15935-E	The file was not found. (file name = aa...aa) aa...aa：ファイル名	ファイルが見つかりませんでした。 前後のメッセージの対処に従ってください。
KAPM15936-E	The database mode is invalid. (mode = aa...aa) aa...aa：モード	不正なデータベースのモードです。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15937-E	The path of the location in which the database is stored cannot be acquired. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	データベースの格納パスが取得できません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15938-E	The database has not been set up. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	データベースがセットアップされていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15939-E	Failed to delete the specified file. (path = aa...aa) aa...aa：パス	ファイルの削除に失敗しました。 前後のメッセージの対処に従ってください。
KAPM15940-E	The command of the product for re-creating the database does not exist. (product name = aa...aa) aa...aa：製品名	製品のデータベース再作成コマンドがありません。 前後のメッセージの対処に従ってください。
KAPM15941-E	An attempt to clear a DBMS environment variable failed.	DBMSクライアント環境変数のクリアに失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15942-I	Backup of the configuration file is complete.	コンフィギュレーションファイルのバックアップが完了しました。
KAPM15943-I	Execution of an internal command was successful. (command path = aa...aa, return code = bb...bb) aa...aa：コマンドパス bb...bb：リターンコード	内部コマンドの実行に成功しました。
KAPM15944-E	Execution of an internal command failed. (command path = aa...aa, return code = bb...bb) aa...aa：コマンドパス bb...bb：リターンコード	内部コマンドの実行に失敗しました。 前，または後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM15945-I	Execution of the hcmds64srv command did not stop the service.	hcmds64srvコマンドでサービスが停止しませんでした。
KAPM15946-E	The hcmds64srv command failed to stop the service.	hcmds64srvコマンドでのサービス停止に失敗しました。 前，または後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM15947-E	hcmds.home is not set for the environment variable.	環境変数にhcmds.homeが設定されていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15948-I	File aa...aa will be copied. aa...aa：ファイル名	ファイルをコピーします。
KAPM15949-E	The directory name exceeds aa...aa characters. aa...aa：文字数	ディレクトリ名が規定文字数を超えています。 databasepathオプションで指定したディレクトリのパスを見直してください。
KAPM15952-I	A command will now be executed. (command line = aa...aa) aa...aa：コマンドライン	コマンドラインのコマンドを実行します。
KAPM15953-E	The hcmds64chgtsid command failed.	hcmds64chgtsidコマンドが失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15954-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直してください。
KAPM15955-I	The trusted server ID will be displayed. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	サーバ識別子を画面に表示します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM15956-I	The trusted server ID was changed successfully. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	サーバ識別子の変更に成功しました。
KAPM15957-E	The trusted server ID file was not found.	サーバ識別子ファイルがありません。 hcmds64chgtsidコマンドで，サーバ識別子を変更してから再実行してください。
KAPM15958-E	Failed to open the trusted server ID file.	サーバ識別子ファイルのオープンに失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15959-E	A value set in the trusted server ID file is invalid.	サーバ識別子ファイルの設定値が不正です。 hcmds64chgtsidコマンドで，サーバ識別子を変更してから再実行してください。
KAPM15960-E	The value of hcmds.home could not be acquired.	hcmds.homeの値が取得できませんでした。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15961-E	The trusted server ID was invalid. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	サーバ識別子は不正です。 指定したサーバ識別子を確認し，再実行してください。
KAPM15962-I	A new settings file was created.	設定ファイルを新規作成しました。
KAPM15963-E	Failed to write to the trusted server ID settings file.	サーバ識別子の設定ファイルへの書き込みに失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15964-I	Execution of the hcmds64chgtsid command was successful.	hcmds64chgtsidコマンドの実行に成功しました。
KAPM15966-E	Creation of the settings file failed.	設定ファイルの作成に失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM15967-E	No trusted server ID is specified for the argument.	引数にサーバ識別子が指定されていません。 hcmds64chgtsidコマンドで，サーバ識別子を変更してから再実行してください。
KAPM15968-E	The length of the trusted server ID exceeds 255 characters.	サーバ識別子の長さが255を超えています。 nameオプションの場合： 指定したサーバ識別子を確認し，再実行してください。 printオプションの場合： hcmds64chgtsidコマンドで，サーバ識別子を変更してから再実行してください。
KAPM15969-E	The trusted server ID is not registered.	サーバ識別子が登録されていません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		hcmds64chgtsidコマンドで，サーバ識別子を変更してから再実行してください。
KAPM15970-E	The trusted server ID is being used in the trusted server information registered by the hcmds64trust command. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	hcmds64trustコマンドで登録している接続先情報に同じサーバ識別子が使用されています。 hcmds64trustのprintオプションで表示されるサーバ識別子を指定することはできません。別のサーバ識別子を指定し，再実行してください。
KAPM15999-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16000-E	Execution of the command for stopping the service failed.	サービス停止コマンドの実行に失敗しました。 前，または後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM16001-E	Execution of the command to perform an unsetup of a database failed.	データベースのアンセットアップコマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16002-E	The recovery point is invalid. (recovery point = aa...aa) aa...aa：リカバリーポイント	リカバリーポイントが不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16003-E	The status of the service is invalid. (service status = aa...aa) aa...aa：サービスの状態	サービスの状態が不正です。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16004-E	An error occurred during database setup.	データベースのセットアップで障害が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16005-E	The hcmdsdbsetRDArea.ini file does not exist.	hcmdsdbsetRDArea.iniファイルがありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16006-E	A user operation interrupted execution of the command.	ユーザーの操作によってコマンドの実行を中断しました。 コマンドを実行する場合は，応答入力で"Y"を指定してください。
KAPM16007-E	Execution of the hcmdsgetname command failed.	hcmdsgetnameコマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16008-I	Processing to stop the HiRDB service is complete.	HiRDBサービスの停止処理が完了しました。
KAPM16009-I	Deletion of the database is complete.	データベースの削除が完了しました。
KAPM16010-I	The processing following deletion of a database is complete.	データベースの削除後の処理が完了しました。
KAPM16011-I	Processing to start the HiRDB service is complete.	HiRDBサービスの起動処理が完了しました。
KAPM16012-I	Processing to set up the database is complete.	データベースのセットアップ処理が完了しました。
KAPM16013-I	Execution of the command for re-creating the database of each product is complete.	各製品のデータベースの再作成コマンドの実行が完了しました。
KAPM16014-I	The recovery point was set up. (recovery point = aa...aa) aa...aa：リカバリーポイント	リカバリーポイントを設定しました。
KAPM16015-I	Processing to check whether the higher-level product supports database re-creation is complete.	上位製品がデータベース再作成に対応しているかのチェック処理が完了しました。
KAPM16016-I	Setup state processing of a database is complete.	データベースのセットアップ状況処理が完了しました。
KAPM16017-I	Processing to check the parameter definition file is complete.	パラメーター定義ファイルのチェック処理が完了しました。
KAPM16018-I	Processing to delete the HiRDB client environment variable is complete.	HiRDBクライアント環境変数の削除処理が完了しました。
KAPM16019-I	The setup mode of the database was set up. (mode = aa...aa) aa...aa：モード	データベースのセットアップモードを設定しました。
KAPM16020-I	The check of the setup state of a database is complete.	データベースのセットアップ状況のチェックが完了しました。
KAPM16021-I	The check of the value specified for the databasepath option is complete.	databasepathオプションの指定値のチェックが完了しました。
KAPM16022-I	Deployment of the database setup file is complete.	データベースのセットアップファイルの配置が完了しました。
KAPM16023-I	Deployment of a cluster file is complete.	クラスタファイルの配置が完了しました。
KAPM16024-I	Creation of the directory specified for the databasepath option is complete.	databasepathオプションで指定したディレクトリの作成が完了しました。
KAPM16025-I	The confirmation message for a non-cluster environment was displayed.	非クラスタ環境での確認メッセージを表示しました。
KAPM16026-I	The confirmation message for the online system in a cluster environment was displayed.	クラスタ環境の実行系での確認メッセージを表示しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16027-I	The confirmation message for the standby system in a cluster environment was displayed.	クラスタ環境の待機系での確認メッセージを表示しました。
KAPM16028-I	The database was set up in the location specified for the databasepath option.	databasepathオプションで指定した場所へデータベースをセットアップしました。
KAPM16029-I	The database was set up in the existing location.	既存の場所へデータベースをセットアップしました。
KAPM16031-E	The hcmds64dbinit command could not re-create the database because the hcmds64dbclustersetup command did not finish normally.	hcmds64dbclustersetupコマンドが正常終了していないため，hcmds64dbinitコマンドでデータベースを再作成できませんでした。 hcmds64dbclustersetupコマンドが正常終了したあと，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16032-E	The hcmds64dbinit command could not re-create the database because the hcmds64dbrepair command did not finish normally.	hcmds64dbrepairコマンドが正常終了していないため，hcmds64dbinitコマンドでデータベースを再作成できませんでした。 hcmds64dbrepairコマンドが正常終了したあと，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16033-I	The check of whether the database operation completed has finished. (operation = aa..aa) aa..aa：コマンド名	データベースの操作が完了しているかのチェックが終了しました。
KAPM16034-E	The cluster.conf file does not exist.	cluster.confファイルがありません。 cluster.confファイルがあることを確認してください。cluster.confファイルがない場合，cluster.confファイルを作成し，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16035-E	The contents of the cluster.conf file are invalid.	cluster.confファイルに設定されているデータベースのモードと，セットアップしているデータベースのモードが異なります。 cluster.confファイルの内容を確認して，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16036-I	The entered character was not y or n. Please enter y or n.	改めて，確認します。 続行してよろしいですか？
KAPM16037-E	Copying of the unload function file failed.	アンロード機能ファイルのコピーに失敗しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16038-I	aa...aa aa...aa：標準エラー出力	コマンド実行時の標準エラー出力です。 前または，後に続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM16039-I	Processing to stop the HiRDB service started.	HiRDBサービスの停止処理を開始しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16040-I	Processing to stop the HiRDB service finished.	HiRDBサービスの停止処理を終了しました。
KAPM16041-I	Processing to delete the database started.	データベースの削除を開始しました。
KAPM16042-I	Processing to delete the database finished.	データベースの削除を終了しました。
KAPM16043-I	Processing to set up the database started.	データベースのセットアップ処理を開始しました。
KAPM16044-I	Processing to set up the database finished.	データベースのセットアップ処理を終了しました。
KAPM16045-I	Processing to initialize the database started.	データベースの初期化処理を開始しました。
KAPM16046-I	Processing to initialize the database finished.	データベースの初期化処理を終了しました。
KAPM16052-I	A command will execute. (command line = aa...aa) aa...aa：コマンドライン	コマンドを実行します。
KAPM16053-I	The hcmds64trust command finished successfully.	hcmds64trustコマンドの実行に成功しました。
KAPM16054-E	The hcmds64trust command failed.	hcmds64trustコマンドが失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16055-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直してください。
KAPM16056-E	There is an error in the specified secret.	指定したシークレットに誤りがあります。 指定したシークレットを見直して再実行してください。
KAPM16057-W	The trusted server information is not registered.	接続先情報が登録されていません。 hcmds64trustコマンドで，接続先情報を登録してから再実行してください。
KAPM16058-I	The registered trusted server information will be output to the screen.	登録されている接続先情報を画面に表示します。
KAPM16059-I	The access point information was registered successfully. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc, trusted server ID = dd...dd) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号 dd...dd：接続先から取得したサーバ識別子	接続先情報の登録に成功しました。
KAPM16060-I	The trusted server information was deleted successfully. (trusted server ID = aa...aa)	接続先情報の削除に成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：サーバ識別子	
KAPM16061-I	All trusted server information was deleted successfully.	すべての接続先情報の削除に成功しました。
KAPM16062-E	The value of hcmds.home could not be acquired.	hcmds.homeの値が取得できませんでした。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16063-E	The trusted server information file was not found.	接続先情報ファイルがありません。 hcmds64trustコマンドで，接続先情報を登録してから再実行してください。
KAPM16064-E	Failed to delete the trusted server ID because there is no matching trusted server ID.	一致するサーバ識別子がないため，削除に失敗しました。 hcmds64trustコマンドで登録されているサーバ識別子を指定して再実行してください。
KAPM16065-E	Failed to delete the trusted server information file.	接続先情報ファイルの削除に失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16066-E	The trusted server information file was altered.	接続先情報ファイルが改ざんされています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16067-E	The hcmdsfilehash command failed. (code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	hcmdsfilehashコマンドの実行に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16068-E	The setting value for the trusted server information file is invalid.	接続先情報ファイルの設定値が誤っています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16069-E	Failed to read the trusted server information file.	接続先情報ファイルの読み込みに失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16070-E	A trusted server ID is invalid. (trusted server ID = aa...aa) aa...aa：サーバ識別子	サーバ識別子が誤っています。 指定したサーバ識別子を確認し，再実行してください。
KAPM16071-E	No trusted server ID is specified in the argument.	引数にサーバ識別子が指定されていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16072-E	The length of the trusted server ID exceeds 255 characters.	サーバ識別子の長さが255を超えています。 printオプションの場合：

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 deleteオプションの場合： 指定したサーバ識別子を確認し，再実行してください。
KAPM16073-E	The access point information is invalid. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	接続先情報が誤っています。 指定した接続先情報を確認し，再実行してください。
KAPM16074-E	Failed to authenticate. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	認証に失敗しました。 接続確認で認証に失敗しました。指定したユーザーIDとパスワードを確認し，再実行してください。
KAPM16075-E	Failed to connect to the specified server. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	指定したサーバとの接続に失敗しました。 次の対処をしてください。 1. 指定した接続先に接続できることを確認してください。 2. 指定した接続先のサーバでhcmds64srvコマンドを実行してサービスを起動し，しばらく待ってから再実行してください。 3. 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16076-E	The version of the product for the access point is old.	接続先の製品が古いバージョンです。 接続先情報を登録できる製品バージョンにアップグレードしてください。
KAPM16077-E	Failed to create a token.	トークンの生成に失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16078-E	Failed to connect to the external authentication server.	外部認証サーバとの接続に失敗しました。 次の対処をしてください。 LDAPの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポートおよびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64ldapuserコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		3. StartTLSで通信するときは，SSLの設定を確認してください。 4. OCSPが有効な場合，証明書が有効であるか確認してください。 5. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 RADIUSの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているホスト，ポート，およびプロトコルを使用して外部認証サーバにアクセスできるかどうか，外部認証サーバの設定またはネットワークの状態を確認してください。 2. hcmds64radiussecretコマンドでexauth.propertiesのauth.server.name属性に指定したサーバ名の情報が登録されていることを確認してください。 3. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。 Kerberosの場合： 1. exauth.propertiesに設定されているレルム名とKDCが正しいか確認してください。 2. ネットワークが正しく接続されているか確認してください。 3. 外部認証サーバがKerberos V5プロトコルに対応（準拠）しているか確認してください。 4. 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16079-E	The DBMS is not running.	DBMSが起動していません。 指定した接続先のサーバでhcmds64srvコマンドを実行してサービスを起動してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16080-E	Failed to confirm the connection. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	接続確認に失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16081-E	Failed to acquire the trusted server ID from the token.	トークンからサーバ識別子の取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16082-E	Failed to write to the trusted server information file.	接続情報先ファイルへの書き込みに失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16083-E	Failed to acquire the input value.	入力値の取得に失敗しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16084-W	The specified trusted server information is already registered. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	指定した接続先情報はすでに登録されています。
KAPM16085-E	The specified trusted server information is already registered. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	指定した接続先情報はすでに登録されています。 hcmds64chgtsidを実行してサーバ識別子を変更してください。
KAPM16087-E	Resolution of the specified host name failed. (host name = aa...aa) aa...aa：ホスト名	指定したホスト名を解決できません。 指定したホスト名を確認し，再実行してください。
KAPM16088-E	Registration failed because the server ID of the specified connection destination is the same as the trusted server ID. (host name = aa...aa, bb...bb = cc...cc) aa...aa：ホスト名 bb...bb：ポート種別 cc...cc：ポート番号	指定した接続先のサーバ識別子が自身のサーバ識別子と同じため登録できません。 自身のサーバ識別子または指定した接続先のサーバ識別子をhcmds64chgtsidコマンドを実行して変更し，再実行してください。
KAPM16089-I	A command will execute. (command line = aa...aa) aa...aa：コマンドライン	コマンドを実行します。
KAPM16090-E	The command cannot be executed on the secondary server.	セカンダリーサーバから実行することはできません。 プライマリーサーバから実行してください。
KAPM16091-E	The configuration definition file for SSL communication does not exist.	SSL通信の構成定義ファイルがありません。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16092-E	The specified cipher type is invalid, or the specified cipher suites are invalid. (invalid ciphers = aa...aa) aa...aa：不正なciphers	指定した暗号タイプ，またはCipher Suitesが不正です。 次の対処をしてください。 1. 指定した暗号タイプ名に誤りがないか確認してください。 2. 指定したCipher Suitesが使用中のJDKにサポートされているか確認してください。 3. 同一のCipher Suiteを指定していないか確認してください。
KAPM16093-E	The specified SSL protocols are invalid. (invalid SSL protocols = aa...aa) aa...aa：不正なSSLプロトコル	指定したSSLプロトコルが不正です。 次の対処をしてください。 1. 指定したSSLプロトコルが使用中のJDKにサポートされているか確認してください。 2. 同一のSSLプロトコルを指定していないか確認してください。
KAPM16094-E	An attempt to configure SSL communication failed.	SSL通信の設定に失敗しました。 直前のメッセージに従って対処してください。
KAPM16095-W	The SSL protocols defined by the cipher type will be used. (cipher type = aa...aa, SSL protocols = bb...bb) aa...aa：暗号タイプ bb...bb：SSLプロトコル	暗号タイプで定義されたSSLプロトコルが使われます。 ciphersオプションで暗号タイプを指定した場合は，暗号タイプで定義されたSSLプロトコルが優先されます。任意のSSLプロトコルを使用したい場合は，ciphersオプションでCipher Suitesを指定し，sslprotocolオプションで任意のSSLプロトコルを指定してください。
KAPM16096-E	The DBMS of the access point is not running.	接続先のDBMSが停止しています。 指定した接続先のサーバで，hcmds64srvコマンドまたはhcmds64dbsrvコマンドを実行してサービスを起動してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16097-E	The DBMS of the local system is not running.	ローカルシステムのDBMSが停止しています。 ローカルシステムで，hcmds64srvコマンドまたはhcmds64dbsrvコマンドを実行してDBMSを起動してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16098-E	The DBMS is blocked.	DBMSが閉塞しています。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16099-E	An unexpected exception occurred.	予期しない例外が発生しました。 再実行してください。それでも問題が解決されない場合は，障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16100-I	The filesCopy method started.	filesCopyメソッドが開始しました。
KAPM16101-I	The file aa...aa already exists.	ファイルがすでにあります。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa...aa：ファイルのパス	
KAPM16102-I	A file was not copied. (file = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	ファイルのコピーはしませんでした。
KAPM16103-W	Failed to create a directory. (directory = aa...aa) aa...aa：ディレクトリのパス	ディレクトリの作成が失敗しました。
KAPM16104-I	Copying was successful. (from aa...aa, to bb...bb) aa...aa：ファイルのパス bb...bb：ファイルのパス	ファイルのコピーが成功しました。
KAPM16105-W	Copying failed. (from aa...aa, to bb...bb) aa...aa：ファイルのパス bb...bb：ファイルのパス	ファイルのコピーが失敗しました。
KAPM16106-E	The specified directory name already exists as a file. (file = aa...aa) aa...aa：ファイルのパス	指定したディレクトリがファイルとしてあります。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16107-E	The specified directory was not found. (directory = aa...aa) aa...aa：ディレクトリのパス	指定したディレクトリがありません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16108-E	An IO Exception occurred.	IO Exceptionが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16109-I	The filesCopy method finished.	filesCopyメソッドが終了しました。
KAPM16200-E	The file "aa...aa" is invalid. aa...aa：ファイル名	ファイルが不正な場合に出力されるメッセージです。 あとに続くメッセージの対処に従ってください。
KAPM16201-W	The JDK used will be changed to the JDK bundled with the product.	使用するJDKを製品に同梱されたJDKへ変更します。
KAPM16202-E	An attempt to acquire the JDK version failed.	JDKのバージョンの取得に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，保守情報を取得し，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM16203-E	An attempt to apply the JDK version information failed.	JDKのバージョン情報の反映に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，保守情報を取得し，顧客問い合わせ窓口に連絡してください。
KAPM16204-E	The command hcmds64chgjdk cannot be executed, because the installation of the product is incomplete.	製品のインストールが完了していないため，hcmds64chgjdkコマンドを実行できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		インストールが完了していない製品を再インストールしてください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16220-W	The following server certificate will soon expire (days remaining = aa...aa) or has already expired. aa...aa：日数	表示された証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，既に有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。 表示された証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16221-W	A server certificate will soon expire (days remaining = aa...aa) or has already expired. (bb...bb) aa...aa：日数 bb...bb：証明書情報	bb...bbの証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，既に有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。 bb...bbの証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16222-W	The following server certificate was not found.	サーバ証明書はありません。 設定ファイルに記載したサーバ証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。
KAPM16223-W	A server certificate that is subject to be checked does not exist.	チェック対象のサーバ証明書がありません。
KAPM16224-I	No server certificate will expire within the following number of days: aa...aa. aa...aa：日数	aa...aa日以内に期限切れになるサーバ証明書はありません。
KAPM16225-I	All server certificates are indicated below.	すべてのサーバ証明書を表示します。
KAPM16226-E	The server certificate information file is invalid. (path = aa...aa) aa...aa：パス	サーバ証明書情報ファイルが誤っています。 パスaa...aaのファイルを見直して，再実行してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16227-E	The hcmds64checkcerts command ended abnormally.	hcmds64checkcertsコマンドが異常終了しました。 再実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16228-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM16231-W	Failed to load a server certificate file. (path = aa...aa) aa...aa：パス	サーバ証明書の読み込みに失敗しました。 設定ファイルに記載したサーバ証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16232-W	A server certificate will soon expire (days remaining = aa...aa) or has already expired. (bb...bb) aa...aa：日数 bb...bb：証明書情報	bb...bbの証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，既に有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。 bb...bbの証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16233-W	A server certificate does not exist. (aa...aa) aa...aa：証明書情報	サーバ証明書はありません。 設定ファイルに記載したサーバ証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。
KAPM16234-I	A server certificate is indicated. (aa...aa) aa...aa：証明書情報	サーバ証明書を表示します。
KAPM16235-I	The hcmds64checkcerts command started.	hcmds64checkcertsコマンドを開始しました。
KAPM16236-I	The command hcmds64checkcerts will now finish.	hcmds64checkcertsコマンドを終了します。
KAPM16237-I	hcmds64checkcerts [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM16238-I	SSL communication for Common Component has not been set.	共通コンポーネントのSSL通信が設定されていません。
KAPM16239-E	A syntax error occurred in the user_httpsd.conf file. (path = aa...aa) aa...aa：パス	user_httpsd.confファイルでシンタックスエラーが発生しました。 パスaa...aaのファイルを見直して，再実行してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16240-W	The following SSL certificates will expire within aa...aa days or have already expired. aa...aa：日数	表示されたSSL証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，すでに有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。 表示されたSSL証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16241-W	The SSL certificate will expire within aa...aa days or has already expired. (bb...bb) aa...aa：日数 bb...bb：証明書情報	bb...bbのSSL証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，すでに有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。 bb...bbのSSL証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16242-W	The SSL certificate will expire within aa...aa days or has already expired. (bb...bb) aa...aa：日数 bb...bb：証明書情報	bb...bbのSSL証明書はaa...aa日以内に有効期限が切れるか，すでに有効期限が切れています。 aa...aaは，hcmds64checkcertsコマンドのdaysオプションで指定した値です。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		bb...bbのSSL証明書の有効期限日を確認し，必要に応じて証明書を更新してください。
KAPM16243-W	The following SSL certificates could not be found.	SSL証明書はありません。 設定ファイルに記載したSSL証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。
KAPM16244-W	There are no SSL certificates to be checked.	チェック対象のSSL証明書がありません。
KAPM16245-I	There are no SSL certificates that will expire within aa...aa days. aa...aa：日数	aa...aa日以内に期限切れになるSSL証明書はありません。
KAPM16246-I	All SSL certificates are displayed below.	すべてのSSL証明書を表示します。
KAPM16247-E	The SSL certificate information file is invalid. (path = aa...aa) aa...aa：パス	SSL証明書情報ファイルが誤っています。 パスaa...aaのファイルを見直して，再実行してください。問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16248-W	Failed to load the SSL certificate. (path = aa...aa) aa...aa：パス	SSL証明書の読み込みに失敗しました。 設定ファイルに記載したSSL証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。
KAPM16249-W	The SSL certificate does not exist. (aa...aa) aa...aa：証明書情報	SSL証明書はありません。 設定ファイルに記載したSSL証明書のパスおよび形式が正しいか確認してください。
KAPM16280-E	aa...aa aa...aa：デバッグ用情報	デバッグ用情報です。
KAPM16285-E	The truststore file is not in JKS format.	トラストストアファイルはJKS形式ではありません。 トラストストアのキーストアタイプをJKS形式にしてください。
KAPM16300-I	Information about the SSL certificate is displayed. (aa...aa) aa...aa：証明書情報	SSL証明書を表示します。
KAPM16301-E	The target file is not in JKS format. (path = aa...aa) aa...aa：パス	対象のファイルはJKS形式ではありません。 対象のファイルをJKS形式にしてください。
KAPM16302-W	Failed to read the target file. (path = aa...aa) aa...aa：パス	対象のファイルの読込みに失敗しました。 次の対処をしてください。 ・対象ファイルが存在するか確認してください。 ・対象ファイルが証明書であるかトラストストアであるか確認してください。
KAPM16303-E	The following file is not in JKS format.	以下のファイルはJKS形式ではありません。 対象のファイルをJKS形式にしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16304-W	Failed to read the following file.	以下のファイルの読み込みに失敗しました。 次の対処をしてください。 ・対象ファイルが存在するか確認してください。 ・対象ファイルが証明書であるかトラストストアであるか確認してください。
KAPM16400-E	An option is invalid.	オプションが不正です。 オプションの指定を見直してから，再実行してください。
KAPM16401-I	A command was executed. (command path = aa...aa, option = bb...bb) aa...aa：コマンドパス bb...bb：オプション	コマンドを実行しました。
KAPM16422-I	hcmds64accountsecret [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM16423-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM16424-E	An attempt to obtain the secret failed.	シークレットの取得に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16425-E	There is an error in the specified secret.	指定したシークレットに誤りがあります。 指定したシークレットを見直して再実行してください。
KAPM16426-I	The hcmds64accountsecret command started.	hcmds64accountsecretコマンドを開始しました。
KAPM16427-I	The hcmds64accountsecret command finished.	hcmds64accountsecretコマンドが終了しました。
KAPM16429-E	An attempt to delete the secret file failed.	シークレットファイルの削除に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16430-I	An operation on the secret file failed.	シークレットファイルの操作に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16431-E	An attempt to change the attributes of the secret file failed.	シークレットファイルの属性の変更に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16432-E	Execution of the hcmdssethiddenfile command failed.	hcmdssethiddenfileコマンドの実行に失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16433-I	The secret was successfully registered.	シークレットの登録に成功しました。
KAPM16434-I	The secret function of the account was successfully reset.	アカウントの隠ぺい機能のリセットに成功しました。
KAPM16435-E	An error occurred during encryption processing.	暗号処理で例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16436-E	An error occurred during decryption processing.	復号処理で例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16437-E	An error occurred during processing to obtain random numbers.	乱数の取得処理で例外が発生しました。 次に続くメッセージを参照してください。
KAPM16438-E	One or more arguments are invalid.	引数が不正です。 引数を確認してください。
KAPM16439-E	The hcmds64accountsecret command failed.	hcmds64accountsecretコマンドが失敗しました。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16449-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16452-I	hcmds64restviewuser [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM16453-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM16454-I	Execution of the hcmds64restviewuser command has started.	hcmds64restviewuserコマンドが開始しました。
KAPM16455-I	Execution of the hcmds64restviewuser command has finished.	hcmds64restviewuserコマンドが終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16456-I	Reference permissions were successfully set.	参照権限の設定に成功しました。
KAPM16457-I	Reference permissions were successfully reset.	参照権限の解除に成功しました。
KAPM16458-E	The command cannot be executed on the secondary server.	セカンダリサーバーからコマンドを実行することはできません。 プライマリーサーバから実行してください。
KAPM16459-E	The DBMS is not running.	DBMSが起動していません。 DBMSが起動しているか確認してください。
KAPM16460-E	The specified user does not exist. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	指定したユーザーは存在しません。 指定したユーザーが存在することを確認してください。
KAPM16461-E	Authentication failed.	認証に失敗しました。 ユーザーIDとパスワードが正しいことを確認してください。
KAPM16462-W	An attempt to reset reference permissions failed because the user does not exist. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーが存在しないため，参照権限の解除に失敗しました。
KAPM16463-I	Reference permissions for all accounts were successfully reset.	すべてのアカウントの参照権限の解除に成功しました。
KAPM16464-I	There are no accounts that have reference permissions.	参照権限のアカウントが存在しません。
KAPM16465-I	Reference permissions for the user were set. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーに参照権限を設定しました。
KAPM16466-I	Reference permissions for the user were reset. (user id = aa...aa) aa...aa：ユーザーID	ユーザーの参照権限を解除しました。
KAPM16467-E	An error occurred when the common repository was accessed.	リポジトリアクセス時にエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16468-E	This operation cannot be performed on built-in user accounts.	ビルトインアカウントに対して操作はできません。 ユーザーの指定を見直してください。
KAPM16469-E	Communication with the authentication server failed.	認証サーバとの通信が失敗しました。 HBase Storage Mgmt Common ServiceまたはHBase Storage Mgmt Web Serviceが起動していることを確認してください。
KAPM16479-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16482-I	hcmdsstartapp [aa...aa]{,[bb...bb],.....[.....]} aa...aa：コマンドライン引数 bb...bb：コマンドライン引数	コマンドに指定されたオプションを表示します。
KAPM16483-E	An option is invalid.	オプションに誤りがあります。 オプションの指定を見直して再実行してください。
KAPM16484-I	The command will now be executed. (command line to be executed = aa...aa) aa...aa：実行するコマンドライン	コマンドを実行します。
KAPM16485-I	aa...aa aa...aa：標準エラー出力	コマンド実行時の標準エラー出力です。
KAPM16486-I	aa...aa aa...aa：標準出力	コマンド実行時の標準出力です。
KAPM16487-I	The command successfully executed.	コマンドの実行に成功しました。
KAPM16488-W	Execution of the command failed. (return code = aa...aa) aa...aa：リターンコード	コマンドの実行に失敗しました。
KAPM16489-E	An error occurred during execution of the command.	コマンドの実行中に例外が発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16492-E	The specified server is not registered. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	指定されたサーバが登録されていません。 サーバの登録状況を確認してください。
KAPM16493-E	Analysis of the management file failed.	管理ファイルの解析に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16494-E	An attempt to read the management file failed.	管理ファイルの読み込みに失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16495-I	A request to start an application was received. (server name = aa...aa, application name = bb...bb) aa...aa：サーバ名 bb...bb：アプリケーション名	アプリケーションの起動要求を受け付けました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM16496-E	The specified server is not a J2EE server. (server name = aa...aa) aa...aa：サーバ名	指定されたサーバはJ2EEサーバではありません。 指定したサーバ名を見直してください。
KAPM16497-E	The J2EE server does not exist.	J2EEサーバが存在しません。 サーバの登録状況を確認してください。
KAPM16498-E	Execution of the hcmdsstartapp command failed.	hcmdsstartappコマンドが失敗しました。 上記のメッセージKAPMxxxxx-Eを参照してください。
KAPM16499-E	A fatal error occurred.	致命的なエラーが発生しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16520-W	Do you want to continue initializing the database? If you want to continue, make sure that the command hcmds64dbrepair is not running. (y/n) [default=n]	初期化処理を継続しますか。継続する場合は，hcmds64dbrepairコマンドが実行中では無いことを確認してください。 (y/n) [default=n] hcmds64dbrepairコマンドが正常終了したあと，もしくはhcmds64dbrepairコマンドが実行中でない時に，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16521-W	Do you want to continue initializing the database? If you want to continue, make sure that the command hcmds64dbclustersetup is not running. (y/n) [default=n]	初期化処理を継続しますか。継続する場合は，hcmds64dbclustersetupコマンドが実行中では無いことを確認してください。 (y/n) [default=n] hcmds64dbclustersetupコマンドが正常終了したあと，もしくはhcmds64dbclustersetupコマンドが実行中でない時に，hcmds64dbinitコマンドを再実行してください。
KAPM16522-I	A message confirming the execution of the command hcmds64dbinit was displayed while the command hcmds64dbrepair was still running.	hcmds64dbrepairコマンド未完了状態における，hcmds64dbinitコマンド実行に対する確認メッセージが表示されました。
KAPM16523-I	A message confirming the execution of the command hcmds64dbinit was displayed while the command hcmds64dbclustersetup was still running.	hcmds64dbclustersetupコマンド未完了状態における，hcmds64dbinitコマンド実行に対する確認メッセージが表示されました。
KAPM16524-I	The configuration file was successfully restored from the backup files of the command hcmds64dbrepair.	hcmds64dbrepairコマンドのバックアップファイルから設定ファイルのリストアに成功しました。
KAPM16525-I	The configuration file was successfully restored from the backup files of the command hcmds64dbclustersetup.	hcmds64dbclustersetupコマンドのバックアップファイルから設定ファイルのリストアに成功しました。
KAPM16527-E	The aa...aa file could not be read. aa...aa： ファイル名	ファイルが読み取れませんでした。 再度実行してください。問題が解決しない場合は，原因究明と問題の解決のため，詳細な

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM16528-W	HiRDB will now be set up in a standalone configuration, because HiRDB was not set up correctly.	HiRDBが正しくセットアップされていないため，スタンドアロンでセットアップします。
KAPM19000-E	Service information file not found for the installed product. (Service Information file name = aa...aa, Product name = bb...bb, Version No. = cc...cc) To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information. aa...aa：サービス情報ファイル名 bb...bb：製品名 cc...cc：製品バージョン	インストールされている製品のサービス情報ファイルが見つかりません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19001-E	An option is invalid. usage:hcmds64clustersrvstate { /son | /soff } /r ClusterResourceGroupName	オフライン／オンライン操作のコマンドのオプションが誤っています。
KAPM19002-E	An option is invalid. usage: hcmds64clustersrvupdate /sreg /r ClusterResourceGroupName /sd SharedDiskName /ap ClientAccessPointResourceName or: hcmds64clustersrvupdat /sdel /r ClusterResourceGroupName	サービス登録／削除操作のコマンドのオプションが誤っています。
KAPM19003-E	Parallel execution of the same command is restricted.	コマンドが2重に実行されています。
KAPM19004-E	This command does not support the installed product version.	クラスタセットアップユティリティのバージョンが，インストールされているプロダクトバージョンに対応していません。 クラスタセットアップユティリティのバージョンが最新か確認してください。 問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19005-E	An internal error occurred. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	次の要因で内部エラーが発生しました。 1. サービス情報ファイルに対応するバージョンがない。 2. サービス情報ファイルの読み込みエラー。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAPM19007-E	Failed in bringing online service-name ： aa...aa aa...aa：サービス名	サービスのオンラインに失敗しました。
KAPM19008-E	Failed in bringing offline service-name ： aa...aa aa...aa：サービス名	サービスのオフラインに失敗しました。
KAPM19009-E	Failed in registering service-name ： aa...aa aa...aa：サービス名	サービスの登録に失敗しました。
KAPM19010-E	Failed to delete service-name ： aa...aa aa...aa：サービス名	サービスの削除に失敗しました。
KAPM19011-E	The request to register the service while setting dependencies did not succeed. Target service-name ： aa...aa Setting dependencies service-name ： bb...bb aa...aa：登録先サービス名 bb...bb：依存関係に設定するサービス名	依存関係に設定するサービスの登録に失敗しました。 製品の論理ホスト設定が完了していることを確認してください。 そのあとクラスタセットアップユーティリティでサービスを削除してから，登録し直してください。
KAPM19017-E	Cluster setup only supports 2 node cluster environments.	クラスタセットアップユティリティバージョンがプロダクトバージョンに対応していません。
KAPM19018-E	The specified resource group is not found. Use the clustering management application to verify that the specified resource group is registered. ResourceGroupName ： aa...aa aa...aa：ロール名，またはリソースグループ名	指定したリソースグループが見つかりません。 クラスタ管理アプリケーションで，リソースグループが登録されているか確認してください。
KAPM19022-E	Invalid SharedDiskName ：aa...aa aa...aa：共有ディスク名	指定した共有ディスクは無効です。
KAPM19023-E	HiRDB is not setup in cluster mode, service registration cannot be done. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	HiRDBがセットアップされていません。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19024-E	A Cluster Setup supported product is not found.	サポートした製品が見つかりません。
KAPM19025-E	HiRDB is not setup in cluster mode, so service registration cannot be done. To determine the	HiRDBがスタンドアローンとしてセットアップされています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19026-E	Invalid ClientAccessPointResourceName : aa...aa aa...aa：アクセスポイントのリソース名	aa...aa が誤っています。
KAPM19028-E	Administrator permission is required to run this command.	このコマンドは管理者権限で実行されていません。
KAPM19029-E	Failed to aa...aa the bb...bb services. aa...aa: stop/start bb...bb: hcmdssrv.exe/ hcmds64srv.exe	bb...bb サービスの停止，または起動に失敗しました。
KAPM19030-E	The request to put the service online was not completed. The logical host settings of the product have not been implemented, or the service dependency settings might be incorrect. Confirm that the logical host settings of the product are complete. Then, delete the service, and reregister the service by using the Cluster Setup Utility. If the problem persists, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	Service online機能のサービス操作に失敗しました。 製品の論理ホスト設定がされていない，またはサービスの依存関係の設定が誤っているおそれがあります。 製品の論理ホスト設定が完了していることを確認してください。 そのあとクラスタセットアップユーティリティでサービスを削除してから，登録し直してください。 問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19031-E	The request to take the service offline was not completed. The logical host settings of the product have not been implemented, or the service dependency settings might be incorrect. Confirm that the logical host settings of the product are complete. Then, delete the service, and reregister the service by using the Cluster Setup Utility.	Service offline機能のサービス操作に失敗しました。 製品の論理ホスト設定がされていない，またはサービスの依存関係の設定が誤っているおそれがあります。 製品の論理ホスト設定が完了していることを確認してください。 そのあとクラスタセットアップユーティリティでサービスを削除してから，登録し直してください。 問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	If the problem persists, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	
KAPM19032-E	The request for service registration was not completed. The logical host settings of the product have not been implemented, or the service dependency settings might be incorrect. Confirm that the logical host settings of the product are complete. Then, delete the service, and reregister the service by using the Cluster Setup Utility. If the problem persists, to determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	Service registration機能のサービス操作に失敗しました。製品の論理ホスト設定がされていない，またはサービスの依存関係の設定が誤っているおそれがあります。 製品の論理ホスト設定が完了していることを確認してください。 そのあとクラスタセットアップユーティリティでサービスを削除してから，登録し直してください。 問題が解決しない場合，原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19033-E	The request for service deletion was not completed. To determine the cause and resolve the problem, detailed investigation is required. Contact customer support, who may ask you to collect troubleshooting information.	Service deletion機能のサービス操作に失敗しました。 原因究明と問題の解決には，詳細な調査が必要です。障害情報を収集し，障害対応窓口に連絡してください。
KAPM19216-I	Succeeded performing service operation type: aa...aa on machine. aa...aa: Service deletion/Service registration/Service online/ Service offline	サービスの操作に成功しました。

第6章 KAVXで始まるメッセージ

この章では，Replication Manager Application Agentに関するメッセージについて説明します。

6.1. KAVX0000～KAVX9999

Replication Manager Application Agentに関するッセージ（KAVX0000～KAVX9999）を次の表に示します。

表6.1 KAVX0000～KAVX9999：Replication Manager Application Agentのメッセージ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0001-I	＜コマンド名＞ コマンドを開始します。	**要因** コマンドが開始されました。 **対処** -
KAVX0002-I	＜コマンド名＞ コマンドを終了します。	**要因** コマンドが終了しました。 **対処** -
KAVX0003-E	＜コマンド名＞ コマンドの実行が失敗しました。	**要因** コマンドの実行が失敗しました。 **対処** 一緒に表示されたメッセージを基に対処してください。
KAVX0004-E	メモリーが不足しています。	**要因** メモリーが不足しています。 **対処** メモリーを追加してください。または，仮想メモリーの設定を見直してください。
KAVX0005-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞ コード = ＜OSエラー要因コード＞	**要因** OSで処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。また，詳細トレースログ情報を参照し，エラー要因の詳細を確認してください。エラーの要因については，メッセージの要因に表示される「OSエラー要因コード」を参照してください。
KAVX0006-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞	**要因** 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 **対処** エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0007-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 コード = ＜OSエラー要因コード＞	**要因** OSで処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。また，詳細トレースログ情報を参照し，エラー要因の詳細を確認してください。エラーの要因については，メッセージのコードに表示される「OSエラー要因コード」を参照してください。
KAVX0008-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 **対処** エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX0009-E	-fオプションで指定したファイル名が不正です。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ 指定したファイルが存在しない。 ・ 指定したファイルに読み込み権限がない。 ・ ファイルが絶対パスで指定されていない。 **対処** 一括定義ファイルのファイル名を確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0011-E	バックアップIDの情報を取得できません。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ バックアップカタログの内容が無効である。 ・ バックアップカタログが壊れている。 ・ バックアップカタログが存在しない。 **対処** drmdbimportコマンドでバックアップカタログを再度インポートしてください。 再度インポートしたあとでもこのエラーが発生する場合は，次の対処をしてください。 ・ データベースサーバでdrmdbexportコマンドを使用してバックアップカタログをエクスポートし，再度バックアップサーバでバックアップカタログをインポートしてください。
KAVX0012-E	不正なオプションが指定されています。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ 存在しないオプションが指定された。 ・ 必須オプションが指定されていない。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドの使用方法を確認し，正しいオプションを指定してコマンドを再度実行してください。 drmclusinitコマンドで正しいクラスタソフトウェア名を指定しても，このメッセージが出力される場合は，Replication Manager Application Agentの内部ファイルが壊れているおそれがあります。 その場合は，Replication Manager Application Agentを再インストールしてください。
KAVX0013-E	指定されたデバイスファイルが見つかりません。	**要因** 指定されたデバイスファイル名がディクショナリマップファイルまたはバックアップカタログ上にありません。 **対処** デバイスファイル名を確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0014-E	マウントポイントディレクトリが存在しません。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定されたマウントポイントが見つからない。 ・指定されたマウントポイントがストレージシステム以外（フロッピーディスク，リムーバブルディスク）である。 ・指定されたマウントポイントがネットワークボリュームである。 **対処** バックアップを実行するマウントポイントを確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0015-E	指定されたバックアップIDに対するバックアップデータは存在しません。	**要因** バックアップカタログには，指定したバックアップIDに対するバックアップデータが存在しません。 **対処** 指定したバックアップIDを確認して，誤りがある場合は正しいバックアップIDを指定したあと，コマンドを再度実行してください。 drmumountコマンドを実行したときに，正しいバックアップIDを指定していてもこのメッセージが表示される場合は，RAID Managerで提供されるumountコマンドを使って副ボリュームをアンマウントしてください。
KAVX0016-E	指定されたファイルまたはディレクトリが存在しません。 ファイル名またはディレクトリ名 = ＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定されたファイルまたはディレクトリがない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・指定されたオブジェクト（マウントポイント，インスタンス，バックアップID）内に指定されたファイルまたはディレクトリがない。 ・指定されたファイルまたはディレクトリが絶対パスでない。 **対処** 実行したコマンドに対応して，次の対処をしてください。 ・drmdbimportコマンドまたはdrmdbexportコマンドを実行した場合 指定したファイル名が正しいかどうかを確認して，コマンドを再度実行してください。 ・drmfsbackupコマンドを実行した場合 マウントポイントディレクトリ名オプション，またはマウントポイント一括定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリが正しいかどうかを確認して，コマンドを再度実行してください。 ・drmsqlrecovertoolコマンドを実行した場合 drmsqlrecovertoolダイアログボックスの［Transaction log backup list］で指定したトランザクションログバックアップファイルが正しいかどうかを確認して，再度ファイルを指定してください。 ・上記以外のコマンドを実行した場合 -targetオプションなどで指定したファイルまたはディレクトリが正しいかどうかを確認してください。ファイルまたはディレクトリが正しいときは，Replication Manager Application Agentインストールディレクトリを格納するファイルシステムに空きがあるかどうかを確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0017-E	一括定義ファイルで指定されたファイルまたはディレクトリは存在しません。 ファイル名またはディレクトリ名 = ＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・一括定義ファイルで指定したファイルまたはディレクトリがない。 ・一括定義ファイルで指定したオブジェクト（マウントポイント，インスタンス，またはバックアップID）に関連するファイルまたはディレクトリがない。 ・ファイルまたはディレクトリが絶対パスで指定されていない。 **対処** 一括定義ファイルで指定したファイルまたはディレクトリを確認して，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0018-E	指定されたコピーグループは存在しません。	**要因** 指定されたコピーグループが存在しません。 **対処** 次のコマンドでコピーグループ名を確認して，コマンドを再度実行してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplayコマンドまたはdrmfscatコマンド ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplayコマンドまたはdrmsqlcatコマンド ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplayコマンドまたはdrmexgcatコマンド
KAVX0019-I	ファイルのコピー中です。	**要因** ファイルをコピーしています。 **対処** −
KAVX0020-I	ファイルのリストア中です。	**要因** ファイルをリストアしています。 **対処** −
KAVX0021-E	コマンドを実行する権限がありません。	**要因** コマンドを実行するユーザーにAdministratorの権限がありません。 **対処** コマンドを実行しているユーザーに，Administratorの権限を追加してください。 コマンドを実行した対象がSQL Serverの場合は，SQL Serverへのログインユーザーに，System Administratorsのサーバロールを付けてください。
KAVX0022-E	マウントポイントディレクトリの下に，指定されたファイルまたはディレクトリが存在しません。 ファイル名またはディレクトリ名 = ＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定したファイルまたはディレクトリはマウントポイントディレクトリの下にない。 ・ファイルまたはディレクトリが絶対パスで指定されていない。 **対処** 指定したファイル名またはディレクトリ名を確認し，正しいファイル名またはディレクト

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		リ名を指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0023-I	ディクショナリマップファイルが更新されました。	**要因** drmfsdisplayコマンド，drmsqldisplayコマンド，またはdrmexgdisplayコマンドに-refreshオプションを指定して実行したときに，正常に終了したことを示すメッセージです。 **対処** -
KAVX0024-E	指定されたバックアップデータは存在しません。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・一度もバックアップを実行していないため，表示する情報がない。 ・drmfscatコマンド，drmsqlcatコマンド，drmexgcatコマンド，drmtapecatコマンド，またはdrmappcatコマンドのオプションで指定した条件に合うデータがない。 **対処** バックアップを実行したか確認してください。バックアップを実行している場合は，指定したコマンドのオプションを確認してください。誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0025-E	指定された条件に一致するバックアップデータが存在しません。	**要因** コマンドのオプションで指定した条件に合うバックアップデータが存在しません。 **対処** 指定したコマンドのオプションを確認して，誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0026-W	ほかのコマンドが実行中です。 実行中のコマンドが終了するのを待ちます。	**要因** ほかのコマンドが実行されているときに，コマンドを実行しました。 **対処** 実行したコマンドはリトライされるので，操作は必要ありません。
KAVX0027-E	すでにほかのコマンドが実行中のため，実行されませんでした。	**要因** ほかのコマンドが実行されているときに，コマンドを実行しました。規定の回数分，リトライしましたが，ほかのコマンドの終了待ちでタイムアウトが発生したため，コマンドが実行されませんでした。 **対処** 実行中のコマンドが終了するのを待って，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0028-E	パラメーター登録コマンドで設定されたパラメーターが不正です。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・パラメーター登録コマンド（drmsqlinitコマンドまたはdrmclusinitコマンド）で設定したパラメーターが不正である。 ・パラメーター登録コマンドが一度も実行されていないため，パラメーターが登録されていない。 **対処** パラメーター登録コマンドを再度実行して，環境設定をしてください。
KAVX0029-E	インストールパスの情報が取得できませんでした。	**要因** Replication Manager Application Agentをインストールしたときに自動的に設定されるインストールパス情報が取得できませんでした。 **対処** Replication Manager Application Agentを再インストールしてください。
KAVX0030-E	無効な値が入力されました。	**要因** パラメーター登録コマンド（drmsqlinitコマンド）で入力したパラメーター値が不正です。 **対処** 初期化パラメーターとして正しい値を入力してください。
KAVX0031-E	指定されたマウントポイントは使用中です。	**要因** 指定したマウントポイントは，すでにほかのボリュームがマウントされています。 **対処** 指定したマウントポイントにマウントされているファイルシステムをアンマウントしてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX0032-E	不正なマウントポイントディレクトリが指定されています。	**要因** 存在しないマウントポイントディレクトリを指定しています。 **対処** 実際に存在するマウントポイントディレクトリを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0033-E	バックアップIDで指定されたバックアップデータのタイプが異なります。	**要因** バックアップIDで指定されたバックアップデータの形式と，実行したコマンドが対象とするデータの形式が異なります。 次の要因が考えられます。 ・リストアに使用するコマンドが対象とするバックアップデータのデータ形式と，バッ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		クアップIDで指定されたバックアップデータの形式が異なるため，データを回復できない。 ・ drmresyncコマンドで，drmtapebackupコマンドによって作成されたバックアップIDを指定したため，コピーグループを再同期できない。 **対処** データを回復するときは，リストアに使用するコマンドがバックアップデータに対応していることを確認してから，コマンドを再度実行してください。 コピーグループを再同期するときは，drmtapebackupコマンドによって作成されたバックアップIDは指定しないでください。次のコマンドを実行し，指定できるバックアップIDを確認してから，drmresyncコマンドを再度実行してください。 ・ バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfscatコマンド ・ バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・ バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド
KAVX0034-E	指定されたインスタンス名は不正です。	**要因** -vオプションを指定してパラメーター登録コマンド（drmsqlinitコマンド）を実行しましたが，指定したインスタンスの初期化情報が見つかりませんでした。 次のどちらかの要因が考えられます。 1. SQL Serverに存在しないインスタンス名を指定している。 2. 指定したインスタンスの初期化情報がない。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 1. SQL Serverに存在するインスタンス名を指定して，コマンドを再度実行してください。 2. 指定したインスタンスに対してパラメーター登録コマンドを実行してください。
KAVX0035-E	＜アプリケーション名＞情報の更新に失敗しました。	**要因** 実行したコマンドは，アプリケーション名に示すアプリケーションの初期化情報の登録に失敗しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 インストールディレクトリのあるドライブの容量を拡張して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0036-E	指定されたバックアップIDは不正です。 バックアップID = ＜バックアップID＞	**要因** 指定されたバックアップIDに対応するバックアップ情報が存在しませんでした。 **対処** バックアップIDを確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0037-E	指定した文字列が最大文字数を超えています。 文字列 = ＜文字列＞	**要因** コマンド実行時に指定された，次の項目の文字数が最大文字列長を超えています。 **対処** 文字列長を確認してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 ファイル名，ディレクトリ名，バックアップコメント，マウントポイントディレクトリ名，デバイスファイル名，またはホスト名 ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 ファイル名，ディレクトリ名，バックアップコメント，インスタンス名，データベース名，デバイスファイル名，またはホスト名 ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 ファイル名，ディレクトリ名，バックアップコメント，インフォメーションストア名，デバイスファイル名，またはホスト名 ・drmappcatコマンドの場合 バックアップコメントまたはホスト名 ・drmresyncコマンドの場合 コピーグループ一括定義ファイル名 ・drmdbexportコマンドまたはdrmdbimportコマンドの場合 エクスポート先ファイル名またはインポート元ファイル名 ・drmmediabackupコマンドの場合 バックアップファイル格納ディレクトリ ・drmclusinitコマンドの場合 クラスタソフトウェア名
KAVX0038-E	指定された一括定義ファイルの内容は無効です。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		一括定義ファイルに，次の項目が1件も指定されていません。 ・ファイル名 ・ディレクトリ名 ・データベース名 ・インフォメーションストア名 ・表領域名 ・コピーグループ名 **対処** 一括定義ファイルに有効な情報を記入してください。
KAVX0039-E	コアマップファイルが存在しません。	**要因** 該当するデータがディクショナリマップファイル上にありません。 次の要因が考えられます。 1. コアマップファイルが作成されていない。 2. ディクショナリマップファイルの作成処理が実行中である。 3. ディクショナリマップファイルの作成処理が失敗したため，コアマップファイルが削除されている。 4. RAID装置上にないマウントポイントディレクトリを指定している。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 1. 次のコマンドを使用し，ディクショナリマップファイルを作成し直してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -refresh ・バックアップ対象が SQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -refresh ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -refresh 2. ディクショナリマップの作成処理が完了するのを待って，コマンドを再度実行してください。 3. ディクショナリマップの作成処理が失敗したときに表示されたメッセージを基に対処して，ディクショナリマップを作成し直してください。ディクショナリマップの作成が正常に終了してから，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		4. RAID装置上にないマウントポイントディレクトリを指定している場合は，RAID装置上にあるマウントポイントディレクトリを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0040-I	バックアップは以下の内容で取得されています。 バックアップID = ＜バックアップID＞	**要因** 正常にバックアップされたバックアップデータに，バックアップIDが割り当てられたときに表示されるメッセージです。 **対処** -
KAVX0041-W	ディクショナリマップファイルやバックアップカタログ中の無効領域が増えてきています。	**要因** バックアップコマンドやリストアコマンドの実行時に，ディクショナリマップファイルやバックアップカタログ中の総レコードに対する無効レコードの比率が90%を超えました。 **対処** ディクショナリマップファイル制御ツールを使用してディクショナリマップファイルやバックアップカタログの無効なレコードを削除してください。次のように実行してください。 PROMPT＞＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥bin¥util¥drmdbcond -c
KAVX0042-E	クラスタに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞	**要因** クラスタに対する操作でエラーが発生しました。 **対処** エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX0043-E	指定されたマウントポイントがクラスタの管理下にあるため，コールドバックアップできません。	**要因** クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して，コールドバックアップできません。 **対処** オンラインバックアップしてください。
KAVX0044-E	指定されたマウントポイントがクラスタの管理下にあるため，再同期でリストアできません。	**要因** クラスタの管理下にあるマウントポイントに対して，再同期でリストアすることはできません。 **対処** 対象のマウントポイントをクラスタの管理下から外した状態でリストアを実行してください。
KAVX0047-E	この構成ではバックアップできません。	**要因** 次のどちらかの原因で，バックアップを実行できません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		1. バックアップ対象ボリュームの一部のオブジェクトだけがバックアップ対象に指定されている。 2. RAID Managerのコピーグループの定義に誤りがある。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 1. バックアップ対象ボリュームのすべてのオブジェクトを指定してください。 2. バックアップ対象のファイルシステムに含まれるコピーグループが正しく設定されているかを確認してから，バックアップコマンドのオプションを見直してください。
KAVX0048-E	この製品で扱えない文字コードが含まれています。	**要因** Replication Manager Application Agentでは，Unicodeに対応していません。コマンドの引数や定義ファイルなどにUnicodeの文字が含まれている場合，コマンドは実行できません。 **対処** コマンドの引数や定義ファイルにUnicodeが使われていないことを確認して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0049-E	指定されたバックアップIDに対し，-rawオプションは指定できません。	**要因** 指定されたバックアップIDに-rawオプションは指定できません。 **対処** -rawオプションを指定しないでバックアップを再度実行してください。
KAVX0050-E	一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。	**要因** 一括定義ファイルの読み込みに失敗しました。 **対処** テキストエディタなどを使用し，指定された一括定義ファイルを開けるかを確認してください。
KAVX0051-E	リストア対象ではないオブジェクトが，リストア対象のコピーグループに含まれているため，再同期によるリストアに失敗しました。	**要因** この構成では，再同期によるリストア操作によってリストア対象以外のファイルシステムを壊すおそれがあるため，リストアできません。 KAVX5125-Eが表示されている場合は，表示結果に指定されていないファイル名とそのディスクグループ名が表示されます。ディスクグループ名は論理ボリュームマネージャー導入環境の場合に表示されます。ベーシックディスク構成の場合は，ディスクグループ名に「-」が表示されます。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 drmfscatコマンドを使用し，リストア対象以外のファイルシステムがリストア対象のコピーグループに含まれていないかを確認してください。また，次のコマンドを使用し，リストア対象以外のオブジェクトがリストア対象のコピーグループに含まれていないかを確認してください。 ・ バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqlcatコマンド ・ バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgcatコマンド
KAVX0052-E	クラスタリソースがオンライン状態ではないため，-mode coldオプションは指定できません。	**要因** クラスタがONLINE状態でないため，コールドバックアップでバックアップは取得できません。 **対処** バックアップ対象のクラスタリソースをオンライン状態に変更するか，または-mode onlineオプションを指定し，コマンドを再度実行してください。
KAVX0053-E	クラスタリソースがオンラインまたはオフライン以外の状態のため，リストア操作を実行できません。	**要因** クラスタリソースの状態が不正な状態となっています。 **対処** クラスタリソースの状態を確認し，コマンドを再度実行してください。
KAVX0054-E	マウントに失敗しました。 マウントポイント = ＜マウントポイントディレクトリ名＞	**要因** - **対処** マウントポイントディレクトリが正しく存在するかを確認してください。存在する場合，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX0055-E	アンマウントに失敗しました。 マウントポイント = ＜マウントポイントディレクトリ名＞	**要因** - **対処** アンマウント対象のドライブが，ほかのプロセスで使用されていないかを確認してください。 コマンドを実行するカレントディレクトリがアンマウント対象ドライブの場合もアンマウントできません。 マウントポイントディレクトリの指定が正しい場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0056-E	ディレクトリの作成に失敗しました。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 表示されたディレクトリのパス名を確認し，ディレクトリが作成できるかを確認してください。 **対処** ディレクトリが作成できる場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX0057-E	ディレクトリの削除に失敗しました。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 表示されたディレクトリのパス名を確認し，ディレクトリが存在するかを確認してください。 **対処** ディレクトリが存在する場合は，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX0069-W	トレースログファイルに対する操作でエラーが発生しました。	**要因** Replication Manager Application Agentが提供するトレースログファイルに対して処理を実行し，エラーを検知したときに出力されるメッセージです。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0071-W	RAID Managerインスタンスを停止できませんでした。 要因 = ＜要因＞	**要因** 何らかの原因によって，RAID Managerのインスタンスが停止できなかったときに出力されるメッセージです。 **対処** 「要因」に出力された内容を確認して，必要に応じて，RAID Managerのインスタンスを停止してください。 エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX0072-E	アプリケーションマップファイルが存在しません。	**要因** アプリケーションマップファイルが存在しません。 **対処** 次のコマンドを使用し，ディクショナリマップファイルを作成し直してください。 次のように実行します。 ・ バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -refresh ・ バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		drmsqldisplay -refresh ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -refresh
KAVX0073-E	指定された条件に一致するデータが存在しません。	**要因** drmfsdisplayコマンド，drmsqldisplayコマンド，またはdrmexgdisplayコマンドのオプションで指定した条件に合うデータがありません。 **対処** 指定したコマンドのオプションを確認してください。誤りがある場合は正しいコマンドオプションを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0074-E	マウント情報の取得に失敗しました。	**要因** drmmountコマンドでマウントしたマウントポイントの情報が不正です。 次の要因が考えられます。 ・drmmountコマンドでマウントしないで，drmmediabackupコマンドまたはdrmumountコマンドを実行した。 ・正ボリュームに対して，drmmediabackupコマンドまたはdrmumountコマンドを誤って実行した。 **対処** 要因を確認して，drmmountコマンドを再度実行してください。
KAVX0075-E	指定されたバックアップコメントに不正な文字があります。	**要因** バックアップコマンド（drmfsbackupコマンド，drmsqlbackupコマンド，またはdrmexgbackupコマンド）でバックアップコメントを指定した際に，使用できない文字が含まれています。 **対処** 使用できない文字をバックアップコメントに指定しないようにして，バックアップコマンドを再実行してください。 なお，バックアップコメントで使用できる文字については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI リファレンスガイド」のdrmfsbackupコマンドの説明を参照してください。
KAVX0076-I	Exchangeデータベースファイルのチェックサムを確認しました。 ストレージグループ名 = ＜ストレージグループ名＞	**要因** Exchangeデータベースファイルのチェックサムが正常である場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-
KAVX0077-E	ESEUTILコマンドを実行するために必要なファイルがコピーされていません。	**要因** ESEUTILユーティリティを実行するために必要なファイルが，コマンドを実行したサーバにコピーされていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** Exchange Serverのマニュアルを参照し，必要なファイルをコピーしてコマンドを再度実行してください。
KAVX0078-E	ESEUTILコマンドの実行に失敗しました。 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** データベースの整合性チェックを実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
KAVX0079-E	Exchangeデータベースファイルのチェックサムが不正です。 ストレージグループ名 = ＜ストレージグループ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** Exchangeデータベースファイルのチェックサムに異常を検出した場合に出力されるメッセージです。 **対処** Exchange Serverのマニュアルを参照して必要な回復処置をしてください。
KAVX0080-E	ディクショナリマップファイル更新時にペア生成されていないコピーグループを指定したため，バックアップ・リシンクできません。 要因 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・対象となるコピーグループのペア状態がSMPLモードの時にディクショナリマップファイルを更新した。 ・コピー種別がSnapshot Advancedの場合，Snapshot Advancedのペアの操作をpairXXコマンドで実施するための設定がされていない状態でディクショナリマップファイルを更新した。 **対処** ・対象となるコピーグループをペア生成して，ディクショナリマップファイルを更新してください。 ・コピー種別がSnapshot Advancedの場合，Snapshot Advancedのペアの操作をpairXXコマンドで実施するための設定を行ってからディクショナリマップファイルを更新してください。 Snapshot Advancedのペアの操作をpairXXコマンドで実施するための設定についてはRAID Managerの マニュアルを参照してください。
KAVX0081-E	ディクショナリマップファイル更新後にペアステータスがSMPLモードに変更されています。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	要因 = ＜コピーグループ名＞	ペア状態がSMPLモードのコピーグループをバックアップまたは再同期した場合に出力されるメッセージです。 **対処** 次のどれかの方法で対処してください。 ・RAID ManagerのHORCM_CONFファイルから対象のペア論理ボリュームの定義を削除する。 ・次の操作でコピーグループをロックして操作対象から外す。 drmcgctl -copy_group ＜コピーグループ名＞ -mode lock
KAVX0082-E	このバックアップカタログでリストアできません。	**要因** drmsqlrestoreコマンドで，-templateオプションの指定が誤っています。 **対処** 次の内容を確認して，drmsqlrestoreコマンドを再実行してください。 ・-templateオプション指定ありのdrmsqlbackupコマンドで作成したバックアップカタログをリストアする場合は，-templateオプションを指定してください。 ・-templateオプション指定なしのdrmsqlbackupコマンドで作成したバックアップカタログをリストアする場合は，-templateオプションを指定しないでください。
KAVX0085-I	バックアップ情報の作成中です。	**要因** バックアップコマンドの-templateオプションで，実際のバックアップを行わずにバックアップカタログを作成中に出力されるメッセージです。作成されるバックアップカタログは，テンプレートカタログとしてバックアップカタログに登録されます。 **対処** －
KAVX0086-I	バックアップ情報は以下の内容で取得されています。 バックアップID = ＜バックアップID＞	**要因** テンプレートカタログが作成され，バックアップIDが割り当てられた場合に出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX0087-E	指定されたバックアップIDはすでにほかのコマンドが実行中のため，このコマンドを実行できません。	**要因** 指定されたバックアップIDが，同時には実行できない場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対象のバックアップIDが，ほかのコマンドで実行されていないことを確認して再度実行してください。
KAVX0088-E	指定された世代識別名が不正です。	**要因** バックアップコマンド（drmfsbackupコマンド，drmsqlbackupコマンド，またはdrmexgbackupコマンド）で指定した世代識別名が不正です。 **対処** 次のコマンドを実行して世代識別名を確認し再度実行してください。 ・バックアップ対象がファイルシステムの場合 drmfsdisplay -cf ・バックアップ対象がSQL Serverデータベースの場合 drmsqldisplay -cf ・バックアップ対象がExchangeデータベースの場合 drmexgdisplay -cf
KAVX0089-E	タイムアウトが発生しました。 リトライ時間 ＜リトライ回数パラメーター名＞ = ＜リトライ回数パラメーター値＞(回) ＜リトライ待ち時間パラメーター名＞ = ＜リトライ待ち時間パラメーター値＞(秒)	**要因** リトライ待ち時間パラメーター値で設定された時間間隔ごとに，リトライ回数パラメーター値で設定された回数だけ確認したが，期待した状態にならなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージの次に出力されるエラーメッセージを確認してください。リトライ時間が短い場合には，リトライ回数パラメーター値またはリトライ待ち時間パラメーター値を変更してリトライ時間を調整し，コマンドを再度実行してください。
KAVX0091-E	インストール環境が不正です。	**要因** インストール環境が不正な場合に出力されるメッセージです。 **対処** 製品を再インストールしてください。
KAVX0092-E	製品情報の取得に失敗しました。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** バージョンファイルの情報が不正な場合に出力されるメッセージです。 **対処** 製品を再インストールしてください。
KAVX0093-E	差分パッチ履歴情報の読み込みでエラーが発生しました。	**要因** 差分パッチ履歴情報を取得する処理を実行し，エラーを検知した場合に出力されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 システムログを参照し，OSに異常がないか確認してください。異常が見られない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0094-I	ベリファイ処理が成功しました。 ストレージグループ名 = ＜ストレージグループ名＞	**要因** ベリファイ処理が正常に完了した場合に出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX0095-E	ベリファイ処理に必要なファイルがありませんでした。	**要因** バックアップサーバに，ベリファイ処理に必要なExchange管理ツールがインストールされていません。 **対処** Exchange管理ツールをインストールしてください。
KAVX0096-E	ベリファイ処理が失敗しました。 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** ベリファイ処理を実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。異常がない場合は，保守情報を採取し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0097-E	ベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 ストレージグループ名 = ＜ストレージグループ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** ベリファイ処理でデータベースに異常を検出した場合に出力されるメッセージです。 **対処** データベースが壊れているおそれがあります。前回の正常終了時のバックアップでリカバリすることを推奨します。
KAVX0098-I	ベリファイ処理が成功しました。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** ベリファイ処理に成功しました。 **対処** －
KAVX0099-E	ベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** ベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 **対処** データベースが壊れているおそれがあります。前回の正常終了時のバックアップでリカバリすることを推奨します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0100-E	マウントポイントディレクトリ名として，ルートディレクトリは指定できません。	**要因** マウントポイントディレクトリ名に，ルートディレクトリが指定されました。 **対処** バックアップのマウントポイントは，ルートディレクトリ以外のディレクトリを指定してください。
KAVX0101-E	マウントポイントディレクトリにシステムディレクトリのあるドライブは指定できません。	**要因** マウントポイントディレクトリに，システムディレクトリのあるドライブが指定されました。 **対処** バックアップのマウントポイントディレクトリは，システムディレクトリのあるドライブ以外のドライブを指定してください。
KAVX0102-E	マウントポイントディレクトリ内にバックアップ対象のファイルが存在しません。	**要因** 指定したマウントポイントディレクトリにファイルが存在しません。 **対処** 指定したマウントポイントにファイルが存在しないため，バックアップが実行されませんでした。
KAVX0103-E	リストア先の空き容量が足りません。	**要因** リストア先のボリュームの空き容量が不足しています。 **対処** リストア先のボリュームの空き容量を見直して，コマンドを再度実行してください。
KAVX0104-E	指定されたマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが存在しません。	**要因** 指定したマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名に誤りがあります。 **対処** 指定したマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが存在するかどうかを確認したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX0105-E	指定されたマウントポイントディレクトリは，RAID装置上に存在しません。 マウントポイント = ＜マウントポイント＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定されたマウントポイントディレクトリが見当たらない。 ・指定されたマウントポイントディレクトリがRAID装置以外のデバイスをマウントしている。 ・マウントポイントディレクトリが絶対パスで指定されていない。 ・指定されたファイルシステムがファイルシステムとして認識できない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 指定したマウントポイントディレクトリを確認したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX0106-E	マウントポイントの指定が誤っています。 マウントポイント = ＜マウントポイント＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・マウントポイントディレクトリがディレクトリ以外である。 ・指定したマウントポイントディレクトリに，RAID装置上のドライブがマウントされていない。 **対処** 指定したマウントポイントディレクトリを確認したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX0200-W	The message catalog could not be obtained. Message ID = ＜メッセージID＞	**要因** メッセージカタログが存在しないか，メッセージカタログが破壊されています。 **対処** 製品を再インストールしてください。
KAVX0210-I	ユーザースクリプトを実行します。 処理セクション = ＜セクション名＞	**要因** ユーザースクリプトのユーザー処理セクション内の処理を開始した場合に出力されるメッセージです。ただし，コマンドが一つも定義されていないときは，出力されません。 **対処** －
KAVX0211-I	ユーザースクリプトの実行が終了しました。	**要因** ユーザースクリプトのユーザー処理セクション内の処理が正常終了した場合に出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX0212-I	ユーザースクリプト内のコマンドを実行します。 コマンドライン = ＜コマンドライン＞	**要因** ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドを実行した場合に出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX0213-I	ユーザースクリプト内のコマンドが終了しました。 終了コード = ＜終了コード＞	**要因** ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義されたコマンドが終了した場合に出力されるメッセージです。 **対処** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0214-E	ユーザースクリプト内のコマンドが起動できません。	**要因** ユーザースクリプトのコマンド定義セクション内で定義したコマンドの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルに実行可能なコマンドを指定した上で，バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0215-E	ユーザースクリプト内のコマンドの処理途中にエラーが発生しました。	**要因** ユーザースクリプトのコマンド起動後にエラーとなった場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認した上で，バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0217-W	ユーザースクリプト内のコマンドがタイムアウトしました。	**要因** ユーザースクリプト内のCMDLINEで指定されたコマンドが，規定のタイムアウト時間を超えても終了しなかった場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認し，コマンドのタイムアウト要因を取り除いた上で，バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0218-I	ユーザースクリプト内のコマンドの強制終了を開始します。	**要因** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了を開始する場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0219-I	ユーザースクリプト内のコマンドを強制終了しました。	**要因** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了に成功した場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0220-W	ユーザースクリプト内のコマンドが強制終了できません。	**要因** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの強制終了に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認し，コマンドを終了できない要因を取り除いた上で，バックアップコマンドを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0221-E	ユーザースクリプトの内容が不正です。 要因 = ＜要因＞	**要因** ユーザースクリプトファイルの内容が不正な場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトファイルの記述内容を，要因の内容に応じて修正した上で，コマンドを再実行してください。
KAVX0222-E	-scriptオプションで指定したユーザースクリプトファイル名が不正です。	**要因** バックアップコマンドの引数で指定されたユーザースクリプトファイル名が不正の場合に出力されるメッセージです。 **対処** バックアップコマンドの引数に指定したファイルが存在するか，指定形式が正しいかを確認してください。確認後，正しいファイル名を指定し，コマンドを再実行してください。
KAVX0223-E	ユーザースクリプトファイルの読み込みに失敗しました。	**要因** 指定したユーザースクリプトファイルの読み込みでエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 **対処** 指定したユーザースクリプトファイルが開けるか，書き込み中でないかを確認し，バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0224-I	ユーザースクリプトの項目 ＜項目名＞ の値が ＜項目の値＞ であるため処理を継続します。	**要因** ユーザースクリプトによって実行したコマンドで下記のどちらかの事象が発生した場合で，ユーザースクリプトの項目END_CODEの設定値がIGNOREのときに出力されるメッセージです。 ・ コマンドが０以外の戻り値を返した。 ・ コマンドでタイムアウトが発生した。 設定値がIGNOREであるため，処理を継続します。 **対処** －
KAVX0225-E	ユーザースクリプトの項目 ＜項目名＞ の値が ＜項目の値＞ であるため処理を終了します。	**要因** ユーザースクリプト内のコマンドを実行した結果，下記のどちらかの事象が発生したが，該当コマンドに対するEND_CODEの設定値がTERMINATE_NZ（END_CODEが指定されないで，初期値としてTERMINATE_NZが適用されている場合を含む）であるため，処理を終了する場合に出力されるメッセージです。 ・ コマンドが0以外の戻り値を返した。 ・ コマンドでタイムアウトが発生した。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行状況を確認の上，バックアップコマンドを再実行してください。なお，上記の事象が発生した場合でも，処理を継続したい場合は，ユーザースクリプト内の該当コマンドに対するEND_CODEの値をIGNOREに設定してください。
KAVX0226-E	環境変数の設定に失敗しました。 設定内容 = ＜環境変数名＞ = ＜環境変数の値＞	**要因** ユーザースクリプト内で指定したコマンドの実行前後に行われる環境変数の設定が失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** ユーザースクリプトに指定した環境変数の内容を確認し，設定できる環境変数を指定した上で，バックアップコマンドを再実行してください。
KAVX0227-E	物理ボリュームの隠ぺいに失敗しました。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 物理ボリュームの隠ぺいが失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Manager のコマンドが失敗した要因を取り除いたあと，失敗したコピーグループ名を指定して，再度実行してください。RAID Managerのログ情報については，RAID Managerのマニュアルを参照してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の説明を参照して，構成および設定を確認してください。 ・ Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・ Application Agentが適用できるボリューム構成 ・ RAID Managerの設定 ・ Application Agentの動作の設定 ・ RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
KAVX0228-E	物理ボリュームの公開に失敗しました。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 物理ボリュームの隠ぺい解除が失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerのログ情報を参照して，RAID Manager のコマンドが失敗した要因を取り除いたあと，失敗したコピーグループ名を指定して，再度実行してください。RAID Manager

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		のログ情報については，RAID Managerのマニュアルを参照してください。 失敗した要因は，Replication Manager Application Agentを実行する構成または設定にある場合があります。マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の次の説明を参照して，構成および設定を確認してください。 ・ Application Agentを使用する場合のシステム構成と注意事項 ・ Application Agentが適用できるボリューム構成 ・ RAID Managerの設定 ・ Application Agentの動作の設定 ・ RAID Managerと連携するためのApplication Agentの設定
KAVX0229-E	指定されたコピーグループ名は不正です。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コマンドの引数に指定したコピーグループ名が不正です。 **対処** 正しいコピーグループ名を指定して，再度実行してください。
KAVX0230-E	RAID Managerインスタンスを起動できませんでした。 インスタンス番号 = ＜インスタンス番号＞	**要因** RAID Managerインスタンスの起動に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** RAID Managerの設定が正しいかどうか確認してください。設定が正しい場合は，RAID Managerのログ情報を参照し，問題がないかどうか確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0231-E	物理ボリュームの再認識に失敗しました。	**要因** 物理ボリュームの再認識に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** システムログを参照し，物理ボリュームの再認識に失敗した要因を解決してから，コマンドを再度実行してください。問題が解決しない場合，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0232-I	＜コピーグループ名＞を隠ぺいしました。	**要因** 物理ボリュームの隠ぺいに成功した場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0233-I	＜コピーグループ名＞を公開しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		物理ボリュームの隠ぺい解除に成功した場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0234-I	物理ボリュームを再認識します。	**要因** 物理ボリュームの再認識を開始した場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0235-I	物理ボリュームを再認識しました。	**要因** 物理ボリュームの再認識に成功した場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0237-E	指定されたバックアップIDに対応するコピーグループが存在しません。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 指定したバックアップIDのバックアップカタログに記録されているコピーグループが存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 次の順序でReplication Manager Application Agentの動作環境を確認してください。 1. drmfscat，drmsqlcat，drmexgcat，またはdrmtapecatコマンドで，指定したバックアップIDのバックアップカタログの内容を表示して，バックアップカタログに記録されたコピーグループを確認してください。 2. RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のHORCMINSTパラメーターで指定したインスタンス番号が適切かどうかを確認してください。 3. RAID Managerの構成定義ファイル（horcm＜n＞.conf）でのコピーグループの定義が適切かどうかを確認してください。
KAVX0238-E	ファイルへの書き込み処理が失敗しました。 ファイル名 = ＜ファイルのフルパス＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・システム環境変数VSNECRMENVFが設定されている場合に，設定値が誤っている。 ・ファイルが書き込みできる状態ではない。 **対処** 出力されたファイルパスに対して次のことを確認してください。 ・システム環境変数VSNECRMENVFが設定されている場合，設定値がマニュアルどおり設定されているか確認してください。設定値については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		CLI ユーザーズガイド」の，VSSを使用するための設定を参照してください。 ・ ファイルが書き込みできる状態か確認してください。
KAVX0239-E	drmdevctlコマンドの実行には，DEVICE_DETACH=ENABLEの設定が必要です。	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のDEVICE_DETACHパラメーターにENABLEが指定されていない状態で，drmdevctlコマンドが実行された場合に表示されるメッセージです。 **対処** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のDEVICE_DETACHパラメーターにENABLEを指定してから，drmdevctlコマンドを再度実行してください。
KAVX0240-E	フォルダの作成に失敗しました。 フォルダパス = ＜フォルダパス＞	**要因** フォルダが作成できなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** 次の対処をしてください。 ・ 作成しようとしたフォルダのパスが存在しない場合は，フォルダを作成してください。 ・ 作成しようとしたフォルダのアクセス権が書き込み不可になっている場合は，フォルダに書き込みができるようにアクセス権を変更してください。
KAVX0241-E	ファイルの削除に失敗しました。 ファイル名 = ＜ファイルのフルパス＞	**要因** ファイルの削除に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** 表示されたファイルのアクセス権が読み取り専用になっていないか確認してください。 ファイルのアクセス権が読み取り専用になっている場合は，読み取り専用属性を解除してからファイルを削除してください。
KAVX0242-E	ファイルを開くことができませんでした。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** ファイルを開くことができなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** 開こうとしたファイルのアクセス権が読み取り不可になっています。ファイルが開けるようにアクセス権を変更してください。
KAVX0243-E	プロセスが作成できませんでした。 プロセス名 = ＜プロセス名＞ コード = ＜OSエラー要因コード＞	**要因** プロセスを実行できなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。エラーの要因については，メッセージのコードに表示される「OSエラー要因コード」を参照してください。
KAVX0244-W	イベントログへのメッセージ出力に失敗しました。	**要因** イベントログへメッセージを出力できませんでした。 **対処** アプリケーションイベントログがいっぱいでないか確認してください。
KAVX0245-W	メール送信が失敗しました。	**要因** メールを送信できませんでした。 **対処** このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0246-W	SMTPサーバへの接続に失敗しました。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** SMTPサーバに接続できませんでした。 **対処** メール送信定義ファイルのMAIL_SERVERパラメーターが正しいか確認してください。または，システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については，「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0247-W	SMTPサーバへの送信に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** SMTPサーバへの送信に失敗しました。 **対処** システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については，「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0248-W	SMTPサーバからの受信に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** SMTPサーバからの受信に失敗しました。 **対処** システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。エラーの要因については，「要因」に出力されるメッセージを参照してください。
KAVX0249-W	SMTPサーバからの受信メッセージが短すぎます。	**要因** SMTPサーバからの受信メッセージが短過ぎます。 **対処** システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。
KAVX0250-W	SMTPサーバがエラー応答を返しました。 対象 = ＜対象＞	**要因** SMTPサーバが，「対象」に出力されたSMTPサーバへのリクエスト（SMTPプロトコル）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	内容 = ＜内容＞	に対して，「内容」に出力されたエラー応答（SMTPプロトコル）を返しました。 **対処** システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。
KAVX0251-W	パラメーターの設定値の長さが上限を超えています。 ファイル名 = ＜ファイル名＞ パラメーター = ＜パラメーター名＞	**要因** パラメーターの設定値の長さが上限を超えています。 **対処** 該当する設定ファイルで指定したパラメーター値の長さを確認してください。
KAVX0252-W	送信先メールアドレスが不正です。 メールアドレス = ＜メールアドレス＞	**要因** SMTPサーバから，出力されたメールアドレスの不正が通知されました。 **対処** メール送信定義ファイルのTOパラメーターを確認してください。または，システムログを参照し，OSまたはSMTPサーバに異常がないか確認してください。
KAVX0253-W	パラメーターが見つかりません。 ファイル名 = ＜ファイル名＞ パラメーター = ＜パラメーター名＞	**要因** パラメーターが見つかりません。 **対処** 該当する設定ファイルに，出力されたパラメーターが指定されているか確認してください。
KAVX0254-W	メール送信の準備が失敗しました。	**要因** メール送信の準備が失敗しました。 **対処** このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0255-W	メール送信できません。	**要因** メールを送信できません。 **対処** このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0256-I	Protection Managerサービスに接続します。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** Protection Managerサービスに接続します。 **対処** －
KAVX0257-I	Protection Managerサービスとの接続状態を切断します。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** Protection Managerサービスとの接続状態を切断します。 **対処** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0258-E	Protection Managerサービスとの通信でエラーが発生しました。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** Protection Managerサービスとの通信時にエラーが発生しました。詳細な通信エラー内容が詳細トレースログに記録されています。 **対処** 次のことを確認してください。 ・接続先のホスト上でProtection Managerサービスが正常に起動しているか。 ・ネットワーク設定に問題がないか。 ・ライブ・マイグレーションと，Replication Manager Application Agent のコマンドの実行時間が重なっていないか。ライブ・マイグレーションが実行中かどうかは，使用している仮想化ソフトウェアが出力する情報を確認してください。
KAVX0259-E	Protection Manager サービスに接続できませんでした。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** Protection Managerサービスのポートに対する接続時にエラーが発生しました。接続先のホスト上のProtection Managerサービスに接続できませんでした。 **対処** 次のことを確認してください。 ・Protection Managerサービスが起動しているか。 ・ポート番号の設定が，接続元のホストと接続先のホストで一致しているか。 ・Replication Manager Application Agentのバージョンが，接続元のホストと接続先のホストで一致しているか。
KAVX0260-E	バックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。	**要因** 通信エラーのため，バックアップサーバのファイルチェック処理に失敗しました。 **対処** このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0261-E	ユーザースクリプト実行コマンドのファイルが存在しません。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ 処理セクション = ＜処理セクション＞ 実行ファイル名 = ＜実行ファイル名＞	**要因** 指定したファイルがないか，またはディレクトリを指定しました。 **対処** 存在するファイルを指定してください。
KAVX0262-E	ユーザースクリプト実行コマンドのファイルへのアクセス権限がありません。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定した実行ファイルに対する実行権限がない。 ・デバイスの準備ができていない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	処理セクション = ＜処理セクション＞ 実行ファイル名 = ＜実行ファイル名＞	・実行ファイルに指定された内容がキャラクターファイルである。 **対処** 実行できる権限をファイルに付与してください。
KAVX0263-I	ユーザースクリプト内のコマンドを実行します。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ コマンドライン = ＜コマンドライン＞	**要因** ユーザースクリプトを実行するときに出力されます。 **対処** –
KAVX0264-E	バックアップサーバのユーザースクリプト処理に失敗しました。	**要因** バックアップサーバのユーザースクリプト処理に失敗しました。 **対処** このメッセージの前に出力されているメッセージを確認してください。
KAVX0265-I	Protection Managerサービスが起動しました。	**要因** Protection Managerサービスが起動されました。 **対処** –
KAVX0266-E	Protection Managerサービスの起動に失敗しました。	**要因** Protection Managerサービスの起動時にエラーが発生しました。 **対処** エラーの要因および対処方法については，直前に出力されたメッセージを参照してください。
KAVX0267-I	Protection Managerサービスが停止しました。	**要因** Protection Managerサービスが停止されました。 **対処** –
KAVX0268-E	IPアドレスが取得できません。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** Protection Managerサービスへの接続時にエラーが発生しました。接続するホストのIPアドレスが取得できませんでした。 **対処** 次のことを確認してください。 ・ホスト名が正しいか。 ・接続するホストが起動しているか。 ・ネットワーク設定に問題がないか。
KAVX0269-E	接続先のProtection Managerサービスが停止しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ホスト名 = ＜ホスト名＞	Protection Managerサービスとの通信時にエラーが発生しました。コマンド実行中に，接続先のホストのProtection Managerサービスが停止しました。 **対処** Protection Managerサービスを開始してから，コマンドを再実行してください。
KAVX0270-W	一時ファイルの操作が失敗しました。 操作 = ＜操作＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** 一時ファイルの操作に失敗しました。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないか確認してください。
KAVX0271-E	Protection Managerサービスのバージョンが不正です。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** 接続先のホストにインストールされているProtection Managerサービスのバージョンが不正です。 **対処** 接続先のホストにインストールされているReplication Manager Application Agentのバージョンを確認してください。
KAVX0272-E	Protection Managerサービスでエラーが発生しました。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** 接続先のホスト上でエラーが発生しました。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX0273-W	パラメーターの設定値が不正です。 ファイル名 = ＜ファイル名＞ パラメーター = ＜パラメーター名＞	**要因** パラメーターに設定した値が不正です。 **対処** 該当する設定ファイルで指定したパラメーター値を確認してください。
KAVX0274-W	メモリーが不足しています。	**要因** Replication Manager Application Agentが提供するコマンドを実行するためのメモリーが不足しています。 **対処** 製品に添付されている資料を確認し，必要なメモリーを追加してください。
KAVX0275-I	メール送信を開始します。	**要因** メールが送信されるときに出力されます。 **対処** -
KAVX0276-I	メール送信を終了します。	**要因** メールの送信が終了するときに出力されます。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAVX0277-E	ユーザースクリプト実行コマンドのファイル名が不正です。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ 処理セクション = ＜処理セクション＞ コマンドライン = ＜コマンドライン＞ 実行ファイル名 = ＜実行ファイル名＞	**要因** ユーザースクリプトファイルに定義されたコマンドラインのファイル名チェックでエラーが発生しました。 **対処** ユーザースクリプトファイルのCMDLINEの指定方法について，次のことを確認してください。 ・空白を含むパス名またはファイル名が，引用符（″）で囲まれているか。 ・引用符（″）がネストしていないか（引用符を引用符で囲んでいないか）。
KAVX0278-E	ほかのコマンドから呼び出されたためコマンドを実行できません。	**要因** Replication Manager Application Agentコマンドを呼び出せるのは，PRE_PROC処理中のバックアップサーバ上で実行するスクリプト，およびPOST_PROC処理だけです。 ユーザースクリプト中の次の処理でReplication Manager Application Agentコマンドが呼び出された場合はエラーになります。 ・PRE_PROC処理（ローカルサーバ上でスクリプトを実行する場合） ・RESYNC_PROC処理 ・SPLIT_PROC処理 ・FINISH_PROC処理 **対処** 上記の処理中では，Replication Manager Application Agentコマンドを呼び出さないでください。
KAVX0279-E	Protection Managerサービスの接続先にローカルホストが指定されています。	**要因** Protection Managerサービスの接続先としてローカルホストが指定されました。 **対処** Protection Managerサービスの接続先にローカルホストを指定しないでください。
KAVX0280-E	以下のプロトコルのポート番号はすでに使用されています。 プロトコル = ＜プロトコル名＞ ポート番号 = ＜ポート番号＞	**要因** － **対処** セットアップ手順に従い，プロトコルが使用していないポート番号を＜システムディレクトリ＞¥system32¥drivers¥etc¥servicesファイルに登録してください。
KAVX0281-E	実行環境には管理者特権が必要です。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		OSの管理者特権を使用して起動したコマンドから，Replication Manager Application Agentのコマンドを再実行してください。 **対処** OSの管理者特権を使用してコマンドを起動する方法は，OSのマニュアルを参照してください。
KAVX0282-E	ベリファイ処理がログの異常を検出しました。 ベース名 = ＜ベース名＞	**要因** ベリファイ処理でトランザクションログに異常を検出しました。 **対処** –
KAVX0300-I	指定されたコピーグループをロックしました。	**要因** 指定したコピーグループがロックされました。 **対処** –
KAVX0301-I	指定されたコピーグループのロックを解除しました。	**要因** 指定したコピーグループのロックが解除されました。 **対処** –
KAVX0302-I	指定されたバックアップIDに対応するコピーグループをロックしました。	**要因** 指定したバックアップIDに対応するコピーグループがロックされました。 **対処** –
KAVX0303-I	指定されたバックアップIDに対応するコピーグループのロックを解除しました。	**要因** 指定したバックアップIDに対応するコピーグループのロックが解除されました。 **対処** –
KAVX0304-W	指定されたコピーグループはすでにロック（またはロック解除）されています。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・ロックされているコピーグループに対して再度ロックしようとした。 ・ロックが解除されているコピーグループに対して再度ロックを解除しようとした。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX0305-W	指定されたバックアップIDに対応するコピーグループはすでにロック（またはロック解除）されています。	**要因** 次の要因が考えられます。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・ロックされているバックアップIDに対応するコピーグループに対して再度ロックしようとした。 ・ロックが解除されているバックアップIDに対応するコピーグループに対して再度ロックを解除しようとした。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX0309-E	＜コマンド名＞コマンドの実行に失敗しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞	**要因** コマンドを実行したときにエラーが検出されました。 **対処** Replication Manager Application Agentのトレースログファイルと OSのシステムログを参照し，ファイルシステムについて異常を示すメッセージが出力されていないかを確認してください。
KAVX0323-E	クラスタのオープンに失敗しました。	**要因** WSFCのオープンに失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** Windowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0324-E	クラスタリソースをオンラインにできませんでした。 リソース名 = ＜クラスタリソース名＞ コード = ＜エラーコード＞	**要因** WSFCのクラスタリソースのオンライン処理に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0325-E	クラスタリソースをオフラインにできませんでした。 リソース名 = ＜クラスタリソース名＞ コード = ＜エラーコード＞	**要因** WSFCのクラスタリソースのオフライン処理に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** メッセージと一緒に表示されるOSのエラーコードとWindowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0326-E	クラスタの情報取得に失敗しました。	**要因** WSFCの情報取得に失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** Windowsイベントログを参照してエラーの要因を取り除いてください。問題が解決しない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0328-W	正しい仮想サーバ名を入力してください。 仮想サーバ名 = ＜仮想サーバ名＞	**要因** 入力した仮想サーバ名が存在しません。 **対処** 次のことを確認してから，正しいパラメーターを再入力してください。 ・ クラスタが正しく設定されているか。 ・ 入力した仮想サーバ名が正しいか。 ・ 入力した仮想サーバ名に対応するDRM_DB_PATHが，構成定義ファイル（init.conf）に定義されているか。
KAVX0329-W	指定された仮想サーバは既に登録されています。 仮想サーバ名 = ＜仮想サーバ名＞	**要因** 入力した仮想サーバ名はすでに登録されています。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しい仮想サーバ名を再入力してください。
KAVX0330-E	指定されたクラスタリソースグループの確認に失敗しました。 クラスタリソースグループ名 = ＜クラスタリソースグループ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースグループの確認時にエラーが発生しました。 **対処** クラスタソフトウェアの設定と起動状態を確認し，コマンドを再実行してください。
KAVX0331-E	クラスタプロセスが停止しているため，クラスタリソースグループの確認ができませんでした。 クラスタリソースグループ名 = ＜クラスタリソースグループ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースグループの確認時にクラスタが停止していたため，クラスタの状態を確認できませんでした。 **対処** クラスタを起動してから登録してください。
KAVX0332-W	指定されたクラスタリソースグループは存在しません。 クラスタリソースグループ名 = ＜クラスタリソースグループ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースグループがクラスタの管理下にありません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0333-W	指定されたクラスタリソースグループは既に登録されています。 クラスタリソースグループ名 = ＜クラスタリソースグループ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースグループがすでに登録されています。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0334-W	正しいリソース種別を入力してください。 リソース種別 = ＜リソース種別＞	**要因** 入力したリソース種別に誤りがあります。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0335-W	指定されたクラスタリソースがクラスタリソースグループに存在しません。 クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞	**要因** 入力したクラスタリソースがクラスタリソースグループ内に存在しません。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0336-W	クラスタリソースは指定できません。 クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞	**要因** クラスタリソースに誤ったリソースタイプが指定されました。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0337-W	指定されたクラスタリソースは既に登録されています。 クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞	**要因** 入力したクラスタリソースはすでに登録されています。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0338-W	指定されたドライブ名はクラスタリソースに対応していません。 ドライブ名 = ＜ドライブ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースとドライブ名が対応していません。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。
KAVX0339-W	指定されたクラスタリソースグループの仮想サーバ名は，指定された仮想サーバ名と一致しません。 クラスタリソースグループ名 = ＜クラスタリソースグループ名＞	**要因** 入力したクラスタリソースグループと仮想サーバが対応していません。 **対処** クラスタの設定を確認し，正しいパラメーターを再入力してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0340-E	指定された仮想サーバ名の確認に失敗しました。 仮想サーバ名 = ＜仮想サーバ名＞	**要因** 入力した仮想サーバ名の確認時にエラーが発生しました。 **対処** 次のことを確認してください。 ・クラスタソフトウェアが正しくインストールされているか。 ・クラスタが起動しているか。
KAVX0400-I	マウントを開始します。 マウントポイント = ＜バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに，バックアップサーバに副ボリュームをマウントする操作が開始されたことを示すメッセージです。 **対処** －
KAVX0401-I	マウントを完了しました。 マウントポイント = ＜バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに，バックアップサーバに副ボリュームをマウントする操作が正常に完了したことを示すメッセージです。 **対処** －
KAVX0402-I	バックアップを開始します。 バックアップの進行状況について詳しく確認する場合，バックアップ管理製品が提供する監視方法を使用し，確認してください。 バックアップ元 = ＜バックアップ元ディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップ時に，バックアップ管理製品のバックアップコマンドが開始されたことを示すメッセージです。 **対処** －
KAVX0403-I	バックアップを完了しました。 バックアップ元 = ＜バックアップ元ディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップ時に，バックアップ管理製品のバックアップコマンドが正常に完了したことを示すメッセージです。 **対処** －
KAVX0404-I	リストアを開始します。 リストアの進行状況について詳しく確認する場合，バックアップ管理製品が提供する監視方法を使用し，確認してください。 リストア元 ＝ ＜リストア元ディレクトリ名＞ リストア先 ＝ ＜リストア先マウントポイントディレクトリ名＞	**要因** テープからのリストア時に，バックアップ管理製品のリストアコマンドが開始されたことを示すメッセージです。 **対処** －
KAVX0405-I	リストアを完了しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	リストア元 = ＜リストア元ディレクトリ名＞ リストア先 = ＜リストア先マウントポイントディレクトリ名＞	テープからのリストア時に，バックアップ管理製品のリストアコマンドが正常に完了したことを示すメッセージです。 **対処** –
KAVX0406-I	アンマウントを開始します。 マウントポイント = ＜バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに，データベースサーバ上で副ボリュームのアンマウント操作が開始されたことを示すメッセージです。 **対処** –
KAVX0407-I	アンマウントを完了しました。 マウントポイント = ＜バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名＞	**要因** テープへのバックアップまたはテープからのリストアを実行するときに，データベースサーバ上で副ボリュームのアンマウント操作が正常に完了したことを示すメッセージです。 **対処** –
KAVX0408-E	バックアップコマンドの実行に失敗しました。 コマンド = ＜バックアップ管理製品が実行したコマンド名＞ エラー番号 = ＜バックアップ管理製品のコマンドが返すエラー番号＞	**要因** バックアップ管理製品のコマンドを実行しましたが，エラーになりました。 **対処** バックアップ管理製品のマニュアルを参照して，エラー番号からエラー情報を確認して対処したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX0409-E	リストアコマンドの実行に失敗しました。 コマンド = ＜バックアップ管理製品が実行したコマンド名＞ エラー番号 = ＜バックアップ管理製品のコマンドが返すエラー番号＞	**要因** バックアップ管理製品のコマンドを実行しましたが，エラーになりました。 **対処** バックアップ管理製品のマニュアルを参照して，エラー番号からエラー情報を確認して対処したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX0410-E	インストールパスの取得に失敗しました。 ソフト名 = ＜使用するバックアップ管理製品名＞	**要因** 使用するバックアップ管理製品がインストールされていません。 **対処** バックアップ管理製品をインストールしてから再度実行してください。
KAVX0411-I	バックアップ管理製品名を入力してください：	**要因** drmtapeinitコマンドの実行中に，Replication Manager Application Agentと連携するバックアップ管理製品の種別の入力を促すメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 インストールされているバックアップ管理製品がNetBackupの場合は，NBUと入力して［Enter］キーを押してください。
KAVX0412-I	バックアップクラス定義名を入力してください：	**要因** drmtapeinitコマンドを実行中に，種別としてNBUを選択した場合に，NetBackupのバックアップクラス定義名の入力を促すメッセージです。 **対処** –
KAVX0413-I	バックアップスケジュール名を入力してください：	**要因** drmtapeinitコマンドの実行中に，種別としてNBUを選択した場合に，NetBackupのバックアップクラス定義名に関連するバックアップスケジュール名の入力を促すメッセージです。 **対処** –
KAVX0414-I	バックアップパラメーターが更新されました。	**要因** drmtapeinitコマンドが正常に終了して，バックアップ管理製品と連携するためのパラメーターが正しく更新されました。 **対処** –
KAVX0416-E	バックアップ管理製品との連携に必要な設定が行われていません。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・drmtapeinitコマンドでバックアップ管理製品と連携するためのパラメーターを設定する前に，drmmediabackupコマンド，drmtapebackupコマンド，またはdrmtaperestoreコマンドを実行した。 ・ファイルサーバまたはデータベースサーバで，drmmediabackupコマンド，drmtapebackupコマンド，またはdrmtaperestoreコマンドを誤って実行した。 **対処** drmtapeinitコマンドを実行してから，コマンドを再度実行してください。
KAVX0417-I	バックアップカタログの保存日数を入力してください：	**要因** drmtapeinitコマンドの実行中に，テープバックアップ用のバックアップカタログを保存しておく期間の入力を促すメッセージです。 **対処** –

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0418-I	ファイル名で指定されたバックアップ情報をバックアップカタログに追加しました。 インポートされたバックアップID = ＜追加したバックアップID＞	**要因** drmdbimportコマンドで，正常にバックアップIDがインポートされたことを示すメッセージです。 **対処** -
KAVX0419-E	指定されたバックアップIDに関連するバックアップ情報は，エクスポートできません。	**要因** バックアップデータをテープへバックアップする前に，バックアップ情報をエクスポートしようとしました。 **対処** バックアップデータをテープへバックアップしてから，バックアップ情報をエクスポートしてください。
KAVX0420-E	不正なバックアップIDが指定されました。 drmdbimportコマンドでインポートしたバックアップ情報のバックアップIDを指定してください。	**要因** 指定したバックアップIDが誤っているため，テープへのバックアップを実行できません。 **対処** テープへバックアップする場合，drmdbimportコマンドでインポートしたバックアップIDを指定してください。
KAVX0421-E	不正なバックアップIDが指定されました。 drmtapebackupコマンドを使用して取得したバックアップIDを指定してください。	**要因** 指定したバックアップIDは，drmtapebackupコマンドを使用して取得されたものではありません。 **対処** drmtapebackupコマンドで，テープへバックアップしたときに取得したバックアップIDを指定してください。
KAVX0422-W	指定されたバックアップ管理製品名は無効です。	**要因** 指定したバックアップ管理製品名に誤りがあります。 **対処** 正しいバックアップ管理製品名を入力してください。
KAVX0423-W	指定された日数は範囲を超えています（指定できる範囲：0-365）。	**要因** drmtapeinitコマンドの実行中に，バックアップ情報の保存期間に指定した日数に誤りがあります。 **対処** 0から365の範囲で指定してください。
KAVX0424-I	指定されたバックアップIDに対するバックアップ情報を削除しました。 バックアップID = ＜削除するバックアップID＞	**要因** drmtapecatコマンドまたはdrmappcatコマンドで，指定されたバックアップIDに対応するバックアップ情報の削除が正常に完了したことを示すメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAVX0425-E	指定したバックアップIDは，マウントできません。	**要因** 指定されたバックアップIDのバックアップデータは，RAWボリュームとして構成されています。RAWボリューム上にはファイルシステムが作成されていないため，マウントする必要がありません。 **対処** マウントを実行しないで，操作を続行してください。
KAVX0426-E	必要なドライブ文字が不足しているため，このコマンドは実行できません。	**要因** 現在マウントするために使用できるドライブ文字の数が足りないため，すべての副ボリュームをマウントできません。 **対処** 不要なボリュームをアンマウントし，副ボリュームをマウントするために必要なドライブ文字を確保したあと，コマンドを再度実行してください。または，-mount_pt（マウントポイントディレクトリ名）オプションを指定して，マウントポイントディレクトリ上に副ボリュームをマウントしてください。
KAVX0427-E	バックアップに失敗しました。 マウントポイント = ＜マウントポイントディレクトリ名またはドライブ名＞ 要因 = ＜要因コード＞	**要因** － **対処** 次の設定を確認してください。 1. テープバックアップ用構成定義ファイルのパラメーターの設定を確認してください。 NetBackupの場合，次の項目を確認してください。 ・ NBU_MASTER_SERVERパラメーターに指定したマスターサーバが起動中である。 ・ INCLUDE_EXECに「YES」を指定する場合，または指定を省略する場合，バックアップサーバにメディアサーバがインストールされている。 ・ INCLUDE_EXECに「YES」以外を指定する場合，ポリシー（クラス）にバックアップ対象パスがあらかじめ設定されている。 2. NetBackupのBPCD_WHITELIST_PATHオプションに以下の設定を行っていることを確認してください。 ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥log ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥tape

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		要因コードに表示されるメッセージおよびバックアップ管理製品が提供するトレースログを参照し，バックアップ管理製品が発行するエラーコードが出力されていないかを確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0428-E	指定されたバックアップオブジェクト種別は不正です。	**要因** drmtapecatコマンドに-oオプションを指定して実行した場合で，指定したバックアップオブジェクト種別が不正なときに出力されるメッセージです。 **対処** drmtapecatコマンドによって出力されるバックアップオブジェクト種別を確認し，drmtapecatコマンドを再度実行してください。
KAVX0429-E	リストアに失敗しました。 リストア元 = ＜マウントポイントディレクトリ名またはドライブ文字＞ リストア先 = ＜マウントポイントディレクトリ名またはドライブ文字＞ 要因 = ＜バックアップ管理製品出力要因コード＞	**要因** - **対処** テープバックアップ用構成定義ファイルのパラメーターの設定を確認してください。 NetBackupの場合，次の項目を確認してください。 ・NBU_MASTER_SERVERパラメーターに指定したマスターサーバが起動中である。 ・NBU_MASTER_SERVERパラメーターに指定したマスターサーバがバックアップ時に使用したマスターサーバである。 要因コードに表示されるメッセージおよびバックアップ管理製品が提供するトレースログを参照し，バックアップ管理製品が発行するエラーコードが出力されていないかを確認してください。異常が見られない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0430-E	不正なバックアップIDが指定されました。 drmtapebackupコマンドまたはdrmmediabackupコマンドを使用して取得したバックアップIDを指定してください。	**要因** 指定したバックアップIDは，drmtapebackupコマンドまたはdrmmediabackupコマンドを使用して取得されたものではありません。 **対処** drmtapebackupコマンドまたはdrmmediabackupコマンドで，ほかの媒体へのバックアップをしたときに取得したバックアップIDを指定してください。
KAVX0431-E	バックアップ実行インタフェースファイルの作成に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・コマンドを実行しているユーザーに，ファイルのアクセス権限がない。 ・ドライブ容量が十分でない。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ドライブ容量が十分かどうかを確認して，システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。
KAVX0432-E	リストア実行インタフェースファイルの作成に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・コマンドを実行しているユーザーに，ファイルへのアクセス権限がない。 ・ドライブ容量が十分でない。 **対処** ドライブ容量が十分かどうかを確認して，システム管理者権限でコマンドを再度実行してください。
KAVX0433-E	一時ファイルの生成に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ ファイル名 = ＜一時ファイル名＞	**要因** Replication Manager Application Agentが内部で使用する一時ファイルが作成できませんでした。 **対処** システム管理者権限でコマンドを再実行してください。また，ドライブ容量が十分かどうかを確認してください。
KAVX0434-E	マウントポイントファイルのオープンに失敗しました。 マウントポイントファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** マウントポイントファイルがオープンできませんでした。 **対処** 一時ファイルディレクトリのアクセス権が適切かどうかを確認してください。 一時ファイルディレクトリは，次の場所にあります。 Windowsの場合 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先ディレクトリ＞¥DRM¥tmp
KAVX0435-E	マウントポイントファイルの読み込みに失敗しました。 マウントポイントファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** マウントポイントファイルが何らかの理由によって不整合となったり，破壊されたりしたため，マウントポイントファイルが無効となっています。 **対処** マウントポイントファイルを削除後，コマンドを再実行してください。
KAVX0436-E	不正なバックアップIDが指定されました。 drmmediabackupコマンドまたはdrmtapebackupコマンドを使用して取得したバックアップIDを指定してください。	**要因** drmmediarestoreコマンドを実行したとき，drmtapebackupまたはdrmmediabackupコマンドを使用して作成されたものではないバックアップIDが指定されました。 **対処** drmtapebackupまたはdrmmediabackupコマンドを使用してほかの媒体へのバックアップを

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		行ったときに取得したバックアップIDを指定してください。
KAVX0437-E	指定されたバックアップIDは，-rawオプションを指定しなくてはなりません。	**要因** -rawオプションを指定してマウントしたバックアップIDを，-rawオプションを指定しないでdrmmediabackupコマンドでバックアップしようとしています。 **対処** -rawオプションを指定してバックアップを再実行してください。
KAVX0438-E	指定されたバックアップIDに対応するコピーグループのロック（またはロック解除）に失敗しました。	**要因** コマンド内部でバックアップIDに対応するコピーグループのロックまたはロック解除に失敗しました。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のディクショナリマップファイル障害の対処の説明を参照して，ディクショナリマップファイルの回復手順を実行してください。
KAVX0439-E	-bkdirオプションで指定されたディレクトリが存在しません。 ディレクトリ名 = ＜バックアップファイルディレクトリ名＞	**要因** -bkdirオプションで指定したバックアップファイルのディレクトリ名が存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 存在しているバックアップファイルのディレクトリ名を指定してください。
KAVX0440-E	-bkdirで指定されたパスは無効なパスです。 ディレクトリ名 = ＜バックアップファイルディレクトリ名＞	**要因** -bkdirオプションで指定したバックアップファイルディレクトリ名が，絶対パス指定でない場合，またはルート（ドライブ文字）を指定した場合に出力されるメッセージです。 **対処** ルート（ドライブ文字）以外の絶対パス指定で，バックアップファイルディレクトリ名を指定してください。
KAVX0441-W	このバックアップIDに対して-bkdirオプションは指定できません。	**要因** バックアップファイルディレクトリが存在しないバックアップIDを指定した場合に出力されるメッセージです。 **対処** バックアップファイルディレクトリが存在するバックアップIDを指定してください。
KAVX0442-E	-bup_envオプションで指定されたファイルが存在しません。 ファイル名 = ＜構成定義ファイル名＞	**要因** 次の要因の場合に出力されるメッセージです。 ・ 指定した構成定義ファイルが存在しない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・指定した構成定義ファイル名がディレクトリパス付きである。 **対処** 存在している構成定義ファイル名を指定してください。
KAVX0443-I	コピーグループマウント定義ファイルを更新しました。 ファイル名 = ＜コピーグループマウント定義ファイル＞	**要因** コピーグループマウント定義ファイルを更新するときに表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX0444-E	コピーグループマウント定義ファイルのオープンに失敗しました。 ファイル名 = ＜コピーグループマウント定義ファイル＞	**要因** コピーグループマウント定義ファイルがオープンできませんでした。 **対処** コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は，ファイルをいったん削除してからdrmmountコマンドの-confオプションを使用して，コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。
KAVX0445-E	コピーグループマウント定義ファイルの読み込みに失敗しました。 ファイル名 = ＜コピーグループマウント定義ファイル＞	**要因** コピーグループマウント定義ファイルの読み込みができない状態，または不正に変更されたためにフォーマットが異なっている状態です。 **対処** コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は，ファイルをいったん削除してから，drmmountコマンドの-confオプションを使用して，コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。
KAVX0446-E	コピーグループマウント定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル名 = ＜コピーグループマウント定義ファイル＞	**要因** コピーグループマウント定義ファイルの書き込みに失敗した場合に表示されるメッセージです。 コピーグループマウント定義ファイルに書き込みができない状態です。 **対処** コピーグループマウント定義ファイルのアクセス権を確認してください。 ファイルが壊れている場合は，ファイルをいったん削除してからdrmmountコマンドの-confオプションを使用して，コピーグループマウント定義ファイルを再度作成してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0447-E	対象コピーグループから論理ボリューム構成を取得するのに失敗しました。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ＞	**要因** 対象となったコピーグループの副ボリュームから論理ボリューム情報を取得できませんでした。 **対処** 次の対処をしてください。 ・ベーシックディスクに対するコピーグループの場合 副ボリュームに対して論理ボリュームの作成，またはフォーマットが行われていない可能性があります。論理ボリュームの作成とフォーマットを行ってから，再度，バックアップを取得してください。 ・ダイナミックディスクに対するコピーグループの場合 drmmountコマンドにバックアップIDおよび-confオプションを指定して，コピーグループマウント定義ファイルを更新する必要があります。 ボリューム構成が正しいことが確認できない場合，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」に従って，正ボリュームのボリューム構成を副ボリュームに再反映したあと，バックアップIDおよび-confオプションを指定して，drmmountコマンドを実行してください。
KAVX0448-E	指定されたバックアップ情報のボリューム構成は，コピーグループマウント定義と異なります。	**要因** 指定したバックアップカタログとコピーグループマウント定義ファイルの論理ボリューム構成が一致しない場合に表示されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 1. 変更した正ボリュームの論理ボリューム構成をコピーグループマウント定義ファイルに反映していない。 2. 変更した正ボリュームの論理ボリューム構成をコピーグループマウント定義ファイルに反映したが，構成変更前のバックアップカタログを指定した。 **対処** 要因に応じて，次の対処をしてください。 1. drmmountコマンドに-confオプションを指定してコピーグループマウント定義ファイルの内容を更新してください。 2. 現在の構成に対するバックアップカタログのバックアップIDを指定してください。
KAVX0449-E	コピーグループマウント定義ファイルの内容が不正です。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	パラメーター名 = ＜パラメーター名＞ パラメーター値 = ＜パラメーター値＞	コピーグループマウント定義ファイルに定義された項目の内容が正しくない場合に表示されるメッセージです。 **対処** コピーグループマウント定義ファイルの項目を修正してください。 ・FSを変更する場合は，ドライブ文字から始まる絶対パスを指定してください。 FS以外を変更することはできません。 ・ボリューム構成の変更を反映する場合は，drmmountに-confオプションを指定してコピーグループマウント定義を更新してください。
KAVX0450-I	＜拡張コマンド＞コマンドを開始します。	**要因** 拡張コマンドが開始されました。 **対処** –
KAVX0451-I	＜拡張コマンド＞コマンドを終了します。	**要因** 拡張コマンドが終了しました。 **対処** –
KAVX0452-E	＜拡張コマンド＞コマンドの実行が失敗しました。	**要因** 拡張コマンドの実行が失敗しました。 **対処** 拡張コマンドのトレースログファイル（drm_script.logまたはdrm_script.log.old）に出力されたメッセージを基に次に示す対処をしてください。 ・そのオペレーションIDに関する一連の拡張コマンドが正しい順序で実行されているか，各拡張コマンドの前提条件を確認してください。 ・KAVX0452-Eのメッセージより前に出力されているエラーメッセージの内容を確認してください。
KAVX0453-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。 **対処** エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX0454-E	指定されたオペレーションIDに対する定義情報の取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ 定義ファイル名 = ＜定義ファイル名＞	**要因** 指定されたオペレーションIDに対応する定義ファイル情報を取得できませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		表示された定義ファイルが定義ファイル格納ディレクトリに存在するかどうかを確認してください。ファイルが存在する場合は，チェックツールを実行して内容の妥当性を検証してください。
KAVX0455-E	不正なオプションが指定されています。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・存在しないオプションが指定された。 ・必須オプションが指定されていない。 ・同時に指定できないオプションが指定されている。 ・オプションの指定が順番どおりに指定されていない。 **対処** 拡張コマンドの使用方法を確認してから，拡張コマンドを再度実行してください。
KAVX0456-E	バックアップIDの取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ バックアップID記録ファイル名 = ＜バックアップID記録ファイル名＞	**要因** 拡張コマンドの実行時に処理に必要なバックアップIDがバックアップID記録ファイルから取得できませんでした。 **対処** 拡張コマンドが適切な順番で実行され，バックアップID記録ファイルが作成されているか確認してください。 バックアップID記録ファイルの格納場所については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の拡張コマンド用一時ディレクトリの説明を参照してください。
KAVX0457-E	指定されたファイルの情報取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** 指定されたファイルからの情報を取得できませんでした。 **対処** 指定ファイルが存在するかを確認してください。ファイルがある場合は，その内容を確認してください。
KAVX0458-W	トレースログに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 拡張コマンドのトレースログファイル（drm_script.logまたはdrm_script.log.old）に対して処理をした際に，エラーを検知しました。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。異常がない場合，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX0459-E	＜コマンド名＞コマンドの実行に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 拡張コマンド内で起動したコマンドがエラー終了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コード = ＜コマンドの戻り値＞	**対処** 次の作業を行ってください。 ・マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI リファレンスガイド」の拡張コマンドの説明を参照して，発生の要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。 ・異常終了したコマンドがReplication Manager Application Agentのコマンド（drmxxx）の場合は，Replication Manager Application Agentのトレースログを参照して，発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。
KAVX0460-E	＜コマンド名＞コマンドの実行に失敗しました。 コード = ＜コマンドの戻り値＞	**要因** 拡張コマンド内で起動したコマンドがエラー終了しました。 **対処** 次の作業を行ってください。 ・マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI リファレンスガイド」の拡張コマンドの説明を参照して，発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。 ・異常終了したコマンドがReplication Manager Application Agentコマンド（drmxxx）の場合は，Replication Manager Application Agentのトレースログを参照して，発生要因を取り除いてからコマンドを再度実行する。
KAVX0461-E	ファイル転送処理でエラーが発生しました。 要因 = ＜ファイル転送エラーの発生要因＞ 転送元サーバ = ＜ファイル転送元のホスト名＞ 転送先サーバ = ＜ファイル転送先のホスト名＞	**要因** FTPによるファイル転送処理に失敗しました。 **対処** FTPサーバで，送信先ディレクトリに書き込み権限があるか確認してください。また，送信先ディレクトリに十分な空き容量があるか，また，ネットワークの状態が正常か確認してください。
KAVX0462-I	定義ファイルのチェックを開始します。 定義ファイル名 ＝ ＜定義ファイル名＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルのチェックが開始されました。 **対処** －
KAVX0463-I	定義ファイルのチェックを終了します。 定義ファイル中に異常は見つかりませんでした。	**要因** オプションで指定された定義ファイルのチェックが終了しました。 **対処** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0464-E	定義ファイルのチェックでエラーを検知しました。	**要因** 定義ファイルのチェックでエラーを検知しました。 **対処** 直前に表示された定義エラーのメッセージを基に対処してください。
KAVX0465-E	指定された定義ファイルの情報取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ ファイル名 = ＜定義ファイル名＞	**要因** 指定された定義ファイルの情報を取得できませんでした。 **対処** 指定ファイルがあるかを確認してください。ファイルがある場合は，その内容を確認してください。
KAVX0466-E	指定ファイル中で必須項目の設定がありません。 項目名 = ＜項目名＞	**要因** オプションで指定した定義ファイルの中で，必須項目が定義されていません。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，必須項目を定義した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0467-E	指定ファイル中で項目の値が設定されていません。 項目名 = ＜項目名＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で，必須項目の値が設定されていません。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，必須項目の値を設定した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0468-E	指定ファイル中で同一の項目が複数回設定されています。 項目名 = ＜項目名＞	**要因** 拡張コマンドのオプションで指定した定義ファイルの中で，同じ項目が複数回指定されています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，同じ項目が重複しないように設定した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0469-E	指定ファイル中で設定された項目の値が最大文字数を超えています。 項目名 = ＜項目名＞ 指定された値 = ＜項目の値＞ 最大文字数 = ＜最大文字数＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で，設定されている値の文字数が，規定されている最大文字数を超えています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，値の文字数が規定範囲内になるように設定した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0470-E	データベースからの情報取得に失敗しました。 DB_SERVER_NAME = ＜データベースサーバ名＞	**要因** 設定された内容で，データベースに接続できませんでした。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	INSTANCE_NAME = ＜インスタンス名＞ 要因 = ＜要因＞	次のどれかの要因が考えられます。 1. オプションで指定された定義ファイルの中で，設定されている項目のデータベースサーバ名またはインスタンス名が不正である。 2. SQL Serverが稼働していない。 3. データベースサーバに接続する権限がない。 4. OS標準以外のSQL Serverクライアントを使用している場合，設定に誤りがある。 **対処** 上記の要因に対して，それぞれ次の項目を確認および修正した上で，チェックツールを再度実行してください。 1. 定義ファイルの内容をチェックし，実在しないデータベースサーバ名およびインスタンス名が設定されている場合は，実在するサーバおよびインスタンス名に変更してください。 2. SQL Serverの稼働状況を確認し，停止中の場合は，SQL Serverを起動してください。 3. チェックツールを実行するユーザーのアクセス権を確認し，SQL Serverの管理者権限（sysadmin）を持つユーザーでチェックツールを実行してください。 4. OS標準以外のSQL Serverクライアントを使用するための設定に問題が無いか確認して再度コマンド実行してください。 OS標準以外のSQL Serverクライアントを使用するための設定の詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX0471-E	設定されたデータベース名が存在しません。 INSTANCE_NAME = ＜インスタンス名＞ TARGET_NAME = ＜データベース名＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で，設定されているデータベース名が不正です。 **対処** 定義ファイルの中で設定されているデータベース名があるか確認し，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0472-E	設定されたデータベース名が不正です。 INSTANCE_NAME = ＜インスタンス名＞ TARGET_NAME = ＜データベース名＞	**要因** 拡張コマンドのオプションで指定された定義ファイルの中で設定されているデータベース名をドライブバックアップの対象とすることはできません。 **対処** 定義ファイルに設定されているデータベース名を確認して，チェックツールを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX0473-E	＜パラメーター登録コマンド名＞によって対象インスタンスに対して設定された情報の取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ INSTANCE_NAME = ＜インスタンス名＞ Initialization command = ＜パラメーター登録コマンド名＞	**要因** パラメーター登録コマンド（drmsqlinitコマンドまたはdrmorainitコマンド）によって，対象インスタンスに対して設定された情報を読み取れませんでした。 **対処** 「パラメーター登録コマンド -v 対象インスタンス名」を実行して，対象インスタンス情報を取得できるか確認します。取得できない場合は，「パラメーター登録コマンド 対象インスタンス名」を実行し，情報を再度設定してからコマンドを実行してください。
KAVX0474-E	指定ファイル中で設定されたディレクトリ名が不正です。 項目名 = ＜項目名＞ ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で，指定されているディレクトリ名が不正な場合に表示されるメッセージです。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，ディレクトリ名が正しいこと，およびディレクトリが存在することを確認してください。設定内容を修正したあと，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0475-E	指定ファイル中で設定された項目の値が設定できる範囲にありません。 項目名 = ＜項目名＞ 指定値 = ＜指定値＞ 値の範囲 = ＜最小値＞から＜最大値＞までの整数	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で，項目の値として指定されている数値が規定範囲外になっています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，規定範囲内の値を指定した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0476-E	指定ファイル中のメタファイルディレクトリ情報が＜パラメーター登録コマンド名＞で設定された情報と矛盾しています。 AP_FILE_DIR = ＜拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ名＞ VDI_METAFILE_DIR = ＜パラメーター登録コマンドで設定されたメタファイルディレクトリ名＞ Initialization command = ＜パラメーター登録コマンド名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・定義ファイルで指定したファイル中のメタファイルディレクトリ情報が，パラメーター登録コマンド（drmsqlinit）で設定された情報と矛盾している。 ・実際のディレクトリ名と定義ファイルに設定されたディレクトリ名の大文字/小文字が一致していない。 **対処** 実際のディレクトリ名と拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ名に矛盾がないか，大文字/小文字の違いがないかを確認し，拡張コマンド用の定義ファイルに設定されたメタファイルディレクトリ情報を修正した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0477-I	＜コマンド名＞コマンドを開始します。	**要因** 拡張コマンド内でコマンドを起動するときに出力されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージが出力されるのは，OS搭載の標準コマンド（ftp.exe，fc.exeなど），およびReplication Manager Application Agentの内部コマンド（drmidextractなど）を起動した場合だけです。 **対処** –
KAVX0478-I	＜コマンド名＞コマンドを終了します。	**要因** 拡張コマンド内で起動したコマンドが正常終了したときに出力されるメッセージです。 このメッセージが出力されるのは，OS搭載の標準コマンド（ftp.exe，fc.exeなど），およびReplication Manager Application Agentの内部コマンド（drmidextractなど）を起動した場合だけです。 **対処** –
KAVX0479-E	定義ファイル中で指定されているBACKUP_OBJECTの値が不正です。 BACKUP_OBJECT = ＜バックアップオブジェクト名（定義ファイル中で指定されているもの）＞ 指定する値= ＜バックアップオブジェクト名＞	**要因** 指定された定義ファイルの中で指定されているBACKUP_OBJECTの値が不正です。 **対処** 定義ファイルの中に指定されているBACKUP_OBJECTを確認し，修正した上で，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0480-E	同一のターゲット名が複数回指定されています。 TARGET_NAME = ＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** オプションで指定された定義ファイルの中で指定するファイル名またはディレクトリ名の指定（TARGET_NAME）で，同じファイル名またはディレクトリ名が複数回定義されています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，ファイル名またはディレクトリ名が重複しないように設定したあと，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0481-E	定義ファイル中で指定されているホスト区分とコマンドオプションで指定されたホスト区分が 異なっています。 コマンドオプション = ＜ホスト区分（引数で指定されたもの）＞ HOST_ROLE = ＜ホスト区分（定義ファイルで指定されたもの）＞	**要因** 定義ファイルで指定したホスト区分と，拡張コマンドの引数で指定したホスト区分が異なっています。 **対処** 定義ファイルで指定するホスト区分，および拡張コマンドの引数で指定するホスト区分を見直して，二つのホスト区分を統一したあと，チェックツールを再度実行してください。
KAVX0482-E	処理続行不能なエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 処理が続行できない致命的なエラーが発生しています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ファイル名またはディレクトリ名 = ＜対象ファイル名またはディレクトリ名＞	**対処** エラーの要因については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX0483-E	拡張コマンドが規定のフォルダに配置されていません。 ファイル名 = ＜メッセージカタログファイル名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・拡張コマンドのファイルがReplication Manager Application Agentのインストールディレクトリ下にない。 ・拡張コマンドの実行に必要なファイルが見つからない。 **対処** 拡張コマンドがReplication Manager Application Agentのインストールディレクトリ下にあるか確認してください。拡張コマンドがReplication Manager Application Agentのインストールディレクトリ下にある場合は，Replication Manager Application Agentを再インストールしてください。拡張コマンドがReplication Manager Application Agentのインストールディレクトリ下にない場合は，拡張コマンドをReplication Manager Application Agentのインストールディレクトリ下に移動して，拡張コマンドを再度実行してください。
KAVX0484-W	メッセージカタログファイルからの情報取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ メッセージカタログファイル名 = ＜メッセージカタログファイル名＞	**要因** メッセージカタログファイルからメッセージ情報を取得できませんでした。メッセージカタログファイルが破壊されているおそれがあります。 **対処** Replication Manager Application Agentを再インストールしてください。
KAVX0485-W	定義ファイルから必要な項目を取得できませんでした。 デフォルト値を使用しました。 定義ファイル名 = ＜定義ファイル名＞ 項目名 = ＜項目名＞ デフォルト値 = ＜値＞	**要因** ホスト環境設定ファイルで指定したMAX_LOG_LINESの値が不正だったため，MAX_LOG_LINESの値を100,000として処理を実行しました。 **対処** ホスト環境設定ファイルで指定したMAX_LOG_LINESの値を修正し，再度チェックツールを実行してください。
KAVX0486-E	メタファイルに対する操作でエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞ ファイル名 = ＜メタファイル名＞	**要因** 拡張コマンドで操作の対象となるSQL Serverのメタファイルをコピーできませんでした。 **対処** アスタリスク指定で出力されたメタファイルがあるかどうか確認し，次に示す方法で対処してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・EX_DRM_SQLFILE_PACKコマンドを実行した場合 EX_DRM_SQL_BACKUPコマンドまたはEX_DRM_TAPE_RESTOREコマンドを実行し，メタファイルを作成してください。 ・EX_DRM_SQLFILE_EXTRACTコマンドを実行した場合 EX_DRM_FTP_PUTコマンド，EX_DRM_FTP_GETコマンド，またはEX_DRM_SQLFILE_PACKコマンドを実行し，メタファイルを転送してください。
KAVX1000-I	SQL Serverにログオンしました。	**要因** SQL Serverへのログインに成功しました。 **対処** –
KAVX1001-I	SQL Serverからログオフしました。	**要因** SQL Serverからのログオフに成功しました。 **対処** –
KAVX1002-E	指定されたデータベースは，SQL Serverに存在しません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** 指定したデータベースが，SQL Serverに存在しません。 **対処** SQL Serverに存在するデータベースを指定してください。
KAVX1003-E	SQL Serverに接続できません。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定したSQL Serverインスタンスが存在しない。 ・指定したSQL Serverインスタンスが起動していない。 ・リストア時に，シングルユーザーモードでSQL Serverを起動したときに，ほかのユーザーがSQL Serverへ接続した。 **対処** 正しいSQL Serverインスタンスを指定してください。インスタンスが正しい場合は，SQL Serverの管理ツールでインスタンスが起動していることを確認してください。また，インスタンスが起動していない場合は，インスタンスを起動してから，コマンドを再度実行してください。 システムデータベースをリストア時に，ほかのユーザーがSQL Serverへ接続してしまった場合は，対象となるSQL Serverインスタンスに，ほかのユーザーが接続しないようにしたあとに，リストアを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		コマンドを実行したOSのログインユーザーが，SQL Serverへのログインを許可されていない場合は，SQL Serverログインへ追加し，System Administratorsのサーバロールを付けてください。
KAVX1004-E	指定されたインスタンス名は不正です。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・SQL Serverに存在しないインスタンス名を指定している。 ・指定したインスタンスの環境が設定されていない。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 ・SQL Serverに存在するインスタンス名を指定して，コマンドを再度実行してください。 ・drmsqlinitコマンドで環境設定をしてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1008-E	SQL Serverに対する処理でエラーが発生しました。 処理 = ＜処理内容＞ コード = ＜SQL Server出力エラーコード＞ 要因 = ＜SQL Server出力エラーメッセージ＞	**要因** SQL Serverに対する処理でエラーが発生しました。 **対処** SQL Serverのマニュアルを参照し，エラーが発生した要因を取り除いてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1013-E	未サポートのSQL Serverバージョン上で起動しました。 SQL Serverバージョン = ＜SQL Serverバージョン＞	**要因** Replication Manager Application Agentでサポートしていないバージョンで，コマンドを実行しました。 **対処** SQL Serverのバージョンを確認してください。
KAVX1014-E	処理対象のデータベースがありません。	**要因** 処理対象として指定したデータベースが存在しません。 次の要因が考えられます。 ・drmsqlbackupコマンドまたはdrmsqllogbackupコマンドを実行した場合 ユーザーデータベースが1件も存在しない。 ・drmsqlrestoreコマンドを実行した場合 -fオプションで指定したファイルにデータベースの定義が1件もない。 ・drmsqlrecovertoolコマンドを実行した場合 リカバリが必要なデータベースが1件も存在しない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 次の対処をしてください。 ・drmsqlbackupコマンドまたはdrmsqllogbackupコマンドを実行した場合 ユーザーデータベースの存在を確認して，コマンドを再度実行してください。 ・drmsqlrestoreコマンドを実行した場合 -fオプションで指定したファイルの内容を確認して，コマンドを再度実行してください。 ・drmsqlrecovertoolコマンドを実行した場合 リカバリは不要です。
KAVX1015-E	一時データベースであるtempdbは，データベース名として指定できません。	**要因** -targetオプション，-fオプション，または-transact_log_listオプションで，データベース名として，一時データベースであるtempdbを指定した場合に表示されます。 **対処** tempdbを，データベース名として指定しないでください。
KAVX1017-I	SQL Serverの情報を取得しています。	**要因** SQL Serverから情報を取得しています。 **対処** –
KAVX1018-E	SQL Serverの停止処理に失敗しました。	**要因** 最小設定で起動したSQL Serverの停止処理に失敗した場合に出力されるメッセージです。 **対処** SQL Serverエラーログと Windowsイベントログを採取して，SQL ServerやOSの状態を確認してください。SQL ServerやOSに異常がない場合は問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX1019-E	drmsqlinitコマンドでパラメーターが設定されていません。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・トランザクションログバックアップファイル格納ディレクトリを設定しないでdrmsqllogbackupコマンドを実行した。 ・UNDOファイル格納ディレクトリを設定しないで次のコマンドを実行した。 ・-undoオプションを指定したdrmsqlrestoreコマンド ・-undoオプションを指定したdrmsqlrecoverコマンド **対処** パラメーターを設定して，コマンドを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1020-E	SQL Server起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** SQL Server起動時の自動復旧中にエラーが発生しました。 **対処** エラーの要因を取り除いてdrmsqlrestoreコマンドを再実行してください。
KAVX1021-E	SQLServerClient.confファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 ファイル名 = ＜ファイル名＞ パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** SQLServerClient.confファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 **対処** SQLServerClient.confファイルの内容を確認し，パラメーターの値を正しく設定してください。 SQLServerClient.confファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1022-E	SQLServerClient.confファイルの読み込みに失敗しました。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** SQLServerClient.confファイルの読み込みに失敗しました。 **対処** SQLServerClient.confファイルが開けるか，書き込み中でないか，を確認して再度実行してください。
KAVX1100-I	VDIメタファイル格納ディレクトリ名を入力してください：	**要因** VDIメタファイル格納ディレクトリ名について入力が待たれている状態です。 **対処** －
KAVX1101-I	VDI生成タイムアウト秒数を入力してください（0 － 3600）：	**要因** VDI生成タイムアウト秒数について入力が待たれている状態です。 **対処** 0～3,600秒の間で設定してください。
KAVX1102-I	UNDOファイル格納ディレクトリ名を入力してください：	**要因** UNDOファイル格納ディレクトリ名について入力が待たれている状態です。 **対処** －
KAVX1103-I	SQL Serverの情報を更新しました。	**要因** SQL Serverと連携するためのパラメーターを登録しました。 **対処** －

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1104-W	指定されたVDIメタファイル格納ディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・drmsqlinitコマンドで登録したVDIメタファイル格納ディレクトリの名称に誤りがある。 ・指定したVDIメタファイル格納ディレクトリが絶対パスでない。 **対処** 正しいVDI格納ディレクトリの名称を指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX1105-W	指定したVDI生成タイムアウト秒数は範囲外です。（指定できる範囲:0-3600） VDI生成タイムアウト秒数 = ＜VDI生成タイムアウト秒数＞	**要因** drmsqlinitコマンドで登録したVDI生成タイムアウト秒数に誤りがあります。 **対処** 正しいVDI生成タイムアウト秒数を指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX1106-W	指定されたUNDOファイル格納ディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・drmsqlinitコマンドで登録したUNDOファイル格納ディレクトリ名に誤りがある。 ・指定したUNDOファイル格納ディレクトリが絶対パスでない。 **対処** 正しいUNDOファイル格納ディレクトリ名を指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX1107-I	バックアップログ格納ディレクトリ名を入力してください：	**要因** バックアップログ格納ディレクトリ名について入力が待たれている状態です。 **対処** －
KAVX1108-W	指定されたディレクトリが見つかりません。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定したディレクトリは存在しない。 ・指定したディレクトリが絶対パスでない。 **対処** 正しいディレクトリ名を指定してコマンドを再度実行してください。
KAVX1110-E	指定されたインスタンスのSQL Serverが存在しません。 サービス名 = ＜サービス名＞	**要因** Application Agentの設定のSQLオプションタブで指定されたSQLインスタンスのSQL Serverサービスが存在しません。 **対処** システムに存在するSQL Serverインスタンス名か確認し，Application Agentの設定のSQL

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		オプションタブで正しいSQLインスタンス名を指定してください。
KAVX1111-E	指定されたインスタンスのSQL Serverが起動していません。 サービス名 = ＜サービス名＞	**要因** Application Agentの設定のSQLオプションタブで指定されたSQLインスタンスのSQL Serverサービスが起動していません。 **対処** SQL Serverサービスが正しく起動されているか確認してください。
KAVX1112-E	指定されたインスタンスは現在の仮想サーバに存在しません。 インスタンスの仮想サーバ名 = ＜インスタンスの仮想サーバ名＞ 現在の仮想サーバ名 = ＜現在の仮想サーバ名＞	**要因** Application Agentの設定のSQLオプションタブで指定されたSQLインスタンスは，指定された仮想サーバ名のSQLインスタンスではありません。 **対処** Application Agentの設定のSQLオプションタブで，指定された仮想サーバに存在するSQLインスタンス名を指定してください。
KAVX1113-I	指定されたSQL Serverインスタンスは現在有効です。 ホスト名 = ＜仮想サーバ名または，物理ホスト名＞ インスタンス名 = ＜SQL Serverインスタンス名＞	**要因** drmsqlinitコマンド実行時に指定されたインスタンスが現在のホストで有効なインスタンスです。 **対処** －
KAVX1202-E	VDIメタファイル格納ディレクトリは，データファイル，トランザクションログファイルと同じコピーグループに指定できません。	**要因** データファイル，トランザクションログファイル，VDIメタファイル格納ディレクトリが同じコピーグループに属しています。 データファイル，トランザクションログファイルと同じコピーグループにVDIメタファイル格納ディレクトリは配置できません。 **対処** drmsqlinitコマンドでVDIメタファイル格納ディレクトリのパスを変更してください。 コピーグループを確認する場合はdrmsqldisplayコマンドを使用してください。
KAVX1203-E	指定されたデータベースはバックアップできません。 データベース名 = ＜データベース名＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** 指定したデータベースは，バックアップできない状態です。 **対処** データベースの状態を確かめて，バックアップできる状態にしてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1204-E	指定されたデータベースは，ディレクトリにマウントされたボリュームに格納されているため，バックアップできません。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	データベース名 = ＜データベース名＞	指定したデータベースは，ディレクトリにマウントされたボリュームに格納されています。 ディレクトリにマウントされたボリュームにファイルが格納されている場合はバックアップできません。ドライブ文字が割り当てられたボリュームにすべてのファイルが格納されている必要があります。 **対処** マウントポイントディレクトリは未サポートです。
KAVX1205-E	指定されたデータベースは，RAID装置に格納されていないファイルが存在するため，バックアップできません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** ストレージシステムに，指定したデータベースを構成するファイルがすべて格納されていません。 **対処** ストレージシステムに格納されていないファイルが含まれるデータベースはバックアップできません。すべてのファイルをストレージシステムに格納する必要があります。
KAVX1207-I	データベースのバックアップ中です。	**要因** バックアップを実行しています。 **対処** –
KAVX1209-E	指定したデータベースの数が最大データベース数を超えています。	**要因** この製品で，1回のコマンドで同時に指定できるデータベース数は最大64個です。 **対処** 64個以内のデータベース数を指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX1210-E	メタファイル格納先情報の取得に失敗しました。	**要因** 対象インスタンスのSQL Serverサービスがバックアップ実行中に停止した場合で，メタファイルとデータベースのプライマリデータファイルの格納先ディレクトリが同じときに発生するメッセージです。 **対処** 対象インスタンスのSQL Serverサービスを起動し，再実行してください。
KAVX1211-E	バックアップ対象ではないデータベースのオブジェクトが，同じコピーグループに含まれています。 データベース名 = ＜データベース名＞ コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 同じコピーグループ内に，バックアップ対象のデータベース以外のファイルが含まれているため，バックアップできません。 **対処** 同じコピーグループ内に存在するデータベースを，すべて指定してください。
KAVX1212-E	タイムアウトが発生しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	VDI生成タイムアウト秒数 = ＜VDIタイムアウト秒数＞(秒)	設定された時間内にVDIメタファイルが生成できなかった場合に表示されます。 **対処** drmsqlinitコマンドのVDI生成タイムアウト秒数を現在の設定値よりも長くして，コマンドを再度実行してください。
KAVX1213-W	'sync with backup'オプションが設定されていません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** トランザクションレプリケーション環境で，ディストリビューションデータベースまたはパブリケーションデータベースにsync with backupオプションが設定されていません。 **対処** sync with backupオプションの設定を確認してください。
KAVX1300-I	リストアを開始します。	**要因** リストアが開始されました。 **対処** －
KAVX1301-I	リストアを完了しました。	**要因** リストアが正常に完了しました。 **対処** －
KAVX1302-I	リカバリを開始します。	**要因** リカバリが開始されました。 **対処** －
KAVX1303-I	リカバリを完了しました。	**要因** リカバリが正常に完了しました。 **対処** －
KAVX1304-E	-transact_log_listオプションで指定されたトランザクションログ一括定義ファイルが不正です。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・指定したファイルが存在しない。 ・指定したファイルに対する読み込み権限がない。 ・指定したファイルの内容が不正である。 ・指定したファイルが絶対パスでない。 **対処** 次の内容を確認して，コマンドを再度実行してください。 ・正しいトランザクションログ一括定義ファイル名が指定されていることを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・トランザクションログ一括定義ファイルの内容が正しく記載されているか確認してください。
KAVX1305-E	トランザクションログ一括定義ファイルで指定されたデータベースはSQL Serverに存在しません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** トランザクションログ一括定義ファイルで指定したデータベースがSQL Serverに存在しません。 **対処** トランザクションログ一括定義ファイルに正しいデータベースが指定されていることを確認してから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1306-E	トランザクションログ一括定義ファイルで指定されたトランザクションログファイルは存在しません。 ファイル名 = ＜トランザクションログファイル名＞ File name = ＜トランザクションログファイル名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・トランザクションログ一括定義ファイルで指定したトランザクションログファイルがない。 ・指定したトランザクションログファイルが絶対パスでない。 **対処** 正しいトランザクションログファイルが指定されていることを確認してから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1307-E	指定されたデータベースの情報が取得できません。 データベース = ＜データベース名＞	**要因** リストアコマンドで発生した場合 指定したバックアップID，またはインスタンスに関連するデータベースのバックアップ情報が存在しません。 ログバックアップコマンドで発生した場合 完全バックアップが実行されていないデータベース，再同期コマンドの実行によってバックアップ情報が削除されたデータベース，または完全バックアップ後にデータベース名を変更したデータベースに対して，トランザクションログバックアップが実行されました。 **対処** リストアコマンドで発生した場合 バックアップ情報が存在するデータベースを指定して，コマンドを再度実行してください。 ログバックアップコマンドで発生した場合 トランザクションログバックアップを実行する前に，完全バックアップを実行してください。
KAVX1308-E	メタファイルが不正です。 メタファイル名 = ＜メタファイル名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・メタファイルが存在しない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・メタファイルに対する読み込み権限がない。 **対処** メタファイルが存在し，読み取り権限があることを確認して，コマンドを再度実行してください。 再度実行してもこのメッセージでコマンドがエラー終了した場合は，一つ前にバックアップしたデータベースをリストアしてください。 リストア方法については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトランザクションログの適用に関する注意事項の説明を参照してください。
KAVX1309-E	-transact_log_listオプションで指定されたデータベースはリカバリ対象ではありません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** -transact_log_listオプションで指定したデータベースは，対象インスタンスに存在しますが，ターゲットとして指定されていません。 **対処** データベースをターゲットとして指定するか，-transact_log_listオプションから外してください。
KAVX1310-I	データベースはすでにリカバリされています。 処理をスキップします。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** リカバリが不要な場合，またはすでにリカバリしたデータベースに対して出力されるメッセージです。 **対処** リカバリを再度実施したい場合は，リストアおよびリカバリを実行してください。
KAVX1311-E	データベースのリカバリに失敗しました。 データベース名 = ＜データベース名＞ コード = ＜エラーコード＞ 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** データベースのリカバリに失敗しました。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
KAVX1312-E	トランザクションログのリカバリに失敗しました。 データベース名 = ＜データベース名＞ バックアップファイル名 = ＜バックアップファイル名＞ コード = ＜エラーコード＞ 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** トランザクションログのリカバリに失敗しました。 **対処** エラーの要因を取り除いて，コマンドを再度実行してください。
KAVX1313-I	クラスタリソースをオフラインにしています。	**要因** クラスタ環境で，クラスタリソースをオフラインにしています。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 －
KAVX1314-I	クラスタリソースをオンラインにしています。	**要因** クラスタ環境で，クラスタリソースをオンラインにしています。 **対処** －
KAVX1316-I	リストアの前処理を実行中です。	**要因** リストアの前処理を実行しています。 **対処** －
KAVX1318-I	リストアの後処理を実行中です。	**要因** リストアの後処理を実行しています。 **対処** －
KAVX1322-I	SQL Serverを起動します。	**要因** データベースのリストアが完了したため，停止していたSQL Serverを起動します。 **対処** －
KAVX1323-I	SQL Serverが起動されました。	**要因** データベースのリストアのために停止していたSQL Serverが起動されました。 **対処** －
KAVX1324-I	SQL Serverを最小設定で起動します。	**要因** masterデータベースをリストアするために，SQL Serverを最小設定で起動します。 **対処** －
KAVX1326-I	SQL Serverに依存するサービスを起動します。	**要因** SQL Serverを起動したあとに，停止していたSQL Serverに依存するサービスを起動します。 **対処** －
KAVX1327-I	SQL Serverに依存するサービスが起動されました。	**要因** SQL Serverを起動するために，停止していたSQL Serverに依存するサービスが起動されました。 **対処** －
KAVX1328-I	SQL Serverを停止します。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		データベースをリストアするために，SQL Serverを停止します。 **対処** –
KAVX1329-I	SQL Serverが停止されました。	**要因** データベースをリストアするために，SQL Serverが停止されました。 **対処** –
KAVX1330-I	SQL Serverに依存するサービスを停止します。	**要因** SQL Serverを停止したあとに，SQL Serverに依存するサービスを停止します。 **対処** –
KAVX1331-I	SQL Serverに依存するサービスが停止されました。	**要因** SQL Serverを停止したあとに，SQL Serverに依存するサービスが停止されました。 **対処** –
KAVX1333-E	ログの連鎖が切れています。	**要因** 次の要因が考えられます。 1. トランザクションログバックアップファイルの一覧を表示しようとした場合に，ログの連鎖が切れていた。 2. 数回実行されたトランザクションログのバックアップがあり，その中の一部のトランザクションログをロールフォワードに使用した（SQL ServerのLSNとReplication Manager Application Agentで管理しているLSNに不整合が発生することが原因です）。 **対処** 要因に応じ，それぞれ次の対処をしてください。 1. ログの連鎖が切れたトランザクションログバックアップファイルを使用しても，drmsqlrecoverコマンドではロールフォワードできません。トランザクションログバックアップファイル一覧の中から連続したログファイルだけをロールフォワードに適用してください。 2. drmsqllogbackupコマンドの-vオプションを使用して情報を表示し，リカバリで使用したトランザクションログバックアップより下の行の情報を，drmsqllogbackupコマンドの-dオプションで削除してください。または，drmsqlbackupコマンドを再度実行してから，drmsqllogbackupコマンドでト

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ランザクションログのバックアップ操作を実行してください。
KAVX1334-E	指定されたトランザクションログのバックアップIDは不正です。 バックアップID = ＜ログバックアップID＞	**要因** drmsqllogbackupコマンドの-sまたは-eオプションで指定したログバックアップIDが誤っているときに出力されるメッセージです。 指定できるログバックアップIDの値は0001～9999です。 **対処** 正しいログバックアップIDを指定して，コマンドを再度実行してください。
KAVX1335-E	トランザクションログのバックアップ情報を取得できませんでした。	**要因** トランザクションログバックアップファイルのバックアップ情報が読み込めなかったときに出力されるメッセージです。 **対処** 指定したバックアップIDに対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX1336-E	トランザクションログのバックアップIDが上限に達しています。	**要因** drmsqllogbackupコマンドを実行したときに生成されるログバックアップIDが9,999を超えたときに出力されるメッセージです。 指定したバックアップIDを基点として，これ以上トランザクションログをバックアップできません。 **対処** 新たな基点としてバックアップIDを作成するために，drmsqlbackupコマンドを実行したあと，トランザクションログバックアップを実行してください。
KAVX1337-E	トランザクションログのバックアップ情報の更新に失敗しました。	**要因** トランザクションログバックアップファイルのバックアップ情報を書き込めなかったときに出力されるメッセージです。 **対処** 指定したバックアップIDに対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX1338-I	トランザクションログバックアップファイルを削除しました。	**要因** コマンドによって，トランザクションログバックアップファイルを削除したときに出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		－
KAVX1339-E	処理対象のトランザクションログバックアップファイルがありません。	**要因** drmsqllogbackupコマンドのオプションによって指定した条件に合うトランザクションログバックアップファイルが存在しないときに出力されるメッセージです。 **対処** 指定したオプションを確認してください。オプションの指定に誤りがある場合は，オプションを変更してコマンドを再度実行してください。
KAVX1340-E	指定したバックアップIDに関連するバックアップカタログには，システムデータベースだけがバックアップされているため，トランザクションログをバックアップできません。	**要因** drmsqlbackupコマンドで，システムデータベースだけバックアップしたバックアップIDに対して，トランザクションログのバックアップを取得しようとしたときに出力されるメッセージです。 **対処** システムデータベースに対してはトランザクションログを取得できません。次のどちらかの方法で対処してください。 ・ユーザーデータベースをバックアップしたバックアップIDを指定してdrmsqllogbackupコマンドを実行する。 ・drmsqlbackupコマンドでユーザーデータベースをバックアップしてから，drmsqllogbackupコマンドを実行する。
KAVX1341-E	対象となるデータベースのトランザクションログはバックアップできません。 データベース名 = ＜データベース名＞ 要因 = ＜詳細メッセージ＞	**要因** 指定されたデータベースがバックアップできない状態のときに出力されるメッセージです。 **対処** 詳細メッセージを確認し，データベースの状態を確認してください。
KAVX1342-W	対象となるデータベースはSQL Severに存在しません。 処理をスキップします。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** 指定したデータベースがdrmsqlbackupコマンドの実行時には存在し，drmsqllogbackupコマンドによってトランザクションログのバックアップの実行時には存在していないときに出力されるメッセージです。 **対処** 指定したデータベースが存在するかを確認してください。
KAVX1343-E	トランザクションログバックアップファイルは削除できませんでした。 トランザクションログバックアップファイル名 = ＜トランザクションログバックアップファイル名＞	**要因** drmsqllogbackupコマンドによってトランザクションログバックアップファイルを削除できなかったときに出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		指定したバックアップIDに対応するトランザクションログバックアップファイルを確認してください。ファイルの状態が正しい場合，システムログを参照し，OSに異常がないかを確認してください。
KAVX1344-E	トランザクションログのバックアップに失敗しました。 データベース名 = ＜データベース名＞ コード = ＜SQL Server出力エラーコード＞ 要因 = ＜SQL Server出力エラーメッセージ＞	**要因** drmsqllogbackupコマンドによってトランザクションログがバックアップできなかったときに出力されるメッセージです。 **対処** SQL Server出力エラーコードとSQL Server出力エラーメッセージを確認し，適切な対処をしてください。
KAVX1346-E	対象となるデータベースはファイル名として使用できない文字を含んでいるため，トランザクションログのバックアップを実行できません。 処理をスキップします。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** トランザクションログのバックアップ対象となるデータベース名に，次の文字が含まれていた場合に出力されるメッセージです。 ・「¥」，「/」，「:」，「,」，「;」，「*」，「?」，「<」，「>」，「|」 **対処** トランザクションログのバックアップが必要なデータベースには，これらの文字を使用しないでください。
KAVX1347-E	SQL Serverの起動でタイムアウトが発生しました。	**要因** SQL Serverが，構成定義ファイルで定義されたタイムアウト値を超えても起動されなかった場合に出力されるメッセージです。 **対処** システムログを参照し，SQL ServerやOSに異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は，init.confのSVC_RETRY_TIMEおよびSVC_RETRY_WAITの値を変更してから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1348-E	SQL Serverの停止でタイムアウトが発生しました。	**要因** SQL Serverが，構成定義ファイルで定義されたタイムアウト値を超えても停止されなかった場合に出力されるメッセージです。 **対処** システムログを参照し，SQL ServerやOSに異常がないかを確認してください。異常が見られない場合は，init.confのSVC_RETRY_TIMEおよびSVC_RETRY_WAITの値を変更してから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1349-E	すでにメタファイルが存在します。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** drmsqlbackupコマンドでバックアップを実行するとき，作成しようとするメタファイル名と同じファイル名がすでに存在する場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		存在しているメタファイルが不要な場合は，メタファイルを削除したあとに再度実行してください。 存在しているメタファイルが必要な場合は，drmsqlinitコマンドでメタファイルの格納場所を変更したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX1350-E	システムデータベースに対して，ログのバックアップを実行することはできません。	**要因** drmsqllogbackupコマンドで，トランザクションログをバックアップするデータベースとして，システムデータベースを指定した場合に出力されるメッセージです。 **対処** システムデータベースに対してトランザクションログをバックアップすることはできません。
KAVX1351-W	データベースがバックアップされていません。 処理をスキップします。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** drmsqllogbackupコマンド実行時に，対象のデータベースがdrmsqlbackupコマンドでバックアップされていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX1353-E	システムデータベースのリストアに-nochk_hostオプションを指定できません。	**要因** drmsqlrestoreコマンドの-nochk_hostオプションで，システムデータベースを指定した場合に出力されるメッセージです。 **対処** システムデータベースをリストア対象から外してください。
KAVX1354-I	drmsqlrecoverコマンドを実行中です。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドでdrmsqlrecoverコマンドが実行中であることを示すメッセージです。 **対処** –
KAVX1355-I	リカバリを完了していないデータベースがあります。終了してよろしいですか？	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドでデータベースのリカバリを実行中に，［Exit］ボタンをクリックした場合の確認メッセージです。 **対処** –
KAVX1356-W	このファイルはすでにリストに存在します。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドでリストへファイルを追加しようとしたファイルがすでにリスト内にあります。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		同じログファイルを二重に当てることはできないので追加しないでください。
KAVX1357-W	ネットワークファイルを追加することはできません。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドでリストへファイルを追加しようとしたファイルはネットワーク上にあります。 **対処** ファイルをローカルパスに置いてください。
KAVX1358-E	drmsqlrecoverコマンドが失敗しました。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドが起動したdrmsqlrecoverコマンドでエラーが発生しました。 **対処** drm_output.logを参照しdrmsqlrecoverコマンドが失敗した要因を解決してください。
KAVX1359-E	drmsqlrecoverコマンドを起動できませんでした。	**要因** 次の要因が考えられます。 ・drmsqlrecovertoolコマンドがdrmsqlrecoverコマンドの起動に失敗した。 ・drmsqlrecovertoolコマンドがdrmsqlrecoverコマンドを実行するときに必要なtempファイルの作成に失敗した。 **対処** 要因に応じて，それぞれ次の対処をしてください。 ・drmsqlrecoverコマンドがあるか確認してください。 ・OSの起動に必要なリソースが不足の場合は，リソースを確保してください。 ・アクセス権がない場合や書き込み禁止になっている場合は適切な設定をしてください。
KAVX1360-E	Transaction log backup listに項目を追加できませんでした。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドのリストへの項目追加で失敗しました。リストの項目数の限界を超えたか，OSのリソース不足です。 **対処** 項目を減らすか，リソースを確保して再度実行してください。
KAVX1361-E	drmsqlrecovertoolコマンドはすでに起動しています。	**要因** drmsqlrecovertoolコマンドはすでに起動されています。 **対処** 起動中のdrmsqlrecovertoolコマンドを終了させてから再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1362-I	指定されたデータベースの復旧モデルは単純のため，トランザクションログのバックアップ対象外です。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** 指定したデータベースの復旧モデルは単純なため，トランザクションバックアップは取得しませんでした。 **対処** –
KAVX1363-I	サービスを開始します。 サービス名 = ＜サービス名＞	**要因** サービスを開始するときに表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX1364-I	サービスを停止します。 サービス名 = ＜サービス名＞	**要因** サービスを停止するときに表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX1365-E	指定されたデータベースはリカバリできません。 データベース名 = ＜データベース名＞ 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** 指定されたデータベースがリカバリできない状態のときに出力されるメッセージです。 **対処** 詳細メッセージを確認し，データベースの状態を確認してください。
KAVX1366-E	他のユーザーが使用中のためデタッチできません。 データベース名 = ＜データベース名＞	**要因** リストア対象のデータベースをほかのユーザーが使用しているためデタッチできません。 **対処** 対象データベースへのアクセスを解除してから再度実行してください。
KAVX1367-E	指定されたデータベースはリストアできません。 データベース名 = ＜データベース名＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** 指定されたデータベースがリストアできない状態のときに出力されるメッセージです。 **対処** 詳細メッセージを確認し，データベースの状態を確認してください。
KAVX1368-E	指定されたバックアップIDは，バックアップ時のSQL Serverのバージョンがリストア先と異なるためリストアできません。 バックアップID = ＜指定されたバックアップID＞ バックアップ時のSQL Serverのバージョン = ＜SQL Serverのバージョン＞ リストア先のSQL Serverのバージョン = ＜SQL Serverのバージョン＞	**要因** バックアップ時のSQL Serverのバージョンとリストア先のSQL Serverのバージョンが異なるため，指定されたバックアップIDではリストアできません。 **対処** バックアップ時のSQL Serverのバージョンとリストア先のSQL Serverのバージョンを同じにしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1369-E	システムデータベースはバックアップ時と異なるインスタンスにリストアできません。	**要因** システムデータベースを含むリストアでは-instanceオプションを指定できません。 **対処** リストアするデータベースにはユーザーデータベースだけを指定してください。
KAVX1370-E	データベース ＜データベース名＞ の状態取得に失敗しました。	**要因** データベースの状態確認に失敗しました。 **対処** SQL Serverのマニュアルを参照してエラーの要因を取り除いてから，コマンドを再実行してください。
KAVX1371-I	データベースの静止化処理を開始します。	**要因** データベースの静止化処理を開始するときに表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX1372-I	データベースの静止化解除処理を終了します。	**要因** データベースの静止化解除処理が終了したときに表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX1401-E	データベースのバックアップ情報取得に失敗しました。	**要因** ログバックアップ起点情報カタログの読み込みに失敗したときに表示されるメッセージです。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX1501-E	Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。 処理 = ＜処理内容＞ 要因 = ＜エラー要因＞	**要因** Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。 **対処** Exchange Serverのマニュアルを参照して，エラーが発生した要因を取り除いてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1502-E	Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。 処理 = ＜処理内容＞ コード = ＜エラーコード＞	**要因** Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。 **対処** Exchange Serverのマニュアルを参照して，エラーが発生した要因を取り除いてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1503-E	Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。 処理 = ＜処理内容＞	**要因** Exchange Serverに対する処理でエラーが発生しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コード = ＜エラーコード＞ 要因 = ＜エラー要因＞	**対処** Exchange Serverのマニュアルを参照して，エラーの要因を取り除いてから，コマンドを再度実行してください。
KAVX1509-E	Exchange Serverが該当するマシンにインストールされていません。	**要因** Exchange Serverのインストール時に設定されるレジストリキーが見つかりません。または，Exchange Serverが該当するマシンにインストールされていません。 **対処** Exchange Serverを該当するマシンにインストールしてください。
KAVX1514-E	Exchange Server情報の取得に失敗しました。	**要因** Exchange Serverの構成情報の取得時に，エラーが発生したときに出力されるメッセージです。 **対処** Exchange Serverのインストールされているドメインの DNSサーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかを確認してください。異常が見られない場合は，Exchange Serverのマニュアルを参照し，Exchange Serverが正常に動作しているかを確認してください。
KAVX1518-I	インフォメーションストアサービスを起動します。	**要因** インフォメーションストアサービスの起動を実行したことを通知するメッセージです。 **対処** －
KAVX1519-I	インフォメーションストアサービスが起動されました。	**要因** インフォメーションストアサービスの起動に成功したときに出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX1521-E	インフォメーションストアのディスマウントができませんでした。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** インフォメーションストアのディスマウントができなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** インフォメーションストアサービスを再起動して，コマンドを再度実行してください。 インフォメーションストアサービスが停止できない場合は，システムを再起動してください。
KAVX1522-E	Active Directory情報の取得に失敗しました。	**要因** Active Directory情報の取得時に，エラーが発生した場合に表示されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 Exchange ServerがインストールされているドメインのDNSサーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかどうか確認してください。
KAVX1523-E	Exchangeサーバ名がActive Directory内に存在しません。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞	**要因** Exchangeサーバ名が，Active Directory内に存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** Exchange ServerがインストールされているドメインのDNSサーバおよびドメインコントローラが正常に動作しているかどうか確認してください。
KAVX1524-E	Active Directoryに接続できませんでした。	**要因** Active Directoryに接続できなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** ログオンしているユーザー名およびパスワードを使用して，ドメインコントローラに接続できるかどうか確認してください。また，ドメインコントローラ，DNSサービスおよびネットワークが正常に動作しているかどうか確認してください。必要に応じてこのプログラムを実行しているサーバ，ドメインコントローラおよびDNSサービスのイベントログを採取し，OSの状態を確認してください。
KAVX1526-I	Exchange環境設定ファイルを読み込みました。 Exchange環境設定ファイル名 = ＜Exchange環境設定ファイル名＞	**要因** Exchange環境設定ファイルを読み込んだときに表示されます。 **対処** －
KAVX1527-E	Exchange環境設定ファイルが存在しません。 Exchange環境設定ファイル名 = ＜Exchange環境設定ファイル名＞	**要因** 指定されたExchange環境設定ファイルが存在しません。 **対処** Exchange環境設定ファイルの登録先を確認し，存在するExchange環境設定ファイルを指定してください。 Exchange環境設定ファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLIユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1528-E	Exchange環境設定ファイルのオープンに失敗しました。 Exchange環境設定ファイル名 = ＜Exchange環境設定ファイル名＞	**要因** 指定されたExchange環境設定ファイルをオープンできません。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Exchange環境設定ファイルのアクセス権を確認し，必要なアクセス権を設定してください。 Exchange環境設定ファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1529-E	Exchange環境設定ファイルに必要なパラメーターが設定されていません。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** 指定されたExchange環境設定ファイルに，必要なパラメーターが設定されていません。 **対処** Exchange環境設定ファイルの内容を確認し，必要なパラメーターを設定してください。 Exchange環境設定ファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1530-E	Exchange環境設定ファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞ パラメーター値 = ＜パラメーター値＞	**要因** 指定されたExchange環境設定ファイルに設定されたパラメーターの値が不正です。 **対処** Exchange環境設定ファイルの内容を確認し，パラメーターの値を正しく設定してください。 Exchange環境設定ファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX1531-E	指定されたインフォメーションストアは，Exchange Serverに存在しません。正しいインフォメーションストア名を指定したあと，コマンドを再実行してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 指定されたインフォメーションストアが，Exchange Serverにありません。 **対処** 正しいインフォメーションストア名を指定したあと，コマンドを再実行してください。
KAVX1532-E	マウントに失敗しました。インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** インフォメーションストアのマウントに失敗しました。 **対処** インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。
KAVX1533-E	ディスマウントに失敗しました。インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** インフォメーションストアのディスマウントに失敗しました。 **対処** インフォメーションストアサービスが停止していないか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1534-E	指定されたインフォメーションストアは，回復用データベースです。回復用データベース以外のインフォメーションストアを指定したあと，コマンドを再実行してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 指定されたインフォメーションストアは，回復用データベースです。 **対処** 回復用データベース以外のインフォメーションストアを指定したあと，コマンドを再実行してください。
KAVX1600-I	バックアップを開始します。	**要因** バックアップを開始しました。 **対処** －
KAVX1601-I	バックアップを完了しました。	**要因** バックアップが正常に完了しました。 **対処** －
KAVX1609-E	Active Directoryの情報とVSSの情報に違いがあるため，処理を中断します。	**要因** VSSから得られる情報と，Active Directoryから得られる情報に差異があるため，処理を中断する場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・バックアップコマンド実行中に，Exchange Serverの構成を変更した。 ・バックアップコマンド実行中に，インフォメーションストアのマウント・アンマウントを行った。 ・マウント中のインフォメーションストア名を変更した。 **対処** バックアップコマンド実行中には，上記操作を行わないでください。 また，マウント中のインフォメーションストア名を変更した場合は，該当するインフォメーションストアを一度ディスマウントしてから，再度マウントを行ってください。
KAVX1611-I	ベリファイ処理が成功しました。	**要因** バックアップ結果のデータベースの検証が完了しました。 **対処** －
KAVX1612-E	バックアップサーバで必要なESEUTILのファイルがありませんでした。	**要因** バックアップサーバにESEUTILコマンドがインストールされていません。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズ

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		ガイド」のVSSを使用するための設定の説明を参照してESEUTILコマンドのインストールを行ってください。
KAVX1613-W	バックアップサーバでベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 VSSバックアップからリトライを行います。	**要因** バックアップ結果のExchangeデータベースを検証した結果，異常が検出されました。VSSのバックアップ処理からリトライを行います。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX1614-E	バックアップサーバでベリファイ処理がデータベースの異常を検出しました。 処理を中断します。	**要因** バックアップ結果のExchangeデータベースを検証した結果，異常が検出されました。リトライ回数を超えたため，処理を中断します。 **対処** データベースサーバにインストールされているExchange Serverのバージョン（サービスパックを含む）とバックアップサーバにインストールされているExchange管理ツールのバージョン（サービスパックを含む）が一致しているかどうか確認してください。 また，Exchange Server 2003を使用している場合，データベースサーバとバックアップサーバでESEUTILコマンドのバージョンが一致しているかどうか確認してください。バージョンが正しい場合は，保守情報を採取し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX1615-W	VSSバックアップ処理をリトライします。 リトライ回数 = ＜リトライ回数＞ 現在のリトライ回数 = ＜現在のリトライ回数＞ 待機時間 = ＜待機時間＞	**要因** VSSバックアップ処理をリトライします。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX1617-E	イベントログをチェックした結果，Exchangeデータベースが不正な状態になっています。 イベントログの発生時刻 = ＜イベントログの発生日付・時刻＞	**要因** イベントログに，Exchangeデータベースが不正であることを示すログが出力されています。イベントログの発生日付・時刻は，YYYY/MM/DD hh:mm:ss形式で出力されます。 **対処** Microsoftの技術情報を参照して状態を修復してから，再度バックアップを行ってください。
KAVX1618-E	バックアップサーバでベリファイ処理に必要なファイルがありませんでした。	**要因** バックアップサーバに，ベリファイ処理に必要なExchange管理ツールがインストールされていません。 **対処** Exchange管理ツールをインストールしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1619-E	Microsoft Exchange Replication Serviceが開始していません。 サービスの状態を確認してください。	**要因** 要因は次のとおりです。 DAG環境でVSSバックアップを取得する際に，Microsoft Exchange Replication Serviceが起動していない。 **対処** Microsoft Exchange Replication Serviceを起動してください。
KAVX1623-E	データベースファイルが格納されているコピーグループに，トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと，コマンドを再度実行してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** バックアップ対象のインフォメーションストアのデータファイルに，トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルが格納されています。 **対処** トランザクションログファイルまたはチェックポイントファイルをデータベースファイルとは別のコピーグループに格納したあと，コマンドを再度実行してください。
KAVX1624-E	マウントされていないインフォメーションストアがあります。 VSSを使用してバックアップするインフォメーションストアは，マウントされている必要があります。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 要因は次のどちらかです。 ・バックアップを実行する際に，Exchange Information Storeサービスが起動していない。 ・バックアップを実行する際に，マウントされていないインフォメーションストアがある。 **対処** バックアップ対象のインフォメーションストアをマウントしたあと，再度バックアップを実行してください。
KAVX1625-I	バックアップサーバでデータベースを検証します。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ ファイル容量 = ＜ファイル容量＞[MB]	**要因** データベースを検証します。 **対処** －
KAVX1626-E	Exchange Serverのレプリケーション機能が正常に動作していません。DAGのレプリケーション機能が正常に動作するように設定してください。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能が正常に動作していません。 **対処** Exchange Serverのマニュアルに従ってDAGのレプリケーション機能が正常に動作するように設定してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX1627-E	循環ログが設定されているインフォメーションストアがバックアップ対象になっているため，バックアップを実行できません。バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログを設定しないでください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 循環ログが設定されているインフォメーションストアがバックアップ対象になっているため，バックアップを実行できません。 **対処** バックアップ対象のインフォメーションストアに循環ログを設定しないでください。
KAVX1628-E	実行されたコマンドの前提条件となるサービスが開始していません。サービスの状態を確認してください。 サービス名 = ＜サービス名＞	**要因** 実行されたコマンドの前提条件となるサービスが起動していません。 **対処** メッセージに出力されているサービスを起動してください。
KAVX1629-E	Exchange Management Shellを使用するために必要なライブラリのCOM登録に失敗しました。	**要因** Exchange Serverの前提.NET Frameworkが正常にインストールされていないおそれがあります。 **対処** Exchange Serverの前提.NET Frameworkが正常にインストールされていることを確認して，コマンドを再実行してください。
KAVX1700-I	リストアを開始します。	**要因** リストアを開始しました。 **対処** －
KAVX1701-I	リストアを完了しました。	**要因** リストアが正常に完了しました。 **対処** －
KAVX1705-I	一時ファイルを作成中です。	**要因** リストア対象のインフォメーションストアに存在する次のファイルの一時ファイルを作成しています。 ・データファイル（*.edbファイル） ・トランザクションログファイル（*.logファイル） **対処** －
KAVX1706-E	リストア対象の一時ファイルの作成に失敗しました。	**要因** リストア対象のインフォメーションストアに存在する次のファイルの一時ファイルの作成に失敗しました。 ・データファイル（*.edbファイル） ・トランザクションログファイル（*.logファイル）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 -recoveryオプションを指定しないで，コマンドを再度実行してください。
KAVX1707-W	一時ファイルの削除に失敗しました。 一時ファイル = ＜一時ファイル＞	**要因** 一時ファイルの削除に失敗しました。ファイルが読み取り専用属性になっています。 **対処** ファイルの属性を確認して，読み取り専用属性を解除してから，一時ファイルを手動で削除してください。
KAVX1712-E	指定されたバックアップIDに-recoveryオプションを指定していません。	**要因** ロールフォワードが必要なバックアップデータに対して，-recoveryオプションを指定しないでリストアしました。 **対処** -recoveryオプションを指定して，drmexgrestoreコマンドを実行してください。
KAVX1719-E	ログファイルのリネームに失敗しました。 変更前ファイル名 = ＜変更前ファイル名＞ 変更後ファイル名 = ＜変更後ファイル名＞	**要因** 次の要因が考えられます。 ・変更前の名前を持つファイルが存在しない。 ・変更後の名前を持つファイルがすでに存在する。 ・変更前のファイルに変更権限がない。 **対処** コマンドを実行する前に，変更前の名前のファイルが存在すること，および変更後の名前のファイルが存在しないことを確認してください。また，ファイルに変更権限が与えられていることを確認してください。
KAVX1722-E	-recoveryオプションが指定されていないためインフォメーションストア単位でリストアすることはできません。	**要因** -recoveryオプションが指定されていないためインフォメーションストア単位でリストアができませんでした。 **対処** インフォメーションストア単位でリストアを行う場合は-recoveryオプションを指定してください。
KAVX1725-E	リストアに対応していないExchange Serverバージョンのバックアップ結果が指定されました。	**要因** - **対処** バックアップ結果のExchange Serverバージョンを確認してください。
KAVX1752-E	バックアップ対象のインフォメーションストア以外のファイルが，同じコピーグループに含まれていま	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	す。同じコピーグループ内に存在するインフォメーションストアをすべて指定してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞ コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	バックアップ対象のインフォメーションストア以外のファイルが同じコピーグループに含まれているため，バックアップを実行できません。 **対処** 同じコピーグループ内に存在するインフォメーションストアをすべて指定してください。
KAVX1753-I	Exchange Serverのレプリケーション機能を中断しました。レプリケーション機能が自動的に再開しない場合，手動でレプリケーション機能を再開してください。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断しました。 **対処** メッセージに表示されたExchange Serverのレプリケーション機能が自動的に再開しない場合，手動でレプリケーション機能を再開してください。
KAVX1754-E	Exchange Serverのレプリケーション機能を中断できませんでした。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断できませんでした。 **対処** Exchange Serverのマニュアルに従ってレプリケーション機能を中断してください。
KAVX1755-I	Exchange Serverのレプリケーション機能を再開しました。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を再開しました。 **対処** －
KAVX1756-E	Exchange Serverのレプリケーション機能を再開できませんでした。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を再開できませんでした。 **対処** Exchange Serverのマニュアルに従ってレプリケーション機能を再開してください。
KAVX1757-I	シード処理を開始します。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアに対してシード処理を開始します。 **対処** －
KAVX1758-I	シード処理が完了しました。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアに対してシード処理が完了しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**対処** －
KAVX1759-E	シード処理中に再同期処理が失敗しました。手動でシード処理をしてください。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのシード処理中にデータの再同期に失敗しました。 **対処** Exchange Serverのマニュアルに従って手動でシード処理をしてください。
KAVX1760-W	Exchange Serverのレプリケーション機能はすでに中断しています。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞ インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのインフォメーションストアのレプリケーション機能を中断しようとしましたが，すでに中断していました。 **対処** －
KAVX1761-E	Exchange ServerのMicrosoft Exchange Replication Serviceが起動していません。Microsoft Exchange Replication Serviceを起動したあと，再度コマンドを実行してください。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞	**要因** 表示されたExchangeサーバのMicrosoft Exchange Replication Serviceが起動していないため，DAGのシード処理ができません。 **対処** メッセージに表示されたExchangeサーバのMicrosoft Exchange Replication Serviceを起動したあと，再度コマンドを実行してください。 Exchangeサーバの復旧が困難な場合は，以下のどちらかの対処をしたあと，再度コマンドを実行してください。 ・DAGのシード機能を使用しないでリストアを実行する。 ・表示されたExchangeサーバに対して，DAGのレプリケーション設定を無効にする。
KAVX1762-W	Exchange ServerのMicrosoft Exchange Replication Serviceが起動していません。 指定されたExchange Serverに対してレプリケーションを実施できません。 Microsoft Exchange Replication Serviceを起動して，レプリケーションの状態を正常な状態にしたあと，手動でシード処理をしてください Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞	**要因** 指定されたExchangeサーバのMicrosoft Exchange Replication Serviceが起動していないため，次の処理を実行できません。 ・DAGのレプリケーションの中断 ・DAGのシード ・DAGのレプリケーションの再開 **対処** メッセージに表示されたExchangeサーバのMicrosoft Exchange Replication Serviceを起動してください。レプリケーションの状態を正常な状態にしたあと，Exchange Serverのマニュアルに従って手動でシード処理をしてください。
KAVX1763-E	指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報を取得できません。正しいバックアップIDおよび	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	インフォメーションストアを指定してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	指定されたバックアップIDのバックアップカタログに，指定されたインフォメーションストアのバックアップ情報がありません。 **対処** 正しいバックアップIDおよびインフォメーションストアを指定してください。
KAVX1764-E	メールボックスデータベースコピーがパッシブです。リストアできません。リストア対象のメールボックスデータベースコピーをアクティブに切り替えたあと，再度リストアコマンドを実行してください。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** メールボックスデータベースコピーがパッシブの状態でリストアを実行しました。 **対処** リストア対象のメールボックスデータベースコピーをアクティブに切り替えたあと，再度リストアコマンドを実行してください。
KAVX1808-I	インフォメーションストアをディスマウントしています。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** バックアップまたはリストアするために，データベースをディスマウントしています。 **対処** –
KAVX1809-I	インフォメーションストアをマウントしています。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** バックアップまたはリストアするために，データベースをマウントしています。 **対処** –
KAVX1810-W	インフォメーションストアは，すでにディスマウントされています。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** バックアップまたはリストアの対象に指定したデータベースはすでにディスマウントされています。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX1811-W	インフォメーションストアをマウントしましたが，すでにマウントされています。 インフォメーションストア名 = ＜インフォメーションストア名＞	**要因** バックアップまたはリストアの対象に指定したデータベースはすでにマウントされています。 **対処** 対処の必要はありません。
KAVX2500-E	指定ファイル中のAP_FILE_DIRとDB_DATA_FILE_DIRに同じディレクトリ名を設定することはできません。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 定義ファイルの中で，AP_FILE_DIRとDB_DATA_FILE_DIRに同じディレクトリ名を設定しています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，AP_FILE_DIRとDB_DATA_FILE_DIRに異なるディレクトリ名を設定して，チェックツールを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2501-E	指定ファイル中のAP_FILE_DIRとBK_DATA_FILE_DIRに同じディレクトリ名を設定することはできません。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 定義ファイルの中で，AP_FILE_DIRとBK_DATA_FILE_DIRに同じディレクトリ名が設定されています。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，AP_FILE_DIRとBK_DATA_FILE_DIRに異なるディレクトリ名を設定してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2502-E	コマンドを実行する権限がありません。	**要因** 指定したコマンドを実行する権限がありません。 **対処** 権限を持っているユーザーでコマンドを再度実行してください。
KAVX2503-E	＜コマンド名＞コマンドの実行に失敗しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** 拡張コマンド内でコマンドの実行に失敗しました。 **対処** メッセージに出力されたコマンドが実行できるどうかを確認し，再度，拡張コマンドを実行してください。
KAVX2504-E	指定ファイル中のコピーグループ名が重複しています。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コピーグループ一括定義ファイル中の重複しているコピーグループを無視しました。 **対処** コピーグループ一括定義ファイルのコピーグループファイル名が重複しないように修正し，チェックツールを再度実行してください。
KAVX2505-E	ファイル転送処理でエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞ FTPサーバ = ＜FTPサーバ名＞ ファイル名またはディレクトリ名 = ＜対象ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** FTPサーバでファイル転送に失敗しました。 次の要因が考えられます。 1. ファイルの送信でこのメッセージが表示された場合 ・FTPサーバ上に対象ディレクトリがない。 ・コマンドを実行したユーザーに，FTPサーバ上の対象ディレクトリの書き込み権限がない。 ・FTPサーバ上の対象ディレクトリに十分な容量がない。 2. ファイルの受信でこのメッセージが表示された場合 ・FTPサーバ上に対象ファイルがない。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		・コマンドを実行したユーザー，FTPサーバ上の対象ファイルの読み取り権限がない。 **対処** 上記の要因を確認して問題がない場合，次のことを確認してください。 ・ ネットワークの状態が正常である。 ・ FTPサービスが起動している。
KAVX2506-E	ファイル転送処理でエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞ ファイル名またはディレクトリ名 = ＜対象ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** FTPクライアントでファイル転送に失敗しました。 次の要因が考えられます。 1. ファイル受信でこのメッセージが表示された場合 ・ローカルサーバ上に対象ディレクトリがない。 ・コマンドを実行したユーザーにローカルサーバ上の対象ディレクトリに書き込み権限がない。 ・ローカルサーバ上の対象ディレクトリに十分な容量がない。 2. ファイル送信でこのメッセージが表示された場合 ・ローカルサーバ上に対象ファイルがない。 ・コマンドを実行したユーザーに，ローカルサーバ上の対象ファイルの読み取り権限がない。 **対処** 上記の要因を確認して問題がない場合，次のことを確認してください。 ・ ネットワークの状態が正常である。 ・ FTPサービスが起動している。
KAVX2507-E	指定されたファイルのパスが不正です。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** 定義ファイルのパスが正しく指定されていません。 **対処** 定義ファイルが絶対パスで指定されていることを確認し，コマンドを再度実行してください。
KAVX2508-E	指定されたファイルが存在しません。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** 指定された定義ファイルがありません。 **対処** 指定された定義ファイルがあるかどうかを確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2509-E	指定されたファイルで設定されたコピーグループ名は存在しません。 設定値 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コピーグループ一括定義ファイル中のコピーグループ名がReplication Manager Application Agentのディクショナリマップ上にありません。 **対処** drmcgctlコマンドでReplication Manager Application Agentのディクショナリマップ上に登録されているコピーグループの一覧を出力して，指定されたコピーグループが一覧にあるかどうかを確認してください。
KAVX2510-E	指定ファイル中で設定されたコピーグループ名が不正です。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コピーグループ一括定義ファイル中のコピーグループ名の記述形式が不正です。 **対処** コピーグループ名を左詰めで記述して，コマンドを再度実行してください。
KAVX2511-E	定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名が存在しません。 INSTANCE_NAME＝＜マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイント一括定義ファイル名＞	**要因** オペレーション定義ファイルで指定されたマウントポイント名またはマウントポイント一括定義ファイルがありません。 **対処** 指定したマウントポイント名またはマウントポイント一括定義ファイルがあるか，または参照できるか確認してください。
KAVX2512-E	定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイル名またはディレクトリ名が存在しません。 TARGET_NAME＝＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** オペレーション定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名がありません。 **対処** 指定したバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名があるか，または参照できるか確認してください。
KAVX2513-E	定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリが，定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリ上に存在していません。 INSTANCE_NAME＝＜マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイント一括定義ファイル名＞ TARGET_NAME＝＜ファイル名またはディレクトリ名＞	**要因** オペレーション定義ファイルで指定されたバックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名がオペレーション定義ファイルで指定したマウントポイントディレクトリ上にありません。 **対処** バックアップ対象ファイルまたはディレクトリ名があるマウントポイントディレクトリを設定し，バックアップ対象ファイルまたはディレクトリが参照できるか確認してコマンドを再度実行してください。
KAVX2514-I	＜コマンド名＞コマンドの処理を別ウィンドウ上で続行します。コマンド用ウィンドウのメッセージを確認	**要因** 拡張コマンド内で，画面上でのメッセージ監視または対話操作が必要となるコマンドを別

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	の上，入力待ち状態の場合は必要な項目を入力してください。	ウィンドウで起動した場合にこのメッセージが表示されます。 **対処** ウィンドウ上のメッセージ表示内容を確認し，入力待ち状態となっている場合は応答を入力してください。入力待ちが発生しないコマンドの場合は，処理終了後に別ウィンドウは自動的にクローズします。
KAVX2515-I	別ウィンドウ上での ＜コマンド名＞コマンドの処理が終了しました。ウィンドウ上での拡張コマンドの処理を再開します。	**要因** 拡張コマンド内で起動し，別ウィンドウ上で実行中となっていたコマンドが終了したことを表示するメッセージです。 **対処** –
KAVX2516-E	定義ファイル中で＜項目名＞として指定されているディレクトリ構造が不正です。 項目名= ＜項目名＞ ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞ オペレーションID = ＜オペレーションID＞	**要因** オペレーション定義ファイルに記述したディレクトリに，オペレーションIDの指定値と一致するサブディレクトリがありません。 **対処** このメッセージで表示された項目がマニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の拡張コマンド用一時ディレクトリの作成規則のとおりになっているか確認し，オペレーション定義ファイルの内容を確認してください。そのあと，チェックツールを再度実行してください。
KAVX2517-E	定義ファイル中で指定されているサーバ名が設定ファイルに未定義，または，値が一致していません。 DB_SERVER_NAME = ＜定義ファイルのDB_SERVER_NAMEの値＞ 設定ファイル名 = ＜設定ファイル名＞	**要因** オペレーション定義ファイルのDB_SERVER_NAMEの値が，Replication Manager Application Agent の構成定義ファイル（init.conf）のDRM_DB_PATHに定義されているサーバ名（DRM_HOSTNAMEの値）と一致していません。 **対処** 拡張コマンドの定義ファイルおよびinit.confファイルの内容を確認し，DB_SERVER_NAMEの設定値を変更してチェックツールを再度実行してください。 init.confファイルの値を変更する場合は，Replication Manager Application Agentの環境設定手順に従ってください。
KAVX2518-E	指定されたコピーグループ一括定義ファイルの内容は無効です。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** コピーグループ一括定義ファイルにコピーグループが設定されていません。 **対処** コピーグループ一括定義ファイルにコピーグループ名を登録して，チェックツールを再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2519-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが存在しません。 マウントポイント一括定義ファイル名 ＝ ＜ファイル名＞ マウントポイント名 ＝ ＜マウントポイント名＞	**要因** マウントポイント一括定義ファイルに登録されたマウントポイントがありません。 **対処** マウントポイント一括定義ファイルを確認し，再度コマンドを実行してください。
KAVX2520-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントが記述されていません。 マウントポイント一括定義ファイル名 ＝ ＜ファイル名＞	**要因** マウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントが登録されていません。 **対処** マウントポイント一括定義ファイルにマウントポイントを登録して，再度コマンドを実行してください。
KAVX2521-E	設定ファイルからの情報取得に失敗しました。 要因 = ＜要因＞ 設定ファイル名 = ＜設定ファイル名＞	**要因** Replication Manager Application Agentの設定ファイルから必要な情報を取得できませんでした。 **対処** メッセージに出力された設定ファイルがあるかどうかを確認してください。また，ファイルがある場合，ファイルの内容を確認してください。
KAVX2522-W	指定ファイル中で設定されたディレクトリ名は余分な’/’を含んでいます。 これらの文字は無視されます。 項目名 = ＜項目名＞ ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** 指定されたディレクトリに余分な「/」が含まれています。 **対処** メッセージに出力されたディレクトリ名から余分な「/」を取り除いてから，チェックツールを再度実行してください。
KAVX2523-E	指定ファイル中で設定された値が数値でない文字を含んでいます。 項目名 = ＜項目名＞ 指定された値 = ＜項目の値＞	**要因** 定義ファイルの中でメッセージに表示された項目の値に数値以外の文字が使われています。 **対処** 項目の値に数値だけを設定してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2524-E	入力された情報の中からバックアップIDを見つけられませんでした。	**要因** Replication Manager Application Agentによって生成されたバックアップID情報が抽出できませんでした。 **対処** システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。
KAVX2525-E	指定ファイル中で記述された内容の構文が間違っています。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ファイル名 = ＜ファイル名＞	定義ファイルに登録されている内容に構文の誤りがあります。 **対処** 定義ファイルの内容を確認し，構文の誤りを修正してチェックツールを再度実行してください。
KAVX2526-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが不正です。 マウントポイント一括定義ファイル名 = ＜マウントポイント一括定義ファイル名＞ マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** マウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが不正です。 **対処** 表示されたマウントポイントが絶対パスで記述されているか，または存在しているかを確認し，適切な値を設定した上でチェックツールを再実行してください。
KAVX2527-E	定義ファイルで指定されたマウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが重複しています。 マウントポイント一括定義ファイル名 = ＜マウントポイント一括定義ファイル名＞ マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** マウントポイント一括定義ファイルに記述されているマウントポイントが重複しています。 **対処** マウントポイント一括定義ファイルに重複して指定されたマウントポイントの値を修正し，チェックツールを再実行してください。
KAVX2528-E	定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名が不正です。 INSTANCE_NAME = ＜マウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイル名＞	**要因** オペレーション定義ファイルで指定されたマウントポイントディレクトリ名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが不正です。 **対処** 指定したマウントポイント名またはマウントポイントディレクトリ一括定義ファイルが正しく記述されているかどうかを確認した上で設定内容を修正し，チェックツールを再度実行してください。
KAVX2529-E	定義ファイル中で 項目名 として指定されているディレクトリ構造が不正です。 項目名 = ＜項目名＞ ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞ DB_SERVER_NAME =＜DBサーバ名＞ INSTANCE_NAME = ＜インスタンス名＞	**要因** オペレーション定義ファイル中に記述したフォルダにDB_SERVER_NAME，およびINSTANCE_NAMEとして指定した文字列と一致したサブフォルダが存在しない場合に出力されるメッセージです。 **対処** ＜FTPルートフォルダ＞¥＜DB_SERVER_NAMEに指定した値＞¥＜INSTANCE_NAMEに指定した値＞を指定する必要があります。 オペレーション定義ファイルの内容を確認し，表示された項目に適切な値を設定した上でチェックツールを再実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX2530-E	ディクショナリマップファイルの格納ディレクトリ名を取得できませんでした。	**要因** 拡張コマンドの処理中に，drmfsdisplay -vコマンドが実行されましたが，ディクショナリマップファイル格納ディレクトリ名を取得できませんでした。 **対処** オペレーション定義ファイル中に記述されているDB_SERVER_NAMEとSET_DRM_HOSTNAMEの値を確認し，正しい情報に修正した上でチェックツールを再実行してください。
KAVX2531-E	ディレクトリの作成に失敗しました。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** ディレクトリの作成に失敗しました。 **対処** 作成しようとしたディレクトリのパスを確認してください。パスが正しい場合，システムログを参照し，OSに異常がないかどうか確認してください。異常がないときは，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX2532-I	ディレクトリの作成に成功しました。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** ディレクトリの作成に成功した場合に出力されるメッセージです。 **対処** －
KAVX2533-E	定義ファイル中で指定されているFTP_SUB_DIRのディレクトリ名が不正です。 ディレクトリ名 = ＜ディレクトリ名＞	**要因** オペレーション定義ファイル中のFTP_SUB_DIR項目に無効な文字が含まれているか，絶対パスが指定されています。 **対処** FTP_SUB_DIRの値を修正し，チェックツールを再実行してください。
KAVX2534-E	初期設定コマンドにより割り当てたVDI_METAFILE_DIRの値は拡張コマンドが使用する一時ディレクトリと同じです。 ディレクトリ名 =＜ディレクトリ名＞ 初期設定コマンド = ＜初期設定コマンド名＞	**要因** VDI_METAFILE_DIRの値と拡張コマンドが自動生成したDB_DATA_FILE_DIRの値が等しい場合に出力されるメッセージです。 **対処** VDI_METAFILE_DIRの値を修正し，チェックツールを再実行してください。
KAVX2535-I	退避元のファイルが存在しなかったため，ファイルの退避は行なわれませんでした。 退避元ファイル名 = ＜退避元ファイル名＞	**要因** 退避元のファイルがなかったため，ファイルの退避は実行されませんでした。 **対処** －
KAVX2536-I	展開元のファイルが存在しなかったため，ファイルの展開は行なわれませんでした。	**要因** 展開元のファイルがなかったため，ファイルの展開は実行されませんでした。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	展開元ファイル名 = ＜展開元ファイル名＞	-
KAVX2544-E	指定されたExchangeサーバが見つかりません。 Exchangeサーバ名 = ＜Exchangeサーバ名＞	**要因** - **対処** チェックツールEX_DRM_EXG_DEF_CHECKを実行してこのメッセージが表示された場合は，定義ファイルの項目（DB_SERVER_NAME）で指定したExchangeサーバ名を確認してください。また，定義ファイルに指定したExchangeサーバが実際に存在することを確認してください。 拡張コマンドEX_DRM_EXG_BACKUPを実行してこのメッセージが表示された場合は，-hostnameオプションで指定したExchangeサーバが実際に存在することを確認してください。
KAVX2547-E	Exchange Serverが該当するマシンにインストールされていません。	**要因** Exchange Serverが該当するマシンにインストールされていません。 **対処** Exchange Serverを該当するマシンにインストールしてください。
KAVX2548-E	定義ファイルに設定されている値が不正です。 項目名 = ＜項目名＞ 現在の値 = ＜現在の値＞ 設定する値 = ＜設定する値＞	**要因** 定義ファイルの中で指定された項目の値が不正です。 **対処** 表示されるメッセージに従って定義ファイルを確認し，修正してからチェックツールを再度実行してください。
KAVX2549-E	SQLServerClient.confファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 ファイル名 = ＜ファイル名＞ パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** SQLServerClient.confファイルに設定したパラメーターの値が不正です。 **対処** SQLServerClient.confファイルの内容を確認し，パラメーターの値を正しく設定してください。 SQLServerClient.confファイルの詳細については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLIユーザーズガイド」を参照してください。
KAVX2550-E	SQLServerClient.confファイルの読み込みに失敗しました。 ファイル名 = ＜ファイル名＞	**要因** SQLServerClient.confファイルの読み込みに失敗しました。 **対処** SQLServerClient.confファイルが開けるか，書き込み中でないか，を確認して再度実行してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5000-E	VSSによるバックアップは，このOSでは使用できません。	**要因** VSS機能が使用できないOSで，VSS機能を利用するコマンドを実行した場合に，出力されるメッセージです。 **対処** 使用したコマンドまたはオプションは，エラーが発生したOSでは使用できません。
KAVX5001-E	VSSによるバックアップは，クラスタ構成では使用できません。	**要因** VSS機能を利用するコマンドをクラスタ環境で実行した場合に，出力されるメッセージです。 **対処** 使用したコマンドまたはオプションは，クラスタ環境では使用できません。
KAVX5003-E	RM Shadow Copy Providerが使用できませんでした。 VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	**要因** VSSのハードウェアプロバイダ(RM Shadow Copy Provider)が動作しなかった場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・RM Shadow Copy Providerがインストールされていない。 ・システム環境変数VSNECRMENVFが正しく設定されていない，または設定後に再起動が行われていない。 ・コマンドデバイスのユーザー認証機能が有効になっている場合に，ローカルシステムアカウントでユーザー認証を実行していない。 **対処** VSSバックアップの環境設定が正しく行われているかを，確認してください。
KAVX5004-E	Writerでタイムアウトが発生しました。 Writer名 = ＜Writer名＞	**要因** Writerで静止化タイムアウトが発生したため，バックアップの取得に失敗した場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・ストレージグループに使用しているドライブ数が多く，ペア分割に時間が掛かる。 ・システム負荷が非常に高いため，ペア分割に時間が掛かる。 **対処** －
KAVX5005-E	VSS定義ファイルが存在しません。	**要因** VSS定義ファイルが存在しません。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		-vfオプションを指定した場合 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vss¥VSS定義ファイル名ディレクトリが存在するかどうかを確認してください。存在しない場合は，＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vsscom.conf.modelを＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vss¥VSS定義ファイル名ディレクトリにコピーして，VSS定義ファイルを作成してください。 -vfオプションを指定しなかった場合 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vsscom.confファイルが存在するかどうかを確認してください。存在しない場合は，＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vsscom.conf.modelファイルを＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vsscom.confにコピーして，VSS定義ファイルを作成してください。
KAVX5006-E	VSS定義ファイルのオープンに失敗しました。	**要因** VSS定義ファイルのオープンに失敗しました。 **対処** -vfオプションを指定した場合 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vss¥＜VSS定義ファイル名＞のアクセス権限を確認してください。 -vfオプションを指定しなかった場合 ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥vsscom.confのアクセス権限を確認してください。
KAVX5007-E	VSS定義ファイルに必要なパラメーターの設定が不正です。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** VSS定義ファイルに不正なパラメーターが設定されています。 **対処** VSS定義ファイルのパラメーター設定内容を確認してください。
KAVX5008-E	VSS定義ファイルに必要なパラメーターの設定が不正です。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞ パラメーター値 = ＜パラメーター値＞	**要因** VSS定義ファイルに不正なパラメーターが設定されています。 **対処** VSS定義ファイルのパラメーター設定内容を確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5012-E	システム環境変数＜環境変数名＞が設定されていないか，不正な値が設定されています。 VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	**要因** システム環境変数＜環境変数名＞が正しく設定されていません。 **対処** システム環境変数＜環境変数名＞が適切に設定されているか確認してください。
KAVX5013-E	ポート番号はすでに使用されています。 ポート番号 = ＜ポート番号＞	**要因** ポート番号がすでに使用されています。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のVSSを使用するための設定の説明を参照してポート番号を変更してください。
KAVX5023-E	バックアップサーバ上でエラーが発生しました。 要因 = ＜詳細メッセージ＞	**要因** バックアップサーバ上で処理が続行できないエラーが発生しました。 **対処** エラーの要因および対処方法については，「2.1. DRM-10000～DRM-19999」を参照してください。
KAVX5024-E	Protection Managerサービスでメモリー不足が発生しました。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** 接続先のホスト上でメモリー不足が発生しました。 **対処** メモリーを増設するか，仮想メモリーの設定を見直してください。
KAVX5025-W	バックアップメタデータファイルの削除に失敗しました。	**要因** 正ボリューム上のバックアップメタデータファイルの削除に失敗しました。 **対処** バックアップメタデータファイルが格納されているフォルダまたはファイルの権限を確認してください。
KAVX5026-E	バックアップサーバでバックアップメタデータファイルがすでに存在します。	**要因** すでにバックアップメタデータが存在します。 **対処** 正ボリューム上のバックアップメタデータフォルダを削除して，再度バックアップを実行してください。
KAVX5027-E	バックアップサーバでバックアップメタデータファイルの読み込みができませんでした。	**要因** バックアップメタデータファイルの読み出しに失敗しました。 **対処** 副ボリューム上のバックアップメタデータが存在するか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5028-E	バックアップサーバでバックアップメタデータファイルの書き込みができませんでした。	**要因** バックアップメタデータファイルの書き込みに失敗しました。 **対処** 正ボリュームが書き込み可能であるかどうか確認してください。
KAVX5029-E	バックアップサーバで対象のドライブのマウントに失敗しました。	**要因** - **対処** 副ボリュームがすでにマウントされていないかどうか確認してください。また，バックアップ時に，バックアップ対象のボリューム上のディレクトリに別のボリュームをマウントされていた場合，マウントに失敗する場合があります。
KAVX5030-E	バックアップサーバで対象のドライブがすでにマウントされています。	**要因** リストア対象の副ボリュームがすでにマウントされています。 **対処** drmexgcatコマンドの-backup_idオプションでコピーグループを表示し，リストア対象のコピーグループをdrmumountコマンドの-copy_groupオプションでアンマウントしてください。回復しない場合はリストア対象のコピーグループをdrmmountコマンドの-copy_groupオプションでマウントし，再度drmumountコマンドの-copy_groupオプションでアンマウントしてください。
KAVX5031-E	バックアップサーバで対象のドライブのアンマウントに失敗しました。	**要因** バックアップサーバで副ボリュームのマウントに失敗しました。 **対処** バックアップサーバでdrmumountコマンドを使用してアンマウントしてから，再度実行してください。drmumountコマンドでアンマウントできない場合は，一度drmmountコマンドでマウントしてからアンマウントを行ってください。
KAVX5032-E	バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。	**要因** バックアップサーバでマウント情報の取得に失敗しました。 **対処** バックアップサーバでリストア対象の副ボリュームをdrmmountコマンドで一度マウントしてから，drmumountコマンドでアンマウントしてください。この操作で回復できない場合は，バックアップサーバのReplication Manager Application Agentの環境に問題が発生していないかどうか確認してください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		Replication Manager Application Agentの動作環境に問題がない場合は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のトラブルシューティングの説明を参照して，資料を採取したあとで，問い合わせ窓口に連絡してください。
KAVX5033-E	バックアップサーバでVSSスナップショットのインポートに失敗しました。 VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	**要因** バックアップサーバでVSSスナップショットのインポートに失敗した場合に出力されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・ バックアップサーバにRM Shadow Copy Providerがインストールされていない。 ・ システム環境変数VSNECHORCMINST_REMOTEが正しく設定されていない，または設定後に再起動が行われていない。 ・ バックアップサーバで設定してはいけないシステム環境変数（HORCMINST，HORCC_MRCF，HORCMPERM）が設定されている。 ・ ペアの作成時に-m noreadオプションが指定されていない。 上記の要因に該当しない場合，VSSの処理で一時的な要因によりエラーが発生した可能性があります。 **対処** データベースサーバ上のアプリケーションイベントログに，エラー内容を示すイベントログ（ソースがRMVSSPRVのログ）が出力されているときがあります。このイベントログの内容についてはRAID Managerのマニュアルを参照してください。 また，コマンド実行時に使用できないツールが動作している場合があります。詳細は，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のコマンド実行時に使用できないツールを参照してください。 VSSに関するセットアップが正常に行われている場合，コマンドを再実行してください。
KAVX5034-E	VSSで使用するシステム環境変数＜環境変数名1＞もしくは＜環境変数名2＞が設定されていません。 VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	**要因** システム環境変数＜環境変数名1＞または＜環境変数名2＞のどちらも設定されていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** VSSの世代管理機能，-rcオプションまたは-cascadeオプションを使用する場合は，システム環境変数の＜環境変数名1＞を設定してください。使用しない場合は＜環境変数名2＞を設定してください。設定方法については，

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」の，VSSを使用するための設定を参照してください。
KAVX5035-E	-rcまたは-cascadeオプションを使用する場合，システム環境変数＜環境変数名＞の設定が必要です。	**要因** -rcまたは-cascadeオプションが指定されていて，かつシステム環境変数＜環境変数名＞が設定されていない場合に出力されるメッセージです。 **対処** マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド」のVSSを使用するための設定を参照して，システム環境変数＜環境変数名＞を正しく設定してください。
KAVX5036-E	VSSインポートサーバのバージョンが不正です。	**要因** VSSインポートサーバのバージョンが古い場合に表示されるメッセージです。 **対処** バックアップサーバにインストールされているReplication Manager Application Agentのバージョンを確認してください。
KAVX5037-E	バックアップメタデータファイルに不整合があります。	**要因** バックアップメタデータファイルが，何かの理由によって破壊されたりしたため，バックアップメタデータファイルに不整合があります。 **対処** バックアップメタデータファイルが不整合であるため，バックアップデータをリストアできません。
KAVX5038-E	バックアップサーバのOSでは，VSSによるバックアップはできません。	**要因** - **対処** 指定されたバックアップサーバのOSではVSSを使用できません。
KAVX5039-E	バックアップサーバでシステム環境変数＜環境変数名＞が設定されていないか，不正な値が設定されています。 VSSに関するセットアップが正常に行われているか確認してください。	**要因** バックアップサーバに，システム環境変数＜環境変数名＞が設定されていません。 **対処** バックアップサーバで，メッセージに出力されたシステム環境変数を設定してください。
KAVX5040-I	Writerでタイムアウトが発生しました。 VSSバックアップ処理をリトライします。 リトライ回数 = ＜リトライ回数＞	**要因** Writerで静止化タイムアウトが発生したため，VSSバックアップ処理をリトライします。 **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	現在のリトライ回数 = ＜現在のリトライ回数＞ 待機時間 = ＜待機時間＞	
KAVX5041-E	VSSの処理でタイムアウトが発生しました。 待機時間 = ＜VSS処理待機時間＞	**要因** VSSの処理でタイムアウトエラーが発生しました。 **対処** 以下の回復手順を実施後，コマンドを再実行してください。 本エラーが繰り返し発生する場合は，問い合わせ窓口に連絡してください。 バックアップコマンド実行中にKAVX5041-Eエラーが発生した場合： バックアップサーバ上で，バックアップ対象のコピーグループの副ボリュームがマウントされている場合は，該当する副ボリュームをアンマウントしてください。 リストアコマンド実行中にKAVX5041-Eエラーが発生した場合： 特に回復処理は必要ありません。
KAVX5042-E	VSS Writerが存在しません。 VSS Writer名 = ＜VSS Writer名＞	**要因** VSS Writerの一覧情報に，メッセージで表示されたVSS Writerが存在しませんでした。 OSまたはVSS Writerを提供している製品で問題が発生している可能性があります。 **対処** OSまたはVSS Writerを提供している製品で問題が発生していないか，OSまたはVSS Writerを提供している製品のテクニカルサポート部署に確認してください。 テクニカルサポート部署に確認し問題を解消した後に，コマンドを再実行してください。
KAVX5100-E	指定されたコピーパラメーター定義ファイルが存在しません。 ファイル名 = ＜ファイルパス＞	**要因** -pfオプションで指定したコピーパラメーター定義ファイルが存在しません。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5101-I	コピーパラメーターの値として次の定義を有効値とします。 ＜パラメーター名＞=＜値＞［＜パラメーター取得元ファイル＞］	**要因** -pfオプションで指定したコピーパラメーター定義ファイルとRAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）を読み込んだ場合に，有効となった定義が決定したときに出力されるメッセージです。 **対処** -

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5102-E	RAID管理ソフトウェアと連携するための定義ファイル（DEFAULT.dat）に必須のパラメーターが定義されていません。 パラメーター名 = ＜パラメーター名＞	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）を読み込んだ結果，定義が必要なパラメーターが記述されていませんでした。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5103-E	バックアップ処理対象となったコピーグループのペア識別子が一致しません。 コピーグループ名[MU#] = ＜コピーグループ名＞[＜MU番号＞]，＜コピーグループ名＞[＜MU番号＞]	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のCONFIRM_GENERATION_IDENTICALパラメーターにENABLEを指定した状態でバックアップコマンドを実行し，コピーグループを自動選択したときに，ペア識別子（MU#）が一致しませんでした。なお，このエラーは，VSSを使用している場合でも発生する可能性があります。 **対処** 次のどちらかの方法で解決してください。 ・コピーグループをロックするなどして同じペア識別子が選択されるようにしてください。 ・RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のCONFIRM_GENERATION_IDENTICALパラメーターにDISABLEを指定し，再度実行してください（ローカルサイトでのバックアップの場合で，VSSを使用していないときだけ有効です）。
KAVX5104-W	バックアップ処理対象となったコピーグループのペア識別子が一致しません。リストア時に失敗する可能性があります。 コピーグループ名[MU#] = ＜コピーグループ名＞[＜MU番号＞]，＜コピーグループ名＞[＜MU番号＞]	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）のCONFIRM_GENERATION_IDENTICALパラメーターにDISABLEを指定した状態，またはCONFIRM_GENERATION_IDENTICALパラメーターを記述していない状態でバックアップコマンドを実行し，コピーグループを自動選択したときに，ペア識別子（MU#）が一致しませんでした。 **対処** リストア時には同じ正ボリュームを持つすべてのコピーグループに対してペア分割処理を行ってください。
KAVX5105-W	ボリュームのリストアは完了しましたが，正ボリュームと副ボリュームの逆転に失敗しました。	**要因** リモートコピーのコピーグループを対象にしたリストア処理で，正ボリュームと副ボリュームが反転した状態でコマンドが終了した場合に出力されるメッセージです。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正ボリュームと副ボリュームの反転によるペア再同期を利用して副ボリュームからリストアする手順については，「6.2.1. KAVX5105-Wの対処」を参照してください。
KAVX5106-E	処理対象のコピーグループの状態が不正です。	**要因** 処理対象のコピーグループの状態が不正の場合に出力されるメッセージです。 **対処** 状態が不正だったコピーグループの内容を確認してから，コピーグループを正常な状態に変更してください。
KAVX5107-E	処理対象に関連したコピーグループの状態が不正です。	**要因** 処理対象外のコピーグループの状態が不正の場合に出力されるメッセージです。 **対処** 状態が不正だったコピーグループの内容を確認してから，コピーグループを正常な状態に変更してください。
KAVX5108-I	コピーグループの再同期を実行します。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コピーグループを再同期する場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5109-I	コピーグループのペア分割を実行します。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** コピーグループをペア分割する場合に出力されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5110-I	マウントを実行します。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** マウントを行った場合に表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5111-I	アンマウントを実行します。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** アンマウントを行った場合に表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5112-I	クラスタリソースをオンラインにします。 クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞	**要因** クラスタリソースをオンラインにする場合に表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5113-I	クラスタリソースをオフラインにします。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞	クラスタリソースをオフラインにする場合に表示されるメッセージです。 **対処** –
KAVX5116-E	副ボリュームの論理ボリューム構成が正しくありません。	**要因** 副ボリュームから取得した実際の論理ボリューム構成がバックアップカタログまたはコピーグループマウント定義の論理ボリューム構成と一致しない場合に表示されるメッセージです。 次の要因が考えられます。 ・正ボリュームの論理ボリューム構成を変更したが，構成変更前のバックアップカタログを指定した。 ・ダイナミックディスクをコピーグループ指定でマウントしようとしたが，コピーグループマウント定義が作成されていない。 **対処** 次の対処をしてください。 ・バックアップIDで指定したバックアップカタログが現在の正ボリュームの論理ボリューム構成をバックアップした際に作成されたものか確認してください。 ・現在の正ボリュームの構成に対するバックアップ情報のバックアップIDを指定してください。 ・正ボリュームの論理ボリューム構成を変更した場合は，副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。 ・ダイナミックディスク構成のコピーグループを指定した場合，コピーグループマウント定義ファイルが作成されているか確認してください。あらかじめコピーグループマウント定義ファイルの作成が必要です。副ボリュームをマウントするための設定を確認してください。 ・上記以外の場合，副ボリュームをマウントするための設定を再度行ってください。
KAVX5118-E	ペアステータスが ＜ペアステータス＞ であることを確認してください。	**要因** コピーグループのペア状態が期待していたものと異なる場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5119-E	ペアステータス確認のリトライがタイムアウトしました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	待機ペアステータス = ＜ペアステータス＞ ＜リトライ回数パラメーター名＞ = ＜リトライ回数パラメーター値＞(回) ＜リトライ待ち時間パラメーター名＞ = ＜リトライ待ち時間パラメーター値＞(10ミリ秒)	ペア状態の確認を行いましたが，設定した時間内に期待したペア状態を取得できなかった場合に表示されるメッセージです。 ペア状態は，リトライ待ち時間パラメーター値で設定された時間間隔ごとに，リトライ回数パラメーター値で設定された回数だけ確認されます。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5120-E	コピーグループに対する処理でエラーが発生しました。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞	**要因** 対象のコピーグループでエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5121-E	バックアップカタログと現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。 要因 = ＜要因＞	**要因** リストア実行時のドライブ構成とバックアップ実行時のドライブ構成が異なっているため，リストアできない場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5122-E	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞ ボリューム名 = ＜ボリューム名＞	**要因** マウントポイントをマウントまたはアンマウントできなかった場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5123-E	マウントポイント名の取得に失敗しました。 ボリューム名 = ＜ボリューム名＞	**要因** マウントポイントの取得に失敗し，アンマウントに失敗した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5124-E	コピーグループを選択する処理でエラーが発生しました。 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** バックアップ実行時，コピーグループの世代識別名の選択を行う場合に，ユーザーの指定した世代または使用できる世代が存在しないときに表示されるメッセージです。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5126-E	論理ボリュームに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞ 要因 = ＜要因＞	**要因** 対象の論理ボリュームに対する処理でエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5127-E	RAID Managerに関連する処理でエラーが発生しました。 インスタンス番号 = ＜インスタンス番号＞	**要因** RAID Managerのインスタンスの起動・停止に関してエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5129-E	バックアップカタログと現在の構成を比較する処理でエラーが発生しました。 バックアップカタログ情報 ディスクグループ名 = ＜ディスクグループ名＞	**要因** リストア実行時のドライブ構成とバックアップ実行時のドライブ構成が異なっているため，リストアできない場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5132-E	マウントポイントに対する処理でエラーが発生しました。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** エラーの発生したマウントポイント名を取得できた場合に表示されるメッセージです。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5133-E	物理ドライブに対する処理でエラーが発生しました。 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞	**要因** エラーの発生した物理ドライブ名を取得しました。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5134-E	ディスクリソースに対する処理でエラーが発生しました。 ディスクリソース名 = ＜ディスクリソース名＞	**要因** エラーの発生したディスクリソース名を取得しました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5135-I	＜ディスクリソース名＞に拡張メンテナンスモードを設定しました。	**要因** ディスクリソースを拡張メンテナンスモードに設定しました。 **対処** －
KAVX5136-I	＜ディスクリソース名＞の拡張メンテナンスモードを解除しました。	**要因** ディスクリソースの拡張メンテナンスモードを解除しました。 **対処** －
KAVX5137-E	ディスクSignatureが変更されたため物理ディスクリソースをオンラインにできません。 クラスタリソース名 = ＜クラスタリソース名＞ 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞ ディスクSignature = ＜ディスクSignature(変更前)＞-> ＜ディスクSignature(変更後)＞	**要因** 副ボリュームのディスクSignatureが変更されているため，正ボリュームへのリストアコマンドが中断されました。 **対処** ディスクSignatureの変更によって正ボリュームへのリストアコマンドが中断された場合の対処については，「6.2.2. KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041の対処」を参照してください。
KAVX5138-E	ディスクSignatureの取得に失敗しました。 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞	**要因** ディスクSignatureの取得に失敗しました。 **対処** システムログを参照し，対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかを確認し，要因を取り除いてください。
KAVX5139-E	ディスクSignatureの更新に失敗しました。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞ 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞	**要因** ディスクSignatureの更新に失敗しました。 **対処** -sigviewオプションを指定してdrmdevctlコマンドを実行し，物理ドライブデバイスが表示されるか確認してください。 物理ドライブデバイスが表示される場合 物理ドライブデバイスに対する書き込みアクセスがエラーとなりました。物理ドライブデバイスの状態を確認してください。 クラスタソフトウェアによって物理ドライブがオフライン状態になっているとアクセスできません。 コピーグループがPAIR状態の場合など，ストレージシステムによって書き込みが禁止されているとアクセスできません。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		これらの要因以外の場合は，システムログを参照して，対象の物理ドライブに関して異常を表すメッセージが出力されていないかどうかを確認し，要因を取り除いてください。 物理ドライブデバイスがUNKNOWNの場合 物理ドライブデバイスが隠ぺいされています。バックアップIDまたはコピーグループを指定してデバイスの公開を行ってください。 物理ドライブデバイスを隠ぺいしていない場合は，RAID Managerおよびストレージシステムの設定を見直し，コピーグループのボリュームがサーバの物理ドライブデバイスとして正しくマッピングされているかどうかを確認してください。
KAVX5140-I	ディスクSignatureを更新しました。 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞	**要因** ディスクSignatureの更新に成功した通知がOSから送られました。 **対処** -sigviewオプションを指定してdrmdevctlコマンドを実行し，ディスクSignatureが正しく更新されたことを再確認してください。
KAVX5141-E	このバックアップ情報ではディスクSignatureを更新できません。	**要因** バックアップカタログにディスクSignatureが記録されていないため，ディスクSignatureを更新できません。 **対処** バックアップIDとともに-sigviewオプションを指定してdrmdevctlコマンドを実行し，バックアップ時のディスクSignatureに「--------」以外の値が表示されるか確認してください。 以前のバージョンのReplication Manager Application Agentでバックアップした場合，バックアップカタログに「--------」が表示されることがあります。この場合は，バックアップIDを指定したディスクSignatureの更新はできません。 コピーグループを指定してディスクSignatureの更新を行ってください。
KAVX5142-E	指定されたディスクSignature引数は正しくありません。 引数 = ＜引数＞	**要因** コマンド引数で指定されたディスクSignatureが正しくありません。 ディスクSignatureは，ドライブのパーティションスタイルによって指定する形式が異なります。 MBRディスクの場合：16進数8けた GPTディスクの場合：GUID形式 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		正しい形式のディスクSignatureを指定して，コマンドを再実行してください。
KAVX5143-W	ボリュームへの現在のハンドルを無効にしました。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** 論理ボリュームのオープンハンドルをすべて無効化し，処理を続行しました。 **対処** 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用しているかどうか確認してください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用している場合，コマンドを実行する前に対象のボリュームをアプリケーションからリリースすることをお勧めします。
KAVX5144-E	ボリュームへの現在のハンドルを無効にするのに失敗しました。 マウントポイント名 = ＜マウントポイント名＞	**要因** このメッセージは，次のどちらかの場合に出力されます。 ・論理ボリュームのオープンハンドル確認に失敗した場合 ・論理ボリュームのすべてのオープンハンドルを無効化できなかった場合 **対処** 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用しているかどうか確認してください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用している場合，コマンドを実行する前に対象のボリュームをアプリケーションからリリースしてください。 対象のボリュームをほかのアプリケーションが使用していない場合，システムログを参照し，エラー要因を取り除くために対象のボリュームに関するエラーメッセージを確認してください。
KAVX5145-E	論理ボリュームに不良ビットが設定されています。 ボリューム名 = ＜論理ボリューム名＞	**要因** クラスタリソースがオフラインのとき，論理ボリュームに不良ビットが設定されています。 論理ボリュームに不良ビットが設定されている場合，クラスタリソースのオンラインへの切り替え処理が失敗するため，処理が中断されます。 **対処** 次の手順に従って不良ビットを解消し，コマンドを再実行してください。 1. クラスタリソースがオフラインであることを確認してください。 2. CHKDSKコマンドを実行してください。 CHKDSK /F /X ＜論理ボリューム名＞ 3. クラスタリソースをオンラインにしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5146-E	副ボリュームがマウントされています。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞ マウントポイント = ＜バックアップサーバのマウントポイントディレクトリ名＞	**要因** 副ボリュームがマウントされています。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5147-E	副ボリュームが隠ぺいされていません。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞ 物理ドライブ名 = ＜バックアップサーバの物理ドライブ名＞ SERIAL番号 = ＜SERIAL番号＞ LDEV番号 = ＜LDEV番号＞	**要因** 副ボリュームのドライブが隠ぺいされていません。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5148-E	クラスタ環境で複数世代の場合は，副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	**要因** KAVX5147-Eのエラーが出力された理由を示します。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX5147-EおよびKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5149-E	VSSで複数世代の場合は，副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	**要因** KAVX5147-Eのエラーが出力された理由を示します。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX5147-EおよびKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5150-E	ダイナミックディスクで複数世代の場合は，副ボリュームは隠ぺいされている必要があります。	**要因** KAVX5147-Eのエラーが出力された理由を示します。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX5147-EおよびKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5151-E	副ボリューム側のペアステータスが正しくありません。 コピーグループ名 = ＜コピーグループ名＞ 副ボリュームのMU# = ＜副ボリュームのMU番号＞ ペアステータス = ＜ペアステータス＞	**要因** リモートサイトのコピーグループの状態が不正です。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX5147-EおよびKAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5152-I	バックアップ処理でエラーが発生したため，ペア分割を試みます。	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）に

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ペア分割に失敗しても処理を継続します。	RECOVERY_MODE_ON_BACKUP_ABORTING=PAIRSPLITパラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** –
KAVX5153-I	全てのコピーグループに対してペア分割を実行しました。	**要因** RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）にRECOVERY_MODE_ON_BACKUP_ABORTING=PAIRSPLITパラメーターを記述した状態でバックアップコマンドを実行したときに，エラーが発生しました。 **対処** –
KAVX5154-I	コピーグループのペア分割に成功しました。	**要因** KAVX5152-Iが出力されたあとに実行されたペア分割処理に成功しました。 **対処** –
KAVX5155-W	コピーグループのペア分割に失敗しました。	**要因** KAVX5152-Iが出力されたあとに実行されたペア分割処理に失敗しました。 **対処** ペア分割に失敗したコピーグループのペア状態を確認し，PAIRの場合はペア分割を行ってください。
KAVX5156-I	バックアップカタログをエクスポートします。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ バックアップID = ＜バックアップID＞	**要因** エクスポート処理を行うときに出力されます。 **対処** –
KAVX5157-I	バックアップカタログをエクスポートしました。	**要因** エクスポート処理に成功したときに出力されます。 **対処** –
KAVX5158-I	バックアップカタログをインポートします。 ホスト名 = ＜ホスト名＞	**要因** バックアップサーバに接続して，カタログを転送およびインポートするときに出力されます。 **対処** –
KAVX5159-I	バックアップカタログをインポートしました。	**要因** バックアップサーバでのバックアップカタログのインポートに成功しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ディクショナリマップファイルパス = ＜ディクショナリマップファイルパス＞ インポートされたバックアップID = ＜インポートされたバックアップID＞	**対処** –
KAVX5160-E	バックアップカタログのインポートに失敗しました。	**要因** バックアップサーバでのバックアップカタログのインポートに失敗しました。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。バックアップは完了しているため，drmdbexportコマンドおよびdrmdbimportコマンドを実行してインポート処理を再度実行してください。
KAVX5161-E	バックアップカタログのエクスポートに失敗しました。	**要因** バックアップカタログのエクスポート処理に失敗しました。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。バックアップは完了しているため，drmdbexportコマンドおよびdrmdbimportコマンドを実行してインポート処理を再度実行してください。
KAVX5162-I	副ボリュームのマウントを開始します。 ホスト名 = ＜ホスト名＞ インポートされたバックアップID = ＜インポートされたバックアップID＞	**要因** バックアップサーバに接続して，副ボリュームをマウントします。 **対処** –
KAVX5163-I	副ボリュームをマウントしました。	**要因** バックアップサーバでのマウント処理に成功しました。 **対処** –
KAVX5164-E	副ボリュームのマウントに失敗しました。	**要因** バックアップサーバでのマウント処理に失敗しました。 **対処** このメッセージ以降に出力された，KAVX0006-Eの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。バックアップは完了しているため，drmmountコマンドを実行してマウント処理を再度実行してください。
KAVX5165-E	構成定義ファイル(init.conf)にDRM_DB_PATHが設定されていません。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		構成定義ファイル（init.conf）に有効なDRM_DB_PATHの記述がありません。 **対処** 構成定義ファイル（init.conf）にDRM_DB_PATHが指定されているか確認してください。
KAVX5166-W	ペアステータスの確認に失敗しました。 ペア分割の実行結果の成功/失敗にかかわらず，ペアステータスの確認をしてください。	**要因** KAVX5152-Iが出力されたあとに実行されたペア状態の確認に失敗しました。 **対処** ペア分割を試みたコピーグループのペア状態を確認し，PAIRの場合はペア分割を行ってください。
KAVX5167-I	バックアップエラー発生時にペア状態を変更する設定が有効です。	**要因** 次のすべての条件を満たすときに出力されるメッセージです。 ・RAID Manager用連携定義ファイル（DEFAULT.dat）に，バックアップ処理中にエラーが発生した場合にペア状態を変更するように設定されている。 ・バックアップ処理中にエラーが発生した場合にペア分割を実行するための準備が完了した。 **対処** このメッセージが出力されたあとにエラーが発生した場合，ペア分割処理が実行されます。
KAVX5170-E	ディスクSignatureの形式が物理ドライブのパーティションスタイルと異なっています。 ディスクSignature = ＜ディスクSignature＞ 物理ドライブ名 = ＜物理ドライブ名＞	**要因** 設定しようとしたディスクSignatureの形式と，ドライブのパーティションスタイルが異なっています。 **対処** ドライブのパーティションスタイルの形式に合ったディスクSignatureを指定して，コマンドを再実行してください。
KAVX5171-E	物理ドライブのパーティションスタイルが変更されています。	**要因** バックアップカタログに記憶しているドライブのパーティションスタイルと，現在のドライブのパーティションスタイルが異なっています。 **対処** バックアップ時のドライブのパーティションスタイルと，現在のドライブのパーティションスタイルを一致させてから，コマンドを再実行してください。
KAVX5172-E	NetBackupで必要なオプション設定が未実施のためコマンド実行に失敗しました。	**要因** NetBackup 7.7.2以降の環境で，Application Agentコマンド実行前にNetBackup

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		のBPCD_WHITELIST_PATHオプションに以下の2つのパス登録がされていない場合に発生します。 ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥log ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥tape **対処** NetBackup 7.7.2以降の環境の場合，NetBackupのBPCD_WHITELIST_PATHオプションに以下の設定を行ってから再度コマンドを実行してください。 ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥log ・ ＜Replication Manager Application Agentのインストール先＞¥DRM¥conf¥tape
KAVX5200-E	ジョブスケジュールコマンドが異常終了しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** ジョブスケジュールコマンドが失敗したため，エラーが発生しました。 **対処** このメッセージの要因となった詳細メッセージを確認し，対処してください。
KAVX5201-E	バックアップコマンドが異常終了しました。 コマンド = ＜コマンド文字列＞	**要因** バックアップコマンドの実行に失敗したため，エラーが発生しました。 **対処** バックアップジョブ結果画面の［Job Output］に表示されたメッセージIDに応じて，適切な対処をしてください。
KAVX5202-I	ジョブスケジューラが開始しました。	**要因** ジョブスケジューラが開始しました。 **対処** －
KAVX5203-I	ジョブスケジューラが正常に終了しました。	**要因** ジョブスケジューラが正常に終了しました。 **対処** －
KAVX5204-E	コマンドラインの形式が不正です。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す要因のため，ジョブスケジューラの呼び出しに失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な対処をしてください。
KAVX5205-I	＜操作名＞操作を開始しました。	**要因** 操作を開始しました。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		対処 –
KAVX5206-I	＜操作名＞操作が正常終了しました。	**要因** 操作が正常終了しました。 **対処** –
KAVX5207-E	＜操作名＞操作が異常終了しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，ジョブ実行中にエラーが発生しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な対処をしてください。
KAVX5208-E	設定ファイルを開くのに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，設定ファイルを開けませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5209-W	スケジュール設定ファイルの読み出しに失敗しました。デフォルト値がロードされます。 ファイル = ＜ファイル名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，設定ファイルを読めませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5210-E	スケジュール設定ファイルの読み出しに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュール設定ファイルを読めませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5211-E	{ schedule map file | execution output log file }の作成に失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルの作成に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5212-E	{ schedule map file | execution output log file }を開くのに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルを開けませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KAVX5213-E	設定ファイルの読み出しに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，設定ファイルを読めませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5214-E	{ schedule map file | execution output log file }からのジョブ情報の読み出しに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルを読めませんでした。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5215-E	{ schedule map file | execution output log file }へのジョブ情報の書き込みに失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルへの書き込みに失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5216-E	{ schedule map file | execution output log file }からのジョブ情報の削除に失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルからの削除中にエラーが発生しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5217-W	スケジュール設定ファイルに設定されているキーの値が不正です。デフォルト値がロードされます。 キー = { MAX_JOB_REGISTRATION_COUNT | MAX_JOB_RESULT_COUNT } 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** スケジュール設定ファイルのキーに不正な値が指定されたので，デフォルト値がロードされます。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5218-E	ジョブの更新に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，ジョブの更新に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5219-E	部分更新により，ジョブの更新が失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** スケジュール情報およびタスクスケジューラの部分的な更新のため，ジョブの更新に失敗しました。 **対処**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
		更新しようとしたジョブのスケジュール情報が不正なため，ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5220-E	部分削除により，ジョブの削除が失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** スケジュール情報およびタスクスケジューラの部分的な削除のため，ジョブの削除に失敗しました。 **対処** スケジュール情報が不正なため，ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5222-E	タスクスケジューラでのジョブの生成に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，タスクスケジューラでのジョブの生成に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5223-E	タスクスケジューラからのジョブ情報の取得に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，タスクスケジューラからのジョブ情報の取得に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5224-E	タスクスケジューラでのジョブ情報の更新に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，タスクスケジューラでのジョブ情報の更新に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5225-E	タスクスケジューラでのジョブ情報の一部の更新に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** タスクスケジューラでのジョブ情報の部分的な更新のため，ジョブの更新に失敗しました。 **対処** 更新しようとしたジョブのスケジュール情報が不正なため，ジョブを削除してから再作成してください。
KAVX5226-E	{ schedule map file | execution output log file }の削除に失敗しました。 ファイル = ＜ファイル名＞ ホスト名 = ＜ホスト名＞ 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，スケジュールマップファイルまたは実行ログファイルの削除に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5227-I	バックアップコマンドが正常に開始しました。	**要因**

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	コマンド = ＜コマンド文字列＞	バックアップコマンドが正常に開始しました。 **対処** –
KAVX5228-I	バックアップコマンドが正常に終了しました。 コマンド = ＜コマンド文字列＞	**要因** バックアップコマンドが正常に終了しました。 **対処** –
KAVX5229-E	タスクスケジューラでのジョブの削除に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，タスクスケジューラでのジョブの削除に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。
KAVX5230-E	タスクスケジューラでのジョブの実行に失敗しました。 要因 = ＜要因の説明＞	**要因** メッセージに示す原因のため，タスクスケジューラでのジョブの実行に失敗しました。 **対処** 表示される要因に応じて，適切な処理をしてください。

6.2. 特定のメッセージの対処

特定のメッセージの対処について説明します。

6.2.1. KAVX5105-Wの対処

ここでは，メッセージKAVX5105-Wが出力される原因と，その対処方法を説明します。

Synchronous ReplicationまたはAsynchronous Replicationでバックアップしたデータをリストアする場合，Replication Manager Application Agentは，正ボリュームと副ボリュームの反転によるペア再同期を利用して副ボリュームからリストアします。

Replication Manager Application Agentは，次の手順でSynchronous ReplicationまたはAsynchronous Replicationでバックアップしたデータをリストアします。

1. 最初の正ボリュームと副ボリュームの反転によってペア再同期を完了させます。
2. ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続したボリュームに対してデータをリストアします。
3. 副ボリュームと正ボリュームを再度反転し元の状態に戻します。

しかし，リストア処理中にエラーが発生した場合，これらのペア操作手順が中断されることがあります。

KAVX5105-Wのメッセージが出力された場合，最後の副ボリュームと正ボリュームの再反転に失敗し，ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続されたボリュームが副ボ

リュームとなったままの状態でリストア処理が終了しています。ファイルサーバやデータベースサーバに接続されたボリュームに対してのリストアが完了しているため，本来の正ボリュームが副ボリュームとなった状態で，ファイルサーバやデータベースサーバでボリュームを使用した運用を開始できてしまいます。

しかし，このままの状態で運用を開始すると，このコピーグループに対してバックアップコマンドなどReplication Manager Application Agentのコマンドを実行できません。

まずは，RAID Managerのログ情報を参照して，最後の正ボリュームと副ボリュームの反転が失敗した原因を確認し，その原因を除去してください。そのあと，次の手順で，ボリュームの状態を回復してください。

正ボリュームと副ボリュームの反転に失敗した状態から回復するには：

1. 正ボリューム，副ボリュームの両方を管理するRAID Managerインスタンスが起動していることを確認します。
2. ファイルサーバまたはデータベースサーバに接続されたボリュームを管理するRAID ManagerインスタンスおよびSynchronous ReplicationまたはAsynchronous Replicationのペアボリュームを操作するための環境変数を設定します。

   この例では，RAID Managerを管理するインスタンスを「HORCMINST=0」とします。また，Synchronous ReplicationまたはAsynchronous Replicationのペアボリュームを操作するための環境変数は，「HORCC_MRCF=」と設定します。

   ```
   PROMPT> set HORCMINST=0
   PROMPT> set HORCC_MRCF=
   ```

3. リストア対象となったコピーグループを確認します。

   この例では，バックアップID「0000000001」がリストア対象となっています。

   ```
   PROMPT > drmsqlcat DEFAULT -backup_id 0000000001
   INSTANCE: DEFAULT
   BACKUP-ID: 0000000001 BACKUP-MODE: ONLINE INSTANCE: DEFAULT ORIGINAL-ID:
    0000000001
   START-TIME: 2021/06/01 10:00:00 END-TIME: 2021/06/01 10:03:00 HOSTNAME: SQL1
   T  DB   OBJECT    FILE             FS  DG  DEVICE     COPY-GROUP
   M  DB1  METAFILE  C:¥METADIR¥Meta1 C:  -   -          -
   D  DB1  DATAFILE  D:¥SQL¥data1     D:  -   Harddisk1  TC01,dev01
   -  -    -         -                -   -   -          TC01,dev01
   PROMPT>
   ```

4. コピーグループのペア状態を確認します。

   正ボリュームが「PSUS」状態，副ボリュームが「SSWS」状態であることを確認します。この例では，コピーグループを「TC01,dev01」とします。

   ```
   PROMPT > pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
   ```

5. コピーグループに対して副ボリュームと正ボリュームを反転するペア再同期を行い，「PAIR」状態になるまで待ちます。

   ```
   PROMPT> pairresync -g TC01 -d dev01 -swaps
   PROMPT> pairevtwait -g TC01 -d dev01 -s pair -t 300
   ```

6. コピーグループのペア状態を確認します。

   正ボリュームおよび副ボリュームが「PAIR」状態であることを確認します。

   ```
   PROMPT> pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
   ```

7. コピーグループをペア分割し，「PSUS」状態になるまで待ちます。

```
PROMPT> pairsplit -g TC01 -d dev01 -rw
PROMPT> pairevtwait -g TC01 -d dev01 -s psus -t 300
PROMPT> pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
```

8. コピーグループのペア状態を確認します。

   正ボリュームが「PSUS」状態，副ボリュームが「SSUS」状態であることを確認します。

   ```
   PROMPT>pairdisplay -g TC01 -d dev01 -fc
   ```

6.2.2. KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041の対処

ここでは，メッセージKAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041の発生要因，回復手順，および回避方法について説明します。

KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041に対処するには，バックアップサーバで副ボリュームのディスクSignature（ディスク署名）を適切な値に変更したあと，ファイルサーバまたはデータベースサーバで副ボリュームをリストアします。回復手順の詳細は，「6.2.2.2. 回復手順（バックアップサーバでの操作）」および「6.2.2.3. 回復手順（ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作）」を参照してください。

6.2.2.1. 発生要因

KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041は，次の条件をすべて満たしたときに発生します。

- クラスタソフトウェアとしてMicrosoft Cluster ServiceまたはMicrosoft Failover Clusterを使用している。
- 副ボリュームをバックアップサーバで使用する構成となっている。
- 複数世代のバックアップを複数の副ボリュームに格納している。
- バックアップサーバで複数の副ボリュームが認識される。
- 副ボリュームのディスクSignatureが重複している。

同じ正ボリュームからバックアップした副ボリュームのディスクSignatureが重複している場合，バックアップサーバ上のWindowsによって，副ボリュームのディスクSignatureが変更されます。Microsoft Cluster ServiceまたはMicrosoft Failover Cluster を使用したクラスタ環境の場合，副ボリュームのディスクSignature が変更されると，リストアコマンドが失敗するため，KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041が発生します。

ただし，KAVX0006-E/DRM-10041の場合，データベースサーバおよびバックアップサーバ上に，次のイベントログが出力されている場合だけ，上記の要因が該当します。

- データベースサーバ上のイベントログ

  イベントID：1034

- バックアップサーバ上のイベントログ

  イベントID：58

6.2.2.2. 回復手順（バックアップサーバでの操作）

バックアップサーバで副ボリュームのディスクSignatureを適切な値に変更します。

ディスクSignatureを変更する前の事前準備

次の手順で副ボリュームのディスク状態を事前に「オンライン」にしておく必要があります。

1. コマンドプロンプトから，RAID Managerのinqraid $Phys -CLIコマンドを実行して，ディスクSignatureが変更された副ボリュームのディスク番号を確認します。

   inqraid $Phys -CLIコマンドの実行例を次に示します。

   ```
   D:¥HORCM¥etc>inqraid $Phys -CLI
   DEVICE_FILE     PORT    SERIAL  LDEV CTG  H/M/12  SSID R:Group PRODUCT_ID
   Harddisk1       CL1-C   77010114     0   -       -  0000 5:00-00 DF600F-CM
   Harddisk2       CL1-C   77010114   803   -  s/S/ss  0000 5:00-00 DF600F
   Harddisk3       CL1-C   77010114   804   -  s/S/ss  0000 5:00-00 DF600F
   Harddisk4       CL1-C   77010114   805   -  s/S/ss  0000 5:00-00 DF600F
   ```

   「DEVICE_FILE」列の数字がディスク番号です。

2. diskpartコマンドを起動します。
3. 現在のディスク状態を表示するために，「list disk」と入力します。

   サーバに接続されたディスクの一覧が表示されます。「ディスク ###」列の数字がディスク番号です。ディスク番号が手順1で確認した副ボリュームのディスク番号と一致するディスクの「状態」列に「オフライン」と表示されていることを確認します。
4. ディスク状態が「オフライン」である対象の副ボリュームに次の操作を繰り返します。
   - 「select disk <ディスク番号>」と入力します。

     「ディスク < ディスク番号> が選択されました。」と表示されます。
   - 「online disk」と入力します。

     「DiskPart は選択されたディスクをオンラインにしました。」と表示されます。
   - 「attributes disk clear readonly」と入力します。

     「ディスクの属性が正しく消去されました。」と表示されます。
   - 「attributes disk」と入力します。

     「読み取り専用 : いいえ」が表示されていることを確認します。
5. 現在のディスク状態を表示するために，「list disk」と入力します。

   ディスクSignatureが変更された副ボリュームのディスクの「状態」列に「オンライン」と表示されていることを確認します。
6. 「exit」と入力して，diskpart コマンドを終了します。

ディスクSignatureの変更

バックアップサーバで，副ボリュームのディスクSignature を変更する手順を次に示します。

1. バックアップカタログに記録されているディスクSignature を確認します。

   drmdevctl コマンドに-sigview オプションを指定してディスクSignatureを確認します。

   drmdevctlコマンドの実行例を次に示します。

```
BKServer > drmdevctl 0000000001 -sigview
COPY_GROUP   DEVICE       TYPE   CUR_DISKID BKU_DISKID
VG01,dev01   Harddisk10   MBR    ABCDEF04   ABCDEF01
VG01,dev02   Harddisk11   MBR    ABCDEF05   ABCDEF02
VG01,dev03   Harddisk12   MBR    ABCDEF06   ABCDEF03
```

上記の例では，バックアップ取得後にディスクSignature が変更されたため，現時点のディスクSignature（CUR_DISKID）とバックアップ時のディスクSignature（BKU_DISKID）が異なります。

2. バックアップ時のディスクSignature（BKU_DISKID）について，クラスタが期待する値を持つバックアップカタログを，システム上にあるすべてのバックアップカタログの中から特定します。

   クラスタが期待する値は，データベースサーバ上で出力されたイベントログ(イベントID 1034)のDescriptionを参照してください。

3. 副ボリュームのディスクSignature を変更します。

   drmdevctl コマンドに-sigset オプションを指定して，現在のディスクSignatureを手順3で確認したバックアップ時のディスクSignatureに変更します。

   drmdevctlコマンドの実行例を次に示します。

   ```
   BKServer > drmdevctl 0000000001 -sigset
   ```

4. 副ボリュームのディスクSignature が正しく変更されたことを確認します。

   drmdevctl コマンドに-sigview オプションを指定して実行します。

   別のドライブに同じディスクSignature が存在する場合など，いったん変更したディスクSignature がWindows によって再変更されることがあるため，必ず確認してください。

   drmdevctl コマンドの実行例を次に示します。

   ```
   BKServer > drmdevctl 0000000001 -sigview
   COPY_GROUP   DEVICE       TYPE   CUR_DISKID BKU_DISKID
   VG01,dev01   Harddisk10   MBR    ABCDEF01   ABCDEF01
   VG01,dev02   Harddisk11   MBR    ABCDEF02   ABCDEF02
   VG01,dev03   Harddisk12   MBR    ABCDEF03   ABCDEF03
   ```

ディスクSignatureを変更したあとの操作

次の手順で副ボリュームのディスク状態を「オフライン」に戻します。

1. RAID Manager のinqraid $Phys -CLIコマンドを使用して，ディスクSignatureを変更した副ボリュームのディスク番号を確認します。

   inqraid $Phys -CLIコマンドの実行例を次に示します。

   ```
   D:¥HORCM¥etc>inqraid $Phys -CLI
   DEVICE_FILE     PORT     SERIAL   LDEV CTG  H/M/12   SSID R:Group PRODUCT_ID
   Harddisk1       CL1-C    77010114     0   -        -   0000 5:00-00 DF600F-CM
   Harddisk2       CL1-C    77010114   803   -   s/S/ss   0000 5:00-00 DF600F
   Harddisk3       CL1-C    77010114   804   -   s/S/ss   0000 5:00-00 DF600F
   Harddisk4       CL1-C    77010114   805   -   s/S/ss   0000 5:00-00 DF600F
   ```

   「DEVICE_FILE」列の数字がディスク番号です。

2. diskpartコマンドを起動します。

3. サーバに接続されたディスクの一覧が表示されます。「ディスク ###」列の数字がディスク番号です。ディスク番号が手順1で確認した副ボリュームのディスク番号と一致するディスクの「状態」列に「オンライン」と表示されていることを確認します。
4. ディスク状態が「オンライン」で対象の副ボリュームに次の操作を繰り返します。
   - 「select disk <ディスク番号>」と入力します。

     「ディスク <ディスク番号> が選択されました。」と表示されます。
   - 「offline disk」と入力します。

     「DiskPart は選択されたディスクをオフラインにしました。」と表示されます。
5. 現在のディスク状態を表示するために，「list disk」と入力します。

   ディスクSignatureを変更した副ボリュームのディスクの「状態」列に「オフライン」と表示されていることを確認します。
6. diskpartコマンドを終了するために，「exit」と入力します。

6.2.2.3. 回復手順（ファイルサーバまたはデータベースサーバでの操作）

ファイルサーバまたはデータベースサーバでは，RAID Managerのコマンドを使用して，次の手順で副ボリュームをリストアします。

副ボリュームをリストアする手順を示します。

1. 副ボリュームをリストアできるように，クラスタリソースの状態を変更します。

   クラスタリソースがオフライン状態でのリストアを実行した場合

   クラスタリソースの物理ディスクリソースが「オフライン」状態または「失敗」状態であることを確認します。

   クラスタリソースがオンライン状態でのリストアを実行した場合

   クラスタリソースの物理ディスクリソースの状態を変更します。

   次のコマンドを実行して，物理ディスクリソースの状態を「オンライン」から「オンライン(保守)」に変更します。

   FSServer > CLUSTER RESOURCE ″リソース名″ /MAINTENANCEMODE:ON

   CLUSTERコマンドがシステムエラー 997 を返した場合，数秒間待つと，処理は正常に終了します。

   注※ ″FailoverCluster-CmdInterface″コンポーネントのインストールが必要です。
2. RAID Manager のコマンドを使用して，副ボリュームをリストアします。

   pairdisplayコマンドを実行してペア状態を確認したあと，pairresyncコマンドおよびpairsplitコマンドを実行します。 pairresyncコマンドは，ペア状態が「PSUS-SSUS」，pairsplitコマンドは，ペア状態が「PAIR-PAIR」になっていることを確認してから実行します。

   pairresyncコマンド，およびpairsplitコマンドの実行例を次に示します。

   ```
   FSServer > pairdisplay -g VG01
   FSServer > pairresync -g VG01 -restore
   FSServer > pairdisplay -g VG01
   FSServer > pairsplit -g VG01
   ```
3. クラスタリソースをオンラインにします。

クラスタリソースがオフライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタアドミニストレータを起動して，クラスタグループに含まれるすべてのクラスタリソースをオンラインにしてください。

クラスタリソースがオンライン状態でのリストアを実行した場合

クラスタリソースの物理ディスクリソースの状態を変更します。

注※ "FailoverCluster-CmdInterface"コンポーネントのインストールが必要です。

4. DBMS をリストアコマンドが実行できる状態にします。

バックアップ対象がExchange データベースの場合

システムマネージャを起動して，インフォメーションストアを再マウントします。

バックアップ対象がSQL Server データベースの場合

コマンドを実行するためのSQL Server データベースの条件については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。

5. リストアコマンドを再実行します。

Replication Manager Application Agentのリストアコマンドを再度実行してください。

6.2.2.4. 回避方法

KAVX5137-EまたはKAVX0006-E/DRM-10041を回避するために，次のどちらかの方法で運用してください。

・バックアップサーバからすべての副ボリュームを隠ぺいする

ディスクSignatureの変更を抑止するには，Replication Manager Application Agentでバックアップおよびリストアを運用する前にシステム全体に対してdrmdevctlコマンドを実行して，すべての副ボリュームを隠ぺいしてください。ただし，バックアップサーバから副ボリュームを隠ぺいする前に，ディスクSignature が変更されていることがあるため，副ボリュームを隠ぺいしたあと，すべての副ボリュームをバックアップ先としてバックアップを取得してください。副ボリュームを隠ぺいすると，すべての副ボリュームが上書きされます。副ボリュームのバックアップデータが必要な場合は，テープなどにバックアップしてから操作してください。

バックアップサーバからすべての副ボリュームを隠ぺいする方法については，マニュアル「HA Command Suite Replication Manager Software Application Agent CLI ユーザーズガイド」を参照してください。

・リストア前にディスクSignature を確認・変更する

リストア前にディスクSignature が変更されているか確認し，変更されている場合はディスクSignature を変更したあと，リストアを実行するようにしてください。 ディスクSignatureの確認・変更方法については，「6.2.2.2. 回復手順（バックアップサーバでの操作）」の「ディスクSignature の変更」を参照してください。

第7章 KFPxで始まるメッセージ

この章では，HiRDBに関するメッセージについて説明します。

7.1. KFPxメッセージの詳細

HiRDBに関するエラーメッセージを説明します。

表7.1 HiRDBのエラーメッセージの説明と表の対応

表の内容	表番号	表タイトル	メッセージの説明と対処
出力される頻度の高いメッセージについて，プレフィックスごとに表を分けて説明しています。	表7.2 HiRDBのメッセージ（KFPH）	HiRDBのメッセージ（KFPH）	各メッセージIDの「説明と対処」に記載されている内容に従ってください。
	表7.3 HiRDBのメッセージ（KFPO）	HiRDBのメッセージ（KFPO）	
	表7.4 HiRDBのメッセージ（KFPR）	HiRDBのメッセージ（KFPR）	
	表7.5 HiRDBのメッセージ（KFPS）	HiRDBのメッセージ（KFPS）	
出力される頻度の低いメッセージについて，メッセージの説明と対処ごとに表を分けて，説明しています。	表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）	HiRDBのメッセージ（対処不要）	このメッセージへの対処は不要です。
	表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）	HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）	保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
	表7.8 HiRDBのメッセージ（再実行）	HiRDBのメッセージ（再実行）	エラーの原因となった操作を再実行してください。再実行後に同じエラーが出力される場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
	表7.9 HiRDBのメッセー	HiRDBのメッセージ（データベース回復）	hcmdsbackupsコマンドで取得したバックアップを使用し

表の内容	表番号	表タイトル	メッセージの説明と対処
	ジ（データベース回復）		て，hcmdsdbコマンドでデータベースを回復してください。
	表7.10 HiRDBのメッセージ（再起動後に再実行）	HiRDBのメッセージ（再起動後に再実行）	HA Command Suite製品のサービスプログラムを停止し，システムを再起動したあと，操作を再実行してください。再実行後に同じメッセージが出力される場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。

エラーメッセージはメッセージIDとメッセージテキスト（エラーメッセージ本文）で構成されます。形式を次に示します。

・形式

KFPAmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）」を参照してください）

KFPCmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」，「表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）」を参照してください）

KFPDmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.8 HiRDBのメッセージ（再実行）」を参照してください）

KFPHmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.2 HiRDBのメッセージ（KFPH）」，「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.9 HiRDBのメッセージ（データベース回復）」を参照してください）

KFPImmmmm-zメッセージテキスト（「表7.8 HiRDBのメッセージ（再実行）」，「表7.9 HiRDBのメッセージ（データベース回復）」を参照してください）

KFPKmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）」を参照してください）

KFPLmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.10 HiRDBのメッセージ（再起動後に再実行）」を参照してください）

KFPOmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.3 HiRDBのメッセージ（KFPO）」，「表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）」を参照してください）

KFPRmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.4 HiRDBのメッセージ（KFPR）」，「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.9 HiRDBのメッセージ（データベース回復）」を参照してください）

KFPSmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.5 HiRDBのメッセージ（KFPS）」～「表7.10 HiRDBのメッセージ（再起動後に再実行）」を参照してください）

KFPUmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.8 HiRDBのメッセージ（再実行）」を参照してください）

KFPXmmmmm-zメッセージテキスト（「表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）」～「表7.9 HiRDBのメッセージ（データベース回復）」を参照してください）

mmmmmはメッセージ番号，zはメッセージレベルです。次のレベルがあります。

・I：情報

・Q：質問

・W：警告

・E：エラー

・出力先

エラーメッセージは固有ログトレースに出力されます。

表7.2 HiRDBのメッセージ（KFPH）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPH00135-E	aa....aa command failed, server = SDS01 aa....aa：コマンド名 出力先：固有ログトレース	サーバSDS01で，運用コマンドaa....aaの処理ができませんでした。システムは，サーバSDS01の処理を無効にして処理を続行します。 このメッセージが出力される直前に実行した操作を再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPH20004-E	Server SDS01 termination failed, function=aa....aa, return code=bbbb aa....aa：エラーの発生した関数 bbbb：リターンコード 出力先：固有ログトレース	サーバSDS01の停止処理時，aa....aaでコードbbbbのエラーが発生しました。システムは，サーバSDS01の停止処理を終了します。 サーバの停止処理より前に実行されていた処理が，完了していません。実行中の処理が完了してから，サーバの停止処理を再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPH23006-E	Failed to allocate semaphore, errno=aa....aa aa....aa：エラーの要因コード 4：1セマフォ識別子当たりのセマフォ数がシステムの上限値を超えました。 8：システム全体で使用しているセマフォ数またはセマフォ識別子数がシステムの上限値を超えました。 出力先：固有ログトレース	セマフォ資源の割り当てに失敗しました。システムは，異常終了します。 システムを再起動してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。

表7.3 HiRDBのメッセージ（KFPO）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPO00113-E	"shmget(manager)" failed. size=aa....aa, errno=bbb aa....aa：取得しようとした共用メモリのサイズ（単位：バイト） bbb：shmgetシステムコールのerrno値 出力先：固有ログトレース	共用メモリを取得するために発行したshmgetシステムコールがエラーになりました。システムは，異常終了します。 HA Command Suite製品のサービスプログラムを停止し，システムを再起動した後，再実行してください。再実行後もこのメッセージが出力される場合は，システムコールのerrno値※に従って，対処をしてください。
KFPO00114-E	"shmget(aa....aa)" failed. size=bb....bb, errno=ccc aa....aa：サーバ識別子 bb....bb：取得しようとした共用メモリのサイズ（単位：バイト）	サーバaa....aaが使用する共用メモリの取得時，shmgetシステムコールでエラーが発生しました。システムは，処理を終了します。 HA Command Suite製品のサービスプログラムを停止し，システムを再起動した後，再実行してください。再実行後もこのメッセージが

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	ccc：shmgetシステムコールのerrno値 出力先：固有ログトレース	出力される場合は，システムコールのerrno値※に従って，対処をしてください。

注※

errno値ごとの原因と対処について次の表に示します。

errno値	原因		対処	
	Windows	Linux	Windows	Linux
12	リソースが不足しています。	取得しようとした共用メモリのサイズがマシン上のメモリ量を超えています。	HA Command Suite製品がセットアップされているシステムの性能が，前提条件を満たしているか確認してください。 システムが前提条件を満たしていない場合は，チューニングしてください。 システムが前提条件を満たしている場合は，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。	
22	HiRDBの稼働中に，HiRDBのインストールディレクトリ下の作業ファイルを削除した可能性があります。	取得しようとした共用メモリのサイズが，OSのカーネルパラメーターのshmmaxの指定値を超えています。	hcmdssrv /stopコマンドで，HA Command Suite共通コンポーネントのサービスを停止してください。 その後，hcmdssrv /startコマンドで，HA Command Suite共通コンポーネントのサービスを再起動してください。	カーネルパラメーターのkernel.shmmaxの指定値を大きくした後，該当するサーバを再起動してください。
28	インストールドライブの容量が不足しています。	共用メモリ識別子の数がOSの上限値を超えています。	インストールドライブに，共用メモリサイズ以上の空き容量を確保してください。	次の対処をしてください。 ・同一マシン上にある共用メモリセグメント数を減らしてください。 ・カーネルパラメーターのshmmniの指定値を大きくしてください。
上記以外	－	－	保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。	

表7.4 HiRDBのメッセージ（KFPR）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPR26032-E	Unable to remove temporary file, host=aa....aa, file=bb....bb aa....aa：削除できないファイルがあるホスト名 bb....bb：削除できないファイル名 出力先：固有ログトレース	一時ファイルを削除できません。システムは処理を続行します。 処理が終了したあと，ファイル名bb....bbのファイルを削除してください。このメッセージが何度も出力される場合，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。
KFPR26243-E	Unable to remove temporary file, host=aa....aa, file=bb....bb	一時ファイルを削除できません。システムは，処理を続行します。

メッセージID	メッセージテキスト	説明
	aa....aa：削除できないファイルがあるホスト名 bb....bb：削除できないファイル名 出力先：固有ログトレース	処理が終了したあと，ファイル名bb....bbのファイルを削除してください。このメッセージが何度も出力される場合，保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡してください。

表7.5 HiRDBのメッセージ（KFPS）

メッセージID	メッセージテキスト	説明
KFPS00719-E	Message output error. message ID=aaa aaa：出力しようとしたメッセージのメッセージID 出力先：固有ログトレース	メッセージを出力するときにメモリ不足が発生しました。システムは，処理を続行します。 HA Command Suite製品のサービスプログラムを停止し，システムを再起動してください。メッセージID aaaの「説明と対処」に記載されている内容に従ってください。

表7.6 HiRDBのメッセージ（対処不要）

プレフィックス	メッセージID
KFPC	KFPC00101-I
KFPD	KFPD00029-W
KFPH	KFPH00035-W, KFPH00110-I, KFPH00115-I, KFPH00130-I, KFPH00134-I, KFPH00157-W, KFPH00210-I, KFPH00211-I, KFPH00212-I, KFPH00213-W, KFPH00372-I, KFPH20006-W, KFPH20007-W, KFPH20008-W, KFPH20009-W, KFPH20010-W, KFPH20015-I, KFPH22004-W, KFPH22012-W, KFPH22017-I, KFPH22019-I, KFPH22020-W, KFPH22021-W, KFPH22022-E, KFPH22023-W, KFPH22024-I, KFPH22030-W, KFPH22031-W, KFPH22034-W, KFPH23008-W, KFPH23013-W, KFPH23014-W, KFPH23017-W, KFPH23018-W, KFPH23024-I, KFPH23030-I, KFPH23201-W, KFPH23202-W, KFPH24004-I, KFPH26001-I, KFPH26010-I, KFPH29005-W, KFPH29006-W, KFPH29008-I
KFPL	KFPL00700-I, KFPL00701-I, KFPL00702-I, KFPL00703-I, KFPL00704-I, KFPL00705-I, KFPL00707-I, KFPL00708-I, KFPL00709-I, KFPL00710-I, KFPL00712-I, KFPL00713-I, KFPL00714-I, KFPL00715-I, KFPL00716-I, KFPL00717-I, KFPL00719-I, KFPL00720-I, KFPL00721-I, KFPL00722-I, KFPL00723-I, KFPL00724-I, KFPL00725-I, KFPL00726-I, KFPL00727-I, KFPL00728-I, KFPL00732-I, KFPL00733-I, KFPL00734-I, KFPL00735-I, KFPL00736-I, KFPL00738-I, KFPL00739-I, KFPL00750-I, KFPL00751-I, KFPL00800-I, KFPL00810-I, KFPL00900-I, KFPL22222-I, KFPL22223-I, KFPL25700-I, KFPL50000-I, KFPL50001-I
KFPR	KFPR00754-I, KFPR00756-I, KFPR00757-I, KFPR00758-I, KFPR00764-I, KFPR00765-I, KFPR00766-I, KFPR00767-I, KFPR00768-I, KFPR00786-I, KFPR16110-I, KFPR26022-I, KFPR26023-I, KFPR26028-I, KFPR26029-I, KFPR26052-I, KFPR26053-I, KFPR26057-I, KFPR26058-I, KFPR26060-I, KFPR26061-W, KFPR26062-W, KFPR26063-I, KFPR26109-I, KFPR26222-I, KFPR26233-I, KFPR26241-W, KFPR26257-I, KFPR26258-I, KFPR26262-W, KFPR26264-I, KFPR26265-I, KFPR26270-W, KFPR26272-W, KFPR26275-I, KFPR26276-I
KFPS	KFPS00056-I, KFPS00354-W, KFPS00441-I, KFPS00444-I, KFPS00446-W, KFPS00447-I, KFPS00450-W, KFPS00451-I, KFPS00610-I, KFPS00611-I, KFPS00847-W, KFPS00860-W, KFPS00958-I, KFPS00971-I, KFPS00972-I, KFPS00973-I, KFPS00980-W, KFPS00983-I, KFPS00985-I, KFPS00986-W, KFPS00988-I, KFPS00990-I, KFPS00991-I, KFPS00993-I, KFPS01001-I, KFPS01008-I, KFPS01011-I, KFPS01012-I, KFPS01041-I, KFPS01043-I, KFPS01044-I, KFPS01051-I, KFPS01060-I, KFPS01061-I, KFPS01062-I, KFPS01063-I, KFPS01104-W, KFPS01108-W, KFPS01109-W, KFPS01114-W, KFPS01116-W, KFPS01128-W, KFPS01130-W, KFPS01151-I, KFPS01152-W, KFPS01153-

プレフィックス	メッセージID
	I, KFPS01154-I, KFPS01155-W, KFPS01156-I, KFPS01157-W, KFPS01161-I, KFPS01162-W, KFPS01163-W, KFPS01175-W, KFPS01182-I, KFPS01206-W, KFPS01211-I, KFPS01212-I, KFPS01213-W, KFPS01215-I, KFPS01216-I, KFPS01217-I, KFPS01218-I, KFPS01221-I, KFPS01222-I, KFPS01224-I, KFPS01225-I, KFPS01227-W, KFPS01228-W, KFPS01229-I, KFPS01234-I, KFPS01250-I, KFPS01252-I, KFPS01253-I, KFPS01255-W, KFPS01258-W, KFPS01262-I, KFPS01263-I, KFPS01265-I, KFPS01266-I, KFPS01269-I, KFPS01271-I, KFPS01278-W, KFPS01279-W, KFPS01800-I, KFPS01803-I, KFPS01813-I, KFPS01814-I, KFPS01819-I, KFPS01826-I, KFPS01830-I, KFPS01831-I, KFPS01832-I, KFPS01833-I, KFPS01836-W, KFPS01837-I, KFPS01838-W, KFPS01840-I, KFPS01842-I, KFPS01843-I, KFPS01849-W, KFPS01872-I, KFPS01877-I, KFPS01878-I, KFPS01888-W, KFPS01890-I, KFPS01894-I, KFPS01900-I, KFPS02101-I, KFPS02104-W, KFPS02105-W, KFPS02112-W, KFPS02118-I, KFPS02119-I, KFPS02122-W, KFPS02123-W, KFPS02124-W, KFPS02125-W, KFPS02127-W, KFPS02176-I, KFPS02177-I, KFPS02179-I, KFPS02181-I, KFPS02183-I, KFPS02185-I, KFPS02186-W, KFPS02187-I, KFPS02188-I, KFPS02189-W, KFPS02194-I, KFPS02195-W, KFPS02196-W, KFPS02240-W, KFPS04320-W, KFPS04321-W, KFPS04322-W, KFPS04323-W, KFPS04370-W, KFPS04371-W, KFPS04372-I, KFPS04373-I, KFPS04605-W, KFPS04620-I, KFPS04624-I, KFPS04629-I, KFPS04643-I, KFPS04644-I, KFPS04650-I, KFPS04651-W, KFPS04654-W, KFPS04660-I, KFPS04661-I, KFPS04663-W, KFPS04664-I, KFPS05024-I, KFPS05025-I, KFPS05048-Q, KFPS05072-W, KFPS05078-I, KFPS05110-I, KFPS05753-W
KFPU	KFPU00210-W, KFPU00211-W, KFPU00212-W
KFPX	KFPX14045-W, KFPX14046-W, KFPX14047-W, KFPX14078-W, KFPX14245-W, KFPX14246-W, KFPX14247-W, KFPX14250-I, KFPX18507-W, KFPX24012-I, KFPX24013-I, KFPX24212-I, KFPX24213-I, KFPX24225-I, KFPX24226-I, KFPX24237-I, KFPX24239-I, KFPX24261-I, KFPX24402-E, KFPX24404-I, KFPX28400-I, KFPX28401-I, KFPX28402-I

表7.7 HiRDBのメッセージ（保守情報を取得し，問い合わせ窓口に連絡）

プレフィックス	メッセージID
KFPA	KFPA20005-E, KFPA20006-E
KFPC	KFPC00102-E, KFPC00103-I, KFPC00104-E
KFPD	KFPD00011-E, KFPD00013-E, KFPD00014-E, KFPD00024-W, KFPD00030-W
KFPH	KFPH00131-E, KFPH00133-E, KFPH00141-E, KFPH00142-E, KFPH00153-E, KFPH00154-E, KFPH00155-W, KFPH00156-E, KFPH20001-E, KFPH20011-E, KFPH20012-E, KFPH20013-E, KFPH20016-E, KFPH22005-E, KFPH22006-E, KFPH22007-E, KFPH22008-E, KFPH22009-E, KFPH22010-E, KFPH22011-E, KFPH22014-E, KFPH22015-E, KFPH22016-E, KFPH23001-E, KFPH23002-E, KFPH23009-E, KFPH23010-E, KFPH23011-W, KFPH23012-E, KFPH23015-E, KFPH23016-E, KFPH23021-E, KFPH23029-E, KFPH23031-E, KFPH23032-E, KFPH23033-E, KFPH23034-E, KFPH25101-E, KFPH26000-E, KFPH27000-E, KFPH27004-E, KFPH27009-E, KFPH27010-E, KFPH27011-E, KFPH27030-E, KFPH27032-E, KFPH28001-E
KFPK	KFPK00204-E
KFPL	KFPL10000-E, KFPL10001-E, KFPL10002-E, KFPL10003-E, KFPL10004-E, KFPL10005-E, KFPL10006-E, KFPL11111-E, KFPL15010-E, KFPL15030-E, KFPL15036-E, KFPL15046-E, KFPL15047-E, KFPL15052-E, KFPL15059-E, KFPL15060-E, KFPL15061-E, KFPL15062-E, KFPL15063-E, KFPL15064-E, KFPL15065-E, KFPL15066-E, KFPL15067-E, KFPL15068-E, KFPL15069-E, KFPL15070-E, KFPL15199-E, KFPL15224-E, KFPL15225-E, KFPL15226-E, KFPL15229-E, KFPL15231-E, KFPL15234-E, KFPL15246-E, KFPL15281-E, KFPL15282-

プレフィックス	メッセージID
	E, KFPL15283-E, KFPL15288-E, KFPL15300-E, KFPL15301-E, KFPL15302-E, KFPL15305-E, KFPL15308-E, KFPL15310-E, KFPL15311-E, KFPL15312-E, KFPL15313-E, KFPL15314-E, KFPL15315-E, KFPL15316-E, KFPL15317-E, KFPL15318-E, KFPL15319-E, KFPL15321-E, KFPL15322-E, KFPL15323-E, KFPL15326-E, KFPL15331-E, KFPL15333-E, KFPL15334-E, KFPL15335-E, KFPL15336-E, KFPL15337-E, KFPL15338-E, KFPL15339-E, KFPL15340-E, KFPL15341-E, KFPL15342-E, KFPL15343-E, KFPL15344-W, KFPL15346-W, KFPL15347-E, KFPL15348-E, KFPL15349-E, KFPL16300-E, KFPL16310-E, KFPL16320-E, KFPL16321-E, KFPL16322-E, KFPL16323-E, KFPL16324-E, KFPL16325-W, KFPL16327-E, KFPL17000-E, KFPL17001-E, KFPL17010-E, KFPL20005-E, KFPL20090-E, KFPL20091-E, KFPL20100-E, KFPL22001-E, KFPL23100-E, KFPL23500-E, KFPL24100-E, KFPL24152-E, KFPL24500-E, KFPL24509-E, KFPL24510-E, KFPL25040-E, KFPL25200-E, KFPL25210-E, KFPL25212-E, KFPL25213-E, KFPL25222-W, KFPL25338-E, KFPL25339-E, KFPL25340-E, KFPL25342-E, KFPL25343-E, KFPL25344-E, KFPL25347-E, KFPL25352-E, KFPL25353-E, KFPL25354-E, KFPL25355-E, KFPL25356-E, KFPL25357-E, KFPL25358-E, KFPL25359-E, KFPL25710-E, KFPL25999-E, KFPL26339-E, KFPL26340-E, KFPL26342-E, KFPL27100-E, KFPL27500-E, KFPL28000-E, KFPL28002-E, KFPL28101-E, KFPL28102-E, KFPL28103-E, KFPL28104-E, KFPL51203-E
KFPO	KFPO00100-E, KFPO00109-E, KFPO00111-E, KFPO00112-E, KFPO00115-E
KFPR	KFPR16003-E, KFPR16014-E, KFPR16101-E, KFPR16102-E, KFPR16108-E, KFPR16126-E, KFPR16127-E, KFPR16128-E, KFPR16203-E, KFPR16214-E, KFPR16301-E, KFPR16302-E, KFPR16303-E, KFPR16308-E, KFPR16318-E, KFPR16328-E, KFPR16330-E, KFPR16333-E, KFPR16334-E, KFPR16338-E, KFPR16339-E, KFPR26003-E, KFPR26005-E, KFPR26006-E, KFPR26007-E, KFPR26008-E, KFPR26009-E, KFPR26010-E, KFPR26011-E, KFPR26012-E, KFPR26015-E, KFPR26016-E, KFPR26018-E, KFPR26020-E, KFPR26021-E, KFPR26024-E, KFPR26025-E, KFPR26026-E, KFPR26027-E, KFPR26030-E, KFPR26031-E, KFPR26033-E, KFPR26051-E, KFPR26054-E, KFPR26055-E, KFPR26056-E, KFPR26059-E, KFPR26110-E, KFPR26111-E, KFPR26203-E, KFPR26205-E, KFPR26206-E, KFPR26207-E, KFPR26208-E, KFPR26209-E, KFPR26210-E, KFPR26212-E, KFPR26215-E, KFPR26216-E, KFPR26218-E, KFPR26220-E, KFPR26221-E, KFPR26224-E, KFPR26225-E, KFPR26226-E, KFPR26227-E, KFPR26228-E, KFPR26229-E, KFPR26230-E, KFPR26232-E, KFPR26234-E, KFPR26235-E, KFPR26236-E, KFPR26237-E, KFPR26238-E, KFPR26239-E, KFPR26240-E, KFPR26242-E, KFPR26244-E, KFPR26254-E, KFPR26255-E, KFPR26273-E, KFPR26277-E, KFPR26280-E
KFPS	KFPS00345-W, KFPS00346-E, KFPS00347-E, KFPS00348-E, KFPS00349-E, KFPS00412-E, KFPS00440-W, KFPS00442-E, KFPS00448-E, KFPS00452-E, KFPS00612-E, KFPS00700-E, KFPS00701-E, KFPS00707-E, KFPS00709-E, KFPS00710-E, KFPS00712-E, KFPS00713-E, KFPS00714-E, KFPS00715-E, KFPS00717-E, KFPS00720-E, KFPS00722-E, KFPS00729-E, KFPS00803-E, KFPS00835-E, KFPS00840-E, KFPS00841-E, KFPS00850-E, KFPS00856-E, KFPS00857-E, KFPS00957-E, KFPS00961-E, KFPS00962-E, KFPS00992-E, KFPS01005-E, KFPS01006-E, KFPS01009-E, KFPS01010-E, KFPS01040-E, KFPS01042-E, KFPS01064-E, KFPS01070-E, KFPS01090-E, KFPS01121-E, KFPS01129-E, KFPS01150-E, KFPS01160-E, KFPS01220-E, KFPS01226-E, KFPS01275-E, KFPS01277-E, KFPS01301-E, KFPS01820-E, KFPS01823-E, KFPS01824-E, KFPS01835-E, KFPS01862-E, KFPS01864-E, KFPS01865-E, KFPS01866-E, KFPS01868-E, KFPS01874-E, KFPS01875-E, KFPS01891-E, KFPS01898-E, KFPS02102-E, KFPS02111-E, KFPS02126-E, KFPS02135-E, KFPS02137-E, KFPS02139-E, KFPS02141-E, KFPS02143-E, KFPS02144-E, KFPS02145-E, KFPS02147-E, KFPS02148-E, KFPS02149-E, KFPS02153-E, KFPS02154-E, KFPS02155-E, KFPS02156-E, KFPS02157-E, KFPS02158-E, KFPS02160-E, KFPS02173-E, KFPS02190-E, KFPS02256-E, KFPS03302-E, KFPS04621-E, KFPS04622-E, KFPS04623-E, KFPS04625-E, KFPS04670-E, KFPS05047-

プレフィックス	メッセージID
	E, KFPS05076-E, KFPS05091-E, KFPS05100-E, KFPS05101-E, KFPS05102-E, KFPS05111-E, KFPS05236-E
KFPU	KFPU00215-E, KFPU00216-E, KFPU00217-E, KFPU00218-E, KFPU00219-E, KFPU00220-E, KFPU00222-E, KFPU00223-E, KFPU00240-E, KFPU00241-E, KFPU00242-E, KFPU00243-E, KFPU00244-E, KFPU00245-E, KFPU00246-E, KFPU00247-E, KFPU00248-E, KFPU00249-E, KFPU00250-E, KFPU00251-E
KFPX	KFPX14004-E, KFPX14017-E, KFPX14018-E, KFPX14019-E, KFPX14020-E, KFPX14023-E, KFPX14024-E, KFPX14025-E, KFPX14026-E, KFPX14027-E, KFPX14029-E, KFPX14030-E, KFPX14035-E, KFPX14051-E, KFPX14204-E, KFPX14217-E, KFPX14218-E, KFPX14220-E, KFPX14223-E, KFPX14224-E, KFPX14225-E, KFPX14226-E, KFPX14227-E, KFPX14229-E, KFPX14230-E, KFPX14235-E, KFPX14236-E, KFPX14238-E, KFPX14251-E, KFPX14253-E, KFPX14255-W, KFPX14259-E, KFPX14262-E, KFPX14268-W, KFPX14280-E, KFPX14302-W, KFPX18502-E, KFPX18506-E, KFPX18508-E, KFPX18550-E, KFPX18551-E, KFPX18555-E, KFPX18560-E, KFPX18562-E, KFPX18563-E, KFPX18566-E, KFPX24004-E, KFPX24005-E, KFPX24006-E, KFPX24007-E, KFPX24009-W, KFPX24011-W, KFPX24018-E, KFPX24019-E, KFPX24020-E, KFPX24022-E, KFPX24025-W, KFPX24026-E, KFPX24028-W, KFPX24029-W, KFPX24030-E, KFPX24202-E, KFPX24204-E, KFPX24205-E, KFPX24206-E, KFPX24207-E, KFPX24211-W, KFPX24218-E, KFPX24219-E, KFPX24220-E, KFPX24222-E, KFPX24223-E, KFPX24227-E, KFPX24228-E, KFPX24229-E, KFPX24230-E, KFPX24231-W, KFPX24232-E, KFPX24233-E, KFPX24234-E, KFPX24235-E, KFPX24236-E, KFPX24238-W, KFPX24240-W, KFPX24241-E, KFPX24242-W, KFPX24243-E, KFPX24244-I , KFPX24246-W, KFPX24262-E, KFPX24263-E, KFPX24264-E, KFPX24265-E, KFPX24266-E, KFPX24268-E, KFPX24269-E, KFPX24270-E, KFPX24271-E, KFPX24272-E, KFPX24273-E, KFPX24274-E, KFPX24275-E, KFPX24403-E, KFPX24407-E, KFPX24408-E, KFPX24409-E, KFPX24410-E, KFPX28405-E, KFPX28407-E, KFPX28502-E, KFPX28503-E, KFPX28504-W

表7.8 HiRDBのメッセージ（再実行）

プレフィックス	メッセージID
KFPD	KFPD00012-E, KFPD00020-E, KFPD00021-E
KFPH	KFPH00132-E, KFPH00145-E, KFPH20003-E, KFPH21001-E, KFPH22002-E, KFPH22013-E, KFPH23003-E, KFPH23004-E, KFPH23005-E, KFPH23025-E, KFPH23026-E, KFPH25002-E, KFPH27005-E, KFPH29009-W
KFPI	KFPI21582-E
KFPL	KFPL15040-E, KFPL15048-E, KFPL15240-E, KFPL20001-E, KFPL20003-E, KFPL20200-E, KFPL22000-E, KFPL25341-E
KFPR	KFPR16005-E, KFPR16205-E, KFPR26001-E, KFPR26002-E, KFPR26017-E, KFPR26201-E, KFPR26202-E, KFPR26217-E
KFPS	KFPS00430-E, KFPS00443-I, KFPS00460-E, KFPS00609-E, KFPS00703-E, KFPS00836-E, KFPS00854-W, KFPS00855-W, KFPS00888-W, KFPS00889-E, KFPS00900-I, KFPS00955-E, KFPS00965-E, KFPS01091-E, KFPS01099-E, KFPS01103-E, KFPS01113-E, KFPS01115-E, KFPS01125-E, KFPS01200-E, KFPS01201-E, KFPS01204-E, KFPS01205-E, KFPS01223-E, KFPS01274-E, KFPS01300-E, KFPS01303-E, KFPS01812-E, KFPS01844-E, KFPS01847-E, KFPS01861-E, KFPS01871-E, KFPS02182-E, KFPS02200-E, KFPS02210-E, KFPS02255-E, KFPS04652-E
KFPU	KFPU00221-E
KFPX	KFPX18410-E, KFPX24001-E, KFPX24015-E, KFPX24024-E, KFPX24201-E, KFPX24208-E, KFPX24215-E, KFPX24405-E

表7.9 HiRDBのメッセージ（データベース回復）

プレフィックス	メッセージID
KFPH	KFPH00306-E, KFPH00307-E, KFPH00308-E, KFPH00309-E, KFPH20005-E, KFPH22001-E, KFPH22003-E, KFPH22018-W, KFPH22025-E, KFPH22026-E, KFPH23007-E, KFPH23023-I, KFPH23100-E, KFPH23101-E, KFPH25000-E, KFPH25001-E, KFPH27006-E, KFPH27007-E, KFPH27008-E
KFPI	KFPI21561-E, KFPI21562-E
KFPL	KFPL20020-E
KFPR	KFPR26072-E
KFPS	KFPS01180-E, KFPS01181-E, KFPS01183-E, KFPS01184-E, KFPS01185-E, KFPS01202-E, KFPS01203-E, KFPS01251-E, KFPS01256-E, KFPS01257-E, KFPS01260-E, KFPS01261-E, KFPS01264-E, KFPS01267-E, KFPS01268-E, KFPS01270-E, KFPS01272-E, KFPS01273-E, KFPS01302-E, KFPS02174-E, KFPS02220-E
KFPX	KFPX24017-E, KFPX24217-E

表7.10 HiRDBのメッセージ（再起動後に再実行）

プレフィックス	メッセージID
KFPL	KFPL20000-E, KFPL23000-E, KFPL23001-E
KFPS	KFPS00403-E, KFPS00705-E, KFPS00830-E, KFPS01821-E, KFPS01845-E, KFPS01846-E, KFPS01851-E, KFPS01870-E, KFPS02110-E, KFPS02114-E, KFPS02115-E, KFPS02159-E, KFPS02254-E, KFPS04655-E

第8章 Device Managerが出力するアラート

Device Managerは，Device Managerサーバ上のイベントログ，およびsyslogファイルなどにアラートを出力します。この章では，Device Managerが出力するアラートについて説明します。

8.1. KAID03101～KAID03572

ストレージシステムが出力するトラップ情報を次に示します。

・ アラートID KAID03101～KAID03572

iStorage Vシリーズが出力するトラップ情報です。詳細は，「表8.1 KAID03101～KAID03572：ストレージシステムが出力するトラップ情報（iStorage Vシリーズ）」を参照してください。

表8.1 KAID03101～KAID03572：ストレージシステムが出力するトラップ情報（iStorage Vシリーズ）

アラートID	障害内容	［DESCRIPTION］フィールド表示情報
KAID03101	ポート障害	チャネルポート閉塞
KAID03102	ポート障害	AL_PA値衝突
KAID03103	ポート障害	Link系データ転送エラー1
KAID03104	ポート障害	Link系データ転送エラー2
KAID03105	ポート障害	SFP種別不正
KAID03106	ポート障害	SFP光モジュール障害
KAID03107	ポート障害	外部ストレージシステム接続パス閉塞
KAID03108	ポート障害	外部ストレージシステム接続パス回復
KAID03109	ポート障害	外部ストレージシステム接続パスレスポンス
KAID03110	プロセッサ系障害	CHK1Aしきい値オーバ
KAID03111	プロセッサ系障害	CHK1Bしきい値オーバ
KAID03112	プロセッサ系障害	CHK3しきい値オーバ
KAID03113	プロセッサ系障害	プロセッサ閉塞
KAID03114	プロセッサ系障害	BM7E、BM5E閉塞
KAID03115	プロセッサ系障害	FM SUM値不正
KAID03116	プロセッサ系障害	プロセッサメモリ一時障害
KAID03117	プロセッサ系障害	BFM異常
KAID03118	プロセッサ系障害	WCHK1 ダンプ採取
KAID03119	プロセッサ系障害	P/S OFF不可
KAID03120	プロセッサ系障害	P/S OFF不可(デバイスリザーブ)
KAID03121	プロセッサ系障害	未実装プロセッサ検出
KAID03122	プロセッサ系障害	V-Rまたは製番不一致
KAID03123	プロセッサ系障害	リプレース失敗
KAID03124	プロセッサ系障害	MPパトロールチェックエラー
KAID03125	プロセッサ系障害	LDEV閉塞(マイクロコード要因)
KAID03126	プロセッサ系障害	SM情報退避回復失敗(退避失敗)
KAID03127	プロセッサ系障害	SM情報退避回復失敗(回復失敗)

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03128	チャネルボード / ディスクボード障害	CHB閉塞
KAID03129	チャネルボード / ディスクボード障害	DKB閉塞
KAID03130	チャネルボード / ディスクボード障害	CHB/DKB/CTL種別不一致検出
KAID03131	チャネルボード / ディスクボード障害	CHB未実装
KAID03132	チャネルボード / ディスクボード障害	外部暗号鍵取得失敗
KAID03133	チャネルボード / ディスクボード障害	SAS CTL閉塞
KAID03134	チャネルボード / ディスクボード障害	SAS PORT部分閉塞(WideLink閉塞)
KAID03135	チャネルボード / ディスクボード障害	SAS PORT閉塞
KAID03136	チャネルボード / ディスクボード障害	SAS CTL障害検出
KAID03137	チャネルボード / ディスクボード障害	ENC一時障害回復
KAID03138	コントローラボード障害	CTL閉塞
KAID03139	コントローラボード障害	CTL間接続パス障害によるCTL閉塞
KAID03140	コントローラボード障害	LANB1閉塞
KAID03141	コントローラボード障害	LANB2閉塞
KAID03142	コントローラボード障害	CTL パトロールチェックエラー
KAID03143	コントローラボード障害	BM7E、BM5E パトロールチェックエラー
KAID03144	コントローラボード障害	GUM 閉塞
KAID03145	環境異常	CTL不当 DC電圧
KAID03146	環境異常	不当CEMODE
KAID03147	環境異常	不当CEDT
KAID03148	環境異常	不当ジャンパ設定ワーニング
KAID03149	環境異常	MP温度異常ワーニング
KAID03150	環境異常	外部温度ワーニング
KAID03151	環境異常	外部温度アラーム
KAID03152	環境異常	サーマルモニタワーニング
KAID03153	環境異常	DKCPSUワーニング
KAID03154	環境異常	DKCPS入力電圧異常
KAID03155	環境異常	環境マイコンワーニング
KAID03156	環境異常	装置動作モードワーニング
KAID03157	環境異常	環境FWアップデートワーニング
KAID03158	環境異常	電圧変更設定異常
KAID03159	環境異常	BKM ワーニング
KAID03160	環境異常	バッテリ寿命警告
KAID03168	環境異常	パネルスイッチワーニング

アラートID	障害内容	［DESCRIPTION］フィールド表示情報
KAID03169	環境異常	不正PSONワーニング
KAID03170	環境異常	DBPS障害
KAID03171	環境異常	DBPS入力電圧異常
KAID03172	環境異常	DB外部温度ワーニング
KAID03173	環境異常	DB外部温度アラーム
KAID03174	環境異常	ENC障害
KAID03179	環境異常	GUMワーニング
KAID03180	環境異常	BM7E、BM5E障害
KAID03181	環境異常	FANワーニング
KAID03183	環境異常	Expander障害
KAID03184	環境異常	筐体接続異常
KAID03185	環境異常	部品実装異常
KAID03186	環境異常	バッテリワーニング
KAID03187	環境異常	強制揮発ワーニング
KAID03188	キャッシュ障害	PINスロット
KAID03189	キャッシュ障害	面揮発
KAID03190	キャッシュ障害	モジュールグループデータ復旧エラー
KAID03191	キャッシュ障害	キャッシュコレクタブルエラー
KAID03192	キャッシュ障害	面閉塞
KAID03193	キャッシュ障害	両面障害
KAID03194	キャッシュ障害	リプレース失敗
KAID03195	キャッシュ障害	キャッシュバッテリ充電中
KAID03196	キャッシュ障害	キャッシュライトスルー動作終了(CMバッテリ充電待ち完了)
KAID03197	キャッシュ障害	キャッシュライトスルー動作終了(CMバッテリ充電不可)
KAID03198	キャッシュ障害	キャッシュライトスルー動作開始(CMバッテリ充電待ち完了)
KAID03199	キャッシュ障害	キャッシュライトスルー動作開始(CMバッテリ充電不可)
KAID03200	キャッシュ障害	BM7E、BM5E種別不正またはBM7E、BM5E台数不足
KAID03201	キャッシュ障害	Battery実装不足
KAID03202	シェアドメモリ障害	DIMM実装不一致
KAID03203	シェアドメモリ障害	パッケージ閉塞処理完了
KAID03204	シェアドメモリ障害	SM面閉塞
KAID03205	シェアドメモリ障害	リプレース失敗
KAID03206	シェアドメモリ障害	瞬停揮発立ち上げ
KAID03207	シェアドメモリ障害	一時閉塞後、回復完了
KAID03208	シェアドメモリ障害	面一時閉塞
KAID03209	シェアドメモリ障害	瞬停不揮発立ち上げ
KAID03210	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブポート一時障害(パス0側)

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03211	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブポート一時障害(パス1側)
KAID03212	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ一時障害
KAID03213	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブメディア障害
KAID03214	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブポート閉塞(パス0側)
KAID03215	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブポート閉塞(パス1側)
KAID03216	ドライブ障害(通常R/W)	LDEV閉塞(パス0側)(ドライブポート閉塞による)
KAID03217	ドライブ障害(通常R/W)	LDEV閉塞(パス1側)(ドライブポート閉塞による)
KAID03218	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブLinkrate異常(パス0側)
KAID03219	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブLinkrate異常(パス1側)
KAID03220	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ応答遅延
KAID03221	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度あり)
KAID03222	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ閉塞(ドライブ系)(冗長度なし)
KAID03223	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ閉塞(ダイナミックスペアリング正常終了による)
KAID03224	ドライブ障害(通常R/W)	PINスロット作成
KAID03225	ドライブ障害(通常R/W)	LDEV閉塞(ドライブ閉塞による)
KAID03226	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションアクセス発生
KAID03227	ドライブ障害(通常R/W)	ライトペンディングデータ過多によるリブート中断
KAID03228	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ閉塞 (メディア系) (冗長度あり)
KAID03229	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ閉塞 (メディア系) (冗長度なし)
KAID03230	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピー開始
KAID03231	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピー正常終了
KAID03232	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピー異常終了
KAID03233	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピー中断
KAID03234	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピーワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)
KAID03235	ドライブ障害(通常R/W)	ダイナミックスペアリング開始(ドライブコピー)
KAID03236	ドライブ障害(通常R/W)	ダイナミックスペアリング正常終了(ドライブコピー)
KAID03237	ドライブ障害(通常R/W)	ダイナミックスペアリング異常終了 (ドライブコピー)
KAID03238	ドライブ障害(通常R/W)	ダイナミックスペアリング中断 (ドライブコピー)
KAID03239	ドライブ障害(通常R/W)	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)(ドライブコピー)
KAID03240	ドライブ障害(通常R/W)	コレクションコピー / コピーバック抑止 (ドライブリプレース)
KAID03241	ドライブ障害(通常R/W)	Flash module drive 初期化失敗
KAID03242	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブ一時障害
KAID03243	ドライブ障害(通常R/W)	ドライブメディア障害

アラートID	障害内容	［DESCRIPTION］フィールド表示情報
KAID03244	ドライブ交替推奨	フラッシュドライブ寿命しきい値オーバー
KAID03245	ドライブ交替推奨	フラッシュモジュールドライブ寿命しきい値オーバー
KAID03246	フラッシュモジュールドライブ障害	フラッシュモジュールドライブファームウェアバージョン警告
KAID03250	Expanderマイクロ交換	Expander マイクロ交換失敗
KAID03251	PDEV消去	PDEV消去開始
KAID03252	PDEV消去	PDEV消去正常終了
KAID03253	PDEV消去	PDEV消去異常終了
KAID03254	外部デバイス障害	外部ストレージシステム接続デバイス閉塞
KAID03255	外部デバイス障害	外部ストレージシステム Write 処理異常終了
KAID03256	外部デバイス障害	外部ストレージシステム Read 処理異常終了
KAID03257	キャッシュ状態	キャッシュ過負荷
KAID03258	フォーマット	フォーマット完了(正常終了)
KAID03259	フォーマット	フォーマット完了(異常終了)
KAID03260	フォーマット	フォーマット完了(一部異常終了)
KAID03261	フォーマット	クイックフォーマット終了
KAID03262	監査ログ	監査ログ消失
KAID03263	SSB ログ	特定エラーコード SSB 検出
KAID03264	電源障害	DB 電源断検出
KAID03265	電源障害	DB 電源回復
KAID03266	電源障害	電源障害モード設定
KAID03267	電源障害	電源障害モード解除
KAID03268	電源障害	電源障害モード設定時緊急デステージング起動成功
KAID03269	電源障害	電源障害モード設定時緊急デステージング起動失敗
KAID03270	電源障害	サーバ障害
KAID03271	ロングライフサポートインジケーター	上限温度超過
KAID03272	ライセンスキー障害	有効期限切れ Synchronous Replication
KAID03273	ライセンスキー障害	有効期限切れ Local Replication
KAID03274	ライセンスキー障害	有効期限切れ Asynchronous Replication
KAID03275	ライセンスキー障害	有効期限切れ Universal Volume Manager
KAID03276	ライセンスキー障害	有効期限切れ Open Volume Management
KAID03277	ライセンスキー障害	有効期限切れ Data Retention Utility
KAID03278	ライセンスキー障害	有効期限切れ LUN Manager
KAID03279	ライセンスキー障害	有効期限切れ Performance Monitor
KAID03280	ライセンスキー障害	有効期限切れ Volume Migration
KAID03281	ライセンスキー障害	有効期限切れ Server Priority Manager
KAID03282	ライセンスキー障害	有効期限切れ Storage Navigator
KAID03283	ライセンスキー障害	有効期限切れ SNMP Agent

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03284	ライセンスキー障害	有効期限切れ JAVA API
KAID03285	ライセンスキー障害	有効期限切れ Virtual Partition Manager
KAID03286	ライセンスキー障害	有効期限切れ Volume Shredder
KAID03287	ライセンスキー障害	有効期限切れ Volume Migration V2
KAID03288	ライセンスキー障害	有効期限切れ Dynamic Provisioning
KAID03289	ライセンスキー障害	有効期限切れ Disaster Recovery Extended
KAID03290	ライセンスキー障害	有効期限切れ Encryption License Key
KAID03291	ライセンスキー障害	有効期限切れ Dynamic Tiering
KAID03292	ライセンスキー障害	有効期限切れ Resource Partition Manager
KAID03293	ライセンスキー障害	有効期限切れ Snapshot
KAID03294	ライセンスキー障害	有効期限切れ Model upgrade license
KAID03296	ライセンスキー障害	有効期限切れ Active Mirror
KAID03297	ライセンスキー障害	有効期限切れ Realtime Tiering
KAID03298	ライセンスキー障害	有効期限切れ All Flash Array
KAID03299	ライセンスキー障害	有効期限切れ dedupe and compression
KAID03300	ライセンスキー障害	許可容量超過 Synchronous Replication
KAID03301	ライセンスキー障害	許可容量超過 Local Replication
KAID03302	ライセンスキー障害	許可容量超過 Asynchronous Replication
KAID03303	ライセンスキー障害	許可容量超過 Universal Volume Manager
KAID03304	ライセンスキー障害	許可容量超過 Open Volume Management
KAID03305	ライセンスキー障害	許可容量超過 Data Retention Utility
KAID03306	ライセンスキー障害	許可容量超過 LUN Manager
KAID03307	ライセンスキー障害	許可容量超過 Performance Monitor
KAID03308	ライセンスキー障害	許可容量超過 Volume Migration
KAID03309	ライセンスキー障害	許可容量超過 Server Priority Manager
KAID03310	ライセンスキー障害	許可容量超過 Storage Navigator
KAID03311	ライセンスキー障害	許可容量超過 SNMP Agent
KAID03312	ライセンスキー障害	許可容量超過 JAVA API
KAID03313	ライセンスキー障害	許可容量超過 Virtual Partition Manager
KAID03314	ライセンスキー障害	許可容量超過 Volume Shredder
KAID03315	ライセンスキー障害	許可容量超過 Volume Migration V2
KAID03316	ライセンスキー障害	許可容量超過 Dynamic Provisioning
KAID03317	ライセンスキー障害	許可容量超過 Disaster Recovery Extended
KAID03318	ライセンスキー障害	許可容量超過 Encryption License Key
KAID03319	ライセンスキー障害	許可容量超過 Dynamic Tiering
KAID03320	ライセンスキー障害	許可容量超過 Resource Partition Manager
KAID03321	ライセンスキー障害	許可容量超過 Snapshot
KAID03322	ライセンスキー障害	許可容量超過 Model upgrade license
KAID03324	ライセンスキー障害	許可容量超過 Active Mirror
KAID03325	ライセンスキー障害	許可容量超過 Realtime Tiering

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03326	ライセンスキー障害	許可容量超過 All Flash Array
KAID03327	ライセンスキー障害	許可容量超過 dedupe and compression
KAID03328	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Synchronous Replication
KAID03329	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Local Replication
KAID03330	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Asynchronous Replication
KAID03331	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Universal Volume Manager
KAID03332	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Open Volume Management
KAID03333	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Data Retention Utility
KAID03334	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 LUN Manager
KAID03335	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Performance Monitor
KAID03336	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Migration
KAID03337	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Server Priority Manager
KAID03338	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Storage Navigator
KAID03339	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 SNMP Agent
KAID03340	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 JAVA API
KAID03341	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Virtual Partition Manager
KAID03342	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Shredder
KAID03343	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Volume Migration V2
KAID03344	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Dynamic Provisioning

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03345	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Disaster Recovery Extended
KAID03346	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Encryption License Key
KAID03347	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Dynamic Tiering
KAID03348	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Resource Partition Manager
KAID03349	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Snapshot
KAID03350	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Model upgrade license
KAID03352	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Active Mirror
KAID03353	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 Realtime Tiering
KAID03354	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 All Flash Array
KAID03355	ライセンスキー障害	前提プログラムプロダクトの期限切れによるプログラムプロダクトの無効化 dedupe and compression
KAID03356	CUDG 障害	CUDG 検出障害
KAID03357	ペア ボリューム障害	SR による使用中のボリュームのイニシャルコピーまたは差分コピーの開始
KAID03358	ペア ボリューム障害	SR による使用中のボリュームのイニシャルコピーの完了
KAID03359	ペア ボリューム障害	使用中のボリュームの SR が削除された
KAID03360	ペア ボリューム障害	S-VOL 状態変化
KAID03361	ペア ボリューム障害	SR で使用中ボリュームがサスペンド(リモートコピー接続の回復不能障害)
KAID03362	ペア ボリューム障害	SR で使用中ボリュームがサスペンド(P-VOL またはリモートコピー接続での回復不能障害)
KAID03363	ペア ボリューム障害	SR で使用中ボリュームがサスペンド(S-VOL での回復不能障害)
KAID03364	ペア ボリューム障害	SR で使用中ボリュームがサスペンド (RCU による内部エラー状態の検出)
KAID03365	ペア ボリューム障害	SR で使用中ボリュームがサスペンド(S-VOL へのペア削除操作が発生)
KAID03366	ペア ボリューム障害	S-VOL で使用中のボリュームがサスペンド (リモートコピー接続の回復不能障害)

アラートID	障害内容	［DESCRIPTION］フィールド表示情報
KAID03367	ペア ボリューム障害	S-VOL で使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL での回復不能障害)
KAID03368	ペア ボリューム障害	P-VOL の状態と S-VOL の状態が不一致
KAID03369	FC障害(リモートコントロールポート)	リモートコピー論理パス閉塞（障害状態のため)
KAID03370	差分管理エリア障害	差分管理エリア閉塞
KAID03371	Local Replication障害	Local Replication コピー異常終了
KAID03372	Local Replication障害	SM 揮発による強制ペアサスペンド
KAID03373	Volume Migration障害	階層制御 Volume Migration移動異常終了
KAID03374	Snapshot障害	SM 揮発による Snapshot オプション異常終了
KAID03375	Snapshot障害	Snapshotオプション異常終了
KAID03376	Snapshot障害	キャッシュ管理デバイス枯渇前警告
KAID03377	ペア障害 SIM 抑止	Local Replication
KAID03378	ペア障害 SIM 抑止	SS
KAID03379	ペア障害 SIM 抑止	Volume Migration
KAID03380	Snapshotプール障害	Pool 閉塞
KAID03381	Snapshotプール障害	シェアドメモリ空き容量警告
KAID03382	Snapshotプール障害	Pool 実使用率しきい値超過
KAID03383	Snapshotプール障害	Pool 実使用率満杯
KAID03384	Snapshotプール障害	SS Pool 実使用率固定枯渇しきい値超過
KAID03385	Snapshotプール障害	シェアドメモリ空きなし
KAID03386	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール障害検出
KAID03387	Dynamic Provisioningプール障害	シェアドメモリ空きなし
KAID03388	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール VOL 閉塞
KAID03389	Dynamic Provisioningプール障害	Data Retention Utility Protect 属性設定
KAID03390	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール実使用率警告しきい値超過
KAID03391	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール実使用率満杯
KAID03392	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール実使用率しきい値超過状態継続
KAID03393	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール実使用率枯渇しきい値超過
KAID03394	Dynamic Provisioningプール障害	DP プール実使用率固定枯渇しきい値超過
KAID03395	Dynamic Provisioningプール障害	SS ペア DP プール枯渇しきい値超過
KAID03396	Dynamic Provisioningプール障害	自動プール容量拡張失敗（システム要因(LDEV ID 枯渇))
KAID03397	Dynamic Provisioningプール障害	自動プール容量拡張失敗（システム要因(CVDEV ID 枯渇))
KAID03398	Dynamic Provisioningプール障害	自動プール容量拡張失敗（システム要因（システムロック取得不可))
KAID03399	Dynamic Provisioningプール障害	自動プール容量拡張失敗（プール要因)
KAID03400	Dynamic Provisioningプール障害	プール作成・拡張・削除操作失敗
KAID03401	Dynamic Tiering プール障害	階層再配置未完了
KAID03402	暗号化	空き暗号化鍵なし
KAID03403	暗号化	空き暗号化鍵残数警告

アラートID	障害内容	［DESCRIPTION］フィールド表示情報
KAID03406	ペアボリューム障害	AR で使用するボリュームが定義された
KAID03407	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームがコピーを開始
KAID03408	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームがコピーを完了
KAID03409	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームがサスペンド要求を受領
KAID03410	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームがサスペンド処理を完了
KAID03411	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームが削除要求を受領
KAID03412	ペアボリューム障害	AR で使用中のボリュームが削除処理を完了
KAID03413	ペアボリューム障害	AR で使用するボリュームが定義された（即PSUS）
KAID03414	ペアボリューム障害	AR で使用するデルタボリュームが定義された
KAID03415	ペアボリューム障害	AR で使用していた P-VOL がデルタボリュームとして再定義
KAID03416	ペアボリューム障害	MCU 側から S-VOL への状態変更を受領
KAID03417	ペアボリューム障害	RCU 側から S-VOL への状態変更を受領
KAID03418	ペアボリューム障害	P-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID03419	ペアボリューム障害	P-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(MCU側障害検出)
KAID03420	ペアボリューム障害	P-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(S-VOL障害サスペンド検出)
KAID03421	ペアボリューム障害	P-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(S-VOLサスペンド検出)
KAID03422	ペアボリューム障害	P-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(S-VOLペア削除検出)
KAID03423	ペアボリューム障害	S-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(パス回復不能)
KAID03424	ペアボリューム障害	S-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(RCU側障害検出)
KAID03425	ペアボリューム障害	S-VOLで使用中のボリュームがサスペンド(MCU側のP/SOFF検出)
KAID03426	ペアボリューム障害	P-VOL で使用中のデルタボリュームがサスペンド
KAID03427	ペアボリューム障害	他系列の障害による伝播サスペンド
KAID03428	ペアボリューム障害	AR M-JNL Meta 満杯ワーニング
KAID03429	ペアボリューム障害	AR M-JNL Data 満杯ワーニング
KAID03430	ペアボリューム障害	AR R-JNL Meta 満杯ワーニング
KAID03431	ペアボリューム障害	AR R-JNL Data 満杯ワーニング
KAID03432	ペアボリューム障害	AR Read JNL 1 分途絶(MCU 側障害検出)
KAID03433	ペアボリューム障害	AR Read JNL 5 分途絶(MCU 側障害検出)
KAID03434	ペアボリューム障害	AR Read JNL 1 分途絶(RCU 側障害検出)
KAID03435	ペアボリューム障害	AR Read JNL 5 分途絶(RCU 側障害検出)
KAID03436	ペアボリューム障害	AM で使用中ボリュームがサスペンド（リモートコピー接続の回復不能障害）

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03437	ペアボリューム障害	AM で使用中ボリュームがサスペンド (ボリューム障害)
KAID03438	ペアボリューム障害	AM で使用中ボリュームがサスペンド (内部エラー障害)
KAID03439	ペアボリューム障害	AM でPVOL とSVOL の状態が不一致
KAID03440	Quorum Disk 障害	Quorum Disk 回復 検出
KAID03441	Quorum Disk 障害	Quorum Disk 閉塞 検出
KAID03442	dedupe and compression 障害	dedupe and compression の動作異常検出 (dedupe and compression の動作異常)
KAID03443	dedupe and compression 障害	dedupe and compression の動作異常検出(容量削減設定が有効な仮想ボリュームの削除(閉塞・フォーマット操作なし)での異常検出)
KAID03444	dedupe and compression 障害	重複排除用システムデータボリューム自動削除の動作異常検出
KAID03445	dedupe and compression 障害	重複排除用システムデータボリューム自動削除の一時停止
KAID03446	GUM 検出障害	GUM 障害(CTL1)
KAID03447	GUM 検出障害	GUM 障害(CTL2)
KAID03448	GUM 検出障害	LAN 障害(Internal Network)(CTL1)
KAID03449	GUM 検出障害	LAN 障害(Internal Network)(CTL2)
KAID03450	GUM 検出障害	LAN 障害(CTL1-CTL2)(CTL1)
KAID03451	GUM 検出障害	LAN 障害(CTL1-CTL2)(CTL2)
KAID03452	GUM 検出障害	GUM 監査ログ消失(CTL1)
KAID03453	GUM 検出障害	GUM 監査ログ消失(CTL2)
KAID03454	GUM 検出障害	GUM 監査ログ警告しきい値超過(CTL1)
KAID03455	GUM 検出障害	GUM 監査ログ警告しきい値超過(CTL2)
KAID03456	GUM 検出障害	アラート通知失敗(CTL1)
KAID03457	GUM 検出障害	アラート通知失敗(CTL2)
KAID03458	GUM 検出障害	MP 障害
KAID03459	GUM 検出障害	GUM セキュリティエラー検出(CTL1)
KAID03460	GUM 検出障害	GUM セキュリティエラー検出(CTL2)
KAID03461	GUM 検出障害	GUM 構成情報回復失敗(CTL1)
KAID03462	GUM 検出障害	GUM 構成情報回復失敗(CTL2)
KAID03463	GUM 検出障害	DKC ワーニング
KAID03464	GUM 検出障害	GUM バージョンワーニング(CTL1)
KAID03465	GUM 検出障害	GUM バージョンワーニング(CTL2)
KAID03466	GUM 検出障害	構成情報バックアップ失敗(CTL1)
KAID03467	GUM 検出障害	構成情報バックアップ失敗(CTL2)
KAID03468	時刻合わせ	時刻合わせ失敗
KAID03469	プロセッサ BOOT 障害	BOOT 検出障害
KAID03501	チャネルボード/ ディスクボード障害	PSW 閉塞
KAID03503	環境異常	DBPS-1 障害

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03504	環境異常	DBPS-2 障害
KAID03505	環境異常	DBPS-1 入力電圧異常
KAID03506	環境異常	DBPS-2 入力電圧異常
KAID03507	環境異常	ENC-1 障害
KAID03508	環境異常	ENC-2 障害
KAID03509	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート一時障害（パス0 側）
KAID03510	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート一時障害（パス0 側）
KAID03511	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート一時障害（パス1 側）
KAID03512	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート一時障害（パス1 側）
KAID03513	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ一時障害
KAID03514	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブメディア障害
KAID03515	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート閉塞（パス0 側）
KAID03516	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート閉塞（パス0 側）
KAID03517	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート閉塞（パス1 側）
KAID03518	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブポート閉塞（パス1 側）
KAID03519	ドライブ障害（通常R/W）	LDEV 閉塞（パス0 側）（ドライブポート閉塞による）
KAID03520	ドライブ障害（通常R/W）	LDEV 閉塞（パス0 側）（ドライブポート閉塞による）
KAID03521	ドライブ障害（通常R/W）	LDEV 閉塞（パス1 側）（ドライブポート閉塞による）
KAID03522	ドライブ障害（通常R/W）	LDEV 閉塞（パス1 側）（ドライブポート閉塞による）
KAID03523	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブLink rate 異常（パス0 側）
KAID03524	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブLink rate 異常（パス0 側）
KAID03525	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブLink rate 異常（パス1 側）
KAID03526	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブLink rate 異常（パス1 側）
KAID03527	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ応答遅延
KAID03528	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ドライブ系）（冗長度あり）
KAID03529	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ドライブ系）（冗長度あり）
KAID03530	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ドライブ系）（冗長度なし）
KAID03531	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ドライブ系）（冗長度なし）
KAID03532	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ダイナミックスペアリング正常終了による）
KAID03533	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（ダイナミックスペアリング正常終了による）
KAID03534	ドライブ障害（通常R/W）	LDEV 閉塞（ドライブ閉塞による）
KAID03535	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションアクセス発生
KAID03536	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションアクセス発生
KAID03537	ドライブ障害（通常R/W）	ライトペンディングデータ過多によるリブート中断
KAID03538	ドライブ障害（通常R/W）	ライトペンディングデータ過多によるリブート中断

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03539	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（メディア系）(冗長度あり)
KAID03540	ドライブ障害（通常R/W）	ドライブ閉塞（メディア系）(冗長度なし)
KAID03541	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー開始
KAID03542	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー開始
KAID03543	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー正常終了
KAID03544	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー正常終了
KAID03545	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー異常終了
KAID03546	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー異常終了
KAID03547	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー中断
KAID03548	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー中断
KAID03549	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピーワーニング終了（LDEV 閉塞または障害）
KAID03550	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピーワーニング終了（LDEV 閉塞または障害）
KAID03551	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング開始（ドライブコピー）
KAID03552	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング開始（ドライブコピー）
KAID03553	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング正常終了（ドライブコピー）
KAID03554	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング正常終了（ドライブコピー）
KAID03555	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング異常終了（ドライブコピー）
KAID03556	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング異常終了（ドライブコピー）
KAID03557	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング中断（ドライブコピー）
KAID03558	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリング中断（ドライブコピー）
KAID03559	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)（ドライブコピー）
KAID03560	ドライブ障害（通常R/W）	ダイナミックスペアリングワーニング終了(LDEV 閉塞または障害)（ドライブコピー）
KAID03561	ドライブ障害（通常R/W）	コレクションコピー/ コピーバック抑止（ドライブリプレース）
KAID03562	ドライブ障害（通常R/W）	Flash module drive 初期化失敗
KAID03563	ドライブ障害（ORM）	ドライブ一時障害
KAID03564	ドライブ障害（ORM）	ドライブメディア障害
KAID03565	ドライブ交替推奨	フラッシュドライブ寿命しきい値オーバー
KAID03566	ドライブ交替推奨	フラッシュモジュールドライブ寿命しきい値オーバー
KAID03567	PDEV Erase	Drive Erase 開始
KAID03568	PDEV Erase	Drive Erase 開始
KAID03569	PDEV Erase	Drive Erase 正常終了

アラートID	障害内容	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID03570	PDEV Erase	Drive Erase 正常終了
KAID03571	PDEV Erase	Drive Erase 異常終了
KAID03572	PDEV Erase	Drive Erase 異常終了

8.2. KAID10001～KAID10008

ストレージシステムの部位を示すアラートを次に示します。

・ アラートID KAID10001～KAID10008

iStorage Vシリーズのアラートです。詳細は，「表8.2 KAID10001～KAID10008：ストレージシステムの部位を示すアラート（iStorage Vシリーズ）」を参照してください。

表8.2 KAID10001～KAID10008：ストレージシステムの部位を示すアラート（iStorage Vシリーズ）

アラートID	アラート発生部位 [COMPONENT] フィールド表示情報	[DESCRIPTION] フィールド表示情報
KAID10001	DKC Processor	[DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は，アラートのレベルにより決定されます。 [DESCRIPTION] フィールドに表示される情報は，次のとおりです。 ・ ほかのアラートのレベルからNormalに変化した場合 「Acute | Serious | Moderate | Service」は正常に復旧しました。 ・ アラートのレベルがAcute，Serious，Moderateおよび Serviceの場合 [COMPONENT] で「Acute | Serious | Moderate | Service」エラーが検出されました。
KAID10002	DKC Cache Switch	
KAID10003	DKC Cache	
KAID10004	DKC Shared Memory	
KAID10005	DKC Power Supply	
KAID10006	DKC Battery	
KAID10007	DKC Fan	
KAID10008	DKC Environment	

8.3. KAID99999

Device Managerが未対応のアラートがiStorage Vシリーズのストレージシステムから通知された場合に出力されるアラートです。

[ADDITIONAL] フィールド表示にストレージシステムから通知されたSIMコードが出力されますので，実際の障害内容は，ストレージシステムのマニュアルを参照してください。

第9章 ストレージシステムのメッセージ

この章では，ストレージシステムが出力するメッセージについて説明します。

9.1. iStorage Vシリーズのメッセージ

Device Managerが出力するメッセージの中には，メッセージの一部としてストレージシステムが出力するメッセージを含むものがあります。

Device ManagerのメッセージにiStorage Vシリーズのメッセージが含まれる場合，Device Managerのメッセージには，iStorage Vシリーズのメッセージのエラーコードが表示されます。iStorage Vシリーズのエラーメッセージについては，Storage Navigatorのメッセージマニュアルを参照してください。

付録A このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

A.1. 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- HA Command Suite ユーザーズガイド (IV-UG-201)
- HA Command Suite インストールガイド (IV-UG-202)
- HA Command Suite システム構成ガイド (IV-UG-203)
- HA Command Suite Replication Manager ユーザーズガイド (IV-UG-205)
- HA Command Suite Replication Manager システム構成ガイド (IV-UG-206)
- HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI ユーザーズガイド (IV-UG-207)
- HA Command Suite Replication Manager Application Agent CLI リファレンスガイド (IV-UG-208)
- iStorage Vシリーズの各種マニュアル

A.2. このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
Device Manager	HA Device Manager
Device Manager Web Client	Device Manager GUI
Dynamic Link Manager	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ HA Dynamic Link Manager
Dynamic Provisioning	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Dynamic Provisioning Software ・ Dynamic Provisioning ・ Thin Provisioning
DP	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Dynamic Provisioning
DT	Dynamic Tiering Software
JDK	Java Development Kit
JVM	Java Virtual Machine
Linux	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Red Hat Enterprise Linux
LUNM	LUN Manager
NetBackup	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Veritas NetBackup
Replication Manager	HA Replication Manager
Storage Navigator	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。

表記	製品名
	・ Storage Navigator ・ HA Device Manager - Storage Navigator
iStorage	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ iStorage V10e ・ iStorage V100 ・ iStorage V110 ・ iStorage V300 ・ iStorage V310 ・ iStorage V310F
VMware ESX	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ VMware vSphere ESX ・ VMware vSphere ESXi
iStorage シリーズ	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ iStorage V10e ・ iStorage V100 ・ iStorage V110 ・ iStorage V300 ・ iStorage V310 ・ iStorage V310F
VxVM	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 ・ Veritas Volume Manager ・ Veritas Volume Manager for Windows

A.3. このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用する主な英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
AL	Arbitrated Loop
ALU	Administrative Logical Unit
API	Application Programming Interface
ASCII	American Standard Code for Information Interchange
BIOS	Basic Input/Output System
C/T	ConsisTency
CCR	Cluster Continuous Replication
CHA	CHannel Adapter
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocol
CIFS	Common Internet File System
CIM	Common Information Model
CLI	Command Line Interface
CLPR	Cache Logical PaRtition

英略語	英字での表記
CPU	Central Processing Unit
CSR	Certificate Signing Request
CSV	Comma-Separated Values
CT	ConsisTency
CTG	ConsisTency Group
CTL	ConTroLler
CU	Control Unit
CV	Custom Volume
CVS	Custom Volume Size
DAD	Device Address Domain
DAMP	Disk Array Management Program
DASD	Direct Access Storage Device
DB	DataBase
DBMS	DataBase Management System
DC	Direct Current
DCR	Dynamic Cache Residency
DEVN	DEVice Number
DFW	DASD Fast Write
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DKA	DisK Adapter
DKC	DisK Controller
DKU	DisK Unit
DLL	Dynamic-Link Library
DM-LU	Differential-Management LU
DN	Distinguished Name
DNS	Domain Name System
DOM	Document Object Model
DP	Dynamic Provisioning
DTD	Document Type Definition
FC	Fibre Channel
FCoE	Fibre Channel Over Ethernet
FD	Floppy Disk
FDD	Floppy Disk Drive
FTP	File Transfer Protocol
GPT	GUID Partition Table
GUI	Graphical User Interface
GUID	Globally Unique IDentifier
H/W	HardWare
HBA	Host Bus Adapter
HDEV	Host DEVice

英略語	英字での表記
HDU	Hard Disk Unit
HSD	Host Storage Domain
HSSO	HiCommand Single Sign-On
HTML	HyperText Markup Language
HTTP	HyperText Transfer Protocol
I/O	Input/Output
ID	IDentifier
IIS	Internet Information Services
IO	Input/Output
IOPS	Input/Output Per Second
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol Version 4
IPv6	Internet Protocol Version 6
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
JDBC	Java DataBase Connectivity
JNI	Java Native Interface
JRE	Java Runtime Environment
JSP	JavaServer Pages
KDC	Key Distribution Center
LAN	Local Area Network
LBA	Logical Block Addressing
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol
LDEV	Logical DEVice
LDKC	Logical DisK Controller
LPAR	Logical PARtition
LSN	Log Sequence Number
LTO	Linear Tape-Open
LU	Logical Unit
LUN	Logical Unit Number
LUSE	Logical Unit Size Expansion
LVI	Logical Volume Image
MBR	Master Boot Record
MCU	Main Control Unit
MIH	Missing Interrupt Handler
MIME	Multipurpose Internet Mail Extensions
MP	MicroProcessor
MRCF	Multi-RAID Coupling Feature
MTU	Maximum Transmission Unit
NAS	Network Attached Storage
NNC	Network Node Controller

英略語	英字での表記
NTFS	New Technology File System
NTP	Network Time Protocol
NVS	Non-Volatile Storage
OCSP	Online Certificate Status Protocol
OS	Operating System
P-VOL	Primary VOLume (Synchronous Replication, Local Replication)
PA	Port Address
PAP	Password Authentication Protocol
PCB	Printed Circuit Board
PDEV	Physical DEVice
PP	Program Product
PPRC	Peer-to-Peer Remote Copy
R/W	Read/Write
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RAID	Redundant Array of Independent Disks
RCP	Remote Control Port
RCU	Remote Control Unit
RD	Relational Database
RG	RAID Group
RIO	Remote I/O
RMC	ReMote Console
RMI	Remote Method Invocation
ROM	Read Only Memory
S-VOL	Secondary VOLume (Synchronous Replication),Source VOLume (Local Replication - S/390)
SAN	Storage Area Network
SAS	Serial Attached SCSI
SAX	Simple API for XML
SCP	State Change Pending
SCR	Standby Continuous Replication
SCSI	Small Computer System Interface
SIM	Service Information Message
SLP	Service Location Protocol
SLPR	Storage Logical PaRtition
SLU	Subsidiary Logical Unit
SM	Shared Memory
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SMU	System Management Unit
SNMP	Simple Network Management Protocol
SOAP	Simple Object Access Protocol
SSB	SenSe Byte

英略語	英字での表記
SSD	Solid State Drive
SSH	Secure Shell
SSID	Storage Subsystem ID
SSL	Secure Sockets Layer
SSO	Single Sign-On
SVGA	Super Video Graphics Array
T-VOL	Target VOLume (Local Replication - S/390)
TCP	Transmission Control Protocol
TID	Target ID
TLS	Transport Layer Security
UDP	User Datagram Protocol
URL	Uniform Resource Locator
V-VOL	Virtual VOLume
VDEV	Virtual DEVice
VDI	Virtual Device Interface
VDS	Virtual Disk Service
VI SDK	VMWare Infrastructure Software Developer Kit
VLL	Virtual LVI/LUN
VMA	Volume Management Area
VOLSER	VOLume SERial number
VSS	Volume Shadow Copy Service
VVol	vSphere Virtual Volume
VxFS	Veritas File System
WBEM	Web-Based Enterprise Management
WSFC	Windows Server Failover Cluster
WWN	World Wide Name
XML	eXtensible Markup Language
XRC	eXtended Remote Copy

A.4. KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト），1PB（ペタバイト）は，それぞれ1KiB（キビバイト），1MiB（メビバイト），1GiB（ギビバイト），1TiB（テビバイト），1PiB（ペビバイト）と読み替えてください。

1KiB，1MiB，1GiB，1TiB，1PiBは，それぞれ1,024バイト，1,024KiB，1,024MiB，1,024GiB，1,024TiBです。

iStorage Vシリーズ
HA Command Suite メッセージ

IV-UG-204-13
2026年 7月 第13版 発行

日本電気株式会社

© NEC Corporation 2025-2026